

# 教義と聖約 および教会歴史

セミナー



教師用手引き



© 2001 Intellectual Reserve, Inc.版權所有

印刷：日本

英語版承認：1/00

翻譯承認：1/00

原題：Doctrine and Covenants and Church History Teacher Resource Manual

# 目次

『教義と聖約および教会歴史教師用手引き』の序文	1	教義と聖約43章	78
教義と聖約および教会歴史を教えるための スケジュール調整	5	教義と聖約44章	80
救いの計画の全体像	7	教義と聖約45章	81
聖文研究のための補助資料	11	教義と聖約46章	84
概要と導入	14	教義と聖約47章	86
教義と聖約の概要	14	教義と聖約48章	86
大背教と教会歴史	16	教義と聖約49章	87
教義と聖約のタイトルページ	20	教義と聖約50章	89
教義と聖約の序文	21	教義と聖約51章	90
年代順に見た目次	22	教義と聖約52章	91
ニューヨークとペンシルベニアの時代	24	教義と聖約53章	92
ジョセフ・スミス - 歴史1：1 - 65	24	教義と聖約54章	93
教義と聖約1章*	27	教義と聖約55章	94
教義と聖約2章	28	教義と聖約56章	95
教義と聖約3章	29	教義と聖約57章	96
教義と聖約4章	31	教義と聖約58章	97
教義と聖約5章	31	教義と聖約59章	100
教義と聖約6章	33	教義と聖約60 - 62章	102
教義と聖約7章	34	教義と聖約63章	105
教義と聖約8 - 9章	35	教義と聖約64章	107
教義と聖約10章	38	教義と聖約65章	111
教義と聖約11章	39	教義と聖約66章	112
教義と聖約12章	41	教義と聖約67章	112
教義と聖約13章 ; ジョセフ・スミス - 歴史1：66 - 75	41	教義と聖約68章	113
教義と聖約14章	42	教義と聖約69章	115
教義と聖約15 - 16章	43	教義と聖約70章	116
教義と聖約17章	44	教義と聖約71章	117
教義と聖約18章	45	教義と聖約72章	118
教義と聖約19章	48	教義と聖約73 - 74章	119
教義と聖約20章	50	教義と聖約75章	120
教義と聖約21章	52	教義と聖約76章	121
教義と聖約22章	54	教義と聖約77章	125
教義と聖約23章	55	教義と聖約78章	127
教義と聖約24章	55	教義と聖約79 - 80章	128
教義と聖約25章	56	教義と聖約81章	128
教義と聖約26章	58	教義と聖約82章	129
教義と聖約27章	59	教義と聖約83章	130
教義と聖約28章	61	教義と聖約84章	131
教義と聖約29章	62	教義と聖約85章	135
教義と聖約30章	64	教義と聖約86章	136
教義と聖約31章	65	教義と聖約87章	137
教義と聖約32章	66	教義と聖約88章	138
教義と聖約33章	67	教義と聖約89章	145
教義と聖約34章	67	教義と聖約90章	147
教義と聖約35章	68	教義と聖約91章	148
教義と聖約36章	69	教義と聖約92章	149
教義と聖約37 - 38章	70	教義と聖約93章	150
教義と聖約39 - 40章	71	教義と聖約94章	154
教義と聖約95章		教義と聖約95章	155
教義と聖約96章		教義と聖約96章	156
教義と聖約97章		教義と聖約97章	157
教義と聖約98章		教義と聖約98章	159
教義と聖約99章		教義と聖約99章	161
教義と聖約100章		教義と聖約100章	162
教義と聖約101章		教義と聖約101章	163
オハイオとミズーリの時代	73		
教義と聖約41章	73		
教義と聖約42章	73		

注：\*この章はオハイオとミズーリ時代に記録された

教義と聖約102章	167	発展の時代	239
教義と聖約103章	168	ロレンゾ・スノー大管長	239
教義と聖約104章	169	ジョセフ・F・スミス大管長	241
教義と聖約105章	172	教義と聖約138章	242
教義と聖約106章	173	ヒーバー・J・グラント大管長	244
教義と聖約107章	173	ジョージ・アルバート・スミス大管長	246
教義と聖約108章	176	世界に広がる教会	249
教義と聖約109章	176	デビッド・O・マッケイ大管長	249
教義と聖約110章	179	ジョセフ・フィールディング・スミス大管長	251
教義と聖約111章	182	ハロルド・B・リー大管長	252
教義と聖約112章	183	スペンサー・W・キンボール大管長	254
教義と聖約113章	185	公式の宣言二	256
教義と聖約114章	186	エズラ・タフト・ベンソン大管長	258
教義と聖約115章	187	ハワード・W・ハンター大管長	260
教義と聖約116章	188	ゴードン・B・ヒンクレイ大管長	262
教義と聖約117章	188	家族    世界への宣言	264
教義と聖約118章	189	生けるキリスト    使徒たちの証	265
教義と聖約119 - 120章	190	信仰箇条	266
教義と聖約121 - 122章	192	教会歴史に残すわたしたちの足跡	268
教義と聖約123章	195	付録	270
ノーブーの時代	198	聖文の教え方	270
教義と聖約124 - 125章	198	マスター聖句の習得	274
教義と聖約126章	202	マスター聖句の教え方	276
教義と聖約127 - 128章	203	マスター聖句一覧	279
教義と聖約129章	206	偉大な幸福の計画	280
教義と聖約130章	207	アロン神権予備テスト	284
教義と聖約131章	210	アロン神権と聖餐	285
教義と聖約132章	211	異邦人の時	286
教義と聖約133章*	216	ワード福祉活動    「マイン・ブルーダー」	287
教義と聖約134章*	218	神権のワークシート(教義と聖約107章)	288
教義と聖約135章	219	末日の預言者たちが語るジョセフ・スミスについての証	289
教義と聖約137章*	221	旅の必需品一覧表	291
西部へ移動する教会	224	家族    世界への宣言	292
大管長会の継承	224	生けるキリスト    使徒たちの証	293
西部への旅	226	絵	294
教義と聖約136章	228		
ブリガム・ヤング大管長	229		
ブリガム・ヤング大管長の遺産	232		
ジョン・テラー大管長	233		
ウィルフォード・ウッドラフ大管長	235		
公式の宣言一	237		

注：\*この章はオハイオとミズーリ時代に記録された

# 教義と聖約および教会歴史教師用手引きの序文

「末日聖徒イエス・キリスト教会の使命は、御父の偉大な計画を助けるために、『キリストのもとに来て、キリストによって完全に〔なる〕』よう、すべての人を招くことです。」(モロナイ10:32; 教義と聖約20:59も参照)

「教会教育システムにおける宗教教育の目標は、……個人、家族、神権指導者が教会の使命を達成できるように援助することにある。」(『福音を教える 教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』[1994年], 3) この目的を達成するために、まず初めに強調すべき事柄は、イエス・キリストの福音を、標準聖典と預言者たちの言葉のままに、生徒たちに教えることである。この手引きは、教授経験、また言語や国籍の違いにかかわらず、教師がその目的を達成できるよう援助するために作成されたものである。

次に強調すべき事柄は、言葉と、模範と、<sup>みたま</sup>御霊の力によって教えるということである。言葉と模範によって教える人々は、福音を最も効果的に教えることができる。言葉によって教えるためには、まず「研究によって、また信仰によって」(教義と聖約88:118)、イエス・キリストの福音の原則を理解すべく努力する必要がある。そして模範によって教えるためには、自分自身の生活の中で福音を実践していかなければならない。また、教師は導きを求めて御霊に頼らなければならない。十二使徒定員会会員ボイド・K・パッカー長老は次のように教えている。「力は教師がなし得る限りを尽くして備えるときに与えられます。それは、個々のレッスンだけでなく、実際の生活において御霊と調和した生活をしていく中で与えられるものです。靈感を求めて御霊に頼るようになるなら、教師は、自分は靈感によって教えることができるという確信をもって……生徒たちの前に立つことができます。」(Teach Ye Diligently [1975年], 306) パッカー長老が語ったこの力は、教師が自ら教える原則や教義について、個人的な<sup>あかし</sup>証を述べるときによく現れるものである。

## この手引きの使用方法

教師がレッスンの準備を行う際に、第一の資料とすべきものは聖典である。聖文の研究、レッスンの準備の助けとして、手もとに置くべき資料には以下のものがある。

- 『教義と聖約および教会歴史教師用手引き』(本書、カタログ番号、34591 300)
- 『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』(家庭学習セミナー生徒用資料、カタログ番号、34190 300)
- 『教義と聖約および教会歴史』メディアガイド』(ビデオシリーズ用補助資料、カタログ番号、34811 300)

以下のインスティテュート生徒用ガイドも利用すべきである。

- 『教義と聖約生徒用資料』 宗教コース324 - 325 (カタログ番号、32493 300)
- 『時満ちる時代の教会歴史』 宗教341 - 343 (カタログ番号、32502 300)
- 『高価な真珠生徒用資料』 宗教コース327 (カタログ番号、35852 300)

これらの資料は、生徒たちに教えるための準備として自分自身が行う聖文の学習に置き換えられるものではなく、聖霊の霊的導きに代わり得るものでもない。あくまでもレッスン準備のための

補助的な資料である。特に、『教義と聖約および教会歴史教師用手引き』は、ひとまとまりの聖句ブロックに関して序説的な情報を提供し、また学び取るべき重要な福音の原則を概説し、生徒たちがそれらの原則を理解し生活の中で応用できるようにするにはどのように教えたらよいか、様々な提案をしている。

「教会教育システム当局は週日の設定として、教えるための時間をもっと割ける所では、聖典の各書をその配列順に従って教えるという決定をした。聖典をその配列順に教えるのは、イエス・キリストの福音を教えるための最良の方法の一つである。順次聖典教授法では、標準聖典に配列されている順序に従って各書を教えていく。」(『福音を教える』20; 順次聖典教授法に関するより詳細な情報についてはこのページを参照せよ。) この手引きでは聖句を標準聖典の掲載順に学んでいくが、各聖句ブロックのすべての聖句について、教えるためのアイデアを提示しているわけではない。教えるためのアイデアは、インスティテュート生徒用資料とセミナー生徒用学習ガイドにも載せられている。

『福音を教える 教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』(カタログ番号、34829 300) は、教会教育システムのクラスを教える際に役立つ詳細な情報を提供している。教師はその内容にも精通しておく必要がある。以下に挙げる幾つかの一般的提案も、教師がレッスンの準備に取り組むうえで助けになるであろう。

## 福音を研究し教えるために自分自身を備える

- 福音を実践する。
- 研究し、備え、教えるときに、<sup>みたま</sup>御霊の導きを求めて祈る。
- 生徒たちの必要を満たすために、主を信じる信仰、また御霊の力に対する信仰、聖文の力に対する信仰を実践する。

## 何を教えるかを決める

- 自分が行うレッスンの中で聖典のどの部分を探り上げたいと思うかを決める。この手引きは幾つもの聖句ブロックに分けられている。それぞれの聖句ブロックは、どこで話の筋や主題が変わるかを示している。5 - 6ページに書かれている学習進度ガイドは、毎日あるいは毎週のどのくらいの資料を学んでいくかを決めるのに役立つことができる。
- 採り上げる聖句ブロックを入念に研究する。教義、原則、出来事、難しい語句などに注意しながら、その聖句ブロックを数回読む。本書、またインスティテュート生徒用資料、セミナー生徒用学習ガイドも、聖句ブロックを理解し、クラスの生徒たちにとって何が大切かを見極めるのに役立つであろう。聖句ブロックの中に何か靈感を与えるものを見いだすなら、より効果的に教えることができるようになる。また、生徒たちにも同じような発見をするように導くことができる。
- 生徒たちが学ぶべき最も重要な教義、原則、出来事を選択する。<sup>みたま</sup>御霊の促しと生徒たちが必要としているものを導きとして、何を教えたらよいかを決めるようにする。

注：何を教えるかを決める際に役立つ提案は、『福音を教えるビデオプレゼンテーション』(カタログ番号、53953 300)の19、「何を教えるか決める」を参照する。

## 何をどのように教えるかを定める

- 教えたいと思う出来事、原則、教義の各々について、少なくとも一つの教授法を選ぶ。自分自身で考えた方法、あるいはカリキュラム用の資料の中に提案されている方法を活用する。
  - 生徒たちの自発的な準備や積極的な参加、実生活への応用などを促す方法を選ぶ。
1. 自発的な準備とは、生徒たちが霊的にも、また知的な面でも、注意を向け、心を集中させ、学習体験の中に進んで参加する備えをすることである。「準備とは、心と思いの状態を言う。」(『福音を教える』、13) それはレッスンをスタートさせるために用いる仕掛けというようなものではない。生徒たちの興味や関心の中核となっているものに絶えず心を向けるということなのである。
  2. 積極的な参加とは、生徒たちが学習プロセスの中に熱心にかかわっていくという意味である。生徒たちの積極的な参加には、身体面、また感情面、知的な面、霊的な面などの要素が考えられる。生徒たちは積極的に参加すればするほど、レッスン内容をさらによく理解し、記憶し、応用することができるようになる。
  3. 実生活への応用とは、生徒たちがレッスンで学ぶ教えを受け入れて、日々の暮らしの中で実践し、それらの原則に従った生活をするよう努力することを意味する。

注：どのように教えるか決める際に役立つ提案は、『福音を教えるビデオプレゼンテーション』(カタログ番号、53953 300)の20、「どのように教えるか決める」を参照する。また、付録(270 - 273)の「聖文の教え方」も参照する。

## この手順書の構成

各聖句ブロックに対応する資料が、4つのセクションに載せられている。

### 「はじめに」に紹介されている資料

「はじめに」には、歴史的背景、聖典の中における位置付けという観点から各聖句ブロックを理解できるように、基礎的な資料や情報を載せている。聖典の各書に対しても同様の基礎的な資料や情報が提示されている。セミナー生徒用学習ガイドとインスティテュート生徒用資料に載せられている背景的な知識と合わせて、これらの基礎的な資料や情報は、教師の聖典に対する学習と理解を深めるうえでも役立つことができる。

これらの資料と情報は、次の点においても役立つことができる。

- 生徒たちの意欲と積極的な姿勢を引き出す質問を考える。
- 基礎的な情報、生徒たちが聖典の中から読み取るべき事柄、予習に役立つ事柄を理解する。
- クラスで提示したり黒板に書いたりする引用文、また生徒たちが各自の聖典に記入する注釈を決める。

### 学び取るべき重要な福音の原則

聖句ブロックの中から多くの重要な教義や原則を見いだすことができる。このセクションには、教師が生徒たちに教えたいと思ふような事柄が採り上げられている。以下に挙げるのは、教師が

レッスンの中で用いることのできる幾つかの方法である。

- 正しい教義を教えるようにするための、一つの指針として用いる。
- 生徒たちに何を教える必要があるかを判断するための助けとして活用する。
- 聖句ブロックを研究しながら学び取るべき原則を生徒たちに伝えるために、それらを黒板に書き上げる。
- 生徒たちに、その教義を裏付け、明らかにする聖句をほかにも探すように促す。

### 補助資料


このセクションには、教師が参考になる情報を確認できるように、『時満ちる時代の教会歴史』と『教義と聖約』のインスティテュート生徒用資料の対応箇所のページ数が書かれている。以上のインスティテュート生徒用資料は該当する章の歴史的背景を知る際に役立つことができる。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、十二使徒定員会会長の時代に、教会の教義と歴史を合わせて学ぶことの大切さを教えた。「章ごとに採り上げなければ、教義と聖約に書かれた内容を全部学び取ることはできない。章ごとに学ぶ場合も、教会歴史に記されている背景に照らして学ぶべきである。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編、全3巻、[1979年]第3巻、178)

補助資料のセクションに本書「付録」の中の資料やその他の資料も含まれていることがある。

### 教え方の提案


このセクションには、聖句ブロックの中から選んだ出来事、原則、教義などをどう教えたらよいかという点について、考慮に値するアイデアが提案されている。教師はそれらの提案を必ず採用するように義務付けられているわけではない。それらの提案は教師にとって、御霊の導きを得て生徒たちの様々な必要について深く考えるうえで役立つ情報となるであろう。教師は、セミナー生徒用学習ガイドの中に、クラスで実際に教えるときに活用できる有益な提案を見いだすこともできる(「教師のための『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』の紹介」、3 - 4参照)。

「教え方の提案」のセクションには以下の項目がある。


- 強調点。この提案の各セクションの冒頭には、節や章と、提案の中で強調されている原則が表記されている。これは、その聖句ブロックの中の「学び取るべき重要な福音の原則」のセクションに書かれている原則と一致している場合が多い。
-  マスター聖句。教えるための提案の中にマスター聖句が含まれている場合は、左のマークで分かるようになっている。ハワード・W・ハンター大管長(当時は十二使徒定員会会長)は次のように話している。「わたしたちは、聖句の場所を見つけて示せるほどには聖典をよく理解していないために、自分が必要な助けを見いだすことができないうと恥じ入ったり、恐れや気後れを抱いたりしたまま、クラスを出て行く生徒が一人もいないようにと望んでいます。」(The Teachings of Howard W. Hunter [宗教教育者への講話、1989年2月10日]、2)

「マスター聖句」は、聖句の見つけ方、またその意味の理解の仕方、実生活への応用の仕方などを、生徒たちに教えるた

めにある。セミナーで特に強調して学ぶ100の聖句（コースごとに25の聖句）が選ばれている。これらの聖句は「教え方の提案」のセクションに、「マスター聖句」のマークとともに表記されている。教師は、生徒たちがこれらの聖句をマスターできるように助ける必要がある。そのために、これらの聖句についてレッスンの中で教えたり、自分自身で学ぶように促したりしていく。クラスの中でマスター聖句に関する活動を促すための方法や、4つのコースすべてのマスター聖句の参照一覧については、付録の「マスター聖句一覧表」「マスター聖句の習得」を参照する。（274 - 275；『福音を教える - 教会教育システム教師ならびに指導者用引き』32 - 33ページの提案も参照する。）

- 
 ウィークリー・アイコン。教えるための提案の中には、このマークで表示されているものもある。このマークのある箇所には、家庭学習プログラムの教師、あるいは、より広い聖句のブロックを教える場合の提案がなされている。
- 予想所要時間の表記。太文字で表記された見出し部分の最後の箇所の括弧内には、提案に添った教え方をする場合に、およそどのくらいの時間がかかるかが示されている。これは毎日のレッスンの計画を助けるためのものであり、提案された教え方にどれほどの時間をかけるべきであるか示すものではない。

## その他の教師用資料

- 
 ビデオ。『「教義と聖約および教会歴史」ビデオ』（カタログ番号、53786 300）には、生徒たちに教義と聖約と教会歴史を教えるのに役立つプレゼンテーションが含まれている。『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』を用いて教えるための提案は、『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』（カタログ番号、34811 300）の中に載せられている。ビデオプレゼンテーションが用意されている聖句ブロックは、このマークと、教えるための提案のセクションの初めの箇所の表記で分かるようになっている。
- 付録。教えるための提案のセクションには、レッスンを教えるのに役立つ「付録」の中の図表、対観表などを紹介している場合がある。これらの資料については、その表題とページ数が表記されている。
- 「福音の視覚資料セット」（カタログ番号、34730 300）と補遺（カタログ番号、34740 300）。これは、聖典や教会の歴史に関する物語、福音の原則を説明した160枚の視覚資料を集めたものである。本書の教え方の提案に含まれている絵のほとんどは「福音の視覚資料セット」と補遺から集められている。これらはすべてのワードや支部の図書館で入手可能である。
- 生徒自身による教義と聖約の学習。教義と聖約とジョセフ・スミス - 歴史1章の全文を読むよう、生徒たちに促す。スペンサー・W・キンボール大管長はかつて次のように話している。「自分と神とのつながりがいいかげんなものとなり、神が自分の声に耳を傾けてくださらず、語りかけてくださることもないと感じるときには、わたしは神から遠く遠く離れた生き方をしているのです。聖文を熱心に読む生活をするなら、その隔たりは狭くなり、霊性が戻ってきます。」（*The Teachings of Spencer W. Kimball*, エドワード・L・キンボール編〔1982年〕, 135）

『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』の「教義と聖約および教会歴史 読書進度確認表」にある割り当てに従って読み進めていくよう、生徒たちを促す。（学校の年度に合わせて、この表を調整する必要がある場合もある。）この表はクラスの活動に合わせた読書進度の調整に役立てることができる。

割り当てより先の部分も読みたいという生徒は、そうしても差し支えない。しかし、その週に学ぶ予定の聖句ブロックも必ず読んでおくように促す。教師は読書進度表を用いることによって、教義と聖約と教会歴史全体を教えられるように、1年間ペースを保っていくことを求められる。

- 特別な必要を持つ生徒。「特別な必要」とは、平均的な子供とは異なる状況にある生徒を示すために用いられる一般的な表現である。その中には、読書能力や学習能力などの面での障害、不規則行動、知的障害などの状況にある人々も含まれる。また特殊教育を受けている人、車いす使用者、寝たきりの生活を余儀なくされている人、視覚障害者、聴覚障害者なども、その中に入る。

預言者ジョセフ・スミスはこう述べている。「神がこの世へ遣わされた人はすべて成長する可能性を秘めています。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕, 354）教師はすべての生徒の学習上の必要を満たすために、力の及ぶ限りの努力をする必要がある。すべての生徒のあらゆる必要を、常時満たしていくのは恐らく不可能である。しかし教師は、生徒たちが各レッスンを通して何かを学び取れるようにするために、クラスの生徒たちの特別な必要を見極めたうえで、カリキュラム用資料による教え方に調整を加えることができる。特別な必要を持つ生徒たちを助ける機会を、ほかの生徒たちに与えることもできる。そのような無私の奉仕の機会は、行う側と受ける側の双方にとって祝福となる。

教会機関誌『リアホナ』は、生徒たちの特別な必要に関連する記事、写真や絵、アイデアなどのすばらしい源である。

## 教師のための『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』の紹介

『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』は、生徒たちが教義と聖約を読み、その教えについて深く考え、実践していく助けとなる。『モルモン書生徒用学習ガイド』は、家庭学習プログラム用の必要資料だが、多くのデイリーコースの教師にとっても、準備や実際のレッスンに役立つものとなるであろう。

## 家庭学習セミナープログラムにおける使用

セミナーは学校年度を通して週に5日行われるプログラム（あるいはそれに相当するプログラム）である。家庭学習セミナーのクラスが開かれるのは週に1度だけであるために、家庭学習コースの生徒たちは、ほかの4日は生徒用学習ガイドを用いて学ぶように求められている。生徒たちは皆、毎日聖文を読むように勧められているが、家庭学習コースの生徒たちは、学習ガイドに述べられている活動や割り当てを行うために、各週4日間、1日30 - 40分を用いるように期待されていることを理解しておく必要がある。



生徒たちは各自の学習ガイドに書き込みをするようには求められてはいない。何かを記録する必要のある割り当てについては、以下の選択肢の中から一つを選んで活用する。

- 一人一人の生徒に、その割り当てをルーズリーフ式のノートに記入させ、書き終えたページを毎週提出させる。教師がそれを返却すれば、生徒はそのページを自分のファイルに戻すことができる。
- 各生徒に2冊のノートを用意させ、それを交互に用いさせる。生徒は最初の週に1冊のノートに記入し、クラスが開かれるときにそれを教師に提出する。その次の週には、生徒はもう1冊のノートに記入し、クラスでそれを教師に提出する。そして前の週に提出していたノートを返却してもらう。

教師は毎週、生徒たちのノートを集めた後に、目を通して、生徒たちへのコメントを記入する。これは教師にとって、一人一人の生徒について知り、学習内容に対する彼らの理解度を判断するための非常に優れた方法である。教師は週例のクラスのレッスンの中で、ノートに書き込んだことの一部を発表させることにより、生徒たちを動機付ける一助にできる。

### 生徒が提出するノートの評価

生徒用学習ガイドに書かれている様々な活動をチェックするための解答を記した資料はない。答えの中のあるものは聖典の中に示されている。したがって、教師がそれぞれの活動の内容をよく理解するならば、答えは明らかになる。答えの中には、生徒自身のアイデア、経験、判断、証<sup>あかし</sup>などによって決まるものもある。このような場合には、正しい答えは一つだけとは限らない。生徒に対する評価は、彼らがそれぞれの能力に応じてどれほどの努力をしたかを基準に判断する。教師は自分の感想や評価を書く場合に、生徒たちが誤解している事柄や明らかに間違えている答えについては、正しい答えを示すとともに、彼らの努力を称賛する。

特別な必要を持つ生徒たちには特に配慮し、それに応じて生徒

用学習ガイドの内容に調整を加えた教え方をする必要がある。例えば、文章を書くという点について障害のある生徒については、テープレコーダーを用いて、答えを録音させるようにしても差し支えない。また友人や家族に代筆してもらうようにしてもよい。教師は、特別な必要を考慮して、一部の生徒に割り当てる学習活動については、その数を調整しなければならない場合もある。ほかの生徒たちは、それ以上の活動ができるかもしれない。彼らには最小限の条件を越えた活動をするように促すこともできる。

### デイリーセミナリープログラムにおける『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』の活用

『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』は、デイリーセミナリープログラムに参加する生徒たちに推奨されている。各生徒に個人用のガイドを持たせるか、少なくとも1冊閲覧用のガイドを用意しておくことよい。そうすれば生徒たちに「聖文を理解する」のセクションを参照させることができる。このセクションには難しい語句への理解を助ける記述や、引用文、説明などが載せられている（訳注：このセクションは原文である英語に忠実に翻訳されており、日本語として不自然なものも含まれている）。さらに、本書の最後にある教会歴史のレッスンを行うには、生徒用学習ガイドから読む必要がある。

レッスンの準備をするときには、どのような教え方をするかを決めるために、各聖句ブロックの冒頭部分と「聖文を研究する」のセクションを読むようにする。例えば、聖句ブロックの冒頭部分には、生徒たちの積極的な姿勢を引き出すのに役立つ話し合いのための質問が載せられている。教師は、レッスンの中で生徒たちに「聖文を研究する」のセクションの活動の一つをさせたり、グループあるいはクラス全体で、生徒たちに各自が書いたことを発表させたりしたいと思うことがあるかもしれない。学習ガイドに書かれているとおりの活動ができない場合でも、クラスの状況に合わせて調整できる良いアイデアが思い浮かぶかもしれない。

# 教義と聖約および教会歴史を教えるためのスケジュール調整

ほかの標準聖典の場合と同じように、教義と聖約のすべての聖句とそれに関連する歴史事項を1学習年度内に採り上げていくことは時間的に不可能である。どのようなスケジュールで教えていくかが大事な問題になる。教義と聖約45章や76章を教えるのにあまり多くの時間をかけすぎたり、その進度が遅すぎたりすると、教義と聖約の終わりの部分にあるメッセージや末日の歴史の学習にかかる時間がなくなってしまうことにもなりかねない。しかし、進度が速すぎると、生徒たちが教義と聖約の重要な部分を理解する機会を逃してしまうこともあり得る。毎日あるいは毎週のどのくらいの資料を学んでいくか、また、生徒たちへの読書割り当てとして、幾つの章を読むように求めるかを定めるための一助として、学習進度ガイドを活用する。

全世界的に見ると、セミナープログラムには実に多くのタイプがある。したがって、この手引きをそれらすべてのタイプに合った内容にするのは不可能なことである。教師は36週で完了する

このコースのスケジュールを、自分たちのプログラムと生徒たちの必要に合わせて調整する必要があるかもしれない。セミナーのクラスは週に5回開かれるが、準備されているレッスンの資料は4日分のみである。これは学校の行事や集会、また特別なセミナー活動や発表、マスター聖句に関連した活動、テストやクイズなどの活動のために、プログラムが中断されることを考慮した結果である。教師は一つの聖句ブロックをより効果的に教えるために、2日あるいはそれ以上の日数を使っても差し支えない。このような柔軟性を持たせたのは、生徒たちそれぞれの必要を満たすために御霊の導きを求めるよう、教師を促すためである。

教会の青少年にイエス・キリストの福音を教えることは、神から託された神聖な使命であり、喜びをもたらす責任である。今年教義と聖約、そして教会歴史を研究していく中で、教師と生徒たちのうえに主の祝福が注がれるように。

## 学習年度36週対応の学習進度ガイド

週	教えるべき聖句ブロックの範囲 (提案)
<b>1</b>	第1 - 2日: 「救いの計画の全体像」 第3日: 「教義と聖約および教会歴史の概要」 第4日: 「大背教と教会歴史」
<b>2</b>	第1日: 「教義と聖約のタイトルページ」と 「教義と聖約の序文」と 「年代順に見た目次」 第2 - 3日: ジョセフ・スミス - 歴史1: 1 - 65 第4日: 教義と聖約1章
<b>3</b>	第1日: 2章 第2 - 3日: 3章, 10章 第4日: 4 - 5章
<b>4</b>	第1日: 6 - 7章 第2日: 8 - 9章 第3日: 11 - 12章 第4日: 13章; ジョセフ・スミス - 歴史1: 66 - 75
<b>5</b>	第1日: 14 - 17章 第2日: 18章 第3日: 19章 第4日: 20章
<b>6</b>	第1日: 20章 (続き) 第2日: 21 - 22章 第3日: 23 - 24章 第4日: 25章
<b>7</b>	第1日: 26 - 27章 第2日: 28章 第3 - 4日: 29章
<b>8</b>	第1日: 30 - 31章 第2日: 32 - 34章 第3日: 35 - 36章 第4日: 37 - 38章
<b>9</b>	第1日: 37 - 38章 (続き) 第2日: 39 - 41章 第3 - 4日: 42章

週	教えるべき聖句ブロックの範囲 (提案)
<b>10</b>	第1日: 43章 第2 - 3日: 44 - 45章 第4日: 46章
<b>11</b>	第1 - 2日: 47 - 49章 第3 - 4日: 50 - 52章
<b>12</b>	第1日: 53 - 55章 第2日: 56章 第3 - 4日: 57 - 58章
<b>13</b>	第1 - 2日: 59章 第3日: 60 - 62章 第4日: 63章
<b>14</b>	第1 - 2日: 64章 第3日: 65章 第4日: 66 - 67章
<b>15</b>	第1日: 68章 第2日: 69 - 71章 第3日: 72 - 73章 第4日: 74 - 75章
<b>16</b>	第1 - 3日: 76章 第4日: 77章
<b>17</b>	第1日: 78 - 80章 第2日: 81 - 83章 第3 - 4日: 84章
<b>18</b>	第1日: 85 - 86章 第2日: 87章 第3 - 4日: 88章
<b>19</b>	第1日: 88章 (続き) 第2日: 89章 第3日: 90 - 92章 第4日: 93章
<b>20</b>	第1日: 93章 (続き) 第2日: 94 - 96章 第3日: 97章 第4日: 98章

週	教えるべき聖句ブロックの範囲 (提案)
<b>21</b>	第1日: 99 - 100章 第2 - 3日: 101章 第4日: 102章
<b>22</b>	第1 - 2日: 103, 105章 第3日: 104章 第4日: 106 - 107章
<b>23</b>	第1日: 106 - 107章 (続き) 第2 - 4日: 108 - 110章
<b>24</b>	第1日: 111 - 112章 第2 - 3日: 113 - 116章 第4日: 117 - 118章
<b>25</b>	第1日: 119 - 120章 第2 - 4日: 121 - 123章
<b>26</b>	第1日: 121 - 123章 (続き) 第2 - 3日: 124 - 126章 第4日: 127 - 128章
<b>27</b>	第1日: 127 - 128章 (続き) 第2 - 3日: 129 - 130章 第4日: 131章
<b>28</b>	第1 - 2日: 132章 第3 - 4日: 133章
<b>29</b>	第1日: 134章 第2 - 3日: 135章 第4日: 137章

週	教えるべき聖句ブロックの範囲 (提案)
<b>30</b>	第1日: 大管長会の継承 第2 - 3日: 西部への旅 第4日: 136章
<b>31</b>	第1 - 2日: プリガム・ヤング大管長 第3 - 4日: プリガム・ヤング大管長の遺産
<b>32</b>	第1日: ジョン・テラー大管長 第2日: ウィルフォード・ウッドラフ大管長 第3日: 公式の宣言一 第4日: ロレンゾ・スノー大管長
<b>33</b>	第1日: ジョセフ・F・スミス大管長 第2日: 138章 第3日: ヒーパー・J・グラント大管長 第4日: ジョージ・アルバート・スミス大管長
<b>34</b>	第1日: デビッド・O・マッケイ大管長 第2日: ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 第3日: ハロルド・B・リー大管長 第4日: スペンサー・W・キンボール大管長
<b>35</b>	第1日: 公式の宣言二 第2日: エズラ・タフト・ベンソン大管長 第3日: ハワード・W・ハンター大管長 第4日: ゴードン・B・ヒンクレイ大管長
<b>36</b>	第1日: 家族 世界への宣言 第2日: 生けるキリスト 使徒たちの証 <sup>あかし</sup> 第3日: 信仰箇条 第4日: 教会歴史に残すわたしたちの足跡

# 救いの計画の全体像



『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』1、「救いの計画」(10:13)を利用して救いの計画を教えてもよい(『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』の教え方の提案を参照)。

## はじめに

1993年にボイド・K・パッカー長老は教会教育システムの教師たちに向けて、各年度の初めには、コースで学ぶ内容の概要に加えて、救いの計画の全体像を教えるべきであると話している。教えるための以下の提案の中では、パッカー長老の話から何度も引用がなされている。パッカー長老のその話の一部は、ほかの資料とともに、付録の中にも含まれている。生徒たちに救いの計画について教える準備をするときに、ぜひそれを参照するようにしていただきたい(「偉大な幸福の計画」280-283参照)。

## 学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備にとりかかる前に、本書の「偉大な幸福の計画」を祈りの気持ちで研究し、また原則について深く考える。

- 天の御父は栄光に満ちた完全な御方であられる。また御父は日の栄えの状態にあり、喜びに満ちみちた御方であられる(3ニーフアイ28:10参照)。
- わたしたちはこの地上に来る前には、天の御父とともに住んでいた。わたしたちは天の御父の霊の子供である。そして御父はわたしたちに、御自身と同じようになることによって、御自分が持つておられるのと同じ喜びを得るように望んでおられる(エレミヤ1:5;ヘブル12:9;教義と聖約93:33-34;アブラハム3:26参照)。
- 神と同じようになるためには、わたしたちは復活し、栄光に輝く体を持ち、神の属性を身に付けるべく成長していかなければならない(アルマ11:43-44;ヨブ19:26;3ニーフアイ27:27;教義と聖約130:22参照)。
- 地上における死すべき生涯は、わたしたちに神の属性を得させるために定められたものである。この世の生涯は、肉体を得、神の勸告に従うかそれともサタンの誘惑に乗るか、そのどちらかを選択する自由を通して、神の属性を身に付けるための教えを学ぶ機会を、わたしたちに与えている(創世2:16-17;2ニーフアイ2:25-27;アルマ34:32-34参照)。
- 地球の創造とアダムの墮落により、霊と肉体の死、また苦しみ、痛み、悲しみの存在する世界を含む死すべき状態という必要条件が現実のものとなった(創世2:17;3:6-7;2ニーフアイ2:15-25参照)。
- キリストの贖罪は復活をもたらし、それによってすべての人がその体に不死をまとうことができるようになる(ヨブ19:25-27;エゼキエル37:12-14;アルマ11:42-45;42:23参照)。
- 贖罪には、悔い改めを条件に、わたしたちを罪から清め、永遠の命を得させる力がある。そして、神に似た者になれるよう、わたしたちを導く力がある(イザヤ1:18;2ニーフアイ10:24-25;モーサヤ3:19;モロナイ10:32-33参照)。

- イエス・キリストは、どの神権時代においても、地上の神の子供たちに福音を伝えるために預言者を遣わしてこられた。キリストのもとへ来て、神の幸福の計画にあずかるよう、すべての人々を招くために、この末日にイエス・キリストの教会が設立された(アモス3:7;アルマ12:32-34;教義と聖約1:1-14;20:59参照)。

## 補助資料

- 本書「偉大な幸福の計画」280-283

## 教え方の提案

注意：救いの計画の全体像について教える準備をするときに、以下の提案の中から適したものを選ぶか、自分自身が考えたアイデアを用いる。救いの計画の全体像を教えるための4つの提案は、4つの聖典を学ぶ各コースに共通の内容である。教師は毎年別の提案を選ぶように薦められている。



### 救いの計画の全体像：提案1(90-120分)

生徒たちが救いの計画(幸福の計画)を視覚化して理解できるようにする。そのために以下のことをする。クラスルームの片側の壁からもう一方の壁に糸を張る。その糸にペーパークリップを一つ下げる。ペーパークリップは糸の上を自由にスライドできるようにする。白い紙と透明なビニールで、それぞれ同じ人の形に切り抜いたものを作る。この二つはペーパークリップに付けて用いる。

糸はわたしたちの人生の流れを表すことと、糸の両端はそれぞれ、わたしたちの過去と将来を表していることを説明する。また、透明のビニールの人形は人間の霊体を象徴し、白い紙の人形は肉体を象徴している。ペーパークリップを糸の上で移動させる。前世という過去から来世という将来への時の流れの中で人が成長していくことを説明するとき、人形を付ける。死についての話し合いをするときには、紙の人形からペーパークリップとビニールの人形を外す。幸福の計画について教えるときには、次のセクションに提案されているような質問をする。また、必要に応じて、付録の中の情報も活用する。通常、生徒たちは提案されている参照聖句を調べることによって、できるかぎり多くの答えを見つけるようにするのが望ましい。

### 前世

- わたしたちの命は、どこで始まり、どこで終わるのでしょくか(わたしたちの命の流れは、クラスルームの壁の向こう側まで広がり、また両側の方向に永遠に続いている。このことを説明する。わたしたちの命には始めも終わりもない。教義と聖約93:29;アブラハム3:18;「霊の創造」281参照)。
- 皆さんは天の御父についてどんなことを知っていますか。地上に生まれる前に天の御父とともにいたときの生活についてはどうですか(「前世」280参照)。
- 神の霊の子供であるということには、どんな意味がありますか(「前世」280;「霊の創造」281参照)。

- 前世において、人は天の御父とともに住み、不死の状態にありました。なぜそこにとどまっていなかったのでしょうか（「選択の自由」「天上での会議と戦い」281参照）。
- 天の御父の計画と、ルシフェルがその代わりに出した案にはどんな違いがあるのでしょうか（モーセ4：1-4；「天上での会議と戦い」281参照）。
- 主は、ルシフェルと彼に従う者たちに、御自身に背き、天での戦いを始めることさえ彼らの意のままにさせていただきました。主がそれほどまでに、選択の自由を尊ばれたのは、なぜだと思いますか（「選択の自由」281参照）。

現世

- サタンは最終的には外の暗闇に追い出されてしまいます。にもかかわらず、ルシフェルと彼に従う者たちが地上に来て、わたしたちを誘惑するのを、神はそのままにしておられます。なぜでしょうか（教義と聖約29：39参照）。
- この地上に来て肉体を受けることは、どうして必要だったのでしょうか（教義と聖約93：33-34；モーセ1：39；「天上での会議と戦い」「物質的なものの創造」281参照）。
- アダムとエバが背いたために、どんな結果がもたらされたのでしょうか。どうしてアダムとエバの墮落が必要だったのでしょうか（2ニーファイ2：19-25；「墮落と死すべき状態」281-282参照）。
- 前世において贖い主はすでに選ばれました。なぜでしょうか。もし贖い主がいらっしゃらないとしたら、どんなことになるのでしょうか（2ニーファイ9：7-10；モーセ4：1-4；「天上での会議と戦い」281；「贖罪」282参照）。
- エホバ（イエス・キリスト）は地上に来て、死すべき体をお受けになる必要がありました。どうしてでしょうか（「贖罪」282参照）。
- 人はこの世の中で非常に多くの誘惑に直面します。どうしたら自分の弱い性質を変え、悪に抵抗することができるのでしょうか（1ニーファイ2：16；モーサヤ3：19；4：1-3；5：1-2；エテル12：27参照）。

来世


- 肉体の死と霊の死の違いは何でしょうか。人はその二つの死からどのようにして救われているのでしょうか。霊の死に打ち勝つためには何をする必要がありますでしょうか（2ニーファイ9：6-23；アルマ40：11-14；教義と聖約29：40-44；「教会の使命と、福音の原則と儀式」「贖罪」282；「霊界」283参照）。
- 人は死んだ後、どこへ行くのでしょうか。霊界でも続く大切な事柄があります。それは何でしょうか（アルマ40：11-14；教義と聖約138：11-37；「霊界」283参照）。
- 偉大な裁き主とはだれのことでしょうか。わたしたちはいつ裁きを受けるのでしょうか。裁きは一度だけではないのでしょうか（ヨハネ5：21-22, 30「裁き」283参照）。
- わたしたちは何を基に裁かれるのでしょうか。裁きはどんな標準で行われるのでしょうか（モーサヤ2：36-41；アルマ41：3-7；教義と聖約82：3；「裁き」283参照）。
- この世にいる間に福音について聞くことがなかった人々もいます。そのような人には、どんな機会が与えられるのでしょうか（教義と聖約138：1-37；「裁き」283参照）。

- わたしたちは復活するときに、どんな状態になるのでしょうか（アルマ11：42-45；「裁き」「復活」283参照）。
- わたしたちは最終的にはどのようになるのでしょうか。「偉大な幸福の計画」に従うなら、わたしたちはどのようになる可能性があるのでしょうか（教義と聖約76：50-70参照）。

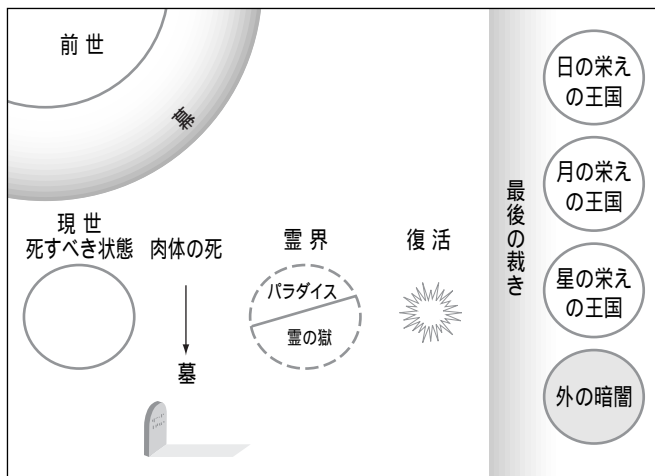
レッスンの中で学んでいる事柄が天の御父の計画にどのように対応しているかを、生徒たちが理解できるようにするために、糸は張ったままにしておき、必要に応じて説明や話し合いの中で用いるとよい。

主が「すべきこと」と「してはならないこと」を定めておられる理由を理解するのに、救いの計画に対する知識が役に立つ。どのように役立つと思うかを、生徒たちに質問する。


「幸福の計画」のすばらしさと、わたしたち人間がこの地上にいる理由、わたしたちがみもとへ戻れるように主がこれまでにかけてくださったことを心に留めることの大切さを証する。

 救いの計画の全体像：提案2（90-100分）

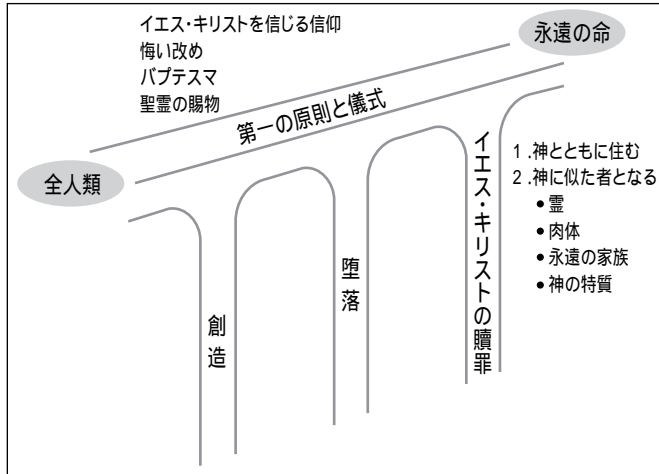
救いの計画について教えるときに、下記のような図を用いるとよい。これは救いの計画を視覚的に教えるうえでは良い方法であるが、時間的な経過を追いながら教えるという点では、提案1の方法には及ばない。



黒板にこの図を描きながら提案1に挙げられているような質問をする（配付資料として渡してもよい）。そして救いの計画のそれぞれの要素について話し合う。救いの計画の中で、わたしたちが前世、現世、来世と進んでいくことを示すために、矢印を描き加えていく。生徒たちは提案されている参照聖句の内容を調べることによって、できるかぎり質問の答えを見いだすようにする。この図をクラスルームに掲示し、1年を通してレッスンの中で使えるようにしておくといよい。

 救いの計画の全体像：提案3（60-70分）

次のような橋のイラストを用いて教えるとよい。この方法は死すべき状態（現世）の重要性を強調し、救いの計画の全体像を簡潔に示すことができる。下記のイラストを黒板か大きな紙に描く。最初は文字は書かないでよく。一緒に聖句を学ぶ。救いの計画の各要素がイラストのどの部分に当てはまるかを生徒たちが理解していくのに応じて書き込んでいく。



生徒たちに橋のイラストを見せる。次の質問をする。「橋には、どんな役割がありますか。」(橋があれば谷間を越えることができる。)生徒たちと一緒にアブラハム3:22を読む。人がこの地上に来る前にどこにいたかを説明する。次にモーセ1:39を読む。次の質問をして、生徒の理解を助ける。「天の御父が成し遂げようとしておられることはなんでしょう。」「天の御父が人を導こうとしておられる場所はどこでしょう。」「(不死不滅とは、復活して永遠に生きることを意味する。永遠の命とは、神とともに住み、神に似た者になることを意味する。「前世」280;「霊の創造」「選択の自由」281参照)橋の左端に「全人類」と書く。右端には「永遠の命」と書く。

以下の質問をする。

- 人が前世を離れて、この地上に来るように促されたのはなぜでしょうか。
- 神の霊の子供として神とともに住んでいたとき、人と、天の御父の間には、どんな「谷間」(隔たり)があったでしょうか。

人はかつては神の霊の子供として天の御父とともに住んでいたが、神に似ていない点が多くあった。生徒たちがそのことを理解できるように助ける(3ニーフアイ12:48;教義と聖約76:70;88:41;130:22;「前世」280参照)。

橋を支える柱(橋脚)は、人が神に似た者となれるように助けるために天の御父の御心によって定められたものを表している。また、柱の上にかかけ渡されている部分(橋梁)は、人に求められている事柄を表している。アブラハム3:24-27を生徒が読む。天の御父がわたしたちのために何をしてくださったかを考える。次に、なぜそれが必要だったのかについて話し合う(「選択の自由」「天上での会議と戦い」「物質的なものの創造」281参照)。最初の柱に「創造」と書く。

生徒たちに以下の質問をする。

- 2番目の柱は何を表していると思いますか。
- 地球の物質的創造の後で、アダムとエバは人がさらに天の御父に似た者となるためにある役割を果たしました。その役割とは何だったでしょうか(2ニーフアイ2:22-25;「堕落と死すべき状態」281-282参照)。

2番目の柱に「堕落」と書き、堕落によってこの世界に反対のもの、罪悪、死が入り込んできたことを簡単に説明する。

次のように質問する。「すべての事物が堕落したままの状態にとどまっていたとしたら、どうなっていたでしょうか。わたした


ちの肉体はどうなっていたでしょうか。また霊はどうなっていたでしょうか。」2ニーフアイ9:6-10を読む。わたしたちが堕落の結果として生じた状態を克服できるようにするために、神がしてくださったことについて話し合う(「贖罪」282参照)。3番目の柱が何を表しているかを生徒に聞く。その後、3番目の柱に「イエス・キリストの贖罪」と書き加える。次の質問をする。

- イエス・キリストは、わたしたちを各自の罪から贖うと約束されました。どうしてそんな約束がおできになったのでしょうか。
- どんな条件に従えば、自分の罪に対する赦しを受けられますか。生活の中で贖いの計画の祝福を受けるにはどうすればよいでしょうか(アルマ42:9-15参照)。

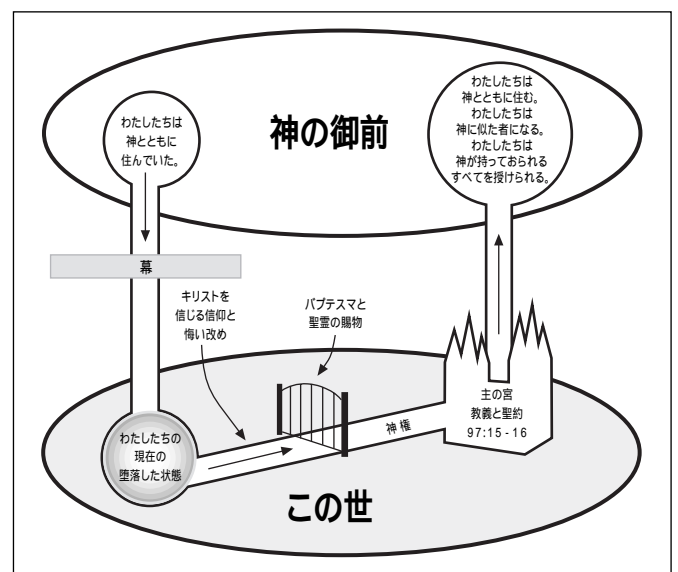
ヒラマン14:15-17を生徒が読む。贖罪がもたらす祝福の中で、どういう生き方をしたかにかかわらず、すべての人に与えられる恵みには、どんなものがあるかを考える。(復活すること、裁きを受けるために神のもとへ戻されること。)ほかに、熱心に求め、神の福音に添った生き方をする人だけに授けられる祝福もある。信仰箇条1:3-4を生徒が読む。そして、わたしたちが罪の赦しを受けて完全な者となるためになすべきことの中で、神から第一に求められている事柄を生徒が挙げる(「教会の使命と、福音の原則と儀式」282も参照せよ)。

図の中に説明を書き加える活動をここで終える。救いの計画を知っていると、何かをするように、逆にしないようにという戒めが与えられる理由がよく理解できる。そのことについてどう思うか生徒たちに質問する。

「裁き」(283)の中のボイド・K・バッカー長老の言葉を生徒たちに読み聞かせ、天の御父が御自分の子供たちのために備えられた「偉大な幸福の計画」について教師自身の証を述べる。

 救いの計画の全体像：提案4(40-45分)

次の図を各生徒に渡す配付資料、あるいはオーバーヘッドプロジェクター用資料として準備する。わたしたちはかつて神の御前に住んでいたということ(「前世」280参照)また、わたしたちがどうしてこの死すべき状態の世界(現世)に来るようになったかを復習する(「堕落と死すべき状態」281-282参照)。



生徒たちに以下の質問をする。

- 細くて狭い道はどこへ通じているのでしょうか。
- 忠実にその道に踏みとどまれるように、天の御父は何を授けてくださっているのでしょうか。

墮落した状態にとどまることの恐ろしさと、そこから抜け出すための唯一の方法とを理解させるために、生徒たちに十二使徒定員会会員オーソン・F・ホイットニー長老の次の言葉を読ませる。

「アダムのの墮落、たとえて言えば、全人類が穴の中に落ち込んでしまったということです。人間は何をしたとしても、そこから自力で抜け出す力はありません。そこを登って外に出る方法もありません。どうして登ったらよいかさえ分からないのです。しかし、一人の全知全能の友がその穴へやって来て……彼らを不幸な状態から救い出そうと申し出ました。彼は自分自身の命をもとに一つのはしごを作り、それを穴へ降ろし、『さあ、登って来なさい』と言いました。登るのを拒んだ人々は、そのまま穴の中にとどまりました。彼ら自身以外のだれを責めることができるのでしょうか。」(Conference Report, 1927年10月, 149)

キリストのの贖罪と福音の原則と儀式は死すべき状態を克服するための方法を示している。このことを理解できるように、個人的にあるいはグループで、以下の質問について考えさせる。

- 墮落した状態から導き出してくれる道とは何でしょうか。その道に入るのに、ぜひとも必要とされる第一ステップは何でしょうか(2ニーファイ31:17-19; 「教会の使命と、福音の原則と儀式」282参照)。
- 聖霊のの賜物によって墮落した状態を克服し、その道を進み続けることができます。聖霊の賜物はどんな方法で助けを与えてくれるのでしょうか。幾つか挙げてください(ヨハネ14:26; 15:26; 16:13; 3ニーファイ27:20; 教義と聖約45:56-57参照)。
- この道を定め、示してくださったのはどなたでしょうか。その道を歩み続けるには、何をしなければなりません(2ニーファイ31:19-21; 「贖罪」282参照)。

- 天の御父は人が墮落した状態から抜け出せるように儀式や聖約を定めてくださいました。それには、バプテスマの聖約のほか、どんな儀式や聖約があるのでしょうか(教義と聖約84:33-40; 131:1-4参照)。
- 神聖な聖約を交わし、忠実に聖約を守る人は、天の御父の御前に戻り、神とともに住みます。そのとき、そのような人たちは、誰に似た者となるのでしょうか(1ヨハネ3:1-4; モロナイ7:48参照)。
- わたしたちは祈るように求められています。また、バプテスマを受け、正直であり、道徳的に清い生活をするように命じられています。救いの計画を知っていると、なぜそのような戒めが与えられているかが分かります。どうしてでしょうか。
- わたしたちは薬物の乱用をしないように教えられています。また、什分の一を納め、伝道に出、神殿に参入するように命じられています。なぜそのような戒めがあるのでしょうか。救いの計画を知っていると、戒めが与えられた理由がよく理解できます。なぜだと思いますか。

上記の質問を基にした活動を終えたら、それを通して学んだことを生徒が話す。教師も、自分自身にとって救いの計画がどんな意味を持っているかを証する。救いの計画について度々深く考えるよう勤める。また、救いの計画に対する知識が、日々の生活の中で福音に忠実に生きるためにどれほど励みになるか考えるように言う。最後にヒュー・B・ブラウン副管長の次の言葉を読む。

「この教会の指導者たちは設立当初から主イエス・キリストを信じる信仰を教えてくださいました。そして、わたしたちはイエス・キリストを救い主と、贖い主として認めています。これを子供たちに教えるのは、わたしたちの義務です。……また、彼らは神の子供です。したがって、自分自身の内にある気高い霊に忠実であれと教える必要があります。」(Conference Report, 1966年9-10月, 104)

# 聖文研究のための補助資料

## 末日聖典の中の学習補助資料

1995年に教会が発行した末日聖典合本（モルモン書、教義と聖約、高価な真珠）には、聖文の研究に役立つ資料が含まれている。それらの資料を活用するなら、聖文の研究をより有意義で報いあるものにすることができる。その新しい版の聖典の発行に注がれた働きに言及して、ボイド・K・パッカー長老は次のように証している。「この事業は将来……わたしたちの世代に遂げられた、靈感による目覚ましい出来事として認識されるようになるでしょう。これによって、わたしたちは福音を理解し、主を知る末日聖徒を代々にわたって起こしていくのです。」（Bruce R. McConkie, *Apostle* [ブルース・R・マッコンキー長老の葬儀における話, 1985年4月23日], 4）

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 末日聖典の合本には、すべての聖典に対する理解を深めさせる優れた学習補助資料が含まれている。

## 教え方の提案

聖文研究のための補助資料についてのレッスンを準備するとき、以下の提案の中から適したものを選ぶ。または、自分自身が考えたアイデアを用いる。

**聖文研究のための補助資料。末日聖典の合本に載せられている学習補助資料は、聖典を最大限に活用するための助けとなる。**（40 - 45分）

教会発行の末日聖典合本の中には、聖文の研究に役立つ数多くの資料が掲載されている。以下の提案は、生徒たちにそれらの資料の効果的な活用法を教えるのに役立つであろう。

**各章の前書きと概要。**生徒は、アルマ32章の前書きのページを開く。前書きを読む。以下の点を説明する。前書きの部分では各章の重要点が強調されている。また、教義上の説明が載せられていることも多い。

指定した章の前書きを生徒が読む。その後で、以下の質問をする。

- 1ニーファイ14章 ここでは天使がニーファイに語りかけています。天使の言葉によると、どれだけ多くの教会があるのでしょうか。
- 教義と聖約88章 この章にタイトルを付けるとしたら、どんなタイトルがいいでしょうか。
- モーセ6章 アダムの子孫が書き記そうとしたのは、何の記録でしょうか。
- アブラハム3章 アブラハムは日、月、星についての知識をどうやって得たのでしょうか。

教義と聖約の各章には2種類の前書きがあることを説明する。最初の前書きにはその章の背景の説明が、また2番目の前書きには内容の要約が記されている。

**脚注。**末日聖典の脚注の例として、2ニーファイ12章を参照する。脚注にはどんな利点があるかを生徒に話す。

脚注は各節に対応している。また、一つの節に複数の脚注がある場合には番号順に配列されていることを指摘する。

- 『聖句ガイド』（GS）を表す脚注の例を幾つか示す。
- ヘブライ語の意味を説明する脚注の例を幾つか示す。
- 古語や難解な語句に対して、意味が同じ現代語や説明を加えている脚注の例を幾つか示す。

以下の質問を用いて、生徒たちに脚注の活用法を実際に体験する機会を与える。

- 警告の声は、教義と聖約1：4のほかどこにあるでしょうか（脚注4①参照）。
- 教義と聖約10：38を読む。モルモン書の失われた116ページは、何の記録から翻訳されたものだったでしょうか（脚注38①参照）。
- 教義と聖約45：42を読む。主の日の前に太陽が暗くなる理由の一つは何でしょうか（脚注42①、特に教義と聖約133：49参照）。
- 教義と聖約76：25 - 26を読む。神の前から落とされ「滅び」と呼ばれるようになった天使とは誰でしょう（脚注25①参照）。

『聖句ガイド』、『聖句ガイド』は、末日聖典合本の巻末に掲載されている一群の学習補助資料である。このガイドには、五十音順項目リスト、聖書のジョセフ・スミス訳の抜粋、地図と地名索引、史跡写真が含まれている。これらの各資料については以下に説明がなされている。（より詳細な情報については『聖句ガイド』冒頭の「序文」を参照せよ。）

**五十音順項目リスト。**『聖句ガイド』6ページから始まる五十音順の項目リストは、聖典から採り上げた何百もの項目の定義を併記した、一種の辞典である。生徒たちと一緒に、幾つかの項目についてその内容を確認してみる。そのときに以下のセクションも含めるようにする。

- 歴史年表（「年表」193 - 197）
- キリストの教会の特徴（「まことの教会のしるし」244 - 245）
- 四福音書の対観表（「福音書」220 - 227）
- 使徒パウロの手紙の分析（「パウロの手紙」201 - 203）

五十音順項目リストは、聖書を含む全標準聖典の用語索引としても使うことができる。五十音順項目リストでキーワードを見つけることにより、目指す聖句を簡単に探し出せる、ということを生徒たちに話す。また、五十音順項目リストは主題別索引という構成を取っているために、これを活用することにより、何百という福音に関するテーマを、自分自身の希望に応じて深く研究できる。以下の活動は、生徒たちが五十音順項目リストに親しむうえで有益である。

教会の集会で話をするように求められたら話してみたいと思うテーマを各生徒が選ぶ。生徒は五十音順項目リストを用いて、話の準備にどんな聖句を使うかを決める。



五十音順項目リストの中にイエス・キリストに関してどんな項目が載っているかを生徒が調べる。

五十音順項目リストの活用法に関するさらに詳細な情報については、『聖句ガイド』の序文と5ページの「使い方」を参照せよ。

聖書のジョセフ・スミス訳（抜粋）。五十音順項目リストの「ジョセフ・スミス訳（JS）」の項（133ページ）から学べる事柄を、生徒たちと分かち合う。ジョセフ・スミスが聖書に加えた変更の多くが、『聖句ガイド』の294 - 329ページに掲載されている。ジョセフ・スミス訳ヨハネ4：26とジョセフ・スミス訳1コリント15：40を参照する。生徒は預言者がどんな変更を加えているかを確認する。

末日聖典の脚注には、聖書のジョセフ・スミス訳の抜粋に対する参照の指示も含まれている。教義と聖約93：1を読む。生徒は脚注④を参照する。次に、聖書のジョセフ・スミス訳の抜粋を見る。ジョセフ・スミス訳1ヨハネ4：12の内容を確認する。次の質問をする。「この聖句のジョセフ・スミス訳には聖書だけでは分からないことが載っています。それは何でしょうか。」（神を信じる者だけが神にまみえることができる。）

聖書のジョセフ・スミス訳（抜粋）の活用法に関するより詳細な情報については、『聖句ガイド』294ページの説明文を参照せよ。

地図と地名索引。地図のセクションは『聖句ガイド』の330ページから始まる。生徒は、331ページの冒頭に書かれている地名索引の活用法の簡単な説明を参照する。地名索引には、地図上に記されている地名が五十音順に配列されている。幾つかの都市や島の位置を地図上で見つける。地図10を基に、ニューヨーク州マンチェスターのスミス家の農場からオハイオ州カートランドまで、どのくらい離れていたかを生徒が割り出す。

地図と地名索引の活用法に関するより詳細な情報については、『聖句ガイド』330 - 331ページの説明文を参照せよ。

史跡写真。『聖句ガイド』の中の、350ページから始まるこのセクションには、古代と現代における教会の史跡の写真が掲載されている。また、このセクションの最初の部分には、史跡に関する説明と聖句が掲載されている。

掲載写真の中から、生徒があまりよく知らないと思われる所の写真を何枚か見せる。それぞれがどこの史跡かを生徒が当てる。また、ヘロデの神殿の写真を見せる（掲載順4）。ヘロデの神殿に関する説明文（351ページ）を読む。そこでの3つの重要な出来事を生徒が挙げる。

史跡写真の活用法に関するより詳細な情報については、『聖句ガイド』350ページの説明文を参照せよ。

**聖文研究のための補助資料。学習補助資料を活用することによって、わたしたちは聖文への理解を増し加えることができる。（5 - 10分）**

当時七十人会員だったリチャード・G・スコット長老の次の話を紹介する。スコット長老はこの話の中で、1979年と1981年発行の英語版聖典のために準備され、現在の最新版の補助資料の基になった学習補助資料に言及し、次のように語っている。

「わたしはその新しい末日聖典の合本が中央幹部に初めて提示されたときのことを覚えています。その提示をしたのはマッコンキー長老でした。彼は1冊の本を取り上げ、

文字が印刷されていない巻末のページに書かれた手書きの文字を読みました。『ブルース・R・マッコンキーへ』と書いた後には『アメリア』（後に彼の妻となった女性の名前）とサインがあり、彼が伝道本部へ着任した日付が書き込まれていました。彼はこう言いました。『わたしはこの聖典を持って世界中に行きました。よく使ってきました。3度製本し直しました。多くの聖句について、それがどのページにあるとも言えます。』それからこう付け加えました。『それでも、わたしはもうこの本を使うことはないでしょう。この聖典には、新しい聖典の中に含まれている、聖句の研究と理解を助けてくれる教授資料も効果的な道具もありませんから。』それを聞いてわたしは心に深い感銘を受けました。その翌日、わたしはマッコンキー長老のオフィスを訪ねる機会がありました。彼は大きな机の前に座っていました。手には定規と赤鉛筆を持ち、新しい版の聖典にしるしをつけていました。聖文を深く理解している人がこの新しい版が価値あるものであると認めているのです。わたしもそれに倣おうと心に決めました。」（“Spiritual Communication,” *Principles of the Gospel in Practice*, スペリー・シンポジウム1985〔1985年〕, 18 - 19で引用）

**聖文研究のための補助資料。聖文研究のための補助資料に関連して学んだことを実際に活用できるように、生徒たちを助ける。（30 - 35分）**

生徒たちに聖文研究のための補助資料について教える。その後で、レッスンの復習として以下の活動を行う。クラスを幾つかのグループに分けるとよい。

- バプテスマに関して以下の質問をする。
  - 「バプテスマ」という言葉にはどんな意味があるでしょうか。
  - バプテスマはキリストの時代以前にも行われていました。そのことを示す証拠には何があるでしょうか。
  - イエスはなぜバプテスマをお受けになったのでしょうか。
  - バプテスマはなぜなくてはならないのでしょうか。
- 以下の各主題について述べた聖句を、生徒がそれぞれ3つずつ挙げる。
  - 終わりの時  
みたま たまもの
  - 御霊の賜物
  - 預言
  - 啓示
- 1ニーファイ8章に書かれている、リーハイの命の木の示現に関する記録を読む。また、脚注の参照聖句を用いて、以下の象徴が何を表しているかを生徒が調べる。
  - 水の流れている川
  - 鉄の棒
  - 暗黒の霧
  - 大きく広々とした建物
- モルモン書ヤコブ1：8を読む。脚注③の参照聖句を用いて、「十字架を負う」という表現が何を意味しているかを話す。

5. 以下の人物がどんな人かを調べる。聖典のどこにその名が出てくるかを確かめる。

- a. エドワード・パートリッジ
- b. イゼベル

6. 次の質問をする。「聖徒たちはニューヨーク州からグレートソルトレークへ移住しました。そのとき、聖徒たちはどの州、準州、地域を通ったでしょうか。」

# 概要と導入

## 教義と聖約の概要

### はじめに

教会教育システムの教師に向けたある講話の中で、当時十二使徒定員会の会員だったボイド・K・パッカー長老は次のように話している。

「まさしくこの初めの時に、簡潔でありながらも、非常に入念に構成されたコースの全体像を提示することには、大きな価値があります。……

このスタート時のごくわずかな時間は、コース全体に費やす時間と比較すれば非常に短い時間の投資ですが、それによって生徒たちはこのコースの中で自分がどこに位置するのか把握することができるようになります。生徒たちはコースについて何がしかの理解を得ることができるのです。そして生徒たちは、すべての要素が一つに調和することを理解すると、より多く記憶に残り、知識の光は明るい輝きをさらに増し加えます。事前に概要をつかむと全体の枠組みができ、それに投資した時間、努力に勝る価値をもたらします。」(The Great Plan of Happiness [教義と聖約および教会歴史に関するシンポジウムにおける宗教教育者への講話、ブリガム・ヤング大学、1993年8月10日]、2 - 3; または、Charge to Religious Educators, 第3版 [1994年]、113 - 114)

教義と聖約の紹介と全体像のレッスンを組み立てる。そして、それを教える時間を取る。それによって生徒たちは教義と聖約の大切さを理解するだろう。また、今年、読み、学んでいくことになる資料への期待を高めることになるだろう。教義と聖約を紹介し、全体像を見渡すことによって、教師も生徒も、イエス・キリストの神聖な使命に対する理解を深めていくことができる。

### 教義と聖約とは何か



教義と聖約は(聖書、モルモン書、高価な真珠とともに)教会の4つの「標準聖典」の一つである。換言すれば、これら4冊の書物は、会員たちが従うことを聖約している神聖な聖典として教会により受け入れられているという意味である。

十二使徒定員会会長を務めたラジャー・クローソン会長は教義と聖約の持つ価値を次のように説明した。

「わたしは今、最高に素晴らしい書物を手にしています。その価値を金銭に置き換えて評価することはできません。それは世界に存在する神聖な書物の中の一つであって、恐らくこれ以上に偉大

な書物は存在しないでしょう。それは教会の標準聖典の一つである教義と聖約です。兄弟姉妹、この書物は預言者ジョセフ・スミスを通してこの民に与えられた啓示が収められています。……これらはわたしたちにとってまぎれもなく純粋な神の言葉です。わたしたちはこの書物の教えにすぎることができます。したがって、わたしの前にあるこの書物を深く、じっくりと研究するならば、大学教育以上の知識が得られるということを皆さんは知る必要があります。わたしがなぜこのようなことを言うのかと不思議に思うかもしれませんが、しかし、大学教育では永遠の命をもたらす救いの原則を教えていませんし、教えることもできないのが事実だからです。この情報は天の御父から直接与えられています。

教義と聖約の書は救いの福音のあらゆる面を網羅しています。」(Conference Report, 1939年10月, 28)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていた時代にこのように語った。

「教義と聖約はわたしたちに与えられている聖典の中でもひととき異彩を放っています。それは教会の憲法です。教義と聖約には様々な文書や声明が載せられ、その出所も様々です。しかし、基本的には、この神権時代の預言者を通して与えられた啓示の書です。

この啓示の書の冒頭には、末日の偉大な回復の業に関する包括的な神の御心について、力強い宣言がなされています。〔教義と聖約1:1-2参照〕……

この栄えある言葉に続いて、永遠の真理の泉からの驚くべき教えが、壮大なパノラマのように繰り広げられていきます。主がその声をもって預言者に直接与えられた啓示もあれば、ジョセフ・スミスが靈感に感じるままに書き記したり、述べたりした言葉も載せられています。また様々な状況の中でジョセフ・スミスが体験した出来事についても書かれています。そして、そのすべてが一つとなって、末日聖徒イエス・キリスト教会の、非常に多くの教義と慣習を形作っているのです。……

この書に扱われている事柄の多様さには、驚嘆します。教会統治の原則や手続きがあるかと思えば、物心両面に及ぶ約束を伴う素晴らしい健康の律法も含まれています。永遠の神権の聖約についても、ほかの聖典には例のない素晴らしい記述があります。パウロが簡単に述べた三種の光栄、すなわち日と月と星の栄えに伴うそれぞれの特権と祝福、限界やすばらしい機会についても書かれています。悔い改めについても、明瞭で力強い宣言がなされています。またパプテスマの正しい執行法も明らかにされています。何世紀にもわたって神学者たちを悩ませ続けてきた神会の本質についても、万人に理解できる言葉で説明がなされています。教会運営に必要な基金の集め方、またその運用などについて与えられた主の財政の律法もあります。時代を問わず神のすべての息子、娘に祝福をもたらす、死者のための業も明らかにされています。

教義と聖約を読むと、ジョセフ・スミスが神の永遠の御心に関して完全の域に近い知識を得ていたことが分かります。」「(「神の方式と御旨」『聖徒の道』1989年8月号、2 - 3参照)

## 教義と聖約と教会歴史はなぜ大切なのか

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように述べた。

「教義と聖約は、モルモン書と、預言者ジョセフ・スミスやその後継者を通して進められてきた回復の御業を結びつけるものです。

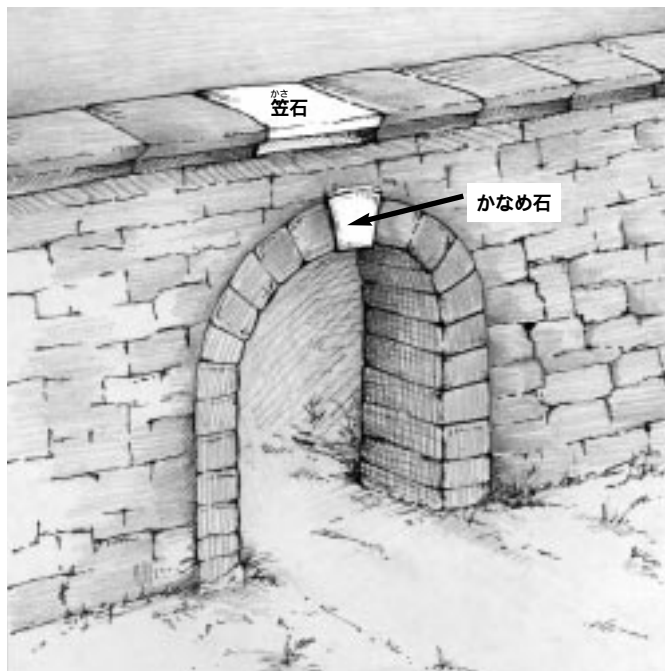
わたしたちは教義と聖約から、神殿活動、永遠の家族、栄えの階級、教会の組織、また、回復に関する数多くの偉大な真理を学ぶことができます。

主は教義と聖約について次のように言われました。『これらの戒めを調べなさい。これらは真実であり、確かであって、これらの中にある預言と約束はすべて成就するからである。

主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであって、わたしは言い逃れをしない。たとえ天地が過ぎ去っても、わたしの言葉は過ぎ去ることがなく、すべて成就する。わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。』(教義と聖約1:37-38)

モルモン書は人々をキリストのみもとへ導き、教義と聖約は神の王国、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会、『全地の面〔にある〕唯一まことの生ける教会』に人々を導きます。(30節) わたしはそのことをはっきりと理解しています。

モルモン書はわたしたちの宗教の『かなめ石』であり、教義と聖約は、末日に続けて与えられる啓示とともに、『笠石』とすることができます。主はこのかなめ石と笠石の二つに承認の印を押しておられます。」「(モルモン経と教義と聖約』『聖徒の道』1987年7月号、94-95参照)



## わたしたちは教義と聖約をどのようにして手にしたのか

「1. 1830年夏、ジョセフ・スミスはそれまでに受けていた幾つかの啓示を整えて、編纂する作業にとりかかった。

2. 1831年11月1日に開かれた大会において、『戒めの書』として1万部を印刷することが決定された。後に、印刷部数を〔わずか〕3,000部に減らすことが決定された。

3. オリバー・カウドリとジョン・ホイットマーは印刷するために、編纂された啓示を持ってミズーリ州ジャクソン郡へ行った。

4. 1833年7月20日、暴徒がW・W・フェルブス社の印刷機と印刷済みだったほとんどの啓示を破壊した。この破壊行為を免れた65章分の未完成原稿がかなりあった。

5. 1834年9月24日、オハイオ州カートランドの高等評議会において、新たに啓示集を作成することが決定された。

6. 1835年8月17日、ジョセフ・スミス、シドニー・リグドン、オリバー・カウドリ、フレデリック・G・ウィリアムズによって構成される委員会が提議した、啓示の原稿を印刷に付すことが教会の総会の承認を受けた。〔103〕章からなるこの版は『教義と聖約』と名付けられ、また1835年版として知られている。

7. 1844年6月27日、預言者ジョセフ・スミスが殉教した。111章からなる版は殉教後に印刷された。

8. 教義と聖約を136章まで拡大した次の版は〔ブリガム・ヤング大管長の指示の下でオーソン・プラット長老によって〕1876年に印刷された。この版において、啓示は節に分けられた。

9. 1921年に、以前の版に含められていた『信仰に関する講話』を除いた新しい版が出版された。この版から章の前書き、ページの2段組、改訂された脚注と索引が付された。」「(ロイ・W・ドキシ編、*Latter-day Prophets and the Doctrine and Covenants*, 第1巻〔1978年〕, xiii - xiv)

「1979年、10年間に及ぶ実に大勢の奉仕者たちの熱心な働きを通して、末日聖徒版欽定訳聖書が出版されました。この後、新しく編纂されたモルモン書〔1981年〕、教義と聖約、高価な真珠の合本が出版されました。初期の原稿が発見され、多くの印刷上の誤りを訂正できました。

……教義と聖約には、二つの啓示が追加されました。教義と聖約に収めるべき啓示はやむことがないからです。

……四大標準聖典を網羅した革新的な相互参照方式が採用され、何万という脚注からさらに何十万という情報を選択できるようになりました。

……章ごとに新しい見出しが追加されました。……

末日聖典の合本〔英文〕には、400ページ以上にわたる語句索引と教会歴史地図が付け加えられました。〔長い〕年月の中で、教会員が利用しやすいよう、聖典の編集にこれほどの努力が払われたのは、これが初めてです。

神権に関する啓示が折よくこの時期に下され、新しい版の聖典には『公式の宣言二』として収められました。これは、幕のなたから導き与えられている証拠です。」「(ボイド・K・パッカー『主の蔵書』『聖徒の道』1990年7月号、41参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に、本項でとりあげられている紹介資料を祈りの気持ちで研究する。また、原則について深く考える。

- 「教義と聖約は、モルモン書と、預言者ジョセフ・スミスやその後継者を通して進められてきた回復の御業を結びつけるものです。」（「モルモン経と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号，94参照）

## 教え方の提案

注意：割り当てられたテーマについて教える準備をするときに、以下の提案の中から適したものを選ぶ。または、自分自身が考えたアイデアを用いる。

**教義と聖約の概要。**教義と聖約は、モルモン書と、預言者ジョセフ・スミスやその後継者を通して進められてきた回復の御業を結びつけるものです。（30 - 35分）

教義と聖約を箱に入れる。それを包装しておく。教室の前の机にその箱を置く。その箱は価値のある贈り物であると生徒に言う。以下の質問をする。

- これまで受け取った中でいちばん価値のある贈り物はどんなものでしたか。
- それはなぜ価値があったのですか。
- 自分にとって価値のある贈り物を贈ったところ、相手の人があまりうれしなそうに受け取ったとしたら、どのように感じるでしょうか。

一人の生徒が箱を開ける。ほかの生徒たちにわからないようにして、その生徒が中を見る。その贈り物が価値のあるものかどうかをその生徒に聞く。教義と聖約を箱から取り出す。全員がそれを見る。以下の質問をする。

- この贈り物を下さったのはどなたでしょうか。
- この贈り物に価値があるのはなぜでしょうか。
- ある人はこの贈り物を喜んで受け取ろうとしません。なぜだと思いますか。

主から与えられたこの贈り物を開いて、一緒にその価値を見いだすよう生徒たちに勧める。教義と聖約、または教義と聖約に関連のある教会歴史の物語から、好きな教義や教えを生徒が挙げる。

エズラ・タフト・ベンソン第13代大管長が語った以下の言葉を紹介する。

「モルモン書は人々をキリストのみもとへ導き、教義と聖約は神の王国、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会に人々を導きます。」（「モルモン経と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号，95）

「教義」（イエス・キリストの福音に関する真理）と「聖約」（神に対するわたしたちの約束とわたしたちに対する神の約束）の言葉の意味について話し合う。生徒一人一人が教義と聖約から1章または1ページを選んで、教義、聖約、または戒めが記されている例を探す。見つけ出した事柄を生徒が発表する。（聖約の例として、教義と聖約38：18 - 22；66：2；78：11 - 15；82：16 - 21；84：33 - 41；97：8 - 9；98：1 - 3，13 - 16を参照）

主は教義と聖約の中で何度か、「わたしは一人に言うことをすべての者に言う」と言われた。（教義と聖約61：18。教義と聖約25：16；61：36；82：5；92：1；93：49参照）教義と聖約を研究

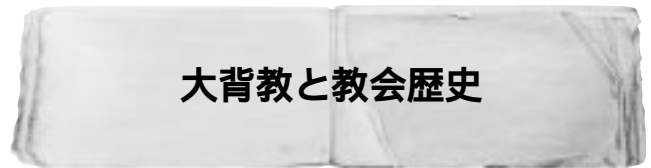
するときに、主が自分に対して語っておられるように考えながら読むよう生徒に勧める（教義と聖約1：2参照。1ニーファイ19：23も参照）。主が教義と聖約の中で個人に対して指示を与えおられる箇所を見つける（例として、教義と聖約4：2 - 3；8：1 - 2参照）。これらの指示はわたしたちにとってどのように応用できるかを生徒が説明する。

箱の中に納められた贈り物のように、教義と聖約を理解するには、実際に開いて、注意深く調べ、大切にしなければならないと生徒に言う。一人の生徒が、以下のエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を読む。

「教義と聖約は、モルモン書と、預言者ジョセフ・スミスやその後継者を通して進められてきた回復の御業を結びつけるものです。……

モルモン書はわたしたちの宗教の『かなめ石』であり、教義と聖約は、末日に続けて与えられる啓示とともに、『かさ石』と言うことができます。主はこのかなめ石とかさ石の二つに承認の印を押しておられます。」（「モルモン経と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号，94 - 95参照）

次のように質問する。「教義と聖約はどのようにベンソン大管長の言葉を成就しているのでしょうか。」誠心誠意努力し、祈りの気持ちをもって教義と聖約を研究するよう生徒に勧める。



## 大背教と教会歴史

### はじめに

#### 大背教（紀元約100 - 1820年）

イエス・キリストは、肉体をまとしてこの世においてになったとき、モーセの律法を成就するとともに、御自身の教会を設立された（3ニーファイ15：2 - 9；18：5参照）。主は亡くなって復活された後も、使徒たちを通して引き続き教会を導かれた（マタイ10：1 - 4；エペソ2：20参照）。使徒たちは主の業を継続するために必要な神権かぎの鍵を持っていた。（『時満ちる時代の教会歴史』，1 - 3参照）

キリストの弟子たちへの迫害は、キリストの死と復活後も手控えられることはなかった。紀元54 - 68年を支配したローマの皇帝ネロはこの迫害をいっそう激化させ、主の業を停滞させた。偽教師が現れ、多くの教会員が信仰を失った。最終的に使徒たちは殺害されて、神権とイエス・キリストの教会は地上から取り去られた。その結果、大背教の時代を迎えることになったのである。（2テサロニケ2：1 - 3；1テモテ4：1 - 3；『時満ちる時代の教会歴史』，3 - 5参照）

福音の教えの一部は不完全ながらも中世とルネッサンスの時代まで生き延びている。神権の権能を持たなかった宗教指導者と個々の信者には、キリストの光と断片的に残された真理以外に導きとなるものがなかった。当時の政府が認めた宗教と異なる信条

を实践した人々は、迫害されることが多かった。信教の真の自由は存在しなかったのである。（『時満ちる時代の教会歴史』、5 - 8参照）

コロンブスがアメリカ大陸に到着した後、この地に移民した多くのヨーロッパ人は信教の自由を求めてやって来た。1791年12月15日、合衆国憲法の一部として権利章典が採択された。この法律の第1章では、個人が自己の信条と望みに応じて宗教を实践する自由を宣言している。宗教に対する迫害は依然として続いたが、この文書は、キリストの教会が再び設立されるために必要とされた、信教の自由の基盤となった。それからわずか14年後の1805年12月23日、合衆国北部のバーモント州シャロンで預言者ジョセフ・スミスが誕生した。（教義と聖約101：77 - 80；ジョセフ・スミス - 歴史1：1 - 5；『時満ちる時代の教会歴史』、9 - 27参照）

## ニューヨークの時代（1820 - 1831年）

ジョセフ・スミスの家族は1816年にニューヨーク州パルマイラに転居した。少年ジョセフはどの教会が真実かを知りたいと願った。ジョセフは長い間、宗教について考え、研究し、また時間の許すかぎり様々な教会の集会に出席した。1820年の春、真理を探求してきたジョセフは、最終的に森へ入って祈ることを決意した。祈りにこたえて、父なる神と御子イエス・キリストがジョセフを訪れた。キリストはジョセフに対して真実の教会はもはや地上に存在しないことを明らかにされた。（ジョセフ・スミス - 歴史1：5 - 10、15 - 20；『時満ちる時代の教会歴史』、29 - 36参照）

1823年9月22日、モロナイという名の天使がジョセフを訪れて、神がジョセフになすべき偉大な業を備えておられることを告げた（ジョセフ・スミス - 歴史1：30 - 43参照）。4年後の1827年に、モロナイはジョセフに金版を授けた。ジョセフがその金版から翻訳したのがモルモン書である。1830年4月までに、ジョセフはパプテスマのヨハネと、ペテロ、ヤコブ、ヨハネから神権を授けられ（マタイ10：1 - 4；ジョセフ・スミス - 歴史1：68 - 73参照）、モルモン書を出版し、イエス・キリストの教会を組織した（教義と聖約20：1参照）。この時期にジョセフは靈感に基づいて聖書を翻訳する仕事に着手した。（『時満ちる時代の教会歴史』、37 - 66、117 - 118参照）

## オハイオの時代（1831 - 1838年）

1831年2月、教会はオハイオ州カートランドへ移った。カートランドは1838年まで教会の中心地となる。この期間に主は教会の教義と組織に関して多くの真理を明らかにされた（例として、教義と聖約42章参照）。教義と聖約に収められている啓示は、オハイオで啓示されたものがほかのどの地で与えられたものよりも多い（年代順に見た目次参照）。ジョセフ・スミスの聖書の翻訳作業は、1833年7月2日にほとんど完成していた。1835年に十二使徒定員会が組織され、教義と聖約が出版された。1836年には最初の神殿がカートランドにおいて建設され、奉献された。教義と聖約110章に記録されているように、重大な神権の鍵はカートランド神殿において預言者に回復されている。（『時満ちる時代の教会歴史』、89 - 125、153 - 168参照）

## ミズーリの時代（1831 - 1838年）

主は1831年に、シオンの町がミズーリ州ジャクソン郡インディペンデンスに築かれることを明らかにされた（教義と聖約57：1 - 3参照）。シオンに住むために多くの教会員がカートランドからインディペンデンスへ移動した。こうして、オハイオとミズーリの両方が聖徒たちの集合の地となった。しかしながら、ジャクソン郡に以前から定住していたモルモンでない人々と新たなモルモンの移住者との間の緊張と衝突は、日増しに高まっていった。聖徒たちに対する迫害がことのほか激しくなったため、彼らは最終的にジャクソン郡を離れなければならなかった。ミズーリのほとんどの聖徒は北へ逃れて、コールドウェルとデービス郡へ行き、ファーウエストとアダム・オンダイ・アーマンの町を築いた。ジョセフ・スミスは主の命令に従って、貧しい生活を強いられていた聖徒たちを助け、また可能であれば彼らの土地を取り戻すために、シオンの陣営と呼ばれた市民軍を率いてオハイオを出発した。シオンの陣営は土地を取り戻すことはできなかったが、価値ある訓練の機会となった。十二使徒定員会と七十人定員会が組織されたとき、そのほとんどがシオンの陣営を経験した人々だった。（『時満ちる時代の教会歴史』、105 - 112、127 - 151、181 - 192参照）

ミズーリの聖徒がこれらの迫害によって苦しんでいた時期に、オハイオの多くの教会員は背教に陥っていた。預言者ジョセフ・スミスに対する中傷がたちまち迫害と化していったのである。この背教は広い範囲に及んだため、何人かの使徒さえもジョセフ・スミスへの信頼を失い、支持しなくなった。しかし、一部の使徒は後に悔い改めている。カートランドの忠実な聖徒たちは、迫害がさらに激しさを増したため、やむなくミズーリへ移った。（『時満ちる時代の教会歴史』、169 - 180参照）

カートランドの聖徒たちがファーウエストへ移ると間もなく、ジャクソン郡に端を發した迫害の手がミズーリの各地へと飛び火していった。モルモンに関する偽りの報告を信じたミズーリ州知事が、軍隊を動員してモルモンの州外退去を命じた。このため、武力衝突が勃発した。一部の会員たちは殺害され、多くが凌辱され、打たれ、略奪され、1838年から1839年にかけての冬のさなかに住居を追われた。ジョセフとハイラム・スミス、シドニー・リグドンの大管長会全員を含む教会の指導者たちは投獄された。教会の歴史中、最も暗い時代であった。（『時満ちる時代の教会歴史』、193 - 209参照）

## イリノイの時代（1839 - 1840年）

イリノイの住民は極貧の状態にあった聖徒たちに同情を寄せ、食物や衣類、その他必要なものを与えた。預言者ジョセフ・スミスがイリノイ州クインシーの聖徒たちに合流したのは、5か月近くリバティーの監獄に勾留された後に保釈された、1839年4月22日のことだった。ジョセフはワシントンD.C.に赴いて、合衆国大統領マーティン・バンビューレンと会い、ミズーリで聖徒たちが受けた残虐な行為に対して法の執行を要請した。しかし大統領は、とかく問題の多かったモルモンを支援することによって自分に招く政治的な結果を恐れたため、支援を拒否した。（『時満ちる時代の教会歴史』、219 - 222参照）

預言者がワシントンへ旅立つ前に、聖徒たちはイリノイ州コーマスで、蚊のはびこる沼地を購入した。彼らは沼地を干拓すると、ノーブー市の建設にとりかかった。聖徒たちがノーブーに住んで

いた時期に、使徒たちは福音を<sup>の</sup>宣べ伝えるために英国諸島に派遣された。十二使徒の一人であったオーソン・ハイドは、ユダヤ人の帰還の地として聖地を奉獻する特別の召しを受けた。またこの時期にジョセフ・スミスは死者のためのバプテスマとエンダウメントを実施し、ノーブー神殿の建設を指示した。ジョセフは扶助協会を組織し、アブラハム書を出版し、教義と聖約132章を記録した。(主はこの章で、永遠の結婚の原則を啓示し、教会の一部の男性に複数の妻を持つよう命じられた。後に主は教会の男性に対して、一人の妻だけを持つように命じられた。ふさわしい聖徒たちは、現在も全世界の神殿において永遠の結婚をすることができる。)

数千人の改宗者が教会に加わり、ノーブーへ移住してきた。一時期、ノーブーの人口と経済はシカゴに匹敵するまでに発展した。ノーブーとその周辺地域に約1万5,000人が住んだため、ハンコック郡は国内で最も多くの人口を持つ郡となった。この時期は初期の教会歴史中、最も幸福な時期の一つに数えられている。しかし、聖徒たちが繁栄して政治的な力が強大になると、イリノイ州内の周辺地域から恐れやねたみ、悪感情が生まれるようになった。(『時満ちる時代の教会歴史』, 211 - 266参照)

預言者ジョセフ・スミスは合衆国大統領候補として出馬した人々に手紙を書いて、ミズーリで損失を被った聖徒たちをどのように支援するつもりかを質問した。教会が望むような支援を約束する候補者は一人もいなかったため、ジョセフは1844年1月に大統領候補として教会員の推薦を受けることになった。ジョセフはパンフレットを刊行した。また、福音を宣べ伝え、選挙運動を展開するために神権者を組織した。(『時満ちる時代の教会歴史』, 269 - 270参照)

ジョセフの生涯に必ずついてまわった教会の敵はまたもや、偽りの嫌疑をかけたり、逮捕状を出させたりして預言者を悩ました。イリノイにおいて聖徒への敵対行為が急増し、預言者は何度も身を隠さなければならなかった。1844年6月にノーブーの市長であった預言者ジョセフと市議会は、反モルモン新聞が市民を中傷していること、またこれが聖徒に対する暴徒の活動を刺激する恐れがあることについて論議を交わすために会合を開いた。議会が公共の迷惑として同新聞の発行禁止を命じると、イリノイ州知事は裁判で審議するためイリノイ州カーセージへ出頭するようジョセフに命じた。知事は身柄の保護を約束したが、教義と聖約135章1から7節に記されているように、預言者ジョセフと兄のハイラムはカーセージで暴徒によって殺害された。(『時満ちる時代の教会歴史』, 270 - 285参照)

ジョセフとハイラムの死を嘆き悲しんだ後、多くの教会員は、次にだれが教会を導くのかという疑問を抱いていた。1844年8月8日、教会はこの点について話し合うために公の集会を開いた。シドニー・リグドンは自分が教会の新しい指導者となる根拠について演説した。ブリガム・ヤングも演説した。そのとき主は聖徒に対して霊的な現れを示された。会衆の多くはブリガム・ヤングが変貌するのを目にした。ブリガムの声と態度と表情は預言者ジョセフと瓜二つになったのである。ほとんどの聖徒はブリガムを指導者として受け入れた。ブリガムはその後3年間、十二使徒定員会会長として教会を導き、1847年12月に大管長として支持され、聖任された。(『時満ちる時代の教会歴史』, 286 - 296, 334 - 335参照)

迫害はさらに激化していたにもかかわらず、ブリガム・ヤング大管長の指導の下、教会はノーブーで成長を続けた。七十人定員会が拡大され、多くの宣教師が召された。そして1845年12月に教会員はノーブー神殿においてエンダウメントを受け始めた。それからわずか2か月後の1846年2月、聖徒たちはノーブーを離れて、アイオワを経由してロッキー山脈を目指した。(『時満ちる時代の教会歴史』, 297 - 307参照)

## ウィンタークォーターズの時代(1846 - 1847年)

1846年の冬と春に聖徒たちはガーデングローブ、マウントピスガ、カウシルブラフスなどの野営地を築きながら、アイオワ州を横断する旅に出発した。これらの野営地で聖徒たちの最初のグループは小さな丸太小屋を建て、穀物を植え付けてから前進した。後続のグループはその施設を利用し、穀物を一部収穫し、さらに穀物を植え付けてから、前進を続けた。(『時満ちる時代の教会歴史』, 309 - 321参照)

1846年7月に合衆国政府はメキシコとの戦争に500名の末日聖徒の志願兵を徴募することを要請してきた。多くの教会員にとってこれは大きな重荷であった。彼らは合衆国の最果ての地を追われたばかりだったからである。ブリガム・ヤングは、これによって男性たちは家族を離れなければならないが、聖徒の忠誠心を表し、西部への旅に必要な金銭と衣類を手に入れられることから、受け入れるよう聖徒たちに勧告した。モルモン大隊はカリフォルニアまで3,300キロメートル以上を行軍した。これは合衆国史上、軍隊による最長距離の行軍だったと考えられている。しかし、大隊は戦争で砲火を交えることは一度もなかった。(『時満ちる時代の教会歴史』, 315 - 316, 323 - 326参照)

聖徒は1846年から1847年にかけての冬を、ウィンタークォーターズと名付けたネブラスカの野営地で過ごし、西部への旅の準備をした。荷車を造り、食糧を集め、牛馬を買い求めた。ロッキー山脈へのルートを開くために143名の男性、3名の女性、2名の子供からなる最初のグループが召された。このグループには機械工、牛馬の御者、狩猟家、かじ職人、その他多くの有用な技術職を経験した人々が加わっていた。未開の準州を3か月間、1,600キロメートル旅した後の1847年7月24日、ブリガム・ヤングの先発隊はソルトレーク盆地に到着した。(『時満ちる時代の教会歴史』, 329 - 333参照)

## ユタの時代(1847年 - 現在)

開拓者は直ちに穀物を植えて、市の建設に着手した。到着してわずか3日後にブリガム・ヤングは神殿の建設用地を指定した。1847年に合計11の隊とミシシッピを経由して来た一団の会員たち、さらにモルモン大隊の兵士たちが盆地に到着して、総勢2,095名となった。霜や干ばつ、穀物を食い荒らすクリケットの襲来などによってソルトレーク盆地で生きていくことは決して安易なことではなかった。(『時満ちる時代の教会歴史』, 328 - 329, 333 - 334, 337 - 351参照)

ブリガム・ヤングは1847年から1857年までの間に、西部山間地域に100以上の居住地を築いた。その多くはソルトレーク・シティーからカリフォルニア州サンバーナーディーノへ向かって南西に連なっていた。太平洋からの移民の安全を確保するためであった。(『時満ちる時代の教会歴史』, 361 - 367参照)

聖徒たちはヨーロッパ、太平洋、合衆国東部からユタへ集合した。1856年にヤング大管長は旅費の負担を軽減するために、牛馬の引く荷車に乗ったり、そのそばを歩いたりするよりむしろ、荷物を載せた手車を引いて移動する方法をとることにした。1856年から1860年までに、3,000名近くの人々が構成された10の手車隊がソルトレーク盆地に到着した。ほとんどの隊は大きな苦難もなく到着したが、1856年、ウィリー隊とマーティン隊は出発した時期が遅く、さらに降雪の時期が早かったために大きな損失を被った。これらの隊の200名以上の人々が飢えと疲労、寒さのために命を落とした。恐らく合衆国移民史上、これ以上の惨事はなかったと思われる。聖徒たちは大陸横断鉄道が完成した1869年まで手車隊や牛馬隊を編成して大平原を横断した。(『時満ちる時代の教会歴史』, 326 - 328, 356 - 361, 387 - 390参照)

この時期に教会は、合衆国東部諸州の新聞の悪意の宣伝活動や背教者たちによるチャレンジに直面していた。ほかには合衆国軍による接収や過酷な環境における居住地の開発に伴うチャレンジなどもあった。(『時満ちる時代の教会歴史』, 368 - 390参照) プリガム・ヤング大管長は1867年にエライザ・R・スノーを召して、扶助協会を再組織した。同年には日曜学校プログラムが組織され、預言者の塾が再び組織され、またソルトレーク・シティーのテンプルスクウェアにタバナクルが完成した。若い女性プログラムの前身が1869年に組織され、1875年には若い男性プログラムの前身が設置された。初等協会は1878年に組織された。(『時満ちる時代の教会歴史』, 393 - 414参照)

1877年に西部最初の神殿であるユタ州セントジョージ神殿が奉献された。聖徒たちは1855年以来、ソルトレーク・シティーのエンダウメント・ハウスにおいて自身のエンダウメントを受けることができたが、死者のためのエンダウメントが最初に執行されたのはセントジョージ神殿である。その後、ユタ州ローガン(1884年)、ユタ州マントイ(1888年)、ソルトレーク・シティー(1893年)で神殿が完成した。教会はこの時期にユタ系図協会を設立した。そして死者のための業が盛んに行われるようになった。(『時満ちる時代の教会歴史』, 414 - 416, 435 - 437, 443 - 449参照)

1877年8月29日、プリガム・ヤング大管長は他界した。教会の指導者を33年以上にわたって務めた彼の在任期間は歴代大管長の中で最も長い。(『時満ちる時代の教会歴史』, 418 - 420参照) 次の大管長にはジョン・テラーが支持され、他界する1887年まで務めた。教会歴史におけるこの10年間は激しい迫害を受けた時期という特徴を持つ。多妻結婚に焦点を絞った反モルモンのメディアキャンペーンが引き金の一部となって、合衆国議会は多妻結婚を法律に違反する行為として禁じるために幾つかの法律を制定した。ほとんどが男性だったが、わずかな数の女性をも交えた1,000人を超える人々が投獄された。また教会指導者を含むその他多くの人々が身を隠さざるをえなくなった。1889年にウィルフォード・ウッドラフは第4代大管長として支持された。1年後の1890年に主は多妻結婚の実施を廃止された。(公式の宣言一; 『時満ちる時代の教会歴史』, 422 - 441参照)

## 全世界に広がる教会(1890年代 - 現在)

教会の指導者は1890年代から、聖徒たちに対して故郷にとどまって、教会を築くよう奨励し始めた。この方針は1906年、ジョセフ・F・スミス大管長が預言者として初めてヨーロッパを訪問した際に再確認された。教会は1885年にメキシコ、1887年にカナダにそれぞれ移民地を築いていた。1901年にヒーバー・J・グラン

トは日本で伝道活動を開始した。1920年に、当時十二使徒定員会会員だったデビッド・O・マッケイ長老は全世界の会員の状態を正しく理解することを目的として、世界旅行を実施した。(『時満ちる時代の教会歴史』, 422, 459 - 462, 489 - 491, 499 - 502参照)

1900年代初頭を迎えると、社会が教会を容認しようとする風潮が合衆国において高まったために、聖徒たちは恩恵を受けることになった。教会はジョセフ・F・スミス大管長(1901 - 1918年)の指導の下で、教育に再び力を入れ始めた。スミス大管長が先頭に立ってこの事業を推進した。また、ジェームズ・E・タルメージ長老やジョン・A・ウィットウォー長老などは、聖徒たちが王国の教義の理解を深めることができるような書物を出版した。(『時満ちる時代の教会歴史』, 486 - 493参照)このような教育への熱意はやがてリリースタイム・セミナリープログラムの実施へと発展し、1912年にソルトレーク・シティー地域においてグラナイト高校に隣接した建物で、最初のセミナリーが開始された。最初のインスティテュートは1926年アイダホ州のモスコで開かれた。早朝セミナリープログラムは1950年、家庭学習セミナリーは1966年に始められた。(『時満ちる時代の教会歴史』, 495 - 508, 550, 556 - 560参照)

教会の会員数が100万人に到達したのはジョージ・アルバート・スミスが大管長を務めていた1947年のことである。デビッド・O・マッケイ大管長(1951 - 1970年)が管理する時代に合衆国とカナダ以外の国に初めて神殿が建てられた。1975年にスペンサー・W・キンボール大管長(1973 - 1985年)は発展する教会の必要を満たすために、教会の第三管理定員会として七十人第一定員会を組織した。1976年に二つの啓示(後に教義と聖約137, 138章となる)が教会の支持を受けて、高価な真珠に加えられた。キンボール大管長は1978年に一つの啓示を受けた。それによって、教会のすべてのふさわしい男性会員は人種や皮膚の色にかかわらず神権を受けることができるようになった。(公式の宣言二参照)

教会は1979年に、新しく、利用価値の高い学習資料の付いた英語版の聖書を新たに刊行した。2年後に教会は同様の学習資料が付いた英語版の合本を刊行した。このとき、137章と138章は高価な真珠から教義と聖約に移された。(『時満ちる時代の教会歴史』, 492 - 493, 588 - 589参照)続いてほかの言語でも同様の改訂版が刊行された。1985年にキンボール大管長が他界したとき、モルモン書は70以上の言語に翻訳されていた。エズラ・タフト・ベンソン大管長が預言者を務めていた1989年に、教会員数は700万人に到達した。この成長に対応するために七十人第二定員会が組織された。(「教会役員の支持」『聖徒の道』1989年7月号, 19参照)ゴードン・B・ヒンクレイ大管長(1995 - )が教会を管理する期間に、教会は歴史を通じてかつて経験したことのないメディアからの好意的な注目を受けている。1997年、ヒンクレイ大管長は多数の小規模の神殿を全世界に建設することを発表した(「神殿、改宗者の定着、伝道活動について」『聖徒の道』1998年1月号, 57 - 58参照)

回復のメッセージとは、預言者ジョセフ・スミスを通して主が御自身の神権と教会を地上に回復されたことを指している。この神権の力は預言者から預言者へと受け継がれて、現在も地上に存在している。福音は「あらゆる大陸を貫き、あらゆる地方に至り、あらゆる国々に広まり、あらゆる者の耳に達し、神の目的は成し遂げられるであろう。かくして、大いなるエホバは御業は成ったと告げられる。」その時まで、教会は成長することであろう。(History of the Church, 第4巻, 540)




## 学び取るべき重要な福音の原則

- 歴史的な背景を理解しながら教義と聖約の各章を研究することによって、さらに教義と聖約への理解を深めることができる。
- 教会の過去の出来事を理解することによって、教会が将来進む方向に対して準備をすることができる。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会の会員としての役割を果たすために、わたしたちが歴史の中でどのような立場に置かれているかを理解することは有益である。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, v - 12.
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 1 - 3.

## 教え方の提案

 教会歴史の概要を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』2「大背教」(16:46)と3「教会歴史の概要」(10:30)を使うことができる(教え方については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』)を参照する)。

**教会歴史の概要。歴史的な背景を理解しながら教義と聖約の各章を研究することによって、教会が将来進む方向に対して準備をすることができる。(25 - 30分)**

次のように言う。「うっそうとした大きな森の中で迷子になったと仮定してください。前方の視界は10メートルほどしかありません。自分の位置を確認するために、一度だけ、どの方向にも1,000メートル移動する力が与えられたとします。1,000メートル移動して位置を確かめたら、また元の場所に戻ってくるようになります。あなたはどの方向に移動しますか。それはなぜでしょうか。」もしだれも提案しなければ、真上に1,000メートル移動することの利点を指摘する。「全体像」をとらえることの大切さについて話し合う。今日は教会歴史の全体像を見ることになると言う。

以下の予備テストを活用することを検討する。初期の教会歴史において主要な5つの地域を黒板に書く。(あるいは、生徒が紙に筆記する。) ニューヨーク、オハイオ、ミズーリ、イリノイ、ユタ。あなたが今日レッスンで話し合いたいと思う出来事について、以下のような質問をする。

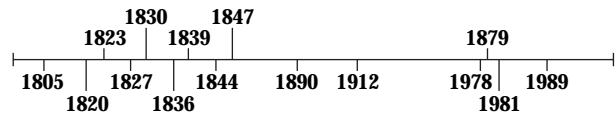
- ジョセフ・スミスはどこで最初の示現を受けたでしょうか。
- 最初の神殿はどこに建てられたでしょうか。
- 教会はいつどこで組織されたでしょうか。

あなたが望むなら、あなたの住んでいる地域を教会歴史の第6の地域に含める。そして、地域の教会歴史に関する質問を加える。

答案用紙をそのまま持っておき、今日のレッスンで学ぶ事柄に基づいて解答を変えてもよいと生徒に言う。前述の教会歴史の紹介資料(16 - 19)を提示する。また、あなたの地域の教会歴史について紹介したいと思う事実を提示する。

資料を整理するために一覧表を作成してもよい。模造紙を使って、以下のように、教会歴史の概要で紹介されている主な出来事

を年代順に列挙する。(配布資料として年代のみを記した表を配ってもよい。)



教会歴史の概要に記されている資料を基にして、年表のそれぞれの年に該当する出来事を生徒が記入する。この一年、年表を保存しておく。(あるいは、配布資料を保存しておく。)そして、生徒は各出来事や啓示が「全体像」の中でどんな位置を占めているかを確かめる際に参照する。

このレッスンで取り上げる多くの場所は生徒になじみがないと思われる。合本の巻末に挿入されている地図からそれらの場所を見つける。そして、なじみ深いものとなるよう生徒を助ける。

このような概要は教義と聖約の内容を把握するうえで役立つ。そのことを生徒が理解できるよう助ける。教会歴史の概要から最後の段落を紹介する。歴史的な背景を理解しながら教義と聖約の各章を研究することによって、教会が将来進む方向に対して準備をすることができることを説明する。さらに、教会においてわたしたちがどんな役割を担っているか、どんな立場にいるかを理解するうえでも助けになる。



## はじめに

「『教義と聖約という』名称が示しているように、……この聖典には教義と聖約が収められている。『教義』とは『教え』、『指導』という意味である。さらに限定して言えば、信じるべき真理としての教え、という意味であって、教訓(つまり、規則)とは別個のものである。『教義』は信条をさし、『教訓』は行動をさす。

主は教義と聖約の中で、神会、教会、神権、福千年、復活、人が死んだ後の永遠の栄えにおける状態、あるいは栄えのない状態に関する信条について、そのほか正しい情報を知る必要のある多くの事柄に関して教えておられる。



『聖約』という語は、神と神の民との間で定められている約束事を指すときに、神が用いられる言葉である。……

……この聖約の本質は神の言葉が収められたこのかけがえのない書物の中で明らかにされている。聖約は、わたしたちがバプテスマにおいてどのような義務を引き受けたか、また、どのような祝福が約束されているかを教えている。また、聖餐せいさんを受けることによってどのような聖約を新たにし、その儀式によってどのような約束が与えられるかを明らかにする。一言で言えば、聖約とは、御霊とまことをもって神を礼拝する方法を教え、わたしたちに神のみ前に戻るために開かれた道を示すものなのである。」(ハイラム・M・スミスとジャン・M・ショダール、*The Doctrine and Covenants Commentary*, 改訂版(1972年), xiii - xv)

預言者ジョセフ・スミスは、教義と聖約は「この終わりの時における教会の基であり、世に益かえをもたらすものであって、わたしたちの救い主の王国の奥義の鍵が再び人に託されたことを示すものである。……したがって、その大会のときに教会員は、啓示集が会員にとって全地の宝ほどの価値があることを承認したのである」と教えた(*History of the Church*, 第1巻, 235. 教義と聖約70章の前書きも参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教義と聖約にはイエス・キリストの回復された教会にとって必要な神の啓示、戒め、教義、聖約が収められている。

## 教え方の提案

**教義と聖約のタイトルページ。教義と聖約にはイエス・キリストの回復された教会にとって必要な神の啓示、戒め、教義、聖約が収められている。(10 - 15分)**

生徒にあまりなじみのないような本を数冊クラスに持参する。それぞれの書名を読みあげる。そして、どんな内容の書物かを生徒に聞く。黒板に「教義と聖約」と書く。以下の質問をする。

- この書名から書物の内容についてどんなことが分かるでしょうか。
- 教義とはどんな意味ですか。
- 聖約とはどんな意味ですか。

上記の「はじめに」に記されている情報を使いながら、「教義」と「聖約」の意味を生徒が定義するのを助ける。教義と聖約のタイトルページを生徒が読む。次のように質問する。「この聖典に記されている啓示を受けたのはだれでしょう。」教義と聖約1章の前書きを読む。以下の質問について話し合う。

- この書物には教義と聖約のほかに何が記されているでしょうか。(戒め)
- 本当の教義を理解することはなぜ大切なのでしょうか。
- 聖約は生活の中でどんな価値がありますか。
- 神の戒めを理解すると、どんな祝福があるのでしょうか。

教義と聖約の序文の第8段落を生徒が読む。この段落に列挙されている教義と聖約中の教義、聖約、戒めを生徒がいくつか黒板に書き出す。

もし時間が許せば、以下の活動をする。教義と聖約の中から幾つかの章を選ぶ(例えば、20, 38, 82, 131章)。これらの章にざっと目を通す。生徒はそこから教義、聖約、戒めを探す。その幾つかを生徒が挙げる。



## 教義と聖約の序文

### はじめに

教義と聖約の序文は教義と聖約の内容、目的、出版に至った経緯を、読者が理解できるように助けることを目的として記されている。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長時代に次のように記した。「教会が組織されて間もなく、教会員はそれまでに与えられた啓示の写しを手に入れることを望んだ。1830年の夏に預言者は神の戒めを受けて啓示を写し始めた。明らかに啓示をまとめて出版しようと準備していたのであった。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編、全3巻、第3巻: 172) 1831年11月1日、オハイオ州ハイラムで開かれた大会において教会の指導者たちは、預言者ジョセフ・スミスの啓示の多くを集めて出版することを決議した。これらの啓示を出版することによって、教会は啓示の正確な写しを作成して広く会員に配布することが可能となった。主はこの計画を承認して、この書の初めに挿入する啓示を預言者に与えられた。(教義と聖約1章前書き参照。教義と聖約1:6も参照)

集められた啓示の最初の版は『戒めの書』という書名のもとに1833年にミズーリで印刷された。作業が完成する前に暴徒によって印刷機が壊されたため、難を逃れたのは裁断し製本する前の数冊にすぎなかった(『時満ちる神権時代の教会歴史』, 133 - 134参照)。1835年に、教会は幾つかの啓示を加えて、教義と聖約という書名で新しい版を出版した。この版には103の章と『信仰に関する講話』と題する一連の教義の説明からなっていた。それ以降、教会の大管長たちは多くの啓示を受けてきた。その多くは教義と聖約に加えられている。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教義と聖約は、神が引き続き人に語りかけておられること、神が生ける預言者を通して御自身の教会を導いておられることあかしの証である。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 118 - 119, 158 - 159。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 1 - 3。

## 教え方の提案

**教義と聖約の序文。**教義と聖約は、神が引き続き人に語りかけておられること、神が生ける預言者を通して御自身の教会を導いておられることの証である。(20 - 25分)

生徒が大好きな声の持ち主について考える。または、多くの生徒が知っている人の声の録音を聞く。以下の質問について話し合う。

- その声を聞いて、その人だと気づくのは簡単ですか。それはなぜですか。
- あなたはその声のどこが好きですか。
- その声はどんな語ですか。

教義と聖約の序文の最初から第3段落までを生徒が読む。以下の質問について話し合う。

- 教義と聖約が聞くように勧めているのは、だれの声でしょうか。
- 救い主の声を聞くにはどうすればよいでしょうか。(主の啓示を通して；教義と聖約18：34 - 36参照)
- 序文では救い主の声はどんな声だと説明しているでしょうか。(「優しい、それでいて確固とした声」)
- この説明から救い主について何が分かりますか。
- 救い主は終わりの時にわたしたちに向かって語られます。これらの段落によればその理由は何でしょうか。
- 第2段落によれば、救い主の代弁者はだれでしょうか。
- 教義と聖約1：37 - 38を読んでください。救い主の声についてどんなことがわかりますか。

主の声を理解して従うことができた経験を分かち合う。今年、教義と聖約を研究する間、主の声に耳を傾けて従うよう生徒に勧める。エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を分かち合う。

「モルモン書は人々をキリストのみもとへ導き、教義と聖約はキリストの王国……に人々を導きます。……」

モルモン書はわたしたちの宗教の『かなめ石』であり、教義と聖約は、末日に続けて与えられる啓示とともに、『かさ石』と言うことができます。」「(「モルモン経と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号、95)

序文から十二使徒の証を生徒が読む。そして、この聖典が真実であることについてあなたの証を述べる。



### 年代順に見た目次

## はじめに

教義と聖約には様々な情報が記されている。まず、教会の組織に関する情報(教義と聖約20章；42章参照)や個人に向けて与

られた指示(教義と聖約4；14 - 16参照)が含まれている。幾つかの章は世に対する警告(教義と聖約1章参照)、示現(教義と聖約76章；110章参照)、預言(教義と聖約87章；121章参照)、手紙(教義と聖約127章 - 128章参照)、祈り(教義と聖約65章；109章参照)、聖文に関する質問の答え(教義と聖約77章；113章参照)、信条の宣言(教義と聖約134章；公式の宣言一参照)、集会の議事録(教義と聖約102章参照)が記録されている。さらに、大管長としてジョセフ・スミスを後継した預言者たちが受けた3つの啓示が収められている。(教義と聖約135章 - 136章；138章参照)年代順に見た目次は教義と聖約の各章がいつ、どこで与えられたかを示している。

十二使徒定員会会員であったジョン・A・ウィットナー長老はこのように説明した。

「第一に記憶すべきことは、教義と聖約の書に収められている啓示は、質問に対する回答であるということである。これを頭に入れておくならば、理解しやすいであろう。……」

……教会の歴史をひもといてみると、預言者は『わたしは主に尋ねた』と述べていることに気づくであろう。その後には啓示が与えられている。一つ一つの啓示は、質問に対する答えが主要な部分となっている。……このことは教義と聖約の文体に幾分ばらつきがあることを説明している。それぞれの啓示は特定の質問に対する回答であるため、いずれのテーマについても順序だった展開とはなっていないのである。質問を知っていれば、理解を補う資料として与えられた啓示の意味がもっとよく理解できることであろう。……啓示を下された全知なる御方は計画全体を把握しておられた。しかし、求めに応じて、断片的に教会に対して与えられたのである。』(The Message of the Doctrine and Covenants [1969年], 4 - 6)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教義と聖約はイエス・キリストについてのもう一つの証<sup>あかし</sup>であって、キリストから与えられた啓示が収められている。

## 教え方の提案

**年代順に見た目次。**教義と聖約はイエス・キリストについてのもう一つの証<sup>あかし</sup>であって、キリストから与えられた啓示が収められている。(10 - 15分)

年代順に見た目次のページを開く。以下の質問をする。

- 教義と聖約の何章が最初に挙げられているでしょうか。
- 教義と聖約2章が最初に挙げられています。なぜでしょうか。(年代順であるため)
- 教義と聖約1章はいつ、どこで受けたのでしょうか。
- この年代順による目次はどんなときに役立つでしょうか。

教義と聖約に収められている啓示は場所によって分類することもできることを生徒に言う。教義と聖約中の啓示を受けた合衆国内の州を地図から探す。合本の巻末にある地図を開く。そして、ニューヨーク、オハイオ、ミズーリ、イリノイを確認する。教会歴史中の様々な時期に、教会の本部がこれらの場所に置かれていたことを説明する。

上記の「はじめに」に記されている情報を分かち合う。教義と聖約に加えられないかもしれないが、啓示は今日も続いているこ

とを証する。<sup>あかし</sup>標準聖典以外で、靈感によって書かれた預言者の記事にはどんなものがあるかを生徒に質問する。(『リアホナ』の大会特集号、パンフレット『若人の強さのために』、教会機関紙の記事などの答えが考えられる。)

# ニューヨークとペンシルベニアの時代



## はじめに

1838年にジョセフ・スミスは公式の歴史を編纂する作業に着手した。この記録は1842年の新聞『タイムズ・アンド・シーズンズ』(Times and Seasons)に掲載され、後に出版された全7巻の『ヒストリー・オブ・ザ・チャーチ』(History of the Church)の一部となった。ジョセフ・スミス - 歴史はこの歴史から抜粋されたもので、1851年に高価な真珠の一部として出版された。高価な真珠が聖典として教会から受け入れられたのは1880年10月の総大会である。(高価な真珠の序文参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に、本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し、また採り上げられている原則について深く考える。

- 神からの啓示を受けるには祈り、深く考え、聖文を研究することが助けになる(ジョセフ・スミス - 歴史1:11 - 17参照。ヤコブの手紙1:5も参照)。
- サタンは人の霊と神の業を滅ぼすことを求めている(ジョセフ・スミス - 歴史1:15 - 16, 21 - 25, 60 - 61参照。2ニーファイ28:19 - 23; 教義と聖約76:25 - 29; モーセ4:3も参照)。
- 父なる神と御子イエス・キリストは生きておられる。御二方は別個の御方であって、栄光を持ち、昇栄した御方であり、サタンを含む万物を支配する力を持っておられる(ジョセフ・スミス - 歴史1:16 - 18参照。教義と聖約130:22も参照)。
- 父なる神と御子イエス・キリストはジョセフ・スミスを訪れて、ジョセフに語られた(ジョセフ・スミス - 歴史1:14 - 20, 25参照)。
- ジョセフ・スミスが最初の示現を受けた当時(1820年)、イエス・キリストのまことの教会は地上に存在しなかった(ジョセフ・スミス - 歴史1:18 - 20参照。2テサロニケ2:1 - 3も参照)。
- ジョセフ・スミスは天使から金版を受け取って、神の賜物と力によってそれを翻訳した。その翻訳であるモルモン書には古代アメリカの住民に与えられたイエス・キリストの完全な福音が収められており、回復の中核をなしている(ジョセフ・スミス - 歴史1:30 - 35, 50 - 52, 62参照。教義と聖約20:8 - 10も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 29 - 66。
- 『高価な真珠生徒用資料 - 宗教327』, 55 - 67。

## 教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに、以下の提案の中から適したものを選ぶ。または、自分自身が考えたアイデアを用いる。

ジョセフ・スミス - 歴史1:1 - 6。ジョセフ・スミス - 歴史には預言者ジョセフ・スミスに関して背景となる情報が記されている。(20 - 25分)

生徒に日記が家族の歴史書を見せる。その中から一つの物語を紹介する。以下の質問をする。

- 皆さんの中で日記が個人の歴史をつけている人はいますか。
- 人はなぜ人生の記録をつけるのでしょうか。
- 日記や家族の記録をつけるとどんな祝福が得られるのでしょうか。

高価な真珠には預言者ジョセフ・スミスの初期の経験について非常に大切な説明が収められていることを説明する。ジョセフ・スミス - 歴史1:1 - 2を生徒が読む。それから以下の質問をする。

- この物語は何年から始まっているのでしょうか。
- ここには、ジョセフ・スミスがこの歴史を書いた理由が載っています。それは何ですか。

ジョセフ・スミス - 歴史1:3を読む。ジョセフ・スミスの出生地と家族がニューヨークに移ったことに関する情報を見つける。ジョセフの少年時代の生活から幾つかの話を紹介する(『時満ちる時代の教会歴史』, 19 - 25参照)。以下の質問をする。

- 主はスミス家をニューヨークまで導いておられました。その証拠は何でしょうか。
- 主は幼いときからジョセフを守られました。どんなエピソードがあるのでしょうか。

ジョセフ・スミスの祖父アサエル・スミスについて、預言者のいとこであるジョージ・A・スミスが述べた以下の言葉を読む。「神は自分の家族のある枝を起こして人類のために大いなる利益をもたらしてくださる。そのことをずっと前から知っていたと老紳士は言った。」(リチャード・ロイド・アンダーセン, Joseph Smith's New England Heritage [1971年], 112で引用。History of the Church, 第2巻, 443も参照。)

ジョセフ・スミス - 歴史1:4を読む。ジョセフ・スミスの家には子供たちが何人いたかを調べる。『時満ちる時代の教会歴史』(21ページ)から「ジョセフ・スミス・シニアとルーシー・マック・スミスの子供たち」の一覧表を見せる。ジョセフ・スミスは家族の中で3番目の男の子であったが、「ジョセフ」という名を受けよう選ばれていたことに注目する(訳注：欧米では一般的に長男が父親の名前を受け継ぐことが多い)。2ニーファイ3:14 - 15を読む。次のように質問する。「ジョセフ・スミスの名前にはある大切な意味があります。それは何でしょうか。」ジョセフ・スミス - 歴史1:33を読む。次のように質問する。「回復の業を行うためにジョセフ・スミスが選ばれました。だれが選んだのでしょうか。」

教義と聖約138:53 - 56を読む。ジョセフ・スミスについて何が分かるかを生徒に聞く。プリガム・ヤング大管長が語った以下

の言葉を分かち合う。

「地の基が置かれるはるか以前に永遠の事柄についての会議が開かれました。そこで、彼すなわちジョセフ・スミスに特別な役割が与えられました。この世界の最後の神権時代に神の言葉をもたらし、神の御子の神権のすべての鍵と力を受けることが定められたのです。主は彼に、彼の父親に、彼の父親の父親に、そしてアブラハムに至るまでの彼の先祖に目を注がれました。そしてアブラハムからさらにさかのぼって洪水の時代、洪水の時代からエノク、エノクからアダムに目を注いでこられました。主はこの家系を見守り、アダムのときからジョセフの誕生まで、この家系の血統が受け継がれるのを見守ってこられました。」  
(Discourses of Brigham Young, ジョン・A・ウィットソ一編 [1941年], 108)

ジョセフ・スミスを回復の預言者として立てられたのは主であることについて証する。



**ジョセフ・スミス - 歴史1:5 - 26 (マスター聖句, ジョセフ・スミス - 歴史1:15 - 20) 父なる神と御子イエス・キリストはジョセフ・スミスを訪れて、ジョセフに語られた。(35 - 40分)**

クラスに電話帳を1冊持参する。「教会」の見出しの下にどれほど多くの宗派が挙げられているかを見る。地元にある宗教団体を生徒が挙げる。(もし、地元には多くの宗教や宗派がなければ、世界にある宗教や宗派を生徒に聞くとよい。) ジョセフ・スミス - 歴史1:5 - 7を読む。以下の質問をする。

- これらの宗教や宗派のリストを見ると、ジョセフが抱えていた問題について何が分かるでしょうか。
- なぜこれほど多くの宗教や宗派があると思いますか。
- 1ニーファイ13:24 - 29を読んでください。この預言には、この問題が大きくなる理由が書かれています。それは何でしょうか。
- 聖文が変更されると、真理を求めている人々が混乱します。なぜでしょうか。

自分にとって非常に大切な事柄について、混乱した経験があるかどうか聞く。次のように質問する。「どのようにしてその混乱を解決しましたか。」ジョセフ・スミスは最初の示現を受けたとき、セミナーの生徒の多くと同じ年齢だったことを生徒に思い起こさせる。ジョセフの受けた示現はきわめて珍しいことではあるが、示現を得るために行ったことは、わたしたちが神から助けと答えを受けるために行うことと同じであったことを説明する。

ジョセフ・スミス - 歴史1:8 - 17を生徒が読む。それから、ジョセフがどのように感じたかを表す言葉、ジョセフが何を行ったかを表す言葉を書き出して、二つのリストを生徒が作る。完成したら生徒が発表する。ジョセフが感じたことと行動したことは、混乱を解決するためにどのように役立ったかについて話し合う。ジョセフが問題に気づいて、深く考えたこと(8, 12節参照), 問いかけたこと(10節参照), 聖典を研究したこと(11節参照), 内なる促しに従って行動したこと(13節参照), そして祈ったこと(14節参照)を指摘する。

十二使徒定員会会員のデビッド・B・ヘイト長老の以下の言葉を紹介する。「啓示はわたしたちの望みと探求に応じて得られます」(「主の家に来れ」『聖徒の道』1992年7月号, 18)

17 - 19節を教師が読む。これらの節についてどんな印象を持ったかを生徒が発表する。それから最初の示現が真実であることについて教師が証を述べる。「麗しき朝よ」(『賛美歌』, 18)を歌う。または、歌詞を読む。エズラ・タフト・ベンソン大管長が十二使徒定員会会長を務めていた時代に語った以下の証を紹介する。

「このメッセージは教会の中心となり、基盤となっています。もし、父なる神と御子イエス・キリストを見たと言ったジョセフ・スミスの証が真実でないとしたら、モルモンイズムは偽りの信条を掲げていることとなります。しかし、もし、この示現が真実であったとしたら、……イエス・キリストの教会が地上に回復され、現存していることとなります」(Come unto Christ [1983年], 74)

どの教会にも加わってはならないというジョセフへの指示のほかに、最初の示現は、ほかの大切な教義上の質問に対する答えも与えた。御父と御子がジョセフ・スミスを訪られたときに地上に回復された真理を生徒が挙げる。(上記「学び取るべき重要な福音の原則」[24ページ]を参考にする。)

ジョセフ・スミス - 歴史1:20 - 24に目を通す。ジョセフが自分の受けた示現について人々に話したときに、どんな扱いを受けたかを調べる。以下の質問について話し合う。

- だれが中心になって、ジョセフに反対し、迫害を加えたでしょうか。(敵対する者、すなわち悪魔; 20節参照)
- 一部の聖職者はジョセフをどう扱ったでしょうか。
- 信じていることのために迫害されたらどうしますか。自分の標準が反対されたら、どうしますか。
- そんなときのために対応策を考えておくことは賢明なことです。なぜでしょうか。

25 - 26節を読む。次のように質問する。「これらの節は他人からの反対に対処する方法について教えています。どんな方法でしょうか。」

**ジョセフ・スミス - 歴史1:27 - 54. モルモン書には古代アメリカの住民に与えられたイエス・キリストの完全な福音が収められており、回復の中核をなしている。(35 - 40分)**

ジョセフ・スミス - 歴史1:3を生徒が読む。ジョセフ・スミスの生年月日に注目する。1823年9月21日にジョセフは何歳になっていたでしょうか(17歳9か月)。そのとき、最初の示現を受けてから何年が過ぎていたでしょうか(14節参照)。27 - 29節を読む。以下の質問について話し合う。

- ジョセフ・スミスはこの3年間、どう過ごしたと言っていますか。
- ジョセフは自分のしたことについてどう感じていたでしょうか。
- このような気持ちを持っていたジョセフは、何をしましたでしょうか。

- 悔い改めるなら、主はどうすると約束しておられますか。(モローサヤ26:30参照)

ジョセフは祈った結果、天使モロナイの訪れを受けた。モロナイがジョセフ・スミスを訪れている様子を描いた絵を見せる(「福音の視覚資料セット」404)。以下の質問をする。

- この絵はジョセフ・スミス - 歴史の何節を描いたものでしょうか。(30 - 46節)
- このような天使の訪れを受けることは、どんな経験だったと思いますか。

モロナイは24時間の間に5回ジョセフ・スミスを訪れたことを説明する。以下の聖句を生徒が読む。30 - 43節(第1回目の訪れ)、44 - 45節(第2回目の訪れ)、46節(第3回目の訪れ)、48 - 49節(第4回目の訪れ)、51 - 53節(第5回目の訪れ)。以下の質問をする。

- モロナイが5回の訪れで与えたメッセージにはどんな共通点があったでしょう。
- モロナイはなぜ何度も預言者ジョセフ・スミスを訪れたのでしょうか。
- モロナイのメッセージの中で、とても大切なことは何だったのでしょうか。

一人の生徒が黙示14:6を読む。ヨハネはどの天使について述べていたと思うかを生徒に聞く。この節はモロナイと、地上に神権の力と鍵を回復したほかの天使たちを指していることを説明する。十二使徒定員会会員であったブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を分かち合う。

「永遠の福音を回復したのはだれだったのでしょうか。それは一人の天使だったのでしょうか。それとも多くの天使だったのでしょうか。」

よく語られる答えは次の通りです。(そして、それは正しい答えです。)  
『モロナイです。モルモンの息子であり、現在復活しているニーファイ人の預言者であり、「エフライムの木」(教義と聖約27:5)の鍵を持っている、あのモロナイです。……』

……しかし、ほかの預言者たちがその後を訪れています。モーセ、エライアス、エリヤ、ガブリエル、ラファエル、また『それぞれの神権時代と権利、鍵、誉れ、尊厳と栄光、神権の力について宣言し、またここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を与え〔る〕……様々な天使たち』(教義と聖約128:21)が訪れました。

このように、天使モロナイはメッセージすなわち言葉をもたらしました。しかし、ほかの天使たちは鍵と神権と力をもたらしたのです。」(Doctrinal New Testament Commentary, 全3巻, [1966 - 1973年], 第3巻, 528 - 530)

モロナイがその後の4年間、何度かジョセフ・スミスを訪れて、教え、指示を与えたことについて証を述べる。モロナイは金版の保管者であったため(モルモンの言葉1:1-2参照)、ジョセフ・スミスが金版の翻訳に備えるための指示を与えることができた。

ジョセフ・スミス - 歴史1:53 - 62。ジョセフ・スミスは金版を受け取るまでに霊的な準備を整えておく必要があった。(15 - 20分)

デビッド・B・ヘイト長老の以下の言葉を紹介する。

「アロン神権者の年代は、非常に大切な備えの時期です。この10代の貴重な時期は、若人にとって生涯忘れ得ぬ、意義ある霊的な経験を積む時期として、人生の備えをするために必要であることを、主は御存じなのです」(「備えの時」『聖徒の道』1992年1月号, 41)。

ヘイト長老の言葉を生徒がまとめる。以下の質問をする。

- 主から大切な責任を受ける前に準備の機会があることは大切です。なぜでしょうか。
- 主の業を助けるために、どんな準備をしていますか。

ジョセフ・スミス - 歴史1:53 - 54を読む。モロナイの最初の訪れから何年後にジョセフが金版を受けたかを調べる。ジョセフ・スミスが金版を受けるために主が彼をどのように備えられたかを説明している物語を『時満ちる時代の教会歴史』から幾つか紹介する。(40 - 43ページ参照)ジョセフ・スミス - 歴史1:55 - 59を読む。この時期にジョセフに起きた出来事の一覧表を生徒が作る。これらの経験はジョセフが生涯で果たす使命に備えるために、どのように役立ったのでしょうか。

生徒が生涯で果たす使命に備えるために、主がどのように助けられるかを記録するために日記と個人の歴史を記すよう勧める。

ジョセフ・スミス - 歴史1:60 - 65。サタンは人の霊と神の業を滅ぼすことを求めている。(10 - 15分)

ジョセフ・スミスが次のように記していることを生徒に言う。「〔金版は〕1枚が縦約20センチ横約15センチで、厚みは普通のブリキ板ほどでもなかった。……全体としては約15センチの厚みがあり、その一部は封じられていた。」(History of the Church, 第4巻, 537)

ジョセフ・スミス - 歴史1:60 - 65を読む。ジョセフから金版を奪うために人々がどんなことをしたかについて幾つかの話を紹介する(『時満ちる時代の教会歴史』, 43 - 46参照)。以下の質問について話し合う。

- 預言者が金版を守るのは難しいことでした。なぜだと思いますか。(金版の大きさ、重量、価値などの答えが考えられる。)
- サタンはモルモン書の出現を阻止しようとしていました。どんな手段を使ったのでしょうか。
- イザヤ29:11 - 12を読んでください。この節はジョセフ・スミス - 歴史1:63 - 65の出来事のことだと思いますか。どうしてそう思いますか。
- ジョセフ・スミスは金版を守り、金版を翻訳する作業を完成させるためにあることを行いました。何を行ったのでしょうか。
- ジョセフの示した模範は、あなたが誘惑を退けて主の業を行うために、どんな助けとなるのでしょうか。

## 教義と聖約1章

### はじめに

教義と聖約1章は主から啓示されて、戒めの書のはしがきとすよう指示された（教義と聖約1：6参照。1章の歴史的背景については『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』4ページを参照）。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように述べた。「教義と聖約の第1章は、この聖典に対する主のはしがきです。教義と聖約は主御自身がはしがきを書かれた唯一の書物です。そのはしがきの中で、主はこの世の人々に対して、その御声はすべての人々のためのものであること（2節）、主の来られる日が間近なこと（12節）、教義と聖約に含まれる真理はすべて成就されること（37 - 38節）を宣言されました。」（「現在の啓示の賜物」『聖徒の道』1987年1月号、86）


### 学び取るべき重要な福音の原則


- 教義と聖約に収められている啓示はあらゆる人々を主の来臨に備えさせ、神が悪人に下される裁きについて人々に警告するために与えられている（教義と聖約1：1 - 12参照）。
- わたしたちは使徒と預言者の教えを受け入れなければならない。なぜならば、彼らが教えるのは主の言葉だからである。彼らの言葉に聞き従わないと、わたしたちは主の民に数えられない（教義と聖約1：4 - 6、8 - 9、14、30、38参照）。
- 主はジョセフ・スミスを預言者として召された。主はジョセフ・スミスを通してモルモン書を世に出し、イエス・キリストのまことの教会を回復された（教義と聖約1：15 - 23、29 - 30参照）。
- わたしたちが悔い改めて、主の戒めを守らない限り、主はわたしたちの罪を赦すことがおできにならない（教義と聖約1：31 - 32参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、118 - 119。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、4 - 7、388 - 392。

### 教え方の提案

 教義と聖約1章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』4「主を求める」（9：17）を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

 教義と聖約1：1 - 23、29 - 30。終わりの時に地上にもたらされる邪悪と災いを知っておられる主は、世に警告させるためにジョセフ・スミスとその他の教会員を召された。（25 - 30分）

各生徒に以下の質問から一つを割り当てる。（ステッカーに書いておいて、生徒が教室に入って来るときに一人一人に張ってもよい。）

- この警告を与えたのはどなたでしょうか。
- この警告はだれに与えられたのでしょうか。
- それはどんな警告だったのでしょうか。
- なぜこの警告が与えられたのでしょうか。
- 人々がこの警告に注意を払うならば、どうなるでしょうか。
- 人々がこの警告に注意を払わないと、どうなるでしょうか。

黒板に以下の言葉を書く。「車のクラクション」、「処方表示ラベル」、「親の忠告」、「道路標識」、「預言者の勧告」。以下の質問について話し合う。

- 黒板に書き出されている言葉に共通しているのはどんなことでしょうか。（これらは警告の役割を果たす）
- これらの警告はなぜ与えられるのでしょうか。（わたしたちを守り、備えさせるため）
- 人々は警告に注意を払うことによって守られます。例えばどんな場合がそうでしょうか。
- 人々は時々警告を無視します。なぜでしょうか。

上記の「はじめに」の情報を紹介する。生徒は教義と聖約1：1、4を読む。「聴きなさい」という語と「警告」という語に注目する。「聴く」とは「注意深く耳を傾ける」という意味であることを説明する。教義と聖約1章は終わりの時における警告の役割を果たしている。

この「レッスン」の初めのところで、割り当てられた質問を生徒が再び見る。教義と聖約1章を丹念に読む。生徒は割り当てられた質問の答えを見つける。黒板に見出しとして質問を書く。生徒は該当する見出しの下に見つけた事柄を書く。以下の質問について話し合う。


- 教義と聖約1章を研究して、何を学びましたか。
- これらの警告を理解することはなぜ大切でしょうか。
- これらの警告に注意を払うことはなぜ大切でしょうか。
- これらの警告は教義と聖約のはしがきとして与えられました。なぜだと思いますか。
- 学校やワードや地域社会の人々を助けるために、1章の教えを活用できます。どんな活用のしかたがあるでしょうか。

わたしたちは人々に「警告する」よう命じられている。教義と聖約60：2 - 3；88：81を使って、そのことを生徒が理解するように助ける。教義と聖約35：13 - 16を読む。次のように質問する。「ある人は主の僕として自分は特に優れてはいないと思っています。そういう人々に対して、これらの節は何と言っているのでしょうか。」

ジョセフ・スミスが警告の声を上げるために召されたのと同じように、今日の預言者、使徒、そのほかの教会指導者も同じく警告の声を上げるために召されていることを生徒が理解しているか確認する。パンフレット『若人の強さのために』を使う。その中にある現在の教会指導者から与えられている幾つかの末日の警告について話し合う。副管長を務めていた時代にゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を分かち合う。



「わたしたちが勧告や警告を発するとき、批判する人々が中にはいます。どうぞ、わたしたちの嘆願の言葉が利己的な気持ちから出たものでないことをわかっていただきたいと思います。また、わたしたちの警告には十分な目的と理由があることを理解していただきたいのです。様々な問題についての決定が発表される際には、必ず熟考と討議と、祈りによって決められていることもわかっていただきたいと思います。わたしたちのただ一つの望みは、皆さん一人一人の問題や困難、家族や生活をお助けすることです。」  
 (「教会は正しい方向に進んでいます」『聖徒の道』1993年1月号, 65)

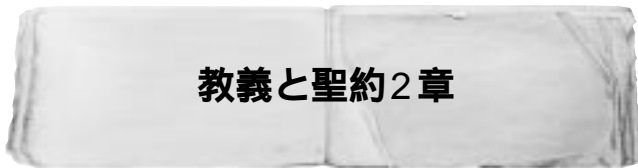
 **教義と聖約1：37 - 38 (マスター聖句)**。わたしたちは使徒たちの教えを受け入れなければならない。なぜならば、彼らはあたかも主が語られているかのように教えるからである。彼らの言葉に聞き従わないと、わたしたちは主の民に数えられない。(15 - 20分)

以下の質問について話し合う。

- 教会の指導者の話は、だれからのメッセージでしょうか。
- 教会の指導者の勧告を難しいと思ったり、同意できないと感じたりすることがあるかもしれません。そんなときでも彼らの勧告に従うことは大切です。なぜでしょう。

教義と聖約1：14を読む。次のように質問する。「この節は、以上の原則をよく理解できるように助けてくれます。あなたの理解はどのように深まりましたか。」

教義と聖約1：37 - 38を読む。「わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである」の意味することについて話し合う。これらの節を暗記するよう奨励する。



## はじめに

1823年の春、ジョセフ・スミスを訪れたモロナイは様々な預言を引用した。中でも、欽定訳聖書の記録とは多少の違いはあるものの、マラキ4：5 - 6を引用している(ジョセフ・スミス - 歴史1：29 - 33, 36 - 39参照)。2章にはモロナイが語ったとおりの預言が収められている。このメッセージはプリガム・ヤング大管長の指示によって1876年に教義と聖約に収められたものであり、教義と聖約の中でも最も初期の啓示である。マラキの預言は非常に大切であるため、標準聖典の各書で繰り返し採り上げられている(マラキ4：5 - 6；ルカ1：16 - 17；3ニーファイ25：5 - 6；教義と聖約2章；27：9；98：16 - 17；110：13 - 16；128：17 - 18；ジョセフ・スミス - 歴史1：37 - 39参照)。この啓示に関する詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(7 - 8ページ)から教義と聖約2章の歴史的背景を参照する。

## 学び取るべき重要な福音の原則

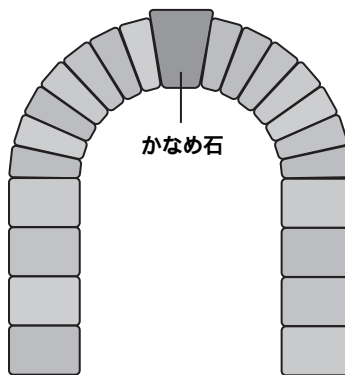
- エリヤがもたらした鍵は回復されなければならなかった。さもないと、キリストの来臨の時に地は滅ぼされることになる(教義と聖約2章参照。マラキ4：5 - 6；教義と聖約128：17 - 18も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 37 - 41。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 7 - 10。

## 教え方の提案

教義と聖約2：1 - 3。エリヤがもたらした鍵は回復されなければならなかった。さもないと、キリストの来臨の時に地は滅ぼされることになる。(25 - 30分)



ここに描かれているようなアーチとかなめ石を描く。かなめ石にたとえられると思われる福音の教えにはどんなものがあるかを生徒に聞く。しばらく話し合う。そして、十二使徒定員会会員であったジョン・A・ウィットナー長老の以下の言葉を紹介する。

「福音の最初と最後が教義と聖約第2章に記されています。それは福音というすばらしいアーチのかなめ石です。もしこの中心の石が弱くなり、抜け落ちてしまうとしたら、福音という建物全体が崩れ落ちて、支離滅裂な教義の瓦礫と化してしまうことでしょう。」(エルレイ・L・クリスチャンセンによる引用, Conference Report, 1960年4月, 48)

以下の表を黒板に書き写す。左の欄の聖句の参照箇所以外は空白にしておく。マラキ4：5 - 6と教義と聖約2章を読む。それらを生徒が比較する。表の空欄に記入して、この預言の二つの記録の違いに注目する。

マラキ 4：5 - 6	見よ、主の 大いなる恐 るべき日が 来る前に、	わたしは預 言者エリヤ をあなたが たにつかわ す。	彼は父の心を その子供たち に向けさせ、 子供たちの心 をその父に向 けさせる。	これはわたし が来て、のろ いをもってこ の国を撃つこ とのないよう にするため である。
教義と 聖約 2章	見よ、主の 大いなる恐 るべき日が 来る前に、	わたしは預 言者エリヤ の手によっ てあなたが たに神権を 現そう。	彼は先祖に与 えられた約束 を子孫の心に 植え、子孫の 心はその先祖 に向かうであ ろう。	そうでなけれ ば、主の来臨 の時に、全地 はことごとく 荒廃するであ ろう。

ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「これらの翻訳は二つとも正しいです。二つとも主の思いと御心<sup>みこころ</sup>を表し、完全な、真実の教義を教えています。これら二つが合わせられることによって、エリヤの使命について広くわかりやすい説明を与えています。それはいずれか片方だけでは得られないものです。」( *The Millennial Messiah: The Second Coming of the Son of Man* [1982年], 266 )

以下の質問から一つずつを生徒に割り当てる。参照箇所から生徒が答えを探す。全員が答えを見つける。それから、あなたが質問を読む。見つけた答えを生徒が発表する。

- エリヤとはどんな人でしょうか(『聖句ガイド』「エリヤ」, 55 - 56参照)。
- エリヤはいつ戻って来たでしょうか(教義と聖約2 : 1 ; 110 : 13 - 16参照)。
- エリヤは戻って来て何を回復したでしょうか(教義と聖約2 : 1 ; 110 : 13 - 16参照)。
- 「先祖に与えられた約束」とは何でしょうか。(教義と聖約2 : 2)。(ブルース・R・マッコンキー長老は次のように記している。「先祖とはだれのことでしょう。アブラハム、イサク、ヤコブのことです。彼らに約束が交わされたのです。どのような約束でしょうか。家族の単位が永遠に続くという祝福、地のちりのように、天の大空の星のように数限りない子孫を得るという祝福、また、永遠に増し加えられるという祝福、その結果として受ける栄光、誉れ、昇栄、永遠の存在として永遠の命を受け継ぐという祝福です。」[ *Millennial Messiah*, 267 ] )。
- 先祖に与えられた約束が心に植えられているとはどういう意味でしょうか(教義と聖約2 : 2 ; 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』9ページから教義と聖約2 : 2の注解を参照)。
- 主の再臨は「大いなる」ものであると同時に「恐るべき」ものとなります。どういう意味でしょうか(教義と聖約2 : 1 ; 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 9ページから教義と聖約2 : 1の注解を参照)。
- もしエリヤが来なかったとしたら、地球は「ことごとく荒廃」します。なぜでしょうか(教義と聖約128 : 17 - 18参照)。

エリヤの訪れによってどんな影響を受けているかについて生徒に聞く。エリヤの使命の大切さについて教師が証<sup>あかし</sup>を述べる。

## 教義と聖約3章

### はじめに

十二使徒定員会会員であるダリン・H・オクス長老はこのように記している。

「『神の業と計画と目的がくじかれることはあり得ず、またそれらが無に帰することもあり得ない。

……覚えておきなさい。くじかれるのは神の業ではなく、人間の業であることを覚えておきなさい。』(教義と聖約3 : 1, 3) ……

神を信じている人々にとってこのことを受け入れるのは簡単なことです。神の思いはわたしたちの思いよりも高いですし、神はわたしたちの理解できないことを理解しておられるからです。また、主の方法はわたしたちの方法よりも高度ですし、神の業は『神自身の時に、神自身の方法で』行われるからです。しかし、そのようなことを実際に受け入れるのは難しいと感じる人もいます。

この世の多くの人は神の力と立場を部分的にしか見ていません。ヤレドの兄弟が言ったように、神の偉大な力でさえも『人々の理解では小さく見え』ることがあるのです(エテル3 : 5)。事実、世の多くの人は、さらに末日聖徒イエス・キリスト教会の一部の会員でさえもが、目の前のことしか見ていません。だから、この世の論理によって神に関することを判断しようとするのです。ニール・A・マックスウェル長老はこのように述べています。『確かに、わたしたちは神の計画を全体としては認めています。それでも、計画の進め方について不平をもちることがあります。神が御自分の方法で行われるからです。……人の方法は神の方法よりもはるかに劣っています。にもかかわらず、人の方法で行いたいと望んでいるからです。』[ *A Wonderful Flood of Light* (1990年), 67 ] ( *The Lord's Way* [1991年], 3 )

詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(10 - 11ページ)から教義と聖約3章の歴史的背景を参照する。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 神はあらゆることを御存じであり(全知)、あらゆる力を持っておられる(全能)。神の計画はくじかれることがない(教義と聖約3 : 1 - 3参照。黙示19 : 6 ; 2ニーファイ9 : 20 ; アルマ26 : 35も参照)。
- わたしたちが神の戒めを守り、人の意見ではなく神に頼るならば、サタンはわたしたちを滅ぼす力を持たない(教義と聖約3 : 7 - 8参照。教義と聖約5 : 21 - 22 ; 21 : 6も参照)。
- 神聖なものを軽々しく扱ってはならない(教義と聖約3 : 5, 12参照。教義と聖約63 : 64も参照)。
- 正しくないものを祈り求めてはならない(教義と聖約3 : 4 - 7, 13参照。ヤコブの手紙4 : 1 - 3 ; 2ニーファイ4 : 35 ; アルマ29 : 1 - 4 ; ヒラマン10 : 5 - 6も参照)。
- わたしたちは罪を犯すと、神聖な祝福と特権を失う(教義と聖約3 : 9 - 15参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 46 - 49。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 10 - 12, 24 - 27。

### 教え方の提案

教義と聖約3章と10章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』5「神の業」

(14:15)を使用することができる(教え方の提案については『教義と聖約および教会歴史』メディアガイド』を参照)。



**教義と聖約3章。神の計画はくじかれることがない。わたしたちが神の戒めを守り、神に頼るならば、サタンはわたしたちを滅ぼす力を持たない。(20-25分)**

注意: この教え方の提案は10章でも使うことができる。3章と10章は同じ出来事を扱っているため、これらの2章を一度に教えてもよい。

3章と10章の歴史的背景を生徒が理解するために、上記の「補助資料」を検討する。

モルモン書をかざす。主はなぜこの書物をわたしたちに与えられたと思うかを生徒に聞く。教義と聖約20:8-9を読む。これらの節はモルモン書の目的についてどんなことを教えているかを生徒に聞く。(モルモン書には完全な福音が載っている。) ジョセフ・スミスはこのように語った。「モルモン書はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」(History of the Church, 第4巻, 461。モルモン書の序文も参照) 次のように質問する。「サタンは出版される前からこの書物を滅ぼすことを望んでいました。なぜだと思いますか。」

教義と聖約10:12-19, 29-33を読む。モルモン書を滅ぼすためにサタンが計画していたことを見つける。それから、全員でその計画について話し合う。

1ニーフアイ9章; モルモンの言葉1:1-7; 教義と聖約10:38-45にざっと目を通す。次のように質問する。「モルモン書を滅ぼそうとするサタンの計画をくじくために、主は1,000年以上も前にある手段を用意しておられました。どんな手段でしょうか。」

七十人定員会会長の一員であった当時にニール・A・マックスウェル長老が述べた以下の言葉を読む。

「神が本当におられるという教義を除けば、神が全知の(すべてを知っておられる)御方であるということ以上に基本的な教義はほとんどありません。『おお、わたしたちの神の聖さは何と偉大なことか。神はすべてのことを御存じであり、神の御存じでないことはない。』(2ニーフアイ9:20) 残念なことに、この真理をただ受け入れるだけの人がいます。深く調べようとせず、意味を理解するまでに至っていない人々がいるのです。そのような人々はやがて、この最も大切な教義の意味が理解できなくなるかもしれません。この教義は神の『予知』や『予任』という力強い教義とも関連しています。神は、わたしたちを成長させてくださり、様々な経験を与えて聖めてくださり、見守ってくださり、愛にあふれておられます。もしすべてを御存じでなかったとしたら、そのようなことはおできになりません。」(All These Things Shall Give Thee Experience [1979年], 6)

ジョセフ・スミスは116ページの原稿を紛失した経験から多くの貴重な教訓を学んだと説明する。クラスを二つのグループに分ける。一つのグループは教義と聖約3:1-10を読む。別のグループは11-20節を読む。ジョセフ・スミスがこの経験から学んだこ

とを示す節を探す。その箇所に生徒が傍線を引く。生徒が見つけた原則について話し合う。それらを黒板に書き出す。適切であれば、話し合いを展開するために以下のアイデアと質問を活用する。

1. 神の業をくじいたり、止めたりすることはできない(教義と聖約3:1, 3参照)
  - 神の業をくじいたり、止めたりすることはできません。なぜだと思いますか。
  - 神は将来の出来事のためにわたしたちを備えてくださいます。そのことについて聖典は何と教えていますか。
  - 神の業は人には止められません。このことを知っていれば神への頼り方は変わるでしょうか。どのように変わると思えますか。
2. 神の啓示を無視してはならない(教義と聖約3:4-7参照)
  - マーティン・ハリスが版を持っていくことについてジョセフ・スミスは何度許可を求めて祈ったでしょうか。(3回。『教義と聖約信徒用資料 - 宗教コース324-325』, 10ページ参照)
  - 預言者は主から与えられた最初の答えを受け入れませんでした。なぜだと思いますか。
  - 今日の人々は「神の勧告を無視し」(7節)ているのでしょうか。どんなとき「無視している」と感じますか。人々はなぜ「無視する」のだと思いますか。
3. わたしたちは神を信頼して、人の言葉でなく神の勧告を受け入れるべきである(教義と聖約3:6-8参照)
  - 預言者はマーティン・ハリスを気遣いました。そのことが、神への義務を果たす妨げとなりました。なぜでしょうか。
  - マーティン・ハリスは預言者よりはるかに年長でした。また翻訳の仕事を手伝うために多くのことをしていました。尊敬する人から、神の御心に反することを行うよう頼まれたとしたら、どう行動するのが正しいでしょうか。
4. わたしたちは、託されている神聖な真理を注意して扱わなければならない(教義と聖約3:5, 12参照)
  - ジョセフ・スミスには何が託されていましたか。
  - わたしたちにも主から託されて、注意して守らなければならない神聖な真理や財産があります。それはどんなものだと思いますか。
5. わたしたちは皆注意しなければならない。さもないと、サタンの誘惑のえじきになる(教義と聖約3:4, 9参照)
  - 預言者ジョセフ・スミスほどの偉大な人でも主から命じられたことに逆らってしまいました。どうしてでしょうか。
  - わたしたちも似たような誘惑を受けるかもしれません。どんな状況が考えられるでしょうか。
  - 悪魔の誘惑を退ける強さと力を得るにはどうすればよいでしょうか。
  - 教義と聖約3:9-10から、神の憐れみについて何が分かるでしょうか。
6. 罪には必ずその結果が伴う(教義と聖約3:14参照)
  - ジョセフ・スミスは原稿を失くしました。その結果どうなったでしょうか。
  - わたしたちは罪を犯すと、その結果どうなるでしょうか。

- そのような結果は、罪を犯した直後に必ず起こるでしょうか。
- この経験は若き預言者に、人を恐れず主に頼ることの大切さなど、多くの真理を教えたことを説明する。ジョセフ・スミスは自分に対して次の規則を設けたと語った。「主が命じたならば、それをなせ。」(History of the Church, 第2巻, 170)

## 教義と聖約4章

### はじめに

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように述べた。

「[教義と聖約第4章は]非常に短く、わずか7節しかありません。しかし生涯をかけて研究するだけの内容を持つ勧告と指示が収められています。これをすべて習得した人はまだいません。これはジョセフ・スミスに与えられた個人的な啓示ではありません。神の奉仕に携わることを望むすべての人に益をもたらすものです。この啓示はすべての教会員、特に神権を持つ者全員に向けられています。神に仕えるための教会員の資格について、あらゆる聖典の中で、これほど大いなる指示が凝縮された啓示はほかにないでしょう。それは永遠のように広く、高く、深みがあります。この天から与えられた啓示を、少なくともその一部を、吸収していなければ、教会のいかなる長老も教会で教える資格がありませんし、救いのメッセージを世に携えて行く資格もありません。」(Church History and Modern Revelation, 全2巻 [1953年], 第1巻, 35)

この啓示に関する詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(12 - 13ページ)から教義と聖約4章の歴史的背景を参照する。


### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は主の王国で義にかなった奉仕をするために必要とされる特質を明らかにしておられる(教義と聖約4章参照)
- 人々を王国に導くために力を尽くす人は自分自身をも救うことになる(教義と聖約4:2, 4参照。エゼキエル3:17 - 21; モルモン書ヤコブ1:19も参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 74, 81 - 82, 124 - 25。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 12 - 14。

### 教え方の提案

 教義と聖約4章。主は神の王国において義にかなった奉仕を行うことを願う人々に、必要とされる特質を与えると約束しておられる。(15 - 20分)

白のワイシャツ, ネクタイ, 聖典, その他宣教師にとって必要と思われる物をスーツケースにつめてクラスに持参する。生徒に

スーツケースを見せる。このスーツケースは伝道に出発する宣教師のために用意されたものだと言う。次のように質問する。「スーツケースには何が入っていると思いますか。」スーツケースを開ける。中に入っている物を見せる。

宣教師が持っていく必要のあるもので、スーツケースに入らないものがあることを説明する。教義と聖約4章からそれらを見つける。(教義と聖約4章に挙げられている特質をそれぞれ1枚ずつの紙に書いておく。そして、生徒が聖典から見つけたらそれをスーツケースから取り出すようにするとよい。)各々の特質について話し合う。各々の特質に関連するほかの聖句を探す活動を行ってもよい。あるいは、これらの特質が教会指導者の生活の中でどのように表されているかを生徒に紹介させてもよい。

『聖句ガイド』から、神の業を説明する聖句を見つける。(例、モーセ1:39)わたしたちは神に仕えるためにどんな召しを受けているかについて、その例を生徒が挙げる。(教師定員会会長、初等協会教師、母親または父親、宣教師など)教義と聖約4章を読む。以下の質問について話し合う。

- 2, 4節によれば、神に仕え、神の業を助けることによって一つの恵みが与えられます。それは何ですか。
- 宣教師はどのように仕えるべきでしょうか。(2節参照)
- 神に最もよく仕えるうえで身に付けなければならないことを主が教えておられます。それはどんな特質でしょうか。
- どうすればそれらの特質を身に付けることができるでしょうか(7節参照)。

4章は伝道活動について話し合う際によく引用される。ハロルド・B・リー大管長が語った以下の言葉について考える。「主の務めの中で最も大切なのは、あなたの家の囲いの中で行う務めです。」(Strengthening the Home [パンフレット, 1973年], 7) 4章の原則を生活のあらゆる面で実践する方法について生徒に聞く。

**教義と聖約4章。主は主の業を行うために必要とされる事柄を明らかにしておられる。(10 - 15分)**

セミナーの生徒は皆、4章を暗記することによっていつか祝福を受ける。多くの生徒は専任宣教師としてこの聖句を暗記することを求められることになるであろう。今、そのための努力を始めるのはよいことである。全文を黒板に書き出す。生徒が何度も声に出して読む。読み終えるたびに、幾つかの語を無作為に消していく。すべてを消すまで続ける。4章をしばしば研究する。また深く考えるよう生徒に勧める。(暗記の方法については、付録の「マスター聖句の習得」と「マスター聖句の教え方」を参照する。[274 - 278ページ])

## 教義と聖約5章

### はじめに

十二使徒定員会会長を務めていた時代に、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は教義と聖約5章について次のように述べた。

「マーティン・ハリスは命令に背いたために主から叱責を受けました。その後、自らの愚かさをへりくだって悔い改めましたが、再び預言者ジョセフ・スミスにある特権を願い求めました。モルモン書に記されている三人の証人の一人となることを願ったのです。(〔教義と聖約3：12；10：1参照〕2ニーファイ27：12-14)原稿を紛失したのは1828年夏のことです。マーティンが証人になるという大いなる特権を預言者に再び願い求めたのは1829年3月のことでした。主は彼の求めにこたえて、教義と聖約5章となる啓示を与えられました。……主はこのすばらしい啓示を戒めの言葉によって始めておられます。そして、ジョセフ・スミスが証人として召されていることや、主が命じられる人々以外には記録を見せないと聖約していること<sup>たまもの</sup>について語られました。主はまた、ジョセフが版を翻訳する賜物を受けていることや、務めを果たすまでほかの賜物を持っているそぶりをしてはならないことを告げられました。この仕事が完成するまでジョセフにほかの賜物が与えられることはないからです。翻訳が完成した後に、ジョセフは全世界に証する召しを受けることになっていました。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 38 - 39)

この啓示に関する詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(14ページ)から教義と聖約5章の歴史的背景を参照する。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 御霊<sup>みたま</sup>によって指示されないかぎり、神聖な経験を他人に伝えるてはならない。(教義と聖約5：1-14参照。3ニーファイ14：6；26：14-18；28：12-14；教義と聖約6：12；10：34-37；63：64も参照)
- わたしたちは神が御自身の業について選ばれた証人の証<sup>あかし</sup>を信じるかどうかによって裁かれる。(教義と聖約5：1-20参照。2ニーファイ33：10-11；エテル12：38-39；モロナイ10：34；教義と聖約20：13-15も参照)
- 啓示を受けるには戒めを守らなければならない。(教義と聖約5：21-35参照。教義と聖約42：61；76：5-10；93：1も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 46 - 50, 273。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 14 - 16。

## 教え方の提案

教義と聖約5：1-14。御霊<sup>みたま</sup>によって指示されないかぎり、神聖な経験を他人に伝えるてはならない。(25-30分)

次のように言う。「青少年の訓練集会に出席している<sup>あかし</sup>と想像してください。この集会で一人の神権指導者が神聖な経験と証を伝えたいと感じました。彼は他人に話さないで、神聖に保ってくださいと言いました。その後、集会に出席していた友だちが、知り合いにその神聖な経験について話しているのを耳にしました。」以下の質問の一部、またはすべてを使ってこの状況をどのように扱うかについて話し合う。

- ここで聞いたことを友だちに話すのは悪いことでしょうか。
- 話すべきでないことを話すように誘惑を受けることがあります。なぜでしょうか。

- 友だちに秘密を守ると約束した上で約束を破ったら、どうなるのでしょうか。
- 神聖な事柄をだれにも言わないようにすることは大切です。なぜでしょうか。

教義と聖約5：1-3を読んで、以下の質問をする。

- この聖句の状況は先の青少年の訓練集会と似ています。どんなところが似ているのでしょうか。
- ジョセフ・スミスは、主が許可された人以外に版を見せることを禁じられました。なぜでしょうか。
- 預言者ジョセフは少し前にある経験をして、主に厳密に従うことについて学んでいました。どんな経験だったのでしょうか。

4-9節を読んで、以下の質問の一部またはすべてを生徒に聞く。

- 預言者ジョセフ・スミスは、しばらくの間翻訳以外の賜物を望まないように主から警告されました。なぜだと思いますか(4節参照)。
- 主はすべてのよい賜物<sup>たまもの</sup>を一度にお与えになりません。なぜだと思いますか(4節；2ニーファイ28：30参照)。
- 教義と聖約5：5には、世の人々がする必要のあることが書いてあります。それは何でしょうか。
- 「聞き従う」とはどんな意味でしょうか。(「聞いて、従うこと」)
- 6-8節には、現代の人々が抱えている大きな問題が書いてあります。それは何でしょうか。
- 預言者ジョセフが主から託された版やそのほかの品物を世の人々に見せたとします。それは何かの役に立っていたのでしょうか。なぜそう思いますか(7節参照)。
- 主は若い預言者ジョセフにこのことを教える必要があると思われました。なぜでしょう。
- 9節によれば、主はなぜ版やそのほかの品物を保存してこられたのでしょうか。
- 一部の非常に神聖な真理は、疑い深い人や信じない人に無差別に分かち合うべきではありません。なぜでしょうか(3ニーファイ14：6；教義と聖約63：64参照)。

教義と聖約5：10を読んで、以下の質問の一部またはすべてを生徒に聞く。

- 預言者ジョセフ・スミスは、わたしたちの時代に神の言葉をもたらしました。そのような神の言葉には、何があるのでしょうか。(教義と聖約に収められている啓示のほとんど)
- ジョセフ・スミスは、わたしたちの時代に古代の啓示をもたらしました。そのような啓示には何があるのでしょうか。(モルモン書、モーセ書、アブラハム書、聖書のジョセフ・スミス訳)
- 今日<sup>こんにち</sup>の世の中に預言者がいることは、とても大切なことです。なぜでしょうか(教義と聖約1：37-38参照)。

教義と聖約5：11-14を読む。主はモルモン書が真実であることを知らせるために証人を与えようとしておられる。その理由を見つける。以下の質問をする。

- モルモン書が世に出されるにあたって三人の証人は非常に大切でした。なぜでしょうか。
- 彼らは何の力によって版と天使を見たのでしょうか。

- 主がこれらの証人を選ばれることを知ったマーティン・ハリスは、どう感じたでしょうか。

マーティン・ハリスは、へりくだって、神に対して犯した過ちを認めるならば、版を見ることができると約束された(24, 28節参照)。ハリス兄弟は116ページの原稿を紛失した後も、なかなか謙遜けんそんになれなかった。最終的に彼は謙遜になって、天使と版を見ることができた。以下の質問をするかどうかを検討する。

- この啓示から、神聖な真理を託されることについてあることが学べます。それは何でしょうか。
- どうすれば神から信頼されることができのでしょうか。
- 神聖な真理を託されるとはどんな祝福でしょうか。

**教義と聖約5：1 - 20。わたしたちは神が御自身の業について選ばれた証人の証を信じるかどうかによって裁かれる。**(15 - 20分)

生徒は次の状況を想像する。「ある科学者があなたの住んでいる地域の水が汚染されていることを発見しました。科学者は顕微鏡を使って、水に病原菌が入っていることを見つけました。それは人の命をも奪う可能性のあるものです。科学者は水を飲まないよう地域全体に知らせています。」以下の質問をする。

- あなたは水を飲むでしょうか。
- あなたは実際に顕微鏡で水を見なければ信じないと言うでしょうか。
- あなたは自分でその恐ろしい病原菌を見たわけではないので、その忠告を無視するでしょうか。
- 水を飲んだらどうなるでしょうか。

この例の中で科学者は、ほかの人々が見ていないものを見た証人であることを説明する。教義と聖約5：1 - 2, 6 - 20を読む。主の証人を信じる人々と信じない人々について主が何と言われたかを見つける。

証人になることと証人を信じることのどちらのほうが大切かを生徒に聞く。先の例の中で、もし科学者が水を飲んだとしたら、ほかの人と同じように病気になることを指摘する。以下の質問をする。

- どんなことが起きたら、水を飲まないで決意できるでしょうか。(複数の証人の大切さを生徒が理解できるように助ける)
- わたしたちは現在の教会の証人を信じて従う必要があります。その証人とは誰のことでしょうか(大切な指導者の例として、教義と聖約107：23, 25参照)。

全員でエテル12：6を読む。試練を経験するとなぜ信仰が強められるかについて話し合う。

**教義と聖約5：21 - 35。啓示を受けるには戒めを守らなければならない。**(5 - 10分)

電球をかざす。次のように質問する。「この電球をともすにはどうしなければなりませんでしょうか。」(ランプや照明器具に電球を取りつけて、ランプを電源につなぎ、スイッチを入れる。)電球をともすのに段階があるのと同じように、啓示を受けるにも前提条件があることを説明する。

教義と聖約5：21 - 35を読む。主がジョセフ・スミスとマーティン・ハリスに行くように言われたことを見つける。また、彼らに約束されたことを見つける。これらの節の中で「もし」という

言葉を見つける。祝福ものるいも、行いにかかっていることを確認する。これらの約束が自分にどう当てはまるかについて話し合う。マーティン・ハリスの「版を目にしたい」という望みと、わたしたちの「霊的な理解を深めたい」という望みを比べて考える。そのために、例えば、次のように質問する。「24節には、神に関する事柄を「見て」理解するためにはあるものが求められるとあります。それは何でしょうか(28節も参照)。」

戒めに対してもっと従順になる方法について深く考えるよう生徒に勧める。

## 教義と聖約6章

### はじめに

天の御父はわたしたちに助けを求めるよう望んでおられる。事実、御父はわたしたちの必要と望みについて嘆願するよう命じておられる。十二使徒定員会会員時代にボイド・K・パッカー長老は次のように語った。「『求めよ、そうすれば与えられるであろう』という言葉ほど、聖典によく出てくる言葉はほかにありません。」(『啓示をもたらず敬虔さ』『聖徒の道』1992年1月号, 23)ほとんどの場合、御父の答えは静かに、劇的でない方法で与えられる。例えば、オリバー・カウドリがジョセフ・スミスの業が真実であるかどうかについて主に尋ねたとき、救い主はオリバーに次のように言われた。「わたしはこの件あかしについてあなたの心に平安を告げなかったであろうか。神からの証よりも大いなる証があるであろうか。」(教義と聖約6：23)


### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主はわたしたちの義になかった望みに応じて祈りにこたえてくださる(教義と聖約6：5 - 8, 14 - 15, 20 - 24参照。マルコ11：24; ヤコブの手紙1：5 - 6も参照)。
- 主お一人がわたしたちの思いと志を知っておられる(教義と聖約6：16, 22 - 24参照)。
- 戒めを守り、主を仰ぎ見て主の業を前進させる人は、人生の試練に堪え、悪に打ち勝ち、永遠の命を受け継ぐ(教義と聖約6：6 - 9, 33 - 37参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 52 - 54。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 16 - 18。

### 教え方の提案

 教義と聖約6：8 - 9を教える際に『『教義と聖約および教会歴史』ビデオプレゼンテーション』6「これは啓示の霊である」(10：15)を使用することができる。(教え方の提案については『『教義と聖約および教会歴史』メディアガイド』を参照)

**教義と聖約6：5 - 8, 14 - 15, 20 - 24。主はわたしたちの義になかった望みに応じて祈りにこたえてくださる。**(15 - 20分)

以下のヒントを一つずつ順に読む。だれのことを生徒が当てる。生徒は、分かったらすぐに答えてよい。

- ジョセフ・スミスを除いて、彼はこの世のだれよりも多く教義と聖約に登場します。
- 彼は大管長補佐を務めました。
- 彼は弁護士でした。
- 彼は学校の教師でした。
- 彼はバプテスマのヨハネからアロン神権を、ペテロ、ヤコブ、ヨハネからメルキゼデク神権を受けました。
- 彼はモルモン書の大部分を筆記した人でした。
- 彼は金版の三人の証人の一人でした。

生徒がオリバー・カウドリであることに気づいたら、オリバーがどのようにしてジョセフ・スミスに会いに来たかを話す（ジョセフ・スミス - 歴史1：66 - 67；「オリバー・カウドリの到着」『時満ちる時代の教会歴史』、52 - 53参照）。

教義と聖約5：30 - 34を生徒が読む。次のように質問する。「主はジョセフ・スミスに何をどのように命じられたでしょうか。」『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（16ページ）から6章の歴史的背景の段落4を読む。以下の質問をする。

- 預言者ジョセフはオリバー・カウドリが到着したとき驚きませんでした。なぜでしょうか。
- 主が助け手を遣わされることを預言者は知っていました。どのようにして知ったのでしょうか。
- この出来事から、預言者が祈りを信頼していたことが分かります。預言者はどれほど祈りを信頼していたのでしょうか。

この出来事と自分の祈りを生徒が比較する。次のように質問する。「天の御父との交わりを深めるために、どんなことができるでしょうか。」

オリバー・カウドリは祈りに対して預言者と同じ信頼を持つ必要があったことを説明する。教義と聖約6：5 - 6, 8, 14を読む。次のように質問する。「主は主の助けを求めることについて何を教えておられるでしょうか。」6章の「はじめに」から、パッカー長老の言葉を紹介する。次のように質問する。「聖文はなぜ、祈りを特に強調していると思いますか。」

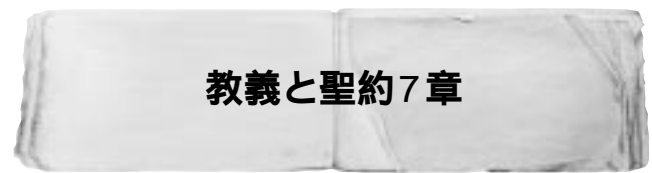
20 - 24節を読む。オリバー・カウドリは、ジョセフ・スミスの使命についてさらに証が<sup>あかし</sup>強められることを祈った。そのようなオリバー・カウドリに対して、天の御父がどうかたえられたかを見つける。24節には、オリバーの祈りがこたえられたことを示す言葉がある。その言葉にしるしをつけるよう勧める。以下の言葉を分かち合う。七十人定員会会長会の一員を務めていた当時にレックス・D・ピネガー長老はこのように述べた。

「神が心に与えてくださる平安によって、わたしたちは自分の決定が正しいかどうか、進む道が正しいかどうかを知ることができます。神の平安は、家庭や職場などの日常生活の中で、わたしたちを導く個人的な靈感として訪れ、わたしたちに人生の試練に立派に立ち向かう勇気と希望とを与えてくれます。わたしにとって祈りの奇跡とは、自分だけの静かな心の部屋の中で、神が祈りを聞き届け、こたえてくださるということです。」（「祈りによる平安」『聖徒の道』1993年7月号、69）

七十人定員会会員のジーン・R・クック長老はこのように述べた。

「わたしたちは1日に少なくとも2度、朝と晩に一人になれる場所を見つけてひざまずき、天の御父に心を注ぎ出すよう、預言者たちから長年にわたって教えられてきました。それから、一日中、心の中で祈り続けるために最善の努力をします。わたしたちがこのように行い、もし正しい心を持っていれば、祈りによって力と集中力が高められていることに気づき、答えを受けやすい状況にいることが分かるでしょう。」（*Receiving Answers to Our Prayers* [1996年]、46。アルマ37：37も参照）

わたしたちが従順であるならば、オリバー・カウドリと同じように祈りの答えを受けられることについて<sup>あかし</sup>証する。



## 教義と聖約7章

### はじめに

主が復活された後に、ペテロはヨハネの将来について尋ねた。すると主は答えて言われた。「たとい、わたしの来る時まで彼が生き残っていることを、わたしが望んだとしても、あなたにはなんの係わりがあるか。」（ヨハネ21：22。20 - 23節参照）ジョセフ・スミスの時代以前まで、ヨハネが死んだのか、それとも救い主の再臨まで生き残るのかについて定かではなかった。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは主にこのことを尋ねた。その答えとして教義と聖約7章を受けた。彼らの経験はわたしたちの模範である。聖典を研究するとき、わたしたちも主の言葉を理解できるように、主の助けを求めるべきである。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主から愛された弟子ヨハネは身を変えられて、再臨の時まで地上で義人に教えを施し続ける（教義と聖約7章参照。3ニーフアイ28章も参照）。
- 神は忠実な人々の義にかなった望みをかなえてくださる（教義と聖約7章参照。アルマ29：4 - 5も参照）。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、19 - 20。

### 教え方の提案

教義と聖約7：1 - 3, 6。主から愛された弟子ヨハネは身を変えられて、再臨の時まで地上で義人に教えを施し続ける。（15 - 20分）

次のように質問する。「身を変えられた人について、わたしたちは何を知っているでしょうか。」群衆の写真を見せて質問する。「もし、普通の人たちの中に身を変えられた人がいるとしたら、

区別がつくと思いますか。」

復活された後、イエスは御自分の愛された弟子、ヨハネについて語られたことを説明する。ヨハネが地上でどんな将来を迎えるかについて語られたのである。ヨハネ21：20 - 23を読む。以下のどちらが救い主の言葉に相当するか生徒が選ぶ。

1. ヨハネはほかのすべての人と同じように死ぬ。
2. ヨハネは救い主が再臨されるときまで地上で生活する。

モルモン書の翻訳中に預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはこのテーマについて別の意見を持っていた（この啓示の詳細については『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』19ページから、教義と聖約7章の歴史的背景を参照する。）教義と聖約7：1 - 3, 6を読む。生徒は救い主がヨハネについて何と言われたかを確認する。次のように質問する。「ヨハネは地上にとどまっている間、何をすることになっているのでしょうか。」預言者ジョセフ・スミスは1831年6月にオハイオ州カートランドで開かれた大会において、新たな解釈を述べた。ジョン・ホイットマーは次のように記している。

「主の御霊が驚くべき方法でジョセフに注がれた。彼は黙示者ヨハネが、今、連れ去られたイスラエルの十部族の中にいと預言した。」(History of the Church, 第1巻, 176n)

生徒は、3ニーファイ28：7 - 9, 19 - 22, 30, 37 - 40を読む。身を変えられた人についてさらに調べる。調べた事柄について考える。右の欄を空白にして以下の表を黒板に書き写すとよい。生徒は、左の欄に記された参照箇所を調べて表を完成させる。

3ニーファイ28章	身を変えられた人の説明
7節	決して死を味わうことがない。
8節	救い主が来臨されるときに、一瞬のうちに死すべき状態から不死の状態に変えられる。
9, 38節	世の罪に対する以外に、苦しみや悲しみを感じることはない。
19 - 22節	迫害しても、害を与えることができない。
30節	神の天使のようである。御父に祈るならば、だれにでも自分自身を現すことができる。
37節	体にある変化が生じたため、生きている期間を伸ばし、特別な力を持つことが許されている。
39節	身を変えられたのであって、復活したのではない。サタンから誘惑を受けない。清められた、聖なる者である。地の力も彼らを閉じ込めておくことができない。
40節	裁きの日まで身を変えられた状態にとどまる。そして、その日、復活して、永遠に神とともに住む。

詳しい資料は『モルモン書生徒用資料 - 宗教コース121 - 122』(1996年, 137ページ)から3ニーファイ28章の注解を参照する。

## 教義と聖約8 - 9章

### はじめに

バプテスマを受けた教会員は確認によって聖霊の賜物を受け。これによって個人の啓示を受ける資格が与えられる。啓示の賜物を受ける権利があるからといって、啓示を受ける保証とはならない。ブリガム・ヤング大管長は次のように述べた。

「神の民に授けられた啓示に従って生活するなら、主の御霊が注がれて、神の御心がわかります。義務を果たそうとするときに導きと与えられるのです。ただ、この点に関してわたしはあることを確信しています。それは、わたしたちは約束されている数多くの祝福にあずかれるだけの霊的な生活をしていないということです。」(Discourses of Brigham Young, 32. 2ニーファイ32：5；モロナイ10：5；教義と聖約88：33も参照)

教義と聖約6章は、願い求めるならば、主は答えを与えてくださると教えている。8章と9章では、願い求める方法と、答えが与えられる方法が説明されている。これらは聖霊に関して基本となる聖文である。これらは啓示に関する啓示である。


### 学び取るべき重要な福音の原則


- 神から与えられる個人の啓示は、ほとんどが聖霊の力によって心と思いに告げられる（教義と聖約8：1 - 3；9：8 - 9参照。教義と聖約6：15, 22 - 23も参照）。
- 神からの啓示を受けて、理解するには、研究と義にかなった生活、慎重な決断、そして忍耐が必要である（教義と聖約9：1 - 11参照）。
- わたしたちは主から与えられる召しに満足すべきである（教義と聖約9：3 - 6, 11 - 14参照。ピリピ4：11；アルマ29：1 - 3も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 54。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 20 - 23。

### 教え方の提案

 教義と聖約6；8 - 9を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』6「これは啓示の霊である」(10：15)を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

 教義と聖約8：2 - 3（マスター聖句）。啓示は聖霊の力によってわたしたちの心と思いに告げられる。（5 - 10分）

生徒用学習ガイドから「紅海を渡る」の絵を見せる（教義と聖約8章の「聖文を理解する」を参照、またはアイテム番号62100を使う）。次のように質問する。「神はモーセに紅海の水を右と左に分けることを告げられました。どのようにして告げられたでしょ



うか。」教義と聖約8：1-3を読む。生徒は答えを探す。次のように質問する。「これはわたしたちが啓示を受けることとどうかかわっているでしょうか。」

多くの青少年は、啓示とは監督や中央幹部だけが受けるものだと考えているかもしれない。すべてのふさわしい人が啓示を受けられることを生徒が理解できるようにする。十二使徒定員会会長代理であるボイド・K・パッカー長老の以下の話を紹介する。

「主の家は秩序の家です。預言者ジョセフ・スミスは『いかなる教会員であれ、あるいは人であれ、自分よりも上位の権能を持つ人々のために指示を受けることは、神の摂理に反する』と教えました。

皆さんは個人的な啓示を受けることができます。また、親として自分の家族のために啓示を受けることができます。あるいは正しく召され任命された指導者や教師として、自分が託されている人々のために啓示を受けることができます。」「(「個人の啓示 賜物、試し、約束」『聖徒の道』1995年1月号、66参照)

個人的な啓示の持つ特質を生徒が理解できるように、スペンサー・W・キンボール大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の話を紹介する。

「燃えるしば、煙が立ち上る山、四つ足の獣が入った布、クモラでの出来事、カートランドでの出来事は事実でした。しかしこれらは例外です。モーセに、ジョセフに、そして今日の預言者に与えられた膨大な量の啓示は、目を見張るようなものではありませんでした。それらは強い印象を通して与えられたのであって、目や心を奪うような劇的な出来事によるものではありませんでした。

目を見張るような出来事をいつも期待していると、常に流れ込んでいる啓示にまったく気づかないまま過ごすことになります。」「(Conference Report, Munich Germany Area Conference 1973年, 77)

ボイド・K・パッカー長老が語った以下の言葉も紹介する。

「御霊は、叫んだり、激しく揺すったりはしません。ささやきかけてくるのです。そのささやき方は、非常に静かで、ほかのことに気を取られていると、まったく気がつきません。」「(「主のともじび」『聖徒の道』1988年12月号、35参照。列王上19：11-12；ヒラマン5：30も参照)

### 教義と聖約8-9。わたしたちは御霊に気づいて、こたえることができるようになる。(15-25分)

才能(例えば、美術、音楽、外国語など)を伸ばすための努力をしている生徒たちが、どれくらい続けているか言う。何年間努力してきたか、1週間に何時間練習やトレーニングをしているかを生徒が話す。あるいは何人かの生徒が、ワードや支部、あるいは地元の才能の豊かな人に、何年間努力して技術を磨いてきたか前もって聞いておき、それをクラスで報告する。以下の質問につ

いて話し合う。

- この中でバプテスマと確認を受けた人は何人いますか。
- 聖霊の賜物を受けるために何をしなければならないと思いますか。(わたしたちは確認によって聖霊の賜物を受ける権利を授かる。しかし、聖霊の賜物を実際に受けるにはふさわしい生活をしなければならないことを生徒に理解させる。)
- 聖霊の励ましに気づいて従う能力を伸ばすことは、才能を伸ばすこととどこが似ているでしょうか。また、どこが違うでしょうか。

十二使徒定員会会員のM・ラッセル・バラード長老が語った以下の言葉を読む。

「それは突然の出来事ではありませんでした。わたしの場合、聖霊の励ましにこたえられるようになるまでに時間がかかりました。『ここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて』学んできました。(2ニーファイ28：30)」「(Respond to the Prompting of the Spirit [1988年1月8日、宗教教育者への講話]、2)

ブリガム・ヤング大管長は預言者ジョセフ・スミスが自分に語りかける夢を見た。その夢の中でジョセフは示現について述べている。

「聖霊の訪れを受けるときに、聖霊を受け入れられる心の準備をしておくように兄弟たちに言ってください。確信している事柄に対して心を開いておくのです。そうすれば主の御霊とほかのあらゆる霊を見分けることができます。御霊は心に平安と喜びをささやきかけます。また、悪意、嫌悪、争い、あらゆる悪を取り去ってくださることでしょう。すると彼らは善を行い、義をもたらし、神の王国を築くことだけを望むようになるでしょう。主の御霊に従うなら、正しい道を歩めるようになるので伝えてください。主の御霊を持ち続けるよう、必ず伝えてください。」「(Manuscript History of Brigham Young 1846-1847, エルデン・J・ワトソン編 [1971年], 529-530)

啓示を調べれば、啓示について多くのことが分かるようになるので説明する。教義と聖約は啓示の書であり、啓示という大切な原則について深い理解を与えてくれる。オリバー・カウドリがモルモン書の翻訳を手伝いたいと願ったときのことがその一例である。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』(22ページ)の9章に記されている歴史的背景から、最初の二つの段落を生徒とともに学ぶ。次のように質問する。「オリバー・カウドリは金版を翻訳するために、啓示について理解する必要がありました。なぜでしょうか。」

以下の表を黒板に書き写す。または、配布資料として生徒に配る。右の欄にはまだ解答例を記入しない。生徒は各節を読む。啓示についての教えを生徒が記入する。クラスを二つに分けて、片方の質問に答えるようにしてもよい。全員で両方の質問に答えるようにしてもよい。生徒の答えについて話し合う。(注意：啓示が与えられる方法はこれだけではない。そのことを生徒が理解できるようにする。聖文は多くの方法について説明している。)

### どのような方法で啓示を求めるべきか。

教義と聖約8 : 1, 11	信仰をもって求める。
教義と聖約8 : 1	正直な心で求める。
教義と聖約8 : 1	答えが与えられると信じながら求める。
教義と聖約9 : 3	忍耐する。
教義と聖約9 : 7 - 8	心の中で問題についてよく考え、答えを導き出す。
教義と聖約9 : 8	答えが正しいかどうかを聞く。

### 啓示はどのように与えられるか。

教義と聖約8 : 2 ; 9 : 8	御霊はわたしたちに降って、心と思いに告げる。
教義と聖約6 : 15, 23 ; 8 : 2 ; 9 : 8	御霊は思いを啓発する。心に平安を与える。胸を内から燃やす。わたしたちはそれによって正しいと感じる。
教義と聖約9 : 9	わたしたちの決断が間違っていると、思いが鈍くなる。間違った決断そのものを忘れる。

七十人定員会の一員であったS・デルワース・ヤング長老の以下の言葉を紹介する。

「ひとたびこの燃える思い、この気持ち、この安らぎを覚えた者は、日々の生活において、あるいは導きを受けた事柄に対して、決して迷うことはないであろう。」(「静かな細い声」『聖徒の道』1976年8月号, 333参照)

**教義と聖約9 : 1 - 11。神からの啓示を受けて、理解するには、研究と義にかなった生活、慎重な決断、そして忍耐が必要である。**  
(15 - 20分)

以下の文を黒板に書く。正しいか間違っているか生徒が話し合う。「オリバー・カウドリはモルモン書を翻訳しようとしたができなかった。」

教義と聖約9 : 3 - 11を生徒が調べる。オリバーが翻訳しようとして失敗した理由を少なくとも4つ見つける。それを黒板に生徒が書き出す。(忍耐強くなかった〔3, 5節参照〕、主が別の仕事を用意しておられた〔2, 4節参照〕、「よく思い計る」ための努力をしなかった〔7 - 9節参照〕、時が過ぎ去った〔10 - 11節参照〕、恐れた〔11節参照〕などが含まれる。)

適切であると感じたら、以下の原則について話し合う。これらの言葉や引用を使ってもよい。または、ここのリスト以外の引用を付け加えてもよい。

啓示を得るには忍耐と信仰をもって堪えなければならない。

- 教義と聖約9 : 3, 5, 11。
- ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長を務めていた時代に、次のように記している。

「オリバーが失敗した原因は、翻訳を開始したときのように続けなかったこと、作業が困難だったこと、信仰がなくなったことだった。オリバーが学んだ教訓はまさに彼に必要なものであった。というのは、彼の務めがジョセフ・スミスの筆記者であると明らかにされたからである。ジョセフこそが主から召され、任命された翻訳者ということが明らかにされたのである。オリバー・カウドリには預言者と同等の立場に立ちたいという気持ちが多少あったに違いない。また、筆記者の座に甘んじてはいられないという気持ちもあつただろう。しかし、オリバーは翻訳の賜物を習得することができなかった。そのため、それから主の御心を進んで受け入れたのである。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 51)

啓示を得るには努力が必要である。

- 教義と聖約9 : 7 - 9。
- ヘンリー・B・アイリング長老は管理監督会の一員を務めていた時代に、次のように語った。それは中央幹部に召される何年も前に受けた割り当てに関する経験だった。

「何か月か努力を重ねましたが、無駄なことだと思えました。わたしは幾分捨てばちになっていました。皆さんの多くも、大切であるとはわかっていても、力の及ばない仕事を与えられたことがあるでしょう。天の助けが与えられないのではないかと感じたことがあると思います。

わたしはやっとの思いで、ハロルド・B・リー大管長から面接を受ける機会を得ました。大管長は思いやりを込めて迎えてくださいました。不安な気持ちを抑えきれず、出し抜けてこう質問しました。『リー大管長、どうしたら啓示を受けられるでしょうか。』

大管長は微笑んでいました。笑われなくてよかったと思います。おかしな質問だったからです。大管長は一つの物語を紹介して、質問に答えてくださいました。このような話です。第二次世界大戦中、リー大管長は、『教会は軍務に就いている会員たちをどう援助すべきか』について研究するグループの一員でした。そのグループはアメリカ中の基地を訪れて面接を行いました。データを集めて、分析しました。それからもう一度、基地を訪れて面接を行いました。しかし、何の計画も生まれませんでした。

それから、大管長は一つの教訓を教えてくださいました。それを皆さんに教えます。「ハル(訳注:ヘンリーの愛称)、知っている限りのことをして、万策尽きたときに、神は啓示を与えてくださるのですよ。もし啓示を受けなければ、努力を続けなさい。」(“Waiting upon the Lord”, Brigham Young University 1990 - 91 Devotional and Fireside Speeches〔1991年〕, 16 - 17)

主は答えを与える時をお選びになる。祈りの答えは主のタイミングに影響される。

- 教義と聖約9 : 10 - 11。

- 主は、義になかった望みに対して喜んでこたえてくださる。しかし、主はわたしたちを教えたいとも願っておられる。思慮深い主は「望みをかなえよう。しかし、今すぐにはではない」と答えられるかもしれない。ジョセフ・スミスはリパティエの監獄の中でそのような啓示を受けた。十二使徒定員会会員のニール・A・マックスウェル長老はこのように説明している。

「祈りとは願い求めることです。しかし、祈りは訓練の機会でもあります。監獄に閉じ込められていたジョセフは神に嘆願しました。『あなたの怒りがわたしたちの敵に向かって燃えますように。』（教義と聖約121：5）。しかし、神は忍耐するようと言われました。『今はその時ではない』と言われたのです。』（*But for a Small Moment* [1986年], 43 - 44）

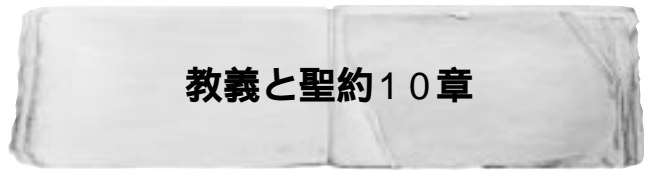
- 主はわたしたち自身の決断に任せられることがある。ブリガム・ヤング大管長はこのように教えた。

「もし知恵を与えてくださるよう主に願い求め、何の答えも与えられなかったとしたらどうするでしょう。わたし自身、友人、家族、子供たち、見守るべき人々の行くべき道について導きを与えられなかったらどうするでしょう。そのようなとき、わたしは自分の判断において最も良いと思われることを行います。主はわたしの決定を受け入れ尊重して下さるはずで。主は必ずそうされます。」（*Discourses of Brigham Young*, 43）

恐れると、啓示を受けるために必要な信仰を得ることができない。

- 教義と聖約9：11；『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（24ページ）、教義と聖約9：10 - 11の注解。
- ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていた時代に、このように教えた。

「不安や恐れのない人がいるでしょうか。……ばかにされるのではないかと不安になります。失敗するのではないかと、孤独になるのではないかと、十分な情報を得ていないのではないかと不安になります。わたしたちは様々なことで不安になるものです。現在のこと、また将来のことでも不安がっている人々もいます。罪の重荷を負い、その重圧から逃れるためなら何でもすると思っているのに、怖くて生活を変えられない人々もいます。このような恐れや不安は神から来るのではないことをはっきりと認識しなければなりません。そうした執拗な、破壊的な力は、真理や義に逆らうことから来るのです。恐れと信仰は正反対です。恐れや不安は致命的なまでに人をむしばんでいきます。」（「神がわたしたちに下さったのは、臆する霊ではなく……」『聖徒の道』1985年2月号, 21）



## 教義と聖約10章

### はじめに

教義と聖約3章に続いて間もなく与えられた10章は、主の計画と人々の霊を滅ぼそうとするサタンへのねらいと方法を理解する助けとなる。10章はまた、サタンが主の業をくじこうとしても常に失敗するのはなぜかが記されている。詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（24ページ）から、10章の歴史的背景を参照する。


### 学び取るべき重要な福音の原則

- サタンは主の計画と人々の霊を滅ぼそうと画策しているが、主の業が滅ぼされることはない。主の知恵、予知能力、力は、サタンよりも偉大だからである（教義と聖約10：1 - 45参照。1ペテロ5：8；1ニーファイ9：5 - 6；2ニーファイ28：20 - 23；モルモンの言葉1：6 - 7；教義と聖約3：1 - 3；93：39；モーセ4：4も参照）。
- 祈りはサタンとその手下に打ち勝つための力となる（教義と聖約10：5参照。2ニーファイ32：8 - 9；アルマ34：17 - 27も参照）。
- モルモン書はイエス・キリストの福音を明るみに出す（教義と聖約10：53 - 63参照。3ニーファイ27：13 - 21；教義と聖約20：8 - 12；42：12も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 46 - 49。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 10 - 12, 24 - 27。

### 教え方の提案

 教義と聖約3章と10章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』5「神の業」（14：15）を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

注意：教義と聖約3章の教え方の概要は10章の導入として使うことができる。

**教義と聖約10：1 - 45。サタンは主の計画と人々の霊を滅ぼそうと画策しているが、主の業が滅ぼされることはない。主の知恵、予知能力、力は、サタンよりも偉大だからである。（20 - 25分）**

注意：サタンや悪霊に関連する経験を述べたり、興味本位の話し合いを展開したりしてはならない。

十二使徒定員会会員を務めていた当時にマリオン・G・ロムニ副管長が語った以下の話を黒板に書き写す。または、配布資料として生徒に配る。それを生徒とともに読む。

「サタンは完璧に邪悪に満ちています。常にそうです。サタンは常に福音の計画を滅ぼすことを求め、『人々の霊を滅ぼそうとして』います(教義と聖約10:27)。……」

サタンはキリストの御霊の影響に攻撃を加え、抑えようと固く決意しています。……

サタンのとる方法は様々であり、よこしまであり、数え切れません。

『……サタンはありとあらゆる方法で人々の心を闇で覆い、真理に見せかけた偽りと欺きを差し出すのです。サタンは巧みに真理を偽造します。……』(ジョセフ・F・スミス, ダニエル・H・ラドロー, *Latter-day Prophets Speak* [Bookcraft, 1948年], 20 - 21で引用)

すべての神権時代が開始するときに、サタンは真理の出現に対して直接的に攻撃してきました。」「(「大いなる偽り者サタン」『聖徒の道』1971年12月号, 353参照)

現在の神権時代の初期に、回復された福音に対してサタンはどんな攻撃を加えただろうか。サタンの攻撃の例を思い出せるか生徒に聞く。(一例として、最初の示現において、声に出して祈るジョセフ・スミスを妨げようとしたことが挙げられる。)生徒が思い出せなければ、サタンがモルモン書の出現を阻止しようとしたことを説明する。生徒は、教義と聖約10:6-19を読む。サタンがどんな順序で計画を進めようとしたか調べる。必要であれば以下の要約と質問を使って、生徒の答えについて話し合う。

- すでに翻訳されていた原稿を手に入れて、ジョセフの翻訳の賜物を損なうためにマーティン・ハリスを利用する(6-9節参照)
  - 主はマーティン・ハリスを悪人と呼ばれました。なぜでしょうか。
  - わたしたちはサタンの影響から自分を守るために何ができるでしょうか。
- 悪人たちを使って、「[ジョセフ・スミス]が翻訳して書き取らせたものとは反対の意味」を持つように116ページの原稿の言葉を書き換えさせる(11節, 10-12節参照)
  - サタンは人々を使って自分の思いを成し遂げようとします。どんなふうにするのでしょうか。(19節も参照)
- ジョセフ・スミスが再翻訳するのを待って、悪人たちが書き換えた原稿と比較することにより、ジョセフ・スミスが詐欺師であると主張する(13-19節参照)
  - 人々はだれかを傷つけるためにうそをつきます。なぜでしょうか。
  - 末日における主の業において、モルモン書はとても大切です。なぜでしょうか。

20-25節を生徒が読む。次の質問をする。「これらの節はサタンが人々を使って自分の思いを遂げることについて書いています。サタンはどんな方法を使うと書いているのでしょうか。」26-27節を読む。次の質問をする。サタンの手下となった人はどうなるのでしょうか。一人の生徒がアルマ30:60を声に出して読む。次のように質問する。「サタンは終わりの日に、自分に従う者たち

をどう援助するのでしょうか。」

教義と聖約10:38-45を読む。モルモン書を滅ぼそうとするサタンの計画に対して、主はある手段を講じられた。どんな手段だったかを見つける。

一人の生徒が主の計画をまとめる。以下の質問から幾つかを選んで質問する。あるいは、すべて質問する。

- 1ニーファイ9:2-6を読んでください。この節にはモルモン書を滅ぼそうとするサタンの計画について示されています。どんなことが示されていますか。
- はるか昔から、主はこのことを知り、備えておられました。どうしてそんなことがおできになったのでしょうか(教義と聖約10:43; 1ニーファイ9:5-6; モルモンの言葉1:7参照)
- ニーファイの版(1ニーファイからオムナイまで)と失われた116ページの原稿との間にはどんな類似点があったでしょうか。(教義と聖約10:40, 45参照)
- 教義と聖約3:3; 10:43を読んでください。主と主の僕を常に信頼することは大切です。なぜでしょうか。

### 教義と聖約10:5(マスター聖句) 祈りはサタンとその手下に打ち勝つための力となる。(15-20分)

黒板に「打ち勝つ」と書く。何人かの生徒がこの語を使って文章を作る。教義と聖約10:5を読む。この節の「打ち勝つ」はどんな意味か生徒に聞く。「打ち勝つ」という語には「強い相手に勝つ」という意味もあるが、「困難や苦しみに堪えて、乗り越える。克服する」という意味もあることを説明する。

次のように質問する。「サタンに打ち勝つために祈りはどんな助けとなるでしょうか。」一つ誘惑に抵抗すると、サタンの業を一つくじいていることを指摘する。ジョセフ・スミスが最初の示現を受けたとき、祈りによって悪魔の力から守られたことを生徒に思い起こさせる(ジョセフ・スミス - 歴史1:16参照)。教義と聖約10:5を読む。生徒は傍線を引く。それから2ニーファイ32:8-9とアルマ34:17-27を相互参照する。次のように質問する。「祈りはサタン以外のあるものにも打ち勝つ力となります。それは何でしょうか。」(人生の試練や苦難)教師自身の生活の中で祈りがどんな力を持っているかについて証をする。

## 教義と聖約11章

### はじめに

1829年5月15日の出来事からしばらくして、ハイラム・スミスがニューヨーク州パルマイラの家を出発した。預言者ジョセフを訪れるためにペンシルベニア州ハーモニーへやって来たのだ。ハイラムは主が自分に求めておられることを知りたいと熱心に願った。そこで預言者は主に尋ね求めた。その結果、教義と聖約11章の啓示を受けた。(History of the Church, 第1巻, 44-45)この章は、聖霊が生活にどのような影響を及ぼされるかを示している。また、福音を分かち合うためにどのように備えてくださるかも明らかにしている。

## 学び取るべき重要な福音の原則

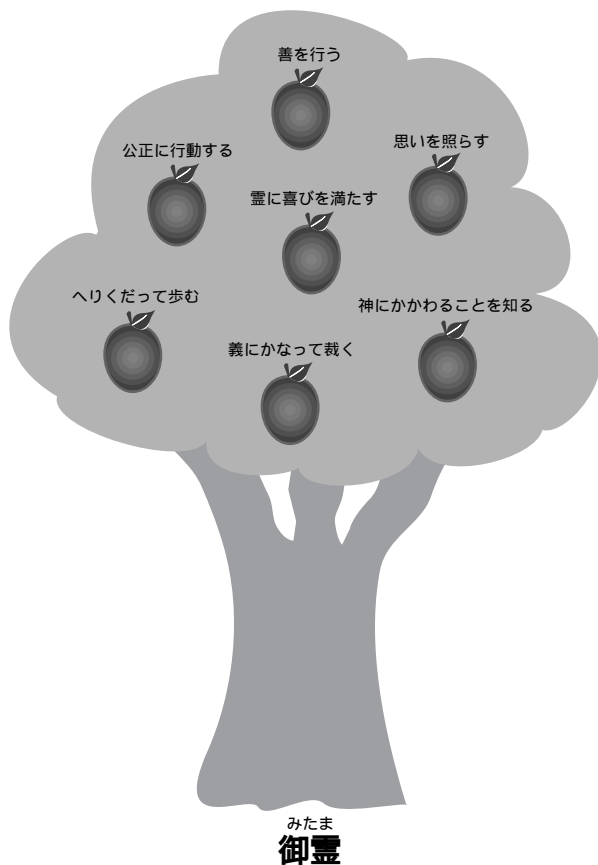
- 主の御霊は、善を行い、公正に行動し、へりくだって歩み、義にかなって裁くよう導かれる。わたしたちは御霊の影響力に気づくことができる。主の御霊はまた思いを照らし、霊を喜びで満たしてくださる（教義と聖約11：12 - 14参照。ミカ6：8；ガラテヤ5：22 - 23も参照）。
- 聖文を研究し、福音を理解し、真理の証を得て、戒めを守らなければ、福音を教えることはできない（教義と聖約11：15 - 26参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 54 - 56。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 27 - 29。

## 教え方の提案

教義と聖約11：12 - 14。主の御霊は、善を行い、公正に行動し、へりくだって歩み、義にかなって裁くよう導かれる。わたしたちは御霊の影響力に気づくことができる。主の御霊はまた思いを照らし、霊を喜びで満たしてくださる。（10 - 15分）



木や果物の名前を入れずに上の絵を黒板に書き写す。教義と聖約11：12 - 14を読む。この節が何について教えているかを見つける。木の横に「御霊」と書く。以下の質問をする。

- この節には、御霊の影響を受けたときにはそうと分かると書いてあります。どのようにしてそれが分かるのでしょうか。

- 御霊の影響を受けていれば、生活の中でどんな「実（結果）」が得られるでしょうか。（善を行う、公正に行動する、へりくだって歩む、義にかなって裁く、思いを照らされる、喜びに満たされる、神にかかわることを知る）

生徒が聖句から実の名前を見つけたら、木の絵の中に書き入れる。生徒に、御霊によって思いを照らされたときの経験を話すように勧める。喜びに満たされたときや、神に関する知識を得たときの経験でもよい。聖霊の影響を受けられるような生活をして得た祝福について証する。

教義と聖約11：15 - 26。聖文を研究し、福音を理解し、真理の証を得て、戒めを守らなければ、福音を教えることはできない。（25 - 30分）

以下の地名を黒板に書き出す。「ボゴタ（コロンビア）、プエノスアイレス（アルゼンチン）、サンパウロ（ブラジル）、グアテマラシティー（グアテマラ）、ハミルトン（ニュージーランド）、ロンドン（イギリス）、リマ（ペルー）、ヌクアロファ（トンガ）、マニラ（フィリピン）、メキシコシティー（メキシコ）、ユタ州プロボ（アメリカ）、サンチアゴ（チリ）、サントドミンゴ（ドミニカ共和国）、ソウル（韓国）、東京（日本）、アピア（西サモア）」

これらの都市はあることが共通している。何が共通しているか生徒が当てる。生徒は手がかりを得るために20回質問できる。ただし、あなたは「はい」か「いいえ」でしか答えない。（これらの都市には宣教師訓練センターが置かれている。）将来宣教師として伝道するために準備できる事柄を生徒が挙げる。

主は教義と聖約11章で、宣教師として奉仕することについてハイラム・スミスに述べておられる。4、15節を読む。これらの節がなぜ同じ章に記されていると思うか生徒に聞く。16、18、21節を読む。そこには、福音を宣べ伝える前にハイラムが行うべきことが書かれている。それを見つける。以下の質問について話し合う。

- 言葉を得ると宣べ伝える力が増し加えられます。どうしてでしょうか。
- できるかぎり学んだ後でなければ「人々を確信に」導く御霊は得られません。なぜだと思いますか。（21節）
- 教義と聖約9：7 - 8を読む。ここに記されている原則は教義と聖約11：21とどんな関連があるのでしょうか。

教義と聖約11：22を読む。脚注の②と③を参照する。1829年5月に聖書は存在していた。しかし預言者ジョセフはまだモルモン書の翻訳を終えてはいなかった。そのことを生徒が思い起こすようにする。現時点で、ある聖典が「これに加えられ」ている。それは何か生徒に聞く。（教義と聖約と高価な真珠）

黒板に見出しとして「ハイラムが行うよう命じられたこと」と「ハイラムが行わないよう命じられたこと」と書く。17 - 20節、23 - 26節を読む。見出しの下に当てはまる事柄を生徒が書き出す。ハイラム・スミスは何かを否定してはならないと言われていた。そこに焦点を絞って少し話し合う（25節参照）。次のように質問する。「なぜ啓示の霊と預言の霊を否定してはならないのだと思いますか。」預言の霊はイエスの証であることを指摘する（黙示19：10参照）。啓示の霊は教義と聖約8：2 - 3で説明されている。

教義と聖約11：26を生徒が読む。ハイラム・スミスが心の中に「蓄えて」おくように言われたものは何か考える。教義と聖約84：85を読む。教義と聖約11：26の「蓄えておく」と相互参照す

る。福音を紹介したときに、日頃の聖文研究が役立ったという体験はないだろうか。生徒に聞いてみる。教義と聖約38：30を読む。以下の質問をする。

- 今あなたは、福音を教えるために召されているとします。この節を読むと、安心しますか。どうしてですか。
- この節は教義と聖約11：15 - 26とどんな関係があるでしょうか。

## 教義と聖約12章

### はじめに

教会にあまり貢献していないと考えている生徒がいるかもしれない。彼らはクラス会長や定員会の会長で働いたことがないため、自分は大切な存在でないと考えているかもしれない。今日の教会員でジョセフ・ナイト・シニアを知っている人はあまりいない。しかし、ジョセフ・スミスのために行った彼の単純な奉仕は計り知れない価値がある。ナイト兄弟はジョセフ・スミスより33歳年上だったが、若い預言者を心から尊敬していた。ナイト兄弟は数回にわたって食料をジョセフに提供した。おかげで預言者はモルモン書の翻訳を続けることができた。ジョセフ・ナイトはこのように記している。「わたしは〔ジョセフ・スミスに〕何かの足しになればと、わずかの食料と、店で買ったわずかの品物と、靴を1足、それに現金を3ドル渡した。……〔後に〕翻訳用の紙を買うためのわずかなお金をジョセフに与えた。」(ディーン・ジェシー, “Joseph Knight’s Recollection of Early Mormon History,” *Brigham Young University Studies*, 1976年秋季号, 36)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の大義のために奉仕する人々は、人と自分自身の救いに貢献している(教義と聖約12：3参照。マルコ8：35；ヤコブの手紙5：20；教義と聖約62：3も参照)。
- 主は教会員に対して、「シオンの大義を起こして確立するよう努める」よう求めておられる(教義と聖約12：6。6 - 8節参照。教義と聖約6：6；11：6；14：6も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 42 - 43, 54, 71。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 29 - 30。

### 教え方の提案

教義と聖約12：6。主は教会員に、「シオンの大義を起こして確立するよう努める」よう求めておられる。(10 - 15分)

一人の生徒が、「はじめに」と「補助資料」の資料を使って、ジョセフ・ナイト・シニアについて2分間のプレゼンテーションを準備する。発表が終わったら、今日の多くの教会員がジョセフ・ナイト・シニアについてほとんど知らないことを指摘する。また、彼が与えた支援についてもほとんど知らないことを指摘す

る。以下の質問をする。

- ジョセフ・ナイト・シニアは、回復において大切な役割を果たしたと言えます。なぜだと思いますか。
- この教会のすべての会員は主の王国を建設するために大切な役割を果たしています。それは、どんな召しを受けているかに関係ありません。なぜでしょうか。

一人の生徒が教義と聖約12：6を読む。生徒全員に質問する。「ジョセフ・ナイトはどんな支援をするように勧められたのでしょうか。」黒板に「シオン」と書く。その下に、「場所」と「状態」と書く。『聖句ガイド』(115 - 116ページ)からシオンの説明を生徒が読む。シオンとはどんな場所か、またどんな状態の人が調べる。生徒が調べた事柄を黒板に書き出す。

黒板の「状態」の下に「大義」と書き加える。7 - 8節を生徒が読む。主はシオンの大義を助けることについて教えておられる。どんな教えか調べる。生徒が調べた事柄を黒板に書き出す。以下の質問をする。

- ジョセフ・ナイトはどんな方法でシオンの大義を助けたでしょうか。
- あなたはシオンの大義を助けるために家庭でどんなことができるでしょうか。

## 教義と聖約13章； ジョセフ・スミス - 歴史1:66 - 75

### はじめに

モルモン書の翻訳を始めてから約1か月が過ぎた。ジョセフ・スミスと筆記者のオリバー・カウドリは、罪の赦しのためにはバプテスマを受けなければならないという記述を見つけた。二人はペンシルベニア州ハーモニー近くのサスケハナ川へ行き、バプテスマに関して理解を深めることができるよう主に祈った。主は彼らの願いにこたえて、アロン神権を回復するためにバプテスマのヨハネを遣わされた。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていた時代にこの出来事の大切さを強調して次のように語った。

「アロン神権を授かってその権能を行使することは、取るに足らない些細なことではありません。末日の神権時代にこれらの鍵が与えられたことは、回復全体の中でも、最も偉大で重要な出来事の一つです。」(「アロン神権 - 神からの賜物」『聖徒の道』1988年6月号, 49)


### 学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちが主の戒めを守ると、主は聖霊を授けてくださる。聖霊は聖典に対するわたしたちの理解を増し加えてくださる(ジョセフ・スミス - 歴史1：66 - 74参照。1ニーフアイ10：19；モーサヤ18：10；教義と聖約18：34 - 36も参照)。
- アロン神権は「天使の働きの鍵と、悔い改めの福音の鍵と、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵を持つ。」(教義と聖約13：1。教義と聖約107：20も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 54 - 55.
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 30 - 31.
- 『高価な真珠生徒用資料 - 宗教コース327』, 55 - 67.

## 教え方の提案


 **ジョセフ・スミス - 歴史1:66 - 75. わたしたちが主の戒めを守ると、主は聖霊を授けてくださる。聖霊は聖典に対するわたしたちの理解を増し加えてくださる。(20 - 25分)**

付録(284ページ)のアロン神権に関する予備テストを実施する。生徒がテストを終えたら、ジョセフ・スミス - 歴史1:66 - 74の中から正解を探す。それからクラス全員で答えを確認する。

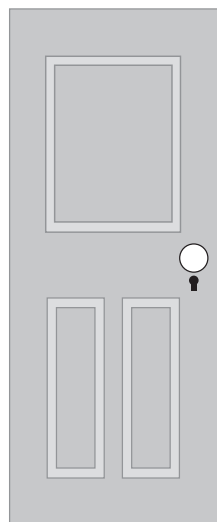
正解: 1. b (68節参照); 2. d, c, g, b, e, f, a (68 - 71節参照); 3. c; 4. b (72節参照); 5. a (72節参照); 6. c (73節参照); 7. b (74節参照); 8. c (74節参照); 9. a。

73節をもう一度読む。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリがなぜ聖霊に満たされたか話し合う。モーサヤ18:10; モロナイ4:3を読む。わたしたちが戒めを守ると聖約するときに、主はどんな祝福を約束してくださるかを確認する。これらの聖句は戒めと聖霊の関係を明らかにしている。聖句にしるしをつけるよう生徒に勧める。次のように質問する。「ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは具体的にどの戒めに従ったのでしょうか。」

ジョセフ・スミス - 歴史1:74の最初の文を読む。聖霊がジョセフとオリバーにどんな影響をお与えになったかについて話し合う。74節と、1ニーフアイ10:19と、教義と聖約18:34 - 36を生徒が比較する。次のように質問する。「聖霊を受けると受けないことで、聖文を理解する能力に違いが生じるのはなぜでしょうか。」聖文を研究するために聖霊を受けることが不可欠であることを証する。

 **教義と聖約13章。アロン神権は「天使の働きの鍵と、悔い改めの福音の鍵と、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵を持つ。」(20 - 25分)**

注意: 教義と聖約13章を教えるときに、生徒に『聖句ガイド』にあるサスケハナ川の写真(25)を参照させてもよい。



鍵穴のついている扉の絵を黒板に描く。扉は何を表すと思うか生徒に聞く。扉は場所や機会に通じる道を表すことがあると説明する。扉はまた、人を中に入れないようにしたり、中に入れたりするためにある。用意しておいた幾つかの鍵を見せる。そして、それぞれが何の鍵かを簡単に説明する。どの鍵が最も大切だと思うかを生徒に聞く。先に扉が表すことについて考えたが、鍵はそれらとどう関連するか話し合う。生徒は教義と聖約13章からアロン神権の鍵について書かれている箇所を探す。それらにしるしをつける。次に扉の絵の横にそれらを生徒が書き出す。

ダリン・H・オクス長老が述べた以下の言葉を黒板に書き写す。「アロン神権者は、ふさわしい状態<sup>せいざん</sup>を受けるとすべての教会員に対して……扉を開くのです。」(「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号, 43)

13章にもう一度目を通す。アロン神権には3つの鍵があることを生徒が確認するようにする。これら3つの鍵について生徒が感じたことを分かち合う。付録(285ページ)からダリン・H・オクス長老の話「アロン神権と聖餐」の抜粋を研究する。(生徒のためにコピーを用意するとよい)オクス長老の話の各部分を学ぶに当たって、以下の質問について話し合う。

### 悔い改めの福音の鍵

- 聖餐の儀式の準備とバプテスマの儀式の準備にはどんな共通点があるでしょうか。
- 聖餐の儀式の準備の仕方によって、あなたの日常生活は変化するでしょうか。
- ホームティーチャーとして、アロン神権者はどんな方法で悔い改めを説くことができるでしょうか。

### 罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵

- 聖霊を伴侶<sup>はかりよ</sup>とすることは「現世で持てる財産の中で最も貴いもの」です。なぜでしょうか。
- 「年老いてからバプテスマを受けられたらよかったなあ。死ぬ直前に罪から清められるから」と言う友だちがいたとします。そのような友だちに、オクス長老の話のどの部分を分かち合うことができるでしょうか。

### 天使の働きの鍵

- 「多くの場合、天使の働きかけは、視覚よりも感情や聴覚<sup>たまもの</sup>として伝えられ」ます。とすれば、天使の働きかけはある賜物と似ています。それは何だと思えますか(教義と聖約8:2参照)。
- 黒板に書かれたオクス長老の言葉の点線の部分に一文を書き加えてください。(オクス長老の話の抜粋の最後から2番目の段落を参照する)。
- バプテスマと聖餐というアロン神権の儀式は、教会員が天使の働きを受けるための道を開くと言えます。なぜでしょう。
- バプテスマを執行したり、聖餐の祝福やパスをしりするにはふさわしくなければなりません。そのことを考えるとき、アロン神権者はどのように変わるでしょう。
- 聖餐の準備、祝福、パスを行うときの動作や外見について考えるときに、アロン神権者はどのように変わるでしょうか。

## 教義と聖約14章

### はじめに

14章はデビッド・ホイットマーに与えられた。これは、主の業に働くよう召された人に向けて与えられた啓示の一つである。(4章はジョセフ・スミス・シニアに、11章はハイラム・スミスに、12章はジョセフ・ナイト・シニアに、15章はジョン・ホイットマ

ーに、16章はピーター・ホイットマー・ジュニアに与えられた。) 預言者ジョセフ・スミスを知る人々はよく、自分に対する主の御心について啓示を受けるよう預言者に頼んでいた。預言者はニューヨーク州フェイエットで幾つかの啓示を受けた。その中で教義と聖約に最初に記されているのがこの章である。ジョセフ・スミスはホイットマー家の農場に移ってから間もなく14章から16章の啓示を受けた。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(32 - 33ページ)から14章の歴史的背景を参照する。)


## 学び取るべき重要な福音の原則

- 永遠の命は、神の戒めを守り、最後まで堪え忍ぶすべての人に神が与えてくださる賜物である(教義と聖約14:6-7, 11参照。ローマ2:7; モーサヤ18:13も参照)。
- 信仰をもって祈るならば、聖霊を受けて、真理の証人となることができる(教義と聖約14:8参照。モーサヤ18:8-10; モロナイ10:3-5も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 56 - 57。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 32 - 33。

## 教え方の提案

 教義と聖約14章(マスター聖句、教義と聖約14:7)。永遠の命は、神の戒めを守り、最後まで堪え忍ぶすべての人に神が与えてくださる賜物である。(15 - 20分)

プレゼント用に包装した箱を見せる。以下の質問をする。

- あなたがこれまでに受けたプレゼントの中で何がいちばん良かったですか。
- そのプレゼントをもらって嬉しかったのはなぜでしょうか。

教義と聖約14:7を生徒が読む。わたしたちに与えられる贈り物の中で最も大きいなるものは何かを生徒が調べる。以下の話を紹介する。七十人定員会の会員を務めていた当時に、ブルース・R・マッコスキー長老はこのように記した。

「永遠の命とは……永遠の御父が嘗んでおられるような生活を指します。……

……永遠の命を受ける人々は昇栄を受けます。その人々は神の息子であり、キリストと共同の相続人であり、長子の教会の会員であります。その人々は万物に打ち勝ち、あらゆる力を持ち、御父の完全を受けます。彼らは神々なのです。」(Mormon Doctrine, 第2版〔1966年〕, 237)

ニール・A・マックスウェル長老はこのように記した。

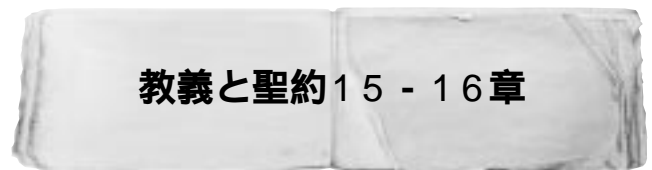
「偉大で、思いやりのあるこの二つの贈り物〔不死不滅と永遠の命〕を受けると、すべての悲しみが忘れ去られ、苦悩が和らげられ、怒りが収まり、絶望が希望に代わり、悲劇が幕を閉じます。」(Wherefore, Ye Must Press Forward〔1977年〕, 132)

永遠の命はあらゆる賜物の中で最も大きいなるものである。その理由について話し合う。

永遠の命は神から与えられる賜物であることを指摘する。主はこの賜物を受けるための条件を定めておられる。教義と聖約14章を読む。主はデビッド・ホイットマーにどんな戒めを与えられただろうか。それらを黒板に書き出す。以下の質問について話し合う。

- 主はデビッド・ホイットマーに戒めを与えられました。今日のわたしたちにも当てはまるのはどれでしょうか。どのように当てはまると思いますか。
- これらの戒めは、永遠の命を得るために役立ちます。どんな点で役立つと思いますか。
- 信仰をもって祈る人に主はある祝福を約束しておられます。どんな祝福でしょうか。(8節参照)

ハーモニーからフェイエットへの移動中に預言者ジョセフ・スミスの周りで起きた出来事について話して聞かせる(『時満ちる時代の教会歴史』, 56 - 57参照)。これらの人々はよく堪え忍び、永遠の命に通じる道を歩み続けた。彼らの経験の中にどんな模範があるか、生徒が聞き取る。



## はじめに

14章の「はじめに」を参照する。(42 - 43ページ)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 悔い改めを告げることによって、神の子らを神のもとに導くことができる(教義と聖約15:4-6; 16:4-6参照。アルマ29:1-2, 9-10; 教義と聖約11:9も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 56 - 57。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 33 - 34。

## 教え方の提案

教義と聖約15:4-6; 16:4-6。悔い改めを告げることによって、神の子らを神のもとに導くことができる。(10 - 15分)

最初の言葉を空白にして以下の文章を黒板に書き写す。「悔い改めは確かに偉大な祝福です。しかし、単に治療法が試せるからといって自分からわざわざ病気になるべきではありません。」(M・ラッセル・バラード「力に先駆ける清さ」『聖徒の道』1991年1月号, 39) 空白の部分に入る言葉を生徒が考える。生徒はそれを書き入れる。次のように質問する。「このメッセージが今日の人々にとって大切なのはなぜでしょうか。」

教義と聖約15:6を生徒が読む。主はわたしたちにとって最も価値のあることは何だと言っておられるだろうか。生徒が調べる。十二使徒定員会会員を務めたオーソン・F・ホイットニー長老の



以下の言葉を分かち合う。

「この教会のすべての男女は人々を救う義務があります。……だれか特定の人だけの責任だと言って、逃れることはできません。主は……こう言われなかったのでしょうか。『今は警告の時であり、多くの言葉を費やす時ではないからである。……警告を受けた人は皆、その隣人に警告しなければならない。』」(Conference Report, 1913年10月, 99. 教義と聖約63:58; 88:81参照)

教義と聖約15 - 16章を読んで、以下の質問について話し合う。

- 悔い改めを<sup>の</sup>宣べ伝えることはなぜそれほど大切なのでしょう
- 悔い改めを宣べ伝える責任はだれにあると思いますか。
- 主は同じ言葉を二度使われました。そのことから何が分かる
- 「悔い改めを告げる」人々には祝福が約束されています。どんな祝福でしょうか。(6節)
- アルマ29:1-2, 9-10を読んでください。悔い改めを告げると、ほかにも祝福がもたらされます。どんな祝福があると思いますか。



## はじめに

ブルース・R・マッコンキー長老はこのように記した。「主が御自身の言葉を伝えるときは必ず証人を立てられます。証人たちはその言葉が真実であり神の言葉であることを証<sup>あかし</sup>するのです。……二人またはそれ以上の証人が声を合わせると、神の語られた証は地上で拘束力を持ち、天において永遠に結び固められます。」(The Mortal Messiah: From Bethlehem to Calvary, 全4巻 [1979 - 1981年], 第2巻, 76) モルモン書の三人の証人については、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(35ページ)から、17章の歴史的背景を参照する。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 神は万物の真理を確立するために証人を召される(教義と聖約17章参照。申命19:15; マタイ18:16も参照)。
- イエス・キリストはモルモン書が真実であることを証<sup>あかし</sup>された(教義と聖約17:5-6参照。教義と聖約19:26; 20:8-11も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 57 - 61。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 35 - 37。

## 教え方の提案

教義と聖約17章。神は万物の真理を確立するために証人を召される。(30 - 35分)

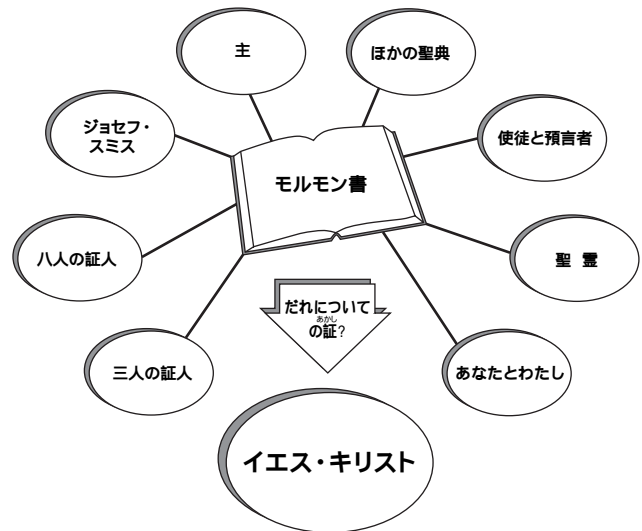
事前に次の手配をする。だれかが何か小さな品物を持って教室に入って来る。そして、すばやく教室を出て行ってもらう。以下の質問をする。

- 今の人の身長はどれくらいでしたか。
- どんな服装でしたか。
- 髪型はどうでしたか。
- 何を持っていましたか。
- 目撃者が大勢いると、よいことがありますか。

マタイ18:16を読む。次のように質問する。「この節は主が定められた証人の律法について書いてあります。どんなことがわかるでしょうか。」

教義と聖約17章を読む。生徒が以下の質問に答える。(クラスの始まる前にこれらの質問を黒板に書いておくとよい。)

- 三人の証人が版のほかに見ることになっていたものは何でしょうか。(1節参照)
- この三人は証人となるためにあることを求められました。それは何だったでしょうか。(1-2節参照)
- 三人の証人が示現を受けた後に、主は彼らにあることを行うように求められました。それは何だったでしょう。(3-5節参照)
- 三人の証人はモルモン書が真実であるという証<sup>あかし</sup>を受けました。彼らにその証をしたのはだれでしょうか。(6節参照)
- 17章によれば、主はモルモン書の証人をさらに求められました。それはなぜでしょうか。(4, 9節参照)
- 主は三人の証人に対して、彼らが忠実であることを条件に、あることを約束されました。それは何でしょうか。(8節参照)



上の表を黒板に書き写す。ただし、「モルモン書」以外の語を記入しない。以下の聖句と引用文を生徒が読む。モルモン書の証人をできるだけ多く見つける。表に生徒が記入する。

- モルモン書の序文に記されている三人の証人と八人の証人の証<sup>あかし</sup>
- エゼキエル37：15 - 17
- 教義と聖約1：29
- モロナイ10：3 - 4
- 「わたしはモルモン書が神の御言葉であることを証します。」  
(エズラ・タフト・ベンソン、「神聖な務め」『聖徒の道』1986年7月号、78)

- 「わたしたちがモルモン書の偉大な真理……にふさわしい生活を送れるように祈っています。わたしたちの宗教のかなめ石が、全地を揺り動かすほどの真理の重みを負って堅く据えられていることを証します。」(ジェームズ・E・ファウスト、「わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1984年1月号、18)

三人の証人は天使と版を目にする特権を得た。しかし、本当に力強い証は聖霊を通して与えられた。わたしたちの場合も同じである。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長時代に述べた以下の言葉を紹介する。

「仮に……触知し得る体を持った天使の訪れを受けても、聖霊の示しによって得られる消えたい印象や確信ほどのものは得られない、とキリスト御自身が宣言された〔ルカ16：27 - 31；教義と聖約5：7 - 10参照〕。直接の訪れを受けても時がたつにつれて印象は薄らいでいく。しかし、この聖霊による導きは、導きを受けるにふさわしい生活を送っていれば、日ごとに、あるいは年を追って更新され、継続する。」(『救いの教義』第1巻、44参照)

2ニーファイ32：5とモロナイ10：5を読む。生徒は二つの聖句を比較する。また、これらの節が上記の言葉とどんな関係にあるかを生徒が説明する。以下の質問をする。

- わたしたちの証<sup>あかし</sup>は、モルモンの書の証人が大勢いることによって強められます。なぜでしょうか。
- モルモン書が真実であることを知ると、日常生活がどのように変わってくるでしょうか。
- モロナイ10：4とヨハネ7：17を読んでください。これらの節には、証を強めるためにできることが書かれています。それは何ですか。

合本かモルモン書の最初のページを開く。そして、次のように質問する。「モルモン書は何に対する証<sup>あかし</sup>でしょうか。」(証という語には証人、または証拠という意味がある)

黒板の表の該当する箇所に「だれについての証?」と「イエス・キリスト」と書いて表を完成させる。次のように質問する。「モルモン書の証人全員は、イエス・キリストの証人でもありません。なぜでしょうか。」

三人の証人と八人の証人の経験の一部を紹介する。(『時満ちる時代の教会歴史』、59 - 60参照)以下の質問をする。

- マーティン・ハリスはオリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー、預言者ジョセフ・スミスと一緒にいた間、示現が与えられませんでした。なぜだと思いますか。
- この教訓は現在の人の生活にどのように応用できるでしょうか。

## 教義と聖約18章

### はじめに

1829年5月15日、バプテスマのヨハネが預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリの頭に手を置いてアロン神権を回復した。それからバプテスマのヨハネは二人に、互いにバプテスマを施すよう指示を与えた。また、按手<sup>あんしゅ</sup>によって互いをアロン神権に聖任するよう指示した。さらにヨハネは、二人が忠実であるならばメルキゼデク神権も回復されると約束した(教義と聖約13章の前書きを参照)。ジョセフ・スミスが18章を受けたときには、彼とオリバー・カウドリはペテロ、ヤコブ、ヨハネから、すでにメルキゼデク神権を授けられていた。歴史記録とジョセフ・スミスの同僚たちの証<sup>あかし</sup>を見ると、メルキゼデク神権は恐らく1829年5月16日から28日の間に回復されたことが分かる。(『時満ちる時代の教会歴史』参照、54 - 56；ラリー・C・ポーター、「The Restoration of the Aaronic and Melchizedek Priesthoods,」*Ensign*, 1996年12月号、30 - 47)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖典で教えられているように、教会は福音の基礎の上に築かれ、サタンの力に対抗して立つ(教義と聖約18：1 - 5参照。信仰箇条1：6も参照)。
- メルキゼデク神権はペテロ、ヤコブ、ヨハネを通して預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに回復された(教義と聖約18：9参照。教義と聖約27：12；128：20も参照)。
- 十二使徒の召しは、義にかなった生活を送り、神権の儀式を執り行い、聖霊の力によって福音を宣べ伝えることである(教義と聖約18：9、26 - 38参照。使徒4：33；10：39 - 43；教義と聖約107：23、33 - 35も参照)。
- あらゆる人の価値は大いなるものである。このため、イエス・キリストは苦しみと死を受け、悔い改めた人が主のもとへ帰れるようにされた。このメッセージを分かち合うと、人々の生活は変わり、わたしたち自身も喜びを得ることができる(教義と聖約18：10 - 16参照。ヨハネ3：16；教義と聖約34：3も参照)。
- 悔い改めてバプテスマを受けるとき、人はイエス・キリストの名を受ける。キリストの名を知って、キリストの声を聞き分ける人々は救いを得る(教義と聖約18：21 - 25、40 - 43参照。モーサヤ5：8 - 13も参照)。
- 聖典にはキリストの言葉が収められている。御霊<sup>みたま</sup>の力によって聖典を読むとき、イエス・キリストの声を聞くことができる(教義と聖約18：33 - 36参照。教義と聖約68：3 - 4も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、54 - 56。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、37 - 39。

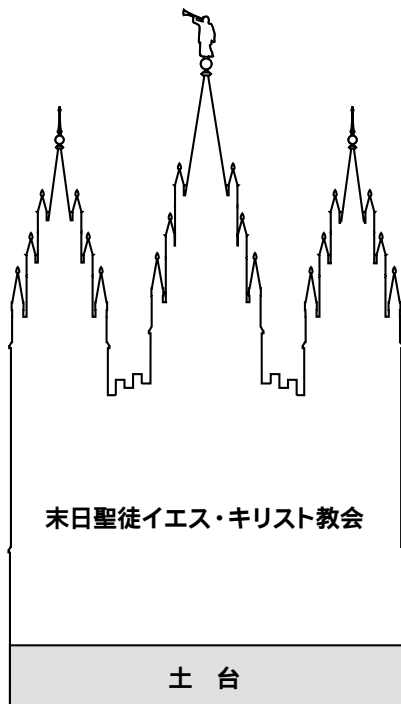
## 教え方の提案

教義と聖約18：1 - 5, 22, 29, 32。聖典で教えられているように、教会は福音の基礎の上に築かれ、サタンの方に対抗して立つ。(15 - 20分)

以下の話を紹介する。「1989年10月17日午後5時4分、マグニチュード6.9の地震が合衆国のカリフォルニア州サンフランシスコを襲った。数千に及ぶビルが倒壊したり被害を受けたりした。復旧費は20億ドル(約2,600億円)に達すると見込まれた。カリフォルニア州ワトソンビルという地域では、外見上、何の被害も受けていない家屋が多かった。しかし当局の調査により、地盤にひびが入り、危険であると確認された。」

マタイ7：24 - 27を読む。堅固な土台の大切さについて話し合う。

以下の図を黒板に書き写す。



教義と聖約18：1 - 5を生徒が読む。以下の質問をする。

- オリバー・カウドリが書いた「もの」(2節)とは何でしょうか。(モルモン書)
- 主はこの聖典についてオリバーに何と言われたでしょうか。
- この聖典について、主はオリバーにあることをするよう望んでおられました。それは何でしょうか(3節参照)

黒板の図を指して、以下の質問をする。

- 教会は何を土台としているでしょうか(5節参照)
- その土台の上に築かれると、教会はどんな力を持つでしょうか(5節参照)
- 主はモルモン書が発行されるまで教会の回復を待たれました。なぜでしょうか。

2ニーファイ32：3 - 6を読む。教会の土台と、わたしたちの生活の土台の間にある共通点について話し合う。

教義と聖約18：9。メルキゼデク神権はペテロ、ヤコブ、ヨハネを通して預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに回復された。(10 - 15分)

以下の質問を黒板に書くか、配布資料として生徒に配る。

- アロン神権が回復されたのはいつですか。(教義と聖約13章の前書き参照)
- アロン神権はどこで回復されましたか。
- だれがアロン神権を回復しましたか。
- 彼はだれの指示によってアロン神権を回復しましたか(ジョセフ・スミス - 歴史1：72参照)
- 彼はメルキゼデク神権についてどんな約束を与えましたか。
- メルキゼデク神権を回復したのはだれですか(教義と聖約27：12参照)
- メルキゼデク神権はどこで回復されましたか(教義と聖約128：20参照)
- メルキゼデク神権が回復されたのはいつですか。

生徒が質問に答えた後で、教義と聖約18：9に述べられているメルキゼデク神権の職は何か調べる(使徒)。メルキゼデク神権が回復された日付は記録に残っていないが、歴史記録とジョセフ・スミスの同僚たちの証言によれば、恐らく1829年5月16日から28日の間に回復されたと説明する(18章の「はじめに」、45ページ参照)。9節には使徒の職について書かれている。これは教義と聖約の中で、メルキゼデク神権が回復されたことを示す初めての記述となる。デビッド・ホイットマーが語った以下の話を紹介する。これは、オリバー・カウドリが死ぬ直前に述べたことについてである。

「[オリバー・カウドリは]部屋にいた人たちに向かって話しました。彼は両手を.....頭上に置いてこう言いました。『わたしは福音が真実であることを知っています。ペテロ、ヤコブ、ヨハネがこの頭に手を置いて、聖なるメルキゼデク神権を授けたのですから。』」(“The Testimony of Oliver Cowdery,” *Ensign*, 1996年12月号, 40)

教義と聖約18章はメルキゼデク神権が回復された後、間もなく与えられた。この章で教えられている原則はこの神権に関連している。生徒を3つのグループに分ける。以下の節を各グループの生徒が読む。各節がメルキゼデク神権とどう関連しているか考える。

- 1 - 5節。聖典は真実であり、完全な福音が収められている。メルキゼデク神権の儀式に関する情報も、完全な福音の一部である。
- 9 - 25, 40 - 47節。世の中は邪悪で満ちている。この悪に打ち勝つために、救い主と主の贖罪しよくざいと神権の儀式が必要である。
- 26 - 39節。これらの儀式を執行するには、メルキゼデク神権が必要である。さらにメルキゼデク神権を管理する使徒がいなければならない。

教義と聖約18：9，27 - 38。十二使徒の召しは、義にかなった生活を送り、神権の儀式を執り行い、聖霊の力によって福音を宣べ伝えることである。(20 - 25分)

一人の使徒の写真をかざして見せる。それがだれであって、教会でどんな地位にいるかを生徒に聞く。ボイド・K・パッカー長老が語った以下の話を分かち合う。

「カール・G・メーザーが若い宣教師を連れてアルプスを越えようとしていたときのことで。頂上に着いて後ろを振り返ってみると、雪の上になんと1列に差してある棒が見えました。その棒は、危険な氷河の方に立ち入らないように警告するためのものです。

彼は宣教師たちを休止させ、1列に並んだ棒を指し、こう言いました。『兄弟たち、これが〔神の〕神権だよ。わたしたちと同じように何でも棒が……どういう役割を果たしているかが問題だ。棒が示している場所からそれると、道に迷ってしまうんだよ。』(アルマ・P・バートン『モルモン教育者、カール・G・メーザー』、22で引用)、「こうした人々を避けなさい」『聖徒の道』1985年7月号、38参照)

氷河に突き刺してある棒はどんな点で主の使徒にたとえられるだろうか。生徒の考えを聞く。黒板に「使徒の果たす役割」と書く。使徒4：33；10：39 - 43；教義と聖約18：9，26 - 32；107：23，33 - 35を生徒が読む。使徒の果たす役割を説明している箇所を生徒が挙げる。それらをすべて黒板に書き出す。以下の質問をする。


- 預言者や使徒に従わなかったら、なぜ危険なのでしょう。
- 預言者と使徒の勧告に従う人はどんな恵みを受けるのでしょうか。

大管長会を構成していたブリガム・ヤング、ヒーバー・C・キンボール、ウィラード・リチャーズが発表した以下の声明を紹介する。

「すべての聖徒の皆さん、主の指示を受けて皆さんを管理する人々の勧告によく耳を傾けてください。信仰の祈りによって彼らを支持してください。清く、謙遜であってください。天から与えられる知恵に欠けることのないようにしてください。」(ジェームズ・R・クラーク編、*Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*、全6巻〔1965 - 1975年〕、第2巻、48)

教義と聖約18：37を読む。主から十二使徒を捜し出す務めを与えられたのはだれとだれだろう。主は後にこの務めをマーティン・ハリスにも与えられた。1835年2月に、この3人は現代における最初の十二使徒定員会を選んで、聖任した(『時満ちる時代の教会歴史』、153 - 154参照)。七十人定員会会員を務めたB・H・ロバーツ長老が語った以下の言葉を読む。

「十二使徒の特別な召しは、全世界における主イエス・キリストの証人となることです。したがって、あの『三人の特別な証人』がこれら十二人の証人を選ぶのはきわめて理にかなったことでした。神の驚くべき業全般についての証人であり、特にモルモン書の証人である、あの三人が選んだのです。」(History of the Church、第2巻、187 n)

 教義と聖約18：10 - 16 (マスター聖句、教義と聖約18：10，15 - 16)。あらゆる人の価値は大いなるものである。このため、イエス・キリストは苦しみと死を受け、悔い改めた人が主のもとへ帰れるようにされた。このメッセージを分かち合うと、人々の生活は変わり、わたしたち自身も喜びを得ることができる。(5 - 10分)

あなたにとって価値のある物を生徒に見せる。それがいくらかの価値があるかを考える。以下の質問について話し合う。

- あなたは価値のあるものを持っていますか。
- それはなぜ価値がありますか。

教義と聖約18：10 - 12を読んで、以下の質問をする。

- 人にはどれほどの価値があるのでしょうか。
- 主は人のためにどれほどの代価を払われたのでしょうか(ヨハネ3：16；教義と聖約34：3も参照)。

人類を救うためには神の血という代価を支払う必要があったことについて証する(1コリント6：19 - 20；1ペテロ1：18 - 19参照)。主が自分のためにしてくださったことについて、どのように感じているかを生徒に聞く。「主イエスの愛に」(『賛美歌』、109)の歌詞を読む(または、歌う)。教義と聖約18：13を読む。主は悔い改めた人を喜ばれる。なぜだと思おうか生徒に聞く。

14 - 16節を読んで、以下の質問をする。

- 主はわたしたちに何をしよう命じておられるのでしょうか。
- この戒めと、11節に記されている主の目的には共通点があります。どこが共通しているのでしょうか。
- わたしたちはこの戒めを守るときにどのように感じるのでしょうか。

アルマ26：30 - 31；29：8 - 10を読む。伝道をして大きな喜びを感じた経験について分かち合うように生徒に勧める。あるいは帰還宣教師を招いて、伝道中に感じた喜びについて話してもらおうとよい。エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を紹介する。

「愛する同僚の皆さん、皆さんは人生の中で最も幸福な時期を迎えています。わたしは自分の言っていることをよく理解して話しています。わたしも伝道に行きました。伝道活動の喜びを味わいました。人にこれ以上の喜びと幸福をもたらす業は世界中どこを探してもありません。」(The Teachings of Ezra Taft Benson〔1988年〕、213)

人々に「悔い改めを叫ぶ」ため、現在何ができるだろうか。将来は何ができるだろうか。生徒と話し合う(教義と聖約18：14)。

**教義と聖約18：21 - 25, 40 - 43。悔い改めてバプテスマを受けるとき、人はイエス・キリストの名を受ける。キリストの名を知って、キリストの声を聞き分ける人々は救いを得る。(15 - 20分)**

一人か二人の生徒が自分の姓を黒板に書く。どのようにして姓を受け継いだか、その生徒に説明させる。また、その姓に伴う責任と特権についても説明させる。(特権には、住む家があること、愛されていること、安全であること、教会の中で育てられていることなどがある。責任には、家の鍵をなくさないこと、家族に愛と尊敬を示すこと、家事を手伝うこと、家名を大切にすることなどが考えられる。)

教義と聖約18：21 - 25, 40 - 43を読む。以下の質問をする。

- 教会員は、どんな名前を受けているでしょうか。
- 教義と聖約20：37を読んでください。この節には、いつこの名を受けると書いてありますか。
- この名はわたしたちの救いとどんな関係があるでしょうか。
- この名によってどんな特権が与えられるでしょうか。どんな責任が与えられるでしょうか。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長時代に、次のように語った。

「進んで御子の御名を受け、いつも主を覚えると聖約します。この聖約を交わすことにより、わたしたちは主の御名によって呼ばれるようになることを決意し、この名前を決して辱めたり、汚したりしないと約束します。」(『救いの教義』、第2巻、319参照)

どうすればもっと真剣にキリストの名を受けることができるか、紙に書き出すように生徒に勧める。

**教義と聖約18：34 - 36。聖典にはキリストの言葉が収められている。御霊の力によって聖典を読むとき、イエス・キリストの声を聞くことができる。(5 - 10分)**

注意：この教え方の提案は教義と聖約の序文(21 - 22ページ)にある教え方の提案を取り入れてもよい。

生徒に馴染みのある3、4人の声を録音したテープを聞く。だれの声かを生徒が当てる。あるいは、一人か二人の生徒に目隠しをする。何人かの生徒が自分の声を変えずに、順に話す。そして、目隠しをした生徒が声の主を当てる。全員に以下の質問をする。

- ある人の声はすぐわかり、ほかの人の声はだれの声なのかなかなかわかりません。なぜでしょうか。
- 人はどんな方法で主の声を聞くことができますでしょうか。

だれかの声を聞けば聞くほど、その声に慣れて、声の主がわかりやすくなることを指摘する。教義と聖約18：34 - 36を読んで、以下の質問をする。

- この節によれば、わたしたちはどんなふうにして主の声を聞くことができますでしょうか。
- この節を読んで、聖典に対するあなたの考え方はどんなふうになりましたか。

黒板に次のように書く。「神と話したいと思うときは、祈りなさい。神の声を聞きたいと思うときは、聖典を読みなさい。」この言葉は34 - 36節とどう関連しているかについて生徒に聞く。

## 教義と聖約19章

### はじめに

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長時代に、贖罪に関する教えが記されている教義と聖約19章についてこう語った。この章は「この神権時代に与えられた偉大な啓示の一つであり、これより重要な啓示はほとんどありません。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 85) ジョセフ・スミスはマーティン・ハリスの農場を担保にして、出版業者のエグバート・B・グランディンにモルモン書の印刷料を支払うことにしていた。出版が完成する前に、町の一部の人々は集会を開いて、モルモン書を買わないことを取り決めた。ジョセフ・ナイト・シニアによると、農場を失うことを恐れたマーティン・ハリスは預言者のもとへ行って、こう言った。「『本は売れないだろう。みんな買わないって言っているんだ。』」ジョセフは言った。「『よく売れますよ。』」マーティンは言った。「『戒め〔啓示〕をもらえないだろうか。』」何ですって。啓示はすでに受けたじゃありませんか。すでに受けた啓示に従ってください」とジョセフは言った。「『しかし、どうしても戒めが欲しいんだ』」とマーティンは言った。……マーティンは戒めを受けなければならないと3度か4度言い張った。」(ジェシー, “Joseph Knight’s Recollection,” 37で引用) ジョセフは翌日19章を受けた。マーティン・ハリスは翌月、農場の一部を売って、グランディンへの支払いに充てた。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストは御父の御心を行われる。そのようにして、救いに関する御父の計画を支持しておられる(教義と聖約19：1 - 5, 16 - 24参照。モーセ4：1 - 2も参照)。
- 従順でない者たちに次の世で加えられる罰には、終わりが無いわけではない(教義と聖約19：6 - 12参照)。
- イエス・キリストは贖罪の代価を支払われた。その苦しみに耐えられる人はいない。人はその苦しみを理解することさえできない(教義と聖約19：15 - 20参照。モーサヤ3：7も参照)。
- イエス・キリストが流された贖いの血は、悔い改める人々の罪の代価を支払う。悔い改めない人々は自分の罪について罰を受ける(教義と聖約19：4, 13 - 20参照。モーサヤ4：1 - 3も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、61 - 66。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、40 - 43。

## 教え方の提案



教義と聖約19：4，13 - 21（マスター聖句，教義と聖約19：16 - 19）。イエス・キリストが流された贖いの血は、悔い改める人々の罪の代価を支払う。悔い改めない人々は自分の罪について罰を受ける。（20 - 25分）

以下の表を配布資料として生徒に配る。右側の解答欄は空白にしておく。聖典を使って答えを見つける。

質問	聖句	答え
主はなぜわたしたちに戒めを与えておられるのでしょうか。	ヨハネ13：17；モーサヤ2：41；4ニーフアイ1：15 - 17	わたしたちを祝福し、幸福になるよう助けるため。
罪と悪はどんな結果をもたらすのでしょうか。	マタイ25：31 - 34，41；教義と聖約19：5	不幸、悲しみ、苦難。
罪のもたらす結果を克服するために主は何を与えてくださったのでしょうか。	教義と聖約19：4，13 - 21	贖罪、悔い改め、救い

黒板に「イエス・キリストはわたしたちの罪の代価を支払うために苦しみを受けられた」と書く。次のように質問する。「救い主はわたしたちに悔い改めの賜物を与えるためにどんな代価を支払われたのでしょうか。」モーサヤ3：7と、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』41の、教義と聖約19：13 - 20の注解から引用文を読む。次のように質問する。「救い主はだれのために苦しみを受けられたのでしょうか。」（教義と聖約18：11；19：16参照）

黒板に「わたしたちは悔い改めるときに、苦しみと悲しみを経験する」と書く。

1ヨハネ1：8；アルマ40：26を読む。以下の質問をする。

- これらの節によると、悔い改めにはとても大きな価値があります。なぜでしょうか。
- 苦しむことと悔い改めることの間にはどんな関係があるのでしょうか（教義と聖約19：4，13 - 21参照）。
- 苦しむことは悔い改めの大切な一部です。なぜだと思いますか。

スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の言葉を紹介する。

「罪のために強烈な苦しみを経験するまでは、その人は悔い改めのための一歩を踏み出したとは言えません。……

覚えておいてください。悔い改めとは、単に『ごめんなさい』と言うだけではありません。目に涙を浮かべることだけでもありません。

何度が祈るだけのことでありません。悔い改めとは苦しむことです。苦悩のないところに悔い改めはあり得ないからです。」（*The Teachings of Spencer W. Kimball*，エドワード・L・キンボール編〔1982年〕，88，99）

黒板に「悔い改めなければ、自分の罪の代価を自分で支払うことになる」と書く。

教義と聖約19：17を読む。次のように質問する。「もし苦しむことが悔い改めの大切な要素ならば、この節で救い主は何を言おうとしておられると思いますか。」悔い改めに含まれる苦しみと、救い主が贖罪において受けられた苦しみとは同じものではないことを説明する。救い主の苦しみの代価を支払うためであって、この上なく困難なものであった。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「どのようなものであるかにかかわらず、定められた律法または戒めに背くことはすべて罪です。したがって、代価が支払われないかぎり、罰を受けなければなりません。その代価とは肉体の苦しみかもしれませんし、精神的な苦しみかもしれません。とにかく何らかの方法で代価を支払わなければならないのです。悔い改めによろうが、罰によろうが、すべての罪は償われなければならないと聖文は告げています。」（*Seek Ye Earnestly*〔1970年〕，151）

マタイ11：28 - 30；モーサヤ26：30を読む。次のように質問する。「これらの節には悔い改めに対してどんな祝福が与えられると記されていますか。」「街を離れたる青き丘に」（『賛美歌』，110）を歌う。または歌詞を読む。救い主に対して抱いている思いを書くよう生徒に勧める。希望する生徒がいれば、その思いを分かち合う。救い主について、またあなたの生活において主の贖いがどれほど大切かについて証を述べる。

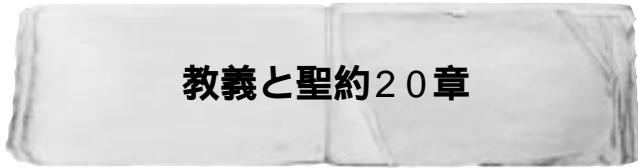
教義と聖約19：13 - 38。主はマーティン・ハリスに戒めを与えられた。（10 - 15分）

19章の「はじめに」を紹介する（48ページ）。教義と聖約19：13 - 28にすばやく目を通す。「わたしはあなたに命じる」と書かれている箇所に生徒が傍線を引く。黒板に以下の表を書く。節の番号を縦に書き入れる。主がマーティンに与えられた戒めを各節の横に生徒が記入する。

教義と聖約19章	戒め
13節	悔い改める。
21節	人々に悔い改めを <sup>の</sup> 宣べ伝える。
23節	主の言葉を聴く。謙遜になる。
25節	むさばらない。命を求めない。
26節	自分の財産をむさばらない。モルモン書を印刷するために財政的な支援を行う。
28節	声に出して、心の中で、公に、隠れて、祈る。
30節	神を信頼する。ののしらない。
31節	信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊について教える。
37節	説き、勧め、真理を告げ知らせる。

26, 34 - 35節を読んで、以下の質問をする。

- 人はどんなふうに自分の財産をむさぼるでしょうか。(教義と聖約104:14, 55 - 56参照)
- あなたは、主のためにどんな犠牲を払っていますか。あなたの知っている人はどうですか。
- もし求められたら、何を進んでささげるべきでしょうか(オムナイ1:26参照)。



## はじめに

1830年4月6日、ニューヨーク州フェイエットで教会が組織されたとき、出席した人々は約60人だった。一部の人は南に160キロ離れたコールズビルからやって来た。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは教会指導者として支持を受け、その後お互いを聖任した。二人は聖餐を執り行い、すでにバプテスマを受けていた人々を確認して、聖霊の賜物を授けた。同じ日に二人はそのほかの人々にもバプテスマを施している。20章はこの日またはそれ以前に与えられた。この章は預言者に教会を組織するよう指示している。ブルース・R・マッコンキー長老はこのように記した。「わたしたちは教義と聖約20章を教会の憲章と呼んでいます。基本的な教義、組織の構造、教会の手続きを明らかにするものという意味で、そう呼んでいるのです。」(Doctrines of the Restoration: Sermons and Writings of Bruce R. McConkie, マーク・L・マッコンキー編〔1989年〕, 271)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の教会を組織するにはイエス・キリストの権能が必要だった。神権者は神によって召され、支持を受け、適切な神権の権能を持つ人によって聖任される(教義と聖約20:1 - 4参照。教義と聖約26:1 - 2; 信仰箇条1:5も参照)。
- モルモン書には完全な福音が収められている。また、聖書が真実であることを証明し、イエス・キリストについて教え、キリストの使命について明らかにしている(教義と聖約20:8 - 16参照。モルモン書のタイトルページも参照)。
- 創造、アダムの墮落、イエス・キリストの贖いは、福音の三大基本原則である(教義と聖約20:17 - 24参照。アルマ18:36 - 39; モルモン9:11 - 12も参照)。
- へりくだって、信仰を持ち、バプテスマを受けることを願い、悔い改め、イエス・キリストの名を進んで受け、終わりまで主に仕える意志のある人は、バプテスマを受けるにふさわしい(教義と聖約20:25 - 26, 37, 72 - 74参照。モロナイ6:1 - 4も参照)。
- わたしたちはイエス・キリストの贖罪を通して、悔い改め、義認、聖め、神の王国における救いを受けることができる(教義と聖約20:29 - 31参照。モロナイ10:32 - 33も参照)。
- 神権には幾つかの職がある。それぞれの職には特有の義務がある(教義と聖約20:38 - 71参照。信仰箇条1:5も参照)。

- 聖餐の目的は救い主の犠牲を記念し、バプテスマの聖約を新たにすることである(教義と聖約20:75 - 80参照。3ニーファイ18:1 - 12, 28 - 29も参照)。

## 補助資料

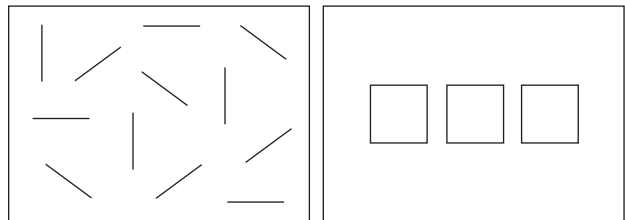
- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 67 - 69。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 43 - 47。

## 教え方の提案

教義と聖約20章。主は御自身の教会の秩序を啓示された。(5分)

『聖句ガイド』の「史跡写真」(26)から復元されたピーター・ホイットマー・シニアの家の写真を参照する。この家で行われた教会の歴史上大切な出来事について生徒に聞く。「はじめに」を読む。また「補助資料」から教会の組織に関する資料を紹介する。(『聖句ガイド』の「史跡写真」〔26〕の説明文も参照する。)以下の質問をする。

- 教会が回復され、組織されたことを感謝していますか。それはなぜですか。
- 現在の集会は、教会で最初に開かれた集会とどこが違うでしょうか。
- 変わっていないのはどこでしょうか。



上のような2枚の絵を準備する。二つの絵を見せる。生徒は見たものを紙に描く。絵を見せるのはそれぞれ1秒間だけなので、注意を集中させなければならないことを説明する。最初の絵を見せる。生徒に描く時間を与える。次に2枚目の絵を見せる。描く時間を与える。この活動が終わったら、次のように質問する。

- どちらの絵のほうが描きやすかったですか。なぜですか。(2枚とも線の数は同じだが、一方は整然としており、もう一方は雑然としていることを指摘する。)
- 神の王国に秩序が必要なのはなぜでしょうか(1コリント14:33; 教義と聖約132:8参照)。

御自身の教会を回復される時、主はどのように組織すべきかを明らかにされたと説明する。20章は「憲章」に相当する。以下の質問をする。

- 憲章とは何でしょうか。(重要なおきて。基本的なおきて)
- 憲章があると秩序が生まれます。なぜでしょうか。
- 教会を管理するための規則があると、どんな祝福があるでしょうか。

教義と聖約20章はどんなふうに教会に秩序を与えているか見つけるように生徒を励ます。



**教義と聖約20：1 - 4。主の教会を組織するにはイエス・キリストの権能が必要だった。神権者は神によって召され、支持を受け、適切な神権の権能を持つ人によって聖任される。(5 - 10分)**

生徒は次の場面を想像する。あなたは友だちからオートバイを借りて運転していました。すると、警察官から停止するよう命じられました。登録証を調べた警官は、オートバイがあなたのものではないと分かりました。

- どんな場合、そのまま行かせてもらえるでしょう。
  - どんな場合、オートバイの窃盗犯として逮捕されるでしょう。
- 教義と聖約20：1 - 4を生徒が読む。1節で何が起きたかを説明させる。以下の質問をする。
- ジョセフとオリバーは教会を組織する前にすでにあるものを受けていました。それは何でしょうか。(神権)
  - 教会を組織する前に神権を受けたことはなぜ大切なのでしょうか。
  - このことは先のオートバイの例とある点で共通しています。どんな点が共通しているのでしょうか。
  - 現在、主の業を管理する権能を持っているのはだれでしょうか。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が語った以下の言葉を紹介する。

「預言者ジョセフ・スミスが選ばれたのは、教会を再び設立するためでした。また、神権の権能を授かり、管理するためでもありました。さらにまた、人から取り去られた、分かりやすくて貴い真理を回復するためでもありました。」(「エライジャの霊」『聖徒の道』1995年1月号、92)

**教義と聖約20：8 - 28。モルモン書には完全な福音が収められている。また、聖書が真実であることを証明し、イエス・キリストについて教え、キリストの使命について明らかにしている。(10 - 15分)**

以下の言葉を黒板に書き写す。太字の部分は空白にしておく。「この教会の会員で、モルモン書を真剣に、また注意深く読んだことのない人は神の御前でふさわしい者として立つことができません。」(ジョセフ・フィールディング・スミス, Conference Report, 1961年9月 - 10月, 18. 強調付加) 空白の部分に当てはまる語を生徒が当てる。ヒントとして生徒からの「それは ですか」という質問に、20回だけ「はい」か「いいえ」で答える。モルモン書を真剣にまた注意深く読んだことがあるかどうか深く考える。

教義と聖約20：8 - 28を読む。生徒はモルモン書に関することをすべて書き出す。何人かの生徒が見つけた事柄を発表する。次のように質問する。「あなたはモルモン書が真実であることを知っていますか。知っているとしたら、以下の人(こと)については何を知っていますでしょうか。」

- ジョセフ・スミス
- 末日聖徒イエス・キリスト教会の回復
- アロン神権とメルキゼデク神権の回復
- 福音の原則

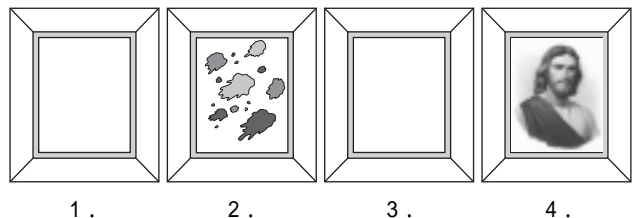
エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を紹介する。

「モルモン書は証の<sup>あかし</sup>かなめ石です。かなめ石が取り除かれたらアーチは崩れ落ちます。同じように、この教会のすべての教えは、モルモン書が真実であるという事実<sup>かま</sup>に、依存しているのです。教会の敵はそれをよく知っています。彼らがこのモルモン書の誤りを立証しようとあらゆることをするのはそのためです。もしモルモン書が誤りだと立証できれば、預言者<sup>かま</sup>ジョセフ・スミスもともに倒れるからです。神権の鍵や啓示、また回復された教会についてのわたしたちの主張も崩れ落ちてしまいます。しかし逆に、もしこのモルモン書が真実であるならば、事実<sup>かま</sup>、何百万人という人がこれが真のものであるという御霊の証を受けたと証しています。人は回復や回復に伴うすべてのことを受け入れなければならないのです。」(「モルモン経 わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号、6参照)

**教義と聖約20：25 - 26, 37, 72 - 74。へりくだって、信仰を持ち、バプテスマを受けることを願い、悔い改め、イエス・キリストの名を進んで受け、終わりまで主に仕える意志のある人は、バプテスマを受けるにふさわしい。(5 - 10分)**

黒板に、「D&C20：25 - 26, D&C20：37, D&C20：72 - 74」と書く(D&Cは、教義と聖約の略記号)。生徒は以下の状況を想像する。「教会員でない友だちが福音に興味を持っている。その友だちが、末日聖徒の聖典ではバプテスマについてどう教えているか知りたいと言ってきた。」3人の生徒が黒板に書かれている聖句を読む。全員でその教えについて話し合う。

**教義と聖約20：17 - 34。わたしたちはイエス・キリストの贖罪を通して、悔い改め、義認、聖め、神の王国における救いを受けることができる。(15 - 20分)**



生徒に以下の絵を見せる。(付録294ページにある拡大された絵を使用する。)以下の質問をする。

- 最初の絵(真っ白なキャンバス)は、わたしたちが生まれたときの状態とどのように似ているのでしょうか(教義と聖約93：38参照)。
  - 2番目の絵ではキャンバスが汚れています。わたしたちのキャンバスはなぜ汚れるのでしょうか(教義と聖約20：17 - 20参照)。
- 教義と聖約20：21 - 24を読んで、以下の質問をする。
- 3番目の絵のように再び清くなれるよう、主は何をしてくださいましたでしょうか。
  - 清くなるためには人は何をしなければならいでしょうか(29節参照)。



- 30節を読んでください。主はこの清い状態をどんな言葉で表しておられるでしょうか。
- 3番目の絵は人が悔い改めてバプテスマを受けるのと似ています。どんなふうに似ているでしょうか（最初の絵と3番目の絵を比較する）。
- これらの絵は4番目の絵とどんな関係があるでしょうか。  
義認とは清められて赦されることを意味すると説明する。ブルース・R・マッコスキー長老の以下の言葉を分かち合う。

「御霊によって義と認められるためには、……聖霊によって承認されなければなりません。……」

救いに関するほかのすべての教義がそうであるように、義とされるためにはキリストの贖いの犠牲が必要です。しかし、キリストによるこの義認は、個人が義になれている場合にしか作用しません。」(Mormon Doctrine, 408)

聖めとは聖くなること、義になつた者となること、キリストのような者になることであると説明する。プリガム・ヤング大管長はこのように教えた。

「人は、意思、感情、感覚を完全に神に従わせるときに、聖めを受けます。自分の意思が御父の御心にのみ込まれたときに聖められるのです。」(Journal of Discourses, 第2巻, 123)

- 教義と聖約20：31を読んでください。この節によれば、聖めを受けるために何をしなければならないでしょうか。
- マタイ22：36 - 38を読んでください。これらの節は教義と聖約20：31で求められていることと、どんな点が似ているでしょうか。
- モロナイ10：32 - 33を読んでください。これらの節と、教義と聖約20：30 - 31との間には、どんな類似点があるでしょうか。
- 教義と聖約20：32 - 34を読んでください。主はこれらの節でどんな警告と指示を与えておられるでしょうか。

**教義と聖約20：38 - 71。神権には幾つかの職がある。それぞれの職には特有の義務がある。(15 - 20分)**

神権に関する以下のクイズを行う。

1. 聖餐を祝福するには神権のどの職が必要でしょうか。(祭司。教義と聖約20：46参照)
2. バプテスマを施すにはどの職が必要でしょうか。(祭司。46節参照)
3. 執事を聖任するにはどの職が必要でしょうか。(祭司。48節参照)
4. 聖霊の賜物を授けるにはどの職が必要でしょうか。(長老。41, 43節参照)
5. 長老を聖任するにはどの職が必要でしょうか。(長老。39節参照)

6. 教え、説き明かし、勧め、すべての人をキリストのもとに来るよう招くために必要なのは、どの職でしょうか。(執事、教師、祭司、長老。42, 47, 50 - 51, 59節参照)

教義と聖約20：38 - 59を調べる時間を数分与える。その後、各質問に関連する聖句を確認する。そして、クイズの答えを合わせる。

見出しとして黒板に以下を書き出す。長老(38 - 45, 70節参照)、祭司(46 - 52節参照)、教師(53 - 59節参照)、執事(57 - 59節参照)。クラスを4つのグループに分ける。黒板に書かれている神権の職を各グループに割り当てる。グループごとに聖句を読む。その職について各節で教えられている事柄を見出しの下に生徒が書き出す。生徒が見つけた事柄について話し合う。

60 - 65節と信仰箇条1：5を読む。次のように質問する。「神権に聖任される前に、しなければならないことがあります。何でしょうか。」クラスのアロン神権者に次のように聞く。「神権の責任を尊んで大いなるものとするために現在何をしていますか。」若い女性に次のように質問する。「神権者を支持し、助けるために現在、そして将来、何ができるでしょうか。」若い男性に次のように質問する。「神権者として、あるいはより高い神権を受ける準備をするため、今、何ができるでしょうか。」

ジェームズ・E・ファウスト副管長の以下の言葉を分かち合う。

「神権はこの地上で最大の力です。すべての世界は、神権により、神権を通して創造されました。……神権の力とは、神の子どもたちに救いをもたらすために、神の御名によって行動できるよう、神から与えられた権威であり、力です。ほかの人をいたわることは、神権の責任の中でも最も基本的なことです。神権とは、祝福し、癒し、福音の救いの儀式を執り行うために与えられた力なのです。義になつた神権の力は、わたしたち自身の家庭の中で最も必要とされています。神権の力は偉大な愛の精神をもって行使する必要があります。これはあらゆる神権者に共通する教えです。皆さんが執事であれ教師であれ、また祭司であれ長老であれ大祭司であれ、あるいは祝福師であれ七十人であれ使徒であれ、同じなのです。」(「神権の力」『聖徒の道』1997年7月号, 48参照)



**教義と聖約20：75 - 79。聖餐の目的は救い主の犠牲を記念し、バプテスマの聖約を新たにすることである。**

(20 - 25分)

次のように質問する。「自分自身のために2回以上受けられる儀式には何があるでしょうか。」生徒が聖餐と答えたら、教義と聖約20：75 - 79を読む。以下の質問をする。

- 主は何が「必要である」と言われたのでしょうか(75節参照)。
- 75節には、聖餐を受ける理由は何であるとありますか。
- 聖餐を執行する権能を持っているのはだれですか(76節参照)。
- 彼らはどんなふうに聖餐を執行すべきなのでしょう。
- 聖餐を受けるときにどんな聖約を新たにしますか(37, 77節参照)。
- ふさわしい状態で聖餐を受けるならば、主は何を約束してくださるでしょうか(77, 79節参照)。

- 80節と3ニーフай18：28 - 29を読んでください。この二つの聖句にはどんな関連がありますか。
- 聖餐を定期的に受けることはなぜ大切だと思いますか。ブルース・R・マッコンキー長老はこのように述べた。

「バプテスマは主の目から見て非常に大切です。ですから、主は繰り返し新たに手段と方法をお与えになりました。バプテスマの聖約を新たにする儀式は聖餐の儀式です。」(Conference Report, 1950年9月 - 10月, 14)

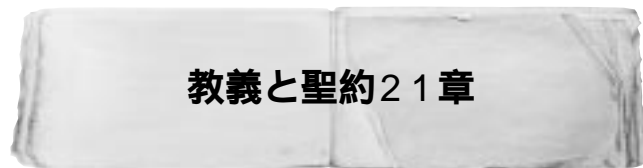
以下の組み合わせクイズを黒板に書くか、配布資料として生徒に配る。右の欄の定義と左の欄の語を組み合わせる。

_____ 1. いつも	A. 神聖にする, 聖別する
_____ 2. 祝福する	B. 恵みを与える, 聖別する
_____ 3. 守る	C. 霊と肉体
_____ 4. 覚える	D. 確約する, 証する
_____ 5. 聖める	E. 強く望む, 決意する
_____ 6. 人々	F. 思い浮かべる, 考える
_____ 7. 進んで	G. 従う
_____ 8. 証明する	H. 常に

(正解：1 - H, 2 - B, 3 - G, 4 - F, 5 - A, 6 - C, 7 - E, 8 - D)

クイズを終えたら、生徒が鍵の言葉を定義と置き変えて77, 79節を読む。(訳注：英語では77節の「進んで」を「強く望む」に置き換えると、「御子の御名を受けることを強く望む、いつも御子を覚えることを強く望む、御子が与えてくださった戒めを守ることを強く望む」となる。) 次のように質問する。「この方法で祈りを読んで、さらにどんなことが理解できたでしょうか。」デビッド・O・マッケイ大管長が副管長を務めていた時代に語った以下の言葉を分かち合う。「キリストの教会で執行される儀式の中で、..... 聖餐以上に神聖な儀式はありません。」(Conference Report, 1946年4月, 112)

生活の中で聖餐をもっと意味のあるものとするためにできることを生徒が紙に書き出す。



## はじめに

わたしたちは混乱した時代に生きている。イエス・キリストの敬虔な弟子たちにとっても難しい時代である。しかし主は、預言者を通して導きと指示を与えておられる。十二使徒定員会会員であるL・トム・ペリー長老はこのように教えた。

「今日ほど、様々な所から多くの情報が発せられ、飛び交って

いる時代はありません。メディアを通して、評論家がほかの評論家を評論する様子まで伝わってきます。圧倒されるほどいろいろな意見や見解があふれています。

主は預言者を通して、子どもたちと交わるための道を絶えず開いてくださっています。このことを知っていれば元気が出てきます。主の御心を宣言する、信頼できる声を与えられているとは、なんといい祝福でしょう。」(「預言者の声を心に留める」『聖徒の道』1995年1月号, 20参照)

21章は教会が組織された日に与えられた。この章の中で主は、預言者が受ける多くの賜物を挙げられた。それらは、末日聖徒にとって大きな価値がある。詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(47 - 48ページ) から、21章の歴史的背景を参照する。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 預言者は特別な賜物を与えられている。その賜物によって預言者は、主が教会を築き、聖徒を祝福されるのを支援する(教義と聖約21：1 - 3参照)。
- 主は預言者を通してわたしたちに語られる(教義と聖約21：4 - 7参照。教義と聖約1：38；68：3 - 4も参照)。
- 主の声に従うならば、サタンはわたしたちに打ち勝つ力を持たない(教義と聖約21：6参照。教義と聖約1：37 - 38；43：1 - 7も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 67 - 69。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 47 - 50。

## 教え方の提案

教義と聖約21：1 - 3。預言者は特別な賜物を与えられている。その賜物によって預言者は、主が教会を築き、聖徒を祝福されるのを支援する。(5 - 10分)

現在の神権時代の預言者の写真を順不同に並べて展示する(「福音の視覚資料セット」400, 507 - 520参照)。生徒が正しい順に並べる。次のように質問する。「主の教会にはなぜ預言者が必要なのでしょうか。」

教義と聖約21：1を読む。生徒は大管長の呼び方すべてにしるしをつける。それらを黒板に書き出す。必要であれば呼び方の意味を明確にする。それから、それぞれの役割を果たした大管長を聖典、または教会歴史の中から見つける。(呼び名の意味を明確にするために、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』48 - 49ページ、教義と聖約21：1の注解を参照する。) 預言者の持つ霊的な賜物は生徒にとってどんな助けになっているだろうか。教会にとってはどうか。生徒の考えを聞く。

教義と聖約21：1 - 9。預言者を通して与えられる主の声に従うならば、サタンはわたしたちに打ち勝つ力を持たない。(20 - 25分)

以下の新聞記事を紹介する。

「ワイオミング州グリーンリバー発……ワイオミング州南西部で、約150頭のかもしが死亡した。深い霧のために方向感覚を失って、30メートルの崖から一列で飛び込んだのだ。……」

雪の上に残された足跡を見ると、まず1頭のかもしが霧に包まれた崖から飛び込み、残りもそれに続いて飛び込んで行ったものと思われる。……

死骸は4体ずつ重なって37平方メートルの範囲に散らばっていた。」(“Antelope Herd Falls from Foggy Cliff,” *Salt Lake Tribune*, 1991年11月9日, A6)

箴言29:18; 1ニーファイ8:23; 12:17を読む。生徒は新聞の記事との類似点を探す。それらについて全員で話し合う。

黒板に次のように書く。「主は暗黒の霧の中で教会員をどのように導いてくださるでしょうか。」教義と聖約21:1-9を読む。この質問の答えを見つける。預言者が自分や教会を導いてくれることは大切である。このことについて、何人かの生徒の証を聞く。



### 教義と聖約21:4-7。主は預言者を通してわたしたちに語られる。(15-20分)

生徒に次のように言う。「自分が宣教師であると考えてください。神に代わって語る預言者が地上に存在することについて求道者に証したところですか。すると求道者はこう答えました。『それは非常に大切な教えです。主はその預言者を通じて最近どんなことを言われましたか。』」次のように質問する。「あなただったらこの質問にどう答えますか。」

以下の質問について話し合う。

- 預言者が最近語った言葉は、どこに載っていますか。(『リアホナ』、『若人の強さのために』、『家族 - 世界への宣言』、『生けるキリスト - 使徒たちの証』などの答えが考えられる。)
- 生ける預言者の語っていることを知るのなぜ大切なのですか。

教義と聖約21:4-7を読む。預言者に耳を傾けなければならない理由を見つける。印象に残った箇所にしるしをつけさせる。それらを生徒が発表する。以下の質問について話し合う。

- 預言者の言葉を「忍耐と信仰」をもって受け入れるとあります。どういう意味でしょうか。(5節参照)
- 悪魔との霊的な戦いに立ち向かう勇気を与えてくれる約束がありますか。それはどんな約束ですか。
- 預言者の言葉に安心して従えると思いますか。なぜそう思いますか(公式の宣言に続くウィルフォード・ウッドラフ大管長の言葉から最初の段落を参照)。

## 教義と聖約22章

### はじめに

大背教のとき、キリストの教会の純粋な教義と儀式が損なわれた。22章で主は、汚れた儀式を「死んだ行い」と呼ばれた(2節)。主は預言者ジョセフ・スミスを通して次のことを明らかにされた。神から権能を受けた人々が執行しなければ、儀式は有効ではない(教義と聖約20:72-74参照)し、聖霊が結び固めてくださらなければ儀式は有効ではない(教義と聖約132:7参照)。主は教会を組織されたときに、「すべての古い聖約」を廃して、「一つの新しくかつ永遠の聖約、すなわち初めからあったもの」を与えられた(教義と聖約22:1)。ジョセフ・スミスに示された教義や儀式は、過去の神権時代の教義や儀式と同じであった。それはアダムの時代、また創世の前までさかのぼることができる。

詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(50ページ)から、22章の歴史的背景を参照する。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 正しい神権の権能を持つ人が執行しなければ、神はバプテスマを受け入れられない(教義と聖約22章参照。3ニーファイ11:19-25; 教義と聖約20:72-74も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 67 - 69。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 50 - 51。

### 教え方の提案

教義と聖約22章。正しい神権の権能を持つ人が執行しなければ、神はバプテスマを受け入れられない。(10-15分)

3人の生徒にロールプレーをさせる。一人の生徒が、教会が真実だと信じている求道者の役を演じる。この求道者はほかの教会で水に沈めるバプテスマを受けていた。そのため、バプテスマをもう一度受ける必要性を感じていない。ほかの二人の生徒は、宣教師の役を演じる。宣教師役は求道者役からの質問に答える。ロールプレー後に簡単に感想を話し合う。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(50ページ)から、22章の歴史的背景を伝え、ロールプレーとの類似点について話し合う。教義と聖約22章を読んで、主がこの質問にどう答えておられるかを調べる。以下の質問について話し合う。

- 主は何を指して「死んだ行い」と言われたのでしょうか(2節)。
- 死んだ行いに対して、主はどうされたでしょうか(3節参照)。
- 2ニーファイ31:17を読んでください。「狭い門から入る」とは、どんな意味だと思いますか(教義と聖約22:2)。
- 儀式が有効であるためには何が必要でしょうか。

教義と聖約20：72 - 74；132：7を読む。バプテスマを有効にするために必要なものを少なくとも二つ探す。バプテスマを執行するには神が与えられた神権がなければならない。また、聖霊によってバプテスマが結び固められなければならない。その理由を話し合う。生徒は、聖餐、神権への聖任、慰めを与える神権の祝福、癒しの祝福などから力を受けているだろうか。神権と御霊からどんな力を受けているか生徒に聞く。

## 教義と聖約23章

### はじめに

教会が組織されてから1週間以内に、オリバー・カウドリ、ハイラム・スミス、サミュエル・H・スミス、ジョセフ・スミス・シニア、ジョセフ・ナイト・シニアが預言者ジョセフ・スミスのもとへやって来た。自分たちに対する主の御心をうかがうためである。「これら、預言者の親しい友人であり仲間である人々は、神が預言者を通じて語られるということに全く疑っていなかった。それは非常に明らかである。もしそうでなければ、自分たちについて主の御心を尋ねてもらおうとはしなかったであろう。」(ハイラム・M・スミスとジェーン・M・ショダール編、*The Doctrine and Covenants Commentary*, 改訂〔1972年〕, 119) 詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(51 - 52ページ)から、23章の歴史的背景を参照する。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- へりくだって主を求めらば、主はわたしたちの弱点を警告して下さる。また教会の召しを果たすときに強めて下さる(教義と聖約23章参照。エテル12：27も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 51 - 53。

### 教え方の提案

教義と聖約23章。へりくだって主を求めらば、主はわたしたちの弱点を警告して下さる。また教会の召しを果たすときに強めて下さる。(15 - 20分)

教義と聖約23章を読む。どの部分がだれに向けて語られたのかわかめる。それぞれが受けた祝福、警告あるいは勧告を書き出す。以下の質問をする。

- 罪の宣告を受けるとはどんな意味でしょうか。(「罪があるまたは罰を受けると宣告されること」)
- 1節ではどんな警告が与えられていますか。それはだれに向けられたものですか。
- 主からの警告を無視するとどんなことになるでしょうか。

ウィルフォード・ウッドラフ大管長が語った以下の言葉を読む。

「わたしはジョセフ・スミスがこう言うのを聞きました。『オリバー・カウドリはこの教会の第二の使徒でした。その彼がわたしにこう言ったのです。「もしわたしが教会を去れば、教会は崩壊するでしょう。」〔わたしは〕こう言いました。「オリバー、そうしてみたまえ。」オリバーは実際に教会を去りました。彼は落ちてゆきました。しかし神の教会は崩壊しませんでした。』」(ブライアン・H・スタイン編、*Collected Discourses Delivered by President Wilford Woodruff, His Two Counselors, the Twelve Apostles, and Others*, 全5巻〔1987 - 92年〕, 第2巻, 45)

オリバー・カウドリは後に教会へ戻った。しかし、かつて得ていた地位を再び得ることはできなかった。そのことを伝え、以下の質問をする。

- 主はジョセフ・ナイトに、世の人々の前でまたひそかに祈るように勧告されました。なぜだと思えますか(6節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』52ページの教義と聖約23：1 - 6の注解から、ジョセフ・ナイトに関する記述も参照)。
- ジョセフ・ナイトが祈ることを拒んでいたとしたら、どうなっていたでしょうか。
- 祈ることと教会に加わること この二つにはどんな関係があるでしょうか(7節参照)。

主は今日、自分たちにどんな警告を与えておられるだろうか。その勧告に聞き従うために、祈りはどんな助けになるだろうか。生徒の考えを聞く。

## 教義と聖約24章

### はじめに

初期の教会員は特にニューヨーク州コールズビルで迫害に遭った。「教会が大きく進展するときはずっと、あらゆる義の敵が集まって神の王国の前進を押しやろうとする。しかし、献身的な聖徒たちはそれを克服して強くなる。コールズビルの聖徒たちも同様であった。互いに結束を固め、強くて一致した支部へと成長したのである。」(『わたしたちの受け継ぎ - 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』, 16参照) これらの迫害のさなかに主は教義と聖約24章とモーセ1章を啓示された。預言者ジョセフ・スミスと聖徒たちを励ますためである。詳しい資料は『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(53)から、24章の歴史的背景を参照する。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 信仰をもって苦難を堪え忍ぶ人々は、主がともにおられ、最終的に試練から解放されるという約束を受けている(教義と聖約24：1, 8参照。2コリント4：17；ヤコブの手紙1：2 - 4も参照)。

- 主に仕える人々は敵から守られ、天から靈感を受け、召しを果たす力を与えられる（教義と聖約24章参照）
- 教会員は主の預言者を支え、支持する責任がある（教義と聖約24：18参照。教義と聖約41：7；43：12 - 13も参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 70 - 74。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 53 - 54。

## 教え方の提案

**教義と聖約24：1，8。信仰をもって苦難を堪え忍ぶ人々は、主がともにおられ、最終的に試練から解放されるという約束を受けている。**（10 - 15分）

黒板に以下の言葉を書き写す。「生活のすべてが、逆境に飲み込まれてしまわないようにしてください。」（リチャード・G・スコット、「主を信頼する」『聖徒の道』1996年1月号，19参照）水をいっぱい吸ったスポンジを見せるとよい。以下の質問をする。

- 飲み込まれるとはどんな意味でしょうか。
- 試練に完全に飲み込まれるとはどんな状態でしょうか。

ジョセフ・スミスとコールズビルの聖徒たちが経験した試練を簡単に説明する（『時満ちる時代の教会歴史』，71 - 74参照）。彼らの受けた試練について話し合う。それは彼らの信仰に悪影響を及ぼしただろうか。主の目的を果たすことから聖徒たちを遠ざけただろうか。

教義と聖約24：1，7 - 8を読む。主の勧告と約束を見つける。生徒が見つけた事柄を黒板に書き出す。この約束について話し合う。それはどのようにジョセフ・スミスを助けただろうか。それはわたしたちが試練を受けるときにも励ましとなるだろうか。一人の生徒が、主の使徒の一人であるリチャード・G・スコット長老が述べた以下の証を読む。

「皆さんの人生の中で主が一つの大切な扉を閉じられることがあります。そのとき、主は、皆さんの信仰に応じて、別の扉をたくさん開けて、愛と思いやりを示してください。また主は、行く手を明るく照らすために霊の光を与えてくださることでしよう。それはしばしば、最も大変な試練の後で与えられます。それは、すべてを御存じである御父の愛と思いやりの現れなのです。それは、皆さんをさらに大きな幸福や深い理解へ導き、主の御心を受け入れて従う決意を強めてくれます。」（「主を信頼する」『聖徒の道』1996年1月号，19参照）

**教義と聖約24章。主に仕える人々は敵から守られ、天から靈感を受け、召しを果たす力を与えられる。**（25 - 30分）

斜面を作ってボールを転がす。以下の質問をする。

- ボールを止めるのが最も簡単なのはどの位置ですか。なぜですか。
- 何かをやめたいと思ったら、勢いがつく前に止めることが大切です。なぜでしょうか。

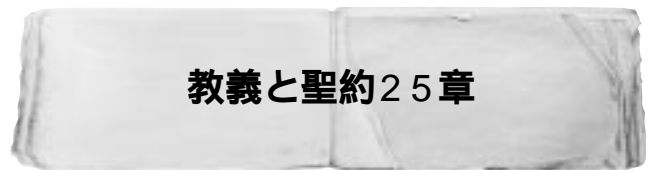
1830年の夏にジョセフ・スミスとコールズビルの聖徒たちが経験した試練を簡単に説明する（『時満ちる時代の教会歴史』，71 - 74参照）。教義と聖約24：1を読んで、教会の発展を止めようとした力を見つける。以下の質問をする。

- これらの例では、「サタンの力」がどんなふうに見えていたでしょうか。
- この聖句の主の言葉はジョセフ・スミスに慰めを与えています。どんな慰めでしょうか。
- わたしたちが試練を受けているときに、主の約束はどんな慰めとなるでしょうか。
- 「サタンの力」に打ち勝った経験がありますか。そのとき主からどんな助けを受けましたか。知り合いの中にそんな経験をした人がいますか。その経験を話してください。

教義と聖約24章の前書きを生徒が読む。24 - 26章が与えられた3つの理由に生徒が下線を引く。黒板に「強める」、「励ます」、「教える」と書く。クラスを3つのグループに分ける。グループごとに3つの理由一つを割り当てる。各グループは24章を調べる。それぞれの理由と関連のある言葉を見つける。それを黒板に書き出す。以下の質問をする。

- その言葉は、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにとって、どんな祝福となったでしょうか。
- その言葉は、今日の聖徒たちにとって、どんな祝福となるでしょうか。

「サタンの力と暗闇」はあらゆる地域と人々の中にあると説明する。主がすべての子らに、この共通の敵に対抗する力を与えてくださることを証する。この時期に主がモーセ1章も啓示されたことを伝える。モーセ1：9 - 23からモーセが「サタンの力」と対決したところを読む。モーセのこの経験は1830年の聖徒たちをどのように強め、励まし、教えただろうか。考えを話し合う。モーセの経験は今日の聖徒たちをどのように強め、励まし、教えるだろうか。話し合う。



## はじめに

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように語った。「わたしたちの民の歴史を読むときに感じるがあります。それは、男性は名前が記され、覚えられ、称賛されているのに、女性に対する称賛があまりに少ないということです。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley* [1997年]，698）。25章はエマ・スミスへの啓示である。25章のおかげで、教会歴史における偉大な女性について研究するすぐれた機会が与えられた。詳しい資料は、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（55）から、25章の歴史的背景を参照する。ならびに生徒用資料の「教義と聖約に登場する人物と用語」から、エマ・スミスの人物描写を参照する。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストの福音を受け入れ、福音に従って生活する

ときに、人はキリストの子となる（教義と聖約25：1参照。ヨハネ1：12；ローマ8：14 - 17；モーサヤ5：7も参照）。

- 夫婦はそれぞれの神聖な役割と召しを果たすうえでお互いを支え合う。そうすれば、聖霊に導かれ、最終的に昇栄を受ける（教義と聖約25：5 - 6、9、13 - 16参照。エペソ5：22 - 33も参照）。
- 主は女性に特別な賜物<sup>たまもの</sup>と才能を与えておられる。主の子らに祝福をもたらすためである。（教義と聖約25章参照）。
- 心の歌は主への祈りである（教義と聖約25：11 - 12参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、71 - 74。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、55 - 58。

## 教え方の提案

**教義と聖約25：1。イエス・キリストの福音を受け入れ、福音に従って生活するとき、人はキリストの子となる。（5 - 10分）**

父親が父親のような人について考える。何人かの生徒が、その人の特徴について紹介する。ほかにも生徒の父親になる方がいると伝える。教義と聖約25：1を読む。その父親とはだれかを見つける。助けが必要であれば、以下の質問をする。

- この節で話しているのだけですか。
- その御方はだれに話しかけていますか。
- その御方はエマのことを何と呼んでおられますか。
- イエス・キリストはどんな意味でわたしたちの父親でしょうか。
- モーサヤ5：7を読んでください。人はキリストの王国において、息子、娘となることが出来ます。どうすればなれるでしょうか。

十二使徒定員会会員であるラッセル・M・ネルソン長老の以下の話を紹介する。

「福音を受け入れてバプテスマを受けるとき、わたしたちは再び生まれて、イエス・キリストの神聖な御名<sup>みな</sup>を身に受けます。キリストの息子、娘として養子縁組され、互いに兄弟姉妹になります。主は新しい生命の父なのです。主は、アブラハム、イサク、ヤコブとその子孫に約束を与えられました。わたしたちもその約束を受け継ぐ『共同の相続人』なのです（ガラテヤ3：29；教義と聖約86：8 - 11参照）。（「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995年7月号、37参照）

**教義と聖約25章。夫婦はそれぞれの役割と召しを果たすうえでお互いを支え合う。そうすれば、聖霊に導かれ、昇栄を受ける。（20 - 25分）**

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（55）から、25章の歴史的背景を読む。または概略を説明する。エマ・スミスが受けた試練と、エマが試練にどう応じたかに的を絞る。以下の質問をする。

- ある人々は、ほかの人よりも試練をよく堪え忍ぶことができます。なぜだと思いますか。

- あなたが試練に堪えるために、何が助けになるでしょうか。

黒板に見出しとして「勧告」と「祝福」と書く。クラスを二つのグループに分ける。一つのグループは25章を読んで、主がエマに与えられた勧告を見つける。別のグループは25章を読んで、エマが受けた祝福を見つける。見つけた事柄をそれぞれ見出しの下に書き出す。以下の質問について話し合う。

- エマは勧告を与えられました。それは、エマの生活にどう影響したと思いますか。
- エマは祝福を約束されました。それは、エマをどんなふうに慰めたと思いますか。

生徒が16節をもう一度読む。この啓示によってだれが祝福を受けるか調べる。エマに与えられた勧告がわたしたちの生活にどんな影響を及ぼすかについて話し合う。また、エマに約束された祝福は、わたしたちが試練に遭うときにどのように自信と慰めを与えてくれるかについても話し合う。

注意：教義と聖約25章は教会の女性にとって特別な意義があり、神権の行使について記されている教義と聖約121：41 - 46は男性にとって特別な意義を持つ聖句である。これら二つの啓示において、主が与えておられる勧告を比較対照し、双方で類似している原則について話し合うことができる。

**教義と聖約25章。主は女性に特別な賜物<sup>たまもの</sup>と才能を与えておられる。主の子らに祝福をもたらすためである。（25 - 30分）**

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が大管長会の副管長を務めていた時代に、女性のための中央集会で語った以下の話を読む。

「わたしは教義と聖約の第25章を読むようにという導きを受けました。……わたしの知るかぎり、特に女性に与えられた唯一の啓示です。最後の部分で主はこう言われました。『これはすべての者へのわたしの声である。』（教義と聖約25：16）ですから、このとき与えられた主の勧告は、すべての女性に当てはまります。』（「汝もし忠実にして」『聖徒の道』1985年1月号、86 - 87）

生徒に次のように言う。「これまでにこの国へ来たこともなく、この国の生活習慣をまったく知らない人がこの国を訪れたとします。夜遅く到着したため、ほとんど何も見物せずにホテルに到着します。彼は寝る前の数時間、テレビを見たり雑誌を読んだりしました。」以下の質問をする。

- この旅行者は、この国に来てから数時間しかテレビを見ていません。その情報だけを頼りにこの国の女性の役割について語るとしたら、彼はどんなことを言うと思いますか。
- 女性の役割に関する世の中の意見は、主の教えと違うと思いますか。違うとすれば、どんなふうに違うでしょうか。

女性の役割について、世の人々の理解は非常に混乱している。主は女性に特別な賜物<sup>たまもの</sup>と才能を与えて、御自分の子どもたちを祝福しておられる。教義と聖約25：1 - 3を調べる。主がエマを「選ばれた婦人」と呼ばれた理由を探る。生徒の答えを黒板に書き出す。（答えとして考えられるのは以下のとおり。エマは福音を受け入れている。神の娘である。忠実であれば受け継ぎを得ると約束されている。罪が赦<sup>ゆる</sup>されている。その他。）教義と聖約25：4 - 15を読み、選ばれた婦人はどのように生活するかを生徒が調べる。

答えの参考として、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(57 - 58) から、教義と聖約25:16の注解を参照する。また、適切であれば、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(57 - 58) の同じ箇所から、ニール・A・マックスウェル長老の話の一部を分かち合う。それらについて全員で話し合う。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の話を読んで、話し合う。

「あらゆる地に住む女性たちに申し上げます。皆さんが持っている大きな可能性を引き出していきたいと思えます。能力以上のことをしてくださいとお願いしているではありません。たとえ失敗しても、いつまでも悩むことのないようにしてください。自分の能力を超えて達成できそうもない目標を立てることのないように望んでいます。ただ自分にできることを、最善を尽くして行うようにしてください。それによって、皆さんは目の前で奇跡が起きるのを見てでしょう。」(Motherhood: A Heritage of Faith [1995年], 9)

「忠実な末日聖徒の姉妹は、今では地球上に何百万人もいます。姉妹の皆さんにわたしの感謝の気持ちを表したいと思えます。善いものを求める皆さんの力は偉大です。皆さんの才能と献身は驚嘆すべきものです。皆さんの信仰と主と主の御業への愛、そして神の息子、娘への愛はこの上なく大きいものです。福音に従った生活を続け、すべての友人に信仰を表してください。皆さんの善い行いは皆さんの口から出るどんな言葉よりも説得力を持つでしょう。信仰と忠実さを持って徳と真理のうちに歩んでください。皆さんは永遠の父なる神によって計画された永遠の計画の一部なのです。毎日が永遠の一部なのです。」(「神の娘」『聖徒の道』1992年1月号, 112参照)

### 教義と聖約25:11 - 12 (マスター聖句, 教義と聖約25:12) 心の歌は主への祈りである。(20 - 25分)

音楽の種類を生徒が挙げる。(例えば、クラシック、賛美歌、イージーリスニング、ヘビーメタル、カントリー、ラップなど) その音楽を聴くときにどんな気持ちがするかを生徒が説明する。(心が休まる、騒々しい、いらだつ、混乱する、愛国心を覚える、愛情を感じる、楽天的になる、恐怖を感じる、霊的になる) 音楽の良し悪しは何が基準となると思うか質問する。(モロナイ7:14 - 16参照)

ボイド・K・パッカー長老が語った以下の勧告を分かち合う。

「中には霊的に非常に害となる音楽もあります。若い皆さんは、それがどんな音楽かお分かりでしょう。テンポ、音、そして演奏する人たちの生活態度が御霊を退けるのです。これは皆さんが思っている以上に深刻な危険性をはらんでいます。なぜなら、そのような音楽は皆さんの霊的な感覚をまひさせてしまう可能性があるからです。」(「個人の啓示 賜物、試し、約束」『聖徒の道』1995年1月号, 66参照)

一人の生徒が教義と聖約25:11を読む。主がこの戒めをエマ・スミスに与えられたのは、教会が組織されてからわずか3か月後の1830年7月であったことを指摘する。エマが編纂した賛美歌集は1835年に出版された。この賛美歌集には、ほかの教会で使われている曲や末日聖徒が書いた曲が含まれていた。その点では、その後出版された末日聖徒のすべての賛美歌集も同じである。(『時満ちる時代の教会歴史』, 161参照) 12節を生徒が読む。主が神聖な音楽に対してどう思っておられるかを調べる。以下の質問について話し合う。

- 主はなぜエマに賛美歌集を編纂するよう命じられたと思いませんか。
- 賛美歌とほかの音楽との違いは何でしょうか。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』[57]の教義と聖約25:12の注解から、ブルース・R・マッコンキー長老の言葉を参照する。)

賛美歌が「心の歌」または主への「祈り」となる例を生徒が挙げる。次のように質問する。「賛美歌は、人をどんなふうにかづけたり、励ましたりしますか。」

一人の生徒が、ボイド・K・パッカー長老が語った以下の話を読む。

「教会の神聖な音楽の中から、好きな賛美歌を一曲選んでください。心を高める歌詞と敬虔なメロディーの曲、神を近くに感じるような曲を選んでください。その曲を心の中でゆっくりと思い巡らしてください。覚えるのです。音楽の勉強をしたことがなくても、賛美歌についてじっくり考えることはできます。

それから、この賛美歌をあなたの思いをもっていく場所に行ってください。緊急時の排水路として用いるのです。心の舞台の端に(ふさわしくない思い)が入り込んできたら、レコードをかけるように、この曲を心の中で歌ってください。曲が始まり、清い言葉で心が満たされると、ふさわしくない思いは恥じるようにどこかに消え去るでしょう。音楽は心の舞台の雰囲気を更新するでしょう。その曲が気高く、清いので、卑しい思いが去っていくのです。」(Conference Report, 1976年10月, 100)

誘惑に打ち勝つために賛美歌がどのように役立つか話し合う。生徒の生活からの実例を紹介させる。

生徒の好きな賛美歌または初等協会の歌を歌うか演奏する。靈感あふれる音楽はどんな雰囲気を醸し出すかについて話し合う。賛美歌集の「大管長会はしがき」から、良い音楽の持つ力に関する言葉を分かち合う。(『賛美歌』, 9 - 10参照)

## 教義と聖約26章

### はじめに

教会の集会ではしばしば、教会の召しや聖任を受ける人を支持

するために挙手を行う。この慣習は同意の律法と呼ばれている。24 - 25章と同じ時期に与えられた教義と聖約26章で、主は「すべてのことは、……教会員の同意を得て行わなければならない」と命じられた。(2節) 同意を受けるという行為は教会が組織されたときにすでに行われていた。教会の最初の集会について預言者ジョセフ・スミスはこのように記している。

「以前に受けた戒めに従って、わたしたちは兄弟たちに次のことを尋ねた。わたしたちを神の王国に関する事柄について彼らの教師として受け入れるかどうか。先の戒めに従って事を進め、教会を組織することに満足しているかどうか。これら幾つかの提議に対して彼らは満場一致で賛成した。」(History of the Church, 1: 77; 教義と聖約20: 65も参照)

ブルース・R・マッコンキー長老はこのように教えた。「同意の律法はあらゆる神権時代で実施されてきました。」(Common Consent [パンフレット, 1973年], 3. 出エジプト24: 3; 使徒15: 25も参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会では、教会の召しを受ける人や神権に聖任される人を挙手により支持する。また時には教会の方針も挙手により支持する(教義と聖約26章参照。教義と聖約20: 65; 28: 10, 13; 38: 34も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 73 - 74。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 58 - 59。

## 教え方の提案

**教義と聖約26章。教会では、教会の召しを受ける人や神権に聖任される人を挙手により支持する。また時には教会の方針も挙手により支持する。(20 - 25分)**

一人の生徒に前へ出てきてもらって、何か重い物をできるだけ長い間持ち上げてもらう。生徒が持っている間、「支持する」という語の意味について話し合う(「支える」などの同義語を使ってもよい)。別の生徒が、荷物を持った生徒の腕を支える。最初の生徒に次のように聞く。

- 腕を持ち上げているのは難しかったですか。
- ほかの人からの助けや支えを受けたときに、どう感じましたか。

一人の生徒が教義と聖約26: 2を読む。次のように質問する。「『同意』とはどんな意味でしょうか。」教会では、教会の召しを受ける人や神権に聖任される人を挙手によって支持し、時には教会の方針も挙手によって支持すると説明する。

- 教会員は指導者を支持するために挙手をします。挙手をした教会員は、どんな祝福を受けるでしょうか。
- 教会の指導者は教会員から挙手による支持を受けます。そのことによって、指導者はどんな祝福を受けるでしょうか。
- 教会の指導者を支持するために、挙手のほかに、何ができるでしょうか。
- 教会の指導者を支持することと、国などの選挙で投票することの違いは何でしょうか。

教会の指導者を支持するときに、わたしたちは指導してもらいたい人を選ぶわけではないと説明する。教会では指導者は神から召される。(信仰箇条1: 5参照) わたしたちは挙手をするによって、神が選ばれた指導者を受け入れ、支持することを表明する。教義と聖約26: 1を生徒が読む。主がジョセフ・スミス、オリバー・カウドリ、ジョン・ホイットマーにお与えになった務めを見つける。以下の質問をする。

- 教会員は、この啓示に従ってこの兄弟たちを支持しました。それは会員にとって大切なことでした。なぜでしょうか。
- 教義と聖約1: 37 - 38を読んでください。わたしたちは教会の指導者からどんな指示を受けているでしょうか。
- これらの教えに同意していることを表すために、何ができるでしょうか。

次のことを考える。自分は預言者とそのほかの教会指導者をどれほど支持しているだろうか。教義と聖約21: 1, 5 - 7を読む。以下の言葉を紹介する。ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように述べた。

「この支持の挙手は、単に手を挙げるという形式的な行為ではありません。これは指導者として選ばれた人々を支え、援助するという決意の表明なのです。」(「人のためのみ業」『聖徒の道』1995年7月号, 58参照)

ハロルド・B・リー大管長は副管長を務めていた時代に、次のように語った。

「挙手するときに、皆さんは厳粛な聖約を主と交わすのです。その指導者を支持する、つまり、完全な忠誠と支援をその指導者にささげるという聖約を、正直に、率直に交わすのです。」(Conference Report, 1970年4月, 103)

## 教義と聖約27章

## はじめに

聖餐せいさんを受けることは特権である。ジェームズ・E・ファウスト副管長は次のように説明した。

「聖餐を受けてバプテスマの聖約を新たにすると、あらゆる悪から守られます。救い主の犠牲の象徴である聖きよめられたパンと水をふさわしい状態で頂くとき、わたしたちは、父なる神にあることを証明します。進んで御子の御名を受けること、御子をいつも覚えていて、主が与えてくださった戒めめいめを守ることです。これらを行うならば、わたしたちは常に主の御霊を受けられるのです(教義と聖約20: 77, 79参照)。定期的に聖餐を受け、これらの聖約に忠実であれば、律法はわたしたちに染み込み、わたしたちの心に記されます。」(「神よ、どうか、わたしを探って、わが心を知ってください」『聖徒の道』1998年7月号, 19参照)

教義と聖約27章には聖餐に関する大切な教えが含まれている。



## 学び取るべき重要な福音の原則

- 救い主の贖いの犠牲を思い起こし、ふさわしい状態で聖餐を受けるのであれば、わたしたちが聖餐のために何を食べ、何を飲むかは、大切ではない(教義と聖約27:1-4参照。3ニーファイ18:6-11, 28-29; 教義と聖約20:75-79も参照)。
- 救い主は再臨にあたって、アダム・オンダイ・アーマンの谷を訪れて、義人とともに聖餐を受けられる(教義と聖約27:5-14参照。ダニエル7:9-27; マタイ26:26-29; 教義と聖約107:53-57; 116章も参照)。
- 主はわたしたちをサタンの誘惑と悪から守ってくださる(教義と聖約27:15-18参照。1コリント10:13; エペソ6:10-18も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 74。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 59-61。

## 教え方の提案

教義と聖約27:1-4。救い主の贖いの犠牲を思い起こし、ふさわしい状態で聖餐を受けるのであれば、わたしたちが聖餐のために何を食べ、何を飲むかは、大切ではない(15-20分)

生徒に次のように言う。「今度の日曜日に聖餐を受けるとき、パンではなく、ほかの食べ物配られたと仮定します。」

- あなたはどう思うでしょうか。
- その食べ物を取るでしょうか。
- パンと水以外の食べ物を使うのはどんなときでしょうか(パンまたは水が手に入らないとき)。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は十二使徒定員会会長時代に、戦争で荒廃したヨーロッパを訪れた。そのときのことを次のように語った。「フランスの聖徒たちのことも忘れられません。彼らはパンが手に入らないので、聖餐の儀式にジャガイモの皮を使いました。」(『艱難の日に備える』『聖徒の道』1981年4月号, 63)

教義と聖約27:1-4を読む。主はわたしたちが聖餐を受けるときに何が大切で、何が大切でないと言われたかを調べる。以下の質問について話し合う。

- これらの節から天の御父についてどんなことが分かりますか。
- 聖餐を受けるときにどんな方法で天の御父に感謝を表すことができますか。
- 聖餐を受けるとき、救い主を思い起こすことはなぜ大切ですか(2節参照)。
- 救い主について何を思い起こすべきでしょうか。
- 聖餐の間、救い主について思い巡らして、儀式を意義深いものにできたことがありますか。そのときのことを話してください。
- 聖餐をもっと意義深いものとするためには、ほかにどんな方法がありますか。よい経験があったら教えてください。

ダリン・H・オクス長老が語った以下の話を分かち合う。

「幼い子供から老人に至るまですべての教会員にお願いします。毎週の安息日に聖餐会に出席し聖餐を受けるときに、『打ち砕かれた心と悔いる霊』(3ニーファイ9:20)とあるように、悔い改めの気持ちを持ってください。『いつも御子を覚え』(教義と聖約20:77)るといふ重大な聖約を交わすにふさわしい気持ちで聖餐を受けられますよう祈っています。救い主に対する敬虔の念を抱き、救い主を礼拝できますように。救い主は、聖餐を受けるときにどうあるべきかについてこう教えられました。『わたしの栄光にひたすら目を向けて、あなたがたのために葬られたわたしの体と、あなたがたの罪の赦しのために流されたわたしの血を父に記念にして〔聖餐を受けるべきである〕。』(教義と聖約27:2)

……わたしたちは、謙遜な態度で聖餐を受け、御子の御名を受け、御子の業を行う、と厳粛に聖約します。そのとおりに、教会の召しを受けて働けるように祈っています。また、主の戒めを守るといふ厳粛な聖約を果たせるように祈っています。

……救い主は、聖餐を受けることによってわたしたちが『満たされる』(3ニーファイ20:8。3ニーファイ18:9も参照)、すなわち『御霊に満たされ〔る〕』(3ニーファイ20:9)と約束されました。そのようになるうではありませんか。」「(『いつも御子の聖霊を受ける』『聖徒の道』1997年1月号, 69参照)

教義と聖約27:5-14。救い主は再臨にあたって、アダム・オンダイ・アーマンの谷を訪れて、義人とともに聖餐を受けられる。(15-20分)

『聖句ガイド』の「史跡写真」から、アダム・オンダイ・アーマンの谷の写真(29)を見る。生徒がこの地について知っていることについて話し合う。それらを黒板に書き出す。一人の生徒が「史跡写真」から29の説明文(357ページ)を読む。それから、黒板に書き出した項目と比較する。

教義と聖約27:5-14には、イエス・キリストの再臨の一部としてアダム・オンダイ・アーマンの谷で行われる大切な出来事に関する預言が記されていると生徒に話す。マタイ26:26-29を読む。以下の質問について話し合う。

- 救い主は29節でどんなことを約束しておられるでしょうか。
- 教義と聖約27:5を読んでください。この聖句は救い主の約束とどんな関係があるでしょうか。

ブルース・R・マッコンキー長老が語った以下の言葉を紹介する。

「その聖餐は、将来、この地上で執行されます。そこには、主イエスが出席され、そしてあらゆる時代の義人が出席します。もちろんこれはアダム・オンダイ・アーマンにおける大会議の一部です。」(『The Millennial Messiah』, 587)

教義と聖約27:5-13を読む。アダム・オンダイ・アーマンで救い主とともに聖餐を受ける人たちの名前を生徒が書き出す。(ミカエルはアダムであることを指摘する)これらの預言者はど

んな人であったかについて話し合う。また、彼らが福音の回復にあたってどんな役割を果たしたかについて話し合う。14節を読む。それから、以下の質問をする。

- ほかにだれがこの特別な集会に招かれるでしょうか。
- 「父が世からわたしに与えてくださった」人々の中にあなたも加えられたいですか。なぜですか。
- 御父が主に与えられた者たちの一人になるためにはある資格が必要です。それはどんな資格がでしょうか。

アダム・オンダイ・アーマンについて述べたブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

「世界の歴史を通じて信仰に忠実であったすべての人、御父の王国において永遠の命を受けられるような生活を送ったすべての人は、この会に出席して、主とともに聖餐にあずかるでしょう。」( *The Promised Messiah: The First Coming of Christ* [1978年], 595 )

**教義と聖約27:15-18。主はわたしたちをサタンの誘惑と悪から守ってください。(15-20分)**

以下の質問について話し合う。

- 今日、兵士として戦争に行くように国から命じられたとしたら、何を心配しますか。
- 戦いに臨むためにどんな武器が必要ですか。
- 自分を守るために何を身に着けたいと思うでしょうか。

生徒は、黙示12:9, 11-12, 17; 教義と聖約76:28-29を読む。次に教師がエペソ6:10-12を読んでから、以下の質問をする。

- 前世で始まったあることがこの地上で起きています。それは何でしょうか。
- この戦いは、ある意味で銃による戦いよりも悲惨です。なぜでしょうか(霊が危険にさらされる)。
- サタンはどんな武器を使っているのでしょうか。
- わたしたちはどんな武器を使うことができるでしょうか(贖い、聖典、自分の証、預言者の言葉)。

教義と聖約27:15-18を生徒が読む。サタンとの戦いに打ち勝つために必要とされる武具を生徒が描く。それぞれの武具が何を表しているか話し合う。それぞれは「災いの日に耐えられるように」(15節)、霊的な守りを与えてくれる。それぞれがどんな守りになるかについて話し合う。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』61から、これらの節に関する注解を参考にする。)

## 教義と聖約28章

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスが25章を受けた後に、オリバー・カウドリはジョセフに反対意見をぶつけた。啓示の中に誤りがあると主張して、その啓示を変えるように命じたのだ。預言者はオリバ

ーが「全能の神から与えられた啓示や戒めを変更したり、削除したり、加えたり、縮小したりすることを命じる」( *History of the Church*, 1:105 ) 立場にないことを理解させようとしたが、オリバーは容易に納得しなかった。それから間もなくして預言者は、ハイラム・ページがある石を通して教会に対する啓示を受けており、オリバー・カウドリを含む大勢の人がそれらの啓示を信じているという事態を知った。ニューエル・ナイトはこのように記している。「ジョセフは途方に暮れ、この新たな危機にどう対処したらよいのか、なすすべを知らなかった。わたしが彼の部屋にとどまったその夜、彼はほとんど一晩中祈り、嘆願していた。これらの兄弟たちに対して熱心な働きかけが行われた結果、彼らは自分たちの誤りを認め、それを告白した。……この出来事後、ジョセフは主に尋ねた。……そして〔28章〕を受けた。」(“ Newel Knight’s Journal,” *Scrap of Biography: Tenth Book of the Faith-Promoting Series* [1883年], 65)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会の大管長は主の代弁者であり、教会全体を拘束する教義または啓示を宣言できる唯一の人である(教義と聖約28:1-8参照。アモス3:7; 教義と聖約43:1-7も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 76-78。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 62-64。

### 教え方の提案

**教義と聖約28章。教会の大管長は主の代弁者であり、教会全体を拘束する教義または啓示を宣言できる唯一の人である。(35-40分)**

次のように言う。「あなたのワードまたは支部で皆から尊敬されている会員がいます。彼はある啓示を受けたと人々に話し始めました。教会のある事柄を変更しなければならぬという啓示です。ほかの会員が『どうして教会の中央幹部から知らせがないのですか』と聞くと、『尋ね求める人は皆与えられるであろうと主は言われました。わたしは啓示を受ける特別な霊の賜物を持っているのです。中央幹部もこれらのことを信じるでしょう。あるいは、中央幹部たちは、まだこのことを公にしていけないだけです』と彼は答えました。」以下の質問について話し合う。

- この人の主張をどう思いますか
- 彼の啓示が神から来たものか、ほかから来たものかを知るにはどうすればよいでしょうか。
- 教会に対する啓示は常に、だれに与えられると考えるべきですか。
- 家族に対する啓示を受けられるのはだれでしょうか。支部やワード、伝道部やステークに対する啓示はだれが受けるでしょうか。

『時満ちる時代の教会歴史』(77-78ページ)から、ハイラム・ページの話を紹介する。28章には啓示に関する正しい原則が記されていると生徒に言う。この章は教会全体のために啓示を受けることのできる人について述べている。また、神から与えられる本物の啓示と悪魔からの誤った啓示を見分ける方法を明らかにしている。

教義と聖約28章を読む。生徒は啓示に関する原則を見つけて書き出す。以下の事柄について話し合う。生徒が書き出した事柄と比較する。

- 教会全体に関わる啓示を受けるのは預言者だけである(2節参照)。
- 預言者以外の教会指導者は、責任下にある聖徒たちに勧告を与え、教えるもよい。しかし、教会の教義を定めたり、教会全体にかかわる啓示を受けたりしない(4-5節参照)。
- 会員は自分のために個人の啓示を受けることができる。しかし、自分を管理する人に指示を与える啓示を受けない(6-12節参照)。
- サタンは偽りの啓示によって欺く(11節参照)。(注：生徒が真の啓示と偽りの啓示を見分けることについて当惑しているようであれば、教義と聖約6；8-9および11章に記されている原則を参照する。)
- 教会全体にかかわる啓示は、教会員の支持を受けるために提示されるか、教会の指導者が示し、教える(12-13節参照)。預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を紹介する。

「いかなる教会員であれ、あるいはだれであれ、自分よりも上位の権能を持つ人々のために啓示を受けることは、神の摂理に反します。したがって、そのような会員に心を向けることは妥当でないと、あなたにわかるでしょう。しかし、もしもある人が示現や天の使者の訪れを受けるとすれば、それはその人自身を教えるために違いありません。なぜならば、教会の基本的な原則や政体、教義は、王国の鍵に属するものだからです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 21)

後に大管長となったロレンゾ・スノーが、1840年に次のような個人の啓示を受けたと教える。二行連句という詩の形をしている。

神もかつては現在の人間のようにであった。  
だから人間も、現在の神のようになれるのだ。

彼はこの啓示を姉のエライザとブリガム・ヤング以外のだれにも明かさなかった。

「ヤング大管長は興味をもって彼の朗読に耳を傾けると、こう言った。『スノー兄弟、これは新しい教義です。もしこれが真実なら、これはあなた自身の知識としてあなたに与えられたものです。そして、時が来れば教会の預言者の口を通して教えられるはず。そのときまで、あなた自身のうちにとどめ、これについて口外しないようにお勧めします。』スノー長老はこの分別のある助言に従った。そして〔数年後に〕ブリガム・ヤング自身がスノー長老のもとへ来て、啓示されたことが真実であることを告げた。預言者がそれを人々に教え始めたのだ。」(オーソン・F・ホイットニー, “Lives of Our Leaders - The Apostles: Lorenzo Snow,” *Juvenile Instructor*, 1900年1月1日, 3-4)

## 教義と聖約29章

### はじめに

ジョセフ・スミスは1830年9月26日に行われた大会の何日前に28章から29章を受けた。教義と聖約29章の前書きに記されている6人の長老とは、オリバー・カウドリ、トーマス・B・マーシュ、サムエル・H・スミス、デビッド・ホイットマー、ジョン・ホイットマー、ピーター・ホイットマーである。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の声に聞き従う人々は神の選民である。主は選民を集め、守り、永遠に主とともに住むために選民を備えられる(教義と聖約29：1-8, 26-27参照)。
- イエス・キリストの再臨の時に、悪人は滅ぼされ、すでに亡くなった義人は復活する。キリストは千年間地上に住まわれる(教義と聖約29：9-13参照。マラキ4：1も参照)。
- 福千年の終わりに、しばしの間、人々が再び神を否定し始める(教義と聖約29：22)。地球は変えられて日の栄えの王国となる。悪人は最終的に復活して、最後の裁きが行われる。そしてあらゆる人は永遠の報いを受ける(教義と聖約29：22-29参照。教義と聖約88：17-20；130：8-11も参照)。
- 主の戒めには現世の(この世だけに関係のある)戒めと思われるものもある。しかし、主にとってあらゆるものは霊にかかわっている(教義と聖約29：34-35参照)。
- 選択の自由および反対のものは前世から存在していた。それらは引き続き地上の生活にも存在する。人は選択の自由をどのように行使するかによって報いと罰を受ける(教義と聖約29：35-40, 43-45参照。2ニーファイ2：11も参照)。
- 人が神の律法に背くと、サタンは人に対して力を得る。人は、悔い改めとイエス・キリストを信じる信仰によって、霊の死に打ち勝つことができる(教義と聖約29：41-43参照。アルマ7：14も参照)。
- 肉体の死と霊の死など、墮落がもたらした影響は、贖罪を通して克服される(教義と聖約29：40-45参照)。
- 幼い子供たちは罪を犯すことができない。サタンは幼な子を誘惑することを許されていない。幼な子は贖罪によって贖われている(教義と聖約29：46-50参照。モーサヤ3：16；モロナイ8：22も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 64 - 69。

## 教え方の提案



**教義と聖約29章。選択の自由および反対のものは前世から存在していた。それらは引き続き地上の生活にも存在する。人は選択の自由をどのように行使するかによって報いと罰を受ける。(50 - 60分)**

2ニーファイ2:11を読む。次のように質問する。「なぜあらゆることに反対のものがなければならぬのでしょうか。」2ニーファイ2:10,15を読む。エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を紹介する。「反対のものがあれば選びがあり、選びがあれば善か悪かの結果が出てきます。」「(偉大な戒め 主を愛する)『聖徒の道』1988年6月号,6)。次のように質問する。「律法は、わたしたちが永遠の命を得るために、どんな助けとなるのでしょうか。」2ニーファイ2:13を読む。律法がなければ、律法を守り、義にかなうこともできないため、進歩できないことを説明する。以下の質問をする。

- わたしたちに与えられている選択の自由に対して、サタンはどんな役割を果たしているのでしょうか(16 - 18節参照)。
- わたしたちはどのようにして選択する力を手に入れたのでしょうか(16,26節参照)。
- 正しい選択をするとなぜ自由になるのでしょうか。間違った選択をすると、なぜ束縛されるのでしょうか(26 - 30節参照)。

教義と聖約29章には、神の子らと地球に関する、神の計画の多くの教えが載っていると話す。この計画を理解すると、人は永遠の見地から決断を下すことができるようになる。

黒板が模造紙に時の経過を表す1本の線を引く。以下を記入する。前世(36 - 38節参照。アブラハム3:21 - 28も参照)、墮落(39 - 42節参照)、現在(1 - 8節参照)、再臨の直前(14 - 21節参照)、再臨(9 - 13節参照)、福千年(11節参照)、福千年の後(22 - 29節参照)。この直線の最初の時期について学ぶために、前世に関する節を生徒が読む。特に、義人と悪人について述べている節を確認する。生徒が調べた事柄について話し合う。それらを黒板に書き出す。この方法でほかの時期も検討する。以下の質問をする。

- これらの聖句によれば、義を選ぶことはなぜ大切なのでしょうか。
- 正しいことを行うのがとても難しい人々がいます。なぜだと思いますか。
- これらの節は、邪悪な世界にあっても忠実に生きるための励ましになります。どんな励ましになりますか。

生徒が疑問を持っている場合は、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教科コース324 - 325』(64 - 69)に記されている情報を使って明確にする。

模造紙か黒板に、未記入の小切手を大きく描く。受取人を生徒として、金額欄に「わたしの全財産」と記入する。以下の質問をする。

- この小切手の振出人としてだれからでも署名を受けられるとしたら、だれに署名してもらいたいですか。
- 教義と聖約29:45;84:38を読んでください。主の報いはサタンの報いとどのように違うのでしょうか。
- イザヤ64:4;アルマ12:12 - 17;30:60を読んでください。これらの節はこの教義に対するわたしたちの理解はどの深ま

りますか。

- わたしたちが主の報いかサタンの報いのいずれを目指しているかを知るにはどうしたらよいでしょうか。

わたしたちはこの世で神の戒めを守ることによって祝福を受けているが、神の祝福の多くはこの世で受けている祝福よりもはるかに偉大なものであることについて証する。この永遠の報いは、最大限の努力や犠牲をささげるだけの価値がある。

**教義と聖約29:1 - 29。イエス・キリストの再臨の時に、悪人は滅ぼされ、すでに亡くなった義人は復活する。(15 - 20分)**

ほぼいっぱい水の入ったコップと幾つかの小石を見せる。小石は罪を表していることを説明する。周囲でよく見かける罪を生徒が挙げる。罪が一つ挙がるたびに小石の一つずつコップに入れる。これを水があふれるまで続ける。教義と聖約29:17を読む。この活動が罪のもたらす結果をどのように表しているかを生徒に説明させる。9節を読む。以下の質問をする。

- この聖句では世の中に見られる邪悪を何にとえているのでしょうか。
- 「地が熟す」とはどんな意味でしょうか。

1 - 8,11,13節を読む。神の子らが悪に打ち勝つよう主が助けてくださる方法を生徒が挙げる。9,14 - 21,27 - 29節を読む。悪人にどんなことが起きるかについて話し合う。義にかなった生活が良い結果をもたらすことを強調するために、「正しかれ」(賛美歌,151番)を歌うか、歌詞を朗読するとよい。主は戒めを守る人を現在もまた永遠にわたっても祝福してくださる。わたしたちが「正しくないこと」を行うときも、その結果は同じように与えられる。良いことと悪いことは義人にも悪人にも起きる。しかし、世の災いの一部は正しくない選択をした結果であり、主の戒めに従わないために起きている。

**教義と聖約29:34 - 35。主の戒めには現世の(この世だけに関係のある)戒めと思われるものもある。しかし、主にとってあらゆるものは霊にかかわっている。(15 - 20分)**

「現世にかかわる」と「霊にかかわる」という語句を生徒が定義する。教義と聖約29:34 - 35を読む。生徒は主が御自分の戒めについて言われたことを生徒自身の言葉で述べる。次のように質問する。「すべての戒めは霊にかかわっていると思いますか。」主の戒めを生徒が幾つか挙げる。それらの戒めに従うことによってこの世と永遠にわたってもたらされる祝福について話し合う。(純潔,正直,知恵の言葉,しゅうぶん,安息日を聖くする,そのほか強調する必要があると感じている戒めについて話し合うとよい。)

**教義と聖約29:46 - 50。幼い子供たちと善悪を理解できない者は罪を犯すことができない。サタンは彼らを誘惑することを許されていない。彼らは贖罪によって贖われている。(15 - 20分)**

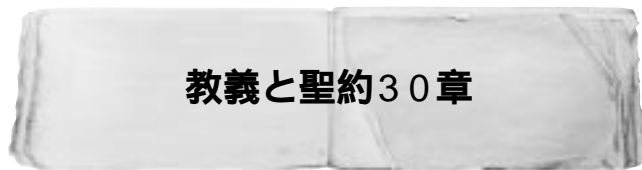
『リアホナ』には時々「質疑応答」という記事が掲載されることを話す。次号の『リアホナ』で、以下の質問の答えを書くよう依頼されていると仮定する。

- バプテスマを受ける前に亡くなった子供たちは救われるのでしょうか。
- 知的障害のある人はどうなるのでしょうか。  
生徒に以下の聖句と言葉を読んで、質問の答えを書くように言う。
- 2ニーファイ9:25 - 26

- モーサヤ3 : 16 - 18
- モロナイ8 : 22
- 教義と聖約29 : 46 - 50
- 教義と聖約137 : 7 - 9
- ブルース・R・マッコスキー長老はこのように教えた。

「幼い子供たちは、わたしたちすべてを救うために死なれた御方の贖いの犠牲によって、世の基が据えられたときから贖われている。サタンは、子供たちが責任を知り得る年齢に達するまで、彼らに対して何の力も持たない。主は以上のことを啓示されてから、同じ原則を精神的な欠陥のある人々にも適用して言われた。『さらにまた、わたしはあなたがたに言う。知識のある者に、わたしは悔い改めを命じなかったであろうか。また、理解する能力のない者については、書き記されているとおりに行うだけである。さて、わたしはあなたがたに、今はこれ以上のことを告げない。』（教義と聖約29 : 49 - 50）」（「幼な子の救い」『聖徒の道』1978年3月号, 10）

生徒が書いた内容について話し合い、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（69ページ）から、教義と聖約29 : 46 - 48と29 : 50の注解を検討する。



## はじめに

あらゆる人が学ぶことのできる最も大切な教訓の一つに、人の知恵ではなく、主と主の僕に頼ることがある。この教訓を学んで、主の戒めを守るように努める人々は永遠の命を得る。30章は以下のことを教えている。「救い主と交わした聖約の関係において受け身の姿勢でいてはならない。積極的に霊的な成長を図らなければならない。聖文を研究すること、集会に出席すること、親切な行いをする、人々に仕えること、祈ること、断食すること、などである。これらは、すべて同じ目的を持っている。すなわち、救い主に対していっそう従順になることである。」（リーン・G・オッテンとC・マックス・コールドウェル, *Sacred Truths of the Doctrine and Covenants*, 全2巻 [1982 - 1983年], 第1巻, 147）


## 学び取るべき重要な福音の原則

- 伝道活動によって福音を広めることは、教会の主な目的の一つである（教義と聖約30 - 36章参照）
- 人の勧告や世の事柄ではなく、主と主の僕に頼るべきである（教義と聖約30 : 1 - 2, 5, 11参照。教義と聖約3 : 6 - 11も参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 79 - 80。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 69 - 70。

## 教え方の提案

 **教義と聖約30 - 36章。伝道活動によって福音を広めることは、教会の主な目的の一つである。**（25 - 30分）

ドミノ（あるいは将棋）を1列に並べておく。1枚を倒したら、全部が倒れるようにしておく。「ドミノ倒し」について説明する。ドミノ倒しと伝道活動の類似点について話し合う。すべてのドミノが倒れるには、まず何が必要かを生徒に聞く。（まず一つのドミノが倒れなければならない。）福音を分かち合うときには、わたしたちがまず何かを始め、それが連鎖反応を起こして多くの人々の生活に影響を与えることを説明する。

30 - 36章には現代に应用できる宣教師への勧告と約束が記されていることを説明する。教義と聖約33 : 2 - 6, 10 - 13を読む。回復された福音をすべての人が聞くことが、なぜ大切かについて話し合う。（2ニーファイ2 : 8 ; 教義と聖約1 : 1 - 14も参照）

参照聖句	戒めまたは勧告	約束または祝福
教義と聖約 30 : 1 - 2, 5 - 11	神に頼り、人を恐れずに福音を告げ知らせなさい。	永遠の命を受ける。
教義と聖約 31 : 1 - 8, 11 - 13	喜んで福音を告げ知らせ、鎌を入れ、常に祈り、忠実でありなさい。	あなたは舌が緩められ、罪が赦され、多くの改宗者を得、あなたの家族が祝福され、慰め主があなたを導かれる。
教義と聖約 32章	福音を告げ知らせ、柔和で心のへりくだった者になり、神の言葉を心に留めなさい。	主はあなたがたとともに行き、あなたがたの中におられるであろう。
教義と聖約 33 : 1 - 2, 6 - 17	福音を告げ知らせなさい、信じる者を集め、神の啓示に従いなさい。	口を開きなさい、そうすればあなたがたの口は満たされる、あなたは多くの改宗者を得る、バプテスマを受ける者は聖霊の賜物を受けるであろう。
教義と聖約 34 : 4 - 11	福音を告げ知らせ、人々を再臨に備えさせ、聖霊の力によって預言しなさい。	主が来るまで、主はあなたがたとともにおられる。
教義と聖約 35 : 6 - 14, 24 - 27	改宗者にバプテスマを施し、御霊の力によってもろもろの国民を打ち、腰に帯を締めて主のために戦い、戒めと聖約を守り、心を高めて喜びなさい。	バプテスマを受ける者は聖霊を受ける；信じる者は奇跡としるしと不思議を見る。主はあなたを守られる。天は震え、サタンはおののく。イスラエルは救われる。
教義と聖約 36 : 1 - 3, 6 - 8	福音を告げ知らせ、真心をもって伝道の業を受け入れ、腰に帯を締めなさい。	あなたは聖霊を受け、聖霊から教えられる。主が突然神殿に来られる。

この表を黒板に書き写す。ただし、右の二つの欄に答えを記入してはならない。生徒を幾つかのグループに分ける。左の欄の参照聖句を各グループに割り当てる。右の欄に生徒が答えを記入する。

これらの忠実な僕たちに与えられた戒めと約束は、わたしたちにとどのように当てはまるかについて話し合う。

次のように質問する。「もしわたしたちが天のお父様のほかの子どもたちと福音を分かち合わなければ、どんなことになるでしょうか。」(教義と聖約88:81-82参照)専任宣教師として働く以外に、どのようにして生徒が福音を分かち合うことができるかについて話し合う。「天よりの声聞け」(『賛美歌』, 166番)を歌うか、歌詞を読む。

**教義と聖約30章。わたしたちは人の勧告や世の事柄ではなく、主と主の僕に頼るべきである。(15-20分)**

黒板に「失敗の方程式」と書く。教義と聖約30:1-2を読む。その方程式を見つける。次のように質問する。「主は、デビッド・ホイットマーがどんな過ちを犯したと言われたでしょうか。」「失敗の方程式」の下に生徒の答えを書き出す。以下の質問をする。

- なぜ、これは「失敗の方程式」なのでしょう。
- 青少年は、どんなことについて、神よりも人を「恐れ」ることがあるでしょうか。(服装やデートの標準、正直、安息日を守ること、などの答えが考えられる。)
- わたしたちは世の人々を喜ばせるよりも、神に喜んでいただくことに心を向けるべきです。なぜでしょうか。(教義と聖約29:43-45参照)

教義と聖約3:7-11を読んで、以下から幾つかを選んで(またはすべて)質問する。

- ジョセフ・スミスがモルモン書の116ページの原稿をマーティン・ハリスに渡したときに犯した過ちと、デビッド・ホイットマーが犯した過ちには共通点があります。どんな共通点でしょうか。
- このような過ちを犯した人は、どうしたらよいでしょうか。(10節参照)
- この罪を悔い改めようとしない人は、どうなるでしょうか。(11節参照)
- もし罪を悔い改めなければ、バプテスマの後に受けた賜物たまものを失います。それは何という賜物でしょうか。

教義と聖約30:5, 9, 11を読む。恐れを抱くことについて警告を受けたほかの二人を見つける。次のように質問する。「これらの警告は、今日の宣教師ごんにちにどんなふう<sup>ごんにち</sup>に当てはまるでしょうか。」6-8節を読む。以下の質問をする。

- 「宣教師が人を恐れるという罪を犯すことのないように、この節はあることを教えています。何と教えているのでしょうか。」
- 教会の指導者に従うことは、人への恐れを克服する助けになります。なぜでしょうか。(7節参照)
- 主に聞き従い、主の戒めを勤勉に守る人々には、どんな約束が与えられているのでしょうか。(8節参照)

一つの経験を紹介して、伝道活動においてこの原則が大切であることを例証する。

## 教義と聖約31章

### はじめに

みたま御霊は真理を求める人々を準備させて、彼らを福音に引き寄せてください。トーマス・B・マーシュがニューヨーク州パルマイラを訪れたのは、「金の聖書」の出版に関する新聞記事を読んだためだった。彼はマーティン・ハリスとオリバー・カウドリに会って、モルモン書の校正用に印刷された最初から16ページまでの見本を手に入れた。彼はそれをマサチューセッツ州の家族のもとへ持ち帰った。彼と妻はともにメッセージを信じ、聖徒たちと合流するためにニューヨーク州へ移ってきた。トーマス・B・マーシュは、1830年9月3日にデビッド・ホイットマーからバプテスマを受け、数日後にオリバー・カウドリによって長老に聖任された。トーマス・B・マーシュに向けられた31章は、その年の9月の末に与えられたものである。トーマスは1835年に最初の十二使徒定員会会員の一人として召され、初代の定員会会長として働いた。しかし悲しむべきことに彼は1839年に背教して、破門された。教会を去ってから18年後の1857年に、マーシュは教会を捜し出し、バプテスマを受け、聖徒たちのいる場所で暮らすためにユタへ行った。この世を去るとき、トーマスは教会員としてのすべての特権を回復していた。しかし、使徒職に返り咲くことはなかった。(『時満ちる時代の教会歴史』74, 198-199参照)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 神の王国において忠実に働くならば、神はわたしたちと家族を祝福してください(教義と聖約31:1-10参照)。
- 主はわたしたち一人一人を御存じであり、特別な勧告を与えてください。その勧告は、わたしたちが幸福になり、悲しまないで済むよう助けてくれる(教義と聖約31:1-2, 5-13参照。モーサヤ2:41; アルマ41:10も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 74, 198-99。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 70-71。

### 教え方の提案

**教義と聖約31:1-10。神の王国において忠実に働くならば、神はわたしたちと家族を祝福してください。(15-20分)**

専任宣教師として奉仕している兄が姉がいる生徒に、どこで伝道しているかを聞く。生徒は専任宣教師として自分が家族や家から遠く離れた地で奉仕している場面を想像する。31章から、宣教師としての自分を励ましてくれる聖句にしるしをつける。何人かの生徒がどこを選んだか発表する。また、なぜそこを選んだか生徒が説明する。

3節を読む。「喜び」という言葉を強調して読む。次のように質問する。「伝道活動は、どうして『喜び』だと思いますか。」アルマ29:1-9; 教義と聖約18:10, 15-16を生徒とともに読む。主

に仕えるとなぜ喜びが得られるかについて話し合う。これらの節と、教義と聖約31：3を相互参照する。教師が主の教会で奉仕することによって感じてきた喜びについて証する。「われらは天の王に」（『賛美歌』、157番）を歌う。または歌詞を読む。

**教義と聖約31。主はわたしたち一人一人を御存じであり、特別な勧告を与えてくださる。その勧告は、わたしたちが幸福になり、悲しまないで済むよう助けてくれる。（10 - 15分）**

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を黒板に書き写す。

「宇宙の創造主であり統治者である御方は、わたしを御存じです。そして皆さんを御存じです。今日ここにいる子供の皆さん。皆さん一人一人のことを、その御方は御存じです。その御方は皆さんを御存じであり、皆さんを愛しておられ、皆さんを気遣っておられます。」（"Excerpts from Recent Addresses of President Gordon B. Hinckley," *Ensign*, 1996年8月号, 61）

生徒はこの言葉を読んで考える。それから以下の質問をする。

- 主があなたを御存じであり、気遣っておられることを知っている、あなたの祈りはどのように変わるでしょうか。
- このことを知っている、主の勧告や警告を進んで受け入れようとする気持ちは、どのように変わるでしょうか。
- 主はどんな方法で勧告や警告を与えておられるでしょうか。

教義と聖約31：9 - 13を読む。主がトーマス・B・マーシュに与えられた勧告を調べる。生徒が調べた事柄を黒板に書き出す。以下の質問を役立てるとよい。

- 天のお父様から啓示を受けるには、どうしたらよいでしょうか。
- 一人で祈ること、聖文を深く考えること、お父さんから祝福してもらうこと、祝福師の祝福を受けることは、啓示を受けるために、どんな助けになるでしょうか。
- 主が勧告をお与えになっても、その勧告を心に留めなければどうなるでしょう。どんな危険が待っているでしょうか。

## 教義と聖約32章

### はじめに

1830年9月、オリバー・カウドリとピーター・ホイットマー・ジュニアはレーマン人に伝道する召しを受けた（教義と聖約28：8；30：5 - 6参照）。モルモン書にはレーマン人に関して多くの預言が記されている。そのためレーマン人への伝道に対する教会内の関心はかなり高かった（モルモン書のタイトルページ；1ニーファイ15：13 - 18；エノス1：11 - 17参照）。10月に、ジョセフは主にさらなる情報を願い求めた。その結果、32章を受けた。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は宣教師とともにいて、宣教師を祝福すると約束しておられる。その約束を受けるために、宣教師たちは、へりくだって福音を告げ、祈りの気持ちで聖文を研究し、聖文に記されている事柄に従わなければならない（教義と聖約32章参照）。
- 主は、モルモン書の約束に従ってレーマン人に福音を携えて行くよう命じられた（教義と聖約32章前書き、1 - 3節参照。エノス1：13 - 16；教義と聖約28：8 - 9；30：5 - 6も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、79 - 88。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、71 - 73。

### 教え方の提案

**教義と聖約32：1 - 3。主は、モルモン書の約束に従ってレーマン人に福音を携えて行くよう命じられた。（10 - 15分）**

黒板に「レーマン人」と書いて、以下の質問をする。

- レーマン人は、どんな人々だったでしょうか。
- 今日、レーマン人の子孫はどこにいると思いますか。
- 主はなぜ、レーマン人に福音を携えて行くよう命じられたと思いますか（モルモン書のタイトルページ；エノス1：11 - 17参照）。

教義と聖約28：1 - 8；30：5 - 6；32：1 - 3を読む。レーマン人のもとへ行くよう召された人々の名前を見つける。それぞれが主から受けた勧告を書き出す。その勧告は今日の宣教師にどのように当てはまるか話し合う。

生徒用学習ガイドから、レーマン人への伝道を示す地図を見せる（「聖文を理解する」の教義と聖約32：2 - 3参照）。これらの宣教師はどれくらい遠くまで行ったかを生徒に聞く（約2,500キロ、しかもほとんど徒歩で）。教義と聖約の中にはレーマン人への伝道に関してわずかの記録しかない。しかし、この伝道は教会に大きな影響があったと説明する。宣教師の成功の大部分は、インディアン居留地へ向かう途中の辺境の町においてであった。『時満ちる時代の教会歴史』（79 - 88ページ）から、幾つかの例を紹介する。この伝道によって、教会の規模は2倍になり、リーハイの子孫の間における伝道活動の基礎が築かれたことを説明する。さらにこの伝道は、将来、シオンの地に関する啓示を受ける備えにもなった。この伝道の旅は価値があったと思うか、生徒に聞く。

リーハイの子孫に福音を携えて行くために教会が現在実施している事柄について話し合う（『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』72 - 73ページから、教義と聖約32章の注解参照）。

## 教義と聖約33章

### はじめに

主はエズラ・セアとノースロップ・スイートに勧告を与えられた。これは、主が御自分の子供たちに何が起こるか前もって御存じであることを示す例である。また、子供たちのことを気遣っておられることも、ここから分かる。彼らの心と思いを御存じの主は33章で、主の言葉を聴くよう勧告を与えられた。ノースロップ・スイートはバプテスマを受けて間もなく教会を去り、別の教会の設立を支援した。その教会は短命に終わっている。エズラ・セアは1835年に、会員資格の停止という懲戒処分を受けたが、後に復権した。預言者ジョセフの死後、彼は十二使徒の指導に従うことを拒んで、再び教会を去った。

### 学び取るべき重要な福音の原則

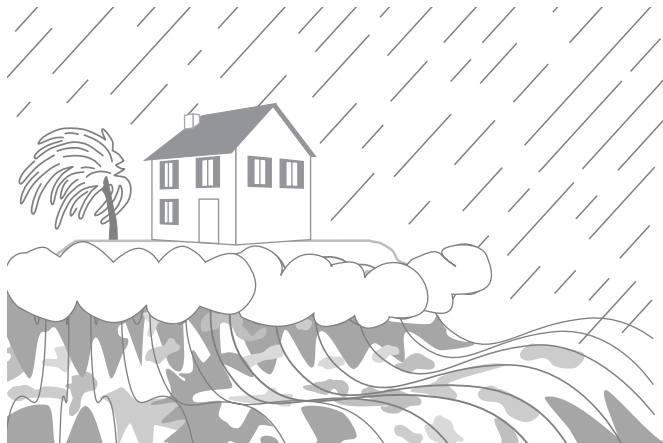
- 福音が回復されたのは、再臨に備えて主の子らを集めるためである（教義と聖約33：1 - 10, 17 - 18参照）。
- イエス・キリストの福音の上に生活を築くならば、サタンの誘惑に打ち勝ち、救いを得る（教義と聖約33：11 - 15参照。信仰箇条1：3 - 4も参照）。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 73 - 74。

### 教え方の提案

教義と聖約33：10 - 15。イエス・キリストの福音の上に生活を築くならば、サタンの誘惑に打ち勝ち、救いを得る。（15 - 20分）



<sup>あらし</sup>嵐に襲われている一軒の家を描く。次のように質問する。「試練や誘惑が『大きな嵐』と似ているのは、どんな点でしょうか。」生徒にこぶし大の石を見せる。教義と聖約33：10 - 13を生徒が読む。これらの節で岩が何を表しているかを調べる。

黒板に、「ヒラマン5：9 - 12」と「3ニーフアイ18：11 - 13」と書く。人生の嵐に堪える方法をこれらの聖句から見つけ出す。

## 教義と聖約34章

### はじめに

オーソン・プラットは、34章が啓示されてから生涯を閉じるまで、ほとんどいつも、回復された福音を宣べ伝えた。1830年末には最初の伝道地であるニューヨーク州コーズビルへ旅立った。また、北アメリカとヨーロッパの多くの地で伝道した。そのために、大西洋を16回横断した。オーソン・プラットは最初の十二使徒定員会会員の一人だった。1842年8月に、預言者ジョセフと意見を異にしたため定員会から脱落したが、悔い改めて、1843年1月に復権した。オーソン・プラットは1834年のシオンの陣営と1847年の開拓者隊の一員だった。彼は有能な演説家であり、科学と宗教をテーマにした多くの書物を数多く執筆した著作家であった。オーソン・プラットは、1874年から1881年にこの世を去るまで、教会歴史記録者を務めた。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- <sup>あがな</sup>贖いは天の御父とイエス・キリストがわたしたちを愛しておられることの証拠である（教義と聖約34：1 - 3参照。ヨハネ3：16も参照）。
- <sup>しよくざい</sup>贖罪によって、人はイエス・キリストの家族に霊的に養子縁組され、イエスと共同の相続人となることができる（教義と聖約34：1 - 3参照。ローマ8：15 - 17；モーサヤ5：7 - 10；教義と聖約35：1 - 2も参照）。
- 宣教師は、悔い改めを叫ぶために召されている。それは、世を救い主の再臨に備えるためである（教義と聖約34：5 - 9参照。マラキ4：1；1ニーフアイ22：16 - 20も参照）。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 75 - 76。

### 教え方の提案

教義と聖約34：1 - 3。<sup>あがな</sup>贖いは天の御父とイエス・キリストがわたしたちを愛しておられることの証拠である。（10 - 15分）

次のように質問する。「天のお父様は御自分の子供たちを愛しておられます。それは、どんなことから分かるでしょうか。」ヨハネ3：16と教義と聖約34：3を比較する。ほかにだれが御父の子らを愛しているか調べる。

教義と聖約34：1 - 3を読む。次のように質問する。「この節で主はオーソン・プラットに何と言われたでしょうか。どの言葉に、オーソン・プラットへの主の愛が表れているでしょうか。」以下の文を読む。



「愛するとは与えることです。奪うことではありません。このことは心に留めておくだけの価値があります。愛のない贈り物はありません。しかし、贈り物のない愛はあり得ません。この世をこよなく愛して下さった神は、贈り物を下さいました。〔ヨハネ3：16参照〕救い主も教義と聖約34章3節で、この世をこよなく愛しているのです、贈り物を与えると宣言されました。

どうすればそのような愛が生まれるのでしょうか。人々に対してこのキリストのような愛をはぐくむにはどうすればよいのでしょうか。答えは救い主の言葉の中にあります。主はこのように言われました。

『わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。』〔ヨハネ15：12；強調付加〕

わたしたちはこのように自問すべきです。『イエスがなさったようにわたしたちも愛するのだとしたら、イエスはどんなふうにあなただけを愛されたのだらう。』救い主の教導の業を調べてみると、全生涯を通じて、ほかの人のために仕え、犠牲を払っておられたことがわかります。』（オッテンとコールドウェル、*Sacred Truths*、第1巻、167）

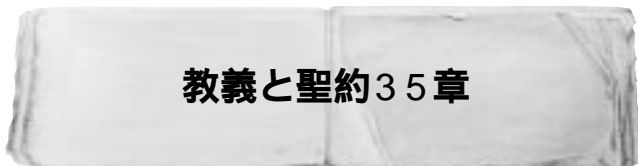
- このようなキリストの愛をはぐくむには、どうすればよいでしょうか。
- 人々にキリストの愛を表すには、どうすればよいでしょうか。

**教義と聖約34：5-9。宣教師は、悔い改めを叫ぶために召されている。それは、世を救い主の再臨に備えるためである。（10-15分）**

生徒用学習ガイドから、古代のラッパの絵を参照する（「聖文を理解する」の教義と聖約34章参照）。次のように質問する。「これはどんな目的のために使われていたと思いますか。」エゼキエル33：1-7を読んで、答えを一つ見つける。次のように質問する。「今日、ラッパの音は何の象徴となるでしょうか。」

教義と聖約34：5-9を生徒が読む。主はオーソン・プラットにラッパを鳴らすことに似たあることをするよう命じられた。その答えを見つめる。次のように質問する。「オーソンの義務は、人々に何に対する備えをさせることだったのでしょうか。」

エゼキエル書の聖句を生徒が思い起こさせる。次のように質問する。「現在、見守る者として召されているのはだれでしょうか。」（答えとして考えられるのは、宣教師や教会の召しを受けている人々。）見張りが人に警告しなかったらどんなことが起きるかについて話し合う。



## はじめに

シドニー・リグドンはカートランドに近いオハイオ州メンターで牧師をしていた。彼は1830年に、回復された福音のメッセージ

を聞いてバプテスマを受けた。バプテスマを受けると間もなく、シドニーはエドワード・パートリッジとともにニューヨーク州フレイエットにいた預言者に会いに行った。35章で、シドニー・リグドンは預言者ジョセフの筆記者として聖書の翻訳を助ける召しを受けた。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- イエスが御父と一つであられるように、わたしたちは贖罪を通してイエス・キリストと一つになることができる（教義と聖約35：1-2参照。ヨハネ17：11-23；モーサヤ5：2-8；教義と聖約25：1；モーセ6：57-68も参照）。
- 御霊によって福音を宣べ伝えることにより、再臨に備えるために義人と悪人が分けられる（教義と聖約35：6-14、24-27参照）。
- キリストに忠実に従う者に奇跡と不思議が伴うことは、真の教会のしるしである（教義と聖約35：8-11参照。マルコ16：17-18も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、82 - 83。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、76 - 78。

## 教え方の提案

**教義と聖約35：1-2。イエスが御父と一つであられるように、わたしたちは贖罪を通してイエス・キリストと一つになることができる。（15-20分）**

「神殿に向かう若い男女」（『福音の視覚資料セット』、609）と「家族の祈り」（606）の絵を見せる。次のように質問する。「これらの絵はどのように一致を表しているでしょうか。」「神殿に向かう若い男女」を指す。そして質問する。「二人のうちのどちらが結婚をするのでしょうか。」（創世2：24参照）「家族の祈り」を指す。そして質問する。「これらの中でだれが家族を構成するのでしょうか。」

黒板に贖いに相当する英語の「Atonement」を書く。この語を生徒が短い単語に分ける。「one」を丸で囲む。次のように質問する。「イエス・キリストの贖いはわたしたちをだれと一つにするのでしょうか。」

教義と聖約35：1-2を読む。これらの節で言われている「一つとなる」とはどんな意味かを生徒が説明する（ヨハネ17：11-23も参照）。以下の事柄についてできるだけ多くの真理を教義と聖約35：1-2から見つける。「救い主はどんな御方か。」「救い主はわたしたちのためにどんなことを行われたか。」「それはどんな理由によるのか。」「見つけた真理を生徒が黒板に書き出す。黒板に、ヨハネ17：20-23；モーサヤ5：2-8；教義と聖約25：1；モーセ6：64-68と書く。これらの参照聖句を生徒が調べる（個人またはグループのいずれの方法でもよい）。わたしたちは贖いのおかげで、どのように神の子となり、神と一つとなることができるかについて生徒が報告する。

モーセ7：18を読む。次のように質問する。「これらの人々が『心一つにし、思い一つにし』たときに何が起きたでしょうか。」家族、クラス、学校、社会において、あらゆる人が一つになったときに最も良かった点は何か、生徒の意見を求める。

教義と聖約35：8 - 11。キリストに忠実に従う者に奇跡と不思議が伴うことは、真の教会のしるしである。(15 - 20分)

イエスが地上におられた間に行われた奇跡を生徒が幾つか挙げる。生徒の答えを黒板に書き出す。以下の質問をする。

- なぜ奇跡が行われるのでしょうか。
- 奇跡はどのようにイエス・キリストの憐れみ<sup>あわ</sup>を表しているのでしょうか。
- 奇跡はどのようにイエス・キリストが神の御子であることを証<sup>あかし</sup>しているのでしょうか。

教義と聖約35：8 - 11を読む。今日<sup>こんにち</sup>、奇跡が起きるにはどんなことが行われなければならないかを調べる。以下の質問をする。

- 主はだれに奇跡を示されるのでしょうか。
- 奇跡を起こすために、信じる者たちは何をしなければならいのでしょうか。
- 何が奇跡の起きるのを妨げているのでしょうか。
- モルモン9：15 - 21を読んでください。この聖句は以上の質問とどんな関係があるのでしょうか。

以下の話を紹介する。何年も前、ロレンゾ・スノー大管長の姪<sup>めい</sup>で19歳になるエラ・ジェンセンは猩紅熱<sup>しやうこう</sup>にかかって、亡くなりました。エラの両親は娘が亡くなったことをスノー大管長に知らせました。スノー大管長は、エラのステーキの会長で後に十二使徒定員会会長を務めたロジャー・クローソンとともにジェンセン家を訪れました。クローソン会長はそのときの模様を次のように話しています。

「わたしたちが家に入ると、ジェンセン姉妹に会いました。彼女はひどく興奮し、恐れていました。そしてわたしたちは、エラの遺体が置かれているベッドへ向かいました。……」

スノー大管長はわたしの方を振り向いて言いました。「クローソン兄弟、彼女に油を注いでくださいますか。」わたしはそうに行いました。次にわたしたちはエラの頭に手を置くと、スノー大管長が灌油を結び固めました。大管長は彼女に祝福を与え、その中で、非常に珍しい次のような言葉を用いて、命じるかのような口調で言いました。「戻ってきなさい、エラ。戻ってきなさい。地上におけるあなたの務めは終わっていないのです。戻ってきなさい。」

エラの父親であるジェイコブ・ジェンセンはこのように続けます。

「スノー大管長は祝福を終えると、わたしと妻の方を向き、言いました。「さあ、もう嘆き悲しむことはありません。大丈夫でしょう。クローソン兄弟とわたしは忙しいので、行かなければなりません。……」

エラはスノー大管長が癒しの儀式を施してから1時間以上、息を引き取ってから3時間以上そのままの状態でした。妻とわたしはベッドの横に座って娘を見ていました。すると、突然、娘が目を開けました。部屋の中を見回して、座っているわたしたちを見ました。けれども、彼女はまた

だれかほかの人を捜していました。そして娘が話した最初の言葉はこうでした。「彼はどこ？彼はどこ？」わたしたちは尋ねました。「だれ？だれのこと？」『だれって、スノー兄弟よ』と娘は答えました。「彼が戻ってきなさいって、呼んだのよ。」(ルロイ・C・スノー, "Raised from the Dead," *Improvement Era*, 1929年9月号, 885 - 886)

エラは病気から回復し、教会で働き、ヘンリー・ワイトと結婚した。エラは最終的に8人の子供たちに恵まれた。

スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の言葉を分かち合う。「現代においてもこの時代に起きた奇跡の一つ残らず書き残しておいたならば、いくら図書館があっても納めきれないことでしょう。」(「キンボール大管長、癒しの儀式について語る」『聖徒の道』1982年8月号, 44) 現在も奇跡が起きていることについて証<sup>あかし</sup>する。御霊<sup>みたま</sup>によって促されたら、あなたが目撃した奇跡を分かち合う。

## 教義と聖約36章

### はじめに

36章で、主はエドワード・パートリッジに福音を宣べ伝える召しを与え、彼の罪が赦<sup>ゆる</sup>されたと言われた。「そのような召しを正しく果たすには、……自分の罪から開放されるほどのふさわしさが要求される。エドワード・パートリッジはこのように望ましい状態で召しに着手できることを知って喜んだ。

主の王国で働く者は皆、主の正式な代表者の権能の下で働く。主の教会に改宗して間もないエドワード・パートリッジはこの大切な基本原則を教えられたのである。」(オッテンとコールドウェル, *Sacred Truths*, 1: 176)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- キリストのもとへ行くには罪から解放されなければならない。もし罪から開放されているならば、わたしたちは御霊を通して平安を得ることができる(教義と聖約36：1 - 3, 6参照。アルマ13：12；教義と聖約42：59 - 61も参照)。
- 権能を持つ神権者によって執り行われる儀式は、主御自身がそれを執行されるのと同じ効力を持つ(教義と聖約36：2参照。ヨハネ15：16；教義と聖約42：11；84：35 - 39も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 82。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 78 - 80。

## 教え方の提案

教義と聖約36:1-3, 6。キリストのもとへ行くには罪から解放されなければならない。もし罪から開放されているならば、わたしたちは御霊を通して平安を得ることができる。(10-15分)

生徒に汚れたTシャツを見せる。以下の質問をする。

- このTシャツをもう一度着る前に何をしなければならないでしょうか。
- このTシャツを前に着ていた人が伝染病にかかっていたとしたら、どうですか。

旧約の時代らい病にかかった人が触れた衣服は火で焼かれたことを説明する。(レビ13:52参照)

教義と聖約36:6を読む。次のように質問する。「罪に手を染めることは病気にかかることとどのように似ているでしょうか。」1-3節を読む。罪を悔い改める人にはどんな結果があるかについて話し合う。

『若人の強さのために』に記されている原則を生徒とともに話し合う。戒めと教会の標準は霊的な病気を避けるためにどんな助けとなるかについて話し合う。



### 教義と聖約37 - 38章

## はじめに

オハイオ州カートランドで教会は急速に成長した。レーマン人への伝道の途中で宣教師たちがカートランドに立ち寄ったことが理由だった(教義と聖約32:1-3参照)。わずか3週間でオハイオの教会員の数はニューヨークとペンシルベニアの会員数をしのぐほどになった。宣教師たちはミズーリへ向かってさらに旅を続けるため、カートランドを出発する際に、預言者ジョセフ・スミスに手紙を書いて、だれか経験豊かな人がカートランドへ来て、教会を支援するよう提案した。預言者はジョン・ホイットマーを派遣した。1830年12月「ジョセフはジョン・ホイットマーから、カートランドにおける教会の業務を整えるため、支援をしてほしいと書かれた手紙を受け取った。」(ルーシー・マック・スミス, *History of Joseph Smith by His Mother*, スコット・フェイス・ピロクターとモーリーン・ジェンセン・プロクター編 [1996年], 251) 預言者は主に尋ねた結果、全教会員にオハイオへ移動するようにと命じる37章を受けた。これは、末日聖徒が中心地へ集合する始まりとなった。

38章は「教会がオハイオへ移動することの重要性を再確認したものである。(31-32節参照) この啓示には聖徒が自分たちを導いてくださる救い主に対していっそうの信仰と信頼を寄せてこの移動に参加するようという指示も含まれていた。」(オッテンとコールドウェル, *Sacred Truths*, 1:181)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は物質的および霊的な祝福を与えるために民を集められる。

集合した者たちは福音を分かち合うことによってほかの人々を集める責任がある(教義と聖約37章; 38:9, 15, 31-33, 39-42参照)

- イエス・キリスト(エホバ)は旧約聖書の神であり、地球の創造主であり、世の終わりの時にあらゆる人を裁く御方である(教義と聖約38:1-8参照。出エジプト3:14; ヨハネ8:58; 教義と聖約29:1; 39:1も参照)。
- イエス・キリストの再臨の時に、義人は守られ、悪人は焼かれる(教義と聖約38:8-12, 17-22参照。1ニーファイ22:15-17; 教義と聖約133:41-52も参照)。
- イエス・キリストに従う者は、人々への接し方と和合一致の精神によって見分けられる(教義と聖約38:24-27参照。ヨハネ13:34-35も参照)。
- 地の富はそれが高慢に結びつくものとなるならば、聖徒にとって呪いとなる。最も大いなる富は永遠の命の祝福である(教義と聖約38:39参照。モルモン書ヤコブ2:18-19; アルマ4:7-9; 62:48-49; ヒラマン13:21-23も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 89-101。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 80-86。

## 教え方の提案

教義と聖約37; 38:9, 15, 31-33, 39-42。  
主は物質的および霊的な祝福を与えるために民を集められる。集合した者たちは福音を分かち合うことによってほかの人々を集める責任がある。(15-20分)

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を読む。

「世のいかなる時代であっても、……神の民が集められました、その目的は何だったのでしょうか。

……その主要な目的は主のために宮を建てることにありました。主の宮があれば、宮の儀式と王国の栄光を民に明らかにし、救いの道を教えることができるのです。定められた儀式と原則の教えを施すことは、その目的のために建てられた宮の中で行わなければならないのです。」( *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 307-308 )

教義と聖約37章を読んでから、以下の質問をする。

- 1節によれば、ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンはなぜ翻訳を中止するように言われたのでしょうか。
- 彼らは何を、なぜ翻訳していたのでしょうか(脚注1参照; 『聖句ガイド』「ジョセフ・スミス訳」, 133参照)。
- 主がジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに対して翻訳の代わりに行うよう求められた3つのこととは何でしょうか。
- 主はなぜ彼らがオハイオへ集合することを望まれたのでしょうか(1節参照)。
- 1節で告げられている敵から身を守るために、なぜ集合することが必要だったのでしょうか。

教義と聖約38：9，15，23 - 27，31 - 33，39 - 42を読む。以下の質問について話し合う。

- オハイオに集合する理由として、主はほかにどんなことを挙げられたでしょうか。
- わたしたちは貧しい人に対してどんな責任があるでしょうか（23 - 27節参照）。
- どうすれば、自分の兄弟を自分自身のように「尊ぶ」ことができるでしょうか（24 - 25節参照）。
- 「高いところから力を授けられる」ためにはどこへ行けばよいでしょうか。（32節）
- これらの節で告げられた事柄はどのように聖徒たちを敵から守るものとなったでしょうか。
- 今日、忠実な教会員に攻撃を加える敵にはどんなものがあるでしょうか。
- 義にかない、神殿に参入するふさわしさを保つことによって、わたしたちはどのように今日の敵から守られるでしょうか。
- わたしたちはほかの人々に対してどんな責任があるでしょうか（41節参照）。

聖徒が主の啓示に従うならば、主はどのように聖徒を守ってくださるかに注目する。生ける預言者はサタンとその手下の攻撃にさらされている聖徒に警告を発していることを証する。生ける預言者に耳を傾けることの大切さについて証する。

**教義と聖約38：1 - 8。イエス・キリストは旧約聖書の神であり、地球の創造主であり、世の終わりの時にあらゆる人を裁く御方である。**（10 - 15分）

イエス・キリストについて知っている大切な真理を生徒が挙げる。それらを黒板に書き出す。教義と聖約38：1 - 8を読む。イエス・キリストについて生徒が学んだ事柄を黒板に書き加える。以下の質問をする。

- あなたがニューヨークに快適な家を持っていて、主からオハイオへ移住するように求められたとします。これらの真理を知っていることは家を売る決心をするために、どのように助けとなるでしょうか。
- 教会の標準に従って生活することは難しいと感じたり、ほかの人たちが守っていないかたりするとき、これらの真理を知っていることは教会の標準に従った生活をするためにどのように助けとなるでしょうか。

「わたしはあなたがたの中にいる」（7節）という主の言葉は、わたしたちに対する主の愛と関心を示していることを指摘する。次のように質問する。「主があなたを見守っておられることが分かるとき、どんな気持ちになりますか。」

ハロルド・B・リー大管長が語った以下の話を読む。

「今、ここでわたしはあなたたちに申し上げます。わたしは心の中に一点の疑いもなく、この教会を管理しておられる御方が実在する御方であることを知っている。その御方は、わたしたちの主、イエス・キリストである。わたしはイエスが実在しておられることを知っている。わたしたちの理解している以上に主はわたしたちの近くにおられる。無関心な御父や主がおられるのではない。天の御父と主は、

常にわたしたちに関心を払い、わたしたちを救い主の再降臨に備えさせようと種々助けを与えてくださっている。様々なしるしがいいよ明らかにしている現在、主の再降臨はそれほど遠い将来のことではない。」「汝ら聖なる所に立つべし」『聖徒の道』1974年3月号，141参照）

**教義と聖約38：8 - 12，17 - 22。イエス・キリストの再降臨の時に、義人は守られ、悪人は焼かれる。**（15 - 20分）

黒板に、「わたしは主が再降臨を遅らせてくださることを望んでいる。なぜなら」と書く。また、「わたしは主が再降臨されるのを待ち望んでいる。なぜなら」とも書く。生徒はこの二つのうち自分の気持ちをよく表している方を選ぶ。選んだ文章の「なぜなら」に続いて簡潔な文章を生徒が加える。全文を生徒が紙に書く。

人々が主の来臨を望んでいる理由と望んでいない理由について話し合う。（希望する生徒が自分の書いた文章を紹介してもよい。）教義と聖約38：8 - 12を読む。主の来臨が恐れられている理由を生徒が探す。以下の質問をする。

- 「その日に堪えられ」る」（8節）のはどんな人たちだけでしょうか。
- 「清いが、すべての者が清いわけではない」（10節）とはどんな意味だと思いますか。
- モロナイ10：32 - 33を読んでください。これらの節によれば、わたしたちはどのようにして救い主の来臨に備えることができるでしょうか。

主が来られるときに聖徒が受ける祝福を得るために、準備する価値があることを証する。教義と聖約38：17 - 22を読む。主の再降臨の時に忠実な者たちが受ける祝福を挙げる。ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を読む。

「わたしは救い主がいつおいでになるのか知りません。わたしは主をお迎えする準備ができています。この邪悪に満ちた世の中であって、わたしはその時があまり遠い先でないことを願っています。わたしは主がいつおいでになるのか知りません。わたしは『来ませ、王の王』と確信を持って歌うことができます。』（*Teachings of Gordon B. Hinckley*, 577）

生徒が再降臨について同じような心構えを持てるように勤める。

## 教義と聖約39 - 40章

### はじめに

リーハイは命の木の示現の中で、「一つの大きく広々とした建物」について説明した。その建物は、命の木の実を食べていた人々を指さしてあざけり笑う人々で満ちていた。その実を食べていた人々の一部は「あの人々にあざけり笑われたので恥ずかしく

思い、禁じられた道に踏み込んで姿が見えなくなってしまった。」(1ニーファイ8:28) 39章から40章は、回復の霊に心を動かされたジェームズ・コービルについて述べている。しかし、彼の熱意は「迫害の恐れと世の思い煩い」のために、つかの間で消えてしまった(教義と聖約40:2)。ハロルド・B・リー大管長は十二使徒定員会会員を務めていた時代に次のように教えた。「皆さんがそれなりのことをしなければ、今証として持っているものが、明日も続くという保証はありません。証は強くもなれば、弱くもなっていくのです。それは皆さん自身にかかっているのです。」(「歴代大管長の教え - ハロルド・B・リー」, 45)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 福音の原則と儀式に従って生活するならば、わたしたちはイエス・キリストの子となる(教義と聖約39:1-6参照。モーサヤ5:7-9も参照)。
- 高慢と迫害に対する恐れ、そして世の思い煩いによって、わたしたちは主を拒み、聖約に背を向けることがある(教義と聖約39:7-11; 40参照。マタイ13:20-22; 1ニーファイ8:28も参照)。
- イエス・キリストの再臨に先立って、福音を宣べ伝えるために主の僕たちが召される(教義と聖約39:17-24参照。マタイ28:19-20も参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 86 - 88。

## 教え方の提案

教義と聖約39:7-11; 40章。高慢と迫害に対する恐れ、そして世の思い煩いによって、わたしたちは主を拒み、聖約に背を向けることがある。(40-45分)

あなたが子供だったころの写真を見せる。あなたがどれほど変わったか生徒の意見を求める。1サムエル16:7を読む。子供のころに比べてあなたの心がどれほど変わったか簡単に説明する。教義と聖約39章と40章の前書きを比較する。1か月もたないうちに何が起きたかを調べる。以下の質問をする。

- ジェームズ・コービルの心はどのように変わったのでしょうか。
- コービルが主の言葉をそれほど早く拒んだのはなぜだと思いますか。

教義と聖約39:7-9を読む。もう一度7節を読んで、「ジェームズ」の代わりに生徒が自分の名前を入れる。主が生徒の名前を呼んで、生徒の行いを見ており、生徒のことを知っていると言うことがおできになると思うか生徒に聞く。以下の質問をする。

- 主はなぜあなたを見守り、知っておられるのでしょうか。
- ジェームズ・コービルは8節をどのように感じていたのでしょうか。
- 彼の心が主の前に正しいとはどんな意味でしょうか。
- ジェームズ・コービルの心はいつも主の前に正しかったのでしょうか。彼は以前にどんなことで苦しんでいたのでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を分かち合う。

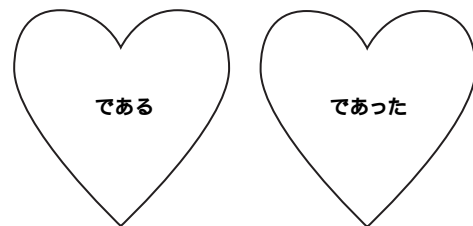
「本来、高慢とは神の御心みこころを忘れ、自分の考えに固執したものの考え方です。

……『わたしはこの人生で何をしたいのだろうか』という考え方は、高慢を示すものです。その対にあるのが『主はわたしにこの生涯において何をしよう望んでおられるのだろうか』という考え方です。利己的な思いは神の思いとは相いれないものであり、結局神よりも人を怖れることなのです。』(「器の内側を清める」『聖徒の道』1986年7月号, 6)

教義と聖約39章の前書きを参照する。ジェームズ・コービルは40年間どんな仕事をしてきたかを生徒に聞く。10-11節を読む。主はなぜジェームズ・コービルが一つのさらに大なる業を行うであろうと言われたかについて話し合う。次のように質問する。「11節のどの言葉から、約束された祝福が条件付きであることがわかるでしょうか。」

教義と聖約39:8と40:1を比較する。次のように質問する。「教義と聖約40:1のどの言葉が、ジェームズ・コービルの心に変化があったことを示しているでしょうか。」

以下の絵を黒板に描き写す。「だった」という語はなぜ大切かについて話し合う。以下の文章(あるいは自分で作ったもの)を紹介し、「である」と「であった」を空欄に入れる場合の違いについて生徒に聞く。(空欄によっては、「いる」と「いた」を比べる。)



- 拓也は道徳的に清い状態\_\_\_\_\_。
- 知子は薬物を遠ざけることを含めて知恵の言葉を守って\_\_\_\_\_。
- 剛は毎日聖典を読み、祈りをして\_\_\_\_\_。
- 愛子は神殿で結び固めを受ける準備をして\_\_\_\_\_。

教義と聖約40:2のメッセージを自分の言葉で生徒が紙に書く。何人かの生徒が書いたことを発表する。以下について話し合う。

- 「すぐに」とはどんな意味でしょうか。(直ちに)
- サタンはなぜ、啓示を受けたばかりの人に対してすぐに誘惑しようとするのでしょうか。
- ジェームズ・コービルはどんな理由から、主の言葉を拒んだのでしょうか。
- 3節を読んでください。この節によれば、迫害に対する恐れと世の思い煩いはジェームズをどんな行動へと向かわせたのでしょうか。

種まきのたとえを読む(マタイ13:3-8, 18-23参照)。どの節がジェームズ・コービルのことを述べていると思うか、またなぜそう思うかを生徒が説明する。自分の証あかしを強め、聖約に忠実であるための方法を説明する短い文章を生徒が書く。

# オハイオとミズーリの時代

## 教義と聖約41章

### はじめに

1830年12月、聖徒たちはオハイオへ行くよう命じられた（教義と聖約37：3参照）。1月末までに預言者ジョセフ・スミス、妻のエマ、シドニー・リグドン、エドワード・パートリッジはニューヨークを出発してオハイオに向かった。ニューヨークのほとんどの聖徒たちはそれから4、5か月の間に預言者に従って旅立っていた。初期の聖徒たちにとってこの移動は決して楽なものではなかった。中には農場や家を手放すことに気乗りしない人たちがいた。また、金銭を失うのではないかと、財産を売り払うことができないのではないかと、恐れた人たちもいた。しかし、ほとんどの聖徒は旅立った。

現代の聖徒たちも、教会員であるがゆえに、同じように難しい試練に直面するかもしれない。主は41章で、「律法を受け入れて、それを行う者」はだれでも主の弟子であると説明しておられる（教義と聖約41：5）。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老はこのように語った。「毎日毎日、わたしたちは、自分が弟子としてどの程度であるかを決めています。『主の方には、誰が立つや』（『賛美歌』、165番）という問いに、日々答えているのです。」「わが僕なるジョセフ」『聖徒の道』1992年7月号、44参照）

主は教義と聖約38：32で、聖徒がオハイオへ移ったときに律法を明らかにすると約束された。41章にも何度か「律法」という言葉が出てくるが、これは42章でその約束が成就することを指すものである。

### 学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンを準備する前に、割り当てられた聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し、本項の原則について深く考える。

- 主の律法を聞いて従う者たちを祝福することを、主は喜びとされる。彼らは主の弟子である（教義と聖約41：1-5参照。ヨハネ8：31；15：4-8；教義と聖約84：87-91も参照）。
- 監督は主によって召され、教会員の声によって支持され、その職に聖任される（教義と聖約41：9-11参照。1テモテ3：1-7も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教 341 - 343』、89 - 92、95、99、120。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、88 - 89。

### 教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をする

ときに、以下の提案の中から適したものを選ぶか、自分自身が考えたアイデアを用いる。

教義と聖約41：1-5。主の律法を聞いて従う者たちを祝福することを、主は喜びとされる。彼らは主の弟子である。（10-15分）

教会はオハイオ州カートランドでどのように確立されたか教える（『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』71 - 72ページ、32章の歴史的背景の第2 - 3段落を参照）。聖典（英文）の後ろにあるニューエル・K・ホイットニー・アンド・カンパニーの店の写真を参照する（写真7）（訳注 - 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教 341 - 343』、91ページにも、同じ写真がある）。預言者ジョセフ・スミスとニューエル・K・ホイットニーの最初の出会について説明する（『時満ちる時代の教会歴史』、90 - 91ページ、「オハイオへの集まりが始まる」第2 - 3段落参照）。教義と聖約の半分近くの章はオハイオで預言者に与えられたことを説明する。

以下の質問をする。

- 「……を喜びとする」とは、どんな意味でしょうか。
- あなたはどんな行いを喜びとしますか。
- 教義と聖約41：1を読んでください。この節によれば、主は何を喜びとされるでしょうか。
- 主はあなたの生活をどのように祝福してこられましたか。
- これらの祝福を受けるためにあなたは何をしましたか。

黒板に「キリストの弟子」と書く。生徒がこの言葉を定義する。教義と聖約41：2-5を読む。生徒の定義と主の定義を比較する。ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちにとって〔主が〕語られた事柄に耳を傾けること以上に大切なことはありません。わたしたちが主の弟子であるならば、心に葛藤が生じるはずはありません。ねたみが生じるはずはありません。意地悪な思いが生じるはずはありません。これらのいずれも生じるはずはないのです。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley* [1997年]、243）

もっと優れたキリストの弟子になるにはどうすればよいか話し合う。

## 教義と聖約42章

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスは42章を「教会の律法を含むもの」と呼んだ（*History of the Church*、第1巻、148）。主の律法は、わたしたちの自由や楽しみを制限するものではなく、祝福をもたらすものである（教義と聖約130：21参照）。主の律法は、わたしたちが幸福になるために非常に大切である。そのため、主は主に従う者たちに、「上からの数々の祝福を、また少なからぬ戒めを」冠

として与えると約束しておられる（教義と聖約59：4）。戒めによって祝福されている自分の姿を思い浮かべる。

ジョージ・アルバート・スミス大管長は、十二使徒定員会の会員であったときに、次のような深い考えを明らかにした。

「わたしは子供のころ、このように思い込んでいました。主は、この世を……律法に従わなければ、すぐさま仕返し〔罰〕がやって来るような世界に造られたのだと。しかし、成長するにしたがって、ほかの視点から考えるようになりました。そして、現在わたしにとって主の律法は……まさに快い音楽です。律法は、憐れみをもって語りかけられる天の御父の言葉なのでから。律法は、まさに愛にあふれた親からの助言であり、勧告です。それは、この世の両親も及ばないほどわたしたちの幸福を気にかけてくださる御方から与えられたものです。かつては律法という言葉からきつい印象を受けていましたが、いまでは、すべてを御存じの天の御父から頂いた、愛にあふれる、優しい助言なのだと思っています。」（Conference Report, 1911年10月, 43 - 44）


## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の律法は主の子らに祝福をもたらす。主の律法は、自由を制限する重荷となるのではなく、喜びの機会を与えてくれる（教義と聖約42章参照。教義と聖約130：20 - 21も参照）。
- わたしたちは御霊の導きのままに、聖典から福音の原則を教えるよう命じられている。信仰をもって祈り、福音の聖約と戒めに従うならば、教えるときに御霊が伴う（教義と聖約42：12 - 17参照。1コリント2：4, 10 - 11；2ニーファイ33：1；教義と聖約50：13 - 18；52：9も参照）。
- 悔い改めなければ、罪の結果を受けなければならない（教義と聖約42：18 - 29, 74 - 93参照）。
- 情欲を抱くことについて悔い改めようとしなない者は信仰を否定し、御霊を失う（教義と聖約42：23参照。マタイ5：27 - 28；教義と聖約63：16も参照）。
- 奉獻の律法に従う聖徒は、貧しい者を心に留め、持ち物を救い主の教会に奉獻することを聖約する（教義と聖約42：30 - 42, 53 - 55, 70 - 73参照。教義と聖約51：5 - 8も参照）。
- 病気のときには、神権の祝福と十分な医療処置を求めるよう、主は勧告しておられる（教義と聖約42：43 - 44参照。ヤコブの手紙5：14 - 16も参照）。
- 愛する人の死を悲しむのは当然のことである。しかし、福音に従う者にとって、死は悲劇的なことではない（教義と聖約42：44 - 52参照）。
- 求めるなら、啓示と祈りの答えが与えられる（教義と聖約42：56 - 58, 61, 68参照。マタイ7：7 - 11；アルマ26：22も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 89, 95 - 99。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 89 - 94。

## 教え方の提案

 教義と聖約42章。主の律法は主の子らに祝福をもたらす。主の律法は、自由を制限する重荷となるのではなく、喜び

## の機会を与えてくれる。（15 - 20分）

黒板に法律で決められている事柄を幾つか書き出す（例えば、スピード違反をしない、盗まない、代金を支払う）。以下の質問について話し合う。

- このような法律は必要だと思いますか。どうしてそう思いますか。
- 法律がなかったら、あなたが住んでいる町や国はどのようなでしょうか。
- 神の律法には、どんなものがありますか。
- 神の律法は、わたしたちの幸福とどのようにかかわっているでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を黒板に張り出すか、オーバーヘッド・プロジェクターを使って生徒に見せ、生徒は声を出さずに読む。

「幸福こそ、わたしたちの存在する目的であり計画である。わたしたちがそこに通じる道に従っていけば、最後に到達できるものである。その道とは、徳、公正、忠実、聖さ、そして神のすべての戒めを守ることである。しかし、わたしたちは、まずすべての戒めを知らなければ、それを守ることはできない。また、すでに受けている戒めに従わないかぎり、すべての戒めを知ろうとすることも、今知っている以上のことを知ろうとすることもできない。」（Teachings of the Prophet Joseph Smith, ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕, 255 - 256）

生徒とともに教義と聖約38：32を読む。聖徒たちがオハイオへ移ったときに与えると主が約束された事柄にしるしをつける。「律法」という語についての相互参照箇所にもしるしをつける（脚注32③参照）。教義と聖約42章の前書きを読む。次のように質問する。「主は、誕生して間もない教会に、たくさんの律法をお与えになりました。なぜだと思えますか。」


以下のクイズを黒板に書く。生徒は左側の参照聖句をすばやく読む。そして右側の該当する項目を選び出す。正解を発表して、全員で話し合う。

- |                    |                                 |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 教義と聖約42：4 - 17  | A. 教会を治めるための主の律法は聖典の中に与えられている。  |
| 2. 教義と聖約42：18 - 29 | B. 福音を教えることに関する律法（特に宣教師として）。    |
| 3. 教義と聖約42：30 - 42 | C. 重大な罪に対して神権によって処置を行うことに関する律法。 |
| 4. 教義と聖約42：43 - 52 | D. 道徳に関する律法。                    |
| 5. 教義と聖約42：56 - 60 | E. 奉獻の律法。                       |
| 6. 教義と聖約42：74 - 93 | F. 病人の癒しに関する律法。                 |

(正解：1 - B, 2 - D, 3 - E, 4 - F, 5 - A, 6 - C)

教義と聖約130：20 - 21を読む。従順と祝福の関係について話し合う。生徒がクイズの中から律法の一つを選ぶ。その律法に従うとどんな祝福が得られるかについて生徒が説明する。

「いとやさし」(『賛美歌』, 70番)を歌うか、歌詞を読む。この賛美歌の何番の歌詞がいちばん好きか、それはなぜかを生徒が発表する。42章の「はじめに」から、ジョージ・アルバート・スミス長老の言葉を読む(74ページ)

 **教義と聖約42：12 - 17。わたしたちは御霊の導きのままに、聖典から福音の原則を教えるよう命じられている。信仰をもって祈り、福音の聖約と戒めに従うならば、教えるときに御霊が伴う。(20 - 25分)**

以下の質問をする。

- 教会員は、一生のうち、どんな場面で教える機会があるでしょうか(答えを黒板に書き出す)
- その中で、聖文を使って教える可能性が高いのはどれでしょうか。

聖文を使って教えた経験について生徒が話す。

以下の参照箇所と質問を黒板に書く。

教義と聖約42：12 - 17; 50：13 - 14, 17 - 18, 21 - 22

1. 教えるときには、何を基にしたらいでしょうか。
2. 福音を教えるときに、聖霊はどんな役割を果たされるでしょうか。
3. 福音を教えるときに、教師はどんな役割を果たすでしょうか。

聖句を調べて答えを探す。生徒は各自の答えと、答えが出ている聖句の場所を質問の下に書いてもよい。生徒が調べた事柄について話し合う。話し合いを展開するために以下の資料を活用してもよい。

1. 教えるときには、何を基にしたらいでしょうか。

「この福音を教えるときには、教えの源、また、よりどころとして、教会の標準聖典を使って教えなければなりません。同じように、この末日に民を導くよう神から召された人々の教えを使って教えなければなりません。」(J・ルーベン・クラーク・ジュニア, "The Charted Course of the Church in Education," *Charge to Religious Educators*, 第3版 [1994年], 7)

「わたしが得ている福音の知識は、ほとんど標準聖典から得たものばかりです。小川の水を飲むとしたら、わたしは牛の通り道などになっている場所の水でなく、地面からわき出ている所から直接飲みたいと思います。ほかの人々の解釈も確かに助けとなりますが、福音に関するかぎり主が教えられたことを直接聖典から学ぶべきです。」(マリオ

ン・G・ロムニー, 「わたしの身も心も聖文を喜ぶ」J・リチャード・クラーク『聖徒の道』1983年1月号, 23で引用)

2. 福音を教えるときに、聖霊はどんな役割を果たされるでしょうか。

「イエス・キリストの福音の中の一つの基本原則はこうです。『御霊は信仰の祈りによってあなたがたに与えられるであろう。そして、御霊を受けなければ、あなたがたは教えるてはならない。』(教義と聖約42：14) わたしの理解するところでは、この節に出てくる『ならない』という命令の言葉は、単に、御霊を受けなければうまく教えられないとか、学習効果があまりないとか言っているのではありません。そうではなくて、もっと強い調子で、神は人が御霊を受けずに教えることを禁じておられると言っているのです。『あなたがたは教えるてはならない』は、わたしには戒めに聞こえます。」(ジェフリー・R・ホランド, CES Videoconference, 1992年6月20日)

「教義は、聖霊が『それは真実である』と証してくださるときに力を得ます。わたしたちは、わたしたちが教える人々をできるかぎり備えます。彼らが、静かな細い声による導きを受けられるようにするためです。そのような導きを受けるには、少なくともある程度、イエス・キリストへの信仰が必要になります。また救い主の御心に従うための、少なくともある程度の謙虚さと意欲が必要です。」(ヘンリー・B・アイリング, 「教義を教える力」『リアホナ』1999年7月号, 87参照)

「教師および生徒は、レッスン中に御霊を求めるときである。深遠な真理が教えられ、生徒たちは興味深い話し合いを行うかもしれないが、御霊がおられなければ、これらの事柄が強く心に刻まれることはないであろう。……福音を教えるに当たって御霊がともにおられるとき、『聖霊の力が〔メッセージを〕人の子らの心に伝える』(2ニーファイ33：1)。(『教会指導手引き 第2部神権指導者・補助組織指導者』, 302)

3. 福音を教えるときに、教師はどんな役割を果たすでしょうか。

「人を徳へ導きたいと願うなら、あなた自身が徳高い生活をしなければなりません。わたしたちがどう生きているかが大きな影響を持つのです。それは、長々と説教するよりもはるかに力があります。人を高めたいと望むなら、まず自分自身を高めなければなりません。」(ゴードン・B・ヒンクレイ, 「邪悪に対抗する」『聖徒の道』1976年2月号, 66参照)



「教師には、自分の心から出てくる言葉を話してもらう必要があります。書物からの言葉ではありません。主に対する愛を自分の言葉で伝え、この大切な業に対する愛を自分の言葉で伝えるのです。そうすると、生徒の心が燃えるのです。」(ゴードン・B・ヒンクレイ、*Teachings of Gordon B. Hinckley*, 619 - 620)

「福音の教師はメッセージを伝えたり、教えを説いたりするだけで満足することは決してありません。優れた福音の教師の願いは、主の業を助けること、つまり、主の子らに永遠の命をもたらすことです。」(ダリン・H・オクス、「福音を教える」『リアホナ』2000年1月号、96参照)

これまで教えてもらった教師の中から、これらの原則に基づいて教えた教師について生徒が紹介する。その教え方のおかげで、生徒の学習がどのように変わったか聞く。

十二使徒定員会会員のダリン・H・オクス長老の以下の話を分かち合う。

「イエス・キリストの福音を理解するための第一の源は、当然のことながら聖文です。……

わたしたちは、次のことも覚えておかなければなりません。すなわち、聖文を読むときに、主の御霊<sup>みたま</sup>によって思いを照らされる必要があるということです。……聖文は聖霊の力の下で書かれ(あるいは語られ)ました。そのため、聖文を正しく理解するためには、御霊の影響の下で読まなければならないのです。」(“Studying the Scriptures,” プリガム・ヤング大学ハワイ校における講話、1986年3月14日、6、8。2テモテ3:16; 2ペテロ1:21も参照)

**教義と聖約42:30-42, 53-55, 70-73。奉獻の律法に従う生徒は、貧しい者を心に留め、持ち物を救い主の教会に奉獻することを聖約する。(40-45分)**

生徒の前で、6つの透明なコップにテープがマーカーで線を入れる。コップごとに線の高さを変える。1つのコップには線に合わせて、3つのコップには線より多く、2つのコップには線より少なく水を注ぐ。(着色した水を使ってもよい。)1つの水差しに、「監督の倉庫」と書いたラベルを張る。

貧しい人々の悲惨な状態に関する新聞記事を生徒に見せる。そのような人々への援助に関する記事でもよい。次のように質問する。「貧しい人々は、いつごろから地上にいたのでしょうか。」申命15:11; ルカ14:12-14; モルモン書ヤコブ2:17-19を読む。次のように質問する。「主は貧しい人々について何を教えてこられたのでしょうか。」生徒が理解しておくべきことは、あらゆる時代を通じて、主は貧しい人々を助けるよう命じてこられたということである。

用意しておいたコップを見せる。黒板に「奉獻」と書いて、生徒にその意味を聞く。一人の生徒が、生徒用学習ガイドから「奉獻」の定義を見つける(「聖句を理解する」教義と聖約42:30-

42参照)。それを黒板に書く。生徒全員が教義と聖約42:30を読む。「財産」とは何を意味するか聞く(土地、金銭、その他の持ち物)。

J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長が語った以下の言葉を紹介する。

「〔奉獻の律法〕に関するあらゆる啓示に含まれる基本的な原則は、わたしたちが持つすべてのものは主のものであるということです。したがって、主は、わたしたちが持っている財産の一部、またはすべてを要求することがおできになるのです。それらはすべて主のものだからです〔教義と聖約104:14-17, 54-57参照〕。」(Conference Report, 1942年10月, 55)

次のように質問する。「『わたしたちが持つすべてのものは主のものである』ことを心の片隅に置いてみると、貧しい人に対する態度はどう変わのでしょうか。」奉獻の律法について話し合う間、この原則を心に留めておくように勧める。

以下のように説明する。コップの線は様々な家族の必要と正しい望みを表している。水は各家族の富や財産を表している。「監督の倉庫」の水差しをこれらのコップの横に置く(水差しは空にしておく)。生徒は教義と聖約42:31を読む。次の質問をする。「奉獻の律法に従うとき、第一段階として、まず何を行うのでしょうか。」6つのコップに入っていた水をすべて水差しに注ぐ。

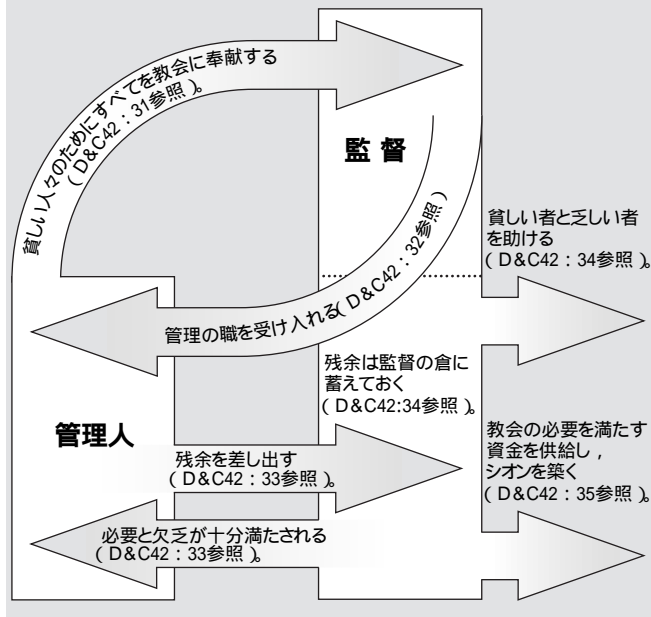
32節を読む。次の段階として行うことを見つめる。水差しから、それぞれのコップの線の高さまで水を注ぐ。次のように質問する。「だが、それぞれの家族がどれだけ受け取るかを決めるのでしょうか。」この決定は監督と各家族の長が行うことを説明する。預言者ジョセフ・スミスと大管長会がエドワード・パートリッジに与えた以下の勸告を紹介してもよい(エドワード・パートリッジは教会の最初の監督であった)。

「奉獻に関することをを行うときには、お互いに合意することが必要です。なぜならば、もし、すべての人がどれだけ所有するかを決める力を監督だけが持ち、すべての人が監督の判断に従わなければならないとしたら、監督は王よりも強い力を持つことになり、反対に、すべての人に自分はどれだけ必要かを決める力が与えられ、監督が各人の判断に従わなければならないとしたら、シオンは混乱し、監督が奴隷と化してしまうからです。」(*History of the Church*, 第1巻, 364)

水差しに残っている水を見せる。33-35節を読む。「残余」は何のために使われるか質問する。(貧しい者を助け、教会の建築資金とし、ほかの会員の管理の職に加える。)次のように質問する。「奉獻の律法は、教会にとってどんな祝福になっているのでしょうか。」

以下の図を黒板に書き写すか、オーバーヘッド・プロジェクターを使って生徒に見せる。希望する生徒が、図の各部分がどのように奉獻の律法の各部分を表しているかを説明する。

## 奉献の律法はどのように機能するか (教義と聖約42:30-35)



40 - 42節を読む。この律法に従う人に必要な資質について話し合う。以下の質問をする。

- 主は今日の<sup>こんにち</sup>教会員に、財政面で何を求めておられるでしょうか。
- 什分の一と断食献金は、どんなふうに貧しい人々を祝福しているでしょうか。
- 什分の一、断食献金、そして奉献の律法を比べてみてください。どんなところが似ているでしょうか。
- わたしたちは金銭のほかに、何を主に奉献することができるでしょうか。

わたしたちは初期の聖徒たちと同じ方法で奉献の律法に従うよう命じられてはいない。しかし、この律法は現在も有効であると説明する。以下の話を分かち合う。スパンサー・W・キンボール大管長はどのように教えた。

「主から求められるものは何でも祭壇の上に置き、犠牲としてささげなければなりません。そのためには、まず、『打ち砕かれた心と悔いる霊』をささげる必要があります。次いで、自分に託された努めと召しのために最善を尽くします。そして、自分の義務を理解し、それを完全に果たします。最後に、自分の時間と才能と財産を奉献して、指導者からの要請や、御霊の促しにこたえるのです。教会の中で、また、福祉に携わるときに、自分の能力のすべて、義にかなった望みのすべて、思いやりのすべてを、発揮することができます。ボランティアであろうと、父親、ホームティーチャー、監督、または、隣人であろうとかまいません。家庭訪問教師であろうと、母親、主婦、または、友人であろうとかまいません。自分のすべてをささげる機会は豊富にあるのです。与えるならば、『犠牲をささげるときに天の恵みがもたらされる』ことが分かります(『賛美歌』、

16番参照)(訳注 - 日本語の賛美歌では「天の恵みのいけにえと」となっている。ここでは、英語の賛美歌を直訳した)。そしてついには、自分がささげたものが、まったく犠牲ではなかったことを理解するのです。」「心の清い者となる」『聖徒の道』1978年10月号、130参照)

マリオン・G・ロムニー副管長はこのように語った。

「わたしの望みは、わたしたちすべてが奉献について理解することです。すなわち、わたしたちが主に奉献するもの(時間であろうと、労力であろうと、金銭であろうと)が、苦しんでいる人を助け、同時に、与える者と受ける者をともに聖めるという力を、どのように合わせ持っているかを理解していただきたいのです。」「教会福祉活動の目的」『聖徒の道』1977年10月号、529参照)

次のように質問する。「什分の一とささげ物を納め、教会で奉仕すると、与える者と受ける者両方の祝福になります。そのことをどう感じますか。」次のように言う。「主に奉仕するために、態度、時間、能力を奉献したいなら、どんな方法があるか提案してください。」

**教義と聖約42:43-44。病気のときには、神権の祝福と十分な医療処置を求めるよう、主は勧告しておられる。(5-10分)**

片手に聖別された油が入った容器、もう一つの手薬の入った瓶を持ち、それらをかざして見せる。次のように質問する。「病気のときには、どちらに頼るべきでしょうか。」この質問への主の答えを、ヤコブの手紙5:14-15;教義と聖約42:43-44から見つける。以下の質問について話し合う。

- 病人を癒すときに、「薬草と柔らかい食物」にはどんな価値があるでしょうか。
- 「薬草と柔らかい食物」と瓶の中の薬にはどんな関係があるでしょうか。

ブリガム・ヤング大管長の以下の言葉を分かち合う。

「病気にかかって、主に癒してくださいと願うくらいなら 病気が治るように必要なことをすべて行ってくださいと願うくらいなら むしろ、『主よ、わたしは耕すことも種をまくこともしませんが、小麦ととうもろこしを实らせてください』と言う方がよい。それが、救いをもたらす福音についての、わたしの理解です。つまり、知っている限りの治療法を用いることと、イエス・キリストの名によって『肉体が癒されるように、自分が用いた治療法を聖めてください』と天の御父に願うこととは、なんら矛盾しないと理解しているのです。……

けれども山を越える旅の途中で、……一人か二人が病気になり、治療手段が手に入らない場合はどうしたらよいでしょうか。わたしはこのように信じています。全能の主は……病気を癒していただくようお願いするのです。それは、わたしたちに与えられた特権です。つまり、なすすべがないときには、主にお願いするのです。そのようなときには、

主と私の僕たちがすべてをしてくださるのです。しかし、自分でできるときには、自分で行う義務があります。」(『歴代大管長の教え - プリガム・ヤング』, 278参照)

十二使徒定員会会員であり、医学博士であるラッセル・M・ネルソン長老はこのように述べた。

「霊的な力を応用するすばらしい方法のひとつは、神と人の両方の律法に従うことです。自由に行動してよいという概念と、自分の行動を抑制するという概念は、どちらも律法から出ているのです。

わたしは〔スペンサー・W・〕キンボール大管長から、そのことをとてもよく学ぶことができました。あるときキンボール大管長は手術が必要となりました。そして、わたしがその手術をすることになりました。そのとき、大管長はまず神権の祝福をするようにわたしに言いました。祝福の後でこう言われました。『では、今の祝福が成就するために、しなくてはならないことをしてください。』

大管長は知っていました。そしてわたしも知っていました。だれでも、たとえ神の預言者であっても、律法（訳注 - ここでは科学の法則の意）から逃れられないことを。」(「霊的な力を送るコード」『聖徒の道』1985年1月号, 32参照)

**教義と聖約42:44-52。愛する人の死を悲しむのは当然である。しかし、福音に従う者にとって、死は悲劇的なことではない。(15-20分)**

注意：最近愛する人の死を経験した生徒がいれば、その生徒の気持ちを十分に配慮する。この聖句ブロックを生徒と一緒に研究する際に、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』の93ページに記されている言葉が役立つ。

以下の質問をする。

- 皆さんの中で、最近、お葬式に出席した人がいますか。
- 亡くなった人の家族は、どんな気持ちだったと思いますか。

復活された救い主の絵を何枚か見せる。(『福音の視覚資料セット』233-235番など。) イエス・キリストの贖いによって、すべての人が再び生きることを証する。教義と聖約42:45を読む。なぜ、復活について知っているのに、亡くなった人のために涙を流すことが当然のことと言えるのかについて話し合う。ラッセル・M・ネルソン長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「愛する人を失ったとき、亡くなった人の年齢にかかわらず、わたしたちは悲しみを覚えます。悲嘆は、純粋な愛が最も深く表現されたものの一つです。」(「死の扉」『聖徒の道』1992年7月号, 77参照)

46-47節を読む。次の質問をする。「福音の聖約を守ってきた人にとって、なぜ死は『甘い』ものになるのだと思いますか。」48-52節を調べる。以下の質問をする。

- 「死に定められていない」とはどんな意味だと思いますか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』の93ページから、教義と聖約42:48の注解を参照)
- 信仰の力は、どのように人を祝福することができるでしょうか。
- 偉大な信仰を持つ人はなぜ、長年にわたって、病気やその他の苦しみに堪えられるのでしょうか。
- 主は常に病気を取り去ってくださるでしょうか。常に病気を取り去ってくださるわけではないとしたら、それはなぜでしょうか。

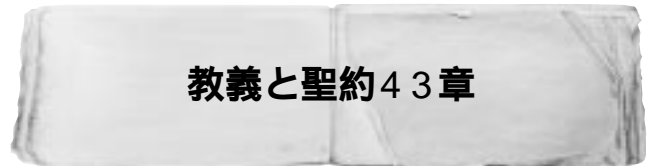
スペンサー・W・キンボール大管長が十二使徒定員会会長を務めていた時代に語った以下の言葉を紹介する。

「祈ればすべての病人が癒され、義人はすべて守られ、悪人が滅ぼされるなら、御父の計画はすべて無効になります。……信仰によって生活する必要がなくなるからです。……

……苦痛、落胆、死さえも、ほとんど、あるいは、まったくくないでしょう。そしてこのようなことがなければ、喜び、成功、復活、永遠の命もないでしょう。……

わたしたちは人間として、肉体的な苦痛や精神的な苦しみを追い出し、絶えることのない平安と安らぎを確実に得たいと望んでいます。しかし、もし扉を閉ざして悲しみや苦痛を締め出してしまうなら、それは、最も大切な友や恩人を締め出していると言えるかもしれません。苦しみには、人を聖徒にする力があります。なぜなら、苦しみから、人は忍耐すること、長く堪え忍ぶこと、自制することを学ぶからです。」(Faith Precedes the Miracle [1972年], 97-98)

教義と聖約42:43-52を復習する。最も印象に残った節にしるしをつける。その聖句が、自分にとってどんな助けとなるかについて、1段落の短い文章を書くように勧める。



## 教義と聖約43章

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスがオハイオ州カートランドに到着してから間もなく、幾つかの啓示が与えられた。43章はその啓示の一つである。新会員は教会の秩序や方法について混乱することが頻繁にあった。そのようなときにこの啓示が与えられたのである。初期の聖徒たちの中にはハイラム・ページ(教義と聖約28章参照)、ハブル夫人(教義と聖約43章参照)、シェーカー派(教義と聖約49章参照)が受けたと称する啓示に影響を受けた人たちがいた。いずれの場合も、主は真の預言者を通して民を正された。これらの章では、教会全体のために啓示を受けるよう任命された人は一人しかいないことが明確にされている。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会全体のために戒めと啓示を受けるのは大管長だけである。会員は信仰と祈りと行いによって預言者を支持する（教義と聖約43：1 - 7, 12 - 14参照。アモス3：7；教義と聖約1：38；28：2 - 8も参照）。
- 神の僕は御霊によって教え、悔い改めるようあらゆる人に警告しなければならない。主は裁きを行うために世においてになる。さらに主は、これに先だって、雷、稲妻、地震、雹を伴う嵐、飢饉によって人々に証をされる（教義と聖約43：7, 15 - 25参照。教義と聖約42：12 - 14；50：15 - 22；88：81 - 92も参照）。
- 教会の集会の目的は互いに教え、教化し合い、神の律法を学び、聖めを受けることである（教義と聖約43：8 - 10参照。モロナイ6：5 - 9；教義と聖約46：2も参照）。
- 福千年は平和と義の千年間であり、サタンはその間縛られる（教義と聖約43：18, 26 - 33参照。イザヤ65：17 - 25；1ニーファイ22：26も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 92 - 95。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 94 - 99。

## 教え方の提案

教義と聖約43：1 - 7, 12 - 14。教会全体のために戒めと啓示を受けるのは大管長だけである。会員は信仰と祈りと行いによって預言者を支持する。（20 - 25分）

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を黒板に書き写す。

「どんな教会員でも、またはどんな人でも、自分よりも高い権能を持つ人々のために啓示を受けることは、神の摂理に反しています。」( *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 21 )

これまで学んできた聖句の中で、この言葉に該当する聖句を思い出せるかどうかを聞く（教義と聖約28：1 - 7参照。教義と聖約42：11 - 13も参照）。生徒とともに『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（94 - 95）から、43章の歴史的背景を参照する。教義と聖約43：1 - 7, 12 - 14に目を通す。以下の質問の答えを探す。

- この啓示を受けた当時、主が任命された僕はだれだったでしょうか（2, 12節参照）。
- 教会に対する啓示はだれが受けるのでしょうか（3 - 5節参照）。
- 預言者はどんなふうには選ばれるのでしょうか（神によって指名され、聖任される。7節参照。「大管長会の継承」の『はじめに』（000ページ）も参照）。
- 「門から入って」とはどんな意味でしょうか。（預言者はひそかに選ばれるのではなく、公に支持される）
- 6節によれば、わたしたちはこの原則によって、どんな祝福を受けるでしょうか。

- 欺かれないことはなぜ大切でしょうか。
- 主から与えられた業を果たす預言者を支持するために、わたしたちは何ができるでしょうか（12 - 13節参照）。
- 今日、主はだれを御自分の僕として任命しておられるでしょうか。

ハロルド・B・リー大管長が十二使徒定員会会員時代に語った以下の言葉を分かち合う。

「主がすでに語られたことと異なった事柄が行われるとき、主は〔ほかのだれでもなく〕主の預言者にそれを知らされます。主は地上に御自身の預言者を持っておられます。それなのに、子らに何かを啓示するために間接的な方法をとられることがあるでしょうか。主が預言者を召しておられるのは、まさにこのためなのです。主はこの教会に何かを知らせるときは、大管長にお伝えになります。」(“ *The Place of the Living Prophet, Seer, and Revelator*”, *Charge to Religious Educators*, 第2版 [1982年], 109)

教義と聖約43：8 - 10。教会の集会の目的は互いに教え、教化し合い、神の律法を学び、聖めを受けることである。（5 - 10分）

最近出席して楽しかった教会の集会は何が生徒に聞く。次のように質問する。「なぜ楽しかったのでしょうか。」教義と聖約43：8 - 10を読む。以下の質問の答えを見つける。

- わたしたちが「集まる時」、主は何をするように言われているでしょうか（教義と聖約42：12 - 14も参照）。
- 教化するとはどんな意味でしょうか（人格や信仰を築き上げる、または強める）。
- 集会では何を教え、何を話し合うべきでしょうか。
- 集会で、さらによく教えを受け、教化されるために、わたしたちは何ができるでしょうか。
- 主はどんな祝福を約束しておられるでしょうか。
- 「聖められる」とはどんな意味でしょうか（神聖になる）。

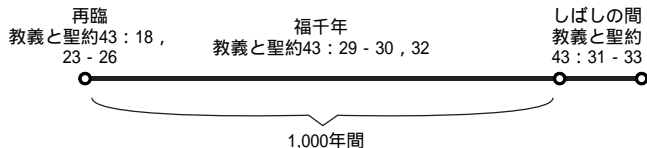
七十人定員会会員であるジーン・R・クック長老が語った以下の話を分かち合う。

「あるとき、一人の人がスペンサー・W・キンボール大管長に尋ねました。『聖餐会で退屈になったらどうしますか。』しばらく沈黙してからキンボール大管長はこう言いました。『わかりません。一度もそのような経験がないからです。』これは興味深い言葉ではないでしょうか。つまり、聖餐会で行われる事柄に加えて、キンボール大管長と主との間で、ほんとうの意味での集会が開かれていたのです。あなたがただ〔集会に〕出席しているとすれば、居心地が悪く、そこで語られていることのほとんどは記憶に残らないことでしょう。ほかの集会についても同じことが言えます。心を準備して集会に出席するならば、主から直接教えを受けることができるでしょう。」(“ *Learning Gospel Is Lifetime Pursuit*”, *Church News*, 1990年3月24日付, 10)

教義と聖約43：18，26 - 33。福千年は平和と義の千年間であり、サタンはその間縛られる。(15 - 20分)

新聞記事を幾つか切り抜いて、掲示する。以下の質問をする。

- あなたは新聞記者だとします。これらの記事の中で最も報道したいと思う記事はどれでしょうか。それはなぜですか。
- 最近の出来事の中で、最も興味を引かれたのはどんなことでしたか。それはなぜですか。
- 世界歴史の中で(過去、現在、または未来を含め)最も報道したいと思う出来事はどんなことですか。
- 教義と聖約43：29ではどんな出来事が預言されているでしょうか。



時の流れを示す線を黒板に描く。それぞれ3つの参照聖句の一つを生徒が読む。そして、その期間に起きる事柄を生徒が書き出す。見つけた事柄を生徒が発表する。

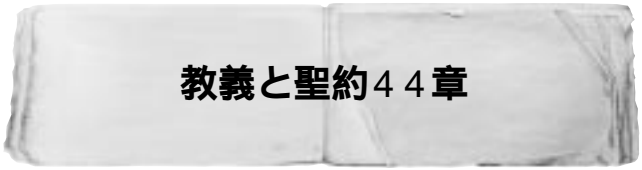
次のように質問する。「福千年の間、サタンはどのようにして縛られると思いますか。」大管長会で副管長を務めたジョージ・Q・キャノン副管長はこのように語った。

「サタンは神の力によって縛られることでしょう。サタンはまた、神の民がサタンに耳を傾けず、サタンに支配されないと決意することによって縛られるでしょう。」(Conference Report, 1897年10月, 65。教義と聖約45：55も参照)

キャノン副管長は、キリストの再臨とともに悪人が滅ぼされた後についても説明した。

「義人は残されるでしょう。彼らの義の故に、主は彼らに憐れみをかけられることでしょう。彼らは選択の自由を正しく行使することによって、主の祝福を自分たちに招くのです。それによってサタンは縛られるでしょう。」(Gospel Truth: Discourses and Writings of President George Q. Cannon, ジェレルド・L・ニューキスト編, 全2巻〔1957年〕, 1：87。1ニーファイ22：26も参照)

教義と聖約43：20 - 22と1ニーファイ22：16 - 17を生徒が比較する。イエス・キリストの再臨に備える最もよい方法について話し合う。主の再臨に個人的に備える方法を紙に書くように生徒に勧める。



## 教義と聖約44章

### はじめに

教会が組織されたとき、主は会員たちに大会を定期的を開くよう命じられた(教義と聖約20：61参照)。44章によって教会の第4回目の大会が召集された。これは1831年6月3日に開かれた、オハイオ州カートランドにおける最初の大会であった。スペンサー・W・キンボール大管長はこのように語った。「〔総〕大会の目的は、信仰を新たにし、証を強め、主が正式に任じ権限を与えられた僕たちから主の道を学ぶことである。」「わたしを主よ、主よ、と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか」『聖徒の道』1975年8月号、375参照)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 忠実な会員たちが指導者とともに大会に集まる時、主は彼らに御霊を注いでくださる(教義と聖約44：1 - 2参照)
- 主は、地の法律に従って教会を組織するよう命じられた(教義と聖約44：4 - 5参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 99 - 100。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 98 - 99。

### 教え方の提案

教義と聖約44：1 - 3。忠実な会員たちが指導者とともに大会に集まる時、主は彼らに御霊を注いでくださる。(10 - 15分)

『教義と聖約生徒用資料』から、カンファレンスセンターの写真を見る(教義と聖約44章の「はじめに」を参照)。教会員は6か月ごとに、この建物やほかの会場に集まり、中央幹部の話や聞くことを生徒に言う。以下の質問をする。

- 総大会はどんな雰囲気の中で行われていると思いますか。
- 総大会の話はわたしたちにとってなぜ大切なのでしょう。

総大会を視聴して、自分の生活に大きな影響を受けた経験を、一人か二人の生徒が話す。

黒板に「主はなぜ大会を開くよう命じておられるのだろうか」と書く。さらに、以下の参照箇所を書き出す。教義と聖約1：14；20：61 - 66；43：8；58：56；72：7；73：2；124：144。参照聖句を生徒の間で分ける。聖句を生徒が読む。質問の答えを見つめる。生徒は見つけた答えを黒板に書く。教義と聖約44：1 - 3を読む。主は教会に対してなぜ大会を開くよう望んでおられるか話し合う。次のように質問する。「これらの教えは、現在のワード大会、ステーク大会、総大会にどう当てはまるのでしょうか。」上記44章の「はじめに」から、スペンサー・W・キンボール大管長の話を紹介する。それが真実であることについて短く証する。

## 教義と聖約45章

### はじめに

教会はカートランドで発展を続けた。しかし、1831年の春、預言者ジョセフ・スミスは次のように記している。「人々が御業を研究したり、信仰を受け入れたりするのを妨げようとして、多くの偽りの記事や愚かな作り話が出版され、広まった。……偏見や悪事と闘わなければならない聖徒たちにとって喜ばしいことに、わたしは次の啓示を受けた。〔教義と聖約45章〕」(*History of the Church* 1:158)。45章は「もともと主がオリブ山で語られたものを……ジョセフ・スミスに繰り返し語られたものである。主はオリブ山で弟子たちと話し合われたときに、エルサレムに下る裁き、その滅亡、ユダヤ人の散乱、その後の集合、終わりの時の主の降臨について語られた。」(メルビン・J・バラード、*Conference Report*, 1920年10月, 80 - 81)

「教義と聖約45章は預言と約束を収めた偉大な啓示の一つである。この啓示に記録されていることから、一つの大きな結論を導き出すことができる。かつてイエス・キリストによって預言されたしるしが今までに成就され、また現在成就しており、さらに将来成就されるのである。そのことの十分な証拠がここにある。これらは皆、イエスが生きておられ、地を支配するために戻って来られることを証している。」(リン・G・オッテンとC・マックス・コールドウェル、*Sacred Truths of the Doctrine and Covenants*, 全2巻〔1982年 - 1983年〕, 1:220)

### 学び取るべき重要な福音の原則


- イエス・キリストは創造主であり、御父に対してわたしたちを弁護してくださいの御方である(教義と聖約45:1-8参照。1ヨハネ2:1; 2ニーファイ2:8-10; 教義と聖約38:4も参照)。
- 主はわたしたちに、主の前で住み、永遠の命を得る準備をさせるために、永遠の聖約を回復された(教義と聖約45:8-10参照。教義と聖約66:2も参照)。
- 義人は時のしるしを見極め、主の再臨に備える(教義と聖約45:11-69参照。1テサロニケ5:1-6; 教義と聖約29:9-21; モーセ7:60-66も参照)。
- 「異邦人の時」とは、ほとんどのユダヤ人が福音を拒み、異邦人に福音がもたらされる時期を言う(教義と聖約45:24-30参照)。
- 再臨の時、救い主はオリブ山でユダヤ人に現れ、彼らに御自身を受け入れる機会をお与えになる(教義と聖約45:43-53参照。ゼカリヤ13:6; 14:1-4も参照)。
- 再臨の時、亡くなっていた義人は復活して、救い主にまみえるために出てくる(教義と聖約45:45-46, 54参照。教義と聖約76:63-65; 88:96-99も参照)。
- 福千年の間、サタンは縛られ、子供たちは罪のないまま成長する。主は自ら人々の間で統治される(教義と聖約45:55-59参照。ミカ4:1-7; 1ニーファイ22:26; 信仰箇条1:10も参照)。

- 主は御自分の民をシオンに集められる。シオンは終わりの時の戦いと破滅から守られた、平和と安全の地である(教義と聖約45:64-71参照。教義と聖約29:1-11; 101:22-25; 115:5-6も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』, 99 - 107。

### 教え方の提案

 教義と聖約45:16-39を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』7、「心配することはない」(4:50)を使用することができる。教義と聖約45:56-57を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』8、「賢い者」(8:30)を使用することができる。(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照。)

**教義と聖約45:1-8。イエス・キリストは創造主であり、御父に対してわたしたちを弁護してくださいの御方である。(10-15分)**

2ニーファイ25:23を読む。以下の質問をする。

- わたしたちは何によって墮落の影響から救われるのでしょうか。
- 贖罪しよくざいが行われなかったとしても、昇栄できる人はいるでしょうか。

教義と聖約45:3-8を読む。以下の質問をする。

- 弁護者とは何でしょうか(他人のために嘆願する者)。
- イエス・キリストは、わたしたちの弁護者となるために何をされたのでしょうか。
- モーサヤ3:17を読んでください。この節によれば、イエス・キリスト以外にわたしたちの弁護者になれる人はいるでしょうか。
- イエスがわたしたちの弁護者とおなりになれるように、わたしたちは何をしなければならないでしょうか。

十二使徒定員委員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

「〔イエス・キリスト〕は天の法廷において人のために仲裁しよくざいに入られる。……イエスは、贖罪を成し遂げ、人々の罪の代価を支払われた。それはすべての人が悔い改めを条件として不従順な人に定められている裁きから逃れるようにするためである。……

……聖典においてこの律法を最も完全に要約した説明は〔教義と聖約45:3-5〕に記載されている。」(*The Promised Messiah: The First Coming of Christ*〔1978年〕, 329 - 330)

一人の生徒が3-5節を読む。その際、「あなたがた」「これらわたしの兄弟たち」「彼ら」の箇所に分の名前を入れる。次のように質問する。「最後の裁きにおいて、救い主があなたの側に立ってこのように言われるとします。あなたはどのように感じるでしょうか。」この質問に答えるための助けとして、3ニーファイ17:16-

17を読んで、話し合う。



**教義と聖約45：16 - 59。主は終わりの時の出来事を預言された。(30 - 35分)**

注意：この項を教える際に、『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』99 - 107ページから、多くの資料を活用することができる(付録286ページの「異邦人の時」も参照)。

教義と聖約45：16を読む。救い主がこの世で務めを果たしておられたときに弟子たちが主に尋ねた事柄を見つける。次のように質問する。「弟子たちはなぜこの質問をしたと思いますか。」

17節を読む。次のように質問する。「霊が肉体から離れている状態はなぜ一種の束縛なのでしょう。」十二使徒定員会会員を務めたメルビン・J・バラード長老の以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちはこの世を出て行き、この体を離れるとき、肉体がなければできない多くのことを行いたいと望むことでしょう。わたしたちは重大なハンディキャップを負うことになるのです。わたしたちは肉体を得たいと望み、早く肉体と再結合することを祈るでしょう。わたしたちはそのときになって、肉体を持つことがどれほど恵まれたことなのか分かるでしょう。」(Melvin J. Ballard...Crusader for Righteousness [1966年], 213)

黒板に見出しとして次のように書く。「エルサレムに関する預言(教義と聖約45：18 - 24)」。自分の聖典の中のこの聖句にしるしをつけるよう生徒に勧める。その際、余白に見出しの語句を書くよう勧める。この聖句を生徒が読む。主がエルサレムのユダヤ人に起きると言われた事柄を生徒が黒板に書き出す。次のように質問する。「これらのうち、すでに成就した預言があります。それはどれでしょうか。」大管長会で副管長を務めたアンソニー・W・アイブンス副管長が語った以下の話を分かち合う。

「紀元66年、……ローマに対する民衆の反乱が起きて、ユダヤ人はエルサレムを取り戻しました。

ユダヤ人を再び降伏させるために、ペスパシアヌスと息子のティトゥスの率いるローマ軍が派遣されました。それから約4年間、歴史上最も恐ろしく、また残忍な包囲攻撃が加えられたのでした。そのとてつもない恐怖の攻撃が終わると、ティトゥスはエルサレムを手に入れ、神殿に火を放ちました。そして市を崩壊させ、ユダヤ人を地の隅々へ追いやったのでした。……

……わたしたちの主キリストは、エルサレムの神殿が壊され、ユダヤ人が散らされることを宣言されました。その言葉は文字どおりに成就したのです。」(Conference Report, 1930年10月, 121)

次のように質問する。「この預言が成就したことは、将来の預言が成就することとどんな関係があるのでしょうか。」

黒板に見出しとして「異邦人の時(教義と聖約45：24 - 30)」と書く。この聖句にしるしをつける。生徒は余白に見出しの語句を書く。この聖句を読む。以下の質問をして、生徒が答えを黒板

に書き出す。

- 「異邦人の時」には何が起きるでしょうか。
- そのとき人々はどんな行動をとるでしょうか。
- 「異邦人の時」とはいつのことでしょうか(主として異邦人に福音が宣べ伝えられる時期)。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長時代に述べた以下の言葉を分かち合う。

「異邦人の時代は、<sup>あがな</sup>贖い主が亡くなられて間もなく始まった。ユダヤ人は程なくして福音を拒み、福音が異邦人にもたらされたからである。」(Church History and Modern Revelation, 全2巻 [1953年], 1:196)

スミス大管長は副管長時代に次のように教えた。

「ユダヤ人はあらゆる国民の間に散らされ、異邦人の時が満ちるまでエルサレムは異邦人によって踏みにじられると、イエスは言われました。(ルカ21：24) 教義と聖約45章24節から29節のユダヤ人に関する預言は文字どおり成就しました。異邦人によって踏みにじられたエルサレムは、これ以上踏みにじられることはありません。今後はユダヤ人のふるさとなるのです。彼らはパレスチナに戻りつつあります。わたしたちはこれによって、異邦人の時が終わりに近づいていることを知ることができます。」(Conference Report, 1966年4月, 13)

黒板に見出しとして「イエス・キリストの再臨と福千年(教義と聖約45：39 - 59)」と書く。前と同じように聖典にしるしをつける。この聖句を読む。生徒は再臨が以下の人々にどんな影響を与えるかを黒板に書き出す。(1)「眠って」いた聖徒たち、(2) 真理をあざ笑った者たち、あざけた者たち、(3) ユダヤ人、(4) 異教の諸国民、(5) サタン、(6) 自分の導き手として聖なる<sup>みたま</sup>御霊を受けた賢い者たち、そして(7) 子供たち。

生徒はイエス・キリストの再臨に備えるために自分ができる事柄を紙に書き出す。

**教義と聖約45：11 - 69。義人は時のしるしを見極め、主の再臨に備える。(40 - 45分)**

レッスンの前に、一人の生徒に10人のおとめのたとえを短く紹介する準備をしておくよう頼んでおく(マタイ25：1 - 13参照)。

生徒用学習ガイドから、10人のおとめの絵を見せる(教義と聖約45章の「聖句を研究する」参照)。次のように質問する。「この絵は聖典のどの物語を描いたもののでしょうか。」10人のおとめのたとえを準備してきた生徒が発表する。発表に合わせて、このたとえの登場人物や物を生徒が黒板に書き出す。(おとめ、思慮深いおとめたち、思慮の浅いおとめたち、あかり、油、花婿など) それぞれは何を表しているかを生徒に聞く(たとえの説明については、『イエスと使徒たちの生涯と教え [宗教211 - 212] 講座用資料』174ページから、マタイ25：1 - 13の注解を参照)。教義と聖約45：56 - 57で主がこのたとえについて語られたことを読む。以下の質問をする。

- わたしたちはどのようにして真理を受けられることができるでしょうか。
- 「自分の導き手として聖なる御霊を受け<sup>みたま</sup>るには何をする必要がありますでしょうか(教義と聖約76:116も参照)。
- 義人はどのようにして再臨の日に堪えるのでしょうか。

37 - 40節を読む。次のように質問する。「再臨に備えるとはどういう意味でしょうか。」

以下の表を配布資料として生徒に配る。右の二つの回答欄は空白にしておく。全員で、聖句に説明されているしるしと不思議を中央の欄に書き入れる。右の欄には、それぞれのしるしの成就が過去か、現在か、あるいは将来かのいずれであるかを生徒が判断して記入する。

節	しるしまたは不思議	成就
11 - 14	エノクの町が戻って来る(モーセ7:62 - 64も参照)。	
16, 44	イエス・キリストは栄光をもって天の雲の中を来られる。	
17	散らされたイスラエルは回復される。	
18 - 24	エルサレムの神殿が破壊され、ユダヤ人は散乱する。	
25	異邦人の時の後にユダヤ人は集められる。	
26, 33, 69	全地で戦争が起きる。	
27	世界中に憎しみと悪事があふれる。	
28	福音は異邦人の時に回復される。	
29	異邦人は福音を受け入れない。	
31	荒廃をもたらす病気が地を覆う。	
32	主は義人を懲らしめから守られる。	
33	地震と荒廃が起きる。	
41	火と、立ち込める煙がある。	
42	太陽は暗くなり、月は血に変わり、星は天から落ちる。	
43	ユダヤ人の残りの者はエルサレムに集められる。	
45, 54	義人は復活する(教義と聖約88:96 - 99も参照)。	
48	イエスがオリブ山の上に足を置くと、山は二つに裂ける。	
50	悪人は火で焼き尽くされる。	
64 - 71	義人はあらゆる国々からシオンに集められる。	
67 - 69	シオンは戦争をしない唯一の民である。	

生徒は1テサロニケ5:1 - 6; 教義と聖約45:37 - 40を読む。以下の質問をする。

- これらのうちどの節が、再臨の前にした義人たちの気持ちを表しているでしょうか。

- 悪人の気持ちを表しているのはどの節でしょうか。
- これら二つのグループの気持ちは、なぜこれほど異なるのでしょうか。

イエス・キリストの再臨について生徒がどのように感じているかを聞く。再臨についてジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長時代に述べた以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちはその時が来るのを希望し、祈っている。キリストが来られるとき、義人は喜ぶであろう。なぜなら地上に平和が訪れ、人々の間に正義が行き渡るからである。そして平和、喜び、幸福が見られるようになる。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編、全3巻、第3巻、12参照)

**教義と聖約45:64 - 71。主は御自分の民をシオンに集められる。シオンは終わりの時の戦いと破滅から守られた、平和と安全の地である。(15 - 20分)**

1999年8月11日、教会本部に近いユタ州ソルトレーク・シティーの中心部を竜巻が襲ったことを生徒に言う。多くの人々が、割れた窓ガラスやほかの破片が飛んできてけがをした。ユタ州で竜巻が発生することはまれで、ほとんどの人が危険を回避するすべを知らなかった。竜巻がよく起きる地域の家やビルでは、避難するときのために地下室や補強された部屋を用意している。

悪があふれる世界に、主は義人が避難できる場所を用意しておられる。自分にとっての世の誘惑から避難するための場所を生徒が挙げる。次のように質問する。「あなたにとって、その場所は何で安全なのでしょうか。」生徒は教義と聖約45:32を読む。次のように質問する。「世の中から避難するための場所には、ほかにどんなところがあるのでしょうか。」エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を分かち合う。「聖なる男女は聖なる場所に立つ。聖なる場所とは、神殿、礼拝堂、家庭、シオンのステークなどのことである。」(Come unto Christ [1983年], 115)

教義と聖約45:62 - 71を読む。二つのリストを作る。一つのリストには、これらの節から、終わりの時の世の状態を表している語句を書き出す。別のリストには、シオンの状態を表している語句を書き出す。二つのリストを比較して、以下の質問をする。

- シオンは竜巻からの避難場所に似ています。なぜでしょうか。
- これらの節の約束は、32節にある「聖なる場所」とどんな関係があるのでしょうか。
- これらの節に説明されているシオンに住みたいと思いますか。それはなぜですか。

一人の生徒がブリガム・ヤング大管長の以下の言葉を声に出して読む。

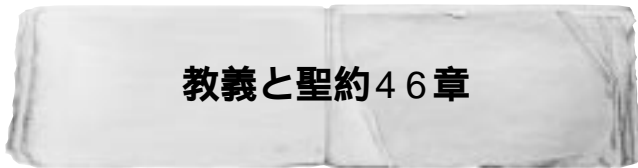
「シオンはどこにあるのでしょうか。シオンは神の教会が組織されている所にあります。そして霊的な意味においては、各人の心の中に存在しています。皆さんがいつもシオンの精神を享受した生活ができるようにと望んでいます。」(『歴代大管長の教え ブリガム・ヤング』, 123)



シオンの精神の意味について質問する。教義と聖約82：14 - 19；97：21；モーセ7：18を読む。シオンの精神を意味する言葉を生徒が黒板に書き出す。ロバート・D・ヘイルズ長老が管理監督会時代に語った以下の言葉を紹介する。

「この約束されたシオンは、手を少し伸ばせばいつでも届くところにあるようです。わたしたちはシオンを目指して進む過程で、シオンに住んで得られるのと同じ徳が得られることを理解する必要があります。過程は結果と同じなのです。わたしたちがシオンに近づくのも遠ざかるのも、毎日の行いや家族生活にかかっています。正直に什分の一を納め、惜しみなく断食献金を払っているかどうか、また、わたしたちが奉仕の機会をどう活かし、勤勉に奉仕するかによるのです。この世にいる間にこの町を見ることができなかった多くの人々は、シオンを目指して進む途中で完全な者になっていくのです。」（「わたしたちの生活を導く福祉の原則 人の幸福のための永遠の計画」『聖徒の道』1986年7月号，31参照）

家庭やワード、ステークを世の中からの避難場所、平和と安全の場所とするために、これらの原則をどのように使うことができるかについて意見を分かち合うよう生徒に勧める。



## はじめに

初期の教会指導者は教会の集會を指導する方法を学ぶ必要があった。主の啓示により、御霊の導きの必要性と、御霊の賜物から得られる祝福が明らかにされた。使徒パウロは「大いなる賜物を得ようと熱心に努めなさい」と教えた（1コリント12：31）。ウィルフォード・ウッドラフ大管長は、十二使徒定員会会員時代に、御霊の賜物によってもたらされる祝福について、次のように語った。「自分に与えられた聖なる御霊の賜物を重んじなければならぬことを、非常に深く悟りました。……もし全能者から授けられている賜物の価値が分かるならば、絶対に悪を行わないでしょう。また、行くべきではない所へは行かないでしょう。そのようなことをする代わりに、神の王国の建設に専念することでしょう。」（*Journal of Discourses*，第9巻，160 - 161）

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会の集會は御霊に導かれるままに執り行うべきである。真理を求める人は皆、公の集會に招かれるべきである（教義と聖約46：1 - 6参照。モロナイ6：5 - 6，9も参照）。
- 「熱心に最善の賜物を求め、それらが何のために与えられているのかを常に覚えて」おかなければならない（教義と聖約46：8）。これらの賜物は神の業を成し遂げるために与えられている。また、人々に仕え、欺かれないようにするためでもある（教義と聖約46：7 - 29参照。1コリント12：1 - 13，31；

モロナイ10：8 - 18も参照）。

- 監督とその他の教会指導者は賜物が与えられていて、どれが神からの霊的な賜物が判断することができる（教義と聖約46：7，27 - 29参照）。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』，107 - 111。

## 教え方の提案

教義と聖約46：1 - 6。教会の集會は御霊に導かれるままに執り行うべきである。真理を求める人は皆、公の集會に招かれるべきである。（10 - 15分）

教会の集會で行われていることを生徒が幾つか挙げる。それらを黒板に書き出す。（答えとして、祈り、賛美歌やほかの曲、お話、儀式などがある。）教義と聖約46：1 - 2を読む。なぜ教会でこれらのことを行っているのか調べる。2節とモロナイ6：9を生徒が比較する。黒板に書かれていない教会の活動を生徒が挙げる。

（もし書かれていなければ）黒板に「聖餐」と書き加える。教義と聖約46：4を読む。聖餐に関する指示を探す。それを3ニーファイ18：28 - 29と比較する。スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「パンと水を取る度に、感じてほしいことがあります。自分を再び奉献し、献身するという気持ちです。戒めに従っていないとき、罪を犯しているとき、怒りや憎しみや悪い感情を心に抱いているときは、聖餐を取るべきかどうかを真剣に考えなければなりません。……聖餐は非常に神聖なもののなのです。……わたしたちは、ふさわしくない人々が〔聖餐を〕取ることが多いのではないかと心配しています。」（*The Teachings of Spencer W. Kimball*，エドワード・L・キンボール編〔1982年〕，225）

一人の生徒が教会員ではない人を演じる。その人が教会に初めて出席したと仮定する。役を演じている生徒に以下の質問をする。

- 初めて足を踏み入れたとき、どんなことを考えましたか。
- 教会で見たり聞いたりしたことの中で、珍しいと思ったものは何ですか。
- 居心地よく、歓迎されていると感じてほしいのですが、どんなことをすればいいですか。

別の生徒が教会にあまり活発でない会員を演じる。同じ質問をする。答えがどのように異なると思われるかを全員で考える。

教義と聖約46：3 - 6；3ニーファイ18：28 - 32を読む。次のように質問する。「教会の集會には、教会員でない人や教会にあまり活発でない会員もやって来ます。そのような人々に対して、どう接したらいいでしょうか。」ハワード・W・ハンター大管長の以下の言葉を紹介する。「わたしたちが互いにもっと親切にし、もっと礼儀を尽くし、もっと謙遜で、忍耐強く、赦し合えるように祈っています。……」（「ハワード・W・ハンター大管長、空を飛ぶ鷲のように」『聖徒の道』1994年9月号，2）

教義と聖約46：7 - 29。「熱心に最善の賜物を求め、それらが何のために与えられているのかを常に覚えて」おこななければならない。これらの賜物は神の業を成し遂げるために与えられている。また、人々に仕え、欺かれないようにするためでもある。(35 - 40分)

レッスンに先立って、紙に「教義と聖約46：11 - 12」と大きく書く。その紙を14枚に切って、ジグソーパズルを作る。14枚の紙片の裏に13 - 25, 27節から1節ずつ聖句の場所を記しておく。

次のように質問する。「主が与えられた戒めの中で何がいちばん難しいと思いますか。」何人かの答えを聞く。マタイ5：48を生徒が読む。それから、完全になることの難しさについて話し合う。ジョージ・Q・キャノン副管長の以下の言葉を紹介する。

「わたしたちの中に、だれか不完全な人がいるなら、その人には、その人を完全な者にしてくれる賜物を祈り求める義務があります。わたしには不完全なところがあるでしょうか。たくさんあります。では、わたしの義務は何でしょうか。これらの不完全さを正す賜物を与えてくださるよう神に祈ることです。」(Gospel Truth, 第1巻, 196)

次のように質問する。「わたしたちが完全になれるように主は何を与えておられるでしょうか。」

生徒にパズルの紙片を配る。生徒は自分の紙の裏にある46章の節を参照する。その節にはどんな御霊の賜物が記されているか生徒が発表する。生徒はその賜物が役立つ状況を挙げる。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』の108 - 110ページから、御霊の賜物の説明を活用する。)紙片を裏返して、全員でジグソーパズルを組み立てる。それから、その聖句(教義と聖約46：11 - 12)を読む。以下の質問をする。

- これらの節と13 - 25節には、どんな関係があるでしょうか。
- 主の教会において、すべての会員が大切なのはなぜでしょうか。
- これらの節に御霊の賜物のすべてが含まれていると思いますか。ブルース・R・マッコスキー長老の以下の言葉を分かち合う。

「霊的な賜物は無数にあり、その種類は無限です。聖文に述べてある賜物は、神の恵みを表すものにすぎません。慈悲深い神は、神を愛し仕える者に、尽きることのない恵みを賜物という形でお与えになるのです。」(A New Witness for the Articles of Faith [1985年], 371)

十二使徒定員会会員を務めたマービン・J・アシュトン長老はこのように語った。

「必ずしも目立つものではありませんが、非常に大切な賜物を幾つか取りあげてお話ししてみたいと思います。……質問をするという賜物、人の話によく耳を傾けるという賜物、静かな細い声に聞き従うという賜物、涙を流すという賜物、争いを避けるという賜物、人当たりがよいという賜物、空しい言葉を繰り返さないという賜物、義にか

なうものを追い求めるという賜物、人を裁かないという賜物、神に導きを求めるという賜物、弟子となるという賜物、人を気遣うという賜物、思い巡らす力という賜物、祈りをささげるという賜物、力強い証を述べるという賜物、聖霊を受けるという賜物など、様々な賜物があります。」(「多くの賜物」『聖徒の道』1988年1月号, 20参照)

主は祝福師の祝福を通じて霊的な賜物を明らかにして下さることを生徒に言う。わたしたちが持っている霊の賜物の程度は信仰と義に比例することを生徒に言う。生徒は以下の質問の答えを紙に書く。

- 霊の賜物が祝福として与えられたら、何をすべきだろうか(32節参照)。
- 自分はどんな御霊の賜物を受けているだろうか。
- 自分はどんな御霊の賜物を受けたいだろうか。
- それらの賜物を受けるにはどうすればよいだろうか(モロナイ7：48参照)。

教義と聖約46：7, 27 - 29。監督とその他の教会指導者は賜物が与えられていて、どれが神からの霊的な賜物が判断することができる。(15 - 20分)

以下の表を黒板に書き写す。右の欄は空白にしておく。

キリストの福音	サタンの欺き
愛	情欲
家族	同性愛の関係
謙遜	独り善がり
信仰	懐疑的、疑い
尽きることのない喜びと幸福	一時的な快樂
悔い改め	罪など存在しないから悔い改める必要はないという考え

十二使徒定員会会員時代にマリオン・G・ロムニー長老が語った以下の話を紹介する。

「聖霊の力によらない超自然的な現象が存在するようです。実際、聖霊の力によらないものはたくさんあります。今日の世の中は、欺きがあふれています。過去においても常にそうでした。……これらの欺きのあるものは幼稚であり、簡単に見破ることができます。しかし、本物の御霊の現れに非常によく似たものもあります。その結果、人々は混乱して、欺かれるのです。」(Conference Report, 1956年4月, 70)

黒板に書いてある福音の原則一つ一つについて、サタンの欺きを生徒が挙げる。それを表に記入する。教義と聖約46：7を読む。この節で、主は、あるものがサタンに欺かれないための助けとなると教えておられる。聖文から、その「あるもの」を探す(御霊)。8 - 10, 30 - 33節を読む。御霊の賜物に関する原則を生徒が挙げ

る。その原則について話し合う。また、この原則が生活においてどれほど大切かについて話し合う。

27 - 29節を読む。神からの賜物とそうでないものを見分ける力はだれに与えられているかを探す。十二使徒定員会会員を務めたエイブラハム・O・ウッドラフ長老による以下の話を紹介する。

「聖徒は神の御霊に導かれるべきです。また、集会を管理する人々に従うべきです。イスラエルの一般判士である監督がある賜物の使用を制止すれば、そのとおりに従う義務があります。監督は識別の賜物を持つ権利があります。ですから、監督はこれらの賜物が神のものかどうか分かるのです。それらが神のものでなければ、聖徒の間に存在させてはなりません。」(Conference Report, 1901年4月, 12)



## はじめに

47章で、主はジョン・ホイットマーを「正式な歴史を書き記して残す」ために召された(1節)。その目的は「教会の記録と歴史を絶えず(慰め主によって)書き残すため」であった(3-4節。教義と聖約21:1も参照)。スペンサー・W・キンボール大管長は同様の勧告をわたしたちに与えている。

「わたしはこの教会の全会員に強く勧めたいと思います。自分の家族の歴史に深い関心を寄せてください。両親や祖父母に日記を書くように励ましてください。家族の中のだれ一人として、子供や孫や子孫に、自分の伝記を残さずに永遠の世界に行くことのないようにしてください。これは義務であり、責任です。」(「生命と救いに至るまことの道」『聖徒の道』1978年10月号, 3参照)

記録を書き残すことの祝福についてキンボール大管長はこのように説明した。

「覚えの書を記す人々の中には、日常生活の中で主を忘れない人々が多いようです。日記は自分の受けている祝福を数え上げる手段であり、その祝福を子孫に伝える手段です。」(「予言者の声を聴け」『聖徒の道』1978年10月号, 123)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会はその歴史を書き残すよう命じられている。また、その命令に従うときに聖霊の助けが約束されている。個人の歴史を記録するときにも同じ御霊を持つことができる(教義と聖約47章参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 111 - 112。

## 教え方の提案

**教義と聖約47章。**教会はその歴史を書き残すよう命じられている。また、その命令に従うときに聖霊の助けが約束されている。個人の歴史を記録するときにも同じ御霊を持つことができる。(15 - 20分)

教会の歴史から靈感あふれる出来事の一つを紹介する。(『時満ちる時代の教会歴史』から以下の例を参照する。見ず知らずの人が畑を耕してくれた出来事, 56。三人の証人, 59 - 60。フィッシンググ川におけるシオンの陣営, 147 - 148。リッチモンドの監獄におけるジョセフ・スミス, 206。モントロースの奇跡, 217 - 219。ヒュー・B・ブラウンの英国への伝道, 472 - 474)以下の質問をする。

- この出来事で、何が最も感動的でしたか。
- この出来事を記憶しておくのは、どんな価値があるでしょうか。
- これらの経験について現在知ることができるのは、何のおかげでしょうか。
- もしだれも記録をつけていなかったら、教会の歴史はどうなっていたでしょうか。

教義と聖約47章を読む。ジョン・ホイットマーが何をしように召されたかを調べる。記録を書き残すことは教会にとってなぜ大切だと思うかを生徒に聞く。また、教会員が自分の歴史を書き残すことがなぜ大切なのかについても聞く(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』111 - 112ページから、教義と聖約47章の注解参照。上記「はじめに」のキンボール大管長の言葉も参照)。

教会歴史記録者は、教会で起きているあらゆる事柄を、自分一人で見たり記録したりすることはできないと説明する。一般的な意味において、わたしたち自身の経験は教会歴史の一部であるといえる。そしてそれには、将来の世代に影響を与える力がある。少数の生徒に、自身の経験から靈感あふれる出来事を分かち合うよう勧める。またそれらを日記に記録するよう励ます。



## はじめに

1829年4月、主は預言者ジョセフ・スミスに「シオンの大義を……確立する」よう命じられた(教義と聖約6:6)。その後の啓示にも一般的な意味におけるシオンについて言及されている(教義と聖約11:6; 12:6; 14:6; 21:7-8; 24:7参照)。しかし、1830年7月、主は一つの場所としてのシオンについて語られた預言者の妻であるエマは「シオンで受け継ぎを得る」という約束を受けている(教義と聖約25:2)。1830年12月、ニューヨーク地域に住んでいた聖徒たちは、オハイオに集合するよう命じられた(教義と聖約37:3参照)が、これは敵の手から逃れ、神の律法を受け、高い所から力を授けられるためであった(教義と聖約38:31-32参照)。一部の聖徒は、オハイオこそ啓示で告げられたシオンであると誤解してしまった。200人を超える東部の聖徒が、従順に財産を売り払って、オハイオへ行く準備をした。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は末日聖徒に対して、持ち物を貧しい人たちと分かち合うよう命じられた（教義と聖約48：1 - 3参照。モーサヤ4：26も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 95 - 99。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 112 - 113。

## 教え方の提案

**教義と聖約48章。主は末日聖徒に対して、持ち物を貧しい人たちと分かち合うよう命じられた。**（15 - 20分）

生徒に次のように言う。「遠い地に住む聖徒たちが自然災害によって家を失ったと仮定します。教会の指導者は、あなたの監督（または支部長）にこう要請しました。『家を失った家族のうちの数家族を、数か月間、ワードの会員たちの家に住まわせてあげてください。』」

- あなたやワードの家族にとって、これはどんな問題になるでしょうか。また、どんなことを心配するでしょうか。
- あなたの地域に移ってくる人たちは、どんなことを心配しながらやって来ると思えますか。また、どんな気持ちだと思いますか。

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（112ページ）から、48章の歴史的背景を読む。生徒たちが以下のことを理解できるようにする。すなわち、オハイオに移って住もうとしていた聖徒たちは、先ほど話し合った例の中で生徒が心配したことと、恐らく同じようなことを心配していたと思われる。教義と聖約48章を読む。これらの聖徒に与えられた主の指示を見つける。以下の質問をする。

- この啓示は今日のわたしたちにどのように当てはまるでしょうか。
- 教会でほかの人たちと何かを分かち合うために、どんな方法があるでしょうか。
- オハイオでの集合が一時的なものであることは、どの語句が示しているでしょうか。
- 聖徒たちは将来、どのようにしてシオンの町を築くのでしょうか。
- だれが聖徒の集合を指揮するのでしょうか。

一人の生徒が、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（113ページ）の教義と聖約48：5 - 6の注解から、ハロルド・B・リー大管長の言葉を読む。次の質問について話し合う。「この世のものを喜んで分かち合う気持ちを持っていれば、シオンの町を築くために、どんな準備となるでしょうか。」

## 教義と聖約49章

## はじめに

グレン・L・ペイス長老は管理監督会の一員を務めていた時代に次のように語った。

「会員の中には、だれに対して従順になるべきか、またいつ従順になるべきかを自分で選択する人がいます。預言者はたとえて言うならば、パイキング料理のようにいろいろな種類の真理をわたしたちの前に広げ、好きなものを取っていいと言っているわけではありません。ところが、ある会員たちは批判的になり、預言者は教えのメニューを変えるべきであると提案することがあります。預言者は人々がどんな意見を持っているかを知るために世論調査をするわけではありません。ただ、主の御心をわたしたちに伝えるのです。……」

1831年当時の改宗者の中には、自分たちが前に信じていた教えをこの教会に持ち込もうとする人もいました。今日わたしたちが抱えている問題は、社会の風潮……になびき、教会の立場をそれに合わせて変えようとする会員がいることです。……

わたしたちは真理のすべてを受け入れ、『神の武具で身を固め』（エペソ6：11）、王国建設の業に励まなければなりません。わたしたちは皆、『時満ちる神権時代の王国建設に、いくらかでも貢献しているだろうか』と自問してもよいのではないのでしょうか。（「預言者に従う」『聖徒の道』1989年7月号、29参照）

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 「まことの教えを理解すれば、人の態度や行動は変わります。」（ボイド・K・パッカー、「幼き子ら」『聖徒の道』1987年1月号、18）
- あらゆる人は福音の原則と儀式に従うことにより、イエス・キリストの贖いを通して罪から贖われることが可能である（教義と聖約49：5、8、11 - 14、26参照。2ニーファイ25：23；信仰箇条1：3 - 4も参照）。
- 人も天使も再臨の日時を知らない。しかし、主はわたしたちが備えられるようにしるしを明らかにしておられる（教義と聖約49：6 - 7、22 - 25参照。ジョセフ・スミス 歴史1：38 - 41も参照）。
- 結婚は神によって定められ、地上における神の計画を成就するためになくてはならないものである（教義と聖約49：15 - 17参照。マタイ19：5 - 6も参照）。
- 動物は食物として、また着る物として人が使うように定められている。必要がないのに動物を殺すと、責任を問われる（教義と聖約49：18 - 21参照。創世9：3；ジョセフ・スミス訳創世9：10 - 11；教義と聖約89：12 - 15も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 92 - 95。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 113 - 116。

## 教え方の提案

**教義と聖約49章。まことの教えを理解すれば、人の態度や行動は変わる。**(20 - 25分)

次の言葉をどう思うかを生徒に聞く。「人はその信じるところに従って行動し、生きる。」ルーシー・スミスと氷が割れた物語か、預言者ジョセフ・スミスがエリサ・ジョンソンを癒した物語を紹介する(『時満ちる時代の教会歴史』, 91 - 94ページ参照)。これらの出来事の中で、ルーシー・スミスやエリサ・ジョンソンの信仰がどんな影響を持っていたかについて生徒に聞く。

教義と聖約49章の前書きを読む。シェーカー教徒が信じていた5つの事柄にしるしをつける。黒板に見出しとして「シェーカー教徒の信条」と書き、その下にそれらを書き出す。

- 再臨はすでに起きた。
- キリストはアン・リーという女性の姿で再臨された。
- パプテスマは必須のものではない。
- 豚肉は食べるべきではない。
- 独身生活は結婚生活よりも尊い。

もし黒板に書き出された原則を信じているとしたら、現在の生活がどんなに違っていたかについて生徒と話し合う。

生徒が二人一組になって、シェーカー教徒の偽りの信条を正している教えを教義と聖約49章から見つける。黒板の「シェーカー教徒の信条」の横に見出しとして「主が言われたこと」と書いて、生徒が見つけた事柄を書き出す。

- 再臨は「近づいている」(6節, 7, 23 - 24節参照)
- イエスは女の姿や地上を旅する男の姿では来られない(22節参照)
- 主はパプテスマを受けるよう命じておられる(13 - 14節参照)
- 肉を食べてはならないとして禁じる者は、神から聖任されていない(18 - 19節参照)
- 結婚を禁じる者は、神から聖任されていない(15 - 16節参照)

これらの節を、教義と聖約49章の前書きに記されたシェーカー教徒の信条の横に記入するよう生徒に勧める。偽りの信条一つ一つが正しい教義によってどのように訂正されたかを、生徒が理解できるようにする。

次のように質問する。「かつてシェーカー教徒であって、改宗したばかりのリーマン・コブレーにとって、この啓示はどんな助けになったでしょうか。」正しいと確信している教義を生徒が挙げる。さらに、それらの教義からどんな影響を受けているかについて生徒が述べる。次のように質問する。「そのような教義を信じているといたのでは、生活はどんなふうになるでしょうか。」

**教義と聖約49：1 - 14。あらゆる人は福音の原則と儀式に従うことにより、イエス・キリストの贖いを通して罪から贖われることが可能である。**(15 - 20分)

「レシピの一部を無視して作ったパンがあります。食べたいと思いますか」と生徒に聞く。(実際に、一部の材料を入れずに作ったパンがクッキーを味わわせてもよい。)  
「大学の医学部で一部の科目しか終了していない人がいます。この人に手術をしてもらいたいと思いますか」と聞く。または、「航空学校で一部の科目しか終了していない人がいます。この人の操縦する飛行機に乗りたいたいと思いますか」と聞く。以下の質問をする。

- これらはどんな結果を招くでしょうか。
- これらの結果のうち、人生に最も重大な影響を及ぼすのはどれでしょうか。
- 指示されていることに完全に従うこと、また、必修科目をすべて学ぶことは、悪い結果を免れるために、どう役立つでしょうか。

教義と聖約49：1 - 2を読む。以下の質問について話し合う。

- ある人々は真理の一部しか知りたがりません。なぜでしょうか。
- 福音の一部だけに従って生活していると、どんな結果を招くと思いますか。

5 - 14節を読む。わたしたちが主の再臨のために準備しなければならない事柄を見つける。

49章の「はじめに」から、グレン・L・ベイス長老の話を紹介する。救い主の教えに完全に従うことの大切さについて話し合う。

**教義と聖約49：6 - 7, 22 - 25。人も天使も再臨の日時を知らない。しかし、主はわたしたちが備えられるようにしるしを明らかにしておられる。**(15 - 20分)

いくらかの現金を見せて、以下の質問をする。

- なぜ偽札を造る人がいるのでしょうか。
- 偽札を造って、使うと、どんな悪い結果になるのでしょうか。

50章の「はじめに」から、ジョセフ・F・スミス大管長の言葉を一人の生徒が読むことを検討する。(注意：この言葉は教義と聖約50：1 - 34の「教え方の提案」でも使用する。) 次のように質問する。「サタンはなぜ偽物を作るのでしょうか。」サタンが今日の人々を欺くために用いている方法を生徒が挙げる。教義と聖約49章の前書きに記されているシェーカー教徒の信条を復習する。ジョセフ・スミス訳マタイ1：5 - 6, 9, 22を読む。シェーカー教徒がどのように欺かれていたかを話し合う。

教義と聖約49：6 - 7を読む。以下の質問をする。

- もし主の来られる正確な時を知っているとしたら、あなたの行動はどんなふうになるでしょうか。
- 救い主はなぜ正確な時を知らせないようにしておられるのでしょうか。

22 - 25節を読む。以下について話し合う。

- 主は御自分の民が欺かれるのを心配しておられます。なぜそれが分かるのでしょうか。
- 主が来られる前に起きる大切な出来事には、どんなことがありますか。
- 今日「ヤコブ」と「シオン」は、どんなふうの花咲いているのでしょうか。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』116ページから、教義と聖約49：24 - 25の注解を参照)
- 「レーマン人はばらのように花咲くであろう」とは、どんな意味でしょうか。
- 主の来られる「その時、その日」に備えるために、これらのしるしはどんなふう役立つでしょうか。

教義と聖約21：4 - 6；45：56 - 57；ジョセフ・スミス訳マタイ1：37を生徒が読む。次のように質問する。「イエス・キリストの再臨に備えるために、ほかにどんなことができるでしょうか。」

## 教義と聖約50章

### はじめに

サタンはいつの時代にも神の業をくじこうとしてきた。オハイオでは初期の改宗者たちの多くがサタンに欺かれて、奇妙な考えや行動をしていた（例として、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 116 - 117から、50章の歴史的背景を参照する）。

ジョセフ・F・スミス大管長はこのように警告した。

「悪魔はこの地上で大きな力を持ち、あらゆる可能な手段を使って人々の心に混乱を生じさせようとしている。真理を装った誤りや惑わしを与えようとしているのである。わたしたちはそのことを忘れてはならない。サタンは模倣の技術にたけている。純粋な福音の真理は、ますます広く世に宣べ伝えられている。それに つれて、サタンも偽りの教義という偽金を世にばらまいている。サタンの偽造通貨に気をつけなさい。これで買えるものは、落胆と、悲しみ、それに霊的な死以外の何物でもないからである。」（*Gospel Doctrine*, 第5版, [1939年], 376）


### 学び取るべき重要な福音の原則

- サタンは悪霊や悪人を使って神の子らを欺き、打ち破ろうとしている（教義と聖約50：1 - 9参照。モーセ4：3 - 4も参照）。
- 主の御霊は理解、教化、喜びをもたらす。悪霊は混乱をもたらす（教義と聖約50：10 - 35参照。1コリント14：26；教義と聖約11：13も参照）。
- 教会員は光と真理を受けにつれて、欺きを避けることができるようになる。そのような会員はサタンに打ち勝つ力を持ち、御父と御子と一つになることができる（教義と聖約50：23 - 44参照。1ヨハネ4：1 - 6；モーセ1：9 - 22も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 92 - 95。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 116 - 119。

### 教え方の提案

 教義と聖約50章。サタンは悪霊や悪人を使って神の子らを欺き、打ち破ろうとしている。教会員は光と真理を受けにつれて、欺きを避けることができるようになる。そのような会員はサタンに打ち勝つ力を持ち、御父と御子と一つになることができる。（40 - 45分）

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（116 - 117）の50章の歴史的背景から、偽りの霊に関する記述にしるしをつける。一人の生徒がそれを声に出して読む。以下の質問をする。

- このような出来事は今日の教会にも起こっていますか。
- このような欺きを避けるにはどうすればいいでしょうか（教義と聖約50：31参照）。

教義と聖約50：1 - 9を読む。以下の質問について話し合う。

- 初期の教会員の中に見られたこれらの現れはどこから来たものだったでしょうか。
- サタンはどのようにして初期の教会の聖徒たちを「打ち破」ろうとしたでしょうか。
- 今日、サタンは聖徒たちを欺くためにどんな方法を使っていると思いますか。

一人の生徒が十二使徒定員会会員であるリチャード・G・スコット長老が語った以下の言葉を読む。

「サタンは皆さんを滅ぼそうとして、正当化という手段を用いるでしょう。皆さんが悪いと知っている事柄の意味を曲げて、受け入れやすくするのです。こうして皆さんを少しずつ破滅へと誘惑するのです。」（「人生の正しい決断」『聖徒の道』1991年7月号, 35参照）

以下の質問をする。

- サタンはなぜわたしたちを欺こうとするのでしょうか。
- サタンはどんな方法でわたしたちを欺きますか。

別の生徒が十二使徒定員会会員であるM・ラッセル・バラード長老が語った以下の話を読む。

「最近わたしはユタ州とアイダホ州で、幾つかの若い男女のグループと話し合う機会がありました。彼らの話によれば、十代で道徳的に道を外しても、伝道に出るか神殿で結婚しようとするときに悔い改めればよいと考えている若者がいるということでした。伝道は過去の罪を赦してもらう期間であると言っている若者もいるそうです。彼らは、すぐに悔い改めて、伝道に出て、その後ずっと幸福に暮らせるのだから、今2、3の罪があっても大したことはないと考えているのです。」（「力に先駆ける清さ」『聖徒の道』1991年1月号, 39参照）

次のように質問する。「今日よく見られる欺きにはどんなものがあるでしょうか。」

さらに別の生徒がバラード長老の話の続きを読む。

「どうかわたしの言葉を信じてください。この考えはサタンの巨大な偽りです。ありもしないその話にすぎません。罪は必ず、必ず、苦痛を招きます。その時期が早かろうと遅かろうと、必ず苦しみを受けるのです。聖典には、そのとき『恥とひどい罪悪感をもって神の法廷に立〔つ〕』（モルモン書ヤコブ6：9）と記されています。そして『強烈な……罪悪感と心痛と苦しみ』（モーサヤ2：38）を味わうのです。

これに関連した間違った考え方は、悔い改めが簡単だというものです。キンボール大管長はこう教えています。『自分の罪のために非常に大きな苦しみを感ずるようになって初めて、悔い改めが始まったと言えます。……苦しみを感ずっていなければ、その人はまだ悔い改めていないので

す。」(『The Teachings of Spencer W. Kimball (ソルトレーク・シティー, ブッククラフト社, 1982年), 88, 99) 不道徳な行いによって与えられる一瞬の快樂は, 不道徳な行いに必ず伴う苦痛とはまったく釣り合いません。それを知るには深刻な罪をほんとうに悔い改めた人に聞くだけでいいのです。」(「力に先駆ける清さ」『聖徒の道』1991年1月号, 39参照)

以下の質問をする。

- 主の僕たちはどんな警告を与えてきたでしょうか。
- サタンの欺きを見破り, サタンが仕掛けるわなを避けるにはどうすればいいでしょうか。

クラスを幾つかのグループに分けて, 以下の参照聖句を割り当てる。各グループはサタンの欺きを見破る方法を参照聖句の中から見つける。

- 教義と聖約28章前書き, 28:2-7, 11-13
- 教義と聖約43:1-7
- 教義と聖約45:57
- 教義と聖約46:8-9
- 教義と聖約50:21-24, 26-33
- 教義と聖約52:15-19

生徒が見つけた方法を黒板に書き出す。

50章の「はじめに」に記されているジョセフ・F・スミス大管長の警告を読む。教義と聖約50:40-46を読む。主はなぜこのような方法で警告の啓示を終えられたかを話し合う。次のように質問する。「これらの節は, サタンの力に不安を感じている人々にどんな希望を与えるでしょうか。」

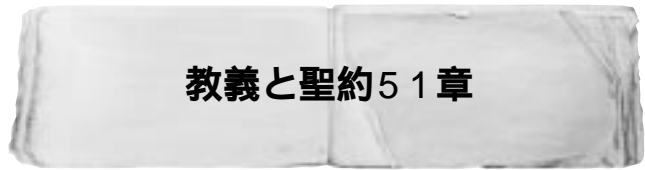
**教義と聖約50:10-25。主の御霊は理解, 教化, 喜びをもたらす。悪霊は混乱をもたらす。(10-15分)**

黒板に見出しとして, 「教師の責任」, 「生徒の責任」, 「セミナーのクラスの目的」と書く。次のように言う。「皆さんがワードの早期セミナーの教師として新しく召されたとします。コーディネーターから, 聖文を研究するように言われました。そして黒板の3つの事柄について主が何と言っておられるかを調べるように言われました。」教義と聖約50:10-25を読む。質問の答えを見つめる。見出しについて一つずつ話し合う。生徒の答えを該当する見出しの下に書き出す。話し合いに以下の言葉を使うとよい。ウィルフォード・ウッドラフ大管長は十二使徒定員会の会員として働いていたときに次のように教えた。

「この時代やほかのいかなる時代の人をも, 神の御霊の靈感を受けずに世の人々を教え, 教化することはできません。」(『The Discourses of Wilford Woodruff, G・ホームー・ダラム編 [1946年], 57)

十二使徒定員会の会員であるジョセフ・B・ワースリン長老はこのように述べた。

「クラスの生徒がもっと聖文の読書課題を読み, クラスにもっと頻繁に聖典を持参し, 福音が彼らの生活の中で実際にどんな意味を持つか, もっと話し合うようになれば, 個人的な心配事やチャレンジを解決しようとするときに, もっと多くの靈感と, 成長と喜びを経験するのです。」(『Teaching by the Spirit,』『エンサイン』, 1989年1月号, 15)



## 教義と聖約51章

### はじめに

1830年12月, 主は教会員にオハイオへ集まるよう命じられた(教義と聖約37:3; 38:32参照)。1831年2月に主は御自身の「律法」を啓示された(教義と聖約42章)。その啓示で, 奉獻と管理の職についての原則が明らかにされた。シオンはこの原則の上に築かれる。1831年の春にはニューヨークからの教会員がオハイオ州カートランド地域に到着し始めた。ニューヨーク州コールズビルから来た聖徒たちはトンブソンに定住地を築いて, 奉獻の律法に基づいて共同体を組織する特権を与えられた(教義と聖約51:15参照)。奉獻には, 何かを神聖なものとする, またはそう宣言して, 神の目的のために取り分けるという意味がある。教義と聖約51章には奉獻の律法とこの律法における監督の役割に関する詳しい情報が記されている。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストは教会の頭であり, 教会の組織を導かれる(教義と聖約51:1-2参照。教義と聖約52:1-5, 22-44も参照)。
- 奉獻の律法の下で, 監督は会員の受取分をその家族の事情と入り用と必要に応じて割り当てる。監督は会員の残余の財産を受け取って, 貧しい者を支援するために使う(教義と聖約51:3-15参照。教義と聖約42:30-42; 82:17も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 95-99。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教324-325』, 120-122。

### 教え方の提案

**教義と聖約51章。奉獻の律法の下で, 監督は会員の受取分をその家族の事情と入り用と必要に応じて割り当てる。(20-25分)**

次のように質問する。「あなたの家の土地はだれのものでしょうか。」詩篇24:1を読む。ほんとうに土地を所有しているのはだれかを調べる。救い主はわたしたちを住ませるためにこの地球

を創造されたこと（1ニーマイ17：36参照）を証する。また、福音に従う人々は地球が日の栄えの王国になるときにこの地球を受け継ぐこと（教義と聖約88：17 - 20参照）を証する。

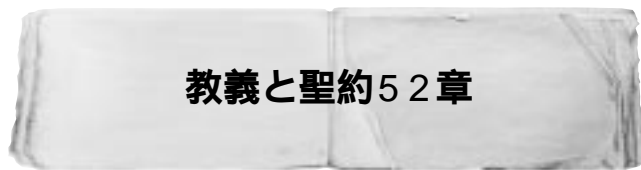
奉献の律法について知っている事柄を生徒が発表する。生徒の答えを黒板に書き出す。1831年に教会は奉献の律法に従って生活する準備をしていたことを生徒に教える（教義と聖約42：30 - 36参照）。51章は、教会の最初の監督であったエドワード・パートリッジ監督に、オハイオ州トンプソンでどのようにこの律法を実施したらよいかを知らせるために与えられた。黒板に以下の用語とその定義を書き出す。

用語	定義
指定する	与える
受取分	財産、生活するための手段
文書	書面による約束または権利証書
教会	教会の支部
この民	この支部の会員たち

教義と聖約51章を読む。また、黒板に記されている定義を該当する箇所に生徒が記入する。以下の質問について考えながら、51章を読む。

- 教会員は何を受け取ることができましたか。
- 受け取り分はどのように指定されましたか。
- ふさわしくない状態になった人々はどうなりますか。
- 監督の責任は何でしたか。
- 奉献の律法に従って生活するためには、どんな律法と原則に従わなければなりませんでしたが。

以下の質問の答えとなる短い文章を生徒が書く。「教義と聖約51章に記されている戒めと原則は、今日の教会員にとってどんな助けとなるでしょうか。」これらの原則は、今日、神の王国を築くためにどのように役立つと思うか、話し合う。



## 教義と聖約52章

### はじめに

1831年6月3日にオハイオ州カートランドで教会の大会が開かれた。この大会中、サタンは聖徒たちを欺こうとしたが、預言者ジョセフ・スミスによって見破られ、叱責された。この出来事の後に、主は「規範」を明らかにされた。この規範によって教会員は欺きを避けることができる。マービン・J・アシュトン長老は次のように教えた。

「イエス・キリストの福音は人を正しい生活と永遠の生命に導くために神が定められた規範です。……サタンとそれに従う者たちは、絶えずわたしたちを欺こうとします。そして何とかして彼らの方式に従わせようと誘惑するのです。もしわたしたちが安心して毎日を過ごし、昇栄と永遠に続く幸福を得たいと望むなら、光

と真理に満ちた救い主の計画に添った生活をしなければなりません。」（「あらゆるものに与えられた規範」1991年1月号、21）

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 宣教師は二人ずつ組んで出て行き、福音を宣べ伝えるように主から召されている。彼らは聖典と生ける預言者の言葉を聖霊の力によって説く（教義と聖約52：1，9 - 10，36参照）。
- 主は御自身の僕とそうでない者を見分けるための規範を与えておられる（教義と聖約52：14 - 21参照）。
- 長老は教会を見守り、自分の生活を支えるために働き、貧しい者と病気の者、そして苦しんでいる者を思い起こすべきである（教義と聖約52：39 - 40参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、99 - 100。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、122 - 123。

### 教え方の提案

教義と聖約52章。宣教師は二人ずつ組んで出て行き、福音を宣べ伝えるように主から召されている。彼らは聖典と生ける預言者の言葉を聖霊の力によって説く。（10 - 15分）

二人の生徒を選ぶ。その生徒は宣教師の役割を演じる。次のように言う。「皆さんは宣教師訓練センターの近くに住んでいると考えてください。この二人の宣教師は訓練を終えただけです。彼らはこれから任地に向かって出発しようとしています。皆さんはこの宣教師のいとこで、空港から駅まで見送りに来ています。皆さんは宣教師になるためにどんな準備をしたらよいかを知りたいと思っています。いとこ（宣教師）にどんな質問をしますか。」（二人の「宣教師」は生徒の質問に答える）

オハイオ州カートランドでの大会が終わると、何人かの男性が宣教師として召されたことを説明する。教義と聖約52：4，9 - 10，14 - 20，34，36を読む。宣教師がなすべき事柄を生徒が挙げる。宣教師役の生徒は、いとこの質問に対してさらに答えることがあれば発言する。

教義と聖約52：14 - 21。主は御自身の僕とそうでない者を見分けるための規範を与えておられる。（20 - 25分）

教義と聖約52：37を読む。主がヒーマン・パセットに代えてだれを宣教師として召されたかを調べる。サイモンズ・ライダー（Simonds Ryder、歴史記録にはSymonds Ryderとも記されている）というキャンベル派の牧師がいたことを説明する。サイモンズはあるモルモンの少女が中国で地震が起きることを預言したと聞いた。そして6週間後にそれが成就したという報道を読み、モルモンの教えに改宗した。サイモンズはバプテスマを受けて間もなく、長老に聖任され、伝道に召された。彼は召しを受けたとき、預言者が書いた自分の名前のつづりが間違っていたことを見つけた。「Ryder」ではなく「Rider」となっていたのである。それから自分の召しが靈感によるものだったかどうか疑問を抱いて、結局伝道に行かなかった。サイモンズ・ライダーは後に教会を去り、教会に対して公然と敵対するようになった。以下の質問をする。



- サイモンズ・ライダーが教会を去ったことには、どんな理由が挙げられますか。
- 人を本当の改宗へと導くものは何でしょうか。
- 名前のつづりが間違っていた宣教師がほかにもいたかもしれません。彼らは教会を去りませんでした。なぜでしょうか。
- 今日、人々はなぜ教会を離れて行くのでしょうか。
- このようなことが自分に起きないようにするために、何ができますか。

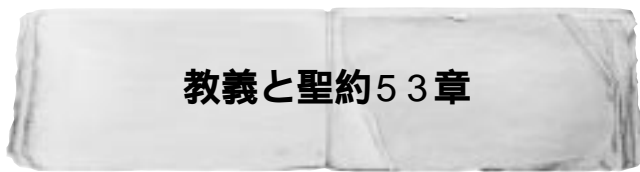
主から遣わされた者とそうでない者を見分ける規範が与えられていることを説明する。生徒とともに教義と聖約52：14 - 21を読む。生徒はその規範を見つけて、しるしをつける。必要であれば以下の表を活用する。

節	主の真の僕
15	祈る。
15	悔いる（悔い改めの）霊を持つ。
15	主の定めに従う。
16	柔和で人を教化する言葉を使う。
17	主の力を受ける。
17	神の啓示に従って働き、教える。

以下の質問について話し合う。

- 預言者ジョセフ・スミスはこの規範にどれほど近い人だったでしょうか。
- サイモンズ・ライダーがこの規範に従っていれば、ジョセフ・スミスが預言者であることを否定することはなかったかもしれません。なぜでしょうか。
- あなたが従うべき人々を見分けるために、この規範はどう役立つでしょうか。

52章の「はじめに」(91ページ)から、マービン・J・アシュトン長老の言葉を分かち合う。



## はじめに

カートランドで商人として成功していたアルジャン・シドニー・ギルバートは自分の務めについての主の御心を知りたいと思っていた。神の御心を求める神権者は、ジェームズ・E・ファウスト副管長の言葉を心に留めておかなければならない。ファウスト副管長は次のように教えた。「この教会の神権者には、全世界で義の業を前進させる手助けをするという責任が与えられています。神権による奉仕をするときは、利己的な興味や望みについては、まずわきに追いやっておくように求められます。」(「神権の力」『聖徒の道』1997年7月号、51参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は御自身の王国で奉仕する人々を、神権指導者を通じて召される(教義と聖約53：1 - 4参照。信仰箇条1：5も参照)。
- わたしたちは世を捨て、終わりまで堪え忍ぶことによって救いに導かれる(教義と聖約53：2、7参照。教義と聖約14：7も参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、124 - 125。

## 教え方の提案

教義と聖約53章。主は御自身の王国で奉仕する人々を、神権指導者を通じて召される。(15 - 20分)

次のように言う。「あなたは教会指導者だとします。あなたには教会員を奉仕の業に召す責任があります。」

- ある職にだれかを召します。召す人をどのように決めますか。
- その決定は主とともに行うことが大切です。なぜですか。
- 会員たちはどんな方法で召される必要がありますか(信仰箇条1：5参照)。
- この方法は、教会員にそれぞれ自分の好きな責任を与えることよりも優れています。なぜでしょうか。
- 教会の召しは、会員本人ではなく教会指導者を通して啓示されます。なぜですか。

教義と聖約53章の前書きを生徒が読む。以下の質問をする。

- 教会におけるギルバート兄弟の召しを明らかにしてほしいと思ったのはだれですか。
- ギルバート兄弟を召すに当たってジョセフ・スミスは何をしましたか。
- この過程の中で、主は何をされましたか。
- この方法は、現代の教会で行われている方法と比べてどうですか。

教義と聖約53：2 - 5を全員で読む。生徒はシドニー・ギルバートに与えられた責任を見つけて、しるしをつける。6節を読む。定め(ordinances)には少なくとも二つの意味があることを説明する。最も一般的な意味はバプテスマや神権の聖任などの儀式と典礼である。しかし、この言葉には「神の命令、律法と戒め、掟と審判」(ブルース・R・マッコンキー、『モルモンの教義』、ビーハイブ出版、548、一部改訂)などの意味もある。

知識を得て、啓示を受けるための一つの方法は、主がお与えになる戒めと勧告に従って行動することであると説明する。もう一度6節を読む。以下の質問をする。

- 主がシドニー・ギルバートに約束をされた「最初の定め」を守るなら、彼はどんな祝福を与えられたでしょうか。
- マタイ7：21 - 23；ヤコブの手紙1：22 - 25を読む。これらの聖句と、主がギルバート兄弟に言われたことを比べると何が分かりますか。

主が言われたことを聞くだけでなく、行うことの大切さについて話し合う。大管長の最近の話から、一部を抜粋したものをコピーして生徒に配る。その話を全員で読む。主は預言者を通じて、

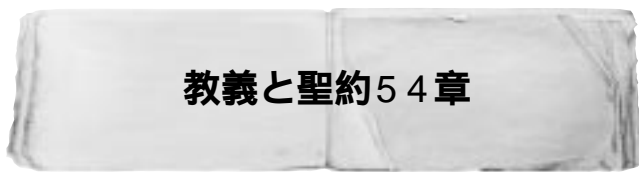
わたしたちがさらに祝福を受けるために何をしたらよいか教えておられる。生徒はその箇所にしるしをつける。預言者の勧告に従うよう生徒を励ます。

**教義と聖約53：2，7。わたしたちは世を捨て、終わりまで堪え忍ぶことによって救いに導かれる。(10 - 15分)**

次のように質問する。「何かを捨てるとはどんな意味でしょうか。」生徒は例を挙げて説明する。教義と聖約53：2を読む。次のように質問する。「主はわたしたちに何を捨てるよう求めておられますか。」世を捨てるとはどんな意味か話し合う。世を捨てるとは、この世的な望みを顧みないという意味であることを説明する。わたしたちは福音の儀式を通して主と聖約を交わし、それを守ることによって世を捨てるのである。

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(124 - 125)の教義と聖約53：2の注解から、ジョージ・Q・キャノン副管長の言葉を読む。わたしたちが見たり、読んだり、聞いたり、身につけたりするものは、わたしたちを救い主に近づけることもできるし、俗世に染めることもできる。その理由を生徒と話し合う。教義と聖約53：7を読む。以下の質問をする。

- 主はわたしたちにいつまで世を捨てるよう求めておられるでしょうか。
- 終わりまで堪え忍ぶ人にはどんな約束が与えられているでしょうか。
- よりよく堪え忍ぶために、わたしたちはどんな特質を伸ばすことができますか。



## はじめに

神聖な聖約に背くことは非常に重大なことである。ポイド・K・パッカー長老は十二使徒定員会会員時代に次のように教えた。

「聖約を守っていれば安全ですが、破れば危険にさらされることとなります。……

……聖約を破りながらその結果から逃れる自由……はありません。」(「誓約」『聖徒の道』1991年1月号, 92)

ニール・A・マックスウェル長老は次のような質問を投げかけている。

「わたしたちは教会員として、聖約を尊ばずにどうして霊的に生き残ることができるでしょうか。バプテスマのときに、また聖なる神殿で交わした聖約をことごとく破っていながら、霊的に生き残れるでしょうか。」(「われ汝らを導きて行けばなり」『聖徒の道』1988年6月号, 8)

教義と聖約54章の啓示にまつわる出来事は、神との聖約に背くとどんな結果を招くかを物語る一つの例である。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 義人たちは、<sup>かんなん</sup>艱難を逃れ、平安を得ることができる。彼らは神を信じる信仰を行使し、悔い改め、へりくだり、堪え忍ぶ

からである(教義と聖約54：3, 10参照。モーサヤ24：8 - 16も参照)。

- 聖約を守る者は神の祝福を受ける。一方、背く者は神の罰を受ける(教義と聖約54：4 - 6参照。モーサヤ2：38；アルマ34：16も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 99。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 125 - 126。

## 教え方の提案

**教義と聖約54章。聖約を守る者は神の祝福を受ける。一方、背く者は神の罰を受ける。(20 - 25分)**

以下の物語は、七十人定員会会員であるF・バートン・ハワード長老が語った、妻と幼い息子とともに車で10時間の旅をした時の出来事についてである。この話を分かち合う。

「日が暮れ、到着まであと2時間くらいというとき、わたしたちはあるゲームをすることにしました。ゲームの目的は、疲れ切った息子を眠らせることにありました。……まず、後ろの席の子供に『隠れん坊しようか』と持ちかけます。息子は大賛成です。そうしてこう言うのです。『じゃ、目をつぶって、「もういいよ」と言うまで目を開けちゃだめだよ。隠れるのに時間がかかるからね。』

こうしてゲーム開始です。前にいるわたしたちは、シートの下にしゃがんで10秒ほどで『もういいよ』と言いました。息子はシートに身を乗り出して、『見つけた』とできます。そこでこう言います。『今度はもっと上手に隠れるからね。もう一度目をつぶっておくれ。』そして、1分ほど過ぎたところで『もういいよ』と言うと、また息子が元気いっぱいシートから身を乗り出し、わたしたちを見つけているのです。最後にこう言いました。『今度はすごい場所を見つけたんだけど、ちょっと時間がかかる。目を閉じて。ちゃんと合図するから。』

1分、2分、そして5分が過ぎました。わたしたちは静かに運転を続けました。静寂は何とすばらしいことでしょう。20キロほど運転したところで、わたしたち二人は、この手の込んだゲームの成功を静かに祝いました。そのときです。後部座席から、打ちひしがれた息子のすすり泣く声が聞こえてきたのです。『合図をするって言ったのにしてくれなかったじゃないか。』

『すると言ったのに、してくれなかった。』なんと厳しい責め言葉でしょうか。あのときのことは生涯忘れられませんが。わたしたち夫婦は、そのようなゲームは二度としてはならないと思ったものです。」(「決意」『聖徒の道』1996年7月号, 33)

以下の質問をして話し合う。

- ハワード長老はその経験を「生涯忘れられませんが」と述べました。なぜだと思えますか。

- 約束を守ることや、すると言ったことをするのは、なぜ大切なのでしょうか。
- これまでに、約束を破られたことがありますか。そのときどう感じましたか。
- 約束を守ってもらったときに、どのように感じますか。

教義と聖約54章の前書きを生徒が読む。だれが聖約を破ったのかを見つける。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(125ページ)から、教義と聖約54章の歴史的背景を説明する。以下の質問をする。

- リーマン・コブリーはどんな聖約を交わしていたのでしょうか。
- 主と交わす約束や聖約はどれほど重大なものでしょうか。
- ニューヨークからオハイオへ集まってきた聖徒たちは、何を期待していたのでしょうか。

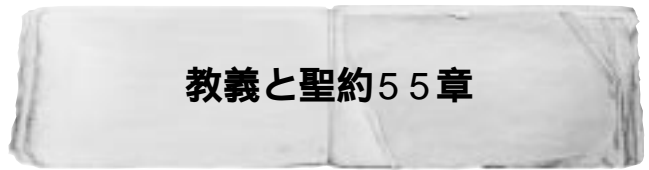
教義と聖約54:4-5を読む。これらの節が聖約の大切さについて何を教えているか話し合う。7-9節を読む。聖徒たちが何を求められたかを見つける。6,10節を読む。聖約を守り、<sup>かんなん</sup> 艱難を堪え忍ぶ人々に主が約束された祝福を見つける。これらの約束はわたしたちの生活にとってどのような価値があるかについて話し合う。

ハワード長老の話続ける。

「教会員は多くの事柄を行うと決意します。……そして聖約を交わします。……しかし、かつて車の中でそうだったように、わたしたちは時折、自分で行うと言っておきながら、行わないことがあるのです。……」

わたしたちは聖約の民です。もし、教会の会員に際立った特徴があるとすれば、それはわたしたちが聖約を交わしているということです。わたしたちは、聖約を守る民としても知られるように努めなければなりません。約束を交わすのは簡単ですが、それを守り通し、実行していくのは並大抵のことではありません。それには、絶えず戒めを守ること、一つのことを守り通すこと、信念を曲げないことが必要です。疑念や落胆を感じる時も、また成否にかかわらず、信仰を保ち、終わりまで忠実であることが求められます。それは心を込めて主に近づくことでもあります。約束は何であろうと、全力を尽くして実行することでもあります。気分が乗らないときでもです。

かつてわたしはM・ラッセル・バラード長老とともにある葬儀に参列しました。そこで彼が語った言葉は今でも、わたしの心に残っています。こう言ったのです。『末日聖徒にとっての人生は、その人が燃えるような証を携えて無事に死を迎えるまでは終わりとは言えない。』『無事に死を迎える』、何とチャレンジに満ちた概念でしょうか。兄弟姉妹、わたしたちは主に心をささげるまでは、また、約束を実行できるようになるまでは、無事であるとは言えないのです。』(「決意」『聖徒の道』1996年7月号, 33 - 34参照)



## 教義と聖約55章

### はじめに

ウィリアム・W・フェルプスは回復について耳にすると、間もなくカートランドへ向かった。カートランドで預言者ジョセフ・スミスに会った彼は、主から勧告を受けることを願って求めた。主が教えられたように、「わたしの訓戒を聴き、わたしの勧めに耳を貸す者は、知恵を得るので幸いである。」(2ニーファイ28:30) 教義と聖約55章には、主がフェルプス兄弟に与えられた指示が記されている。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 神の栄光にひたすら目を向けてバプテスマを受ける人は、罪の赦しと聖霊の賜物を受ける(教義と聖約55:1参照)
- 人が求めるなら、神は導きを与えられる(教義と聖約55章。教義と聖約4:7も参照)
- 神は、教育を受ける人を喜ばれる(教義と聖約55:4参照。2ニーファイ9:29; 教義と聖約88:77-80; 90:15も参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 103。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 126 - 127。

### 教え方の提案

教義と聖約55:1-5。神の栄光にひたすら目を向けてバプテスマを受ける人は、罪の赦しと聖霊の賜物を受ける。(15-20分)

ウィリアム・W・フェルプスが作詞した賛美歌を1曲全員で歌う。(『賛美歌』「作詞・作曲・編曲・訳詞者索引」, 339参照) 次のように質問する。「この賛美歌と、教義と聖約55章には、ある共通点があります。それは何でしょうか。」

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(126ページ)の55章の歴史的背景から、ウィリアム・W・フェルプスに関する情報を分かち合う。教義と聖約55:1を読む。ウィリアム・W・フェルプスは、<sup>ゆる</sup> 赦しを受け、聖霊を受けるためにあることをするように主から命じられた。それを見つける。神の栄光にひたすら目を向けようとしているのか、それとも、自尊心を満足させようとしているのか、自分自身を吟味するために、常に生活を振り返る必要があるということについて証する。

2-5節を読む。主はフェルプス兄弟に何をするように言われたかを見つける。彼は、これらのことを、神の王国を築くために行うこともできたし、人の注目を得るために行うこともできた、ということについて話し合う。教会で奉仕するときに、どんな理由で行っているか吟味するよう勧める。(神に栄光を帰するためか、それとも自分のためか。)

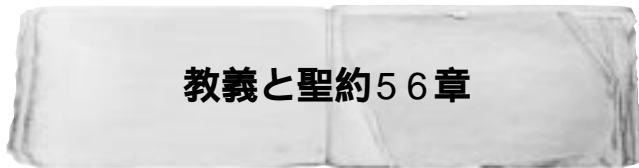
はしがが壁に立てかけられている絵を黒板に描く。次の質問をする。「はしがを登ることは、福音に従って生活することと、ど

う似ていますか。」預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を分かち合う。

「はしごを登るときは、いちばん下から始めて、一段一段登って行かなければなりません。そしてついには、いちばん上の段にたどり着くのです。福音の原則についても同じです。あなたがたは第一のものから始めなければなりません。そして学び続けて、ついに、昇栄に関するすべての原則を学ぶのです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 348)

はしごを登る理由を間違えるなら、違う壁にはしごを立てかけたも同然であると指摘する。神から求められたことは、とにかくやればよいというものではない。正しい理由で行う必要がある。そのことについて生徒の理解を助ける。以下の質問をする。

- 福音のはしごをうまく登れるかどうかは、その動機にかかっています。なぜでしょうか。
- 神の命じられることを行うときには、神の栄光にひたすら目を向けることが大切です。なぜでしょうか。



## はじめに

主はこのように言われた。「召される者は多いが、選ばれる者は少ない。では、なぜ彼らは選ばれないのであろうか。それは、彼らがあまりにもこの世のものに執着し〔ている〕……からである。」(教義と聖約121:34-35) オハイオ州トンブソンに住んでいた一部の聖徒たちは、この問題を抱えていたようである(教義と聖約56:6参照)。リーマン・コプリーは、自分の土地の一部をコールズビルの聖徒たちに提供するという聖約を破棄している。そこで主は、ニューエル・ナイトの伝道の召しを取り消された。コールズビルから追放された聖徒たちをミズーリへ連れて行かせるためだった(6-7節参照)。エズラ・セアは、トンブソンでの論争に巻き込まれていたため、トーマス・B・マーシュとともに伝道に行く準備ができていなかった(5節参照。教義と聖約54章;56章の前書きも参照)。エズラ・セアは、「高慢とわがままを悔い改め」るよう、主から命じられた。(8節)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 神に背く者は、神の罰を受ける(教義と聖約56:1-4,8-17参照。モーサヤ2:36-37;教義と聖約1:3も参照)。
- 主は、戒めを告げることも取り消すことも、思いのままにできない(教義と聖約56:4-11参照。教義と聖約58:32も参照)。
- 金持ちも貧しい者も、富によって腐敗する可能性がある。悔い改めて、謙遜に真理に従う者は皆、地を受け継ぐ(教義と聖約56:14-20参照。マタイ19:23-26;1テモテ6:10も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 102 - 104。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 127 - 128。

## 教え方の提案

教義と聖約56章。神に背く者は、神の罰を受ける。(20-25分)

生徒は背くという言葉の定義を紙に書く。書き終えたら、その定義を発表する。以下は、スペンサー・W・キンボール大管長が十二使徒定員会会員を務めていたときに語った言葉である。これを読む。

「神に対する反抗はよく見られる罪である。これは、神の戒めを故意に拒絶する、神の僕の勅告を拒否する、神の王国に反対する、つまり、神の御心に不従順な言動をとる、といった形で現れる。……

教会員の間では、反抗は教会の幹部や指導者を批判するといった形で頻繁に見られる。……彼らは教会のプログラムに不平を言い、幹部をけなし、まるで自分たちを判事であるかのように考えている。やがて彼らは内心いろいろなことを腹立たしく思うようになり、教会の集会を欠席するようになる。そして什分の一を支払わなくなり、ついにはほかの点でも教会員としての義務も怠るようになる。一言で言えば、彼らは背教の精神を宿しているのである。この背教の精神は常に批判から生まれれてくる。……

このような人々は、子孫に証を伝えることができず、自分の家庭の信仰を破壊し、このようなことがなければあらゆることに信仰深く生活するはずの子孫から『神権を受ける権利』を実際に奪ってしまうのである。」(『赦しの奇跡』, 46-48)

教義と聖約56:14-17を生徒が読む。背きの説明となる語句を見つける。生徒は、自分と同じ年頃の人が、どんなことをして背いているか、例を挙げる。

56章の「はじめに」に記されている幾つかの背きについて復習する。教義と聖約56:1-4を読む。次のように質問する。「これらの節から、背きについてどんなことが分かりますか。」モーサヤ2:36-39;16:5を読む。次のように質問する。「これらの節には背きについてどのようなことが記されていますか。」

教義と聖約56:5-11,14,18-20を読む。背きの結果と、謙遜さの結果を生徒が比較する。18節を読む。約束された祝福を受けるためにできる事柄を挙げる。

教義と聖約56:16-20。金持ちも貧しい者も、富によって腐敗する可能性がある。悔い改めて、謙遜に真理に従う者は皆、地を受け継ぐ。(10-15分)

クラスを二つのグループに分ける。一つのグループは金持ちで、別のグループは貧しい人々であると仮定する。各グループは以下の質問について話し合う。「金持ちのあなたが(貧しいあなたが)教会で忠実であるために、何が最大のチャレンジだと思えますか。」グループの一人が、話し合ったことを発表する。

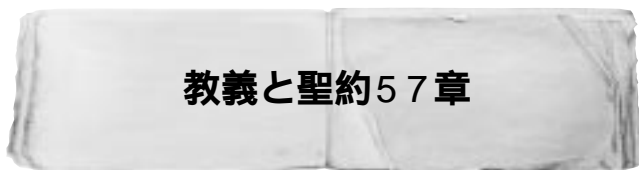
教義と聖約56：16 - 17と1テモテ6：10を生徒が比較する。以下の質問をする。

- 主は、何が金持ちの心をむしばむと言われたでしょうか。
- 主は貧しい者たちに、誘惑に注意せよと言われました。それはどんな誘惑でしょうか。
- これらのチャレンジの中で、今日の金持ちや貧しい人々にも当てはまるのは、どのチャレンジですか。
- 教義と聖約56：18を読んでください。この節によれば、これらの問題を解決するにはどうすればいいでしょうか。

一人の生徒が、エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を読む。

「ほかの人の高慢はよく目につきますが、自分自身の高慢の罪を認めるのは非常に難しいことです。ほとんどの人は、高慢の罪を犯すのは金持ちや学者のように社会的地位や権力のある（その結果、ほかの人のことを低く見る）人だと考えています（2ニーファイ9：42参照）。しかし、それ以上にわたしたちの間に広がっている病があります。それは人を見下すのとは逆に、自分より多くのものを持つ人を、下から見上げる高慢さです。これは、いろいろな形で現れます。あら探し、うわさ話、中傷、不平、収入以上の生活、ねたみ、うらやみ、また、人を高めるような感謝や賞賛をしないこと、人の過ちを赦さないこと、嫉妬することなどです。」（「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号、6）

18 - 20節を読む。富んでいる者も貧しい者も、ともに高慢の罪に陥る可能性を持っているが、謙遜であることによってこれらの節に記されている主の祝福をすべて受けられる。このことについて証する。



## はじめに

1830年11月と12月、ジョセフ・スミス訳聖書を作る作業をしていた間に、預言者ジョセフは、預言者エノクの時代のシオンの町についてさらに学んだ（モーセ6 - 7章参照）。翌年の2月、ジョセフは教義と聖約42章を受けた。ジョセフはこの啓示の中で、終わりの時に新エルサレム、すなわち聖徒たちが築くもう一つのシオンの場所が知らされるという約束を受けている（62節参照）。

1831年6月に、主はジョセフ・スミスとその他の長老たちに、ミズーリへ行くよう命じられた。ミズーリへ行けば、受け継ぎの地が明らかにされることになっていた（教義と聖約52章参照）。預言者がミズーリに到着して間もない7月20日に、主は「ミズーリの地」が「聖徒の集合のために……聖別」されていることを明

らかにされた。さらに、インディペンデンスが「シオンの町のための場所」であることも明らかにされた（教義と聖約57：1 - 2、3節参照）。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主はミズーリ州ジャクソン郡インディペンデンスを新エルサレム、すなわちシオンの中心の場所として指定された（教義と聖約57：1 - 5参照。3ニーファイ20：22；21：23 - 24も参照）。
- 主は聖徒たちに、正直な生活を営むよう、また、自分が得た利益を神の王国を築くために使うよう奨励された（教義と聖約57：6 - 12参照）。
- 教育、訓練、経験は、神の王国の建設に役立てることができる。（教義と聖約57：6 - 14参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、105 - 106。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、129 - 130。

## 教え方の提案

注意：1831年から1838年までの間、教会員はオハイオ州カートランド地域とミズーリ州の各地に集っていたことを生徒に知らせる。預言者ジョセフ・スミスは、1838年までオハイオに住んでいた。しかしジョセフは、副管長たちや使徒たち（彼らは1835年に選ばれていた）と同様に、何度もミズーリへ旅をした。

**教義と聖約57：1 - 5。主はミズーリ州ジャクソン郡インディペンデンスを新エルサレム、すなわちシオンの中心の場所として指定された。（20 - 25分）**

以下の預言者ジョセフ・スミスの言葉を紹介する。

「あらゆる時代の神の民は、シオンを築くということを大きな理想としてきました。預言者、祭司、王たちは、特にこのテーマについて語るのを喜びとしました。彼らはわたしたちの時代を楽しみに待ち望んでいました。天からの喜びの訪れに胸を踊らせ、この時代を詩歌に歌い、文章に表し、また預言しました。」（*History of the Church*, 第4巻、609 - 610。「現在の神権時代についてのジョセフ・スミスの言葉」『聖徒の道』1980年4月号、15の引用を参照）

以下の質問について話し合う。

- シオンの建設というテーマは、神の民にとって、昔から大切に、興味深いものでした。なぜだと思いますか。
- シオンの建設について、どんなことを知っていますか。
- このテーマについて、どんなことを知りたいと思いますか。

以下の表を配布資料として生徒に配る。

聖句	シオンについて分かること
1ニーファイ13：37	
2ニーファイ12：2-4	
エテル13：4-8	
教義と聖約6：6	
教義と聖約21：1,7	
教義と聖約28：8-9	
教義と聖約29：7-8	
モーセ7：13-21	
教義と聖約38：16-27,34-35,39	
教義と聖約42：8-9,31-36	
教義と聖約45：11-14,64-71	
教義と聖約48：3-6	
教義と聖約49：24-25	
教義と聖約52：2-5,42-43	
教義と聖約57：1-5	

割り当てられた参照聖句を生徒が調べる。その後、全員で参照聖句を順に学ぶ。各聖句を研究した生徒は、シオンについて分かったことを発表する。話し合いで分かったことを、表に書き込む。

神殿という言葉が何度もシオンとともに述べられていることに注目する（2ニーファイ12：2-3；教義と聖約42：36；57：3；モーセ7：21参照）。以下のように言う。「神殿は心の清い者になれるよう助けてくれます。神殿はまた、シオンを確立することを主と聖約できるように助けてくれます。」七十人の一人であるランズ・B・ウィックマン長老の以下の言葉を分かち合う。

「『シオン』と『神殿』は、同じ文の中に一緒に出てきます。……シオン、すなわち心の清い者は、神殿を通して聖い所、喜びの場所へと導かれますが、バビロンというわき道にそれる者は、悲しみの淵に沈むことになるのです。」（「汝ら聖なる所に立つべし」『聖徒の道』1995年1月号、90-91参照）

以下の点を指摘する。主は聖徒たちにシオンに関する知識を少しずつ与えられた。主はしばしばこの方法を用いて御心を明らかにされる。少し学んで実行し、それから、もう少し学ぶのである。進歩するには、一つ一つの段階が大切である。

**教義と聖約57：6-16。教育、訓練、経験は、神の王国の建設に役立てることができる。（15-20分）**

何人かの生徒に次の質問をする。「あなたの両親は、どんな仕事をしていますか。」その仕事はなぜ大切なのか、また、その仕事が多岐にわたる人たちに恵みをもたらしているか、全員で話し合う。

教義と聖約57：8,11,13-15を読む。「定住」するように言われた人たちと、ほかの人々がシオンに「定住」するのを助けるように言われた人たちが、4人出てくる。この4人の名前、または責

任を丸で囲む（注意：15節の「監督」はエドワード・パートリッジを指し、「代理人」はシドニー・ギルバートを指す。教義と聖約41：9；57：6-7参照）。これらの4人について以下の情報を与える。

ウィリアム・W・フェルプス	作家、校正者、印刷業者。数種類の新聞を出版し、新聞社を設立した。
シドニー・ギルバート	有能な商人だった。
オリバー・カウドリ	才能ある作家、校正者、演説者。教師であり、弁護士でもあった。
エドワード・パートリッジ	商人。帽子を製造する会社を経営した。

生徒は教義と聖約57：6-16に目を通す。以下の質問について話し合う。

- 主はこれらの4人にシオンの建設を助けるよう求められました。何をするように言われたでしょうか。
- 彼らには才能があり、訓練を受けていました。それらは、主の王国を築くためにどんなふう役に立ったでしょうか。
- 今日、中央幹部はどのような犠牲を払っているでしょうか（自分のそれまでの職業を捨てて、全時間主に仕える）
- 才能を伸ばしたり、訓練を受けたりするには、どうすればいいでしょうか。（音楽、筆記、その他の技能を研究する。学校ですべての科目に全力を尽くす。大学の学位を得るために努力する。見習いとして働くか、職業学校へ行く。どんな仕事でも熱心に、正直に働くことを身に付ける。）
- 教育や訓練を受けること、才能を磨くことは、神の王国を建設するために、今、どう役立っているでしょうか。将来はどう役立つでしょうか。

## 教義と聖約58章

### はじめに

エノクが福音を宣べ伝えるよう主に命じられてから、エノクの町が天に取り上げられるまでに約365年かかった（教義と聖約107：48-49；モーセ7：68参照）。教義と聖約58章が啓示されたのは、教会が設立されてからまだ1年半も経っていないときだった。教会員はシオンを建設する目的でミズーリへやって来た。しかしシオンは、初期の聖徒たちが生きている間には建てられなかった。それでも、彼らの働きと、彼らが受けた啓示のおかげで、主が来臨される前に、最後の神権時代の基が据えられた。

### 学び取るべき重要な福音の原則


- 預言者ジョセフ・スミスとほかの者たちがシオン建設の地について「証」するよう主から選ばれた。彼らはまた、物質的、霊的な基を据えた（教義と聖約58：1-13,49-59参照）。

- 艱難かんなんの中でも忠実に戒めを守る者たちは、主から永遠の祝福を約束されている（教義と聖約58：2 - 5参照）
- シオンを築くには、世に福音を宣べ伝え、主の来臨に備えて人々をステークに集める必要がある（教義と聖約58：8 - 11、44 - 48、61 - 65参照。教義と聖約45：64 - 67も参照）
- 主は主の律法によって教会員を裁くために監督を召された。教会員は各自が住む地の法律を守らなければならない（教義と聖約58：14 - 23参照。教義と聖約134：5、10 - 11；信仰箇条1：12も参照）
- 善いことを行い、人々に仕える機会を自分から探し求める。主や指導者から言われるまで待つのはよくない（教義と聖約58：26 - 29参照）
- 奉獻の律法の下で、会員は監督を通してすべてを主にささげた。そして、それに対して、適切な受け継ぎを得た（教義と聖約58：35 - 39、49 - 53参照）
- 悔い改めの要素の中には、告白と、罪を捨てることが含まれている。主は悔い改める者の罪を赦し、その罪を「もう」思い起こさせない（教義と聖約58：42 - 43参照。モーサヤ4：9 - 10；教義と聖約59：12も参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、105 - 106。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、130 - 135。

## 教え方の提案

 教義と聖約58：1 - 13、44 - 65。預言者ジョセフ・スミスあかしとほかの者たちがシオン建設の地について「証」するよう主から選ばれた。彼らはまた、物質的、霊的な基を据えた。（25 - 30分）

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を読む。「わたしたちはシオンを築き上げることを最大の目標としなければなりません。」（*History of the Church*、第3巻、390）以下の質問について話し合う。

- これまで教義と聖約を研究してきました。その中で、シオンについて何を学んだでしょうか。
- なぜシオンは、大切な研究テーマだと思いますか。

次のように言う。「主はシオンの町がどこに建設されるかを明らかにされました。そのとき、あなたもジョセフ・スミスと一緒にいたとします。あなたは次に何を知りたいと思うでしょうか。」教義と聖約58章の前書きを生徒が読む。当時の聖徒たちが何を知りたいと願ったかを調べる。この啓示は、聖徒たちがシオンの建設方法を理解し始めるきっかけとなった。そのことについて生徒に説明する。

教義と聖約58：1 - 13、44を読む。主がシオンについて預言者に語られた事柄を探す。以下の質問をする。

- ここには、シオンはまだ完全には確立されないと書かれています。どの言葉がそれを示しているのでしょうか。
- シオンを確立するときに、艱難かんなんが、ある役割を果たします。どんな役割でしょうか。

初期の聖徒の時代にシオンが確立されることはなかったが、彼らにはなすべき大切な業があったということについて説明する。6 - 13節をもう一度注意深く読む。主が初期の聖徒をシオンに集められた理由を見つける。以下の言葉について話し合う。

- 「あなたがたが従順であるため」（6節）
- 「あなたがたの心が来るべきことについて証あかしを述べるように備えられるため」（6節）
- 「あなたがたが〔シオンの〕基を据えるという誉れ……を与えられるため」（7節）
- 「あなたがたが……神のシオンが立つ地について証するといふ誉れを与えられるため」（7節）
- 「肥えたものの祝宴が貧しい者のために備えられるようにするため」（8節。9 - 11参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』132ページから、教義と聖約58：8 - 11の注解も参照）
- 「証あかしがシオンから……出るように」（13節）

次のように言う。「今日の教会員はシオンの大義を築き上げるために何をしよう求められているでしょうか。求められていることのリストを作ってください。」44 - 65節に目を通す。自分が作ったリストと一致する戒めを生徒が探す。「わたしたちは、なぜこの戒めを実行することができないのでしょうか。」スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「長年の間、わたしたちは、末日のシオンを築くことを一つの大きな目的として働き、希望を持ち、この御業に励むよう教えられてきました。そのシオンとは、愛と一致と平安のあるシオン、主の子供たちが一つとなっているシオンです。

わたしたちの将来の状態、わたしたちの努力のもたらす結果が、……ビジョンとしていつも真っ先に頭に浮んでくるようであればなりません。

心の中にこのビジョンを持つことは非常に大切です。しかし、単にシオンを定義づけ、どんなものなのか言い表しているだけでは、シオンを起こすことはできません。教会員一人一人が日々力を合わせて努力することによってのみ可能なのです。どんなに苦しくても、どんなに犠牲を要求されても、わたしたちはそれを行わなければならないのです。」「心の清い者となる」『聖徒の道』1978年10月号、127 - 129参照）

教義と聖約58：2 - 5。艱難かんなんの中でも忠実に戒めを守る者たちは、主から永遠の祝福を約束されている。（10 - 15分）

艱難かんなんという言葉を生徒が定義する。（艱難には、困難、試練、悩みという意味がある。）マリオン・G・ロムニー副管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「イエスはキリストとして、艱難かんなんに耐えなければなりません。自分が何者であるかを証明するためです。ですから、人はすべて、自分が何者であるかを証明するため

に艱難に耐えなければなりません。……

〔預言者ジョセフ・スミスが教えたように、〕『……すべての聖徒たち……預言者たちや使徒たちは、激しい艱難を切り抜けなければならなかったのです。……』(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 1938年編, 260 - 261) (Conference Report, 1969年10月, 58)

同年代の若者が経験する艱難のうち、最も大きいと思う事柄を生徒が書き出す。書き出したら、何を挙げたか話し合う。教義と聖約58:2-4を読む。主が艱難について言っておられることを見つける。次のように質問する。「これらの節から、人生で出会うチャレンジを乗り越えるために、どんな助けが得られるでしょうか。」

ローマ8:16-18; エテル12:6; 教義と聖約98:3, 12-15を生徒が読む。艱難を堪え忍ぶ人に主が約束されたことをリストアップする。プリガム・ヤング大管長が語った以下の言葉を読む。それが真実であることを証する。

「わたしたちはこの現世の生涯で経験する試練や苦難について論じています。しかし、この現世の短い歳月に信仰を守り通し、何千年、何百万年後に神の前において永遠の救いと栄光の冠を得た状態で、自分自身を振り返ったとしたらどうでしょうか。現世の生涯を振り返り、そこに失敗、試練、失意、悲嘆を見たとしたら……きっとこう言うことでしょう。『そんなものが一体どれほどのものだろうか。それらは一時のことにすぎなかった。そして今自分たちはここにいる。現世のわずかな時を忠実に生き、今は無限の知識と限りない進歩の過程の中で成長する力を得、父なる神とわれらの長兄イエス・キリストのほほえみと称賛を受けながら、永遠の命と栄光を享受している。』」(『歴代大管長の教え プリガム・ヤング』, 196)

**教義と聖約58:8-11, 44-48, 63-65。シオンを築くには、世に福音を宣べ伝え、主の来臨に備えて人々をステークに集める必要がある。(20-25分)**

生徒一人一人は、以下の聖句の中から一つの割り当てを受ける。ヨハネ4:13-14; ヨハネ4:31-34; ヨハネ6:47-51; 2ニーファイ9:50。割り当てられた聖句を生徒が読む。そして、以下の文章の空白に当てはまる言葉を考えて発表する。「イエス・キリストの福音は\_\_\_\_\_のようなものである。なぜならば、それは\_\_\_\_\_だからである。」生徒は空所に当てはまりそうな言葉をほかにも考えて発表する。教義と聖約58:8-11を読む。主は回復された福音を何にたとえておられるかを見つける。以下の質問をする。

- どんな意味で、福音は祝宴のようなものでしょうか。
- その祝宴には、だれが招かれているのでしょうか。
- ほかの人々をその祝宴に招くということについて、わたしたちはどう取り組んでいるのでしょうか。

この祝宴は「小羊の婚宴」(11節)、つまりイエス・キリストの再臨に関連している。生徒がそれを理解できるよう助ける。マタ

イ22:1-14; ルカ14:16-24; 黙示19:9を読む。これらの聖句から婚宴と再臨について分かることについて話し合う。次のように質問する。「再臨に自分を備えるために、何をしたらいいでしょうか。ほかの人を再臨に備えさせるためにすべきことは何ですか。」教義と聖約58:44-48, 63-65を読む。主が僕たちに、シオンを築き、再臨に備えさせるために言われたことを調べる。それぞれの戒めがなぜ大切かを生徒が説明する。



**教義と聖約58:26-29 (マスター聖句, 教義と聖約58:26-27)。善いことを行い、人々に仕える機会を自分から探し求める。主や指導者から言われるまで待つのはよくない。(10-15分)**

生徒は教義と聖約58:26-29の内容を自分の言葉で書く。言葉の意味が分からなければ生徒用学習ガイドを参照する(「聖句を理解する」の教義と聖約58章参照)。以下の質問について話し合う。

- 「熱心に……携わ〔る〕」とはどんな意味でしょうか(27節)。
- 何が「善いこと」かを知るにはどうすればいいでしょうか(モロナイ7:13-16参照)。
- 善いことを行うために、わたしたちはどんな「力」が与えられているのでしょうか(28節)。

生徒は二人一組になって、この聖句の教えに関する物語を二つ作る。一つは良い例、もう一つは悪い例の物語にする。物語の中の幾つかを分かち合う。

十二使徒定員会会員時代にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った以下の話を読む。

「通常、主は成し遂げるべき目標の概略と、従うべき指針の幾つかをお与えになりますが、細かい事柄や方法のほとんどについては、わたしたちが決定するよう望んでおられます。この方法と進め方を決めるためには、普通、研究し、祈る必要があります。また、御霊の導きを受け、従えるように生活する必要があります。霊的にあまり発達していない人々(例えばモーセの時代の人々がそうでした)は、多くのことを命じられなければなりません。今日、霊的に研ぎ澄まされた人は、目的を見据えて、主と預言者から与えられている指針を検討し、それから祈りの気持ちで行動します。『すべてのことを』命じられる必要はないのです。この姿勢によって、人が神の性質を身に付けるために備えられます。……

時々主は、子らが自発的に行動するのを期待しながら待っておられます。しかし、自ら行動を起こさないとき、主の子らはより大きな報いを失うのです。そして主は、その事柄をすべて中断し、子らに結果を味わわせられることでしょう。あるいは、その事柄をどう行うべきかについて、子らに具体的に説明されることもあるでしょう。たいていの場合、残念なことですが、具体的に説明していただければ、受ける報いは小さくなっていきます。」(Conference Report, 1965年4月, 121-122)

熱心に善いことに携わるように生徒を励ます。





**教義と聖約58：42 - 43 (マスター聖句) 悔い改めの要素の中には、告白と、罪を捨てること含まれている。主は悔い改める者の罪を赦し、その罪を「もう」思い起こされない。(15 - 20分)**

一人の生徒が、できるだけ遠くまでジャンプする。2, 3回ジャンプを繰り返す。最長の着地点にしるしをつける。次に、重いリュックサックを背負って、再び、2, 3回ジャンプする。そして、最長の着地点にしるしをつける。

次のように質問する。「このことと日常生活の中で犯す罪とは、どんな点が似ているのでしょうか。」教義と聖約58：43を生徒が読む。罪の重荷を降ろすためにする必要があることを調べる。捨てるという言葉の意味を話し合う。生徒が告白の原則を理解するようにする。

十二使徒定員会会員時代にスペンサー・W・キンボール長老が語った以下の言葉を紹介する。

「たとえどんな人であろうと、悔い改めないかぎり、どんな罪も決して赦されません。また、言い訳したり正当化したりしないで、心をさらけ出し、悪いと知りながら行ったということや、自分に弱点があるということ認めないかぎり、悔い改めているとは言えません。」(Love versus Lust, Brigham Young University Speeches of the Year [1965年1月5日], 10)

リチャード・G・スコット長老はこのように語った。

「皆さんは自分の罪をいつも主に告白する必要があります。〔性的〕不道徳のような重大な背罪であれば、監督やステーク会長に告白しなければなりません。しかし、ぜひ理解していただきたいのは、告白が悔い改めそのものではないということです。告白は、確かに欠くことのできない段階ですが、それだけでは不十分なのです。小さな過ちだけに触れた部分的な告白は、もっと重大な、隠れた罪を取り除く助けとはなりません。赦しに不可欠なのは、行ったすべてのことを、自発的に、主に、また必要な場合は主に召された判士である神権指導者に、すべて打ち明けることなのです。」(「赦しを得る」『聖徒の道』1995年7月号, 82)

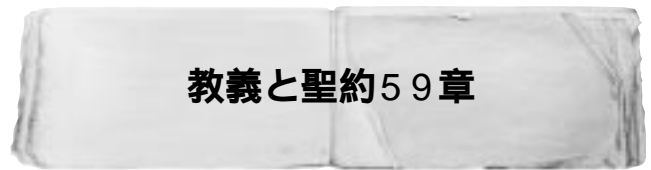
60節を読む。以下の質問をする。

- ザイバ・ピーターソンは自分の罪をどうしたでしょうか。
- 「彼は自分の罪を……隠そうと考えている」とは、どんな意味でしょうか。
- 教義と聖約121：37を読んでください。自分の罪を隠す人には、どんなことが起きるでしょうか。
- 人々は、どんなふうにして自分の罪を隠そうとしているでしょうか。
- 自分の罪を本当に隠すことができるでしょうか。

ヘブライ語の「覆う」という言葉は「覆う」という語に由来していると説明する。教義と聖約19：16 - 20；58：42 - 43を生徒が読む。イエス・キリストの贖罪によって、わたしたちの罪がどのように「覆われる」のかを調べる。

もし、ある罪について、告白すべきかどうか分からなければ、そのことについて監督に尋ねるべきであると教える。監督はどうすべきかはっきりと教えてくれる。中には「もし、罪を告白したら、監督からどう思われるだろう」と心配する生徒もいる。その問題について話し合うために監督をクラスに招くとよい。あるいは、ゴードン・B・ヒンクレー大管長が副管長時代に語った以下の話を読む。

「皆さんには監督がいます。監督は、聖なる神権の権威の下に聖任され、その職を行使する際に主から靈感を受ける資格が与えられています。監督は経験と思いやりのある人で、いつもワードの青少年に対して愛を抱いています。監督は、秘密を厳守すべきことを理解している神の僕です。皆さんの問題を解決する助けを与えてくれます。恐れずに監督に話して下さい。」(「欺かれてはならない」『聖徒の道』1984年1月号, 82)



## 教義と聖約59章

### はじめに

主はシオンの町の場所を明らかにされた(教義と聖約57：1 - 3参照)。そして、聖徒がシオンに集合するために土地を購入するよう預言者に指示を与えられた(教義と聖約58：44 - 58参照)。そして、その後間もなく59章を啓示された。この啓示には聖徒がシオンを築くために従わなければならない多くの戒めが含まれている。主はこれらの戒めに従う者たちに対して、「地の良いもの」(3節。16 - 20節参照)、「時にかなった数々の啓示」(4節)、「世の汚れに染まら〔ない〕」ための能力(9節)、「この世において平和を、また来るべき世において永遠の命を」(23節)と与えると約束された。

今日わたしたちは、初期の教会員が据えた基の上に築き上げることを継続している。ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように証した。

「わたしは、この非常に不確実な世界にあって、すばらしい将来を予見しています。もしわたしたちが自分たちの価値観を捨てることなく、わたしたちが受け継いだものの上にさらに打ち建てるならば、また、主の前に従順に歩み、ひたすら福音の教えに従って生活するならば、わたしたちは信じられないようなすばらしい方法で祝福を受けるでしょう。わたしたちは、特別な幸福に至る鍵を見つけた特異な民として、世間の注目を浴びるでしょう。」(「将来に目を向けて」『聖徒の道』1998年1月号, 79)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の戒めに従う者はこの世において物質的、霊的祝福を、また来るべき世において永遠の命を受ける(教義と聖約59：1 - 8, 15 - 20, 23参照。詩篇37：9；モーサヤ2：41；教義と聖約14：7も参照)。
- 神はわたしたちが神に感謝を表すとき、また、戒めを守ると


きに喜ばれる（教義と聖約59：7，21参照。モーサヤ2：20 - 22も参照）。


- 安息日は休息と礼拝の日である。安息日を清く保てば、罪を克服し、誘惑に屈しない力を得ることができる（教義と聖約59：9 - 14参照。イザヤ58：3 - 14も参照）。
- 神が世界を創造されたのは、人が利用し、益を得るためである。わたしたちは思慮分別をもって地の資源を使うべきである（教義と聖約59：16 - 20参照。1ニーフアイ17：36；教義と聖約49：19も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 105 - 106。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 136 - 141。

## 教え方の提案

 教義と聖約59：9 - 20を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』9「わたしの聖日に」（17：26）を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

 教義と聖約59章。主の戒めに従う者はこの世において物質的、霊的祝福を、また来るべき世において永遠の命を受ける。（25 - 30分）

一人の生徒が、以下の物語を読む。この物語は、中央初等協会会長を務めていたパトリシア・P・ピネガー姉妹が語ったものである。ある少年が、たこを揚げるために父親と一緒に山の頂上に行ったときのことである。

「その子はとても幼い子供でした。その子はたこを揚げるのは初めてでした。父親はその子を助け、何度か試みた後、たこは揚がりました。その子は走り、たこ糸を伸ばし、間もなくたこは空高く舞い上がりました。その幼い子供はとても喜びました。美しいたこでした。たこが次第に高く揚がるにつれて、とうとう糸が足りなくなってしまいました。その子は父親に言いました。『お父さん、糸を切って、たこを飛ばしてあげようよ。もっともったこが高く揚がるのを見たいよ。』

すると父親は言いました。『糸を切ったらたこは揚がらないよ。』

その子は言いました。『揚がるよ。糸があるから、揚がれないんでしょ。』父親は息子にナイフを渡しました。そこで、その子は糸を切りました。その途端に、たこはバランスを失い、右に左に揺れて、とうとう岩山に落ちてしまいました。その子には理解し難いことでした。糸がたこを抑えつけていると思っていたからです。』（「平和と希望と導き」『リアホナ』2000年1月号，80）

以下の質問をする。

- 戒めとたこの糸は、どこが似ているでしょうか。
- 教義と聖約59：4を読んでください。主は忠実な人に何を与えると約束しておられるでしょうか。

- 教義と聖約130：21を読んでください。より多くの律法（戒め）を受けるとは、なぜ祝福なのでしょう。
  - 神から与えられた戒めは、どんなふうに神の愛を表しているでしょうか。
- 大管長会が与えている以下の勧告を読む。

「神の戒め（標準）は揺らくことなく信頼できるものです。神の戒めに従うなら、永遠の命という賜物も含めて、天の祝福を数限りなく受けることができます。」（『若人のために』, 6）

黒板に「戒め」と「結果」という見出しを書く。教義と聖約59：5 - 13を生徒が読む。「……しなければならぬ」と「……してはならない」という言葉すべてにしるしをつける。これらの戒めを先ほど黒板に書いた「戒め」という見出しの下に書き出す。8節を読む。以下の質問をする。

- 「打ち砕かれた心」と「悔いる霊」とは、どんな意味でしょうか。（生徒用学習ガイドの教義と聖約20章の用語の注解を参照。生徒用学習ガイドの「聖文を理解する」教義と聖約59：8から、ブルース・R・マッコンキー長老の言葉も参照。）
- 打ち砕かれた心と悔いる霊を持つことは、なぜ大切だと思いますか。

黒板に書き出されている戒めの一つ一つについて話し合う。もし地域の人々がその戒めに従ったら、社会がどのように変わるかについて話し合う。

14 - 24節を生徒が読む。戒めを守る場合と守らない場合の結果にしるしをつける。黒板の「結果」の下にそれらを書き出す。次のように質問する。「これらの結果の中で、あなたにとって最も大切なものはどれでしょうか。なぜですか。」

23節を読む。以下の質問をする。

- 「この世において平和」を受けるとはどんな意味ですか。
- 現世で平和を得ることは、あなたにとってどれほど大切ですか。
- 「来るべき世において永遠の命」を受けるとはなぜ大切ですか。

一人か二人の生徒に、戒めを守るにより、生活の中で平和を受けた経験について話すよう勧める。または、あなたがそのような経験を話す。リチャード・G・スコット長老の以下の証を分かち合う。「主の戒めに忠実に従うことにより、生活の中に神の力を受けられるようになります。」（「戻る道を見いだす」『聖徒の道』1990年7月号，82）

**教義と聖約59：7 - 21。神はわたしたちが神に感謝を表すとき、また、戒めを守るときに喜ばれる。（10 - 15分）**

生徒全員に小さなキャンディーを一つずつ与える。生徒は許可があるまで食べない。全員に与えたら、もう一度生徒の間を歩いて、一つ目のときに感謝を表した生徒に二つ目のキャンディーを与える。次のように質問する。「なぜ二つもらえた人がいたのでしょうか。」教義と聖約59：7，21と一緒に読む。以下の質問をする。

- 感謝することはなぜ大切でしょうか。

- わたしたちは、何に対して感謝すべきでしょうか。
- これらの節によれば、神は感謝しない人たちを、どう感じてもらえるでしょうか。

モーサヤ2：20 - 22を生徒が読む。神から与えられている賜物の中で、わたしたちが普段気に留めていない賜物には何があるか、生徒に説明する。次のように質問する。「神はわたしたちのために多くのことをしてくださっています。そのすべてに対して、神はわたしたちに何を求めておられるでしょうか。」

教義と聖約59：7 - 19を生徒が読む。その中には、ほかの戒めよりも詳しく述べられている戒めがある。その戒めを探す。以下の質問について話し合う。

- わたしたちが安息日をどう思っているか、また、安息日に何を行っているかを振り返ってみてください。それらは、主への感謝をどう表していますか。
- 安息日に行っていることの中で、何が主への感謝に欠けていますか。
- 教義と聖約20：77, 79を読んでください。どうすれば安息日ごとに主を「覚えている」ことができるでしょうか。

七十人定員会会員を務めたリグランド・R・カーチス長老の以下の言葉を読んで締めくくる。「安息日をいかに守るかによってわたしたちが天の御父に対してどのような思いを抱いているかが分かります。」(「幸福は家庭で作られる」『聖徒の道』1991年1月号, 13)



**教義と聖約59：9 - 14 (マスター聖句。教義と聖約59：9 - 10) 安息日は休息と礼拝の日である。安息日を清く保てば、罪を克服し、誘惑に屈しない力を得ることができる。(20 - 25分)**

以下の質問を黒板に書き出す。生徒は数分間で、答えを紙に書く(無記名とする)。それから、紙を回収する。

- 安息日の目的は何でしょうか。
- 安息日にふさわしい活動にはどんなものがあるでしょうか。
- 安息日にふさわしくない活動にはどんなものがあるでしょうか。

教義と聖約59：9 - 14を生徒が読む。安息日の目的を明らかにしている語句にしるしをつける。回収した生徒の答えから幾つかを読む。それらが59章と一致しているかどうかを生徒が判断する。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の言葉を読む。

「主の安息日が、今、娯楽の日になりつつあります。テレビでゴルフやフットボールを観戦する日となり、店やスーパーマーケットで売り買いをする日となっています。わたしたちは、一部の批評家が考えるように、アメリカの主流に向かって動いているのでしょうか。この点については、わたしはそうした傾向を感じています。末日聖徒が大半を占めるとされる地域で、スーパーマーケットの駐車場が日曜日になると満杯になるという現象は、それを如実に物語っています。

わたしたちの将来への強さは、また、世界中で教会を成長させたいという決意は、もしこの重要な問題で主の御心

を踏みにじるようなことがあれば、必ず弱まっていきます。主はいにしへの時代、この点について明確に宣言されました。また、現代の啓示の中でも繰り返されました。わたしたちは、主の言われたことを無視して、罰を受けずに済むと考えてはなりません。」(「将来に目を向けて」『聖徒の道』1998年1月号, 78 - 79)

以下の質問について話し合う。

- 「世の汚れに染まらず」とはどのような意味だと思いますか。(9節)
- 安息日をどう過ごせば、世の汚れに染まらずに済むでしょうか。
- 安息日を清く過ごすことは、「全世界で教会を成長させ〔る〕」ために、どんなふう to 助けとなるでしょうか。

大管長会の以下の勧告を分かち合う。それから、それについて話し合う。

「主はわたしたちに安息日を与え、それを神聖に保つように命じておられます。この神聖な日には主を礼拝し、また家族との結びつきを強め、人を助け、さらに神に近づくように努力してください。教会の集会の前後を問わず、服装は安息日を尊ぶ精神を示すものにしてください。

安息日に適した活動はたくさんあります。しかし、安息日は単なる休日ではありません。安息日には娯楽を追い求めたり、お金を使ったりしないでください。

仕事を探すときには、求人先の人に、日曜日には教会の集会に出席し、安息日を聖く過ごしたいという自分の気持ちを話してください。多くの雇用者はそのような信念を持つ従業員を高く評価しています。日曜日の労働を求められるような仕事は選ばないように努力してください。」(『若人のために』, 17)

## 教義と聖約60 - 62章

### はじめに

1831年8月8日に与えられた教義と聖約60章の中で、主はシオンからオハイオへ戻る旅について長老たちに勧告を与えられた。主はまた、預言者ジョセフ・スミスに、ミズーリ州セントルイスへ行くよう命じられた。預言者とほかの10人の者たちは、翌日インディペンデンスを出発した。8月9日、一行はマクイルウェインズ・バンドで野営した(インディペンデンスから約165キロ。教会歴史地図5〔英文〕参照。『聖句ガイド』「地図11」, 347参照)。翌朝、預言者は61章を受けた。その啓示の中で、終わりの時には、水の上に危険があると警告を受けた。8月13日、預言者とその一行が旅を続けていると、ミズーリ州ジャクソン郡へ向かう数人の宣教師に出会った。この喜ばしい再会のときに、預言者ジョセ

フ・スミスは62章を受けた。この再会について主は「あなたがたの中の忠実な者が守られてミズーリの地でともに喜び合う」という約束の成就であると言われた（教義と聖約62：6）。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主はわたしたちに、恐れたり争ったりすることなく、人々に福音を分かち合うよう望んでおられる。忠実でない者は御霊の祝福を失う（教義と聖約60：1-3, 7-8, 13-15参照）。
- 主はわたしたちが主に導きを求めることを望んでおられる。しかし、自分の問題を解決するためにできる限りのことを行うようにも期待しておられる（教義と聖約60：5；61：22；62：5参照；エテル2：18-3：6も参照）。
- サタンは地上で多少の力を振るうことを許されている。しかし、主はあらゆる力を持っておられ、義人を守ることがおできになる（教義と聖約61：4-6, 10-19；教義と聖約62：6参照。1ニーファイ22：15-17も参照）。
- わたしたちが真理を証するとき、その証は天に記録され、天使たちは喜び、そしてわたしたちは罪の赦しを受ける。（教義と聖約61：33-34；62：3参照。エゼキエル33：1-11；ヤコブの手紙5：19-20；教義と聖約4：2, 4も参照）
- 主はわたしたちの弱点を知っておられる。また、誘惑に負けないようにわたしたちを強める方法を知っておられる（教義と聖約62：1参照。2コリント12：7-10；エテル12：27も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 107 - 108。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 142 - 145。

## 教え方の提案

教義と聖約60 - 62章。主は宣教師に勧告をお与えになる。（15 - 25分）

60 - 62章はミズーリから、家族の待つオハイオへ戻る宣教師の一行に与えられたものである（「はじめに」を参照）。各章には宣教師に与えられた勧告が含まれている。以下の活動の中から、すべて、または一部を選んで行う。これらの章に記されている主の勧告を理解して、応用できるよう生徒を助ける（注意：このレッスンに要する時間は採り上げる活動の数によって異なる。）

- 活動1．教義と聖約の以下の節を生徒が読む。60：4, 7；61：1-2, 6, 10, 33-34, 36-39；62：1, 3, 9。これらの節から分かったことに基づいて、宣教師に励ましの手紙を生徒が書く。何人かの生徒に、書いた手紙を紹介するよう勧める。
- 活動2．「宣教師として成功するには」というタイトルでパンフレットを書くように、生徒が依頼されたと仮定する。このパンフレットは教義と聖約の以下の節に記されている原則に基づいていなければならない。60：2-3, 7, 13-14；61：3, 8-9, 35, 38-39；62：1-3, 6。これらの聖句を生徒が読む。その中から、主が与えられた原則を見つける。

注意：水の上を旅してはならないという勧告は、当時の宣教師のために与えられた特別な規則である。今日の宣教師にも、今の時代の宣教師にとって特に必要な規則が与えられて

いる。もし初期の宣教師が、主の警告を無視して水の上を旅するとしたら、愚かなことであっただろう。同じように、主が今の時代に命じておられることに従わなければ、愚かなことである。水に対するのろいについては、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（143 - 144）から、教義と聖約61：5 - 19の注解を参照する。

- 活動3．生徒は以下の状況を想像する。慎太郎はセミナーのクラスで、先生が「すべてのふさわしい若い男性は伝道に出るべきです」と言ったとき、空想にふけていた。クラスが終わると、慎太郎はあなたにこう言った。「伝道に行くようにいつも言われているけど、伝道に出るといったいどんないいことがあるのかなあ。」教義と聖約60：7；61：2, 33-34；62：1, 3を生徒が読む。そして、慎太郎に教えるために「どんないいことがあるか」をまとめる。

伝道活動についてゴードン・B・ヒンクレイ大管長が述べた以下の約束を紹介して、締めくくる。

「あなたは犠牲を払っています。しかし、それは犠牲ではありません。なぜならば、あなたが失う以上のものを得るからであり、与える以上に受けるからです。やがてそれは、ばく大な報酬を得るための投資だということが分かるでしょう。それは犠牲ではなく祝福であると分かるようになるでしょう。宣教師としてこの業に奉仕し、最大限の努力を払っている人は、犠牲を払うことについて思い煩う必要はありません。なぜならば、その人たちは、生きていかざり、祝福された生活を送るからです。わたしはこのことをまったく疑っていません。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley*, 356）

教義と聖約60：1-3, 7-8, 13-15。主はわたしたちに、恐れたり争ったりすることなく、人々に福音を分かち合うよう望んでおられる。忠実でない者は御霊の祝福を失う。（20 - 25分）

マッチをかざして見せる。マッチにはどんな力が秘められているか聞く。（火をつけることができる。火には、明るくしたり、暖かくしたりする力がある。また、ものを焼却する力もある。）次のように質問する。「マッチから火の力を得るには、どんな条件が必要でしょうか。」教義と聖約60：2を生徒が読む。タラントとマッチの似ている点を生徒が説明する。

マタイ25：14-30を読む。タラントを軽んじているとどうなるかを見つける。以下の質問をする。

- タラントを活用する人のことを、主はどう思っておられるでしょうか。どの言葉がそれを表していますか。
- タラントを隠す人のことは、主はどう思われるでしょうか。教義と聖約60：1-3, 13を読む。以下の質問をする。
- これらの節で述べられている「タラント」とは、何を指しているでしょうか。（福音を分かち合うこと。）
- これらの節によれば、福音を宣傳伝えるために「口を開くこと」を妨げるのは、何でしょうか。（「人を恐れくこと」、「時間を無駄に過ごすこと」）
- タラントを「隠して〔いる〕」人に、主はどんな警告を与えられたでしょうか。（その人からタラントが取り去られる。）
- この警告は、現在どう当てはまるでしょうか。

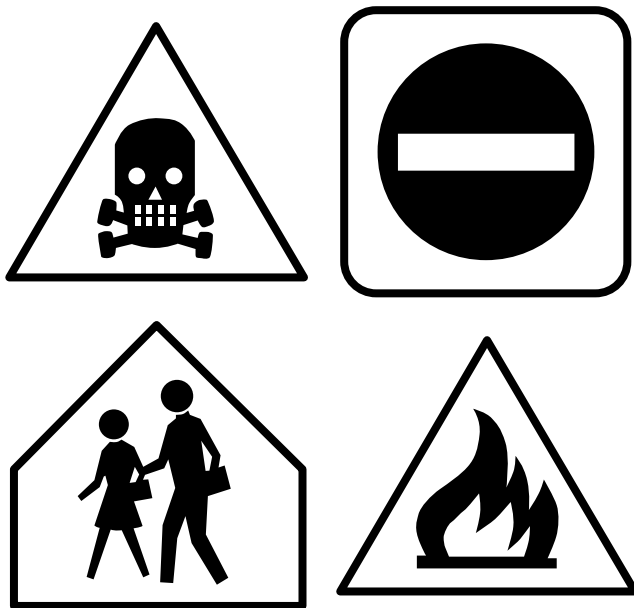
- 福音を分かち合うという責任を果たすために、わたしたちにできることを幾つか挙げてください。

2節の余白に「教義と聖約3：7-8」と記入するよう生徒に勧める。また、13節の余白に「教義と聖約68：31-32」と記入するよう勧める。これらの相互参照聖句を読む。生徒はこれらのチャレンジに打ち勝つ方法を探す。

全員で教義と聖約60：7を読む。タラントを使って福音を宣傳する者に約束されている祝福を見つける。約束されたこれらの祝福を得るために、恐れに立ち向かってタラントを使うだけの価値があるかどうか話し合う。以下のゴードン・B・ヒンクレー大管長の言葉を読む。

「皆さんは、この教会の会員として、この教会が目指している大義において指導者にならなければなりません。恐れに負けて努力を怠ることのないようにしてください。...すべての真理の敵である悪魔は、皆さんの心に、『努力したくない』という気持ちを与えたいと思っています。そのような恐れを退けてください。真理と義と信仰の大義に雄々しくあってください。今、これを皆さんの生き方にしようと決意したら、再びそれを決意する必要はないのです。」(“Stand Up for Truth,” *Brigham Young University 1996-97 Speeches* [1997年], 26。「生ける預言者の言葉」『聖徒の道』1998年6月号, 26参照)

**教義と聖約61：4-6, 13-19。サタンは地上で多少の力を振るうことを許されている。しかし、主はあらゆる力を持っておられ、義人を守ることがおできになる。(15-20分)**



黒板に警告を表す標識を幾つか描く。(例えば、「毒」、「立ち入り禁止」、「横断歩道」など)以下の質問をする。

- これらの標識はどんな目的で使われますか。
- これらの標識に従わないと、どんなことが起こるでしょうか。

一人の生徒が『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(143ページ)から、61章の歴史的背景を読む。生徒とともに教義

と聖約61：4-6, 13-19を読む。主が宣教師に与えられた指示と、それをお与えになった理由を見つける。必要であれば、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(143-144ページ)から、教義と聖約61：5-19の注解を参照する。

水の上を旅してはならないという勧告は当時の宣教師たちに向けられたものであって、彼らが直面していた危険を避けるよう助けるためであったことを教える。パンフレット『若人のために』に生徒が目を通す。その中から、主が現代人の直面している危険は何であると宣言しておられるかを見つける。(もしこのパンフレットが入手できなければ、現代の危険を生徒が挙げる。)以下の質問をする。

- わたしたちが直面している危険は、主が預言者の一行に警告された水と、どこが似ているでしょうか。
- 教義と聖約61：13によれば、主が警告や戒めをお与えになる理由は何でしょうか。

十二使徒定員委員会時代にジョージ・アルバート・スミス長老が語った以下の証<sup>あかし</sup>を紹介して、レッスンを締めくくる。

「主の領域とルシフェルの領域とを分けるはっきりとした境界線が存在します。もし、わたしたちが主の領域の中で生活していれば、ルシフェルはそこまでやって来て、影響を及ぼすことはできません。しかし、わたしたちが一度その境界線を越えて、ルシフェルの領域に入ってしまったなら、わたしたちはルシフェルに支配されてしまうのです。主の戒めを守ることにより、わたしたちは主の領域の中で安全に暮らすことができます。しかし、主の教えに従わなければ、わたしたちは自分の意志で誘惑の領域に入り込み、そこに絶えず存在する滅びを身に招いてしまうのです。この事実を知っているわたしたちは、いついかなるときも主の領域で生活するよう熱心に努めるべきです。」(“Our M.I.A.,” *Improvement Era*, 1935年5月号, 278。アンヘル・アブレア「なぜ自分は走っているのだろうか」『聖徒の道』1993年9月号, 24で引用)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように教えた。

「決して越えてはならない一線があります。それが、個人の清さと罪とを区別する線です。その線がどこにあるかということについては、詳細に説明するまでもないでしょう。皆さんは知っているはずですが、何度も何度も繰り返し教えられてきたからです。皆さんの心の中には良心があります。主の側にとどまっています。」「わたしは清く、汚れがありません」『聖徒の道』1996年7月号, 58)

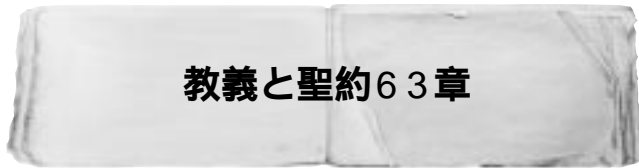
**教義と聖約62：1。主はわたしたちの弱点を知っておられる。また、誘惑に負けないようにわたしたちを強める方法を知っておられる。(10-15分)**

次の言葉は正しいか、間違っているかを生徒が考える。「多くの罪を犯してきた人は、ほとんど罪を犯したことの無い人よりも、もっと上手に、誘惑に打ち勝つよう人を助けることができる。」以下の言葉を紹介する。

「善良な人々は誘惑の意味をよく理解していない、という愚かな考えが広まっている。これは明らかに偽りである。誘惑を退けるために努力した人だけが、誘惑がどれほど強い力を持っているかを知っている。……風の強さを知っているのは風に向かって歩こうとした人であって、横になっている人ではない。」(C. S. Lewis, *Mere Christianity* [1952年], 109 - 110)

教義と聖約62:1を読む。わたしたちが誘惑を受けているときに最もよく助けることのできる人はだれかを探す。アルマ7:11-12を生徒が読む。イエス・キリストはわたしたちが誘惑を受けているときの気持ちを理解して、その誘惑から救い出すことがおできになる。生徒は理由を説明する。

1コリント10:13;アルマ13:28-29;教義と聖約20:22を生徒が読む。これらの聖句の教えに基づいて、誘惑に打ち勝つ方法を紙に書く。



## はじめに

「シオンの町の中心となる場所(ミズーリ州ジャクソン郡)は啓示によって指定された。教会員はシオンに関連して自分たちがなすべきことを知りたいと願っていた。このため、主は御自身の目的を聖徒たちに知らされた。聖徒たちが啓示された場所へ集合すること、これが主の御心であった。63章22節と23節で述べられているように、これは戒めとみなされてはいなかった。主は従順なすべての人々の益となるように啓示をお与えになる。しかし主は、もしすべてのことを命じてしまうならば、一部の会員たちが不従順によって自らに罰を招くことを御存じである。したがって、主はこの啓示について、主の御心に従うか従わないかを個人に任せておられる。主を愛する者たちは、あたかもそれが戒めであるかのように、主の御心に従うであろう。」(ロイ・W・ドキシシー, *The Doctrine and Covenants Speaks*, 全2巻 [1964 - 1970年], 第1巻, 491)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の僕は、悔い改めなければ再臨の時に滅ぼされると悪人に警告する(教義と聖約63:2-6, 12-17, 32-37, 54-59参照)
- しるしや奇跡によって信仰は生じない。しるしや奇跡は信仰により、そして神の御心に従って現される(教義と聖約63:7-12参照。マルコ16:17-18も参照)
- 終わりの時に、義人は悪人から分けられ、シオンのステークに集められて安全を得る。主は再臨の時に、悪人を滅ぼし、福千年の到来を告げられる(教義と聖約63:24-54参照。教義と聖約45:64-71;信仰箇条1:10も参照)
- イエス・キリストの御名は神聖であり、注意して口にすべき

である(教義と聖約63:60-64参照。出エジプト20:7;詩篇111:9;教義と聖約6:12も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 107 - 108。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 146 - 148。

## 教え方の提案

教義と聖約63:2-17, 32-37, 54-59。主の僕は、悔い改めなければ再臨の時に滅ぼされると悪人に警告する。(20-25分)

付録(000ページ参照)から、エベレスト山の写真を見せる。以下の質問をする。

- この山に登りたい人はどれくらいいますか。
- この山に実際に登るとします。自力で登りたいですか。それとも熟練したガイドと一緒に登りたいですか。それはなぜでしょうか。

教義と聖約1:14-16を生徒が読む。そしてエベレスト山に登ることとどんな関係があるかを見つける。以下の質問をする。

- わたしたちが主の道を歩むために、主はガイドとしてだれをお遣わしになったでしょうか。
- 彼らはどんな進路を示しているでしょうか。
- ある人たちはほかの進路に従います。どんな進路でしょうか。
- 自分の方法で歩む人々は、どんな結末を迎えるでしょうか。

63章の以下の5つの聖句から、各生徒に聖句を一つずつ割り当てる。2-6節, 7-12節, 13-17節, 32-37節, 54-59節。割り当てられた聖句を生徒が読む。そして、以下の質問の答えを探す。生徒の見つけた答えについて話し合う。

- これらの聖句には主の方法について何が書いてあるでしょうか。
- これらの聖句には人の方法について何が書いてあるでしょうか。
- 主の方法でなく、自分の方法を選ぶ人々にはどんな結果が待ち受けているでしょうか。

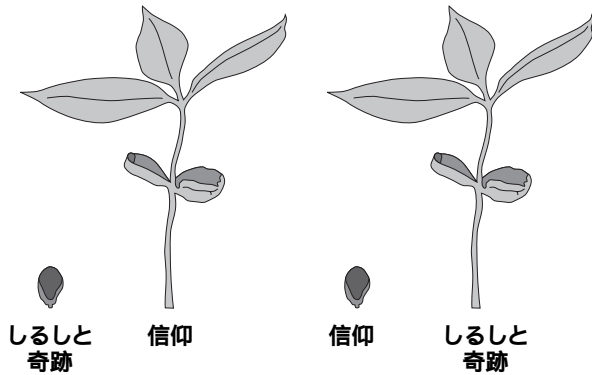
十二使徒定員会会員であるL・トム・ペリー長老が語った以下の言葉を紹介する。

「聖霊の賜物はふさわしく生活する人々に力と慰めを与えます。わたしたちは天父の永遠の祝福にあずかるための道を一人で探すではありません。この知識によって、わたしたちはどれほど大きな慰めを得るのでしょうか。わたしたちは何を読むべきか、何を見るべきか、何を聞くべきか、どのように生活すべきかを判断するために、人が作った基準に頼る必要はありません。わたしたちに必要なのは、聖霊を常に伴侶とするためにふさわしい生活を送ることです。そして生活の中でもたらされる聖霊の励ましに従うための勇気を持つことです。」(「善を行うように導く御霊」『聖徒の道』1997年7月号, 80参照)

**教義と聖約63：7 - 12。しるしや奇跡によって信仰は生じない。しるしや奇跡は信仰により、そして神の御心に従って現される。**

(15 - 20分)

黒板に以下の絵を描く。



どちらの絵が正しいと思うか生徒に聞く。教義と聖約63：7 - 9を生徒が読む。そして、質問の答えを見つける。生徒が聖典から、しるしによって信仰は生じないことを示す例を探す。(例としては、天使を見た後につぶやいたレーマンとレムエル〔1ニーファイ3：31；17：45参照〕；祭司長の僕の耳をいやされるのを見た後にイエスを捕らえた祭司長と宮守がしら〔ルカ22：50 - 54参照〕；エジプトと荒野で奇跡を目にした後に背いたイスラエルの民〔民数14：22 - 23参照〕などが考えられる。)

教義と聖約63：7 - 12を生徒が読む。以下の質問の答えを見つける。

- しるしを求める者は、しるしを見るのでしょうか(モルモン書ヤコブ7：13 - 15；アルマ30：43, 48 - 50参照)。
- しるしを求める者はどれほど前からいたのでしょうか。
- しるしが与えられるのはなぜでしょうか。
- ある人たちはしるしを求めます。それはなぜでしょうか。
- しるしを求めることが信仰を強める方法ではないとすれば、信仰は何によって強められるのでしょうか。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』146 - 147から、教義と聖約63：7 - 12の注解を参照)

**教義と聖約63：24 - 54。終わりの時に、義人は悪人から分けられ、シオンのステークに集められて安全を得る。主は再臨の時に、悪人を滅ぼし、福千年の到来を告げられる。(30 - 35分)**

次のように言う。「1831年に開かれた総大会に出席しているとします。ジョセフ・スミスはここで、ミズーリへ移動する時が来たことを発表します。預言者は次の二つの委員会で奉仕する人を募っています。シオンの不動産および土地開発委員会とシオンの広報委員会です。」生徒が働きたいと思う委員会を選び、委員会を組織する。以下の指示を委員会に与える。

**シオンの不動産および土地開発委員会：**教義と聖約63：24 - 31を読む。ミズーリへの集合について主が言われたことを把握する。土地を取得するための方法を二つ挙げる。これらの方法の長所と短所を書き出す。どちらの方法を推薦するか、またその理由をクラスに報告する。

**シオンの広報委員会：**一部の聖徒は、家や隣人を捨ててミズーリへ移動することをためらうかもしれない。教義と聖約63：32 - 37に記されている主の勧告に基づいて、家族が移動することを決

意するよう宣伝キャンペーンの実施計画を立てる。このキャンペーンの詳細をクラスに報告する。

生徒が任務を果たすための時間を与え、学んだ事柄について話し合う。神の王国を建設する場所はミズーリだけではないことを説明する。預言者たちは、全世界のシオンのステークに集合するようわたしたちに求めている。(ハロルド・B・リー、「シオンのステークを堅くせよ」『聖徒の道』1973年10月号、467参照) わたしたちは主の降臨に備えるため、いずれの地であれ、わたしたちが住んでいる地に神の王国を築くべきである。クラス全体で教義と聖約63：20 - 21, 49 - 54を研究して、生徒がその日を待ち望む気持ちを持てるよう助ける。以下の質問と資料を参考に研究するとよい。

- 主が再び来られるとき、地球はどうなるでしょうか。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』147から、教義と聖約63：20 - 21, 49 - 51の注解を参照)
  - 再臨の前に、「主にあって死ぬ」人々は祝福を受けます。それはどんな祝福でしょうか。(49節参照)
  - 主が来られるとき、生きている人々は変化します。それはどんな変化でしょうか。(教義と聖約101：24 - 34参照)
  - 51節の「一瞬のうちに変えられる」とはどんな意味でしょうか。(ブルース・R・マッコンキー長老はこのように記しています。「ほとんど瞬間的に行われるとはいえ、死すべき体から不死へのこの変化は、死であり復活である。」〔*The Mortal Messiah: From Bethlehem to Calvary*, 全4巻(1979 - 1981年), 第4巻, 390)〕
  - 十人のおとめのたとえは、主の降臨に備えることに関連があります。どんな関連がありますか。(54節参照。マタイ25：1 - 13；教義と聖約45：56 - 57も参照)
  - 義人と悪人はなぜ分けられるのでしょうか。(54節参照。2ニーファイ30：10；教義と聖約86：7も参照)
- 「いざ救いの日を楽しまん」(『賛美歌』, 5番)を歌う。または歌詞を読む。毎日を主が来られる日のように考えて生活するよう生徒に奨励する。

**教義と聖約63：60 - 64。イエス・キリストの御名は神聖であり、注意して口にすべきである。(15 - 20分)**

スペンサー・W・キンボール大管長は使徒に召されてから数年後に重大な手術を受ける必要に迫られたことを生徒に言う。以下の話を読む。

「ソルトレーク・シティーのセント・マルコ病院において、キンボール大管長は全身麻酔による手術を受けました。そして寝台に乗せられたまま、病室まで運ばれました。麻酔はまだ切れていませんでした。キンボール大管長は寝台がエレベーターの前で止まるのを感じました。そして付き添い人が何かに対して怒り、主の御名をみだりに唱えるのを耳にしたのです。意識がもうろうとした中で、キンボール大管長は苦しそうな声でこう嘆願したのです。『お願いします。そんな風に言わないでください。わたしは主をこの世の何よりも愛しているのです。お願いします。』辺りは静まり返りました。そして付き添い人は静かにこう言ったのです。『あんな言い方をすべきではありませんでした。』

申し訳ありません。』(エドワード・L・キンボールとアンドリュー・E・キンボール・ジュニア, Spencer W. Kimball: Twelfth President of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, [1977年], 264)

以下の質問をする。

- キンボール長老は救い主に対して深い思いを抱いていました。この話から何を学ぶことができますでしょうか。
- 救い主の御名を不注意に口にする人々について、この話は何を教えているのでしょうか。
- 主の御名がみだりに使われているのを耳にするときがありません。あなたはどのように感じますか。
- この問題を解決するために、あなたはどんなことができますでしょうか。

救い主の絵を見せる。以下の質問をする。

- キリストの御名を受けるとはどんな意味でしょうか。
- キリストの御名をみだりに口にするとはどんな意味でしょうか。

これらの質問について話し合ってから、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』148ページから、教義と聖約63：61 - 64の注解に記されているジェームズ・E・タルメージ長老の言葉について話し合う。

教義と聖約63：60 - 64を読む。主の御名を正しく用いる方法について話し合う。以下の要点を役立てることができる。

- 主が認められた方法以外に、主の御名を用いない。(例えば、祈り、神権の祝福、証をするときなど。62節参照)
- 御霊に促されるとき。(64節参照)

ダリン・H・オークス長老が語った以下の勧告を分かち合う。

「天の御父と御子のことを敬虔な気持ちで教えたり証したりするとき、その御名は権威をもって用いられます。祈りをするときや、神聖な儀式を執行するときもそうです。父なる神と御子イエス・キリストの御名以上に神聖で大切な言葉はほかにありません。

モルモン書で、救い主はアメリカ大陸の人々を訪れて、キリストの御名を受けなければならないと教えられました。

『……終わりの日にあなたがたは、この名によって呼ばれるのである。

わたしの名を受け、最後まで堪え忍ぶ者は、終わりの日に救われるであろう。』(3ニーファイ27：5 - 6)。「敬虔さと清さ」『聖徒の道』1986年7月号, 52参照)

## 教義と聖約64章

### はじめに

主は今日を「犠牲の日」(教義と聖約64：23)と呼んでおられる。預言者ジョセフ・スミス<sup>の</sup>指示の下で編集された『信仰に関する講話』(Lectures on Faith)によれば、「あらゆるものを犠牲とすることを求めない宗教は、人々に信仰を持たせるだけの十分な力がない。この信仰は命と救いを得るために欠かせないものである。」([1985年], 69)ブルース・R・マッコンキー長老はこう説明している。「犠牲とは、この世のものを捨てることである。それはより良い世界で約束された祝福を得るためである。永遠の観点から見ると、すべてを捨てることは犠牲ではない。自分の命をささげることさえも犠牲ではない。わたしたちはそれによって永遠の命を得るからである。」(Mormon Doctrine, 第2版, [1966年], 664)

教義と聖約64章には、犠牲の精神によって、主の来臨に備えるための主の戒めが記録されている。


### 学び取るべき重要な福音の原則

- 「死に至る罪」を犯した者を除いて、主は悔い改めるすべての者を赦される(教義と聖約64：1 - 4, 7 - 10参照。モーサヤ26：29 - 32も参照)。
- わたしたちはほかの人を救うよう命じられている。これを拒むならば、わたしたちにはもっと大きな罪が残る(教義と聖約64：8 - 14参照。マタイ18：21 - 35；マルコ11：25 - 26；モーサヤ26：30 - 31も参照)。
- 主は従順な心と進んで行く精神を求めておられる(教義と聖約64：22 - 24, 33 - 36参照。イザヤ1：19 - 20；モロナイ7：5 - 9；教義と聖約97：8も参照)。
- 主は今日は「犠牲の日であり、わたしの民が什分の一を納める日である」と宣言された(教義と聖約64：23参照。マラキ3：8 - 10も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 108。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 149 - 152。

### 教え方の提案

 教義と聖約64：2 - 13を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』10「赦すことが求められる」(8：30)を使用することができる。教義と聖約64：34を教える際にプレゼンテーション11「心と進んで行く精神」(7：45)を使用することができる。(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)



教義と聖約64：3，7。「死に至る罪」を犯した者を除いて，主は悔い改めるすべての者を赦される。(15 - 20分)

1本のタオルと3つの容器を見せる。1つ目の容器には泥を，2つ目の容器には温かい石けん水を，3つ目の容器にはすすぐためにきれいな水を満たしておく。一人の生徒が泥の入った容器に手を入れる。それから，その手を全員に見せる。以下の質問をする。

- ある種の活動は，汚れた手でやるべきではありません。それはどんな活動でしょうか。
- 泥だらけになって，気持ちが悪い人はどこへ行くでしょうか。それはなぜですか。

教義と聖約64：3，7を生徒が読む。以下の質問をする。

- これらの節に，泥に相当する言葉があります。どの言葉でしょうか。
- 罪がもたらす影響にはどんなものがあるでしょうか。
- 罪はその人の自信や価値観に影響を与えます。どんな影響でしょうか。

手を泥で汚した生徒は，用意されている石けん水で洗い，水ですすぐ。3節と7節の中で，洗うことに相当する語に全員がしるしをつける。以下の質問について話し合う。

- 悔い改めはどのように石けんと似ているでしょうか。
- どんな人が赦されると主は言うておられるでしょうか。
- 赦されない人はいるでしょうか。もしいるとすれば，それはどんな人ですか(7節参照)。

「死に至る罪」を犯した者は「滅びの子」と呼ばれることを説明する。教義と聖約76：31 - 32を読む。それから，以下の言葉を紹介する。預言者ジョセフ・スミスは次のように教えた。

「聖霊に逆らう罪を除いて，すべての罪は赦されます。イエスが滅びの子を除くすべての者を救われるからです。赦されない罪を犯すとは，何をすることなのでしょうか。赦されない罪を犯す者は，聖霊を受け，天が自分に開かれて神を知った後に，神に背きます。聖霊に逆らう罪を犯したら，その人に悔い改めはありません。彼は太陽を見てもそれは輝いていないと言います。そして天が開かれていてもイエス・キリストを拒むのです。真理に目が開いているのに救いの計画を拒むのです。そのときから，彼は敵となり始めます。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 358)

十二使徒定員会会員時代にスペンサー・W・キンボール大管長は次のように記した。

「一般の人々がこの聖霊に対する罪を犯すことは，明らかに不可能であるということを知っておく必要がある。」(『救しの奇跡』, 131)

(注意：このテーマについては76章でさらに詳しく取り上げる。)

次のように質問する。「ある人々は死に至る罪を犯していないにもかかわらず，完全な赦しを得られないと考えています。それはなぜでしょうか。」

イエス・キリストの絵を見せる。教義と聖約58：42を生徒とともに読む。教義と聖約64：7と相互参照する。イエス・キリストの贖罪は心から悔い改めるすべての人を清めるということについて証を述べる。以下のゴードン・B・ヒンクレー大管長の言葉を読む。それから話し合う。

「赦しを得られないと考えてはいけません。天の御父はあなたを愛しておられます。天父はあなたのお父さんです。御父は天におられるあなたの親です。御父はあなたに大きな関心を寄せ，愛と赦しの手を差し伸べておられます。」(Teachings of Gordon B. Hinckley, 231)

十二使徒定員会会長代理であるボイド・K・パッカー長老は次のように語った。

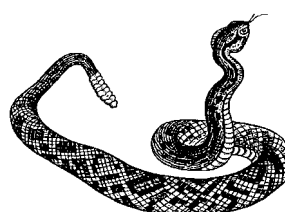
「滅びの道を選んだごく少数の人は別として，悪習，薬物の乱用，反抗，背き，違反などのために，完全な赦しという約束から除外される人は一人もいないのです。……

救いが手の届くところにあるにもかかわらず，多くの人が罪悪感にさいなまれて生きています。多くの人が，ある移民女性に似ています。この女性は，我慢に我慢を重ねて欲しいものを持たずに生活しました。そして自分の財産をすべて売り払ってアメリカ行きのいちばん安い船の切符を買ったのです。

彼女は，自分で買い込んだわずかばかりの食糧を細かく分けて食べました。しかし，その食糧も船旅とともに間もなく底をつきました。ほかの人が食事に出かけても，彼女は，デッキの下に閉じこもり，我慢しました。そして，とうとう最後の日が来て，彼女は，今後の旅路に向けて体力をつけるためにも，1回だけ食事をしようと思立しました。そこで食事の値段を尋ねると，食事はすべて旅行代金の中に含まれていると言われたのです。

あの大きい朝の朝は，一度にはやって来ないかもしれませんが。最初からうまくいかなかったからといって，あきらめないでください。悔い改めの中で最も難しいことは，自分自身を赦すことである場合が多いからです。落胆はその試練の一部です。あきらめないでください。あの輝かしい朝は必ず訪れます。」(「輝かしい救いの朝」『聖徒の道』1996年1月号，21 - 22)

教義と聖約64：8 - 11 (マスター聖句，教義と聖約64：9 - 11) わたしたちはほかの人を赦すよう命じられている。これを拒むならば，わたしたちにはもっと大きな罪が残る。(35 - 40分)



ガラガラヘビはアメリカ大陸でよく見られる毒蛇であることを生徒に説明する。ガラガラヘビにかまれると，痛みがあり，はれ上がり，感覚がなくなり，変色してくる。放置すれば，組織が死んでしまうか，かまれた人の命を奪うことがある。次のように質問する。

「ガラガラヘビにかまれたとしたら、肉体の痛み以外に、どんな気持ちを感じますか。」かまれた人は恐れや怒りから、その蛇を捕まえたり、殺したりしようとするために手当てを遅らせてしまうことを指摘する。以下の質問について話し合う。

- 血液中に毒が入り込んでいるのに、ガラガラヘビを追いかけることは愚かなことです。それはなぜですか。(蛇を追いかけられている間、毒はその人の命と健康を危険にさらす。)
- 教義と聖約64：8-9を読んでください。この聖句の中でガラガラヘビの毒にたとえられる事柄があります。それは何でしょうか。
- 赦すことを拒むのは、わたしたちに対して罪を犯した人の罪よりも「もっと大きな罪」だと記されています。それはなぜでしょうか。

以下の言葉を分かち合う。

「他人を赦さないとなぜわたしたち自身の救いが危うくなるのだろうか。……なぜそれは『もっと大きな罪』となるのだろうか。隣人に対して赦さない姿勢をとるとき、わたしたちはその人が救いに向かって進歩するのを妨げようとしているのである。この姿勢はサタンのものであって、わたしたちの意志はキリストのようなものでなくなる。生ける人の進歩を妨げ、贖罪のもたらす赦しの祝福をその人から奪っているのである。この考えには人を滅ぼそうとする不純な意図が満ちている。」(オッテンとコールドウェル、*Sacred Truths*, 1 : 314)

10節を読む。それから、以下の質問をする。

- この節によれば、わたしたちはだれを赦さなければならないでしょうか。
- この難しい課題を成し遂げるにはどうすればいいでしょうか(11節参照)。
- 主は人の悔い改めについて正しい判断を下すことができになります。それはなぜでしょうか。
- わたしたちが他人を裁くのではなく、神に任せたい方はいいのはなぜでしょうか。

ミズーリにおいて迫害を受けていた間に、ウィリアム・W・フェルプス長老は背教に陥り、教会員を裏切り、預言者の敵となったことを生徒に言う。教会を離れてしばらくした後、フェルプス兄弟がジョセフ・スミスにあてて書き送った手紙から、以下の抜粋を読む。

「わたしは自分の歩んだ道の愚かさを見えました。……わたしは悔い改めて生活し、昔の兄弟たちに赦しを求めます。たとえ罰せられて死に至るとしても、わたしは彼らのうちで死ぬでしょう。彼らの神はわたしの神だからです。……

わたしは自分の立場をわきまえています。あなたも知っており、神も御存じです。わたしはもし友人たちが助けてくれるなら、救われたいのです。……わたしは間違いを犯し、悔いています。梁はわたしの目の中にあります。……イエ

ス・キリストの御名によってすべての聖徒に赦しを求めます。……教会の会員に戻していただきたいのです。もしそれができないなら、あなたの平安と友情を与えてください。」(*History of the Church*, 4 : 142)

これに対して預言者は次のような返事を書いた。

「わたしたちがあなたの行為によって大きな苦しみを受けたことは事実です。すでに満ちていた苦い杯は……あなたがわたしたちに敵対したときには、まったくあふれるばかりになりました。しばしば互いに楽しく語り、主から与えられた多くの喜びのときを共にした仲間の一人の行為だったからです。『もしそれが敵の行為であったならば、わたしたちは忍ぶことができたでしょう。』……

しかし、杯は飲み干され、御父の御心が行われました。……そしてわたしたちは神の憐れみにより、悪人たちの手から解き放たれました。悪魔の力から放たれて……再び聖徒の群れに加わ〔る〕ことは、あなたに許された特権です。……

わたしはあなたが真実を告白し、心から悔い改めていることを信じて、再び友情の右手を差し出せることをうれしく思い〔ます。〕……

あなたの手紙は先週の日曜日、聖徒たちに読み上げられ、各自がその思いを語りました。そして、全員一致で次のように決議されました。すなわち、W・W・フェルプスを教会員として受け入れる。

兄弟よ、戻って来てください。争いは終わったのです。

最初の友は最後も友ですから。

あなたの変わらぬ友、ジョセフ・スミス・ジュニア」(*History of the Church*, 4 : 163 - 164)

ウィリアム・W・フェルプスはその後教会にとどまり、忠実な会員として亡くなったことを生徒に言う。フェルプス兄弟は預言者ジョセフ・スミスに対する彼の深い愛をつづった「たたえよ、主の召したまいし」(『賛美歌』、16番)を含む教会の賛美歌を数多く作詞した。以下の質問について話し合う。

- 聖徒たちとジョセフ・スミスにとってウィリアム・W・フェルプスを赦すことは難しいことでした。それはなぜですか。
  - 教会歴史から引用したこの出来事をどのように応用できるでしょうか。
  - だれかに謝罪して、それが受け入れられたときに、あなたはどのように感じたでしょうか。
  - 他人を赦すことは、救い主があなたの罪を贖ってくださることについて何を教えてくれるでしょうか。
- 赦すための心の強さを得る方法について話し合う。危害を加えてきた相手を赦すことによってもたらされる平安について証を述べる。「たたえよ、主の召したまいし」または「われ主を愛して」(『賛美歌』134番)を歌う。または歌詞を読む。

**教義と聖約64：22，34。主は従順な心と進んで行う精神を求めておられる。(15 - 20分)**

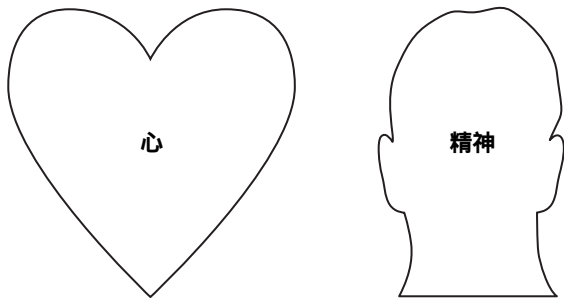
「金版を受け取るジョセフ」の絵を見せる。(『福音の視覚資料セット』, 406) ジョセフ・スミス 歴史1：46を生徒が読む。以下の質問をする。

- モロナイはジョセフ・スミスに版に関する警告を与えました。それはどんな警告でしたか。
- ジョセフは版を手に入れるに当たって、どんな動機が必要とされたでしょうか。
- ジョセフの動機によっては、版を目にしたときに誘惑を受ける可能性がありました。ジョセフがどんな動機を持っていたら誘惑を受けていたでしょうか。(『時満ちる時代の教会歴史』, 39 - 40参照)
- 人々はいろいろな動機で戒めを守っています。どんな動機が挙げられますか。

教義と聖約64：22，34を読む。以下の質問について話し合う。

- 従順に加えて、主はわたしたちに何を求めておられるでしょうか。
- しびしび従うことは、従順とは異なります。それはなぜでしょうか。

黒板にハート(心)と人の頭の絵を描いて、それぞれ「心」と「精神」と書く。



心と精神は何を表していると思うか生徒に尋ねる。心(心臓)は血液を送り出すことによって肉体に命を与えることを生徒に教える。また心は、人の霊的生活の中心を象徴する。物質的に心をささげるといふことは、命をささげるとを意味する。霊的に心をささげるとは、主を中心にして生活することを意味する。精神は、わたしたちの思いであり選択の自由を行使する能力を意味する。主は進んで行う精神を求めておられる。強制されなくとも主に従うことを選ぶよう、わたしたちに求めておられるのである。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』150 - 151から、教義と聖約64：22の注解を参照)

ダリン・H・オークス長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「正しいことを行うだけでは不十分です。正しい理由に基づいて行わなければなりません。現代の言葉に直せば、正しい動機です。聖典では十分に固い決意をもって、あるいは誠意をもってという表現を使って、この正しい心構えをしばしば説いています。

聖文によれば神はわたしたちの動機を理解して、それによってわたしたちの行いを裁かれます。正しい理由に基づいて行動しなければ、その行いは義とされないの

す。.....

.....信者の行いに命と正当性を与えるのは動機です。」  
(*Pure in Heart* (1988年), 15 - 16)



**教義と聖約64：23 - 25 (マスター聖句、教義と聖約64：23)。主は今日は「犠牲の日であり、わたしの民が什分の一を納める日である」と宣言された。(15 - 20分)**

以下の質問をする。

- 先週あなたが目にした行いで、最も偉大な犠牲は何だったでしょうか。
- その行為からどんな印象を受けましたか。それはなぜですか。
- 犠牲を払うとはどんな意味でしょうか。

64章の「はじめに」から、『信仰に関する講話』(*Lectures on Faith*)の言葉を黒板に書き写す。この話をどのように生活に活用できるか話し合う。教義と聖約64：23 - 25と教義と聖約119章の前書きを読む。以下の質問をする。

- 教義と聖約119章の前書きによれば、教義と聖約64：23の什分の一という言葉はどんな意味でしょうか。
- 什分の一を納めることは、主に対する愛の表れと言えます。それはなぜですか。
- 教義と聖約64：25で主は犠牲を求めておられます。どんな犠牲ですか。
- あなたはどんな方法で主のために自分をささげることができるでしょうか。

アルマ22：18；3ニーファイ9：20を生徒が読む。そして、わたしたちがほかに何を犠牲にするよう求められているかを見つける。主のために何か(金銭以外)を進んで犠牲にした経験を生徒が分かち合う。以下の質問について話し合う。

- それらのささげ物をするによって何を学びましたか。
- それによってどんな気持ちを感じたでしょうか。
- 進んで犠牲をささげるとは大切です。それはなぜでしょうか。
- 進んで自分を主にささげることによって、イエス・キリストの再臨に備えることができます。それはなぜですか。

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』151の教義と聖約64：23の注解から、当時十二使徒定員会会員を務めていたラジャー・クロウソン長老の話分かち合う。十二使徒定員会会員時代にゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の話を分かち合ってもよい。

「何年前、ある教会幹部が什分の一を払うことを『火災保険』のようなものと言って、わたしたちを笑わせたことがあります。主の御言葉は明確です。神の戒め、律法に聞き従わない人は、再臨のとき焼き尽くされてしまうでしょう。その日は裁きの日であり、ふるいにかける日、善人と悪人を振り分ける日だからです。わたしの考えでは、再臨の日について述べられているほど恐ろしい出来事があ

た日は、地球の歴史のどこを見てもないと思います。その日は自然が今までになかったほど猛威を振るい、地上の国々と悪しき人々にとってはかつてない恐ろしい日、義人にはすばらしい日となることでしょう。」「(「恐れることはない」『聖徒の道』1982年10月、2-3参照)

## 教義と聖約65章

### はじめに

1834年の初めに、バプテスマを受けたばかりの改宗者ウィルフォード・ウッドラフがカートランドに到着して、預言者ジョセフ・スミスと兄のハイラムに会った。ウッドラフ大管長はそのときの様子を次のように思い起こしている。

「日曜の夜に預言者ジョセフ・スミスは、すべての神権者にその丸太作りの小さな墊に集まるように言った。そこは一辺がおよそ14フィート(4.2メートル)の正方形の部屋だった。狭い所ではあったが、当時カートランドにいた末日聖徒イエス・キリスト教会の全神権者がそこに集まった。……わたしたちが一堂に会すと、預言者はイスラエルの長老たちに御業について証を述べるようにと言った。……証が終わると預言者はこう語った。『兄弟の皆さん、今夜皆さんの証に強められ、教えられることが多々ありました。しかし、主の御前で皆さんに申し上げます。皆さんは母のひざの上にいる幼子ほどもこの教会と神の王国の行く末を知ってはいません。皆さんは分かっています。』わたしは驚いた。預言者はこう言った。『今晚ここで皆さんはははわずかな数の神権者しか目にしていませんが、この教会は南北アメリカを満たし、全世界を満たすでしょう。』」(Conference Report, 1898年4月, 57)

教会がかつてない成長を遂げている現在、わたしたちはジョセフ・スミスの預言の成就を目にしている。教義と聖約65章は、ダニエルが語った石がイエス・キリストの福音であること、そして、それが全世界に満ちることを再度確認している。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように自らの証を付け加えている。

「ダニエルが示現の中で見た、人手によらずに山から切り出された小さな石は今、全地を満たすために転がり出ています。(ダニエル2:44-45参照)わたしたちが義の道を歩み、信仰を守り、忠実に生きるなら、この世のいかなる力もそれを止めることはできません。全能の神御自身がわたしたちの頭であられるからです。」「(「主のみ業」『聖徒の道』1995年7月号, 77)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 末日聖徒イエス・キリスト教会は地上における神の王国である。教会は世の人々をイエス・キリストの再臨に備えさせるために存在する(教義と聖約65章参照。ダニエル2:44-45も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 152 - 153。

### 教え方の提案

教義と聖約65:1-5。末日聖徒イエス・キリスト教会は地上における神の王国である。教会は世の人々をイエス・キリストの再臨に備えさせるために存在する。(10-15分)

世界地図を広げ、地図の大部分を覆うほどの大きな丸い石の絵を地図の上にはる。生徒がダニエル2:44-45と教義と聖約65:1-2を読む。地図と石の絵が何を表しているのかを考える。ダニエルの預言は今日どのように成就しているかについて話し合う。65章の「はじめに」から、ウィルフォード・ウッドラフ大管長の話を読む。

黒板に見出しとして「神の王国」と「天の王国」と書く。『聖句ガイド』を調べて、生徒がそれぞれの語句の簡単な定義を書き出す。二人の生徒が書き出した定義を発表する。そして、それを黒板のそれぞれの見出しの下に書く。

教義と聖約65章の前書きで、ジョセフ・スミスがこの啓示を一つの祈りであると述べたことを指摘する。3-6節を読む。わたしたちは再臨に備えるために何を祈り求めるべきか調べる。神の王国(教会)はわたしたちが天の王国(福千年に建てられる王国)にふさわしい者となるため、どのような助けになっているか話し合う。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が副管長時代に語った以下の言葉を分かち合う。

「この教会が社交クラブではないことをわきまえておかなければなりません。この教会は地上における神の王国です。それは末日聖徒イエス・キリスト教会です。教会の目的は生者と死者の両方に、救いと昇栄をもたらすことです。」「(“Rise to a Larger Vision of the Work,” *Ensign*, 1990年5月号, 97)

ヒンクレー大管長が語った以下の話を紹介する。

「まず模範によって、次に靈感を通じて与えられた教えによって、わたしたちの周囲にいる人々に福音を伝えようではありませんか。

人手によらず山から切り出された石は、やがて全地を満たすようになります。(ダニエル2章参照)わたしはこれが真理であることを証します。また、天の御父に導きと靈感を求めるなら自分に合った方法で御業に貢献できることを証します。わたしたちが推し進めているのは神の御業です。神の恵みがあれば、決して失敗することはありません。」「(「なすべき業あり」『聖徒の道』1988年7月号, 3)

福音を宣べ伝えて地をイエス・キリストの再臨に備えさせるために何ができるか、生徒に話し合うよう勧める。



## 教義と聖約66章

### はじめに

天の御父はわたしたちのことをどれほど知っておられるのだろうか。わたしたちが神の勧告に聞き従えば、重大な問題を避けられるように神は導いてくださるのだろうか。神はわたしたちが自分の弱点に気づいて、悔い改めるよう積極的に助けてくださるのだろうか。ウィリアム・E・マクレランの生涯に起きた出来事から、これらの質問の答えを見いだすことができる。

ウィリアム・E・マクレランは1831年に教会に入り、1835年に最初の十二使徒の一人に選ばれた。マクレランがバプテスマを受けてまもなく、主はこのような警告を与えられた。「あなたは清いが、完全に清いわけではない。それゆえ、……悔い改めなさい。」(教義と聖約66:3) マクレランは教会で忠実に奉仕したが、時々大管長会を批判し、また人の誉れを求めることがあった。1835年、彼はしばらくの間、正会員資格を剥奪され、1838年に不信仰と背教のために破門された。そして、ミズーリで聖徒を迫害する暴徒たちに加担した。ジョセフ・スミスがファーウェストで逮捕されたとき、マクレランは預言者の家を略奪した一団に加わっていた。

教義と聖約66章は主がわたしたちの弱点を御存じであることを説明している。この章には勧告が記されている。もしその勧告に従うならば、わたしたちは「永遠の命の冠」に導かれる。(12節)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は人の子らが永遠の命を受けられるように、新しくかつ永遠の聖約(完全な福音)を終わりの時に啓示された(教義と聖約66:2参照。ジョセフ・スミス訳創世17:11-12; エレミヤ32:36-40; 教義と聖約45:9も参照)。
- 主はわたしたちの弱点を御存じであって、わたしたちの生活の中で悔い改めを必要とする分野を明らかにして下さる(教義と聖約66:3-4, 9-10参照。教義と聖約6:16も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 154。

### 教え方の提案

教義と聖約66章。主はわたしたちの弱点を御存じであって、わたしたちの生活の中で悔い改めを必要とする分野を明らかにして下さる。(20-25分)

祝福師の祝福を受けた生徒がいるかどうか聞く。以下の質問をする。

- それはあなたの生活にとってどのように役立っているのでしょうか。
- 祝福師の祝福とはどんなものか説明してください。

トーマス・S・モンソン副管長の次の言葉を分かち合う。「祝福師の祝福には、文字どおり皆さんの永遠の可能性について書かれ

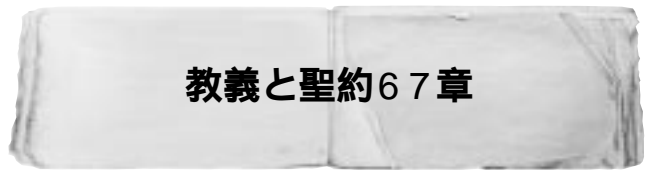
た記録の一部が述べられているのです。」(「祝福師の祝福は光の羅針盤」『聖徒の道』1987年1月号, 69)

2ニーフай9:20を読む。そして、神が御存じである事柄にしるしをつける。次のように質問する。「祝福師はどのようにして『皆さんの永遠の可能性について書かれた記録』に書いてあることが分かるのでしょうか。」天の御父はわたしたちの長所、短所、思い、可能性を含むすべてを御存じであることを証する。

66章の「はじめに」から、ウィリアム・E・マクレランに関する情報を読む。教義と聖約66:1-3を生徒が読む。以下の質問に答える。

- ウィリアム・E・マクレランは祝福を受けていました。どんな祝福でしょうか。
  - 3節で主はマクレランについて述べておられます。何と言われているのでしょうか。
  - わたしたちはこの節の勧告を応用することができます。どのように応用できますか。
  - 自分の罪に気づいていないときに、どうしたら気づくことができますか。
- モルモン書ヤコブ4:7を読む。以下の質問をする。
- 主はわたしたちに罪と弱点を積極的に知らせてくださいます。それはなぜでしょうか。
  - わたしたちは悔い改めが必要な事柄を主から教わることができます。どのように教わることができるのでしょうか。
  - 自分の罪に気づいたら、すぐに悔い改めることが大切です。それはなぜですか。

教義と聖約66:4を読む。そして、主がウィリアム・E・マクレランに何を示すと言っておられるのかを見つける。黒板に見出しとして、「約束」と「警告」と書く。5-13節を生徒が読む。クラスの生徒の半分が、主がウィリアム・E・マクレランに与えられた約束を見つける。残りの半分の生徒が、主が与えられた警告を見つける。見つけた事柄を黒板に書き出す。全員で書き出された事柄を検討する。次のように質問する。「今日の若者にとって最も大切だと思う事柄は、どれですか。」その理由を生徒が説明する。



## 教義と聖約67章

### はじめに

教会歴史は現代に生きるわたしたちにとって貴重な教訓を数多く含んでいる。例えば、主が戒めの書(後に教義と聖約となる)の出版を承認されたとき、教会の多くの長老たちはこれらの啓示が神から与えられたことを証したが、一部の兄弟たちは預言者ジョセフ・スミスがその書の中で使った言葉を非難した。ジョセフは完全ではなかったが、そこに書かれた語句は真実であり、主の承認を得ていた(教義と聖約67:9参照)。

聖文は不完全な死すべき人間を通してもたらされる。しかし、わたしたちは聖文をどのように受け入れるかによって裁かれる。エズラ・タフト・ベンソン大管長は十二使徒定員会会長時代に次

のように語った。「モルモン書が真実であることは証明する必要がありません。それ自体が証拠だからです。必要なのはそれを読み、宣言することです。モルモン書が試されているのではありません。試されているのは、教会の会員を含む世の人々です。キリストに対する第二の証をどのように扱うかを試されているのです。」(「キリストに対する新しい証人」『聖徒の道』1985年1月号、8) 同じことはすべての聖典について言える。

主は67章で、「この務めに聖任されたあなたがたに、もしへりくだるならば幕は裂かれるという特別な約束を与えられた。「あなたがたは今神の臨在に……堪えることができない。それゆえ、あなたがたが完全になるまで忍耐し続けなさい。」(教義と聖約67:10,13)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 信仰が不足していると、わたしたちは祝福を失うことがある(教義と聖約67:3参照。民数14:22-33も参照)。
- 預言者ジョセフ・スミスは不完全であったが、ジョセフが受けた啓示は真実であることを主は証された(教義と聖約67:4-9参照。教義と聖約1:24も参照)。
- 主を見る特権は、主の定められたときに、主の御霊によって変えられた者に与えられる(教義と聖約67:10-14参照。教義と聖約88:68;93:1;モーセ1:11も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 118 - 119。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 155 - 156。

## 教え方の提案

教義と聖約67:4-9。預言者ジョセフ・スミスは不完全であったが、ジョセフが受けた啓示は真実であることを主は証された。(20-25分)

預言者ジョセフ・スミスの絵を黒板にはる。生徒がジョセフ・スミスの優れた点をできるかぎりたくさん挙げる。ジョセフ・スミスが大管長になるために受けた教育や取得した学位があれば、それも挙げる。ジョセフ・スミスが仲立ちとなってもたらされた聖典(モルモン書、教義と聖約、高価な真珠)とジョセフの教えが記されている書物(例えば、*Lectures on Faith*, *History of the Church*, *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, *The Papers of Joseph Smith*)があれば、それらを見せる。次のように質問する。「ジョセフ・スミスはほとんど学校教育を受けていませんでした。また正式な宗教教育はまったく受けていませんでした。ジョセフ・スミスはいったいどのようにしてこのようなことができたのでしょうか。」

何人かの生徒が以下の聖句を読む。1コリント1:27;教義と聖約1:19,24,29;35:13;124:1。次のように質問する。「主の業を助けるために、主はしばしば僕をお選びになります。どんな僕をお選びになるのでしょうか。」主の業を行うよう主が選ばれる者たちは教育や技術訓練を受けていないことが多いが、主は彼らを役立つ者にされることを生徒が理解できるように助ける。

末日の預言者たちの絵を見せる。以下の質問をする。

- これらの預言者が共通して持っている特質があります。それは何でしょうか。

- 主は戒めを忠実に守っている人々を用いられます。それはなぜでしょうか。
- 主の業を助けるためならどんなことでもできると感じたのはどんなときですか。それはなぜですか。

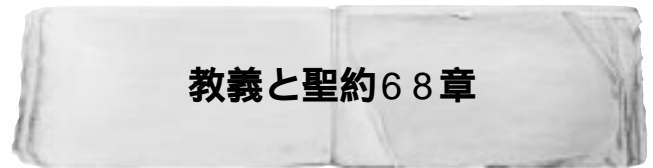
教義と聖約67章の前書きを読む。次のように質問する。「この大会に出席していた人々の中に、啓示の中で使われている言葉について否定的な意見を持つ者がいました。それはなぜでしょうか。」4-9節を読む。次の質問をする。

- 聖典で使われた言葉を承認しなかった人々に対して、主はどのようにこたえられたでしょうか。
- 主は彼らにあることを挑まれました。どんなことを挑まれたでしょうか。
- たとえ同じような言葉を使っても、啓示を書くことはできません。それはなぜでしょうか。

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(155ページ)の教義と聖約67章の歴史的背景から、5-6段落を読む。以下の質問をする。

- 「主の御名において書くことは恐ろしい責任である」のはなぜだと思いますか。
- 教義と聖約18:34-36を読んでください。主から与えられた啓示の中には、人がまねることのできないものが含まれています。それはどんなものなのでしょうか。

主の御霊を受けて学ぶならば、聖典はわたしたちの生活にとつてかけがえのないもの、大きな価値を持つものとなることを証する。また、御霊が聖文を通してわたしたちに語りかけられることを証する。生徒に数分間与えて、教義と聖約の中から好きな聖句を見つけさせる。希望者がその聖句を紹介し、その聖句が自分にとってなぜ大切なのかを話す。



## 教義と聖約68章

## はじめに

68章が与えられたとき、預言者ジョセフ・スミスと家族はジョン・ジョンソンとエリサ・ジョンソンの家族とともにオハイオ州ハイラムに住んでいた。この啓示は以下の長老たち、すなわちルーク・S・ジョンソンとライマン・E・ジョンソン(ジョン・ジョンソンとエリサ・ジョンソンの息子たち)、オーソン・ハイド、ウィリアム・E・マクレランに向けられたものである。これらの人は皆、後に使徒として働いた。4人とも背教したが、オーソン・ハイドとルーク・ジョンソンは教会に戻って、生涯を終えるまで忠実だった。ライマン・ジョンソンとウィリアム・マクレランは教会に戻らなかった。

教義と聖約68章には両親に対する大切な教えが含まれている。ハワード・W・ハンター大管長はこのように述べた。「教会の基本単位は家族であることを覚えることが大切です。」(*The Teachings of Howard W. Hunter*, クライド・J・ウィリアムズ編[1997年], 144) 大管長会と十二使徒定員会は次のように宣言している。「夫婦は、互いに関心を示し合うとともに、子供たちに

対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。……  
 両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも  
 必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、  
 どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務  
 があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行  
 について、将来神の御前で報告することになります。」  
 (『家族 世界への宣言』『聖徒の道』1998年10月号, 24)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の僕が聖霊に感じて語る言葉は聖文となり、主の心となる  
 (教義と聖約68:1-4参照。使徒4:31; 2ペテロ1:21; 教義  
 と聖約21:4-6も参照)
- 宣教師は全世界に福音を宣べ伝え、イエス・キリストのこ  
 とを証するために召される(教義と聖約68:1-12参照。教義と  
 聖約11:15も参照)
- ふさわしい大祭司は監督として仕えるよう召される。監督は  
 大管長会によって選任され、正しい権能を持つ者によって聖  
 任されなければならない(教義と聖約68:14-24参照。教義  
 と聖約107:15-17, 68-75, 87-88も参照)
- 両親はその子供たちに福音を教えるよう命じられている(教  
 義と聖約68:25-32参照。箴言22:6も参照)

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 157 - 160。

## 教え方の提案

**教義と聖約68:1-4。主の僕が聖霊に感じて語る言葉は聖文となり、主の心となる。(10-15分)**

生徒に聖書を見せて、次のように質問する。「わたしたちの教会には、ほかの宗教にはない聖典があります。それは何でしょうか。」(モルモン書、教義と聖約、高価な真珠) 生徒にこれらの聖典を見せて、聖書の上に重ねる。次のように質問する。「教会はこれらのほかに聖文を持っているでしょうか。」教義と聖約68:2-4を読む。そして、質問の答えを探す。『リアホナ』の総大会号を聖典の上に重ねる。

以下の言葉を読む。エズラ・タフト・ベンソン大管長は十二使徒定員会会長を務めていた時代に、次のように語った。

「アダムに与えられた神の啓示は、ノアに箱舟の造り方を指示するものではありません。ノアは自分自身の啓示を必要としたのです。したがって最も大切な預言者は、皆さんやわたしについて言えば、現代の生ける預言者、すなわち主がわたしたちに関する御心を現在あらわしておられる預言者です。そしてわたしたちにとって最も大切な読み物は毎月『リアホナ』に掲載される生ける預言者の言葉です。」  
 (「預言者に従う14の原則」『聖徒の道』1981年6月号, 2-3)

ベンソン大管長は教会の大管長として次のように語った。

「これからの6か月間、『リアホナ』の今回の総大会号を標準聖典とともによく参照していただきたいと思います。わたしの親愛なる友人であり兄弟であるハロルド・B・リー大管長はこう言われました。大会の説教は『これから6か月間、言葉や行いのう<sup>ごんいち</sup>えで導きとなるものです。それらはすべて、主が今日のわたしたちに必要なこととして示された大切な事柄です。』(「キリストの御許に来てキリストによって全くなれ」『聖徒の道』1988年6月号, 89参照)

以下の質問について話し合う。

- 現代の預言者の言葉はあなたの生活にどんな祝福をもたらしてきたでしょうか。
- 現代の啓示がなかったとしたら、わたしたちの宗教はどんなものになっていたでしょうか。
- 生ける預言者の言葉を「言葉や行いのう<sup>ごんいち</sup>えで」取り入れるにはどうすればよいでしょうか。

**教義と聖約68:1-12。宣教師は全世界に福音を宣べ伝え、イエス・キリストのこ<sup>あかし</sup>とを証するために召される。(15-20分)**

世界地図を見せる。以下の質問をする。

- もし、伝道地をどこでも選べるとしたら、どこを選びますか。それはなぜですか。
- 奉仕する場所より、もっと大切なことは何でしょうか。なぜそう思いますか。
- 主は全世界に宣教師を遣わされます。なぜでしょうか。

教義と聖約68:1-2を読む。以下の質問をする。

- これらの聖句はどのように成就しているのでしょうか。
- これらの聖句が成就するために、あなたにはどんな責任がありますか。

以下の表を黒板に書き写すか、配布資料として生徒に配る。右の解答欄は空白にしておく。生徒が参照聖句を調べて、答えを記入する。

教義と聖約68章	主が宣教師に命じておられること
1節	聖典を使って福音を教える。
3節	御霊によって福音を教える。
6節	恐れてはならない。イエス・キリストのこ <sup>あかし</sup> とを証しなさい。
8-9節	全世界に出て行って、信じる者にバプテスマを施しなさい。

教義と聖約68章	主が忠実な宣教師に約束しておられること
4-5節	主の心と意思と言葉を語る靈感を受ける。
6節	主はあなたとともにおられる。
9節	信じてバプテスマを受ける者は救われる。
10節	信じる者にしるしが伴う。
11節	救い主の来臨のしるしを知る。

以下の質問をする。

- 主はわたしたちに期待しておられ、約束を与えてくださっています。それらを知っていると、宣教師として主に仕えるあなたの望みはどう変わるでしょうか。
- 召しを受けたときに主に仕えられるよう、あなたには今どんな準備ができるでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長の以下の言葉を分かち合う。

「これまでの預言者たちは、有能でふさわしいすべての若い男性は専任宣教師として伝道に出るべきであると教えてきました。わたしも今日、その必要性を強調したいと思います。」(「神の御子に従う」『聖徒の道』1995年1月号, 98)

**教義と聖約68：14 - 24。ふさわしい大祭司は監督として仕えるよう召される。監督は大管長会によって選任され、正しい権能を持つ者によって聖任されなければならない。(10 - 15分)**

教会の管理監督の写真を見せる。(『リアホナ』の最新の総大会号参照) 写真の人物が教会でどんな職に就いているか当てる。答えを見つけるために、生徒は教師が「はい」か「いいえ」で答えられる質問を10個まですることができる。管理監督の職に関する以下の言葉を読む。

「古代において、監督(判士)は『アロンの直系の子孫』だった。この職に初めて召されたのは、教会の管理監督であったアロンである。現代の神権時代においても、『アロンの子孫の中の長子』は『監督の職に就く律法上の権利を持つ。長子はこの神権をつかさどる長の職の権利と、この神権の鍵すなわち権能を所有するからである。』すなわち、この長子は大管長会によって選任され、承認されるときに、教会の管理監督となる権利を持っている。現在までのところ、『父から子へ』管理監督の職が継承される血統は明らかにされていない。これが明らかにされるまで、メルキゼデク神権の大祭司がこの職を果たすために選ばれる。ワードの監督も同様である。」(ブルース・R・マツコンキー, *A New Witness for the Articles of Faith*, 352. 強調付加)

「管理監督会は初めから、教会の物質面における多くの業務でその責任を果たしてきた。これらの業務には、会員の什分の一とささげ物および献金の受領と配分、そして会計が含まれた。また、貧しい者や乏しい者を支援するプログラムを実施すること、礼拝する場所を整え、建設し、維持すること。さらに会員記録の管理と転送……が含まれた。歴史を通じて、管理監督会はアロン神権を管理してきた。」(ダニエル・H・ラドロー編, *Encyclopedia of Mormonism*, 全5巻〔1992年〕, 第3巻, 1128)

教義と聖約68：14 - 21を読む。そして、以下の質問の答えを見つける。

- 管理監督として働くことができるのはどんな人でしょうか。(ふさわしいアロンの直系の子孫またはふさわしい大祭司)
- だれが管理監督を召して、聖任するのでしょうか。

管理監督は大管長会を通して、主によって召されなければならないことを生徒に教える。(15, 19 - 20節参照) 大管長会は地元の監督を召し、聖任する権能をステーク会長に与えていることを説明する。次のように質問する。「監督にはどんな特質が必要でしょうか。」(15, 19節参照。1テモテ3：2 - 7も参照) 地元の監督を支持するために何ができるかを生徒が黒板に書く。



**教義と聖約68：25 - 32。両親はその子供たちに福音を教えるよう命じられている。(15 - 20分)**

レッスンの前に、何人かの初等協会の年齢の子供たちに次のような質問をしておく。「イエス様から愛されていることが、どのようにして分かりましたか。」「なぜ天国へ行きたいですか。」「天国はどんなところだと思いますか。」子供たちの答えを書き留めておき生徒の前で読み上げる。または、録音して生徒の前で聞かせる。

次のように質問する。「子供たちにとって最も大切な教えは何だと思いますか。」生徒の答えを黒板に書き出す。教義と聖約68：25 - 31を生徒が読む。主が子供たちに教えるよう両親に言われたことと、黒板に書き出した事柄とを比較する。

次のように質問する。「これらの原則は非常に大切です。その重要性を知らせるために、主は25節で何と言っておられるでしょうか。」68章の「はじめに」から、ハワード・W・ハンター大管長の言葉と「家族 世界への宣言」を紹介する。以下の質問をする。

- 宣言では、子供たちを育てる両親の役割が大切であることを教えています。それはどの部分でしょうか。
- 良い親になるために、あなたは今どんな準備ができるでしょうか。
- 子供たちにこれらの原則を教えるためには、どんな方法がいちばん良いと思いますか。

## 教義と聖約69章

### はじめに

主は教義と聖約69章で、教会の歴史を記録する召しについてジョン・ホイットマーに指示を与えられた。主はまた、わたしたちも個人と家族の歴史を記録するよう望んでおられる。スペンサー・W・キンボール大管長は次のように語った。

「そこでこれからも、わたしたちが行うこと、述べること、考えることを記録していくという、大切な務めを継続し、主の勧告に従っていただきたい。まだ覚えの書や個人の記録を書き始めている人は、今日から完全な記録を残すようにしていただきたい。兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんがこれを実行に移していただけるものと確信している。なぜなら、これは主の戒めだからである。」(「わたしたちに今必要なのは、聴く耳を持つことである」『聖徒の道』1980年3月号, 4)

別の機会にキンボール大管長は教会の青少年に対して次のような勧告を与えた。



「教会の青少年にお話します。日記帳を用意して生涯の記録を書いてください。天使たちは永遠にわたって、あなたの記録から引用することもあり得るのです。今日から始めて、生活のあれこれや心に深く考えていること、達成したことや成功、失敗、交際および印象に残ったこと、そして自分の証を、そこにつづってください。救い主が大切な出来事を記録しなかった人をとがめられたことを、忘れてはいけません。」(「永世にわたる記録」『聖徒の道』1977年6月号, 301参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は教会と教会員に対して、次世代の人々の益となるように歴史を記録することを望んでおられる(教義と聖約69:3-8参照。教義と聖約47:1-4も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 118 - 119。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 160 - 162。

## 教え方の提案

教義と聖約69:3-8。主は教会と教会員に対して、次世代の人々の益となるように歴史を記録することを望んでおられる。(15-20分)

聖文に対する証をどのようにして得たか、自分の日記から読む。または思い出を話す。(あまりに神聖なことや個人的なことには触れないよう注意する。)以下のような質問をする。

- わたしの両親がこの経験を聞いたとします。どう感じるでしょうか。
- この経験はわたしの子供たち(または家族)にどんな影響を与えるでしょうか。
- この経験を覚えておくことは、これからの人生にどんな影響を与えるでしょうか。
- この経験やほかの経験をまったく書き留めておかないとします。何が失われますか。

日記をつけている生徒が、日記をつけることで、どんな祝福があるか発表する。教義と聖約69:3-8を読む。以下の質問をする。

- ジョン・ホイットマーは歴史を書くように言われました。何の歴史ですか(3節参照)。
- 主はジョン・ホイットマーがこれから記す歴史を価値のあるものと考えておられます。7-8節からこのことが分かります。どの部分でしょうか。
- このことはわたしたちの日記に、どのように当てはまるでしょうか。

69章の「はじめに」から、スペンサー・W・キンボール大管長の言葉を紹介する。生徒が聖典に対する証をどのようにして得たかを紙に書く。あるいは好きな聖句とその理由を紙に書く。書いたものを日記に加えるよう勧める。

## 教義と聖約70章

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスは初期の時代の兄弟たちに「モルモン書はわたしたちの宗教のかなめ石である」と教えた( *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 194)。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこれに付け加えて「教義と聖約は、末日に続けて与えられる啓示とともに、『かさ石』と言うことができます」と語った。ベンソン大管長は、主はモルモン書を「わたしたちをキリストのみもとに導く」ために備えられ、教義と聖約を「わたしたちをキリストの王国、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会へ導く」ために備えられたと証した(「モルモン経と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号, 95, 97参照)。ハワード・W・ハンター大管長は次のように説明した。「教義と聖約にはこの神権時代の男女に啓示された主の言葉と御心が収められています。これは特にわたしたちの時代のために与えられた聖典です。」( *Teachings of Howard W. Hunter*, 55) 主は70章の中で、預言者ジョセフ・スミスとほかの人たちに、後に教義と聖約となる数々の啓示を管理する責任を与えられた(1-5節参照)。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 教義と聖約は終わりの時における教会の基本となる聖文である(教義と聖約70章の前書き, 1-5節参照。2テモテ3:16-17も参照)。
- 全時間をささげて主に仕えるよう召されている教会指導者は、その生活に必要なものを教会から支給されなければならない(教義と聖約70:12-16参照。教義と聖約24:3-9; 42:71-72; 43:12-14も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 118 - 119。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 162 - 163。

### 教え方の提案

教義と聖約70:1-5。教義と聖約は終わりの時における教会の基本となる聖文である。(10-15分)

積み木を使って簡単なピラミッドを作る。次のように質問する。「もしこの模型が教会を表しているとしたら、いちばん下のブロックは何を表していると思いますか。」何人かの生徒から意見を聞く。生徒の意見を聞いた後で、イエス・キリストと預言者と使徒が教会の基礎となっていることを教える(エペソ2:20参照)。預言者ジョセフ・スミスはこの質問に対してもう一つの答えを与えていることを説明する。教義と聖約70章の前書きから、その答えを見つける。教義と聖約は教会の教義の基礎を形作っていることを説明する。教義と聖約69:1-2; 70:1-5を読む。以下の質問をする。

- 教義と聖約69：1 - 2にも70：1 - 5にも記されている二人の人物は、だれでしょうか。
- 教義と聖約69：1 - 2の中で、主はこの二人に何をしよう命じられたのでしょうか。
- 1節で言われている「戒め」とは何でしょうか（教義と聖約69章の前書き参照）。
- 教義と聖約70：1は、ほかのだれに向けられているのでしょうか。
- この人たちは何をしよう命じられたのでしょうか。

一人の生徒が『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（162ページ）から、70章の歴史的背景を読む。以下の質問をする。

- 主が教義と聖約の出版を重要視しておられたことを示す証拠として、何が挙げられるでしょうか。
- 教義と聖約を大切にしていることを主に示すには、どうすればよいでしょうか。

**教義と聖約70：12 - 16。全時間をささげて主に仕えるよう召されている教会指導者は、その生活に必要なものを教会から支給されなければならない。（5 - 10分）**

教会の召しを受けている生徒がいるかどうか聞く。以下の質問をする。

- あなたは召しを果たすために、毎週どれくらいの時間を使っていますか。
- 扶助協会の会長や監督は、召しを果たすためにどれくらいの時間を使っていると思いますか。
- 預言者は召しを果たすためにどれくらいの時間を使っていると思いますか。

以下の質問を生徒に振り分ける。教義と聖約24：3，7；70：12 - 16を生徒が読む。そして答えを探す。

- 主はこれらの僕たちにどれくらいの時間働くよう求められたのでしょうか（教義と聖約24：7参照）。
- 主はこれらの僕たちの物質的な必要をどのように満たされたのでしょうか（教義と聖約24：3参照）。
- 「霊的な事柄をつかさどるように任命される者は、……報酬を受けるのは当然である」（教義と聖約70：12）とは、どんな意味でしょうか。（全時間をささげて主に仕えるよう召されている教会指導者は、その生活に必要なものを教会から支給されるべきである。）
- 教義と聖約70：16によれば、これらの教会指導者に対して何を支給すべきでしょうか。

ブルース・R・マッコンキー長老が七十人定員会の会員を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

「救いの道を教え、導く者たちも、飲食しなければなりません。彼らも衣服を必要とし、結婚し、家族を育て、ほかの者たちと同じように生活しなければならないのです。彼らは王国を築くためにすべての時間と力を使います。だとすれば、ほかの人たち、すなわち彼らの教えと導きによって恵みを受けている人たちは、ぶどう園の働き人の正当な必要と入り用を満たさなければならないのです。なぜならば、『働き人が報酬を受けるのは当然』だからです（教

義と聖約84：79）。「しかし、シオンで働く者は、シオンのために働くべきである。もしも金銭のために働くならば、滅びるであろう。」（2ニーファイ26：31）」（*Doctrinal New Testament Commentary*, 全3巻〔1966 - 1973年〕, 第2巻, 351。教義と聖約24：3 - 9；42：71 - 72も参照）

## 教義と聖約71章

### はじめに

主が71章を与えられたとき、教会は批判する者たちや背教者から偽りの非難を受けていた。スペンサー・W・キンボール大管長はこのように語った。

「わたしたちはこれからも個人として、また教会として、試練を受けて試されるでしょう。わたしたちの前途には、今までにない苦難が待ち受けています。……この教会が人の教義を教える人の教会にすぎなければ、批判や迫害を受けることはまずないでしょう。しかし、この教会はイエス・キリストの御名で呼ばれる主御自身の教会です。したがって批判を受け、苦難に直面したとしても、何ら驚くに当たりません。信仰と徳高き行いによって、真理は地に広がって行くでしょう。」（「主の用向を有てる者」『聖徒の道』1981年9月号, 129）

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会に敵対する者からの非難に対応するには、御霊によって、聖文から福音を教えるのが最良の方法である（教義と聖約71：1 - 8参照。アルマ1：16，25 - 26；4：15 - 16，19；教義と聖約42：12 - 14；教義と聖約73章の前書きも参照）。
- 主は御自分の僕と業に敵対する者を打ち破られる（教義と聖約71：9 - 11参照。モルモン書ヤコブ7：1 - 2，13 - 20；アルマ12：1も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 113 - 115。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 164 - 165。

### 教え方の提案

**教義と聖約71章。教会に敵対する者からの非難に対応するには、御霊によって、聖文から福音を教えるのが最良の方法である。（10 - 15分）**

生徒に以下の質問をする。

- 教会や教会の指導者に対して非難や偽りの言葉を耳にしたら、どんな気持ちになりますか。
- 忠実な教会員なら、そのようなときどう対処すべきだと思いますか。

預言者ジョセフ・スミスの時代の聖徒たちは、そのような偽りの非難に対応しなければならなかったことを説明する。インスティテュートの資料を利用して71章の背景となる情報を紹介する（『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 113 - 115；『教義と聖約生徒用資料：宗教コース324 - 325』, 164参照）。教義と聖約71：1, 4, 7 - 11を読む。以下の質問をする。

- 主は預言者ジョセフに、どう対応するよう命じられたでしょうか。
- 主はジョセフにどんな約束を与えられたでしょうか。

教会指導者は、指示を受けないがぎり、教会の立場について話し合う公開討論会やフォーラムへの参加を奨励されていないことを教える。教会はそのような討論会に参加する会員に対して、教会の立場を正しく説明しないと教会に危害を与える可能性が大きいことを警告している。また、討論会に参加する会員は教会を代表して話すことのないよう求めている（ダリン・H・オクス, 「さまざまな他の声」『聖徒の道』1989年7月号, 30 - 33参照）。3ニーファイ11：28 - 29を読む。公の場で教会を代表する特別な召しを受けている人たちでも、論争や争いの気持ちを避けなければならないことを指摘する。

71章の「はじめに」から、スペンサー・W・キンボール大管長の言葉を分かち合う。次のように質問する。「批判に適切に対応する人々は、この言葉からどんな希望が得られるでしょうか。」アルマ1：16, 25 - 26；4：15 - 16, 19；教義と聖約42：12 - 14を生徒が読む。これらの聖句がこれまで話し合ってきた原則とどんな関係があるかを見つける。これらの聖句と教義と聖約71：7 - 11をつないで聖句チェーン（聖句のくさり）を作るよう勧める。教義と聖約73章の前書きを読む。福音を教えることが、教会に対して批判的な感情を持っていた人々にどんな影響を与えたかを見つける。



## 教義と聖約72章

### はじめに

エドワード・パートリッジ（教会の最初の監督）は、ミズーリ州インディペンデンスで働く召しを受けた。インディペンデンスはカートランドから1,300キロ以上も離れていた。そのため、カートランド地域でも監督を召す必要があった。主は72章で、カートランド地域の教会を管理するために、ニューエル・K・ホイットニーを教会の二番目の監督として召された（1 - 8節参照）。それから、監督の責任の概要を説明された（9 - 26節参照）。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は今日の監督の義務についてさらに指示を与えている。

「わたしは監督の皆さんに心から感謝しています。神の啓示の下にこの監督という職が設けられ、機能していることに深く感謝しています。……

……どうかワードにおいて管理大祭司としての役割を果たし、人々の相談相手となり、困っている人を支援し、悲しんでいる人を慰め、援助を必要としている人を助けてくださるようお願いいたします。また、ワードで教えられている教義の擁護者となり、質の

高いレッスンが行われていることを見届け、必要とされる多くの責任に会員たちを召してくださるようお願いします。……

……監督はだれ一人として空腹で着るものもなく住む家さえないという状態に置かれることのないよう気を配らなければなりません。管理するすべての人々の環境をも把握していなければなりません。

監督は会員にとって慰める者であり、導く者でなければなりません。助けを求める人のためにいつでも応じられるよう、扉を開いておかなければなりません。また、人々の重荷をともに背負えるように肉体的にも精神的にも強くなければなりません。そして悪事を行う者にさえ愛の手を差し伸べなければならないのです。」（『群れの羊飼い』『リアホナ』1999年7月号, 61 - 63）


### 学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちはこの世においても永遠にわたっても管理の職について報告することを求められる（教義と聖約72：3 - 4参照。マタイ24：44 - 47；教義と聖約59：2も参照）。
- 監督は会員たちのふさわしさを判断し、献金を管理し、貧しい者を世話する責任がある（教義と聖約72章参照。教義と聖約68：14 - 21も参照）。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 165 - 167。

### 教え方の提案

 教義と聖約72：3 - 4。わたしたちはこの世においても永遠にわたっても管理の職について報告することを求められる。（15 - 20分）

生徒に次のように質問する。「最も大切な二つの戒めとは何ですか。」もし生徒が答えを知らなければ、マタイ22：36 - 40を読む。黒板に「神を愛し、隣人を愛する」と書く。この二つの戒めを同時に守る方法を考えられるかどうか、生徒に聞く（マタイ25：40；モ - サヤ2：17参照）。一人の生徒が、奉仕を受けた経験について話す。その生徒が受けた奉仕のどこに神への愛が表れているかを考えるよう、生徒全員に勧める。教義と聖約72：3 - 4を読む。以下の質問をする。

- あなたが責任をどのように果たしてきたかについて、主はいつ裁きを行われるでしょうか。
- わたしたちは「この世において」だれに報告するのでしょうか（5節参照）。
- 「永遠にわたって」、つまり来世で、わたしたちはだれに報告するのでしょうか。（ヨハネ5：22参照）
- この世において賢く忠実であった人は、来世でどんな祝福を受けるでしょうか。

将来、自分の管理の職について良い報告ができるように、現在の生活の中で変えたいと思う事柄を紙に書く。

**教義と聖約72章。監督は会員たちのふさわしさを判断し、献金を管理し、貧しい者を世話する責任がある。（20 - 25分）**

72章の「はじめに」から、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の話を紹介する。教義と聖約72：3 - 5, 10 - 11, 16 - 19を生徒が読

む。次のように言う。「ワードのある会員が神殿推薦状を必要としています。その会員はだれのもとへ行ったらよいでしょうか。」(監督。3 - 5節参照。推薦状の更新については副監督が行えることを付け加えておく。)監督が助けることのできるほかの事柄を書き出すように勧める。生徒は自分が書き出した事柄を分かち合う。以下の質問をする。

- これまで監督からどんな祝福を受けてきたでしょうか。
- 教義と聖約84 : 36を読んでください。監督を支持することと主を支持することは、なぜ似ているのでしょうか。
- 監督をもっとよく支持するために、何ができますでしょうか。

## 教義と聖約73 - 74章

### はじめに

主は73章の中で、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに「再び翻訳する必要がある」(3節)と言われた。これは、聖書のジョセフ・スミス訳を再開することを指している。「神に關することを深く考え、瞑想すれば、理解の道が開かれます。思いと霊が整えられて、聖なる御霊が発する促しと導きを受けられるようになるのです。」(オッテンとコールドウェル, *Sacred Truths*, 第2巻, 394) ジョセフは再びこの翻訳に携わった。その時期に74章を受けた。74章は1コリント7 : 14を靈感によって解説したものである。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 家族の一人一人は、家庭において霊的に好ましい影響を与えることができる(教義と聖約74 : 1参照。エペソ5 : 22 - 6 : 4も参照)。
- 信仰の異なる相手と結婚すると、夫婦や家族の關係に困難が生じかねない(教義と聖約74 : 2 - 6参照。申命7 : 3 - 4 ; 2コリント6 : 14も参照)。
- 幼い子供たちは聖められており、イエス・キリストの贖罪によって日の栄えの王国に救われている(教義と聖約74 : 7参照。モロナイ8 : 8 - 22も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 167 - 169。

### 教え方の提案

**教義と聖約74 : 1。家族の一人一人は、家庭において霊的に好ましい影響を与えることができる。(5分)**

黒板に「人は他人の義によって救いを得ることができる」と書く。生徒にこの文章が正しいか、間違っているかを聞く。(誤り。信仰箇条1 : 2参照。)教義と聖約74 : 1を生徒が読む。次のように聞く。「黒板に書かれている文章が間違っているとしたら、この聖句はどんな意味でしょうか。」生徒から意見を聞く。以下の引

用文を分かち合う。

「コリントの教会では、一部の人は、夫または妻が改宗すると、改宗していない伴侶を清くない、汚れた者として捨てなければならないと考えていたようです。それはまったく間違った考え方です。実際、聖パウロは、夫婦のいずれか一人が改宗することによって家族に聖めの力をもたらすという意味のことを語っています。」(ハイラム・M・スミスとジェーン・M・ショダール, *The Doctrine and Covenants Commentary*, 改訂版〔1972年〕, 432)

次のように質問する。「家族のだれか一人が家全体の雰囲気を変えるなんて、一体どうすればできるのでしょうか。」デーモン・L・ラーセン長老は、七十人定員会会長会の一員を務めていたときに、若人に対して次のような勧告を与えた。

「自分が何者であるのかを忘れないでください。この地上に来た目的を忘れないでください。そして皆さんは特別な奉仕を行うために選んでおかれたということをお忘れしないでください。天の御父と御子イエス・キリストが抱いておられる、皆さんへの信頼を裏切らないでください。皆さんは家庭の霊的環境を整えるために家族のだれにも劣らぬ貢献をすることができます。それは皆さんに与えられた能力というだけでなく、皆さんに与えられた義務なのです。聖文を勉強してください。そして家族にもそうするように励ましてください。祈ってください。そして、家族も祈ることができるよう、最善を尽くしてください。什分の一の戒めを守ってください。知恵の言葉を守ってください。清くあってください。皆さんが自分の本分を果たすときに、想像もできなかったような影響力を身に付けることができるでしょう。」(「高貴なる世代」『聖徒の道』1983年7月号, 65参照)

それぞれの家庭に主の御霊を招くために何ができるかを生徒に考えるよう勧める。

**教義と聖約74 : 2 - 6。信仰の異なる相手と結婚すると、夫婦や家族の間に困難が生じかねない。(10 - 15分)**

水の入った瓶と油の入った瓶を見せる。二つの液体がどれほどよく混じり合うか聞く。油の中に水を注ぐ。よく振る。水と油がたちまち分離するのを生徒に見せる。教義と聖約74 : 2 - 6を読む。これらの節が、水と油とどう関連しているかを見つける。以下の質問をする。

- 別々の宗教を信じている夫婦は、どんなチャレンジに遭う可能性があるでしょうか。
- このような夫婦は、子供たちにどんな影響を与えるでしょうか。
- 将来結婚して、一致したすばらしい結婚生活を送るためには、青少年の時期にある今、どんな目標を立てることができるでしょうか。

大管長会が発表した以下の声明を紹介する。

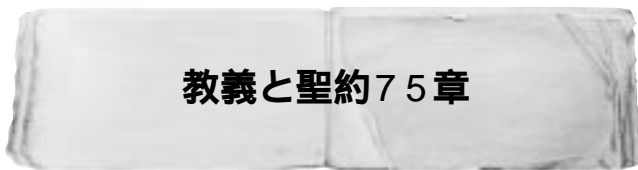
「デートは結婚の準備のためにするものです。ですから高い標準を持っている人とだけデートをしてください。あなたの標準を尊重してくれる人とだけデートをしてください。あなたがイエス・キリストの福音の標準を守ろうとしているのに、それを妨げようとするような人とは、決してデートしないでください。」(「若人のために」, 7参照)

**教義と聖約74:7**。幼い子供たちは聖められており、イエス・キリストの贖罪によって日の栄えの王国に救われている。(5-10分)

あなたの子供(またはあなたがよく知っている子供)の写真を見せる。あなたがその子供とともに経験した特別な経験を分かち合う。あなたがその子供を愛していることを伝える。黒板に「モーサヤ3:16; モロナイ8:8-12; 教義と聖約29:46-47; 68:27」と書く。これらの参照聖句を生徒が読む。以下の質問をする。

- 天の御父は御自分の子供たちにどんな気持ちを抱いておられるでしょうか。
- 子供は何歳になったら自分の罪の責任を問われるのでしょうか。
- 責任を負うことができる年齢に達する前に死ぬ子供たちは、どこへ行くのでしょうか。

教義と聖約74:7を開く。子供たちは何の力によって救われているのかを見つける。この聖句と黒板に書かれている聖句を使って、聖句チェーン(聖句のくさり)を作るように勧める。



## はじめに

教義と聖約に収められている多くの啓示は、教会の大会が開かれているときに与えられた。75章はオハイオ州アマーストで開かれた大会で与えられたものである。この啓示は、主として伝道活動に関するものである。ポイド・K・パッカー長老はこのように語った。「わたしたちは、この世のすべての人に福音を宣べ伝える責任を受けているのです。『全世界の人々を改宗しようというわけですね』と問われたら、『そうです。生きているすべての人に宣べ伝えるつもりです』と、わたしたちは答えます。」(「死者の贖い」『聖徒の道』1976年2月号, 129参照)


## 学び取るべき重要な福音の原則

- 忠実な宣教師は主の助けを受けて働き、来世における祝福を約束される(教義と聖約75:2-22参照。教義と聖約4章も参照)
- 教会員は宣教師と宣教師の家族を支援する責任がある(教義と聖約75:24-28参照。教義と聖約31:5も参照)

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 169 - 171。

## 教え方の提案

 **教義と聖約75:2-22**。忠実な宣教師は主の助けを受けて働き、来世における祝福を約束される。(15-20分)

黒板に職業を幾つか書き出す(例えば、農夫、建築家、医師、技師、工場の生産ライン労働者、教師など)。以下の質問をする。

- これらの職業を持つ人の適正な賃金はいくらだと思いますか。
- あなたはどんな職業を選ぶでしょうか。なぜですか。
- これらの職業の賃金と宣教師の賃金は、どう比較できるでしょうか。
- 主の賃金と人の賃金の間には、どんな違いがあるでしょうか。

教義と聖約75:3-22を生徒が読む。宣教師の責任のリストを作る。また、宣教師に約束されている祝福のリストを作る。責任のリストには以下の事柄が含まれるだろう。

- 熱心に働く。怠けない(教義と聖約75:3参照。教義と聖約88:124も参照)。
- 声を上げる(教義と聖約75:4, 9, 13, 15参照。教義と聖約60:2も参照)。
- 真理を教える(教義と聖約75:4参照)。
- 聖文から教える(4節参照)。
- 忠実である(5節参照)。
- 聖霊を求めて祈る(10節参照)。
- 常に祈る(11節参照)。

約束のリストには以下の事柄が含まれるだろう。

- 多くの束を積まれる(教義と聖約75:5参照)。
- 誉れと栄光を冠として受ける(5節参照)。
- 不死不滅と永遠の命を受ける(5節参照)。
- 慰め主によって教えられる(10節参照)。
- 主がともにおられる(11, 13-14節参照)。
- 終わりの日に高く上げられる(16, 22節参照)。
- 喜びと楽しみで満たされる(21節参照)。
- すべてのものに打ち勝つ(22節参照)。

75章では24名の男性が伝道に召されたことを説明する。次のように言う。「皆さん全員が今日、宣教師の召しを受けたとします。」

- 宣教師の召しを受けたことを、どう感じると思いますか。
- どの分野について、準備ができていると思うでしょうか。
- どの分野について、まだ準備が足りないと思うでしょうか。

以下の話を紹介する。十二使徒定員委員会を務めていたときにハワード・W・ハンター長老は次のように語った。

「教会の宣教師は、老若を問わず、全世界にいます。彼らは耳を傾けるすべての人に主イエス・キリストを信じる信仰の原則を教えています。その他の福音の原則も教えています。この伝道活動は、主御自身が定められた方法に従って行われています。マルコがその方法を記録しています。『また十二弟子を呼び寄せ、ふたりずつかわすことにした。』(マルコ6:7)十二弟子は1,900年以上の昔に出て行って、イエスが神の御子であることを証しました。そして

現代において主を代表する献身的な人々もまた、『ふたり  
ずつ』全世界へ出て行って、同じ証を述べています。』  
(Conference Report, 1975年4月, 58; または*Ensign*,  
1975年5月号, 39)

預言者ジョセフ・スミスはこのように語った。

「いかなる汚れた者の手も、この御業の発展を止めるこ  
とはできない。迫害は威を振るい、暴徒は連合し、軍隊が  
集合し、中傷の風が吹き荒れるかもしれない。しかし神の  
真理は大胆かつ気高く、悠然といで立ち、やがてあらゆる  
大陸を貫き、あらゆる地方に至り、あらゆる国々に広まり、  
あらゆる者の耳に達し、ついに神の目的は成し遂げられるで  
あろう。かくして、大いなるエホバは、御業は成ったと告げ  
られることだろう。」(*History of the Church*, 第4巻, 540)

自分たちが伝道活動の一翼を担えることを知って、どのよう  
に感じるかを生徒が述べる。もしあなたが宣教師として奉仕した経  
験があれば(あるいは伝道活動の経験があれば)、生徒にとって  
励ましとなる経験や証を分かち合う。生徒(若い男性全員と、伝  
道を希望する若い女性)に伝道に出るための準備を今から始める  
よう励ます。

**教義と聖約75:24-28. 教会員は宣教師と宣教師の家族を支  
援する責任がある。(10-15分)**

生徒用学習ガイド(教義と聖約82章の「はじめに」を参照)か  
ら、昔のテントの絵を見せる。以下の質問をする。

- このテントを地面で支えているのは何でしょうか。(テント用  
のポール)
- テントが教会の宣教師プログラムを表しているとしたら、ポ  
ールは何を表すでしょうか。(会員たち)

教義と聖約75:6-17, 30-36に目を通す。主は何組の宣教師  
を召されたかを見つける。全員で24-28節を読む。会員たちはこれ  
らの宣教師を支援するために何をしよう求められたかについて  
話し合う。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒  
定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

「宣教師として旅をするよう召されたこれらの兄弟たち  
の大半は、この世のものについては貧しい者でした。何の  
支援もないまま家族を残して、主の業のために出て行くこ  
とは容易なことではありません。しかし、伝道の召しはこ  
の上なく大切なものでした。人の霊がかかっています。メ  
ッセージを耳にするのを待っている人々がいます。そして、  
メッセージを聞いて福音を受け入れる人々は、教会を強め  
る力になるのです。……このため、次のような戒めが与え  
られました。宣教師が後に残した家族が住むために、ふさ  
わしい場所を与えること。彼らの世話をすること。教会員  
は『心を開いて』伝道活動を支援すること。」(*Church  
History and Modern Revelation*, 第1巻, 276-277)

今日の会員たちが宣教師とその家族を支援できる方法を生徒が  
提案する。(答えには以下の事柄が含まれるであろう。宣教師が  
教える求道者を見つける。宣教師のために祈る。宣教師が後に残  
した家族を訪問して、様子を聞く。励ましの手紙を送る。献金す  
る。モルモン書を寄付する。) これらを黒板に書き出すとよい。  
スペンサー・W・キンボール大管長はこのように述べた。「教会  
の宣教師の働きを助けるにはどうすればよいでしょう。キリスト  
教徒としてのすばらしい徳を生活の中で示すことです。これに勝  
る方法はありません。」(「鉄の棒をしっかりとつかむ」『聖徒の道』  
1979年2月号, 9参照) 生徒にワードの宣教師を支援するよい方法  
を一つ選んで行うよう勧める。数日後、何人かの生徒に、実行し  
たことを報告するよう勧める。

## 教義と聖約76章



### はじめに

大管長会で副管長を務めたチャールズ・W・ベンローズ副管長  
はこのように述べた。「教義と聖約76章にはわたしの生涯で出会  
ったいかなる書物の言葉よりも偉大な啓示が収められています。  
これと肩を並べられるような啓示は聖書の中にもありません。わた  
しがこれまでに読んだ書物の中で、この啓示くらいすばらしいも  
のはありません。栄光、完全さ、詳細であること、子らの救いの  
ための御父の計画を明らかにしていること、どれをとっても、こ  
の啓示に勝る書物はありません。」(Conference Report, 1922年4  
月, 29)

76章が啓示された当初、一部の教会員はこの啓示を容易に受け  
入れることができなかった。ブリガム・ヤング大管長はこのよう  
に語った。「それはこの世代にとって新しい教義でした。多くの  
人々にとっては受け入れるのが難しい教義でした。」(『歴代大管  
長の教え - ブリガム・ヤング』, 319) 別の折にヤング大管長は次  
のように説明した。「わたしはそのような伝統の基に生きてきま  
した。ですから、この示現〔教義と聖約76章〕を初めて知ったと  
き、それはそれまでに聞いていたこととは全く違う、反対の教え  
でした。わたしはこう言いました。『少し待ってください。否定  
するつもりはありません。ただ、理解できないだけなのです。』」  
やがて、ヤング大管長はこれを「人々に宣言された教義の中で最  
も優れた教義の一つ」であると考えようになった。(Journal of  
discourses, 第6巻, 281)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会  
会長を務めていたときに次のように語った。76章は「すべての教  
会員がかけがえのない受け継ぎとして大切にしなければならない  
ものです。これは会員たちの信仰を強め、正しく忠実なすべての  
人に約束されている昇栄を追及する励ましとなるものです。明快  
で簡潔なその教えは、人に戸惑いや誤解を与える余地がありませ  
ん。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 279)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストは天の御父の指示の下で数々の世界を創造  
し、そこに住む者たちが救われるように贖罪を成し遂げられ

た(教義と聖約76:1-4, 23-24, 40-43, 69, 107-108参照。モーセ1:27-39も参照)。

- 主は主を畏れ主に仕える人たちに、知恵と啓示と永遠の栄光を与えると約束しておられる(教義と聖約76:5-10参照)。
- 祈りの気持ちで聖文を読み、深く考えると、啓示を受けやすくなる(教義と聖約76:15-19参照。1ニーファイ11:1; 教義と聖約138:1, 11も参照)。
- 父なる神とイエス・キリストは生きておられ、末日に預言者たちに姿を現された(教義と聖約76:20-23; ジョセフ・スミス - 歴史1:17参照)。
- 滅びの子らは復活するが、栄光の王国を受け継がない。彼らは神の前から永遠に断たれる(教義と聖約76:25-49参照。2ニーファイ9:15-16も参照)。
- 日の栄え、または月の栄えを受ける人たちは、第一の復活、すなわち正しい者の復活の時に出て来る。星の栄えを受ける人々と滅びの子らは最後の復活、すなわち正しくない者の復活の時に出て来る(教義と聖約76:50, 63-65, 85, 102参照。教義と聖約45:54; 88:96-102も参照)。
- イエスの証に雄々しく、福音の原則と儀式に従う人たちは、日の栄えの王国に昇栄して神々となる(教義と聖約76:50-70, 74, 79, 82, 92-96, 101参照。教義と聖約132:20も参照)。
- 天には日の栄え、月の栄え、星の栄えの王国がある。それぞれの王国に住む者たちは、栄光と力と威勢と支配において異なる(教義と聖約76:50-112参照。ヨハネ14:2; 1コリント15:40-42も参照)。
- 現世は神とともに住む用意をする時期である(教義と聖約76:112参照。アルマ34:31-36; 教義と聖約131:1-4; 132:15-17も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 117-118。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 171-180。

## 教え方の提案

教義と聖約76章。栄光の三つの階級に関する示現の概要。(20-25分)

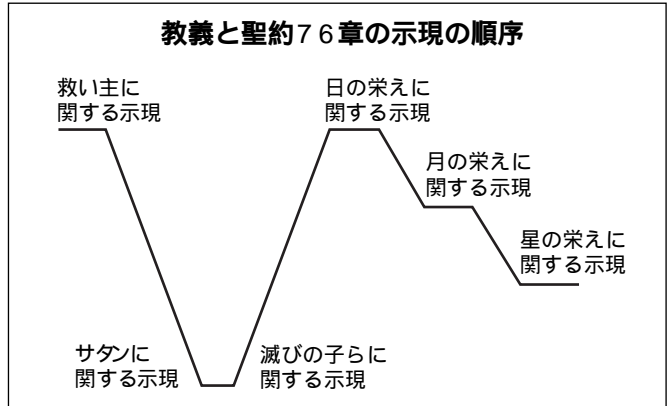
『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』(172ペ - ジ)の歴史的背景から、76章を受けたときの様子を書いたフィロ・ディブルの記事を分かち合う。次のように質問する。「預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンがこの啓示を受けたときに、あなたも同じ部屋の中にいたとしたら、どんな感じがしたと思いますか。」

この啓示を最初に聞いたとき、初期の聖徒たちが経験した問題について、76章の「はじめに」から紹介する。ヨハネ5:29を読む。ジョセフ・スミスの時代の聖徒たちが裁きの後の生活について知っていた事柄はこの聖句に基づいていたことを説明する。栄光の三つの階級に関する示現が、初期の聖徒たちに対してどのようにチャレンジとなり、同時に靈感をもたらしものとなったかについて話し合う。

76章は長い章であるため、最初に章の構成を理解しておく、


生徒はスムーズに学習できる。76章を以下のように分類する。生徒はその分類に従って、自分の聖典にしるしをつける。

- 主はどんな御方が、忠実な者に対する主の約束とは何か(1-10節参照)
- この啓示が与えられた背景(11-19節参照)
- 御子の栄光(19-24節参照)
- ルシフェルの墮落(25-29節参照)
- 滅びの子ら(30-38, 43-49節参照)
- 日の栄え(50-70, 92-96節参照)
- 月の栄え(71-80, 87, 91, 97節参照)
- 星の栄え(81-86, 88-90, 98-112節参照)



上の図を黒板に書き写す。救い主に関する示現に続いてサタンに関する示現、滅びの子らに関する示現、そして日の栄えに関する示現が与えられたことを指摘する。以下の質問をする。

- ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンはこの順序で示現を見ました。この順序は、二人にどんな影響を与えたと思いますか。
- この順序で示現を読むことによって、何が学べるでしょうか。

 **教義と聖約76:1-4, 22-24, 40-43, 69, 107-108(マスター聖句, 教義と聖約76:22-24)。** イエス・キリストは天の御父の指示の下で数々の世界を創造し、そこに住む者たちが救われるように贖罪を成し遂げられた。(15-20分)

合本の巻末にある『聖句ガイド』の史跡写真から、ジョン・ジョンソンの家の写真(27)を見る。次のように質問する。「ジョン・ジョンソンの家のこの部屋で、重大な啓示が与えられました。何章の啓示でしょうか。」(76章)教義と聖約76:22-24を生徒が読む。この啓示が非常に大切である理由を見つける。以下の質問について話し合いを進める。その間、大切だと思う事柄にしるしをつける。

- イエス・キリストが生きておられることを知ることは、なぜ大切でしょうか。
- ジョセフ・スミスはどんな意味で、「最後に」と言ったと思いますか(22節。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』174ページの教義と聖約76:20-24の注解参照)。
- 神の右にいるとは、どんな意味でしょうか(マタイ25:31-34, 41; 教義と聖約29:27参照)。
- 肉における御父の独り子とは、だれのことでしょうか(イエ

ス・キリスト)。

- イエス・キリストによって「もろもろの世界が現在創造され、また過去に創造された」とは、どんな意味でしょうか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』174ページ - ジの教義と聖約76:24の注解参照。モーセ1:33も参照)。
- わたしたちはイエス・キリストを通して「神のもとに生まれた息子や娘」と教えられています。どういう意味でしょうか(教義と聖約76:24; 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』55ページの教義と聖約25:1の注解参照。モーサヤ5:7も参照)。

教義と聖約76:40 - 43, 107 - 108を読む。救い主が「神の……息子や娘」となる人々を救われる方法について書いている語句にしるしをつける。

**教義と聖約76:5 - 10。主は主を畏れ主に仕える人たちに、知恵と啓示と永遠の栄光を与えると約束しておられる。(10 - 15分)**

生徒とともに教義と聖約76:5を読む。義をもって主に仕える人たちに与えられた主の約束を見つける。6 - 10節を調べ、主が忠実な僕たちを祝福される方法を挙げるよう勧める。(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』173ページの教義と聖約76:5 - 10の注解参照) 主が約束された祝福を生徒が一つ選ぶ。なぜその祝福を受けたいと思うかを1段落にまとめて書く。

**教義と聖約76:15 - 19。祈りの気持ちで聖文を読み、深く考えると、啓示を受けやすくなる。(15 - 20分)**

生徒に型紙を見せる。何に使うものか聞く。次のように質問する。「この型紙の通りに縫うとどうなるでしょうか。」可能であれば、その型紙を使って完成させた服を見せる。黒板に以下の参照箇所を書き出す。「教義と聖約76:15 - 19; 138:1 - 2, 11; 1ニーフアイ11:1; ジョセフ・スミス - 歴史1:11 - 13。」それぞれの聖句は、啓示が与えられる直前に何が起きたかを説明していると教える。これらの聖句を生徒が読む。そして、啓示を受ける「パターン」を見つける。聖文の内容について思い巡らし、深く考え、熟考すると、なぜ啓示を受けやすくなるかについて話し合う。

以下の言葉を紹介する。デビッド・O・マッケイ大管長は副管長を務めていたときにこのように語った。

「主の前に通じる最も神秘的で神聖な扉の一つは、思い巡らすことです。イエスはわたしたちにその模範を示されました。イエスはバプテスマをお受けになりました。すると御父が、『これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である』という承認をお与えになりました。それからすぐに、イエスは、現在誘惑の山として知られている場所へ行かれました。わたしはその山が熟考する場所であったと考えています。イエスはそこで40日間断食されました。その間、自分を見詰め、御父と語り合い、御自身の偉大な使命に伴う責任について深く考えられました。この霊的な交わりから得られた結果の一つは、誘惑する者に対して次のように告げる力でした。

『……「サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある。』(マタイ4:10) (Conference Report, 1946年4月, 113)

マービン・J・アシュトン長老はこのように述べた。

「わたしたちは深く考えることによって、<sup>みたま</sup>御霊の導きを受ける機会を得ることができます。物事を深く考えることは、思いと心を結びつける強力な環となります。聖文を読むと、その中に書かれた言葉はわたしたちの思いと心に訴えかけてきます。この深く考える<sup>たまもの</sup>賜物を用いる人は、永遠の真理を受け入れ、それを日々の行動の中に取り入れる方法を理解できるようになります。」(『多くの賜物』『聖徒の道』1988年1月号, 20 - 21)

**教義と聖約76:25 - 49。滅びの子らは復活するが、栄光の王国を受け継がない。彼らは神の前から永遠に断たれる。(25 - 30分)**

黒板に、『『ルシフェル』とは\_\_\_\_\_という意味である。』と書く。『聖句ガイド』から、ルシフェルの項を生徒が読む。空欄を埋める。教義と聖約76:25 - 28を読む。ルシフェルは何と呼ばれるようになったかを見つける。ルシフェルはどのようにして滅びとなったかについて話し合う(イザヤ14:12 - 17; モ - セ4:1 - 4も参照)。

ある国がほかの国と戦争を開始すると宣言した例を生徒が挙げる。次のように質問する。「戦争の開始を宣言することは、両国にどんな影響を与えるでしょうか。」教義と聖約76:29を読む。もう一つの宣戦布告を見つける。以下の質問について話し合う。

- サタンはだれに対して戦いを宣言したのでしょうか。
- サタンが神の聖徒たちに戦いを挑んでいます。とすると、サタンはわたしたちに対してどのような目的を持っているのでしょうか。
- サタンは天の戦いでどのように打ち負かされたのでしょうか(黙示12:11参照)。
- なぜサタンは、<sup>あかし</sup>救い主の証を持っている人や戒めを守っている人を恐れるのでしょうか。
- あなたを滅ぼそうとするサタンの攻撃を防ぐために、あなたは何ができるでしょうか(エペソ6:11 - 18; 黙示12:7 - 11参照)。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を読む。

「リーハイはその夢の中で、暗黒の霧の中で人々を導いてくれた鉄の棒を見ました。もし人々がその棒にしっかりとつかまっているならば、汚れた水を避け、禁じられた道へ踏み迷わず、破滅へと続く違った道へさまようことがないのです。後にリーハイの息子のニーフアイは、鉄の棒の象徴についてはっきりと説明しています。レーマンとレミユエルが『鉄の棒は何を意味するのか』と尋ねたとき、ニーフアイはこのように答えました。『それは神の言葉であって、(次の約束に注目してください)だれでも神の言葉に聞き従って、それにしっかりとつかまる者は、決して滅びることがなく、また敵対する者の誘惑や火の矢も、彼らを打ち破って盲目とし、滅びに至らせることはない……。』(1ニーフアイ15:23 - 24。強調付加) 神の言葉はただ、ほ



かのどんな実よりも好ましいその実へとわたしたちを導くだけではありません。わたしたちは神の言葉の中に、また神の言葉を通して、誘惑に打ち勝つ力、すなわちサタンとその使いたちの業を覆す力を見いだすことができるのです。……

……これは現代のチャレンジへの答えです。聖文、生ける預言者の言葉、そして個人の啓示の中に見いだされる神の言葉は、聖徒を強める力を持ち、御霊<sup>みたま</sup>で守ってくれます。その結果、聖徒たちは悪に立ち向かい、善を固く守って、この人生に喜びを見いだすことができるのです。」「(「み言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号、79 - 80参照)

教義と聖約76：30 - 49を生徒が読む。そして、滅びの子らについて調べる。

(注意：サタンについて、あるいはだれが滅びの子となるか、ならないかということについて、憶測しないように注意する。)以下の質問をする。

- 何をしたら滅びの子となるのでしょうか。
- 滅びの子らは、どうなるのでしょうか。
- 滅びの子となることは、「神のもとに生まれた息子や娘」となることと、どう違うのでしょうか(24節)

モーサヤ5：7；教義と聖約25：1を読む。人はどのようにしてイエス・キリストの息子や娘となるかを復習する。生徒にこの道を歩むよう奨励する。

**教義と聖約76：50 - 119。日の栄え、または月の栄えを受け人たちは、第一の復活、すなわち正しい者の復活の時に出て来る。星の栄えを受け人たちと滅びの子らは、最後の復活、すなわち正しくない者の復活の時に出て来る。(40 - 45分)**

次のように言う。「ほかの教会へ行っている友達と宗教について話し合っているとします。その友だちがこのように言います。『先週の日曜日、教会で牧師さんがね、わたしたちは最終的に天国か地獄のどちらかへ行くんだって言ったの。今のわたしは天国へ行けるほど善いことをしているとは思わないけれど、地獄へ行くほど悪いことをしているわけでもないと思うの。あなたの教会ではどう教えているの。』」栄光の三つの階級に関する教えは、この友だちにとってどのように役立つかを話し合う。

栄光の三つの階級を述べている節を見つけて、分類する(「教え方の提案」教義と聖約76章の、122ページ参照〔すでにこの活動を終えていれば、繰り返す必要はない〕)。黒板に以下の見出しを書く。「日の栄えの王国(教義と聖約76：50 - 70, 92 - 96)」, 「月の栄えの王国(教義と聖約76：71 - 80, 87, 91, 97)」, 「星の栄えの王国(教義と聖約76：81 - 86, 88 - 90, 98 - 112)」。各王国について説明している節を見つける(クラス全体で行ってもよいし、グループで行ってもよい)。それぞれの王国の特徴を生徒が挙げる。該当する見出しの下に生徒がそれらを書く。以下の中から、すべて、または一部の質問について話し合う。

- それぞれの王国に行く人々は、どの順序で復活しますか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』177ページ、教義と聖約76：50の注解参照。教義と聖約45：54；88：96 - 102も参照)
- 「約束の聖なる御霊<sup>みたま</sup>により結び固められている」とは、どん

な意味でしょうか(教義と聖約76：53。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』177 - 178ページの、教義と聖約76：53の注解参照)。

- 「長子の教会」とは何でしょうか。(教義と聖約76：54。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』178ページの、教義と聖約76：54の注解参照)
- 「完全な者とされた正しい人々」とは、どんな意味でしょうか(教義と聖約76：69。教義と聖約129：3 - 6；138：12参照)。
- 「イエスの証<sup>あかし</sup>に雄々しく」とは、どんな意味でしょうか(教義と聖約76：79。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』179ページの、教義と聖約76：79の注解参照。教義と聖約58：27 - 28も参照。このテーマについては次の「教え方の提案」で詳しく話し合う)。
- 霊界で福音を受け入れることが可能だとしても、霊界に行くまで義にかなった生活をするを引延ばすべきではありませんし、この世に生きている間は熱心に努力しなくてもよいと考えるべきでもありません。なぜでしょうか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』178 - 179ページの教義と聖約76：72 - 74の注解参照)。
- 天の御父とともに住むことができるのは、ある人々に限られています。どんな人々でしょうか(教義と聖約76：62, 77, 86参照)。
- それぞれの王国の間には、また、それぞれの王国へ行く人たちの間には、どんな栄光の差があるのでしょうか(教義と聖約76：70, 78, 89 - 98参照)。
- 三つの王国と神会の方々とは、どんな関係があるのでしょうか(教義と聖約76：62, 77, 86, 112参照)。
- 星の栄えに住む人たちは、なぜ「地獄に落とされる」のでしょうか(教義と聖約76：84)。「地獄に落とされる」とは、どういう意味でしょうか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』179 - 180ページの教義と聖約76：81 - 85の注解参照)。
- 地獄を経験した後で、栄えの王国を受け人々がいるのは、なぜでしょうか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』180ページの教義と聖約76：89 - 106の注解参照)。
- あなたが日の栄えの王国にいちばん行きたいと思うのは、なぜですか。

**教義と聖約76：50 - 70, 74, 79, 82, 92 - 96, 101。イエスの証<sup>あかし</sup>に雄々しく、福音の原則と儀式に従う人たちは、日の栄えの王国に昇栄して神々となる。(20 - 25分)**



加工する前の鉄を生徒に見せる(あるいは黒板に絵を描く)。以下の質問をする。

- この鉄はこの状態でどれくらい価値があるでしょうか。
- もしこれで馬のてい鉄を造ったら、価値が変わりますか。調理道具を造ったらどうですか。科学の機器を造ったらどうですか。

スペンサー・W・キンボール大管長が十二使徒定員会会長代理を務めていたときに語った以下の言葉を紹介する。

「鉄は明らかに、……別のものに造り替えられる過程で手がけられただけの値打ちが出ます。何に造られるかによってその価値の大きさが決まるのです。人もまた、鉄と同じです。あなたもわたしも、鉄のままでもできるし、高い水準のものへ磨きをかけられることもできます。つまり、わたしたちの価値は、自分で造り上げるものによって決まるのです。」(「おのれを欺く」『聖徒の道』1973年1月号, 12参照)

以下の質問について話し合う。

- 人々はどんな意味で鉄にたとえられるでしょうか。
- どうすれば人は自分の価値を高めていくことができますか。
- このことは栄光の三つの階級とどんな関係があるでしょうか。

教義と聖約76：51, 74, 79, 82, 101を読む。各節に共通する語句を見つける。次のように質問する。「なぜ『イエスの証』は、わたしたちの受け継ぐ王国が決められる際に大切な要素となるのでしょうか。」

生徒とともに教義と聖約76：52 - 60, 92 - 95を読む。それから、以下の質問について話し合う。

- 日の栄えの王国を受け継ぐ人々には、どんな祝福が与えられるでしょうか。
- 日の栄えの王国を受け継ぐには、どんな条件を満たす必要があるでしょうか。
- 79節を読んでください。「イエスの証に雄々しく」とは、どんな意味だと思いますか。

黙示3：15 - 16；教義と聖約58：27 - 28を読む。生徒たちは、主が自分に望んでおられる雄々しさとは、どの程度のものかについて、考えを分かち合う。エズラ・タフト・ベンソン大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

「雄々しくイエスを証する人は……真理と義を雄々しく擁護します。教会で自分の召しを尊んで大いなるものとし(教義と聖約84：33参照)、什分の一とささげ物を納め、道徳的に清い生活をし、言葉と行いの両方で指導者を支持し、安息日を聖く保ち、神のすべての戒めに従う会員こそがそう呼ばれるにふさわしい人なのです。……

……雄々しく証をしない人々には、永遠の悲しみという結果が待ち受けています。そのような人は、この末日の御業が真実であることを知っていても、最後まで堪え忍ぶことはできません。神殿推薦状を持っていながら、教会の責任を尊んで大いなるものとしようとしない人もいます。勇気がないために、神の王国を擁護して固く立つことがないのです。人からの称賛、へつらい、尊敬を求める人もいれば、自分の罪を覆い隠そうとする人もいます。中には自分たちを管理する人を批判する人さえいます。」(「イエスの証をなすに雄々しくあれ」『聖徒の道』1982年7月号, 109参照)

以下の質問をする。生徒は答えを紙に書く。

- わたしはどれほど雄々しくイエスの証をしているだろうか。
- もっと雄々しく証をするために、わたしは何ができるだろうか。

**教義と聖約76：112。現世は神とともに住む用意をする時期である。(10 - 15分)**

以下の文章の意味を生徒が説明する。「試合が始まる時、練習時間は終わる。」アルマ34：32 - 33を読む。一人の生徒が、これらの節とこの文章との関係について説明する。次のように質問する。「この世で行う選択は、来世の生活にどう影響するでしょうか。」

教義と聖約76：112；131：1 - 4；132：15 - 16を生徒が読む。そして、これらの節で教えられている教義を見つける。わたしたちがこの世で行う選択は、永遠の生活にどう影響をするかについて話し合う。

## 教義と聖約77章

### はじめに

多くの人は黙示録を聖文の中で最も理解しにくい聖文の一つであると考えている。しかし預言者ジョセフ・スミスはこのように語った。「黙示録は神が人に書くように命じられたされたものの中で、最も明快な書物の一つです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 290) 預言者ジョセフがヨハネの啓示に確信を持っていた理由の一つは、彼が靈感によって聖書を改訂したためであったと考えられる。ジョセフ・スミスは、1831年3月から1833年2月まで、新約聖書の改訳を行った。1832年3月に預言者は黙示録に関する質問を主に尋ねた。そして77章に記されている啓示を受けた。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖文と現代の預言者の教えは、聖文の難解な箇所を理解するのに役立つ解説を与えている(教義と聖約77章参照。教義と聖約74章も参照)。
- 人間と動物の霊は現世の肉体と同じ形である(教義と聖約77：2参照)。
- 義人は亡くなるとパラダイスに入る(教義と聖約77：5参照。アルマ40：11 - 12も参照)。
- 地球は七千年間、現世として存在する(教義と聖約77：6 - 7参照)。
- わたしたちが再臨に備えられるように、主はこれまで、再臨に先立って起きる多くの出来事を預言してこられた(教義と聖約77：6 - 15参照)。
- 地球が現世として存在する期間における第七の千年の間に、神は子らの救いに関する業を終えられる(教義と聖約77：12参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 117 - 118。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 181 - 185。

## 教え方の提案

**教義と聖約77章。聖文と現代の預言者の教えは、聖文の難解な箇所を理解するのに役立つ解説を与えている。(35 - 40分)**

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を黒板に書く。強調部分は空白にしておく。「黙示録は神が書くように命じられたものの中で、最も明快な書物の一つです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 290. 強調付加) 次のように質問する。「預言者ジョセフ・スミスが述べているのは、聖典の中のどの記録だと思いますか。」正解を言う前に、数人の生徒から答えを聞く。

一人の生徒が、77章の「はじめに」を読む。以下の質問をする。

- ジョセフ・スミスはある経験を通して、黙示録がよく分かるようになりました。どんな経験だと思いますか。
- 預言者のある経験によって、黙示録はもっと分かりやすいものになりました。彼のどんな経験によって黙示録はより明白になったと思いますか。
- 聖文に関する疑問の答えを受ける方法について、預言者ジョセフ・スミスの経験から何がわかりますか。

黙示4:4-8; 5:1を生徒が読む。それから、心に浮かんだ疑問を書き出す。教義と聖約77:1-7を読む。その疑問の答えを探す。靈感に基づいて与えられた答えにしるしをつける。各自の聖書の余白に相互参照箇所を記入するよう勧める。

教義と聖約77章の残りの部分は、黙示録7-11章を扱っていることを説明する。表を黒板に書き写す。黙示録の節と教義と聖約の節を比較する。再び各自の聖書の余白に相互参照箇所を記入する(または、脚注を丸で囲む)。

黙示録	教義と聖約77章
7:1-8	8-11節
8:2	12節
9章	13節
10:10	14節
11:1-12	15節

近代の聖典は、古代の聖典の中で解釈が混乱している聖句について正しい解釈を与えている場合が多い。そのことを生徒が理解できるようにする。さらに、聖霊の導きによって聖文を理解する方法があることを証する。

**教義と聖約77:6-15。わたしたちが再臨に備えられるように、主はこれまで、再臨に先立って起きる多くの出来事を預言してこられた。(20-25分)**

一人の生徒が『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(181ページ)の教義と聖約77章の歴史的背景から、最初の段落を読む。以下の質問をする。

- 教義と聖約77章の啓示は、何がきっかけとなって与えられたのでしょうか。
- もしあなたが救い主に質問することができるとしたら、どんなことを聞きますか。
- 今の人々は、将来の出来事について、何にいちばん関心があるのでしょうか。
- あなたは再臨について、救い主にどんなことを質問したいと思うのでしょうか。

預言者が黙示録について尋ねた質問の多くは、地球の年齢と再臨の前に起きる出来事に関するものだったことを教える。クラスをグループに分ける。以下の質問を割り当てる。必要に応じて、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』から、以下の資料を与える。生徒はこの資料と教義と聖約77:6-15を使って、質問の答えを見つける。学んだことを生徒が報告する。

- 地球は現世の存在として、何年間存在するのでしょうか(6-7節参照)。
- わたしたちは今、地球の年齢でいうところの、第何番目の千年間に生きていますか。(第六の千年)
- 4人の天使はどんな使命を帯びて神から遣わされるのでしょうか(8節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』182-183ページから、教義と聖約77:8の注解も参照)。
- 神の印を持つ天使の使命は何でしょうか(9節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』183ページから、教義と聖約77:9の注解も参照)。
- ここに書かれている14万4,000人は、どんな使命を果たすのでしょうか(11節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』183-184ページから、教義と聖約77:11の注解も参照)。
- 現世の存在としての地球では、第七の千年、つまり福千年の間に、何が行われるでしょうか(12節参照)。
- 黙示録9章に記録されている出来事は、いつ起こるのでしょうか(13節参照)。
- 教義と聖約77:9, 14に記されているエライアスとはだれのことででしょうか。
- 黙示者ヨハネは、今日どんな使命を果たしているのでしょうか(14節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』184ページから、教義と聖約77:14の注解も参照)。
- 15節に記されている二人の預言者は、キリストが来られる前に何をするのでしょうか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』184-185ページから、教義と聖約77:15の注解参照)。
- 聖徒たちはこれらの知識をイエス・キリストの再臨に備えるために、どう役立てることができるでしょうか。

2ニーファイ26:24を読む。主は子らを愛しておられ、わたしたちの益となり、永遠の命を得るために役立つ真理を明らかにしてください(12節参照)。

## 教義と聖約78章

### はじめに

78章には主の倉に関する指示が記されている。

「主は教会を通して、貧しい者や乏しい者の世話をし、自立を取り戻すのを助ける方法を確立された。教会員が自活するためにできることをすべて行っていても、自分の基本的な必要を満たせない場合、まず自分の家族に援助を求める。それでも十分でなければ、教会が援助の手を差し伸べる。そのような援助を必要とする会員は、監督に連絡する。

援助を与える人は、惜しみなく愛の精神でそれを与え、天父があらゆる祝福の源であられ、それらの祝福は人に奉仕するために使うべきであることを認める。

援助を受ける人は、感謝と謙虚な心でそれを受け、主からの恵みと人々の善意に感謝する（教義と聖約56：18；78：19参照）。援助を受ける人は、貧困による束縛や制限から解放されるようにそれを活用し、もっと自立し、人に与える力を高めるようにする。

教義と聖約の中で、救い主は聖徒たちに、貧しい人々に与えるささげ物を監督に渡すことについて説明された。監督はそれらのささげ物を『〔主の〕倉に蓄えておき』必要に応じて『貧しい者と乏しい者に与えるために』使うのである（教義と聖約42：34。教義と聖約42：29 - 36；78：3 - 7、13 - 14；82：14 - 19も参照）。『教会指導手引き 第2部神権指導者・補助組織指導者』、258）

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会員は貧しい者の世話をするに当たって、神権指導者の指示の下で力を合わせることを聖約している。この働きは教会に大きな祝福をもたらす（教義と聖約78：3 - 7参照。教義と聖約42：29 - 36；82：14 - 19も参照）。
- 忠実で賢い管理人に神から与えられる祝福は、わたしたちの理解を超えるものである。わたしたちは受けている祝福に感謝すべきである（教義と聖約78：17 - 22参照。教義と聖約104：2、46も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、98、115。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、185 - 187。

### 教え方の提案

教義と聖約78：3 - 7。教会員は貧しい者の世話をするに当たって、神権指導者の指示の下で力を合わせることを聖約している。この働きは教会に大きな祝福をもたらす。（15 - 20分）

生徒に什分の一の献金票を見せる。（黒板に描いてもよいし、オーバーヘッドプロジェクター用資料を作って提示してもよい。）一つ一つの献金項目について話し合う。以下の質問について話し

合う。

- あなたの献金は、どんなふうにも人を助けているのでしょうか。
- あなたの献金は教会にとって、どんな祝福となっているのでしょうか。
- 献金をすることによって、あなたの生活にどんな祝福がもたらされるのでしょうか。
- 貧しい人のために特に使われるのは、どの献金でしょうか。（断食献金や人道的支援基金。）

教義と聖約78：3 - 4を読む。貧しい人の世話をするために、主は教会にあるものを確立するよう命じられた。それは何かを見つける。次のように質問する。「監督の倉が確立されるまでにどれくらい時間がかかったのでしょうか。」以下を紹介する。

「会員が提供する奉仕、預金、食料貯蔵室に蓄えた食糧、建物に保管した日用品などをリストアップするだけでも主の倉と言えるでしょう。要は、忠実な教会員が助けを必要としている人に手を差し伸べ、地上に神の王国を導くために自分の時間、才能、技能、物資、金銭、そして愛を監督にささげるときに、それがすなわち主の倉となるのです。

したがって、主の倉は各ワードに存在し、監督が主の倉の代表者となります。監督は主の御霊の導きを受けて、聖徒たちのささげ物を貧しい人や助けを必要としている人に分配します。また、神権定員会や扶助教会の助けを受け…ます。」（「主の道にかないて助けをなす - 福祉に関する指導者用ガイド」、11）

教義と聖約78：3 - 7を生徒が読む。主は貧しい者の世話をするとき祝福をもたらすと約束しておられる。その祝福にしるしをつける。見つけた事柄を生徒が発表する。また、それらを黒板に書き出す。主の福祉プログラムは、与える者と受ける者の双方の生活に、祝福をもたらすことを証する。惜しみなく教会に献金することを生徒に奨励する。

教義と聖約78：7 - 22。忠実で賢い管理人に神から与えられる祝福は、わたしたちの理解を超えるものである。わたしたちは受けている祝福に感謝すべきである。（15 - 20分）

演劇、交響楽団、運動競技などに参加したことのある生徒一人か二人が、本番に備えて何をしたかを話す。備えがどれほど大切かについて、また備えをしないとしないことで、結果にどんな差が生じるかについて話し合う。

78章には備えを表す語が数回出てくると教える（7、10 - 11、13、15、17、20節参照）。各節はわたしたちが自らを備える必要があるということを目指す場合もあり、神がすでに何かを備えておられるということを目指す場合もある。上記の節を生徒が読む。それぞれだれが準備をすることになっているのかを確認する。黒板に回数を記録しておく。以下の質問について話し合う。

- 主はわたしたちのために何を備えておられるのでしょうか。
- 主はなぜそのように偉大な祝福を備えておられると思いますか。
- これらの祝福について、サタンは何を計画しているのでしょうか（10、12節参照）。

- これらの祝福を受けるためには、何をしなければならないでしょうか。
- 主はなぜこれらの備えをするよう求めておられると思いますか。
- 主の祝福を受けたときに、どうこたえるべきでしょうか（19節参照）。

主から与えられた大きな祝福について証する。主の祝福を受けた経験について話したい生徒がいれば、その機会を与える。備えること、そして、主に従うことができるよう、生徒を励ます。主はそのように行く人に大きな祝福を約束しておられると繰り返して証する。

## 教義と聖約79 - 80章

### はじめに

トーマス・S・モンソン副管長はこのように述べた。

「……神権者には皆、奉仕し、最善を尽くして自分に割り当てられた責任を果たす召しと与えられています。主の御業にあっては、つまらない仕事は一つもありません。どの仕事も永遠に価値のあるものです。ジョン・テラー大管長はこのように警告しています。『もしあなたが最善を尽くして召しを果たさないならば、務めを果たしていれば救うことができたかもしれない人々に対して、あなたは神から責任を問われるだろう。』[ *Journal of Discourses*, 第20巻, 23] ……一人の人を救うことが大いなる喜びであるならば、反対に自分の努力が足りなかったために、神の子が勧告や助けを得られず、もっと頼りになる神の僕が来るまで待たなければならないとしたら、その神権者はどれほどひどく後悔の念を覚えるでしょう。』（「学び、行い、人格を築く」『聖徒の道』1992年7月号, 54）

### 学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちが主から与えられた召しを忠実に果たすならば、主は成功する力を与えてくださる（教義と聖約79章参照。教義と聖約4章も参照）。
- 宣教師は全世界に福音を宣べ伝える（教義と聖約80章参照。マタイ28：19 - 20も参照）。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 187 - 189。

### 教え方の提案

**教義と聖約79 - 80章。宣教師は全世界に福音を宣べ伝える。**（15 - 20分）

世界地図を見せる。家族やワ・ド、支部の会員が宣教師として働いたことのある場所を挙げるよう勧める。生徒が挙げた伝道部の位置を探し地図上にしるしをつける。教義と聖約80：1を読む。全世界に福音を宣べ伝えるように命じられた主の言葉を教会はど

れほどよく成し遂げているかについて話し合う。次のように質問する。「教義と聖約80：3はこの戒めとどんな関係があるでしょうか。」

教義と聖約79 - 80章の前書きを見る。そこに載っている伝道の召しを受けた人の名前を確認する。生徒たちは今日、宣教師のグループに話をするよう頼まれているとする。話の準備をするつもりで、これら二つの章を読む。主が宣教師に与えられた指示を見つける。何人かの生徒が、見つけた事柄を発表する。

教義と聖約79 - 80章の「はじめに」から、トーマス・S・モンソン副管長の話を読む。教会の務めを果たすことによって、立派に伝道するための準備をするよう生徒を励ます。

## 教義と聖約81章

### はじめに

81章には教会の大管長会の副管長に関する指示が記されている。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように語った。

「わたしたちが特に肝に銘じておくべきことが一つあると思います。それは、教会の大管長や大管長会、あるいは大管長会や十二使徒会の統一見解は、聖徒を決して間違った方向に導くことはいし、主の御心と矛盾する勧告を世に出すこともないということです。」（「永遠の鍵と管理する権能」『聖徒の道』1973年3月号, 114）

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 大管長会は地上における主の業を指示する権能などの王国の鍵を有している（教義と聖約81章参照。教義と聖約107：21 - 22も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 120 - 122。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 189 - 191。

### 教え方の提案

**教義と聖約81章。大管長会は地上における主の業を指示する権能などの王国の鍵を有している。**（15 - 20分）

大管長会のメンバー一人一人の写真を見せる。生徒にこれらの人々の名前を聞く。この三人は全員で何と呼ばれているか聞く。あなたが大管長会の教えから学んだこと、あるいは祝福を受けたことを簡単に紹介する。

預言者ジョセフ・スミスの絵を見せる。教義と聖約81章の前書きを生徒が読む。現在の神権時代の最初の大管長会として、主はだれを召されたかを見つける。以下の質問について話し合う。

- ジェシー・ガウスはなぜ大管長会の一員としての召しを失ったのでしょうか。

- 主は代わりにだれを召されたでしょうか。
- この例から、教会の召しについてどんなことが分かりますか。  
教義と聖約81章；90：2 - 6を読む。以下の質問の答えを見つける。

- 大管長会は地上においてどんな権能を持っているのでしょうか。
- 大管長会はどんな働きをするのでしょうか。
- 主は彼らにどんな祝福を約束しておられるのでしょうか。

見つけた事柄について話し合う。必要であれば『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（190 - 191ページ）から、81章の注解を活用する。

多くの生徒は、定員会会長会またはクラス会長会で働く可能性がある。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていたときに、会長会について次のように語った。

「長の職を務める人が自分で副の職に就く人を選ぶのはどうしても必要なことです。……互いに信頼と尊敬の念をもってともに働けるようであればなりません。副の職に伴う責任は長の職にある人の責任とは異なります。……

〔副の職を務める人〕は長の職にある人の補佐役を務めません……

管理会集会では、副の職を務めるいずれの人もすべての議題について自由に自分の意見を発表することができます。しかし、決定を下すのは長の職を務める人がだけが持つ権利です。副の職を務める人はその決定を支持する義務があります。したがって長の職を務める人の決定は、それ以前にどのような意見の相違があろうと、管理会の決定になります。

長の職にある賢明な人は、これらの選ばれた副の立場にある人に特定の責任を分担し、自由にそれを遂行させ、同時に報告を求めます。」「〔助言者が多ければ安全である〕『聖徒の道』1991年1月号、55 - 56）

## 教義と聖約82章

### はじめに

末日聖徒は大いなる祝福を受けていると同時に、大きな責任も受けている。十二使徒定員会会員を務めていたときにジョージ・アルバート・スミス長老はこのように語った。「〔神は〕わたしたちに、隣人よりも多くの英知と知恵を与えておられます。末日聖徒は前世に関する知識を与えられています。その知識とは、つまり、わたしたちがここにいるのは、第一の位を守ったためであり、もしも第二の位を守るなら、天の御父の御前で永遠の命が与えられるという知識です。わたしたちは、大いなる機会を与えられています。ですから、わたしたちが裁かれる基準は、世の兄弟姉妹が裁かれる基準と同じではありません。大いなる機会を与えられた者として裁きを受けるのです。』（Conference Report, 1906年

10月、47）


### 学び取るべき重要な福音の原則



- 主は聖徒に、罪を捨てて、ほかの人を赦すよう命じておられる（教義と聖約82：1 - 7参照。マタイ18：21 - 35；教義と聖約58：42 - 43；64：9 - 11も参照）。
- 主から大いなる理解を与えられるにつれて、わたしたちの責任は大きくなる（教義と聖約82：3 - 4参照。マタイ25：14 - 30；ルカ12：47 - 48；ヤコブの手紙4：17も参照）。
- わたしたちは罪を捨てるよう命じられている。悔い改めた後に罪を犯すと、以前の罪が戻って来る（教義と聖約82：7参照）。
- わたしたちが神と交わした聖約を守るときに、神は約束された祝福を与えてくださる（教義と聖約82：10参照。教義と聖約130：20 - 21も参照）。
- 主の王国に奉獻された金銭と財産は、あらゆる主の民のために使われる（教義と聖約82：11 - 21参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、115。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、191 - 193。

### 教え方の提案

 教義と聖約82：19を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』12「神の栄光にひたすら目を向けて」（4：10）を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

  教義と聖約82章（マスター聖句、教義と聖約82：3）。主から大いなる理解を与えられるにつれて、わたしたちの責任は大きくなる。（15 - 20分）

クラスを3人ずつのグループに分ける。各グループに模造紙とマーカーペンを渡す。2分間で、受けている祝福をできるだけたくさん書き出す。そのリストを教室の前にはる。

教義と聖約82：3 - 4を読む。以下の質問について話し合う。

- これらのリストについて考えてみてください。わたしたちは「多く与えられる」民と言えると思いますか。
- 多く求められるという語句をわたしたちに当てはめると、どんな意味があると思いますか。
- ヤコブの手紙4：17；アルマ29：5を読んでください。これらの聖句は、教義と聖約82：3とどんな関連があるのでしょうか。

わたしたちが主から与えられている最大の祝福の一つは、赦しであることを証する。マタイ18：23 - 35から、赦しに関する救い主のたとえを簡単に話す。マタイ18：33を生徒が読む。次のように質問する。「主から赦しを受けた人は、主から何を期待されているのでしょうか。」教義と聖約82：1を読む。次のように質問する。「この節は互いに赦し合う理由について何を教えているのでしょうか。」

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（192ページ）から、教義と聖約82：2の注解を分かち合う。自分の罪と弱点について考える。さらに、悔い改めの祝福を受けることがどれほど大

切かについて考える。教義と聖約82章を生徒が読む。悔い改め、赦し、罪を捨てることについて、主が教えておられる事柄を挙げる。3節の前半をもう一度読む。わたしたちは祝福を受けている者にふさわしい生活を送るように求められている。悔い改めと赦しに関するこれらの教えは、そのような生活を送るために、どのように助けとなるかについて話し合う（3節参照）。

**教義と聖約82：7。わたしたちは罪を捨てるよう命じられている。悔い改めた後に罪を犯すと、以前の罪が戻って来る。（5 - 10分）**

石を幾つか持参する。すべての石に同じ罪（例えば、知恵の言葉破る）に関連する事柄を書いた紙をはって置く。この罪を犯した架空の人物の物語を話す。物語の詳細はあなたが考える。架空の人物が罪を犯す度に、一つずつ石を手に持ち、そのまま5 - 6個の石を持つまで物語を続ける。手に持っているすべての石を脇に置いて、以下の質問をする。

- 石を脇に置くことは何を表しているのでしょうか。（悔い改め。）
- 悔い改めるときに、わたしたちの罪はどうなるのでしょうか。（主が赦してください。）

教義と聖約82：7を読む。再び罪を犯すとどうなるかを見つける。以下の質問をする。

- 悔い改めた後に罪を犯すと、幾つの石を持たなければならないのでしょうか。（以前に持っていた石すべてと新しい石。）
- なぜ以前の罪が戻って来ると思えますか。
- それは罪を捨てることの大切さについて、どんなことを教えているのでしょうか。
- この教義を知っていると、罪を犯さないようにするために、どう役立つのでしょうか。



**教義と聖約82：10（マスター聖句）。わたしたちが神と交わした聖約を守るときに、神は約束された祝福を与えてくださる。（15 - 20分）**

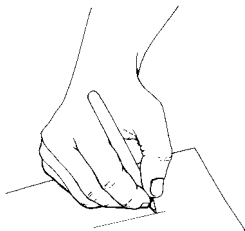
以下の絵を見せるか、黒板に描く。それぞれの絵の説明も記入する。



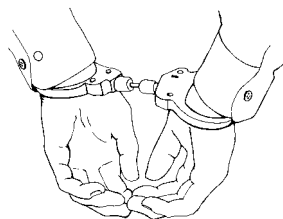
固く結ぶ



拘束する または制限する



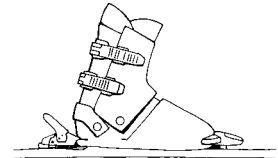
義務を課す



法律上の権限に基づいて拘束する



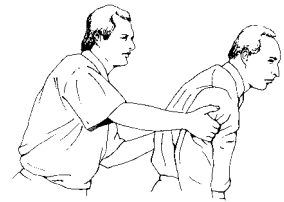
結びつける



しっかり留める



約束する



つかむ または拘留する

一人の生徒が教義と聖約82：10を読む。義務を負うという語に注目する。黒板の絵はこの語の持つ様々な意味を表していると言う。生徒は絵の説明を参考にして、以下の質問に答える。（訳注：「義務を負う」は英語では“bound”。“bound”は多義語で「結びつけられる、拘束される、縛りつけられる」などの意味がある）

- 聖約によって神に対する義務を負うとは、どんな意味でしょうか。
- 神が約束を守る義務を負われるとは、どんな意味でしょうか。

生徒の意見について話し合う。神と交わした聖約を守るとき、神は約束された祝福を与えてくださるということについて証する。神と聖約を交わしてそれを守れば、生活に力と慰めが与えられる。十二使徒定員会会員であるヘンリー・B・アイリング長老の以下の言葉を分かち合う。

「すべての聖約には、天の御父から与えられた大いなる確かな約束があります。……」

神と交わすすべての聖約は、神に近づく機会です。すでに感じたことのある神の愛をしばらくの間思い巡らすならば、神との結びつきをさらに強めたい、神とさらに近い関係を持ちたいと願わずにはいられないはずです。」（Covenants [大学生該当年齢のヤングアダルトを対象とした教会教育システムファイヤサイド, 1996年9月6日], 2）

## 教義と聖約83章

### はじめに

大管長会と十二使徒定員会は1995年、83章で教えられている教義を支持する宣言を発表した。その中に次のような一節がある。

「夫婦は、互いに関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。……

……神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要なときに親族が援助しなければなりません。」(「家族 - 世界への宣言」『聖徒の道』1998年10月号)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 夫は妻子を扶養する責任がある。教会員は夫に先立たれた女性、両親に先立たれた子供、貧しい人の世話をすべきである(教義と聖約83章参照。教義と聖約68:25-28も参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 194。

## 教え方の提案

**教義と聖約83章。夫は妻子を扶養する責任がある。教会員は夫に先立たれた女性、両親に先立たれた子供、貧しい人の世話をすべきである。(20 - 25分)**

生徒の親や神権指導者を何人かクラスに招待して、パネルディスカッションに参加してもらおう。前もって、あなたが教義と聖約83章を教えることを話しておく。そして、以下のような質問のリストを渡しておく。

### 両親に対する質問

- 親として最も喜びを感じるの、どんなことですか。
- 親としての最も難しいチャレンジは、どんなことですか。
- 教義と聖約83:4で述べられている責任について、どのように感じていますか。
- 家族を「扶養」するためには、何が必要ですか。
- 親になる準備をしている教会の青少年に、どんなことを提案したいでしょうか。

### 神権指導者に対する質問

- 教会は夫に先立たれた女性、両親に先立たれた子供、貧しい人をどんなふうに世話をしているでしょうか。
- 今日、青少年は「主の倉」のためにどんな助けができるでしょうか。
- 財政的な支援以外に、青少年は夫に先立たれた女性や両親に先立たれた子供のためにどんな助けができるでしょうか。
- 教義と聖約83:5で述べられている神権指導者の責任について、どう感じていますか。

教義と聖約83章を読む。両親と神権指導者に幾つかの質問に答えてもらおう。親の責任と神権指導者の責任について質問するよう生徒に勧める。パネルディスカッションの後で、自分の親、神権指導者、または両者に対して、彼らの助けと支援と愛に感謝する手紙を書くよう生徒を励ます。

## 教義と聖約84章

### はじめに

ブルース・R・マッコンキー長老はこのように説明した。

「時代や地域を問わず、人がメルキゼデク神権を持っているならば、地上には教会と神の王国が存在します。これとは逆に、メルキゼデク神権がない時代や地域には、真の教会は存在しないし、主の王国は存在しません。そのような場合、天における永遠の教会へ行くために人を備える方法は存在しません。」( *The Millennial Messiah: The Second Coming of the Son of Man* [1982年], 123)

十二使徒定員委員会を務めたマーク・E・ピーターセン長老は次のように記した。

「[84章は] 儀式がなく、真の権能が存在しないところに、神性の力は現れないと述べています。[ジョセフ・スミス時代の] 様々な教会には真の儀式がなく、真の権能が存在しませんでした。したがって、神性の力がなかったのです。彼らは持っていないものを現すことはできませんでした。このため、終わりの時にこの力が回復される必要があったことは明らかです。この力なくして教会は存在することができないからです。」( *Abraham, Friend of God* [1979年], 96 - 97)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 大神権(メルキゼデク神権)は神の知識の鍵を持つ。それは神の子らを聖めたり神の前に行く備えをさせたりするための儀式を執行する権能を含む(教義と聖約84:6-25, 29参照。教義と聖約107:18-19も参照)。
- 小神権(アロン神権)は備えの神権である。それは悔い改めの福音の鍵、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵、天使の働きを鍵を含む(教義と聖約84:18, 26-32参照。教義と聖約13:1; 107:20も参照)。
- モーセとアロンの息子たちは、アロン神権とメルキゼデク神権を受けて、召しを尊んで大いなるものとする人たちである(教義と聖約84:31-34参照。教義と聖約13:1も参照)。
- メルキゼデク神権を受ける人は、召しを尊んで大いなるものとし、主と主の僕たちを受け入れることを聖約する。神はそれに対して、彼らを聖め、持っておられるすべてを与えることを約束される。これは神権の「誓詞と聖約」と呼ばれる(教義と聖約84:33-44参照)。
- キリストの御霊はすべての人を照らす。御霊の影響を受け入れる人は御父のもとへ導かれる。御霊を拒む人は暗黒と罪の中にとどまる(教義と聖約84:43-53参照。2ニーファイ32:2-3, 5; 教義と聖約93:19-28も参照)。
- 神の啓示を軽々しく扱う教会員は罪の宣告を受ける。モルモン書とほかの聖文で教えられている原則に従って生活することにより、赦しを受けることができる(教義と聖約84:54-61参照)。



- イエス・キリストの教会はイスラエルを集め、シオンを確立し（教義と聖約84：2 - 4参照）、神殿を建設し（3 - 5節参照）、神権と救いの儀式を授け（6 - 42節参照）、全世界に福音を宣べ伝える（62 - 102節参照）ために回復された。
- 教会員は互いを必要としている。信仰の強い人は信仰の弱い人が霊的にも物質的にも成長するよう助けるべきである。（教義と聖約84：106 - 112参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 122。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 195 - 201。

## 教え方の提案

教義と聖約84：6 - 27。大神権（メルキゼデク神権）は神の知識の鍵を持つ。それは神の子らを聖めたり神の前に行く備えをさせたりするための儀式を執行する権能を含む。（25 - 30分）

以下の質問について生徒が考える。「あなたは生活の中で、メルキゼデク神権による祝福をどのように受けてきたでしょうか。」何人かの生徒が答える。教義と聖約84章の前書きを読む。預言者ジョセフ・スミスはこの章を「神権に関する啓示」と呼んだことを指摘する。教義と聖約84章には神権に関する大切な原則が数多く記されている。これからその一部を学ぶということを生徒に説明する。

黒板に「神権は神から権能を受けた人たちにより授けられなければならない」と書く。6 - 16節を生徒が読む。そして、だれの神権の系譜が記されているかを見つける。17節を読む。わたしたちは今日、同じ神権を持っていることを説明する。もしあなたが神権を持っていれば、だれから受けたかを話す。（もしあなたが神権者でなければ、生徒が知っている神権者に神権を授けた人の名前を紹介する。）クラスのアロン神権者にだれから聖任を受けたかについて話そう勤める。正しい権能を持っている人から神権を受けることはなぜ大切かについて話し合う。

黒板に「神権は永遠である」と書く。17 - 18節を生徒が読む。そして、神権が永遠であることを示している語句にしるしをつける。

黒板に「神権者は神の知識の鍵を持つ」と書く。以下の説明を分かち合う。

「救い主と救い主の教会の使命は、全人類に御父の前に再び行って、御父の安息に入る崇高な特権を与えることです。聖なる神権なしに、いかなる人も神の顔から出るまばゆい光を受けることはできませんし、義人に約束されている永遠の平安と心の満足を得ることもできません。」（ジョン・A・ウィットソー編、*Priesthood and Church Government in The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 改訂版〔1954年〕, 31）

19 - 25節を読む。そして、以下の質問について話し合う。

- わたしたちが神のもとへ帰る備えをするうえで、神権はどんな役割を果たすでしょうか。
- モーセはだれに神の前に入る準備をさせようとしたでしょうか（出エジプト19：10 - 14, 16 - 17参照）。

- イスラエルの子らはモーセにどうこたえたでしょうか。
- 彼らが心をかたくなにしたとき、何が起きたでしょうか。
- この出来事からわたしたちは何を学ぶことができるでしょうか。

黒板に「アロン神権はメルキゼデク神権を受けるための準備をさせる」と書く。

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を分かち合う。

「モーセが死んだとき、メルキゼデクの神権は取り去られたのでしょうか。すべての神権はメルキゼデク神権です。しかし、それにはいろいろな部分すなわち階級があります。モーセが神と顔と顔を合わせて語ることを可能にした部分は取り去られましたが、天使の働きをもたらした部分は残りました。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 180 - 181。教義と聖約107：1 - 6, 14も参照）

25 - 27節を生徒が読む。そして、アロン神権に属する鍵を挙げる。以下の質問をする。

- 若い男性はこれらの鍵を使うことによって、どんなふうにもメルキゼデク神権を受ける準備ができるでしょうか。
- あなたはアロン神権の儀式によってどんな祝福を受けてきましたか。



教義と聖約84：33 - 42（マスター聖句、教義と聖約84：33 - 39）。メルキゼデク神権を受ける

人は、召しを尊んで大いなるものとし、主と主の僕たちを受け入れることを聖約する。神はそれに対して、彼らを聖め、持っておられるすべてを与えることを約束される。これは神権の「誓詞と聖約」と呼ばれる。（20 - 25分）

黒板に「神権の誓詞と聖約」と書く。その下に「人が約束すること」と「神が約束されること」と書く。人は神権を受けるときに神と一つの聖約を交わすことを説明する。これは神権の「誓詞と聖約」と呼ばれる。教義と聖約84：33 - 42を生徒が読む。そして、神権を受ける人が行うと約束する事柄、それに対して神が約束される事柄にしるしをつける。（黒板に答えを書き出してもよい。）以下の質問について話し合う。

- 青少年は何歳になったらアロン神権を受けることができるでしょうか。メルキゼデク神権は何歳からでしょうか。
- 神権を受けるにふさわしくするために青少年は何をしなければいけませんか。
- 神権の召しを尊んで大いなるものとするとはどういう意味でしょうか（33節参照）。
- 「御霊により聖められ」とはどんな意味だと思いますか（33節）。それはなぜ大いなる祝福なのでしょう。
- 「わたしの父が持っておられるすべて」が与えられるとはどんな意味だと思いますか（38節）。
- 44節を読んでください。神の口から出る一つ一つの言葉に従って生きることはなぜ大切だと思いますか。

七十人定員会会長会の一員を務めたカーロス・E・エイシー長老の以下の言葉を分かち合う。

「ヒュー・B・ブラウン副管長は、デビッド・O・マックイ大管長が御霊によって聖められ、体が更新されていると語ったことがあります。そして、こう付け加えました。『わたしたち教会幹部のある者は、健康に関する限り、何年も前よりもよい状態にあるが、それは〔主〕の祝福によるものである。』（Conference Report, 1963年4月, 90）

わたしたちの多くは、この『更新の約束』を自分自身の体で感じています。それなくして、数多くの責任を果たしていくことなどはできません。』（「神権の誓詞と誓約」『聖徒の道』1986年1月号, 46）

アルマ13：12を読む。そして、次のように質問する。「御霊により聖められることによって得られるもう一つの祝福とは何でしょうか。」

生徒に紙を一枚ずつ配る。生徒はその紙に以下の質問の答えを書く。（紙には自分の名前を書かないように言う。）若い女性に質問する。

- 若い男性が神権を尊んでいる姿を目にするとき、あなたはどのように感じますか。
- 若い男性が神権を尊んでいない姿を目にするとき、あなたはどのように感じますか。

若い男性に質問する。

- 若い女性はあなたが神権を尊ぶようにどんなふうに助けられることができるでしょうか。
- あなたが神権を尊ぶのを妨げられないように、若い女性にしてほしくないことは何ですか。

答えを記入した紙を集めて、幾つかの答えを紹介する。若い男性に神権を尊ぶよう励ます。若い女性に、自分の義務と召しを果たし、若い男性が神権を尊ぶのを助けるよう励ます。神と交わした聖約に忠実な人たちに与えられる大いなる祝福について証する。

**教義と聖約84：43 - 53。キリストの御霊はすべての人を照らす。御霊の影響を受け入れる人は御父のもとへ導かれる。御霊を拒む人は暗黒と罪の中にとどまる。（20 - 25分）**

クラスに新聞を持参する。教義と聖約84：49 - 53を生徒が読む。それから、これらの節は今日の生活の典型的な様子を述べているかどうか聞く。数分間を割いて、これらの節が真実であることの証拠となる新聞記事を全員で探す。（注意：見つけた事柄を話し合う場合は手短に行う。罪悪を扱っている記事について長々と話してはならない。）

ラッセル・M・ネルソン長老が語った以下の話を紹介する。

「何年も昔に若い医学生だったころ、わたしは、今では予防可能な病気に苦しむ大勢の患者を見ました。現在では、かつての不治の病に対する免疫を与えることができます。免疫を与える医療法が予防接種です。『接種』を意味する“inoculate”は興味深い言葉で、二つのラテン語から来ています。“in”は『中』を表し、“oculus”は『目』を意味します。“inoculate”という動詞は『中に目を入れる』、つ

まり『害のないように監視する』という意味です。

小児まひのような病気は、足や体に障害を残すことがあります。そして罪という病気は霊に障害をもたらします。小児まひから生じる障害は免疫によって予防できますが、罪から生じる障害に対しては別の予防手段が必要です。医者は邪悪に対する免疫を与えることはできません。霊的な予防は主から、主御自身の方法でもたらされます。主が選ばれたのは予防接種ではなく、真理の教えです。主の方法にワクチンはいりません。神の子供たちの永遠の霊を守るために、神の教義 それは内側から統治する目の役割を果たします を教えるのです。』（「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995年7月号, 35参照）

主はわたしたちを愛しておられるため、わたしたちと、「暗闇の下で、また罪の束縛の下」にいる世の人たちを助ける真の教義を与えておられることを証する。（49節）この教えは通常、御霊、聖文、生ける預言者の3つの源からもたらされる。43 - 48節を生徒が読む。それから、以下の質問について話し合う。

- この世に生まれるすべての人に与えられる賜物とは何でしょうか。（御霊またはキリストの光。46節参照。モロナイ7：16も参照。）
  - 教義と聖約84：45によれば、キリストの御霊を表すために、聖典の中でほかにどんな言葉が使われているでしょうか。（「主の言葉」、「真理」、「光」）
  - 47節と教義と聖約93：19 - 20, 27 - 28を比較してください。これらの節によれば、さらに光と真理を受けてついにすべてのことを知るようになるために、何をしなければならぬでしょうか。
  - 御霊に耳を傾け、聖文を読み、預言者の言葉を聞くことは、どんなふうにならぬようにわたしたちを神に近づけてくれるでしょうか。
  - あなたは最終的に「神……のもとに」来ることができます（47節）。そのことを知っていると、どんな気持ちになりますか。
  - この目標に向かって努力することは、あなたにとってなぜ大切ですか。
  - 2ニーファイ32：2 - 3, 5；モルモン書ヤコブ7：10 - 12を読んでください。これらの節は教義と聖約84：43 - 48とどんな関係があるでしょうか。
  - 真理を確認する方法として主はなぜ複数の方法をわたしたちに与えておられると思いますか。
- 御霊と聖文と預言者が生徒一人一人を祝福していることについて証する。これらに従うならば、さらに光と知識を受ける。生徒が感じたことのある主からの促しについて話し合う。主の促しに従うよう励ます。

**教義と聖約84：54 - 61。神の啓示を軽々しく扱う教会員は罪の宣告を受ける。モルモン書とほかの聖文で教えられている原則に従って生活することにより、救しを受けることができる。（15 - 20分）**

あなたがモルモン書を愛していること、モルモン書がどのように祝福となってきたかということについて、個人的な経験を分か

ち合う。モルモン書をかざす。生徒が以下の質問を考える。(生徒が答えを声に出して言わないようにする。)

- あなたはモルモン書を読んだことがあるでしょうか。
- あなたはモルモン書が真実であることについてどれほど強い証あかしを持っていますか。
- あなたの生活にとってなぜモルモン書は大切なのでしょう。

教義と聖約84：54 - 58を読む。それから、以下の質問について話し合う。

- この啓示が与えられたとき、教会員はなぜ罪の宣告を受けたのでしょうか。
- モルモン書やほかの聖文を軽々しく扱うとはどんな意味だと思いますか。
- 教会は現在も罪の宣告を受けていると思いますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を紹介する。

「主は今、モルモン書を再強調する必要があるということを啓示しておられます。それは教会とシオンのすべての子らを、罪の宣告すなわち神の懲らしめと裁き(教義と聖約84：54 - 58参照)から逃れさせるためです。このメッセージを全教会の会員に伝えなければなりません。」(「神聖な務め」『聖徒の道』1986年7月号, 78)

次のように質問する。「教会はいつまで罪の宣告を受けるのでしょうか。」(57節参照)わたしたちはモルモン書を読み、ただ読むだけではなく、モルモン書に記されていることあかしに従って生活しなければならぬと証する。ベンソン大管長の以下の言葉のいずれか、または両方を紹介する。

「わたしたちは今でもそうですが、これまで聖典の学習の中心にモルモン書を置いてきませんでした。家族に教える場合でも、人々に福音を教えたり、伝道活動を行ったりする場合もそうでした。この点について悔い改めが必要です。」(「器の内側を清める」『聖徒の道』1986年7月号, 5)

「モルモン書は皆さんの生活を変え、この時代の様々な悪に立ち向かう力を与えてくれることでしょう。またほかの本では得られない霊的な力を与えてくれます。伝道に備えるにしても人生に備えるにしても、最も大切な書物となるでしょう。若い〔人〕で、モルモン書について知り、愛し、何度も読み、それが真実であることに対して強い証あかしを持ち、その教えを実践する人は、悪魔の策略に負けず、主の手の中であって、力強い働き手となることでしょう。」(To Young Men of the Priesthood パンフレット, 1986年), 3 - 4)

これからの1週間、モルモン書を研究することを特に努力するよう励ます。週末に、どのように祝福を受けたかについて何人かの生徒が報告する。

**教義と聖約84：62 - 102。イエス・キリストの教会はイスラエルを集め、シオンを確立し、神殿を建設し、神権と救いの儀式を授け、全世界に福音を宣べ伝えるために回復された。(20 - 25分)**

教義と聖約84章はシオンに集合すること(教義と聖約84：2 - 4参照)、神殿(教義と聖約84：3 - 5参照)、神権(教義と聖約84：6 - 42参照)のほかに、伝道活動についても大切な情報が記されていることを生徒に教える。

一組の宣教師の絵を黒板にはる(『福音の視覚資料セット』, 612参照)。絵の横に見出しとして「規則」と「祝福」と書く。次のように質問する。「宣教師はどんな規則を守るよう求められているでしょうか。」生徒の答えを「規則」の下に書き出す。次のように質問する。「伝道する人々はどんな祝福を受けているでしょうか。」生徒の答えを「祝福」の下に書き出す。教義と聖約84：60 - 63を読む。そして、主が長老たちに行うように言われたことを見つける。また、主が長老たちに約束された祝福を見つける。これらの規則と祝福を黒板のリストに書き加える。

クラスを二つのグループに分ける。一つのグループは77 - 96節の中から、さらに宣教師に与えられた指示を見つける。別のグループは同じ節の中から、祝福を見つける。各グループの代表者が、見つけた事柄を記録し、発表する。それらを黒板のリストに書き加えてもよい。

これらの節は総大会でしばしば引用されることを指摘する。宣教師の活動の細部は、年月の経過とともに変わることを説明する。(例えば、大管長会は現在のほとんどの宣教師は家庭から支援を受けるよう指示している。)しかし宣教師の働きに関する基本原則は変わらない。これらの節に目を通すよう生徒に勧める。そして、これらの指示が今日の宣教師にどう適用されているかについて意見を述べるよう勧める。88節を読む。それから、トーマス・S・モンソン副管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「神聖な召しにこたえて伝道に出る宣教師は、主の僕しもべになります。そしてこの業は確かに主の業なのです。青少年の皆さん、恐れなくてください。主が皆さんとともにいてくださるのです。主の御心は必ず果たされます。」(「宣教師の思い出」『聖徒の道』1988年1月号, 46)

宣教師として奉仕するためにどんな準備ができるか生徒に聞く。主に仕え、主の福音を分かち合う人たちに与えられる偉大な祝福について証する。

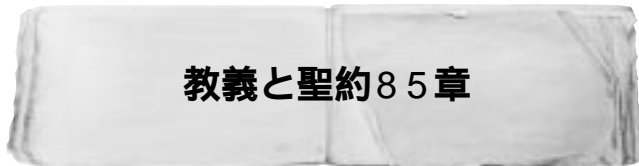
**教義と聖約84：106 - 112。教会員は互いを必要としている。信仰の強い人は信仰の弱い人が霊的にも物質的にも成長するよう助けるべきである。(10 - 15分)**

一人の生徒が前に出て来る。親指を使わずに、靴ひもを結ぶがボタンを掛ける。その生徒が何度か試みてから、教義と聖約84：109 - 110を読む。この「実物を使ったレッスン」がこれらの節とどんな関係があるか生徒に聞く。

一人一人の教会員にはそれぞれ異なった長所と短所があることを説明する。主は一人一人が大切であることについて教えられた。それに加えて、わたしたちがより強くなるために、どのように協力できるかを明らかにしておられる。教義と聖約84：106 - 108を読む。以下の質問をする。

- これらの節から、強い人と弱い人について何が分かるでしょうか。
- この原則に従うことによって、「昔の使徒たちの時代」にはどんな祝福があったのでしょうか。
- 今日では、どんなところでこの原則が使われているでしょうか。(若い男性がメルキゼデク神権者とともにホームティーチングを行う、新任の宣教師が経験のある宣教師の同僚になるなど。)

教会で豊かな経験を持つ人たちから学ぶように、また、信仰を持ち始めたばかりの人を助けるよう生徒を励ます。



## 教義と聖約85章

### はじめに

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長を務めていたときに、このように記した。

「1832年11月27日、預言者はウィリアム・W・フェルプス長老に手紙を書いて、親しみを込めた言葉で愛と信頼を表した。フェルプス長老はミズーリー州インディペンデンスで印刷する責任を受けており、さらに聖徒たちがそれぞれの受け継ぎの地に落ち着けるよう、権威を持って監督を支えることになっていた。シオンの確立と建設に関する事柄が預言者ジョセフ・スミスの心に重くのしかかっていた。彼の悩みがことさら大きかったのは、主から与えられた戒めが厳格なものであったことと、奉献に関する聖約が厳密に守られているかどうか確認するという重大な責任が預言者と兄弟たちの肩に課せられていたことのためだった。預言者は特に、シオンの監督の義務と責任が非常に大きなものであったため、心配していた。主が啓示の中で明らかにされたように、シオンにおける受け継ぎを決め、配分するに当たって、正義が行われているかどうかを確認するのは監督の責任であった。監督はそれを兄弟たちの助けを受けて果たしたのである。歴史上の事実から明らかであるが、彼らの行った事柄には、御霊が伴っていないか、啓示の中で主から重要であると明言された指示に従っていなかったりしたものがあった。預言者はこれらのことで思い悩んでいた。そのため、フェルプス兄弟に手紙を書いて、心に『重くのしかかっている』ことがあると述べたのである。預言者は預言の霊によって、あたかもウィリアム・フェルプスの心の祈りであるかのように、この祈りを述べたのである。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 347 - 348)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- シオンで受け継ぎを得、永遠の命の祝福を受けるには、教会と天において名が記録されなければならない。背教者の名は教会の記録から取り除かれる(教義と聖約85章参照。黙示20:12-13; モロナイ6:4-7も参照)
- 聖霊は静かな細い声を通して語られる(教義と聖約85:6参照。列王上19:8-13も参照)

- 自分の権能を超えて教会の業務を正そうとする人は霊的な死を受け、主はそのような人に代わるほかの人を立てられる(教義と聖約85:7-8参照。サムエル下6:1-11も参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 127 - 128。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 201 - 204。

### 教え方の提案

教義と聖約85章。シオンで受け継ぎを得、永遠の命の祝福を受けるには、教会と天において名が記録されなければならない。背教者の名は教会の記録から取り除かれる。(15 - 20分)

以下の質問をする。

- 教会の会員記録にはどんなことが書いてあると思いますか。(姓名、住所、家族に関する情報、神権と儀式に関する情報など。)
- 教会の会員一人一人にとって、記録をつけることはなぜ役に立つと思いますか。
- 情報が正確であることはなぜ大切なのでしょうか。
- モロナイ6:4-5を読んでください。この聖句によれば、「その名が記録された」人たちにどんなことが行われたのでしょうか。

教義と聖約85:1-5, 9-12を読む。教会で記録をつけることに関する情報をすべて生徒が書き出す。書き終えたら、その内容を発表する。以下の質問をする。

- どんな人の名が教会の記録から取り除かれるのでしょうか。
- 黙示20:12-13を読んでください。この聖句は教義と聖約85章とどんな関係があるのでしょうか。

教義と聖約85:7-8。自分の権能を超えて教会の業務を正そうとする人は霊的な死を受け、主はそのような人に代わるほかの人を立てられる。(15 - 20分)

大きなものを見せる(例えば、大きな石、いす、机など)。その周囲に「手を触れないでください」と警告する紙をはっておく。以下の質問をする。

- これに触った人にはどんな罰を与えるのがふさわしいでしょうか。
- これがもっと高価なもの、神聖なものであったら、その罰はどう変わると思いますか。それはなぜでしょうか。
- もし警告の紙をはったのがだれかほかの人(例えば、警備員、国の役人、主など)だったら、その罰はどう変わると思いますか。それはなぜでしょうか。

サムエル下6:2-7から、ウザについて読むよう勧める(民数4:15; 『聖句ガイド』「契約の箱」95ページも参照)。ウザは何に触れて、どんな罰を受けたかを質問する。「箱を支える」ことがなぜそのように厳しい罰を招いたかを生徒が理解できるようにするために、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(203 - 204ページ)から、教義と聖約85:8の注解を紹介する。主は85章の中で、「箱を支えようとしたもう一人の人を正されたことを説明する。

完全な監督がいると思うかどうかが生徒に聞く。次のように質問する。「ウザに起きたことは神権指導者の勧告に従わないこととどんな関係があるのでしょうか。」この啓示は、監督でありながら、預言者の勧告を無視することによって箱を支えようとしたエドワード・パートリッジに与えられたものであることを説明する。以下の言葉を分かち合う。

『あなたはあなたの長……である者に命じてはならない』と主は宣言された。(教義と聖約28:6)人はその定められた管理の職の中で忠実に義務を果たすべきである。なぜならば、それがその人の責任だからだ。エドワード・パートリッジ監督は『神の箱を支えるために手を伸べ』たことについて、主からこの警告を受けた。(教義と聖約85:8)少しの間、この監督は預言者の務めに立ち入っていた。パートリッジ監督はこの行為によって、悔い改めなければ『死の矢によって倒れ』、『一人の力ある強い者』と代えられるという主からの戒告と警告を招いた(教義と聖約85:7-8)。警告に聞き従った彼は、永遠の賞賛に値する。(ホイト・W・ブリュースター・ジュニア, *Doctrine and Covenants Encyclopedia* [1988年], 25)

教義と聖約85:7-8を読む。次のように質問する。「主はもしパートリッジ監督が悔い改めなければ、どんなことをすると言われたのでしょうか。』『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(202ページ)から、教義と聖約85:7-8の注解を紹介する。以下の質問をする。

- どんな場合に「箱を支える」誘惑を受けるのでしょうか。
- 神権指導者を非難したり、正そうとしたりすることよりも、従うことの方が大切なのはなぜでしょうか。
- 教会の指導者に従うことによってどんな祝福を受けてきたでしょうか。



## はじめに

教主は86章の中で小麦と毒麦のたとえを説明しておられる。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長を務めていたときに次のように語った。

「主が使徒たちにこのたとえを解き明かされたことがマタイに記されています。しかし主は、この啓示の中で、さらに完全な解き明かしをしておられます。その理由は恐らく、収穫した穀物が集められ、毒麦が焼かれるのはこの末日であるためだと思われます。マタイの記録によれば、主は御自身が良い種をまいた人であると言われています。教義と聖約では種をまく者とは使徒たちのことであつたと述べられています。しかしここに矛盾はありません。キリストは救いの創始者であって、使徒たちに命じて全世界に福音を宣べ伝えさせました。すなわち種をまかせたのはキリストで

あり、またその種は主のものであって、主の命令によって種がまかれたのです。主がこの啓示の中でも、たとえの中でも述べておられるのは、この事実にはかならないのです。」(*Church History and Modern Revelation*, 第1巻, 353)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 近代の啓示は古代の聖文を理解する助けになる(教義と聖約86章参照。マタイ13:24-30, 36-43も参照)。
- イエス・キリストの再臨まで、義人は悪人とともに生活する。その後義人は集められ、悪人は滅ぼされる(教義と聖約86:4-7参照。1ニーファイ22:11-17; 教義と聖約63:54も参照)。
- イスラエルの文字どおりの子孫は神権の「正当な相続人」である。自分たちが義の模範にならなければ、彼らは人々に救いをもたらす助けをすることができない(教義と聖約86:8-11参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 204 - 207。

## 教え方の提案

**教義と聖約86章。イエス・キリストの再臨まで、義人は悪人とともに生活する。その後義人は集められ、悪人は滅ぼされる。**(20-25分)

『聖句ガイド』(183ページ)から、「毒麦」の定義を生徒が読む。次のように質問する。「小麦と毒麦は、まだ柔らかいうちは見分けが付きません。そうだとすれば、小麦を毒麦からより分けるのに最もよい時期はいつでしょうか。それはなぜでしょうか。」救い主は地上で教えを与えておられた間に、小麦と毒麦のたとえを語られたことを生徒が思い出せるようにする。マタイ13:24-30と教義と聖約86章の前書きを読む。以下の質問をする。

- 小麦と毒麦のたとえは何を表しているのでしょうか。
- このたとえについて教義と聖約86章の前書きから何を学ぶことができるのでしょうか。

このたとえがどのように解釈できると思うか、考えを述べるよう生徒に勧める。マタイ13:36-43を読む。主の解き明かしを見つめる(ジョセフ・スミス訳マタイ13:39-44も参照)。教義と聖約86:1-3を読む。次のように質問する。「この聖句を読むと、このたとえに対する理解がどんなふうに深まりますか。」近代の啓示を通して理解が増し加えられることについて証する。

一人の生徒が4-7節を声に出して読む。以下の質問をする。

- 小麦は何を表しているのでしょうか。
- 毒麦は何を表しているのでしょうか。
- このたとえがわたしたちに当てはまるのが4節の中のある言葉から分かります。どの言葉でしょうか。
- 6節によれば、主はなぜ時期が来るまで小麦と毒麦をそのまま生長させておられるのでしょうか。
- 小麦と毒麦がともに生長している証拠として、どんなことが世の中に見られるのでしょうか。

- 収穫はどのようにして行われるのでしょうか。(『教義と聖約 生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』206ページから、教義と聖約86:1-7の注解の最後に記されているジョセフ・スミスの言葉を参照)
- 主が再び来られるとき、毒麦すなわち悪人にはどんなことが起こるでしょうか。

8-11節は小麦と毒麦が分けられるときに神権の「正当な相続人」に対して主が期待しておられることを明らかにしていると説明する。この聖句を読む。それから、以下の質問について話し合う。

- 主はわたしたちに何を期待しておられるでしょうか。
- わたしたちはだれに対して光となるべきでしょうか。
- 教会員でない人々に神権の祝福を与えるには、どうしたらいいでしょうか。(救いの儀式を受けるよう彼らを助ける。)

9節を読む。十二使徒評議会補助を務めていたときにセオドア・M・バートン長老が語った以下の言葉を紹介する。

「主は『神のうちにキリストとともに世から隠され〔た〕』と言われました。この言葉はどのような意味を持っているのでしょうか。救いの計画に従って、この世において特別な使命を果たすことができる時と場所に生まれるように、特別な霊の子供たちが天にとどめておかれたという意味で主は言われたのです。……

最初に地球の創造が計画されたときから、永遠の父なる神はサタンが終わりの時に死にものぐるいになることを御存じでした。イエス・キリストの再臨が近づくとサタンは神の業を滅ぼすために持てる力をすべて使って行動します。救いの計画をくじくために考えられる限りの策略を用います。サタンは流血と恐怖をもって地上を荒らし回ります。しかし神はサタンがこの時代にしようとしていることをあらかじめ知っておられたので、そのチャレンジに対抗する計画を用意しておかれました。

神はこの時代のために最も勇敢な息子、娘たちをとっておかれました。神はわたしたちの時代のためにすばらしい、信頼できる子らを隠しておかれました。前世における行いから判断して、彼らが羊飼いの声を聞き、イエス・キリストの福音を受け入れるであろうことを神は知っておられました。彼らが神権を受けるにふさわしい者となり、聖なる神権を使ってサタンの破壊を押しとどめ、神が子らを救うために計画された業を成し遂げることを御存じでした。

したがって、あなたがたアロン神権を持つ若い男性は、これまで地上に生まれた人々の中で最も優れた者に数えられるのです。あなたは選ばれた世代であり、忠実な神権者です。ペテロは次のように語りました。『あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。』(1ペテロ2:9)

この生得権は、あなたがたがあらゆる時代を通じて最も優れた父と母を持っているからこそ可能なのです。」

(Conference Report, 1975年4月, 103 - 104; または Ensign, 1975年5月号, 69)

## 教義と聖約87章

### はじめに

87章には戦争に関するジョセフ・スミスの預言が記されている。終わりの時に「戦争が……すべての国々のうえに押し寄せる」(2節)ことも警告している。十二使徒定員会会員を務めていたときにゴードン・B・ヒンクレー長老は次のように語った。

「わたしは戦争と戦争を飾り立てるすべてのものを憎んでいます。戦争は、偽りの父であり、神の敵であるサタンが生きることの、恐ろしくも現実の証です。戦争は人類の悲劇をもたらす最大の原因です。それは命を滅ぼし、憎しみをあおり、大切なものを破壊します。それは人類にとって最も犠牲の大きい愚行であり、最も悲しい災いです。……

しかし、カインがアベルを殺した日以来、人々の間に争いは絶えませんでした。平和の君が来て支配される日まで、常に暴君、弱者をいじめる者、みだりに勢力拡張を図る者、奴隷を求める者や独裁者が現れては、人類が武器を手にして抵抗しないかぎり、人の自由をずたずたに切り裂いているのです。』(Lest We Forget, Brigham Young University Speeches of the Year [1970年11月10日], 3)

M・ラッセル・バラード長老はこのように教えました。

「終わりの時の預言によると、人の霊のための戦いはだんだんと激しいものとなってきており、主の再臨が近づくとつれてますます危険性が増すと思われます。

来たるべき苦難の日のために自分や家族を備えるには、恐れを信仰に換えなければなりません。わたしたちに対抗し、脅威を与える敵への恐れを克服できるようにする必要があります。主は言われました。『小さい群れよ、恐れてはならない。善を行いなさい。この世と地獄をあなたがたに対して連合せなさい。あなたがたがわたしの岩の上に建てられるならば、それらは打ち勝つことができないからである。』(教義と聖約6:34)。「危険を冒して果たすべき務め」『聖徒の道』1990年1月号, 35)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は未来を御存じであり、ふさわしいと考えるときにそれを明らかにされる(教義と聖約87章参照。2ニーファイ9:20も参照)。
- 終わりの時は戦争と流血の時代であるが、主は聖なる場所に立つ人たちを守られる(教義と聖約87章参照。教義と聖約63:32-34, 54も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 122。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 208 - 212。

## 教え方の提案

**教義と聖約87章。終わりの時は戦争と流血の時代であるが、主は聖なる場所に立つ人々を守られる。(30 - 35分)**

未来を予言できると主張している人々について聞いたことがあるかどうか生徒に聞く。以下の質問について話し合う。

- 預言と予言の違いは何でしょうか。
- どんな人に真の預言をする資格があるでしょうか。
- それらの預言はどれくらいの確率で実現するのでしょうか(教義と聖約1:37 - 38参照)。

教義と聖約87:1 - 4を読む。ジョセフ・スミスが語った預言を生徒が見つける。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』208 - 211ページから、87章の注解に記されている情報を分かち合う。

この預言は合衆国の南北戦争(United States Civil War)だけを指しているのではないことを示す語句を1 - 4節から見つける(例えば、「戦争[訳注:英文では“wars”と複数形になっている。]」[1節];「この地で始まって」[2節];「戦争がすべての国々のうえに押し寄せる」[3節])。以下の質問について話し合う。

- 最初の戦争が起きたのはいつだったでしょうか(黙示12:7参照)。
- 再臨の前に起こる最後の戦争は何でしょうか(黙示16:14 - 18参照)。
- ヤコブの手紙4:1 - 2を読んでください。この聖句によれば、戦争というものはなぜ起こるのでしょうか。
- 神はなぜ戦争が起きるままにしておかれると思いますか。

ジョセフ・F・スミス大管長、アンソン・H・ランド副管長、チャールズ・W・ベンローズ副管長によって構成されていた大管長会が発表した以下の声明を紹介する。

「神には戦争を回避し、犯罪を防止し、貧困を解消し、暗黒を追い払い、過ちを克服し、あらゆるものを輝かせ、美しくし、喜ばしくすることが間違いなくおできになる。しかし、これは人の大切な、なくてはならない属性、すなわち選択の自由の権利を奪うことになる。」(ジェームズ・R・クラーク編、*Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 全6巻[1965 - 1975年], 第4巻, 325 - 326)

教義と聖約87:5 - 6を読む。この説明からどんな印象を受けるか聞く。これらの戦争は恐ろしいことではあるが、主はわたしたちに希望を与えておられることを説明する。

7 - 8節を読む。主の希望のメッセージを見つける。生徒が「聖なる場所」を定義する。生徒が聖なる場所をできるだけ多く挙げる。それらを黒板に書き出す。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(211 - 212ページ)から、87:8の注解を読んで話

し合う。聖なる場所に立つ方法を生徒が提案する。聖徒であるからといって終わりの時の破壊を免れるわけではないが、主は義人を霊的に守ってくださることを証する(教義と聖約63:32 - 34参照)。



## 教義と聖約88章

### はじめに

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長を務めていたときに次のように語った。

「オリーブの木は昔から平和と清浄の象徴とされてきた。……聖典にあるたとえの中で、主と聖約を交わした民、すなわちイスラエルの家はオリーブの木にたとえられている。

世相が乱れている今の時代にあってもわたしたちは、オリーブの枝を平和の象徴として用いる。そして通常平和の鳩がその枝をくわえている姿が描かれる。預言者ジョセフ・スミスはミズーリ州にいる聖徒に教義と聖約88章の写しを送ったとき、次のように書いている。『楽園の木から取ったオリーブの葉を送る。』(History of the Church, 第1巻, 316)これは人類に与えられた啓示の中でも最も大きな啓示の一つであった。』(『救いの教義』第3巻, 160 - 161参照)

教義と聖約88章の教えは、問題が渦巻く世の中に平和と希望と指針を与えるものである。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖霊は「慰め主」、「約束の聖なる御霊」とも呼ばれる。聖約に忠実であるならば、わたしたちは聖霊を通して永遠の命を約束される(教義と聖約88:1 - 5参照。教義と聖約132:7, 19も参照)。
- キリストの光は神の御前から放射されて、あらゆる創造物に命と光を与える。キリストの光は万物を治める律法である(教義と聖約88:6 - 13, 41参照。モロナイ7:16 - 19も参照)。
- 人は霊体と肉体によって構成されている。霊体と肉体は復活の際に結合し、二度と分かれることはない(教義と聖約88:14 - 17参照。教義と聖約93:33 - 34も参照)。
- 地球は浄化され、聖められて、受け継ぐにふさわしい人たちのために日の栄えの王国となる(教義と聖約88:17 - 20, 25 - 26参照。教義と聖約130:8 - 9も参照)。
- わたしたちが来世で得る栄光はこの世でどんな律法に従うかによって決まる。復活した体はその栄光によって生かされる(教義と聖約88:20 - 40参照。アルマ41:3 - 5も参照)。
- 神は多くの世界を創造された。そしてそれぞれの世界を適切な時期に訪れられる。わたしたちは罪を悔い改め、神の律法を守ることによって、神の訪れに備える(教義と聖約88:34 - 86参照)。
- 主はわたしたちに罪から清められるよう命じておられる(教義と聖約88:74 - 76, 86参照。教義と聖約38:42も参照)。

- わたしたちは福音を受け入れた後、それをほかの人々に熱心に教えなければならない(教義と聖約88:77-85参照)。
- 世の人々が主の僕たちの証を拒んだ後、主は地震と雷と暴風雨の証を送られる(教義と聖約88:87-96参照。教義と聖約43:23-25も参照)。
- 日の栄えにふさわしい生活をした人たちは最初に復活し、その後月に日の栄え、星の栄えにふさわしい者たちが復活する。滅びの子ら、すなわち「なお汚れたままでいる」人たちは最後に復活する(教義と聖約88:29-32, 96-102参照。1テサロニケ4:16-17; 2ニーファイ9:14-16; 教義と聖約76:25-112も参照)。
- 救い主は福千年の間、地上にあって支配される。キリストとキリストに従う人たちは最終的にサタンとその僕に対して勝利を収める(教義と聖約88:103-116参照。黙示20:7-10も参照)。
- わたしたちが福音の教えを受ける場所は、祈り、断食、信仰、秩序があり、義になかった場所でなければならない(教義と聖約88:117-137参照。教義と聖約109:8も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 122-123, 127-129。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 212-222。

### 教え方の提案

教義と聖約88:1-50を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』13「光と真理、第1部」(8:20)を使用することができる(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)。

教義と聖約88章。教義と聖約88章の概要。(45-50分)

教義と聖約86章で説明されている小麦と毒麦のたとえを思い起こす。黒板に「小麦」と「毒麦」と書く。教義と聖約87章と88章の前書きを生徒が読む。以下の質問をする。

- どちらの章が毒麦を連想させるでしょうか(教義と聖約87章)。
- どちらの章が麦を連想させるでしょうか(教義と聖約88章)。

終わりの時に「毒麦」は戦争に巻き込まれるが、「小麦」は平和を得ることを生徒に教える。ジョセフ・B・ワースリン長老が語った以下の話を分かち合う。

「聖文によれば、平和とは、争い、論争、衝突、戦いのない状態のこと、または神がすべての子らに与えられる賜物、つまり御霊がもたらす内なる平安、言い換えれば人々の心に宿る安心感であると定義されています。またある辞書の定義によると、平和とは静かな状態、不安がなく、人々の関係が和やかな状態とされています。〔Merriam-Webster's Collegiate Dictionary, 第10版, (1993年), "Peace", 854〕

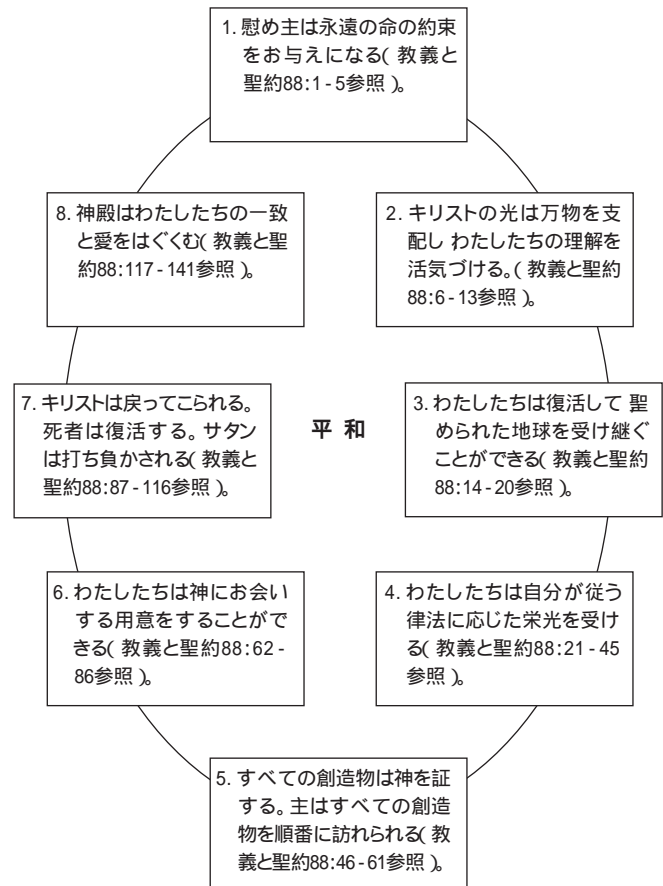
わたしたちは平和を熱望しながらも、飢え、苦痛、苦悩、

孤独、病気、悲しみなどがあふれている世の中に生きています。争いや心痛を伴う離婚があり、それに巻き込まれた罪のない子供たちが特に苦しんでいます。また反抗的でわき道にそれてしまった子供たちは、親にとって深い悲しみと心配のもととなっています。経済的な問題も苦難と自尊心の喪失につながります。わたしたちの愛する人の中には罪と悪の道に入り込み、聖約を破って『自分の道を、自分の神の像を求めて』歩む人もいます。(教義と聖約1:16) (Finding Peace in Our Lives [1995年], 3-4)

以下の質問をする。

- ワースリン長老はわたしたちが経験する悲しみについて幾つか挙げています。その中であなたが経験したことのある悲しみはどれですか。
- あなたにとって平和を見つけることはなぜ大切ですか。
- 平和を見つけるために主はどんな助けを与えてくださるでしょうか。

以下の図を黒板に書き写す。四角の中には番号と参照聖句だけを記入する。



生徒とともに四角の中の聖句をそれぞれ研究する。聖句のテーマが分かったら該当する四角の中に記入する。それぞれの教えがどのように平和をもたらすのか聞く。研究するに当たって、以下の質問を活用する。



1. 教義と聖約88：1 - 5

- この聖句のどんなところからあなたは平安を得ますか。
- 慰め主はどんなふうにあなたの生活に恵みを与えてくれたのでしょうか。

2. 教義と聖約88：6 - 13

- この聖句の中で、キリストの光を説明するためにどんな言葉が使われているのでしょうか。
- キリストの光からどんなふうに慰めが得られるのでしょうか。

3. 教義と聖約88：14 - 20

- 復活するという知識は、試練を堪え忍ぶうえでどんなふうに助けとなるのでしょうか。
- やがて地球が聖められることを知っている、なぜ平安な気持ちになるのでしょうか。

4. 教義と聖約88：21 - 45

- この聖句はわたしたちが平安を得るために何をしなければならぬと勧めているのでしょうか。
- 月の栄えと星の栄えの律法に従う人たちも、ある程度の平和と栄光は受けるのでしょうか。
- 32 - 33節によれば、「取り残されている」人たちが平和と栄光を受けられないのは何が原因でしょうか。

5. 教義と聖約88：46 - 61

- 47節によれば、すべての創造物は神を証しています（アルマ 30：44も参照）。神の証を受けることによって、どのように平安が得られるのでしょうか。
- 51 - 61節のたとえの中から、どんな慰めを見いだすことができますでしょうか。
- この聖句では繰り返し、喜び、主の喜ばれる顔、主の顔の光のことが述べられています。このことから、何が学べるのでしょうか。

6. 教義と聖約88：62 - 86

- 備えができていないと、なぜ平安が得られるのでしょうか（教義と聖約38：30参照）。
- この聖句には主にお会いする用意をするための勧告が含まれています。どんな勧告でしょうか。

7. 教義と聖約88：87 - 116

- 終わりの時の苦難について知っている、忠実な人たちはなぜ平安を得ることができるのでしょうか。
- 忠実な人たちに慰めを与える将来の出来事には何があるのでしょうか。
- サタンが地上に及ぼす力を失うことを知ると、なぜ平安を得ることができるのでしょうか。

8. 教義と聖約88：117 - 141

- イエス・キリストの再臨の前であっても、ある程度の平安を得ることができます。どんなことができるのでしょうか。
- 主はこの聖句の中でどんな指示を与えておられるのでしょうか。

教義と聖約88：1 - 5。聖霊は「慰め主」、<sup>みたま</sup>「約束の聖なる御霊」とも呼ばれる。聖約に忠実であるならば、わたしたちは聖霊を通して永遠の命を約束される。（10 - 15分）

以下の質問をする。

- 遠い外国へ旅行できるとしたら、どこへ行きたいと思いますか。それはなぜですか。
- 家族から離れることをどう思いますか。あなたがいない間、家族はどう思うのでしょうか。
- 信頼する友だちと一緒にいくとしたら、心強いでしょうか。
- 無事に家に帰れるという約束があるとしたら、その約束はどれほど貴重なものなのでしょうか。

地上に来るために前世で天の御父のもとを離れることは、遠い外国へ旅立つことにたとえられることを生徒に話す。教義と聖約88：1 - 5を読む。主が与えられた二つの約束を生徒が見つめる。この二つの祝福を、遠い外国へ旅立つという上のたとえで話し合った二つの助けと比較する。以下の質問について話し合う。

- これまでの人生の中で困難な時期や孤独を感じたときに、聖霊からどんな慰めを受けたことがありますか。
- 慰め主が与えられるということは、なぜ天の御父があなたを愛しておられることの力強い証拠となるのでしょうか。
- 教義と聖約132：49を読んでください。もしあなたがこの約束を与えられたとしたら、どんなふうに感じるのでしょうか。

十二使徒定員会会員を務めていたときにジョセフ・フィールディング・スミス長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「自分の名前が教会の記録に載っていさえすれば必ず神の王国に救われるとはかぎらない。それ以上のことが要求される。わたしたちの名前が小羊の命の書に記されるようにならなければならない。この書に名前が記されているということは、わたしたちが戒めを守っているという証拠である。戒めを守ろうとしない者は皆この書から名前を消される。」（Conference Report, 1950年9月 - 10月, 10）

永遠の命に備えるために生活をどのように変えたらよいか考えるよう生徒に勧める。

**教義と聖約88：6 - 13。キリストの光は神の御前から放射されて、あらゆる創造物に命と光を与える。キリストの光は万物を治める律法である。（15 - 20分）**

黒板に「力」と書く。一人の生徒に細い棒を渡す。もう一人の生徒にそれよりも太い棒を渡す。もう一人の生徒に金属製の棒（または似たようなもの）を渡す。この3人の生徒に、順番にその棒を折ってみるように言う。以下の質問について話し合う。

- 金属製の棒を折るにはどうすればよいでしょうか。
- あなたの考えることができる最も力のある機械や道具にはどんなものがあるのでしょうか（エンジン、レーザー光線、コンピューターなどの答えが考えられる）。
- これらの道具の力は、自然の力（台風、竜巻、太陽の光など）と比較になるのでしょうか。

教義と聖約88：6 - 13を読む。生徒は最強の力を探す。以下の質問をする。

- これらの節の中で、キリストの光の力について最も強い印象を受けたのはどの節でしょうか。

- キリストの光がなかったら、この地球はどうなっていたでしょう。

キリストの光は創造する、光を与える、命を与える、治めるという力を持っている。そのことを示している言葉を生徒が探す。見つけた言葉を生徒が発表する。『聖句ガイド』から、「光；キリストの光」の第2段落（212ページ）を読む。モロナイ7：16、18 - 19を読む。以下の質問について話し合う。

- この聖句はキリストの光を受けることについて何と教えているでしょうか。
- キリストの影響力によって導かれることはあなたにとってなぜ大切ですか。
- あなたが善を選ぶために、キリストの光はどんな助けとなるでしょうか。
- キリストの光はあなたの生活にどんな平安をもたらしているでしょうか。

適切であれば、キリストの光の影響を受けていると感じたときの経験を何人かの生徒に発表するよう勧める。

**教義と聖約88：14 - 17。人は霊体と肉体によって構成されている。霊体と肉体は復活の際に結合し、二度と分かれることはない。（5 - 10分）**

ポイド・K・パッカー長老が語った以下の<sup>ひゆ</sup>比喩を紹介する。その際、手と手袋を使って実演する。

「さて皆さん、今わたしの手が霊だとしましょう。手は生きていますからちゃんと自分で動くことができますね。では、この手袋が体だとしましょう。手袋は自分では動きません。ですから霊が体の中に入ると、体は跳んだり跳ねたり、息を吸ったり吐いたりすることができるのです。こうして、皆さんの霊と体が一つになって、この地上で生活を始めたのです。

でも神様は、わたしたちがいつまでも、この地上に住むような計画をお立てになりませんでした。ただ、この世に生きている間だけこの地上に住むのです。皆さん、皆さんは今、その生活を始めたばかりですね。でも、あなたたちのおじいさんやおばあさん、そしてひいおじいさんやひいおばあさんは、そろそろ、この地上での生活を終わろうとしています。あなたたちのおじいさんやおばあさんも、少し前までは、あなたたちと同じように小さな子供だったのですよ。でも、そのおじいさんもおばあさんも、いつかこの世からいなくなってしまう。また、あなたたちにも同じことが起こります。

人はいつの日か、年を取ったり、病気になったり、事故に遭ったりすると、霊と体が別々になります。このときのことを、人が死んだ、と言いますね。死ぬことは別々になることです。でもこれはみな、一つの計画で決められたとおりに起こっていることなのです。

さっきわたしの手を霊、そして手袋を体ということにしましたね。覚えていますか。生きている間、体の中に入っている霊は、体に命令して、働かせたり、動かしたりしています。

でもわたしが手袋を外すと、そう、手袋は体でしたね、手袋は霊から離れています。もう働くことはできません。手袋は下に落ちて、そのままです。でも、霊の方はまだ生きています。

『神から生まれた霊は、不死不滅のものである。肉体が死んでも、霊は死ぬことがない。』（大管長会、*Improvement Era*, 1912年3月号, 463）

あなたの霊はあなたの目を使って外を見えています。またあなたが、考えたり、にこにこしたり、行動したり、理解したり、存在したりできるようにしているのも、あなたの霊なのです。霊は永遠のもので。決して死ぬことはありません。』（「汝らの子供たちを見よ」『聖徒の道』1974年2月号, 87 - 88参照）

生徒が教義と聖約88：14 - 17を読む。パッカー長老の<sup>ひゆ</sup>比喩を最もよく表している節にしるしをつける。次のように質問する。「この聖句は霊と肉体についてほかにどんなことを教えているでしょうか。」1コリント15：21 - 22を読む。次のように質問する。「これらの節によれば、だれが復活するのでしょうか。」

復活が実際に起こること、この教義が平安をもたらすことについて証する。

**教義と聖約88：17 - 20, 25 - 26。地球は浄化され、聖められて、受け継ぐにふさわしい人たちのために日の栄えの王国となる。（10 - 15分）**

以下の正誤問題を行う。

1. 地球は日の栄えを受ける（教義と聖約88：17 - 18参照）
2. 地球は水によるバプテスマを受けた（創世7：17 - 20参照）
3. 地球は火によるバプテスマを受けた（教義と聖約133：41参照）
4. 地球は日の栄えを受けるために備えられなければならない（教義と聖約88：18参照）
5. 地球は父なる神の臨在を受ける（教義と聖約88：19参照）
6. もしあなたが日の栄えの王国を受け継いで、日の栄えの体を受けるならば、この地球を永遠に所有することになる（教義と聖約88：20参照）

正解を発表してから、生徒の答えについて話し合う。（質問3を除いて、すべての質問の答えは正である。質問3の答え：火によるバプテスマはイエス・キリストの再臨の時に起きる。質問2 - 3について、ブリガム・ヤング大管長はこのように教えた。「地球は創造された所期の目的に沿って歩んでいる、と主は言われる。地球はすでに水のバプテスマを施され、将来、火と聖霊のバプテスマを受けるであろう。そして地球と同様、創造された目的を果たした地上の万物とともに日の栄えの神の御前に行く備えをするであろう。」〔*Discourses of Brigham Young*, 393〕）

**教義と聖約88：20 - 40, 96 - 102。わたしたちが来世で得る栄光はこの世でどんな律法に従うかによって決まる。復活した体はその栄光によって生かされる。（20 - 25分）**

組織に所属するためには従わなければならない律法や規則があることを生徒に話す。以下の組織（またはあなたの地域社会に見

られる組織)の律法や規則を挙げる。

- 学校
- 運転免許証事務局
- 職場
- 教会
- 神殿

律法や規則はなぜ必要であるか、またそれらはなぜわたしたちを助けるものとなるかについて話し合う。

教義と聖約88：36 - 38を生徒が読む。生徒は律法を持っているほかの場所を挙げる。黒板に「日の栄え」、「月の栄え」、「星の栄え」と書く。生徒がそれぞれの王国を治める律法を幾つか挙げる。(日の栄えの律法は教義と聖約76：50 - 70, 92 - 96を参照；月の栄えの律法は76：71 - 80, 87, 91, 97を参照；星の栄えの律法は76：81 - 90, 98 - 112を参照。)

教義と聖約88：20 - 24, 38 - 39を読む。どんな人がそれぞれの王国を受け継ぐかについて話し合う。28 - 32節を読む。次のように質問する。「わたしたちが復活するときどんな体を受けるかは何によって決められるのでしょうか。」96 - 102節を読む。復活の順序を確認する。

律法に関するこれらの教義はなぜわたしたちの人生に平安を与えてくれるかについて話し合う。次のように質問する。「今、日の栄えの律法に従って生活することはなぜ大切なのでしょうか。」日の栄えの王国に住む準備として、生徒にできることを考えるよう勧める。

**教義と聖約88：62 - 76, 86。主はわたしたちに罪から清められるよう命じておられる。(15 - 20分)**

透明な容器を二つ準備して、一つの容器に無色透明な水を入れ、もう一つの容器には食紅を使って色をつけた水を入れておく。白い布を2枚取り出し、それらを容器の中へ入れたらどうなるか生徒に聞く。布を浸して、結果を見せる。

スターリング・W・シル長老が十二使徒補佐を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

『心も染物師の手と同じように、つかんだものの色に染まる』と言った人がいる。手に紫の染料をしみ込ませたスポンジを持っていれば手は紫に染まる。わたしが思いと心に、信仰と献身と義の、大いなる考えを持っていれば、わたしの全人格はそのように染まるのである。これに対して、悪意、不正直、怠惰、肉欲で思いを満たすならば、わたしの人格はそれらに染まっていく。

……人は偉大な思いを抱きながら、不義な行いをするとはできない。義にかなう考えを持ちながら、悪を行うとはできない。』( *The Majesty of Books* [1974年], 161)

教義と聖約88：67 - 68を読む。そして、これらの節とシル長老の言葉との関連について話し合う。以下の質問をする。

- 神の栄光にひたすら目を向けるとはどんな意味でしょうか。
- どうすればそうすることができるでしょうか。

62 - 66節を読む。以下の質問をする。

- 主の栄光にひたすら目を向けられるように、主はどうするように言っておられるでしょうか。
- 主に近づくにはどんな方法があるでしょうか。
- 主に近づくために、祈りはあなたにとってどんな助けになってきたでしょうか。
- どれくらい頻繁に祈るべきでしょうか(126節参照)。

ウィルフォード・ウッドラフ大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を紹介する。

「救い主の勧告の中に、神の聖徒全員が守るべきであるにもかかわらず、十分に守られていないのではないかと懸念されるものが一つあります。それは常に祈り、気を落とすとはならないという戒めです。わたしたちは一つの民として信仰を持って十分に祈っていないのではないかと懸念しています。わたしたちは力強い祈りによって主を呼び求め、すべての望みを主に打ち明けなければなりません。もし主が守ってくださらず、解き放ってくださらず、救ってくださらないとしたら、それができる力はどこにもないからです。したがって、主に全幅の信頼を寄せなければなりません。わたしたちは昼も夜も天の御父の耳に達する祈りをささげなければならないのです。」( *Discourses of Wilford Woodruff*, 221)

預言者が祈りを通してどのように主に近づいているかを説明するために、M・ラッセル・バラード長老が七十人定員会の一員であったときに述べた以下の物語を紹介する。

「皆さんに一つの経験についてお話ししたいと思います。……〔1976年の4月に〕七十人第一定員会に召されてすぐ、東部カナダで〔地元の〕全神権指導者を集めて開かれた聖会に出席しました。大管長会と十二使徒と一人の十二使徒補佐が出席していました。とても素晴らしい経験でした。……

聖会が終わると、わたしたちは中央幹部の方々のために軽い夕食を用意しました。その後わたしは大管長会の方々を宿泊していたホテルまで車で送りました。……わたしはその鍵を〔スペンサー・W・〕キンボール大管長のところへ持っていきました。大管長が部屋へ入れるようにするためです。わたしはこう言いました。『大管長、鍵をお持ちしました。お部屋へ入ってゆっくりお休みください。』

大管長はいつもながらの心のこもった様子で礼を述べました。するとタナー副管長がわたしの腕を取ってこう言いました。『ラス、どうですか。中で一緒に祈りませんか。』……大管長会の方々と一緒に夕べの祈りをするなど、皆さん想像できますか。……わたしは深く感動しました。部屋のベッドのまわりにひざまずくと、目に涙があふれてきました。

わたしはタナー副管長の隣にひざまずいていました。彼はわたしの様子を感じ取ったようで『〔キンボール〕大管長、お祈りしていただいてもよろしいですか。』と言いました。それから、わたしは預言者の祈りを聞きました。皆さ

んに理解していただきたいのですが、わたしはその祈りを通して大切な教えを学びました。これまで感じたことのない御霊を感じたのです。皆さんにも理解していただけだと思います。預言者が神と語るとき、それは親友に語っているようです。」「(「1988年の指導者であるあなた」『聖徒の道』1979年11月号、41 - 42参照)

主に近づくことによって、清い状態を維持できることを証する。<sup>あかし</sup>74 - 76、86節から主の勧告を声に出して読む。次のように質問する。「主はなぜわたしたちに清くあるよう望んでおられると思いますか。」「J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「わたしはよくこう考えたものでした。『もしも、神は向こうにあるあの山におられると聞かされていたら、そして、もしも望むならば神に会いに行けると聞かされていたら、わたしたち皆は、またわたし個人は、現在どんな生活をしているだろうか』と。自分がひそかに抱えている思いや希望、そして大志を見抜くことのできる神の前に行って、胸を張って立つことができるような生活を送っているだろうかと考えます。兄弟姉妹、その試験に堪えられなければ、そして堪えられるようになるまでは、わたしたちは主が望んでおられるような生活を送れるようになっていないのです。』(Conference Report、1935年10月、91)

以下の質問の答えを紙に書くよう生徒に勧める。

- 主の前に心を清めるためにあなたはどんなことができるでしょうか。
- 清い状態を維持することはなぜ大切なのでしょうか。

**教義と聖約88：77 - 85。わたしたちは福音を受け入れた後、それをほかの人々に熱心に教えなければならない。(15 - 20分)**

教室へ最初に着いた生徒に以下のメッセージを書いた紙を渡す。「お知らせ 今日の開会行事で1分以上腕を組んでいた人は褒美がもらえます。」この情報をほかの生徒に伝えるかどうかを見る。開会行事が終わったら、指示に従った生徒一人一人に小さな褒美を与えて、最初の生徒に次のように聞く。「あなたはなぜ、褒美がもらえることについてほかの生徒に話しましたか(または話しませんでしたか)。」

生徒に次のように言う。「自然の災害が町に向かっていることをあなたは知っているかと仮定してください。」

- 近所の人たちに警告するでしょうか。なぜ警告しますか。またはしませんか。
- わたしたちには警告する責任があるでしょうか。
- もし立場が逆だったら、ほかの人からどれほど早く知らせたいと思うでしょうか。

教義と聖約88：81 - 82を読む。以下の質問をする。

- この聖句は先ほどの例とどんな関係があるでしょうか。

- 主はなぜわたしたちに、ほかの人々に警告するよう求めておられるのでしょうか。
- 77 - 80節を読んでください。隣人に警告する前にわたしたち自身は何をしなければならいのでしょうか。
- 隣人とはだれを指しているのでしょうか。

十二使徒定員委員会会員であったときにウィルフォード・ウッドラフ長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちは神権の力が与えられています。そして、世の中の状態を目にしています。それでいながら、腕組みをしてくつろいで、『シオンではあらゆる人が平和です』と言うことができるでしょうか。隣人に対して声を上げ、彼らの門口に迫っている事柄について警告しないで行くなら、自分の衣が清いと考えられるでしょうか。それはできません。現代の神権者たちほど警告の声を上げる義務を課された人々は、神が世界を創造されて以来ありませんでした。わたしたちには長く大きな声を上げて、昼も夜も機会がある度にこの時代の人々に神の言葉を告げる責任があるのです。わたしたちはこれを行うよう求められています。これはわたしたちの召しであり、義務です。またわたしたちの仕事なのです。』(Journal of Discourses、第21巻、122)


次のように質問する。「友だちや隣人と福音を分かち合うにはどんな方法があるでしょうか。」

**教義と聖約88：87 - 116。救い主は福千年の間、地上において支配される。キリストとキリストに従う人たちは最終的にサタンとその僕に対して勝利を収める。(20 - 25分)**

イエス・キリストの再臨について人々がどのくらい関心を持っているか生徒に聞く。次のように質問する。「このテーマはなぜ多くの関心を集めていると思いますか。」88章はこの出来事について多くの情報を提供していることを生徒に話す。次の言葉を見出しとして黒板に書き出す。「主が来られる前」、「主が来られるとき」、「主が来られた後」。生徒が教義と聖約88：87 - 116を調べる。そして、そこに述べられている出来事を該当する見出しの下に書き出す。一覧表は以下のようになると思われる。

主が来られる前	主が来られるとき	主が来られた後
神は天と地のしるしを通して証される(教義と聖約88：87 - 91参照。マタイ24：29；教義と聖約43：25も参照)。	主の顔が現される(教義と聖約88：95参照)。	最初の6人の天使は最初の6,000年間の人々の業と神の業を明らかにする(教義と聖約88：108 - 110参照)。
天使たちは「おお、地に住む者よ、備えなさい、……花婿は来られる」と告げる(教義と聖約88：92)。	日の栄えを受け継ぐ者たちの復活が起きる(教義と聖約88：96 - 98参照。教義と聖約76：50 - 70も参照)。	第七の天使はサタンが縛られることを告げる(教義と聖約88：110参照。黙示20：1 - 3；1ニーファイ22：26も参照)。

主が来られる前	主が来られるとき	主が来られた後
人の子のしるし（教義と聖約88：93参照。マタイ24：30も参照）。	第二のラッパは月の栄えを受け継ぐ者たちの復活を告げる（教義と聖約88：99参照。教義と聖約76：71 - 80も参照）。	1,000年の後、サタンとミカエルは自分の軍勢を集める（教義と聖約88：111 - 113参照。黙示20：7 - 8も参照）。
最初のラッパは、大きな忌まわしい教会が焼かれるばかりになっていることを告げる（教義と聖約88：94参照）。	第三のラッパは星の栄えを受け継ぐ者たちの復活を告げる（教義と聖約88：100 - 101参照。教義と聖約76：81 - 90も参照）。	ミカエルは戦いに勝利を収める（教義と聖約88：114 - 115参照）。
半時間、天に静けさがある（教義と聖約88：95参照。教義と聖約38：11 - 12も参照）。	第四のラッパは汚れたままの者たちの復活を告げる（教義と聖約88：102参照。32節も参照）。	聖められた者はもはや死を見ることがない（教義と聖約88：116参照）。
	第五のラッパは神の裁きの時を告げる（教義と聖約88：103 - 104参照）。	
	第六のラッパはバビロンの崩壊を告げる（教義と聖約88：105参照。黙示14：8も参照）。	
	第七のラッパは「終わった」ことを告げる（教義と聖約88：106参照。教義と聖約133：46 - 53も参照）。	

 **教義と聖約88：117 - 137（マスター聖句、教義と聖約88：123 - 124）** わたしたちが福音の教えを受ける場所は、祈り、断食、信仰、秩序があり、義になかった場所ではない。（25 - 30分）

生徒に次のように言う。「自分が『セミナー一日教師』に選ばれたと仮定してください。」

- あなたはクラスにどんな規則を設けるでしょうか。
- その日はどんな日程を組むでしょうか。
- クラスのために何か特別なことをするでしょうか。もし、するとすれば、それはどんなことでしょうか。
- 生徒に何かしてもらいたい特別なことがあるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていたときに、セミナーの教師に対して次のような勧告を与えた。

「カートランドで、信仰を得て間もない人々を教えるために預言者の塾が設けられました。皆さんは今、未来の預言者のための塾で教えています。力と確信と信仰をもって彼らを教えてください。」（*Counsel to Religious Educators* [宗教指導者への講話、1984年9月14日]、7）

- ヒンクレー大管長の言葉に従うとしたら、あなたは教え方をどのように変えるでしょうか。
  - セミナリーは「未来の預言者」のための塾であることを知って、あなたはどのように感じるでしょうか。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（221ページ）から、88：117 - 141の注解に記されている情報を紹介する。ヒンクレー大管長の同じ話から、以下の言葉を読む。

「預言者の塾は〔ホイットニーの店で〕開かれました。（あるときは長老の塾と呼ばれ、あるときは預言者の塾と呼ばれていました。）それは当時指導的な立場にあった兄弟たちの集まりでした。主として伝道活動の訓練の場として計画され、運営されていました。ここで天からの知識が注がれ、多くの啓示が与えられて、この大いなる業の基礎が築かれたのでした。……

教義と聖約の中の62の啓示が、そのようなオハイオの時代と環境の中で与えられました。……この業はこの上なく驚くべき方法で強化され、統合されました。

この時期についてオーソン・プラットは次のように記しました。『神がそこにおられ、天使たちがおり、<sup>しもべ</sup>聖霊が人々の中におられて、全能者の示現が生ける神の僕たちに開かれた。〔幕〕が多くの者の心から取り去られて彼らは天が開くのを目にし、神の天使たちを見た。彼らは主の声を聞いて、頭のとっぺんから足のつま先まで聖霊の力と靈感に満たされた。』（*Journal of Discourses*, 第18巻, 132）（*Counsel to Religious Educators*, 4 - 5）

預言者の塾に与えられた主の指示は、<sup>こんにち</sup>今日の家庭、セミナー、神殿における教えにも当てはまることを説明する。以下の質問の一部、またはすべてを使って教義と聖約88：117 - 137を研究する。

- 預言者の塾ではだれが教師を務めたのでしょうか（118節参照。77節も参照）。
- 研究と信仰によって学問を求めるにはどうすればいいでしょうか。
- 119節はセミナーのクラス、家庭、神殿のいずれについて述べていると思いますか。
- 主の名によってセミナーに「入って来る」、そして「出て行く」（120節）にはどうすればいいでしょうか。
- わたしたちは何をやめるべきでしょうか（121節参照）。
- 軽々しいことと、適切なユーモアのセンスとの違いは何だと思えますか。
- 122節で教えられている原則はセミナーのクラスでどのように応用できるでしょうか。
- 123 - 125節の勧告を守るにはどうすればいいでしょうか。
- 福音を学ぶときに、祈りはどんな役割を果たすでしょうか（126、137節参照）。

## 教義と聖約89章

### はじめに

教多くの教会員は教義と聖約89章が主の健康の律法であることを知っている。しかしこの啓示は、肉体の健康を増進させるための指針以上のものである。ジョセフ・B・ワースリン長老はこのように説明した。

「知恵の言葉を含む神のあらゆる戒めは霊的なものです。(教義と聖約29:34-35参照) わたしたちは肉体的な力よりも霊的な力をもっと養わなければなりません。」「狭くて細い道」『聖徒の道』1991年1月号, 68)

ボイド・K・パッカー長老はこのように付け加えている。

「確かに知恵の言葉は、皆さんの繊細で敏感な霊的機能を正しく反応する状態に保つために与えられました。心に感じるものを『聞く』ようにしてください。そうすれば皆さんは導きや警告、教え、祝福を受けるでしょう。」「知恵の言葉 その原則と約束」『聖徒の道』1996年7月号, 23)

ラッセル・M・ネルソン長老はこのように警告した。

「もし君が習慣性のある物を口にして知恵の言葉を破れば、君の霊は肉体に屈伏することになる。霊が肉体の奴隷になるんだ。これは、君が現世にいる目的に反している。」ネルソン長老は次のように約束した。「君がアルコールやたばこ、刺激物などを断る勇気を養えば、さらに力が増し加えられる。そうなれば、『陰謀を企てる人々』つまり有害な物質やわいせつな物を使って誘惑してくる人々を拒むことができるだろう。そして、君の肉体に及ぶ悪の影響力も断ち切ることができるだろう。」「自分自身を治める」『聖徒の道』1986年1月号, 33参照)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 天の御父はわたしたちを愛しておられるので、現在と将来の危険について警告を与えておられる(教義と聖約89:1-4参照。2ニーファイ1:1-5; 教義と聖約1:4, 17-18も参照)。
- 知恵の言葉は約束を伴う原則として与えられている。この原則は、肉体と霊の祝福をもたらす(教義と聖約89:3-21参照。1コリント3:16も参照)。
- 主はわたしたちにアルコール、たばこ、コーヒー、茶を避けるよう命じておられる。主はわたしたちの健康に良い草、果物、野菜、穀物、肉を定められた。しかし、肉については控えめに用いるよう命じておられる(教義と聖約89:5-20参照。ダニエル1:8, 12-16も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 123。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 222-228。

### 教え方の提案

教義と聖約89:1-4。天の御父はわたしたちを愛しておられる

ので、現在と将来の危険について警告を与えておられる。(10-15分)

アルコール、たばこ、コーヒー、茶の宣伝広告を見せる。次のように質問する。「とても多くの人々がこれらの広告を見て、製品を買います。なぜだと思いませんか。」

教義と聖約89:1-4を読む。主が知恵の言葉を啓示された理由を見つける。以下の質問をする。

- 「今あり、また将来もある」とは、どういう意味でしょうか(4節)。
- 「終わりの時に陰謀を企てる人々の心の中にある悪ともくろみ」とは、どんな意味でしょうか(4節)。
- 有害な製品を販売している人々は、どんな動機でそうしているのでしょうか。

2節を生徒が読む。「あいさつとして送られるもの。戒めや強制としてではなく」の部分にしるしをつける。今日の預言者は、知恵の言葉が戒めであると宣言していることを説明する(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』223ページから、89:2の最初の二つの注解を参照)。次のように質問する。「この啓示には天の御父がわたしたちに愛と関心を持っておられることが表れています。どんなところに御父の愛が表れていると思いませんか。」

教義と聖約89章の前書きを生徒が読む。この啓示がいつ与えられたかを見つける。以下の質問をする。

- 1833年当時の医学では、アルコール、たばこ、コーヒー、茶の害について、どの程度のことが分かっていたと思いませんか。それ以来、それらの害に関する理解は、どんなふうに変わってきたでしょうか。
- ジョセフ・スミスはこの件に関して前もって警告を受けていました。そのことから、ジョセフ・スミスが受けた靈感について、何が分かりますか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の見解を紹介する。

「知恵の言葉をありきたりのものと考えないでください。健康に関する最も優れた文書だとわたしは考えています。知恵の言葉は1833年、人の食生活についてあまり知られていなかった時代に預言者ジョセフ・スミスに与えられました。そして今日において科学的研究が進めば進むほど、知恵の言葉の原則の真実性が証明されてきています。今やたばこの有害性の証拠には圧倒されるほどです。……アルコールについても同じです。」「いつか結婚する女性にふさわしく生活する」『聖徒の道』1998年7月号, 56-57)

以下の質問をする。

- 知恵の言葉に記されていないけれども、今日の預言者によって禁じられているものとして、どんなものがあるでしょうか(違法な薬物、処方薬の乱用)。
- 現在の預言者が知恵の言葉に反するというので、あなたの好きな食べ物の一つを禁じたとします。もしそうになったら、あなたはどのようにしますか。

初期の聖徒たちはすべての理由を知らないまま、この啓示に従った。そのことによって彼らが信仰を示したことを指摘する。次のように質問する。「わたしたちは天の御父から与えられる戒め

に、どんな態度をとるべきでしょうか。」戒めが与えられた理由をすべて理解していなくても、戒めに従うならば主が祝福してくださることについて証する（モーセ5：6参照）。



**教義と聖約89：3 - 21（マスター聖句，教義と聖約89：18 - 21）**。知恵の言葉は約束を伴う原則として与えられている。この原則は、肉体と霊の祝福をもたらす。（25 - 30分）

生徒に次のように言う。「宝箱を見つけたとします。そして、それを自分のものにすることができますとします。」

- 箱の中から何が出て来たらいいと思いますか（答えを黒板に書き出す）。
- なぜこれらを宝と考えるのですか。
- 宝とは、どんな意味でしょうか（生徒が定義づける。それを黒板に書く）。

89章に列挙されている宝に注目するよう生徒に勧める。

89章が教えていることを聞く。一人の生徒が『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（222 - 223ページ）から、89章の歴史的背景を読む。1 - 2節を読む。その内容について話し合う。話し合いの際に、インスティテュートの資料（223ページ）から、2節に関する最初の二つの注解を参照する。

知恵の言葉に従うことによって得ている肉体上の祝福について話し合うよう勧める。3節を読む。「約束を伴う原則」にしるしをつける。89章の脚注の3①に記されている参照聖句、18 - 21節にしるしをつける。18節を生徒が読む。そして、主が述べておられる原則を見つける。（「これらの言葉を守って行う」と「数々の戒めに従順に歩む」）18 - 21節を読む。知恵の言葉に従う人たちに与えられている約束を黒板に書き出す。これらの約束が記されている箇所にしるしをつけるよう勧める。これらの約束がそれぞれ生徒にとってどんな意味があるかについて話すように勧める。次のように質問する。「これらのほとんどの祝福は物質的なものでしょうか。それとも霊的なものでしょうか。」十二使徒定員会会長代理を務めるボイド・K・パッカー長老の以下の言葉を分かち合う。

「〔健康に加え〕知恵の言葉にはさらに大いなる祝福が約束されています。すなわち『知恵と、知識の大いなる宝、すなわち隠された宝さえ見いだす』のです（教義と聖約89：19）。これは個人的な啓示であり、それによって、〔誘惑や〕その他の危険なものを知ることができます。」「〔知恵の言葉 - その原則と約束〕『聖徒の道』1996年7月号、22）

かつて、パッカー長老は十二使徒定員会会員を務めていたときに次のように語った。

「自分の肉体は、自分の霊が用いる道具です。『知恵の言葉』というすばらしい啓示の中で、肉体を汚れから守る方法が教えられています。この汚れは、霊的な交わりにかかわる繊細な感覚を鈍らせ、破壊することさえあるのです。

知恵の言葉は、個人の啓示の鍵です。それは、『約束を伴う原則として与えられるもので、……すべての聖徒の中の弱い者および最も弱い者の能力に適するもの』（教義と

聖約89：3）として与えられました。

……肉体を誤って用いるなら……、霊的な交わりという光をさえぎるカーテンを引いてしまうこととなります。」「（「変化する世における啓示」『聖徒の道』1990年1月号、14参照）

知恵の言葉の祝福と黒板に書き出した宝のリストとを比較する。以下の質問について話し合う。

- 知恵の言葉の祝福は、この世の宝よりも大きな価値があります。なぜでしょうか。
- 知恵の言葉を守ると霊的な祝福が得られます。この霊的な祝福が健康上の恵みよりも大切なのは、なぜでしょうか。
- これまで知恵の言葉を守ることによって、どんな霊的な祝福を経験してきたでしょうか。（神殿の儀式に参加するふさわしさを保てる、御霊の導きを受けられる、などの答えが考えられる。）

89章の「はじめに」（145ページ）から、ラッセル・M・ネルソン長老の言葉を読む。以下の質問をする。

- 知恵の言葉を守ることによって、選択を下しているのは肉体ではなく霊であることを主に証明することができます。なぜでしょうか。
- アルコール、たばこ、コーヒー、茶を絶つことは、ほかの誘惑や罪を退けると、どんな関連があるのでしょうか。

知恵の言葉についてあなたの証を述べる。知恵の言葉によって受けた祝福の例を紹介する。

**教義と聖約89：5 - 20。主はわたしたちにアルコール、たばこ、コーヒー、茶を避けるよう命じておられる。主はわたしたちの健康に良い草、果物、野菜、穀物、肉を定められた。しかし、肉については控えめに用いるよう命じておられる。（10 - 15分）**

「王の食物と酒を拒むダニエル」の絵を見せる。（『福音の視覚資料セット』、114）この絵の物語を簡単に話すよう生徒に勧める。または、あなたが話す（ダニエル1：8、12 - 16参照）。次のように質問する。「ダニエルと友人たちが、王の食物を食べた人たちよりも健康だったのはなぜでしょうか。」彼らが健康だったのは、食べた食物だけでなく、主に従順だったことにも原因があったことを生徒が理解できるようにする。

知恵の言葉はあるものを禁じているだけでなく、ほかのものをういよう勧告していることを説明する。クラスの半数の生徒が教義と聖約89：5 - 15を読む。そして、禁じられているものと控えめに用いるべきものを見つける。残りの生徒は10 - 20節を読む。そして、主が用いるよう定められたものを見つける。見つけた事柄を発表するよう生徒に勧める。それらを黒板に書き出すよう勧める。肉は両方のリストに挙げられていることを指摘する。難解な語句は生徒用学習ガイドを参照する（教義と聖約89章の「聖文を理解する」参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』224 - 227ページから、89：5 - 17の注解も参照）。

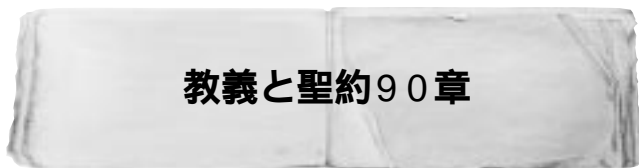
ボイド・K・パッカー長老が語った以下の言葉について話し合う。

「会員たちからの手紙で、これやあれは知恵の言葉に反しますか、と聞かれることがあります。よく知られているように、お茶やコーヒー、酒、たばこは反しています。それ以上詳しくは説明されていません。むしろ、わたしたちはその原則を約束された祝福とともに教えます。人々は肉体と霊を損なう多くの習慣性のあるものを飲んだり、かんだり、吸ったり、注射したりしますが、それらは啓示の中に記されていません。

有害なものがすべて列挙されているのではないのです。例えばヒ素です。明らかに有毒ですが、習慣になるはずがありません。主が言われるようにすべてのことを命じられなければならない人は『怠惰であって、賢い僕ではない』のです（教義と聖約58：26）。（「知恵の言葉 - その原則と約束」『聖徒の道』1996年7月号、21 - 22）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていたときに、次のように語った。

「ある人は、知恵の言葉に麻薬について触れた箇所がないことを言い訳にしています。何とみじめな言い訳でしょう。水の入っていないプールに飛び込んだり、立体交差の上から高速道路に飛び降りたりすることが危険だとは書かれていないという言い方と同じです。致命的な結果は目に見えています。常識がそのような行動を抑えるのです。」（「禁じられた薬物の脅威」『聖徒の道』1990年1月号、51）



## 教義と聖約90章

### はじめに

教信仰箇条第6条には次のように記されている。「わたしたちは、初期の教会にあったと同一の組織、すなわち、使徒、預言者、牧者、教師、祝福師などがあることを信じる。」福音の回復の一環として、主は使徒と預言者とを聖任された。これには大管長会を組織すること（1833年3月18日に完了した）が含まれた。教義と聖約90章では、ジョセフ・スミスに授けられた王国の鍵と副管長の義務について述べられている。主は「これは神の教会の最高評議会である」と宣言して、大管長会の大切さを強調された（教義と聖約107：80）。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 大管長は神権の鍵を持ち、全教会に対する啓示を受ける（教義と聖約90：1 - 5、32 - 33参照。教義と聖約21：4 - 5；28：2 - 8；43：2 - 3、12も参照）。
- 大管長会は神権の鍵を行使する。大管長会の務めには、神権者を指導し、福音を広め、教会の諸事を管理することなどが

ある（教義と聖約90：6 - 18、24、32参照。教義と聖約88：127；133：7 - 8も参照）。

- 福音は聖霊の力によって全世界にそれぞれの言葉によって宣べ伝えられる（教義と聖約90：9 - 11参照。2ニーファイ31：3も参照）。
- 教会はその基金を、責任を持って管理しなければならない（教義と聖約90：22 - 27参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、128 - 129。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、228 - 231。

### 教え方の提案

教義と聖約90：1 - 5。大管長は神権の鍵を持ち、全教会に対する啓示を受ける。（20 - 25分）

預言者ジョセフ・スミスと現在の大管長の絵を見せる（『福音の視覚資料セット』、400、520など）。この二人が果たした役割を生徒が挙げる（大管長、預言者、神権者、父親、息子、夫など）。教義と聖約90：1 - 4を読む。主はジョセフ・スミスに何を授けられたかを見つける（神託とは啓示のことである）。以下の質問について話し合う。

- これらの節は、現在の預言者にどう当てはまるでしょうか。
- 5節を読んでください。主はここでわたしたちに何とっておられるでしょうか。
- この節に記されている主の勧告に、どう従うことができるでしょうか。
- 預言者を通して主の言葉を聞くことができるのは、いつでしょうか。



ジョセフ・F・スミス大管長が語った以下の言葉を黒板に書き写す。引用文の横に合い鍵の絵を描く。一人の生徒が引用文を読む。

「一般に神権は神に代わって行動するために人に与えられた権能です。神権のいかなる職であっても聖任された人は皆、この権能が与えられています。

しかし、この権能の下で執行されるすべての行動は適切なおきに、適切な場所で、正しく、秩序に従って実施されなければなりません。これらの動きを指示する力が神権の『鍵』です。ただ一人、その時代の預言者、教会の大管長がすべての鍵を持っています。大管長はこの権能の一部をほかの人に委任することができます。その場合、その人はそれに関する鍵を持つこととなります。」（『歴代大管長の教え - ジョセフ・F・スミス』、140）

以下の質問について話し合う。



- 教会に指示を与える人が一時に一人だけいることは、なぜ大切だと思いますか。
- 大管長がこの力の一部をほかの人に委任できることは、なぜ大切だと思いますか。
- あなたのワード、ステーク、支部、あるいは地方部の働きを指示する鍵は、だれに与えられているでしょうか。

生徒用学習ガイド（教義と聖約90章の導入部参照）から、「クリスタス（キリストの像）」の絵を見せる。この像はソルトレーク・シティーのテンプルスクウェアの訪問者センター北館に置かれていることを説明する。テンプルスクウェアにあるものは複製であり、原物はデンマークにあることも説明する。ボイド・K・パッカー長老が語った以下の経験を分かち合う。

「1976年、デンマークの首都コペンハーゲンでの大会の後、スベンサー・W・キンボール大管長はわたしたちを招いて小さな教会へ行き、パーテル・トルバルセン作のキリストと十二使徒の彫像を見ました。『クリスタス』と名付けられたこの作品は祭壇の向こうに立っていました。〔キリストの時代の〕十二〔使徒〕の像は、礼拝堂の側面に順番に並んでいますが、イスカリオテのユダに代わってパウロが立っています。

キンボール大管長は年配の管理人に次のように語りました。『トルバルセンがデンマークでちょうどこの美しい彫像を制作していたときに、イエス・キリストの福音がアメリカで回復されました。そして、キリストの時代に権威を持っていた人々が、その権威を今日の使徒と預言者に授けたのです。』（「信仰の盾」『聖徒の道』1995年7月号、7参照）

さらに、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老はこのように語った。

「〔キンボール大管長は〕ペテロの像の方を向いて、ペテロが右手に持っている大きな鍵の束を指して、こう言いました。『教会の大管長であるペテロが持っていた神権の権能の鍵は、今、この神権時代の長であるわたしが持っています。』（「予言者の生涯に学ぶ」『聖徒の道』1982年4月号、33参照）

七十人定員会のレックス・D・ピネガー長老はこのように述べた。

「大管長は、自分のまわりに〔N・エルドン・〕タナー副管長、〔トーマス・S・〕モンソン長老、〔ボイド・K・〕パッカー長老を呼び寄せると、さらに話を続けました。『わたしたちは、主イエス・キリストの生ける使徒です。十二使徒がいますし、大管長会にはほかに三人がいます。わたしたちは、ペテロ同様、本当の鍵を持っています。そしてわたしたちは毎日その鍵を使っています。常に使っています。』（「生ける予言者」『聖徒の道』1977年2月号、101参照）

パッカー長老は続けてこう述べた。

「そのとき、末日聖徒には理解できるあの証がわたしに与えられました。経験していない人に説明するのは困難なことです。一つの光、人の魂そのものに注がれる力がわたしに与えられました。そして、確かに、目の前に、王国の鍵を持った生きた預言者が立っているというのを理解しました。」（「信仰の盾」『聖徒の道』1995年7月号、8参照）

生ける預言者（王国の鍵を持ち、イエス・キリストから啓示を受けている人物）に導かれていることについて、あなたがどう感じているかを話す。

**教義と聖約90：6 - 18。大管長はその多くの責任を大管長会の会員と分かち合う。（10 - 15分）**

モーセの絵と現在の大管長の絵を見せる（『福音の視覚資料セット』、123、520など）。出エジプト18：13 - 18を読む。以下の質問をする。

- モーセの義理の父親は、預言者は「必ず疲れ果てる」であろうと言いました。なぜでしょうか（18節）。
- 今日の預言者は、どんな点でモーセと同じようなチャレンジを受けているでしょうか。

教義と聖約90：6 - 18を読む。そして、以下の質問について話し合う。

- 大管長は責任の多くをだれと分かち合っているでしょうか。
- これらの節には大管長会の義務が挙げられています。どんな義務があるでしょうか。
- 教義と聖約112：20を読んでください。大管長会の勧告に従うことによって、主の言葉に対する愛を表すことができます。なぜでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を分かち合う。

「自分が主をどれくらい支持しているか知りたければ、次のように自問してみましょう。この世における主の指導者を、どれくらい支持しているだろうか。主が油注がれた生ける預言者、教会の大管長の言葉や、大管長の定員会の言葉とどの程度調和した生活をしているだろうか。」（「予言者に従う14の原則」『聖徒の道』1981年6月号、8参照）

## 教義と聖約91章

### はじめに

聖書外典は聖文の特徴を幾つか持つ書物である。しかし、聖典ではない。聖書外典とは、特に七十人訳聖書（旧約聖書の古代ギリシャ語訳）に含まれている書の幾つかを指している。しかしそれらは、ヘブライ語訳には存在しない。現代語訳聖書の中には、聖書外典を採り入れているものもあるが、ほかの聖書は、聖書外典を含んでいない。1833年3月、預言者ジョセフ・スミスは、聖

書の靈感訳作業に携わっていた。ジョセフ・スミスが使っていた聖書には聖書外典が含まれていた。預言者はこれらの書を翻訳すべきかどうかについて聞いたところ、主は91章で答えを与えられた。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖書外典には真実の教えが多く含まれているが、真実でないことも多く載せられている。御霊によって読む者だけが、聖書外典から益を得る（教義と聖約91章参照。モロナイ10：5；教義と聖約11：13 - 14も参照）。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 231 - 232。

## 教え方の提案

教義と聖約91章。聖書外典には真実の教えが多く含まれているが、真実でないことも多く載せられている。御霊によって読む者だけが、聖書外典から益を得る。（10 - 15分）

レッスンの数日前に、一人の生徒に聖書外典について2分で報告する準備をするよう頼んでおく。『聖句ガイド』を参照するように言う。また、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』231 - 232ページのコピーを渡す。報告には以下の事項が含まれるようにする。

- 聖書外典とは何か。
- 聖書外典にはどんなものが含まれているか。
- ジョセフ・スミスは聖書外典について何を主に聞いたのか。そして、なぜ聞いたのか。

割り当てを与えておいた生徒が報告をする。

教義と聖約91：1 - 3を生徒が読む。そして、聖書外典を翻訳することについて主が言われたことを見つける。4 - 6節を読む。以下の質問について話し合う。

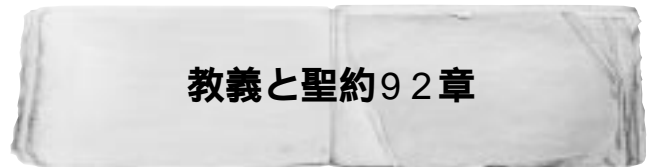
- 信仰箇条第8条では、聖書について何とされているでしょうか。（翻訳上の誤りがある）
- 教義と聖約91：4 - 6のどの語句が、すべての聖文に当てはまるでしょうか。なぜですか。
- 聖文を研究する際に御霊を得ていると、どんな助けが得られるでしょうか。
- モロナイ10：5；教義と聖約11：12 - 14を読んでください。御霊を得ていると、宗教に関係のない事柄について研究しているときに、どんな助けが得られるでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスの以下の見解を分かち合う。

「わたしは永遠の命の原則を味わうことができます。あなたがたもそれを味わうことができます。この永遠の命の原則は、イエス・キリストの啓示によってわたしに与えられています。わたしがわたしに与えられるままに永遠の命の言葉を語るとき、あなたがたはそれを味わうことができるとわたしは知っています。また、あなたがたがその言葉を正しいと感じることを、わたしは知っています。あなた

がたにとって蜜が甘いように、わたしにとっても蜜は甘いのです。わたしは永遠の命の霊を味わうことができます。わたしはそれが良いものであることを知っています。ですから、わたしが聖なる御霊の靈感によって与えられたこれらの言葉を語るとき、あなたがたはそれを甘いものとして受け入れるはずですし、ますます喜ぶはずなのです。」  
（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 355）

御霊が真理を探究するわたしたちを助けることについて証する。



## はじめに

主は1832年に、何人かの教会指導者に対して「共同制度」を組織するよう命じられた。共同制度では奉獻の律法が実行されていた。この制度の目的は、その組織に所属する人およびその家族の物質的必要を満たすこと、教会のために資金を調達すること、貧しい者の世話をすることであった（教義と聖約78：3；82：11 - 12参照）。1833年3月、フレデリック・G・ウィリアムズが大管長会の副管長に召されて間もなく、主は共同制度に属している者たちに、ウィリアムズをグループに加えるよう命じられた（教義と聖約81章の前書き；90：6；92：1参照）。

主はフレデリック・G・ウィリアムズに制度の「活発な一員」になるようにと語り、また「これまでに与えられたすべての戒めを忠実に守る」ならば、ウィリアムズが「とこしえに祝福される」ことを約束された（教義と聖約92：2）。今日、わたしたちは支部やワードの「活発な一員」にならなければならない。活発な一員とは積極的に行動し、揺らぐことのない人をいう。わたしたちは忠実で、従順であるならば、フレデリック・G・ウィリアムズのように「とこしえに祝福される」であろう。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の勤めに従って王国の忠実な一員となる人たちは、とこしえに祝福される（教義と聖約92章参照）。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 232。

## 教え方の提案

教義と聖約92章。主の勤めに従って王国の忠実な一員となる者たちは、とこしえに祝福される。（10 - 15分）

教義と聖約92章の「はじめに」から、最初の段落に記されている情報を紹介する。92章を生徒が読む。以下の質問をする。

- 主はフレデリック・G・ウィリアムズにどんな勧告を与えられたでしょうか。

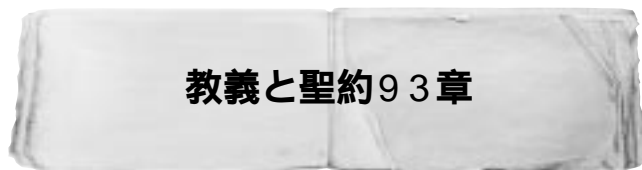
- 「活発な一員」になるとはどんな意味だと思いますか。
- 「これまでに与えられたすべての戒めを忠実に守る」ことと、活発な会員がそうでないかということには、どんな関係があるのでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長が十二使徒定員会会長代理を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

「全体的に見れば、これが真実の命ある教会であることは分かる。しかし、わたし自身は真実の生ける教会員だろうか……

自分は生ける教会員だろうかと自問して、そうであるとはっきり答えるなら、その人の決意は強まります。生ける教会員であるとは、今もこれから先も、常に神を愛し隣人を自分自身のように愛するという事です。自分が何者であり、何を信じているかを行いを示すという意味です。毎日クリスチャンであるという意味です。つまり、毎日、キリストが望んでおられる生活をするということです。」(『生ける』教会員』『聖徒の道』1987年7月号、18参照)

ハンター大管長が語った原則を自分自身にどう当てはめることができるかについて話し合う。話し合いの中で、生徒用学習ガイドの92章の活動Aを行ってもよい。



## はじめに

ヨハネ17章に記されている偉大な執り成しの祈りの中で、主は弟子たちのためにこのように言われた。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたがわされたイエス・キリストとを知ることであります。」(3節) 救い主は教義と聖約93章の中で、御自身と天の御父の特質について多くの真理を明らかにされた。それから、主はこのように説明しておられる。「わたしはこれらの言葉をあなたがたに与える。それは、あなたがたが礼拝する方法を理解して知り、また自分が礼拝するものを知る……ためである。」(教義と聖約93：19)

ブルース・R・マッコンキー長老はこのように説明した。「完全な礼拝とは、熱心に見習うことである。わたしたちは尊敬する人を見習う。最も完全な礼拝の方法はエホバが聖なる御方であられるように聖くなることである。キリストのように純粋になることである。御父のような人物になるために必要な事柄を実行することである。そのために歩むべき道は、従順という道である。」(The Promised Messiah, 568)

## 学び取るべき重要な福音の原則


- 罪を捨て、キリストのもとへ来て、主の名を呼び、主の声に従い、主の戒めを守る人は、主の顔を見て、主がおられることを知る(教義と聖約93：1参照。教義と聖約67：10；88：68；101：38も参照)。


- イエスは恵みに恵みを受け続け、ついに御父の完全を受けられた。イエスの模範に従い、御父を礼拝し、戒めを守る人たちは、同じように御父の完全を受ける(教義と聖約93：11-20、26-28参照。教義と聖約84：35-38も参照)。
- 英知、すなわち真理の光は永遠である。真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である(教義と聖約93：24、29、31-36参照)。
- 戒めを守ることによって、光と真理を受け、サタンの影響から守られる。不従順な人は、光と真理を失う(教義と聖約93：24-39参照)。
- 神は両親に祈るよう命じておられる。また、子供たちを光と真理の中で育てるよう命じておられる(教義と聖約93：40-50参照。教義と聖約68：25-28も参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、233 - 239。

## 教え方の提案

 教義と聖約93章を教える際に『教義と聖約および教会歴史』ビデオプレゼンテーション』14「光と真理、第2部」(7：45)を使用することができる(教え方の提案については『教義と聖約および教会歴史』メディアガイド』を参照)。

 教義と聖約93：1。罪を捨て、キリストのもとへ来て、主の名を呼び、主の声に従い、主の戒めを守る人は、主の顔を見て、主がおられることを知る。(20-25分)

生徒は神とお会いする機会が与えられたと想像する。それはどんな経験となるかを考えるよう勧める。以下の質問について話し合う。

- すべての人が神の前にいることを心地よいと感じるでしょうか。心地よいと感じる人は、なぜそう感じるのでしょうか。心地よいと感じない人は、なぜそうなのでしょう(アルマ12：14参照)。
- 神の顔を見るには、どんな条件を満たさなければならないと思いますか。

黒板に以下の引用を書き写す。罪を捨てる以外の語句はすべて空白にする。生徒は教義と聖約93：1を読んで、空所を埋める。

罪を捨てる + キリストのもとへ来る + キリストの名を呼ぶ + キリストの声に従う  
+ キリストの戒めを守る = キリストの顔を見る + キリストがおられることを知る

教義と聖約67：10；88：68を読む。次のように質問する。「これらの節は教義と聖約93：1に記されている条件を理解するうえで、どんな助けとなるのでしょうか。」オーソン・F・ホイットニー監督(後に十二使徒定員会の一員となった)が語った以下の話を読む。これは彼が若い宣教師時代に見た夢についての話である。

「わたしはゲッセマネの園にいる夢を見ました。救い主と3人の使徒たちがわたしの右手にある小さな門を通して園へ入って行かれるのを見ました。救い主は3人を一塊にして残すと、絶えず祈るようにと言われました。そしてわたしの前を通り過ぎ、左手の方に行って、祈り始められました。主は祈っている間、涙で顔をぬらされました。主の心は苦しみで完全に引き裂かれるかのように思えました。そのような様子で、杯を過ぎ去らせてくださるよう御父に願っておられました。……

……主の悲しみは、わたしに大きな衝撃を与えました。そのことを決して忘れはしないでしよう。主の苦しみに心から同情し、わたしは涙を流しました。心は主への同情心で満たされました。主のために命を投げ出し、主が求められることは何でもしようと思いました。やがて、わたしの夢の場面が変わりました。……主が十字架に架けられる前ではなく、架けられた後の場面が変わったのです。贖い主は……地上を離れて、天に昇って行かれるところでした。……わたしは主の足もとに伏して、主のひざの辺りをつかむと、一緒に連れて行ってくださいと……必死に願い求めました。主はひざをかがめて、それ以上は考えられないほどの優しさと柔和さを持って、また天のほほえみをたたえて、わたしを抱きしめてくださいました。……そして、わたしの望みがかなえられないことを悲しんでいるように首を振ると、こう言われました。『いいえ、わたしの息子よ。あなたの業はまだ終わっていないのです。』……わたしは主にしがみついて言いました。『では、わたしが務めを終えたら、この生涯を終えたら、あなたのもとへ行くことを約束してください。』主は再び悲しそうに、また、優しくほほえむと、こう言われました。『それはまったくあなた次第です。』」（「Y.M.M.I.A. Annual Conference, "Contributor, 1895年9月, 667 - 668）

救い主にまみえることが、なぜそれほどすばらしい経験なのか、考えを分かち合うよう生徒に勧める。ブルース・R・マッコンキー長老が語った以下の言葉を読む。

「わたしたちには、心を清くして生活すれば、罪と悲しみに満ちたこの世にいる間にも、神の御顔を拝することのできる力がある。それはまたわたしたちの特権である。

これは、死すべきこの世で得ることのできる最高の祝福である。人を偏り見ることのない神から、神の王国にいるあらゆる忠実な人々に与えられる祝福なのである。」「（「神権につける10の祝福」『聖徒の道』1978年2月号, 52）

この約束の成就を経験した人々の名を聖典の中から見つける。『聖句ガイド』の中から探すとよい（「前世におけるキリスト」、「死後の現れ」、26 - 27, 29 - 30ページ参照）。

信仰篤い末日聖徒のほとんどは、死すべき世にいる間に主を見ることはない。しかし、ふさわしい生活を送るならば、日の栄えの王国を受け継ぎ、そこで主の顔を見るという約束が成就すると説明する（教義と聖約76：62参照）。スペンサー・W・キンボール大管長はこのように語った。

「わたしが学んだことは、祈りの心があり、義に飢え渴き、罪を捨て、神の戒めに従順である人には、主はますます豊かに光を注がれ、ついには天の幕を貫いて人間の理解できないことを知る力を授けてくださるということです。そして、このような高潔な人には、いつの日か主の顔を拝し、主の存在を知るといって、金銭では買うことのできない約束が与えられているのです。（教義と聖約93：1参照）」（「主に忠誠を尽くしなさい」『聖徒の道』1980年11月号, 3参照）

教義と聖約93：1の約束について感じていることを紙に書くよう生徒に勧める。（生徒は自分の気持ちを書く前に、教義と聖約101：38を読んでよい。）

**教義と聖約93：1 - 20, 26 - 28。イエスは恵みに恵みを受け続け、ついに御父の完全を受けられた。イエスの模範に従い、御父を礼拝し、戒めを守る人たちは、同じように御父の完全を受ける。（20 - 25分）**

黒板に以下の二つの文を書く。ともに見習うという語を空白にしておく。

「イエスを敬っていることを示す最善の証は、イエスを熱心に見習うことです。」（ラッセル・M・ネルソン, "Gratitude for the Mission and Ministry of Jesus Christ," *Brigham Young University 1997 - 98 Speeches* [1998年], 349）

「完全な礼拝とは、熱心に見習うことである。」（ブルース・R・マッコンキー, *The Promised Messiah*, 568）

以下の質問について話し合う。

- 子供のころ、あなたには、大きくなったらこんな人になりたいと思うような人がいましたか。
- あなたはその人のどんなところを見習いたいと思いましたか。
- もしあなたが親であって、子供たちがあなたのしていることを見て、まねしている様子を目にしたら、どう感じるでしょうか。
- 子供たちがあなたのまねをしているとしたら、あなたに対する子供たちの気持ちについて、何が分かりますか。

ラッセル・M・ネルソン長老とブルース・R・マッコンキー長老の言葉を示す。空白にどんな語を入れたら、二つがともに正しい文章になるか考えるよう生徒に勧める。生徒の答えについて話し合う。もしだれも正しい語を言わなければ、空所に「見習う」と書き入れる。次のように質問する。「だれかを見習うとはどんな意味でしょうか。」（その人と同じような人になるように努力すること。）黒板に定義を書き出す。

次のように質問する。「救い主を見習って礼拝するためには、何を知る必要があるでしょうか。」（救い主がどんな御方であるか。）ヨハネ17：3を生徒が読む。この聖句が御父と御子を見習い、礼拝することと、どう関係しているかを生徒が説明する。教義と聖約93：19を読む。次のように質問する。「『これらの言葉』とは何を指していますか。」（1 - 18節の教え。）黒板に見出しとして「あなたが礼拝する御方の特質」と書く。クラス全体で1 - 11, 17節を読む。主はどのような御方かを見つける。生徒の見つけた事柄について話し合い、黒板の見出しの下に書き出す。

19節をもう一度読む。それから、次のように質問する。「『礼拝する方法』とは何を指しているのでしょうか。」見習うことに関する先の二つの文を参照する。12 - 16節を読む。それから、以下の質問について話し合う。

- イエス・キリストはどのようにして御父の完全な栄光を受けられたのでしょうか。
- 「最初から完全は受けず」という言葉が3度繰り返されているのはなぜだと思いますか。
- 20節を読んでください。これらの節をどんなふうに自分に当てはめれば、キリストを見習うことができるのでしょうか。
- 天の御父が、「恵みに恵み」を受けて成長するよう助けてくださるとは、どんな意味だと思いますか。

以下の例の一つ、またはすべてを使って、あるいはあなた自身の経験を基に、成長するには時間がかかることを説明する。

- 生徒の1 - 2年前の写真を見せる。そして、次のように質問する。「人の姿形はどれほど早く変わりますか。」
- 鉢植えの植木を見せる。そして、次のように質問する。「植木が成長する瞬間を見るのが難しいのはなぜでしょうか。」
- 絵画の得意な生徒に、長い時間をかけて完成させた絵を見せてもらう。その絵を完成させるまでに、どのくらいの時間がかかったかを聞く。

次のように質問する。「これらの例と、わたしたちが救い主のようになるために努力することとは、どこが似ていますか。」ニール・A・マックスウェル長老の以下の説明を分かち合う。

「イエス御自身は『最初から完全は』受けられませんでした。『恵みに恵みを受け続け、ついに完全を受けられた』〔教義と聖約93：13〕のです。イエスの遂げた進歩は、わたしたちの進歩と比較にならないほど早いものでした。しかし歩む道は同じです。つまり、『恵みに恵み』を受け続ける道なのです。『見よ、主なる神はこう言われる。「わたしはここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて、それを人の子らに与えよう。わたしの訓戒を聴き、わたしの勧めに耳を貸す者は、知恵を得るので幸いである。』」〔2ニーファイ28：30〕」(Even As I Am [1982年], 15)

次のように質問する。「イエスが御父の完全を受けられたとは、どんな意味だと思いますか。」ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに記した以下の言葉を読む。

「キリストがわたしたちの父であるのは御父が主に完全を与えられたからでもあるのです。すなわち主は御父の完全な栄光を受けられたのです。これは教義と聖約93：1 - 5、16 - 17で教えられています。……

御父はその名を与えることによってキリストに栄誉を与え、キリストが御父であるかのようにその名によって業を遂行できるようにされています。このため、権能と権威に関する限り、主の言葉と行為は御父の言葉と行為となるのです。」(『救いの教義』第1巻, 30参照)

救い主はまた、完全な真理と力と喜びを受けられたこと、また、わたしたちも同じものを受けられることを生徒に教える(2ニーファイ2：25；教義と聖約121：28 - 29参照)。以下の質問について話し合う。

- これからの24時間、さらに救い主を見習って過ごすためには、どうすればよいでしょうか。
- 3ニーファイ12：48を読んでください。この節は教義と聖約93章で学んだ事柄とどんな関係があるのでしょうか。

「さらに聖くなお努めん」(『賛美歌』, 74番)を歌う。または歌詞を読む。

**教義と聖約93：24 - 39。戒めを守ることによって、光と真理を受け、サタンの影響から守られる。不従順な人は、光と真理を失う。(30 - 35分)**

以下の表をオーバーヘッドプロジェクター用資料として準備するか、配布資料として生徒に配る。一人の生徒が最初の段落を読む。真理江が自分のことをどう感じていたかについて生徒の意見を聞く。別の生徒が次の段落を読む。段落ごとに、話し合う時間をとって、真理江がなぜ次第に不幸になっていったかについて、生徒の意見を聞く。

真理江は毎日朝晩、個人の祈りをしています。彼女は年配者を助け、聖約を守り、毎日聖文を調べることに喜びを感じています。家族の聖文の勉強の時間になると、積極的に家族を集めています。毎週、霊的な準備をしてから聖餐を受けています。

その後：

真理江は教会の集会にはほとんど出席して、普通は話や教えに耳を傾けています。教会の奉仕活動には友だちが行けば、自分も行きます。彼女は大体幸せです。しばしば祈り、聖文を研究しますが、毎日ではありません。

その後：

真理江はしばしば家事を手伝います。都合がつくときだけ家族と一緒に聖文を読みます。疲れていないときや急いでいないときは祈ります。教会や若い女性の活動には普通は出席しません。時々知恵の言葉を破っています。彼女はどのようにして毎日が楽しくないのだろうかと思っています。

その後：

真理江はいつも家族と口げんかをしています。祈らないし、聖文を読まないし、教会の集会へも行きません。学校のテストで不正行為をしています。監督から会いたいと言われて会っても、真理江は口を開きません。しばしば知恵の言葉を破るようになっていきます。楽しいと思うことがほとんどありません。

その後：

真理江は学校を中退しました。アルコール、たばこ、薬物の中毒になっています。神を信じていないと言います。家族を避けるようになっていきます。同じような生活をしている友だちと一緒に住んでいます。真理江はいつも惨めな思いをし、むなしさを感じています。

以下の質問をする。

- 真理江が生活の中で感じる喜びは、どう変化したでしょうか。
- アルマ41：10を読んでください。この節で述べられている原則によれば、この変化の原因は何だったのでしょうか。

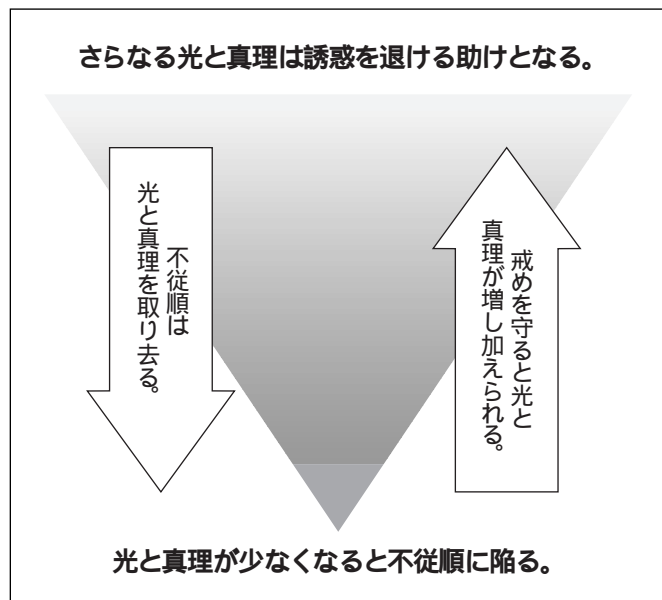
マタイ6：23；教義と聖約1：33；50：24を読む。それから、以下の質問について話し合う。

- わたしたちは主の戒めを守るときに何を<sup>みたま</sup>得るのでしょうか。
- どのようにして光を失うのでしょうか。
- 教義と聖約93：26 - 28を読んでください。これらの節によれば、従順はほかに何を<sup>みたま</sup>もたらすでしょうか。

24節を読む。真理の簡潔な定義にしるしをつける（「真理とは……知識である」）。この節とモルモン書ヤコブ4：13；教義と聖約84：44 - 45を相互参照する。真理を得る方法について話し合う。教義と聖約93：30 - 32を読む。以下の質問をする。

- 人は真理と光を拒むと、どうなるでしょうか（アルマ12：11参照）。
- 36 - 37, 39節を読んでください。光と真理は、霊的な幸福にどう影響するのでしょうか。

下の図を黒板に書き写す。主に従うと、さらに光と真理を受け、光と真理はサタンの誘惑を退ける助けとなることを説明する。従順でないと、サタンが光と真理を取り去り、わたしたちはもっと誘惑に陥りやすくなる。



偽りの教えを信じたり、広めたりするときにも、光と真理を失うことを生徒に教える。ハロルド・B・リー大管長は次のように語った。

「教会員の中に、いとも簡単に欺かれる人々がいて、人騒がせな話や夢や示現のうわさをまき散らしているということには、びっくりします。そのような話、夢、示現の幾つかは、過去の、あるいは現在の教会の指導者に与えられたとするものです。だれかの個人的な日記にそう書いてあったとされているのです。しかし、それ相応の教会の権威筋に確かめもしないで、そのようなうわさを広めている

とは、仰天します。

もしわたしたち教会員が、策略と偽りのうわさに満ちた混乱した現代にあって、安全に導かれたいと願うのなら、指導者に従い主の御霊の導きを求めることによって、ごまかす者たちのえじきにならないようにしなければなりません。そのような者たちは、巧妙にこじつけて注目を集め、自分の意見や、時には邪悪な目的に従う人々を味方に引き入れようとしているのです。」（「神権者に与える勧告」『聖徒の道』1973年9月号、415参照）

この教え方の提案の最初に書かれている例に戻る。時の経過を逆に読んでいった場合、光と真理について何を表す物語になるかを質問する。真理江は光と真理と喜びのある生活を送るためにはどうすべきだったのかを見つけるよう生徒に勧める。わたしたちが従う一つ一つの戒めがさらに光と真理をもたらし、大きな喜びを与え、サタンの誘惑を退ける力を与えることを生徒が理解できるようにする。

**教義と聖約93：40 - 50。神は両親に祈るよう命じておられる。また、子供たちを光と真理の中で育てよう命じておられる。**（10 - 15分）

以下のリストを黒板に書く。

- 市民の指導者
- プロのスポーツ選手
- 教会の指導者
- 学校の教師
- 親
- 企業の指導者

リストに挙げられている人々は生徒の人生でどのように大切な役割を果たすかについて話し合う。次のように質問する。「この中で子供を教える最大の責任を持っているのはだれでしょうか。」なぜ親が第一に挙げられるのかを聞く。

以下のリストを見せる。93章が与えられたときにそれぞれの人が果たしていた職が記されていることを説明する。

- フレデリック・G・ウィリアムズ、第二副管長
- シドニー・リグドン、第一副管長
- ジョセフ・スミス、大管長
- ニューエル・K・ホイットニー、カートランドにおける監督

40 - 50節を読む。主はなぜこれらの人を懲らしめられたのかを見つける。以下の質問をする。

- 主は全教会に与える啓示の中で、なぜこれらの人たちを懲らしめられたと思いますか（親以上に大切な召しはない。49節参照）。
- あなたの家族が毎日祈り、聖文を研究し、戒めを守れるよう助けるために、何ができるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長、トーマス・S・モンソン副管長、ジェームズ・E・ファウスト副管長による以下の声明を配布資料として生徒に配る。全員で一部を読む。

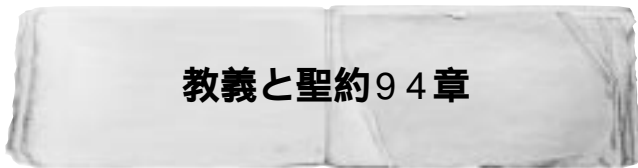
「わたしたちは、自らの選びにより主の道と教会のプログラムに添った生き方をしている教会の若人を心からたたえたいと思います。青少年の間に信仰が増し加わっていることを知るにつけ、とても喜んでいきます。

しかし、残念なことにサタンの仕掛けたわなに陥り、教会に活発でなくなったり、トラブルに巻き込まれたりしている人々がいます。わたしたちはそのような若人のことを非常に憂慮しています。

親である皆さんに、子供たちを福音の原則の中で教育することに全力を尽くして下さるようお願いいたします。そのことによって子供たちは教会に活発であり続けるでしょう。家庭は義にかかった生活の基であり、ほかのどのような手段も、家庭に代わる役割を果たし得ませんし、神から与えられたこの責任を遂行するうえで大切な役割を果たしてはくれません。

わたしたちは親の皆さんと子供たちに、家族の祈り、家庭の夕べ、福音の研究と指導、そして健全な家族活動を最優先するようお勧めします。必要とされるその他の事柄や活動がどれほど価値のある適切なものであったとしても、それらは、親と家族だけが全うできる天与の義務に取って代えられるものでは決してありません。」(大管長会からの手紙、1999年2月11日付)

生徒は家族一人一人が光と真理を得るために必要なことを行えるよう助けることができる。実際に家族を助けるよう生徒を励ます。



## はじめに

94章には、主が教会員にカートランドに建設するよう求められた3つの家について記されている。すなわち、神殿、大管長会が集会を開き啓示を受けるための家、そして印刷所である。これらの建物は主に奉献されることになっていた(教義と聖約94:6-7, 10, 12; 95:16参照)。今日、主は引き続いて、主の業を成し遂げるために建物を建て、奉献するよう預言者に命じておられる。

ダリン・H・オークス長老は次のように教えた。

「神殿と礼拝の家も神権の祝福によって主に奉献されます。主の業のために使用される場合は、このほかの建物も奉献されます。『教会員は、聖霊がとどまることができる神聖な建物として、自分の家庭を奉献することができます。』(『教会指導総合手引き』[1986年版], 11-15) 宣教師や神権指導者は、自分を受け入れてくれた家庭に、祝福を残すことができます(教義と聖約75:19; アルマ10:7-11参照)。青少年の皆さん、皆さんもあとしばらくすれば、そのような祝福を施すように依頼されるでしょう。霊的な備えをして下さるようお願いいたします。」(『神権の祝福』『聖徒の道』1987年7月号, 41参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 教会員は主が啓示された方式に従って、神殿やその他の建物を建てるよう命じられている(教義と聖約94章参照。出エジプト25:8-9; 教義と聖約88:119-120; 95:11-17も参照)。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 239 - 240。

## 教え方の提案

**教義と聖約94:1-12。教会員は主が啓示された方式に従って、神殿やその他の建物を建てるよう命じられている。(15-20分)**

生徒に次のように言う。「ある国を訪れたところ、あらゆる都市と町の中心部にスポーツ施設が建てられていることに気づいたとします。」

- この国の人々は何を大切にしていると思いますか。
- あなたがある地域を設計するとしたら、中心部に何を建設しますか。なぜそうしますか。

教会の建物の絵を見せる(例えば、『福音の視覚資料セット』, 500, 502-503)。1996年に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、教会は1年間に約375の礼拝堂を建設していると語ったと生徒に教える(「それは、片すみで行われたのではない」『聖徒の道』1997年1月号, 59参照)。以下の質問をする。

- 教会はなぜ毎年それほど多くの建物を建てるのでしょうか。
- これらの建物はどのように主の業を前進させているのでしょうか。

教義と聖約94:1-12を読む。読みながら、以下の質問について話し合う。

- 主はカートランドの中心部に何を建設するよう求められたのでしょうか(1節の「わたしの家」はカートランド神殿を指す。教義と聖約95:8参照)。
- カートランドの中心に神殿を建てるように主が求められたという事実は、教会と世界に何を伝えようとしているのでしょうか。
- 聖文または教会歴史の中で、主が神殿を中心に置かれた例として、ほかにどんな時代があるでしょうか。(モーセの幕屋はイスラエルの宿営地の中心に置かれた〔民数2:2, 17参照〕。ソルトレーク・シティはソルトレーク神殿を中心に築かれた。)
- なぜ神殿がわたしたちの生活の中心とならなければならないのでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長の以下の言葉を分かち合う。

「皆さんが主の神殿を教会員であることの崇高な象徴とするようにお勧めします。」(「尊く、大いなる約束」『聖徒の道』1995年1月号, 9)

「神殿の諸儀式は非常に重要なものであり、儀式がなければ神のみもとに戻ることはできません。」(「神の御心に従う」『聖徒の道』1995年1月号, 97)

生徒の生活の中心には何が置かれているかを考えるように勧める。生徒の生活を外部から見る人は、生活の中心に何かがあると思うかについて考える。次のように質問する。「ほかの人の生活の中心に何が置かれているか、人はどうやって判断するでしょうか。」

教義と聖約94：3, 10を生徒が読む。以下の質問をする。

- 主は教会員に対して、ほかに二つの建物を建てるよう命じられました。それはどんな建物だったのでしょうか。
- これら3つの建物は、主にとって何が大切かを示しています。それは何でしょうか。(神殿の儀式、神権の権能、聖文)
- 神権の権能と聖文は、なぜ教会が進歩するためにきわめて大切なのでしょうか。
- これらがあなた自身にとって大切なものは、なぜですか。

## 教義と聖約95章

### はじめに

1832年12月27日、主は教会に対して、カートランドに神殿を建てるよう命じられた(教義と聖約88：119参照)。1833年6月の時点で、聖徒たちはまだこの命令に従っていなかった。スペンサー・W・キンボール大管長はこのように語った。

「『はい、その戒めに従います。……ただ、今は時間もお金もないのでもう少し後で』と、どれだけ頻りに言うことでしょうか。ああ、何と愚かな人々よ。引き延ばしているうちに、刈り入れは終わり、救いを受けられなくなるでしょう。……今こそ神の御心にすぐさま従うときなのです。」(「アブラハムの模範」『聖徒の道』1975年12月号, 531参照)

教義と聖約95章は、この原則を思い出せるように与えられた。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 神は愛する者たちを懲らしめられる。神から懲らしめられることによって、わたしたちはさらに悔い改めて神の祝福を求めるようになる(教義と聖約95：1-2, 10参照。ヘブル12：5-6；ヒラマン15：3；教義と聖約97：6-7も参照)。
- 主は神殿で僕たちを祝福し、主の業を行うために備え、力を授けてくださる(教義と聖約95：3-8参照。教義と聖約39：15；110：9-10も参照)。
- 戒めを守る人は神の愛を受ける。一方、不従順な人は暗闇の中を歩いても、そのままにされる(教義と聖約95：6, 11-12参照。詩篇119：105も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 161 - 163。

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 240 - 243。

### 教え方の提案

教義と聖約95：1-11。神は愛する者たちを懲らしめられる。神から懲らしめられることによって、わたしたちはさらに悔い改めて神の祝福を求めるようになる。(20-25分)

生徒に次のように言う。「あなたは結婚して、家の前の道路はいつも車が行き来しているとします。ある日、4歳の息子が道路の真ん中で遊んでいるのに気づきました。」

- あなたはどうしますか。
- あなたにしかかれたら、息子はどう反応すると思いますか。
- 子供をしかることは、その子を愛していることをどう表しているでしょうか。

教義と聖約95：1-2を読む。主が愛する者たちに何を行われるかを見つける。以下の質問をする。

- 主の懲らしめを受ける人たちは、どんな祝福を受けるでしょうか。
- 3-11節を読んでください。主はなぜカートランドの聖徒たちを懲らしめられたのでしょうか。

主は教義と聖約88：119で聖徒たちに神殿を建てるよう命じられたと生徒に教える。以下の質問をする。

- この命令から95章の主の懲らしめまでに、どれほど時間が経過していたでしょうか(章の前書きから日付けを参照する)。
- 主は神殿の目的について何と言われたでしょうか(8節参照)。
- 主は聖徒たちにどんな約束を与えておられたでしょうか(11節参照)。

ウィルフォード・ウッドラフ大管長の以下の言葉を紹介する。懲らしめを受ける人がどんな益を受けるのか、よく聞くように言う。「わたしたちが時折受けてきた懲らしめは、わたしたちのために与えられてきたものであり、知恵を得るためにはなくてはならないものである。」(The Discourses of Wilford Woodruff, G・ホーマー・ダラム選〔1946年〕, 263)

教義と聖約90：36；101：4-5を読む。懲らしめられる人がどんな益を受けるかについて話し合う。懲らしめを受けたときにどう反応するかが、永遠の進歩に影響することを説明する。アルマ62：41を読む。同じ懲らしめに対して、2種類の反応があったことを見つける。次のように質問する。「懲らしめの受け止め方に応じて、結果にどんな違いが生じたと思いますか。」懲らしめを受けたときに、自分はどう受け止めているか考えるよう生徒に勧める。

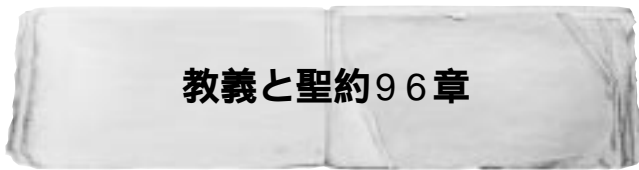
ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の話を紹介する。

「主は兄弟たちの怠惰を懲らしめられました。その4日後に、兄弟たちは資金が集まるのを待たずに、神殿の建設に着手しました。改宗したばかりだったジョージ・A・スミス長老が、最初に、神殿で使う石を運搬しました。ハイラム・スミスとレイノルズ・カフーンは、壁を築くための溝を掘り始めました。そして、溝が完成するまで自分たちの手で掘り続けました。」(Church History and Modern Revelation, 全2巻〔1953年〕, 第1巻, 407)



これらの兄弟たちは主の懲らしめにどう反応したかについて話し合う。

たとえ従順であっても、主はわたしたちのために時々苦しみを受けるままにしておかれることがある。そのことを説明するとよい。(ゲツセマネにおけるキリストの絵、またはこの原則を物語る初期の聖徒たちの苦難を描いた絵を使って示してもよい。) 反抗的にならなければ、苦難から恵みを受けることができると教える。95章の「はじめに」から、スペンサー・W・キンボール大管長の言葉を分かち合う。主の懲らしめを正しく受け止める方法を見つけるよう生徒に勧める。



## 教義と聖約96章

### はじめに

教会は1833年4月に、カートランドの近くでピーター・フレンチ農場を購入した。農場の扱い方を決めるため、6月に大祭りの大会が開かれた。預言者ジョセフ・スミスの記録によれば、「大会ではその土地の責任をだれが持つかについては意見が一致しませんでした。しかし、主に尋ねることについては全員が同意しました。」(History of the Church, 第1巻, 352) 主の答えは96章に記録されている。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主はこの世に関する事柄と霊に関する事柄の両方について、<sup>みこころ</sup>思いと御心を預言者に啓示される(教義と聖約96章参照)。
- 主は聖文が主の子らの手に届けられるようにすることを非常に重要視しておられる(教義と聖約96章参照。1ニーフアイ3:4; 4:10-16; モーサヤ1:5-7も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 243 - 244。

### 教え方の提案

**教義と聖約96章。主はこの世に関する事柄と霊に関する事柄の両方について、思いと御心を預言者に啓示される。(10 - 15分)**

96章の「はじめに」から、情報を分かち合う。以下の質問をする。

- その土地の責任をだれが持つかについて、主はどんなふうに決められたでしょうか(教義と聖約96:2参照)。
- 彼はどんな職にあったでしょうか(教義と聖約72:7-8参照)。
- どんな理由で彼は適切な人だったでしょうか。

監督はワードの物質的な事柄に関する責任を持ち、管理監督は教会全体の物質的な事柄に関する責任を持つことを説明する。現在の管理監督会を構成する人たちの名前を挙げるよう生徒に勧める(『リアホナ』の最新の大会特集号参照)。以下の質問をする。

- 主は96章の中で、必要という語を何回使っておられるでしょうか。

- ここで言う必要とはどういう意味でしょうか。(「適切な、または、時宜を得た」)
- 主はなぜホイットニー監督が農場を区割りする責任を持つことが「最も必要」であると言われたのでしょうか。  
一人の生徒が以下のスペンサー・W・キンボール大管長の言葉を読む。

「兄弟姉妹の皆さん、わたしたち大管長会と十二使徒は、末日における主の偉大な業について心に深く考え、祈り、教会の使命が次に挙げる3つの局面を持ったものであることを強く感じるに至りました。

- 主イエス・キリストの永遠の福音を、あらゆる国民、部族、国語の民、民族に宣言する。
- 福音の儀式を受ける備えをすることにより、また昇栄を得るに必要な指導と訓練を行うことにより、聖徒たちを完全な者とする。
- この世を去った人々<sup>あがな</sup>のための身代わりの儀式を行うことにより、死者を贖う。

この3つはすべて一つの偉大な業の一部となるものです。その業とはすなわち、『人の不死不滅と永遠の命をもたらす』(モーセ1:39)という、壮大な、栄光に満ちた目的を持ちたもう父なる神とイエス・キリストを補佐するということです。」「私の管理の職の報告」『聖徒の道』1981年9月号、4参照)

教義と聖約96:2-5を生徒が読む。ホイットニー監督の務めが、教会の3つの使命を果たすためにどのように役立ったかを探す。生徒が見つけた事柄について話し合う。以下の表を使うとよい。

2節	一つの区画は、カートランド神殿の用地となった。これは死者を贖う末日の業の幕開けとなった。
3節	幾つかの区画は、奉獻の律法の下で受け継ぎの地として会員たちに割り当てられた。これは聖徒たちを完成させることに関連する。
4-5節	土地の一部は主の言葉を世に出すために使われることになった。これは福音を宣べ伝えることにつながる。

以下の質問をする。

- 教会はどんな方法によって、主の言葉を世に出しているでしょうか(聖典やほかの書物の出版、大会の放送、宣教師の派遣、など)。
- 個々の会員は福音を宣べ伝える業をどのように助けることができるでしょうか(伝道に出る、お話の割り当てを引き受ける、<sup>あかし</sup>証を述べる)。

教会の出版物や話、ほかの人の証<sup>あかし</sup>によって信仰を強めた経験について生徒が話す。

福音を宣べ伝えるために、宣教師の年齢に達するまで待つ必要はないことを生徒に教える。お話の責任を果たすときや家庭の夕べのときに福音の原則について教えることができる。また、友だち<sup>あかし</sup>に証を分かち合うこともできる。これらを実行するよう励ます。

教義と聖約96章。主は聖文が主の子らの手に届けられるようにすることを非常に重要視しておられる。(15 - 20分)

一人の生徒が『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』(133 - 134ページ)から、メアリー・エリザベス・ロリンズの物語を、声を出して読む。聖文を手に入れたり、保存したりするために犠牲を払ったほかの人々の物語を思い出すことができるかどうかを生徒に聞く。(答えには、暴徒たちから金版を隠したジョセフ・スミス、ラバンから真鍮版を手に入れたリーハイの家族、レーマン人から版を隠して埋めたモロナイなどがある。)これらの物語から、聖文の大切さについてどう思うかを生徒に聞く。教義と聖約96章を生徒が読む。読む途中で、「わたしの言葉」と書いてある箇所すべてにしるしをつける。以下の質問をする。

- 「わたしの言葉」とは何を指しているでしょうか。(聖文)
- これらの節から、主が聖文について望んでおられることについて、何がわかりますか。
- 5節で主はどんな祝福を約束しておられるでしょうか。  
ハロルド・B・リー大管長が語った以下の言葉を読む。

「すべての悪に対抗するために、主がわたしたちに与えられた最も力強い武器は、主御自身の言葉であり、また、聖典の中に見いだされる救いに関する単純明快な教義です。そのことを忘れていくかのように思える人がいます。」  
(*The Teachings of Harold B. Lee*, クライド・J・ウィリアムズ編 [1996年], 450)

この「最も力強い武器」は、人々の手に渡らなければほとんど役に立たないことが理解できるよう生徒を助ける。教会の初期の時代にモルモン書と教義と聖約を出版することが高い優先順位を占めていた理由はここにある。主の言葉を全世界に携えていく必要性は今日もなお大きい。

以下の聖句を生徒が読む。そして、聖文を研究することから得られるほかの祝福を挙げる。これらの参照聖句から聖句チェーン(聖句のくさり)を作ってもよい。

参照聖句	聖文を研究することから得られる祝福
ヨシュア1:8	繁栄と成功
1ニーファイ15:24	誘惑に打ち勝つ力
モルモン書ヤコブ2:8	「傷ついた心」の癒し
モルモン書ヤコブ4:6	さらに大きな希望と信仰
アルマ26:13	「地獄の苦痛」からの解放

自分の優先順位の中で聖文をさらに高い位置に置いて生活するために何ができるかについて話し合う。主の言葉を人々と分かち合うために何ができるかについて話し合う。

## 教義と聖約97章

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスが97章を受けたとき、ミズーリの聖徒たちはすでに迫害を受けていた。そこに神殿を建てるのにふさわしい時期とは思われなかった。

「もし非常にへりくだって言わせてもらえるなら、神は御自身の民が悪魔と戦うに先立って、高い所から力を授けられるために神殿を建てることを切望しておられたのです。神殿の歴史を振り返ってみると、神の民の強さ(あるいは弱さ)は、聖なる場所に関心を向ける忠実さにかかっていたことがわかります。……ソルトレーク神殿が完成した後、悪魔が教会を傷つける力は、以前よりも弱くなっています。神殿が神の宮殿であり、神の臨在が現される場所であることを考えると、なぜ悪魔が〔ミズーリの〕教会に対して軍勢を集結させていたときに、主が速やかに神殿を建てるよう聖徒に命じられたのが理解できます。また悪魔はなぜ神殿が完成する前に聖徒たちを追い散らそうとしたかについても理解することができます。」(ハイラム・M・スミスとジェーン・M・ショダール, *The Doctrine and Covenants Commentary*, 改訂版 [1972年], 612)

十二使徒定員会の一員だったパーレー・P・プラット長老が証言したように、残念ながら「謙遜で忠実な者たちも多くいたが、ミズーリの指導者と教会は全体としてこの啓示に従わなかった。このためその後の5年間の歴史が示すように、非常に恐ろしい裁きが彼らに下ったのである。」(*Autobiography of Parley P. Pratt* [1985年], 77)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は柔和で謙遜な人たちに憐れみを示される(教義と聖約97:1-2, 8-9参照。マタイ5:5-7も参照)。
- 神殿は聖徒が神に近づき、シオンを建設するために必要な力と知識を受ける場所である。清い心を持って神殿に参入するときにだけ、神の臨在を感じるができる(教義と聖約97:10-20参照)。
- 戒めを守っているならば、義人は主の報復を免れる(教義と聖約97:18-28参照。教義と聖約45:64-71も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 244 - 247。

### 教え方の提案

教義と聖約97:10-17。神殿は聖徒が神に近づき、シオンを建設するために必要な力と知識を受ける場所である。清い心を持って神殿に参入するときにだけ、神の臨在を感じるができる。(25 - 30分)

全世界の神殿の中から、何枚かの絵を選んで見せる。この神権時代に、最初の神殿はどこに建てられたかを聞く(オハイオ州カ

ートランド)、『聖句ガイド』の史跡写真(28)から、カートランド神殿の写真を見る。1833年8月2日、主はもう一つの神殿をシオンに建てるよう聖徒たちに命じられたことを説明する。教義と聖約97:10を生徒が読む。以下の質問をする。

- もう一つの神殿はどこに建てられるはずだったでしょうか。(ミズーリ州インディペンデンス。)
- それはどんな形に倣って建てられるはずだったでしょうか。(主が啓示された型。)

一人の生徒が97章の「はじめに」を読む。ジョン・テラー大管長はローガン神殿の奉獻の際に、福千年の間に「数千の神殿」が建てられるであろうと預言したことを説明する。(The Gospel Kingdom, G・ホーマー・ダラム選〔1943年〕, 287)世界にある神殿の名を生徒が挙げる。十二使徒定員会会員を務めていたときにハワード・W・ハンター長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「神の家〔は〕……神を礼拝するために建てられた……。敬虔な心で臨む場所でした。そこは人の苦悩や苦勞をいやす、天への門ともなるべき場所であったのです。」(「御名があがめられますように」『聖徒の道』1978年2月号, 82)

後に、大管長として、ハンター大管長はこのように述べた。

「ほんとうの意味で、神殿に参入し神殿を愛する民となりましょう。わたしたちは個人的な事情が許さざり頻繁に、また分別を働かせて、速やかに神殿に行く必要があります。……神殿における礼拝、神殿で交わす聖約、神殿結婚など、神殿を地上における最終目標、またこの世における至高の経験の場としましょう。」(「神殿に心を向ける民」『聖徒の道』1995年5月号, 6)

「ほんとうに、神殿で行われる業に肩を並べるような業はありません。」(“We Have a Work to Do,” Ensign, 1995年3月号, 65)


クラスを3つのグループに分ける。生徒一人一人が神殿委員会の委員であるとする。最初のグループは、神殿のために祈る方法を定める。第2のグループは、神殿で経験することを定める。第3のグループは、神殿の参入をどんな人に許可するかを定める。各グループは教義と聖約97:10-17を読む。そして、これら3つのテーマについて主が教えておられる事柄を見つける。グループごとに代表者を選び、見つけた事柄を報告する。15-16節を読む。以下の質問をする。

- 神殿に入るにふさわしい人たちに、主は何を約束しておられるでしょうか。
- ふさわしくない人が神殿に入ると、ふさわしい人たちにどんな影響を与えるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が副管長を務めていたときに語った以下の言葉を紹介する。

「メルキゼデク神権を持つ人は皆、主の宮を神聖に保ち、いかなる汚れからも守る責任があります。その責任はおもに監督およびステーク会長の肩にかかっています。それはゆるがせにできない責任です。彼らは神殿に参入するにふさわしいかどうかを決める判士になります。また、わたしたち一人一人にも責任があります。第一に、自分自身のふさわしさについて、第二に、ほかの人が主の宮に行けるように助け、励ます場合には、その人のふさわしさについて、義務を負っているのです。」(「神殿を聖く保つ」『聖徒の道』1990年7月号, 57)

可能であれば、神権指導者を招いて、神殿に入るにふさわしくなるためにわたしたちは何をしなければならぬかについて話してもらおう。神殿に行けるように毎日ふさわしい生活をするよう生徒を励ます。あなたが生活の中で受けている神殿の祝福について証する。

 **教義と聖約97:18-26。戒めを守っているならば、義人は主の報復を免れる。(25-30分)**

黒板に、「地震」、「戦争」、「飢饉」、「伝染病」、「洪水」、「火災」、「疫病」、「病氣」、「死」、「大きな罪悪」、「偽預言者」と書く。ニール・A・マックスウェル長老が七十人定員会会員を務めていたときに語った以下の話を紹介する。

「思うに、現在わたしたちは教会員全員が幾つかの特別なチャレンジを経験する時代に入っています。その特別なチャレンジは、中央幹部に従わなければ対処できないものです。教会が実行すべき容易な事柄はすべて行われました。これからは、もっと難しくなります。そして、弟子であるかどうか、幾つかの興味ある方法で試されることになるでしょう。」(“The Old Testament: Relevancy within Antiquity,” 『旧約聖書シンポジウム』〔1979年〕, 12)

黒板の語に注目する。それらがマックスウェル長老の言葉とどんな関係があると思うか聞く。以下の質問をする。

- これらの語に共通しているのは、どんなことでしょうか。
- これらは世界歴史の中の特にどの時代のことを表していると思いますか。
- これらの問題が間近に迫っていることについて、どう感じていますか。
- あなたが最も恐ろしいと思うのはどれでしょうか。
- これらの問題を避けるために、何を進んで行い、何をささげるでしょうか。
- これらの問題に備える最良の方法は何でしょうか。

教義と聖約97:18-26を生徒が読む。主の報復を免れるためにできる事柄を見つける。

一人の生徒が『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』426-427ページから、ジョセフ・フィールディング・スミス長老とウィルフォード・ウッドラフ大管長の言葉を読む。別の生徒が21節のシオンの定義を読む。シオンの祝福を受けるには心の清い者とならなければならないことを指摘する。「選べ、正義を」

(『賛美歌』, 152番) を歌う。または歌詞を読む。次のように質問する。「この賛美歌(特に3節)は、これまで話し合ってきた原則とどんな関係があるでしょうか。」

## 教義と聖約98章

### はじめに

1833年8月、98章が啓示されたとき、聖徒たちはミズーリの暴徒からひどく不当な扱いを受けて苦しんでいた。「主の民は平和を作り出す民であり、平和のメッセージを宣べ伝えている。しかし、わたしたちが平和に暮らすには法律によって自由が保障されていなければならない。時には、自由が脅かされることもある。そうしたときに、自分たちの国家、家庭、家族、そして神から与えられた選択の自由という権利を守らなければならない。戦争時に自分たちを守ることが必要になったときのために、主はそのような行動に関する律法を与えておられる(教義と聖約98:32-38参照)。(リーン・G・オッテンとC・マックス・コールドウェル, *Sacred Truths of the Doctrine and Covenants*, 全2巻〔1983年〕, 第2巻, 168)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は苦難をわたしたちの益とすることがおできになる。わたしたちは苦難を忍耐強く堪え忍ぶことによって、忠実さを証明し、永遠の命を受けるにふさわしい者となる(教義と聖約98:1-3, 11-15, 21-22参照。ローマ8:28; 1ペテロ2:20; 教義と聖約122:7-9も参照)。
- 末日聖徒は自由を擁護する法律と、正直で善良な政府指導者を支持すべきである(教義と聖約98:4-10参照。教義と聖約58:21-23; 信仰箇条1:12も参照)。
- 聖徒は戦争を放棄して、平和を宣言すべきである。しかしながら、特定の状況においては戦争が正当化される(教義と聖約98:16-18, 33-48参照。伝道3:1-8; アルマ43:45-47; 46:12, 19-21も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 130-134。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 247-252。

### 教え方の提案

教義と聖約98:1-3, 11-15, 21-22。主は苦難をわたしたちの益とすることがおできになる。わたしたちは苦難を忍耐強く堪え忍ぶことによって、忠実さを証明し、永遠の命を受けるにふさわしい者となる。(15-20分)

教会歴史や自分自身の生活を振り返ってみて、試練が祝福に変わった例がないか、生徒が考える。教会歴史からは以下の例が挙げられるであろう。

- ニューイングランドで数年間の不作が続いた後、ジョセフ・スミス・シニアは農場を手放して、家族とともにニューヨークへ移住しなければならなかった。この移住によって、彼らは金版が埋められていたクモラの丘へ近づいた(『時満ちる時代の教会歴史』, 24-25参照)。
- 聖徒たちはニューヨーク、オハイオ、ミズーリ、イリノイでの迫害を逃れ、ソルトレーク盆地で苦難に耐えた。それから間もなく合衆国は歴史上最も多くの血を流した南北戦争に突入した。ブリガム・ヤングは次のように語った。「もし迫害を受けなかったとしたら、わたしたちは今、国家を焦土と化している戦争と流血に巻き込まれており、この静かで、遠く離れた山々と谷の中で、平和に暮らしてはいなかったことだろう。」(*Journal of Discourses*, 10:38-39)

98章が与えられたときに、聖徒たちに降りかかっていた事柄を一人の生徒が読む(『時満ちる時代の教会歴史』, 130-132参照)。次のように質問する。「もしあなたがこのような苦難を受けたとしたら、どう感じるでしょうか。」黒板に見出しとして「試練をどう受け止めるべきか」、「試練を堪え忍ぶことによって受ける祝福」と書く。教義と聖約98:1-3, 11-15, 21-22を生徒が読む。これらの聖句から試練についての教えを探し出す。そして、該当する見出しの下に書き出す。次のような事柄が挙がると思われる。

試練を どう受け止めるべきか	試練を堪え忍ぶこと によって受ける祝福
すべてのことについて神に感謝する(1節参照)。	神は祈りにこたえられる(2節参照)。
試練を忍耐する(2節参照)。	試練はあなたの益となる(3節参照)。
主のすべての戒めと勧告に従う(11, 22節参照)。	神は少しずつ知識をお与えになる(12節参照)。
敵を恐れぬ(14節参照)。	主の大義において命を捨てる人には永遠の命が約束される(13節参照)。
聖約を守るために進んで命を差し出す(14節参照)。	神は義人に怒りを向けられない。悪魔は彼らを支配する力を持たない(22節参照)。

次の質問について話し合う。「主はなぜ子らに試練が来るままにされるのでしょうか。」スペンサー・W・キンポール大管長は十二使徒定員会会長代理を務めていたときに、次のように語った。

「主はわたしたちが克服できるように試練を与えられ、わたしたちが達成できるように責任を課される。また、わたしたちの力を強めるために仕事を与えられ、精神を試すために悲しみをお与えになる。ここに知恵があるのではないだろうか。わたしたちは強さを試すために誘惑を受け、忍耐を学ぶために病を受け、そして不死不滅と栄光を受けるために死を経験するのではないだろうか。……

(オーソン・F・ホイットニーはこのように述べた。)

『わたしたちが味わう苦痛や経験する試練が無駄になることはない。それはわたしたちを教育し、……わたしたちの人格を築き上げ、心を清め、霊を高める。また、わたしたちを優しく慈愛に満ちた人物、神の子と呼ばれるにふさわしい人物へと変えてくれるのである。』……

わたしたちには生まれる前から分かっていた。肉体を得て経験から学ぶために地球へ来て、そこで喜びと悲しみ、慰めと苦痛、平穏と苦難、健康と病気、成功と挫折を経験することになると。また、人生の終わりには死があることも知っていた。わたしたちはすべてこれらの事柄が起こることを喜んで受け入れており、善いことも悪いことも進んで経験する用意ができていた。わたしたちは地球へ来ることを切に願った。たとえそれがたった1日であろうとただの1年であろうと問題ではなかった。」( Faith Precedes the Miracle [1972年], 97 - 98, 106)


どうすれば試練を堪え忍べるようになるか、紙に書くよう生徒に勧める。

**教義と聖約98：4 - 10。末日聖徒は自由を擁護する法律と、正直で善良な政府指導者を支持すべきである。(10 - 15分)**

人々がよく犯す違法行為を黒板に書き出す(例えば、スピード違反、万引き、学校でのカンニング、公共の建物への落書き、料金を支払わずに入場することなど)。以下の質問をする。

- 人々はなぜこのように法律を破ると思いますか。
- わたしたちが国の法律を破ると、主はどのようにお感じになるとと思いますか。

教義と聖約98：4 - 10を読む。主は国の法律についてどのように教えておられるか調べる。次のように質問する。「どんな人を国の指導者として支持すべきでしょうか。」教義と聖約58：21 - 23；信仰箇条1：12を読む。これらの聖句からこの問題への答えを見いだせるかどうか考える。

 **教義と聖約98：16 - 18, 23 - 48。聖徒は戦争を放棄して、平和を宣言すべきである。しかしながら、特定の状況においては戦争が正当化される。(25 - 30分)**

次のように言う。「あなたは国から通知を受けて、兵役義務を課せられたと仮定してください。戦争が始まれば死者や負傷者が出ること、破壊行為が行われることをあなたは知っています。いったん戦闘に入れば最前線で戦うよう命ぜられるかも知れないことも承知しています。あなたは戦争について教会がどのように教えているかを知りたいと思っています。」

アルマ46：12, 19 - 21；教義と聖約98：33 - 38を生徒が読む。以下の質問をする。

- 主はどんな場合に戦争を許しておられるでしょうか。
- 主はどんな状況になるまで戦争をしてはならないと考えておられるでしょうか。

大管長会が発表した以下の声明を読む。

「このように教会は戦争に反対しています。反対しなければならないのです。主が新しい戒めをお与えにならないかぎり、教会自体が戦争をすることはあり得ないのです。国際間の紛争を収めるための方法として、戦争が義にかなったものであるとは考えられません。国際間で穏やかに話し合い、調整して収拾すればよいのです。これは、不可能なことではありません。

しかし教会員は国家の一員ですから、主権に従わなければなりません。それは教会の力の及ぶところではないのです。主は自ら、『国の合憲的な法律を擁護する』ようわたしたちに告げておられます〔ここで教義と聖約98：4 - 7を参照する〕。……

……したがって、これらの原則によると、教会の男性は自国(わたしたちはどの国の民であろうとも自分の国に忠誠を誓う義務があります)の軍隊に加わるよう憲法によって定められているならば、それに応じることが国民としての第一の義務です。その召集に応じて命令権を持つ者に従うならば、たとえ敵の命を奪うことがあろうとも、殺人者とされることも、殺人を犯す者に対して神が定められた罰を受けることもありません。」(Conference Report, 1942年4月, 94)

教義と聖約98：16を読む。次のように質問する。「平和を擁護するためにわたしたちはどんなことができるでしょうか。」ダリン・H・オークス長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「世界平和の促進のために、一個人としては何ができるでしょうか。答えは簡単です。神の戒めを守り、神の子供たちに奉仕することです。……

自分の欲求だけを満足させるような一時的な楽しみを見合わせ、奉仕活動や親切な行いに携わろうとする青年男女も、平和のために一役買っています。……

人類の苦しみを少しでも減らそうと努める人々や、様々な民族の間に立って相互理解を促進しようと努める人々も、平和のために重要な働きをしています。……

……宣教師たちは、何か政治的な主義主張があるわけではありません。また、非武装や兵力削減について特別な方針を持っているわけでもありません。署名運動をするわけでもなく、立法化のために働くわけでもなく、特定の候補者を支援するわけでもありません。宣教師は主の僕です。世界平和を進める主の計画は、個人の正しい生活にかかっているのであって、言葉巧みな説得力にかかっているわけではありません。悔い改めて生活を変えさせることこそ、主の方法であって、プラカードやデモといった方法はそこには存在しないのです。」(「世界の平和」『聖徒の道』1990年7月号, 79 - 80参照)

教義と聖約98章は教会員が大きな迫害によって苦しんでいたときに与えられたものであることを説明する。生徒は自分が1833年7月当時のミズーリに住んでいると仮定する。次のようなことが起きたらどうするか話し合う。

- 武器を持った市民から成る委員会が、教会の指導者と会話し

ました。モルモンは全員店を畳み、畑を捨ててジャクソン郡を出て行けと言っています。

- 暴徒が教会の印刷所を襲って、印刷機を壊し、建物を破壊しています。
- 暴徒たちは地域一帯を走り回って畑の穀物に火を放ち、家畜を殺し、教会員に強迫、暴力を加えています。既に一人の教会員が殺害されました。冬を迎えるまでに、教会員は家を捨てて出て行かなければなりません。

クラスの半数の生徒が教義と聖約98：23 - 32を、残りの半数が39 - 48節を読む。以下の質問をする。

- 主はこのようなことが起きたらどう対処するよう聖徒たちに勧めておられるでしょうか。
- 主の命令どおりに行動することはどれほど難しいことだったと思いますか。

ミズーリ州ジャクソン郡で、ある人々が迫害に対して取った行動を紹介する。

「暴徒はエドワード・パートリッジ監督とチャールズ・アレンを捕らえると、怒り狂う群衆の中を引きずって広場まで連れて行った。その途中で群衆は二人を侮辱し、虐待した。広場に引き出された二人には選択枝が与えられた。モルモン書に対する信仰を捨てるか、さもなければジャクソン郡を出て行くというものだった。二人ともモルモン書を否定するつもりはなく、かといってジャクソン郡を出て行くことにも同意出来なかった。話すことを許されるとパートリッジ監督は語った。『世界の歴史を通じて、聖徒たちは迫害を受けざるを得ませんでした。わたしも過去の聖徒たちと同じように、キリストのために甘んじて迫害を受けるつもりです。わたしは人を傷つけるようなことは一切していません。もしあなたがたがわたしを虐待するならば、それは罪の無い者を傷つけていることになるのです。』ここまで話すと、パートリッジ監督の声はかき消されてしまった。群衆が騒いだためである。『お前の神を呼んで、助け出してもらえ。……』多くの者が叫んだ。パートリッジとアレンの二人の兄弟は衣服をはぎ取られ、タールを塗り付けられた。タールには石灰や真珠灰、その他の肉をただれさせる物質が混ぜてあった。群衆はその上から大量の鳥の羽をまき散らしたのである。二人はこの残酷な仕打ちに甘んじて耐え、柔和であった。このため、群衆の興奮は次第に納まってゆき、皆二人の柔和な態度に驚いている様子だった。やがて、兄弟たちは静かにその場を去ることを許された。」(B・H・ロバーツ, *A Comprehensive History of the Church*, 第1巻, 333)

パートリッジ監督とアレン兄弟は、教義と聖約98章の教えを実践した模範である。この二人が取った行動からどんなことが学べるか話し合う。

## 教義と聖約99章

### はじめに

ジョン・マードックは1830年11月5日オハイオ州カートランドでバプテスマを受けて、1871年に他界するまで主に忠実に仕えた。この啓示が与えられたとき、ジョンは一人です子供たちを育てていた。また、重病を患い、回復期にあった。彼は次のように述べた。「わたしは啓示〔99章〕を受けると、……直ちに仕事に取りかかり、子供たちの世話を始めた。」(リンドン・W・クック, *The Revelations of the Prophet Joseph Smith*〔1985年〕, 203) ジョン・マードックの最年少の子供たち(双子)がジョセフとエマ・スミスに養子として引き取られた物語については『時満ちる時代の教会歴史』(99ページ)を参照。

主は99章の中で、主の僕たちに敬意を払うことがなぜ大切かを明らかにされた。主はこのように言われた。「あなたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。……また、あなたを拒む者は、父……から拒まれるであろう。」(教義と聖約99：2, 4) 十二使徒定員会のオーソン・F・ホイットニー長老は次のように教えた。

「人の子が『その栄光の座』に着かれるとき、あらゆる国民と人々に最後の報告を求めて、次のように重大な質問をされる。『わたしが遣わした僕たちをあなたはどのように扱いましたか』と。そのとき、『主よ、わたしは彼らに敬意を払いました。わたしはあなたを敬うように、彼らを敬いました』と正直に答えられる国民や人々は幸いである。

……主の僕たちを正しく扱わない者たちが受ける罪は悲しく、またその罰は重い。」(Saturday Night Thoughts〔1921年〕, 221 - 222)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の僕たちを受け入れて、その勧告に従う者は憐れみを受ける。主の僕たちを拒む者は天の御父から拒まれる(教義と聖約99：1 - 4参照。マタイ10：40 - 42；教義と聖約1：14も参照)
- 悪人は、最終的に自分の行ったことが悪事であったと納得する(教義と聖約99：5参照。ユダ1：14 - 15も参照)

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 252 - 253。

### 教え方の提案

教義と聖約99：1 - 4。主の僕たちを受け入れて、その勧告に従う者は憐れみを受ける。主の僕たちを拒む者は天の御父から拒まれる。(15 - 20分)

イエス・キリストが亡くなり、復活されて間もなく、サウロという名の男がキリストに従う者たちを迫害したことを生徒に話す。使徒9：1 - 5を読む。次のように質問する。「イエスに会ったことがないのに、サウロはどうしてイエスを迫害することができたのでしょうか。」教義と聖約99：1 - 4を読む。次のように質問

する。「主の僕たち<sup>しもべ</sup>を『受け入れる』人たちはどんな祝福を受けるでしょうか。」

教義と聖約1: 14, 38を生徒が読む。教義と聖約99: 1 - 4と相互参照する。次のように質問する。「これらの聖句にはどんな関連があるでしょうか。」99章の「はじめに」から、オーソン・F・ホイットニー長老の言葉を読む。現在の主の僕たちの名前を生徒が挙げる。どうすれば地元の指導者と中央幹部を受け入れることができるかについて話し合う。



## はじめに

「預言者ジョセフは畑が白くなり刈り入れを待っていること、また鎌を入れて心の正直な人たちを集める必要があることを感じていた。1833年10月5日、預言者はシドニー・リグドンとフリーマン・A・ニッカーソンを伴い、カートランドをたつてカナダへ伝道の旅に出た。彼らは途中様々な地に立ち寄って、主の言葉を人々に宣べ伝えた。……10月12日、一行はニューヨーク州ペリーズバーグに着いて、しばらくの間滞在した。預言者はここで〔100章〕の啓示を受けた。」(ジョージ・Q・キャノン, *Life of Joseph Smith the Prophet* [1986年], 160)

ジョセフは100章の啓示を受ける前日に、日記に次のように記している。「主がわたしたちとともにおられることを嬉しく思うのだが、家族のことがとても気になる。」(*The Papers of Joseph Smith*, ディーン・C・ジェシー編, 全2巻 [1989 - 1992年], 第2巻, 6) 預言者はシオンで重大な問題が起きていたことも心配していたに違いない。しかし預言者ジョセフはじっと悩んでいるのではなく、神の王国の建設に「熱心に……携わ」ることを選んだ。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 宣教師が主に仕えているとき、その家族は主が見守ってくださる(教義と聖約100: 1 - 2参照)。
- 主の僕たちが謙遜に福音を宣べ伝えるとき、聖霊は彼らを祝福し靈感を与え、彼らの言葉を証される(教義と聖約100: 5 - 8参照。2ニーファイ33: 1 - 4; 教義と聖約42: 12 - 17; 84: 85も参照)。
- 主は最終的にシオンを確立して、主に従う者の益となるよう万事をとともに働かせてくださる(教義と聖約100: 13, 15 - 17参照。1ニーファイ14: 12 - 14も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 137。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 253 - 255。

## 教え方の提案

教義と聖約100: 1 - 8。主の僕たちが謙遜に福音を宣べ伝える

とき、聖霊は彼らを祝福し靈感を与え、彼らの言葉を証される。(20 - 25分)

何人かの生徒が福音を分かち合ったときの経験を話す。そのときどんな気持ちでしたか聞く。次のように質問する。「福音を分かち合うことが難しいときもあります。なぜでしょうか。」

教義と聖約99: 1, 6 - 8と教義と聖約100章の前書きを読む。福音を宣べ伝えるときに主の僕たちが直面する困難を見つける(99章の「はじめに」[161ページ]も参照)。次のように質問する。「今日主に仕えるためにどんな犠牲を払っている人々がいるでしょうか。」

教義と聖約100: 1 - 8を読む。以下の質問をする。

- 主は預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに、それぞれ家族について何を約束されたでしょうか(1 - 2節参照)。
- ジョセフ・スミスとシドニー・リグドン、さらにその家族の犠牲によって福音の教えを受けた人々がいました。そのような人々にはどんな祝福が与えられたでしょうか(3 - 4, 8節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』254ページから, 100: 3 - 5の注解も参照)。
- 預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンが福音を宣べ伝えるとき、主はある約束を与えられました。それは何だったでしょうか(5 - 8節参照)。
- これらの約束と祝福は今日の宣教師にとってどんな励ましとなっていると思いますか。

一人の生徒にエズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を読んでもらう。

「父が伝道の召しを受けたのは、わたしが13歳のときでした。……

わたしたちが、居間にある長年使い慣れたソファの周りに集まると、父は伝道の召しが来たことを話してくれました。すると母が言いました。『お父さんが伝道に出るのにふさわしいと見なされたということは、とても名誉なことよ。二人とも少し泣いたけど、それは2年間お父さんと会えないからなの。お父さんとお母さんは、結婚以来、2日と離れたことがなかったんですもの。それはお父さんが山あいに、材木やくい、まきを取りに行くときぐらいだったわ。』……

……父は母と7人の子供を家に残して、伝道に行きました(8人目は父が伝道地に到着してから4か月後に生まれました)。しかしそれ以来、我が家には伝道の精神が生まれ、その精神が我が家を離れることはありませんでした。もちろん、それにはいくらかの犠牲を払いました。父は伝道の資金を工面するために農場の一部を売却しなければなりませんでした。ある夫婦を我が家の一角に住まわせて、一部の作物の世話を任せ、妻と息子たちには牧草地や酪農用の牛の世話を任せただけでした。……

その後、わたしの家族の人数は増え、子供たちは息子7人、娘4人、合計11人になりました。7人の息子たちは全員伝道に出ました。中には二度も三度も出た者もいます。二人の娘たちは夫とともに2年間の伝道をしました。ほかの二人は両方とも夫に先立たれました。しかし、一人は8人の子供の母親、もう一人は10人の母親であり、英国パーミンガムで互いの同僚となって伝道しました。

伝道の精神は三世代、四世代先へと受け継がれ、ペンソン家に祝福をもたらしています。」「神の性質」『聖徒の道』1987年1月号、51 - 54参照)

以下の質問をする。

- 主に仕えることには困難が伴いますが、それを補って余りある祝福がもたらされます。なぜでしょうか。
- 主のために犠牲を払ったときに、主の導きを感じたことがありますか。それはどんな導きでしたか。

**教義と聖約100章。主は最終的にシオンを確立して、主に従う者の益となるよう万事をともに働かせてくださる。(35 - 45分)**

生徒たちが聖餐会で話をするよう頼まれたと仮定する。クラスを幾つかのグループに分ける。各グループに教義と聖約100章から、以下の聖句を一つずつ割り当てる。その聖句に基づいた短いお話をグループで書く。ほかの聖文を引用したり、自分の考えや感じていることを話に盛り込んだりするように勧める。グループごとの代表者が話を発表する。

- 「〔わたしの〕友である……シドニーとジョセフ」(1節)
- 「わたしには一切の権威がある〔。〕それゆえ、わたしに従い……なさい。」(1 - 2節)
- 「わたしは……力を彼に与えよう。……わたしはあなたに、……力を与えよう。」(10 - 11節)
- 「旅を続け……なさい。見よ、見よ、わたしは最後まであなたがたとともにいるからである。」(12節)
- 「シオンはしばしの間懲らしめを受けるが、<sup>あがな</sup>贖われるであろう。」(13節)
- 「まっすぐに歩む者たちに益となるように、……万事がともに働く〔。〕」(15節)
- 「わたしは、義をもってわたしに仕える一つの清い民をわたしのために起こすであろう。」(16節)

話が終わったら、これらのメッセージが現代の人々にとって大切なのはなぜか、生徒の意見を聞く。自分に最も強く訴えるメッセージを生徒が選ぶ。そのメッセージがなぜ大切か、それを生活に取り入れるために何ができるかを短い文に書く。

## 教義と聖約101章

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスは101章を受ける1週間ほど前に、次のように記録している。

「さて、わたしには分からないことが二つあります。主はそのことをわたしに示してはくさいません。それは何か主御自身の内にある、ある賢明な目的のためであると思われます。……その分からないことは次の二つです。第一に、神はなぜシオンがこれほどひどい苦難を受けるままにしておかれるのか……。第二に、主はどのような手段をもって、シオンがその受け継ぎに戻り、永遠

の喜びの歌を歌うようになさるのか、ということです。兄弟たち、神はこれら二つのことをいまだわたしの前に明らかにされず、黙しておられます。しかし、全能の神の不興を招いた理由の一部分は明白です。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 34)


### 学び取るべき重要な福音の原則

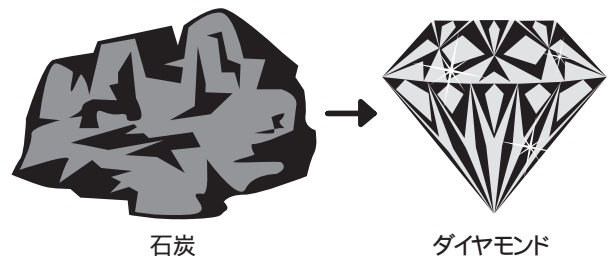
- 主は試しと懲らしめを与えて主の民を<sup>きよ</sup>められる(教義と聖約101:1-9, 39-42参照。ヘブル12:5-11; 教義と聖約95:1も参照)。
- シオンに関する事柄を含め、すべての預言は成就する(教義と聖約101:11-19参照。教義と聖約1:37-38も参照)。
- イエス・キリストが再臨される時、悪人は滅ぼされ、地球は新しくなる。サタンは力を失い、主の福千年の統治が始まる(教義と聖約101:22-35参照。1ニーファイ22:13-15, 26も参照)。
- 聖徒たちは再臨に備えるためにシオンのステークに集合するよう命じられている(教義と聖約101:20-22, 63-75参照。教義と聖約115:6も参照)。
- 神は合衆国憲法を制定して教会の回復に必要な自由をお与えになった(教義と聖約101:76-80参照。教義と聖約98:4-10も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 130 - 139。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 255 - 263。

### 教え方の提案

 教義と聖約101:1-19。主は試しと懲らしめを与えて主の民を聖められる。シオンに関する事柄を含め、すべての預言は成就する。(30 - 35分)



以下の図のように石炭とダイヤモンドの絵を黒板に描く。以下の質問をする。

- ダイヤモンドと石炭にはどんな関係があるでしょうか。
- 石炭はどうしたらダイヤモンドになるでしょうか(熱と大きな圧力を加え、適切な時間をかける)。

教義と聖約101:3を読む。主は再び来られるとき主の民をどうされるか、生徒が考える。このプロセスを石炭がダイヤモンドになるプロセスと比べてみる。共通点はどこか、話し合う。

ミズーリにおける迫害と、ジャクソン郡からの聖徒の追放に関する物語を選んでおく。何人かの生徒がその物語を読む(『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 132 - 139ページ参照)。教義と聖約57:1-3を読む。主がジャクソン郡で聖徒たちのために



用意しておられたものは何か考える。(ジャクソン郡は聖徒たちが集合し、神殿を建てる約束の地であった。) 生徒に次のように言う。「自分が当時の教会員だったとします。預言者ジョセフ・スミスにどんなことを尋ねますか。」「なぜこんなことが起きているのですか。」「主はなぜ御自分の民を見捨てられたのですか。」などの質問が考えられる。

黒板に見出しとして、「1. なぜこのようなことが起きたのか」と「2. 主は御自分の民を見捨てられたのか」と書く。半数の生徒が教義と聖約101:1-8, 39-41を読む。そして、ジャクソン郡を追われる聖徒を主がそのままにしておかれた理由を見つける。9-19節を残る半数の生徒が読む。そして、聖徒が主から見捨てられてはいなかったことを示す語句を見つける。生徒が見つけた事柄について話し合ってから、該当する見出しの下にそれらを書き出す。話し合いを進めるために以下の質問を活用する。

1. なぜこのようなことが起きたのか

- なぜ試練や苦難があるのでしょうか。
- 6-7節に記されている罪は、どう定義できるでしょうか。(『生徒用学習ガイド』の教義と聖約101章の「聖文を理解する」参照)
- 主の勅告を軽んじるとはどういう意味でしょうか(8節参照)。
- 義人が悪人のために苦しみを受けることがあるのは、なぜでしょうか。
- 主の懲らしめは愛ある行為と言えます。なぜだと思いますか。

2. 主は御自分の民を見捨てられたのか

- ある言葉から、これらの迫害が一時的なものであることが読み取れます。それはどの語句だと思いますか。
- 聖徒たちに慰めと希望を与えたと考えられる言葉はどれでしょうか。
- 教義と聖約58:2-3を読んでください。1831年8月に主から与えられたこの勅告は、1833年12月にジャクソン郡にいた聖徒たちにも当てはまります。なぜだと思いますか。
- 主はシオンの将来についてどんな約束を与えられたでしょうか。

もう一度石炭とダイヤモンドの絵を見せる。今学んだ教義は石炭をダイヤモンドに変えるプロセスとどこが似ていると思うか生徒に聞く。人生の道のりは険しく、不公平だと感じることがあっても、信仰をもって試練に耐える人たちは神は見捨てられないことを証する。主を信頼するならば、主は苦難をわたしたちの益となるように変えてくださる。ジェームズ・E・ファウスト副管長の以下の言葉を読む。

「この世では、だれでも難題や課題に遭遇します。それはこの世の試練の一部なのです。それらの試練がなぜ与えられたのかは、信仰と希望の原則によらなければ容易に理解できません。それはしばしば、わたしたちにはいつも理解できるとはかぎらないより大きな目的があるからです。平安は希望から生じます。……

……事物の永遠の計画によれば、間違っていることは正されるでしょう。ふさわしく生活している人は皆、主の完全な正義によって、この世では得られなかった祝福を受けることになるでしょう。

わたしの考えでは、この教会の歴史の中で、世界中の教

会と会員たちの将来について、これほど大きな希望を持つべき根拠があったときは、今までになかったと思います。わたしたちは今までになかったようなより高い信仰と活動の段階へ進んでいると信じ、証いたします。わたしはこの偉大な義の軍勢の中で一人一人が自分のなすべきことを行うようにお祈りします。」「(『希望、それは心の錨』『リアホナ』2000年1月号, 70, 72-73)



**教義と聖約101:20-22, 63-75。聖徒たちはイエス・キリストの再臨に備えるためにシオンのステーキに集合するよう命じられている。(15-20分)**

世界地図を開く。次のように質問する。「主の再臨の前に聖徒たちはどこへ集合することになるとおもいますか。」教義と聖約101:16-21を読む。以下の質問をする。

- 聖徒が集まる場所は何と呼ばれるでしょうか。(シオン)
- 聖徒の集合場所として、主はほかにどこを指定しておられるでしょうか。(シオンのステーキ)

以下の言葉を分かち合う。ブルース・R・マッコンキー長老は七十人定員会会員を務めていたときに次のように語った。

「イスラエルの集合を幾つかの要素に分けると、真実の教会へ加わること、まことの神に関する知識を得て救いにかかわる神の真理を知るようになること、神を礼拝するために世界のすべての国々や民の中にいる聖徒の集まりに加わることがあります。……

メキシコの聖徒が集まる場所はメキシコの中にあります。グアテマラの聖徒が集まる場所はグアテマラの中にあります。ブラジルの聖徒が集まる場所はブラジルの中にあります。同じことが世界のすべての地域に当てはまります。日本の民のためには日本、韓国の民のためには韓国、オーストラリアの民のためにはオーストラリア。それぞれの国が、その民にとっての集合の地なのです。」(Conference Report, メキシコおよび中央アメリカ地域大会, 1972年, 45)

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長、トーマス・S・モンソン副管長、ジェームズ・E・ファウスト副管長はさらに次のように語った。

「世界中の教会員の皆さんが母国にとどまり、母国における教会の確立のために働くならば、大いなる祝福が彼ら個人に与えられ、それらが総体的に教会への祝福ともなるでしょう。そして世界中のステーキやワードが強められ、福音の祝福をさらに多くの天の御父の子供たちと分かち合うことが可能になるのです。」(大管長会からの手紙, 1999年12月1日)

以下の質問をする。

- 教会のステーキが全世界に確立されることはなぜ大切なのでしょうか。
- 1ニーファイ14:11-12を読んでください。聖徒たちの集合はこの預言をどんなふうに成就するのでしょうか。

教義と聖約101：63 - 67を読む。そして、その聖句について話し合う。教義と聖約38：12を生徒が読む。以下の質問をするとよい。

- 「毒麦」とはだれのことだと思いますか（教義と聖約86：1 - 3参照）。
- 教義と聖約38：12の中の「敵は連合している」とはどんな意味でしょうか。
- 今日、敵はどのように連合してわたしたちに攻撃を仕掛けているでしょうか。
- 家族、友だち、ワード、ステークで集合すれば、サタンが植え付けた毒麦に対抗する力は強くなります。どんな点で強くなるのでしょうか。

**教義と聖約101：22 - 35。イエス・キリストが再臨される**とき、悪人は滅ぼされ、地球は新しくなる。サタンは力を失い、主の福千年の統治が始まる。（20 - 25分）

黒板に「福千年」と書く。その下に以下の質問を書く。ただし聖句の参考箇所を書いてはならない。生徒が答えを紙に書く。生徒が書き終えたら、参照箇所を黒板に書く。全員でこれらの聖句を調べて、正解を確かめる。

- わたしたちはイエス・キリストの再臨のためにどんな準備ができるでしょうか（教義と聖約101：22参照。ジョセフ・スミス マタイ1：37、46 - 50も参照）。
- 再臨の時にだれが主を見るのでしょうか（教義と聖約101：23参照。黙示1：7；教義と聖約38：8も参照）。
- 「すべての朽ちるもの」と地球の元素はどうなるのでしょうか（教義と聖約101：24 - 25参照。2ペテロ3：10も参照）。
- 人と動物の関係、動物同士の関係はどうなるのでしょうか（教義と聖約101：26参照。イザヤ11：6 - 9も参照）。
- どんな疑問の答えが明らかになるのでしょうか（教義と聖約101：27、32 - 34参照。教義と聖約76：6 - 10も参照）。
- サタンの力はどうなるのでしょうか（教義と聖約101：28参照。1ニーファイ22：26も参照）。
- 死はどのような点で違ったものとなるのでしょうか（教義と聖約101：29 - 31参照。イザヤ65：20も参照）。

次のように質問する。「シオンの地で迫害を受けている聖徒たちにとって、福千年について知ることはなぜ大切だったのでしょうか。」教義と聖約101：35 - 38を読む。主は忠実な人たちに何を約束しておられるかを見つける。次のように質問する。「問題の多い時代に生きているあなたにとって、この約束はどんな助けになりますか。」

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちは民のことを深く思っています。人々から受け入れられていない宗教の制度を受け入れ、その制度に忠実であるがゆえに、繰り返し迫害を加えられてきた民。神への愛と神の大義への忠誠のために、飢えや裸、危難、またあらゆる欠乏に苦しんできた民。自分の宗教のために、両親や夫、妻、子供たちを早く失い嘆くことになった民。屈従や偽善よりもむしろ死を選び、人格を保つことを誉れあることとし、試練に遭ってもいつも確固不動としていた民のことを。神の聖徒たちよ、しっかりと立ち、もうしばらく踏みとどまっていてください。そうすれば、人生の嵐は過ぎ去り、あなたがたは自分が僕として仕えている

神から報いを受けるでしょう。神はキリストのため、また福音のために耐えたあなたがたのあらゆる骨折りと苦しみを十分に認めてくださいます。あなたがたの名は、神の聖徒として、また徳高い人として子孫に語り継がれることでしょう。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 185）

永遠の見地に立てば、現在受けている試練に対する見方が変わることを証する。

**教義と聖約101：43 - 64。わたしたちは神殿の祝福によって世の悪を見分けて、それらに打ち勝つことができる。**（20 - 25分）

固形石けんと石、またはそれらに類似するものを見せる。それらが持つ性質と似た性質を持つ福音の概念を生徒が見つかる。そして、それを発表する。また、なぜそのように思うか説明する。（石けんは悔い改めに似ている、石は証に似ている、などの意見が出るであろう。）次のように質問する。「『<sup>あかし</sup>は<sup>あかし</sup>のようだ』という表現を何と言うのでしょうか。」黒板に「たとえ」と書く。一人の生徒が『聖句ガイド』から、「たとえ」の定義の最初の段落を読む。「たとえ」の下に簡単な定義を黒板に書く。

教義と聖約101章の中で、聖徒たちがシオンを追われた理由を説明するために、主はたとえを用いられたことを話す。43 - 45節を読む。このたとえに出てくる6つのキーワードを見つけて黒板に書き出すように言う。これらのキーワードが何を表していると思うか、生徒が考えを言う（『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』261ページから、教義と聖約101：44 - 64の注解参照）。次のような事柄が挙がるだろう。

43 - 62節を生徒とともに読む。6つのキーワードに生徒がする

キーワード	解き明かし
身分の高い人	イエス・キリスト
特別な良い土地	ミズーリ州ジャクソン郡
<sup>しもべ</sup> 僕たち	教会員
オリーブの木	ミズーリにおける聖徒たちの定住
見張り人	教会の指導者
見張り台	神殿

しをつける。そして、聖典の余白にそれぞれの解き明かしを記入する。以下の質問をする。

- これらの解き明かしはこのたとえを理解するうえでどんな助けとなるのでしょうか。
- 身分の高い人の僕たちはどんな間違いを犯したのでしょうか（50節参照）。
- 彼らはなぜ間違いを犯したのでしょうか（48 - 49節参照）。
- このたとえの中で塔はどれくらい大切でしょうか。
- 55節の僕はだれのことだと思いますか。（ジョセフ・スミス。教義と聖約103：21参照。注意：55 - 60節はシオンの陣営をさしている。これについては103章と105章で研究する。）

一人の生徒が54節を読む。以下の質問をする。

- 神殿と塔はどこが似ているでしょうか。
- 神殿のおかげで、わたしたちは敵が襲いかかる前に「気づく」ことがあります。なぜでしょうか。
- 神殿の祝福の影響を生活の中でもっと強く受けるために、どんなことができるでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長はこのように語った。

「この精神の下に、末日聖徒の皆さんが主の神殿を教会員であることの崇高な象徴とするようにお勧めします。わたしの心からの願いは、すべての教会員が神殿に参入するふさわしさを身に付けることです。……

神殿に参入する民となりましょう。状況が許さざり神殿に参入しましょう。子供たちに見えるように、家に神殿の写真を飾りましょう。……子供たちが幼いうちから神殿に参入することを計画し、その祝福を受けるふさわしさを保てるように助けてください。

神殿が近くにないために、頻繁に参入できないとしても、家族の歴史を集め、神殿でしか行えない神聖な儀式のために名前を提出しましょう。家族歴史の探求は神殿の業に不可欠のものであり、その業に携わる人々には必ず祝福が訪れます。」（「尊く、大いなる約束」『聖徒の道』1995年1月号、9 - 10）

ゴードン・B・ヒンクレ大管長は副管長を務めていたときにこのように付け加えている。

「〔神殿〕は啓示の場でもあります。奉献以来、ほぼ毎週のように、大管長会と十二使徒評議員会はここで会合を持ってきました。そこでは、光明と理解力が天から注がれることを切に願って、心からの祈りがささげられています。また、清い雰囲気の中で、静かで穏やかな話し合いが進められます。ここは、永遠の神権にかかわる最高の権能を授けられている人々が、ともに話し合い、主の御心みこころを伺って、靈感を受ける場所でもあります。……

神殿はまた、個人的な啓示や靈感を受ける場所でもあります。苦しんでいるとき、難しい判断を下さなければならなくなったとき、これまで実に多くの人々が天からの導きを求めて、祈りと断食の精神で神殿に参入してきました。その結果、天からの声を直接聞くことができなくとも、進むべき方向についてそのとき強く心に感ずるものがあり、やがて時が過ぎてそれが祈りに対する答えだと分かった、と証あかししている人々が大勢います。」（「ソルトレーク神殿」『聖徒の道』1993年11月号、6）

**教義と聖約101：76 - 80、93 - 95。神は合衆国憲法を制定して教会の回復に必要な自由をお与えになった。（15 - 20分）**

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を一人の生徒が読む。

「アメリカの建国の父たち、あの偉大な人々が〔セントジョージ神殿〕の神聖な壁の内側に現れ、自分たちの身代わりの儀式が行われるように求め〔まし〕た……。

ウィルフォード・ウッドラフ大管長はこう話しています。『わたしがセントジョージを立つ前に、死者の霊がわたしの周りに集まり、なぜ自分たちを贖ってくれないのかと聞いてきました。彼らの言葉はこうでした。「あなたがたは長年にわたってエンダウメントハウスを使ってきたが、わたしたちのためにはまだ何もなされていない。わたしたちはあなたがたが今安らかに暮らしているこの国の基を築いた。そして決してそれに背を向けることなく、忠節を尽くし、神に対しても従順であった。」』（*The Discourses of Wilford Woodruff*, G・ホーマー・ダラム編 [Salt Lake City: Bookcraft, 1946年], p. 160）

ウィルフォード・ウッドラフ長老は大管長になってからこう話したことがあります。『このアメリカ政府の基礎を築……いた人々は、天の神がこの地上で見いだし得る最もすぐれた霊であった。彼らはえり抜きの霊……神の前に高貴な霊であった』（*Conference Report*, 1987年10月、5）、「神聖な合衆国憲法」『聖徒の道』1988年1月号、6）

以下の質問をする。

- あなたはこの話から合衆国の建国の父についてどんなことが分かりましたか。
- 彼らの働きは世界にどんな影響を与えたと思いますか。  
黒板に以下の言葉を並べて書く。「執拗しつように求める」、「補償」、「憲法」、「未来」、「束縛」。生徒用学習ガイドでこれらの語の定義を生徒が調べる（教義と聖約101章の「聖文を理解する」参照）。これらの語を生徒用学習ガイドで調べた定義に置き換えて、教義と聖約101：76 - 80を生徒が読む。以下の質問をする。
- 合衆国憲法の制定を「許した」のはだれでしょうか（主。77節参照）。
- 主はなぜこの憲法を維持することを求められたのでしょうか（あらゆる人の権利を守り、すべての人が自分の罪に対して責任を負うようにするため。77 - 78節参照）。
- 束縛されると、責任を負う能力はどう変わるとと思いますか。
- 憲法の制定に力を尽くした人々に対して主は何と言われたでしょうか（80節参照）。

93 - 95節を生徒が読む。次のように質問する。「主が行うと言われた『比類のない行い』や『比類のない業』とはどんなことを指しているのでしょうか。」（主の末日の業。教義と聖約95：4も参照）ベンソン大管長の以下の言葉を分かち合う。

「建国の父が立てられて、彼らが予任された使命を成し遂げるまで、福音の回復と主の教会の設立は実現できなかった。今ある自由を確立したこれらの偉大な人々は、自分たちが神の御手に導かれていたことを知っていた。彼らが合衆国を築いてくれたおかげで、今わたしたちに自由がある。しかし、わたしたちがさらに感謝しなければならないのは、天の御父とその御子イエス・キリストである。自由という恵みとイエス・キリストの福音を二つとも手に入れることのできる時代に生きているわたしたちは、何と恵まれていることだろうか。」（*The Teachings of Ezra Taft Benson* [1988年], 604）

## 教義と聖約102章

### はじめに

1830年4月に教会が組織されたとき、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは第一の長老、第二の長老にそれぞれ聖任された（教義と聖約20：1 - 3参照）。1832年3月に大管長である預言者ジョセフは、大管長会でともに働く副管長を選び、1833年3月にこれらの副管長を聖任した（教義と聖約81章の前書き；90章の前書き参照）。1834年1月までには教会員数は3,000人を超えていた。（ちなみにこれは、今日の平均的ステーキの会員数より少ない数であった。）会員数が増えたことによって、教会の管理部門を強化する必要が生じていた。1834年2月、主はジョセフ・スミスに教会の最初の高等評議会を組織するよう指示された（教義と聖約102：1 - 11参照）。また、今日の宗紀評議会の開催についても指示を与えられた（教義と聖約102：12 - 27参照）。

この最初の高等評議会は今日のステーキ高等評議会とは幾つかの点で異なっていた。最初の高等評議会は教会全体に対して全般的な管轄権を持ち、大管長会から管理を受けていた。新しいステーキが組織されると、そのステーキのために新たにステーキ会長と高等評議会が任命された。この最初の高等評議会は十二使徒定員会が組織される約1年前に組織されたため、102章に記されている指示の中には、大管長会と十二使徒定員会に適用されるものもある。現在では大管長会と十二使徒定員会が、全教会の全般的な管轄権を持っている。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は教会の業務を管理するために評議会を設立された（教義と聖約102：1 - 2参照。教義と聖約78：9；107：85 - 89も参照）。
- 主が宗紀評議会を設立されたのは、罪のない者を守り、罪人を悔い改めさせ、教会を罪のない状態、神から受け入れられる状態に保つためである（教義と聖約102章参照。教義と聖約107：77 - 84も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、119 - 122。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、263 - 265。

### 教え方の提案

**教義と聖約102：1 - 11。主は教会の業務を管理するために評議会を設立された。（15 - 20分）**

もしあなたの地域にステーキが組織されていれば、ステーキ高等評議会の3人か4人のメンバーの名前を黒板に書き出す。これらの人は教会でどんな召しを受けているか生徒に聞く。教義と聖約102章の前書きと1 - 2、4、6 - 11節を読む。以下の質問をする。

- カートランドの高等評議会はどんなふうにして組織されたでしょうか（1節参照）。

- 彼らはどんな責任を受けたでしょうか（2節参照）。
- 彼らは責任を果たす前にどんなことを求められたでしょうか（4、6 - 8節参照）。
- 高等評議会を管理したのはだれでしょうか（9 - 11節参照）。
- 今日の教会には、ほかにどんな評議会があるでしょうか（家族会議、ワード評議会、ステーキ評議会、十二使徒評議会、など）。
- 主はなぜ評議会を使って教会の業務を進められると思いますか。

一人の生徒がM・ラッセル・バラード長老が語った以下の言葉を読む。

「力を合わせて働くなら霊的な相乗効果を生み出すことができます。つまり一致協力することによって、より大きな効果、実績を上げ、一人一人の力を集めたよりもさらに大きな成果を引き出せるのです。

古代の道徳家イソップはこの力の相乗効果について説明するために、よく次のような話をしました。1本の棒を聴衆に見せて、それを折る自信のある者はいないか尋ねます。言うまでもなく、1本なら簡単に折れてしまいます。次にイソップが何本も棒を合わせていくと、ついに折ることができなくなります。このイソップの教えに含まれた教訓は明白です。互いに力を合わせて取り組めば、一人にいるよりもはるかに大きな力が生まれる、ということです。」（『評議の力』『聖徒の道』1994年1月号、86）

バラード長老はこのように説明した。

「神は人類の幸福を願われ栄えある計画を提示するために、前世で一つの会議を招集されました。主の教会では様々なレベルで評議会が組織されています。大管長会と十二使徒定員会による評議会をはじめとして、ステーキ、ワード、定員会、補助組織、家族会議に至るまでこの制度が広がっています。

スティープン・L・リチャーズ長老（教会の副管長の一人）はかつて次のように語りました。『教会管理の神髄は評議会によって管理するところにあると思う。……わたしはこれまでの経験から評議会の価値を十分に認識している。……神の王国を治めるために評議会が設けられたのは、神の知恵によるのである。わたしはこのことを一日たりとも忘れたことはない。……』

……わたしは何のためらいもなく、確信をもって言うことができる。皆さんが、期待されているとおりに評議会で話し合うなら、神は皆さんが抱えている様々な問題を解決できるようにして下さる。』（Conference Report, 1953年10月、86）（『評議の力』『聖徒の道』1994年1月号、85）

この話の中からこれまでの質問に対する答えを見つけた人がいたら、発表してもらおう。女性はステーキ高等評議会に働くことはないが、ワードやステーキのほかの評議会で大変な役割を果たしていることを生徒が思い出せるようにする。バラード長老の以下の言葉を紹介する。

「兄弟の皆さん、評議会で姉妹たちの大切な意見を忘れずに求めるようにしてください。そして、どのようにすればステーキやワードがさらに効果的に福音を<sup>あがな</sup>宣べ伝え、聖徒を完全にし、死者を贖うことができるのか、評議会の構成員全員が意見を述べ、アイデアを分かち合うように励ましてください。」(「評議の力」『聖徒の道』1994年1月号、85 - 86)

**教義と聖約102：9 - 33。主が宗紀評議会を設立されたのは、罪のない者を守り、罪人を悔い改めさせ、教会を罪のない状態、神から受け入れられる状態に保つためである。(20 - 25分)**

注意：監督またはステーキ会長を招いて、生徒に宗紀評議会について話してもらおうとよい。教会指導者に時間的負担をかけないよう配慮する。

黒板に「処置を行わない」、「公式の保護観察」、「正会員資格剥奪」、「破門」と書く。これらの語は教会のどこで使われるかを生徒に聞く(宗紀評議会)。教会員は重大な罪を犯したときに、監督または支部長に、またある場合にはステーキ会長、地方部長または伝道部長に、その罪を告白する必要があることを説明する。これらの役員はイスラエルの判士として召され、任命されている(教義と聖約107：72 - 74参照)。彼らは背罪を非公式に扱うこともできるが、宗紀評議会を開いて黒板に列挙した処置のいずれを採るべきか話し合うこともできる。以下の言葉を分かち合う。「〔教会の〕評議会は愛の精神で行い、人が悔い改め、福音のすべての祝福を再び味わうことができるように助けることを目的とします。」(神権指導者ガイドブック〔1993年〕、14)

102章には高等評議会がどのようにして宗紀評議会を行うかが説明されていることを生徒に話す。12 - 18節を読む。以下の質問をする。

- 宗紀評議会では、だれが話すのか、また何人の人々が話のすかをどうやって決めるのでしょうか。
- 宗紀評議会では、各高等評議員はどんな役割を果たすのでしょうか。
- 宗紀評議会が関係者全員にとって公正かつ公平に行われるために、主はどんな方法を用意しておられるのでしょうか。
- 人が悔い改めて永遠の命に至る道に戻るために、宗紀評議会はどんな助けを与えるのでしょうか。

宗紀評議会の目的は人を傷つけることではなく、祝福をもたらす、愛を示し、援助の手を差し伸べることであることを生徒に話す。ゴードン・B・ヒンクレー大管長が副管長を務めていたときに語った以下の話を分かち合う。

「宗紀評議会が開かれるときには、監督会、ステーキ会長会、あるいは大管長会の三人の兄弟たちが、最終的な処置を決定するまでの間に、ともに席に着き、ともに審理し、ともに祈ります。皆さんにはっきりと知っていただきたいのですが、祈りがささげられずに最終的な処置が決定されたことはないはずで。会員に対する処置の決定は、人間の考えだけで行ったり、まして一人だけで判断したりするにはあまりにも重大な問題です。正義に基づいた裁定を得

るには、御<sup>みたま</sup>霊の導きを熱心に求め、それに従わなければなりません。」(「助言者が多ければ安全である」『聖徒の道』1991年1月号、56)

19 - 22、27 - 28節を読む。それから、以下の質問をする。

- すべての証言を聞いた後、何が行われるのでしょうか。
- どんな状況の場合に、再審理が行われるのでしょうか。
- 宗紀評議会の裁定に上訴することは可能でしょうか。
- 問題を大管長会まで持って行くかどうかは、どんなふうが決まるのでしょうか。
- 教会に宗紀評議会があることから、主が子らを愛しておられることについてどんなことが分かるのでしょうか。



## 教義と聖約103章

### はじめに

103章が啓示されたときにはすでに、聖徒たちはジャクソン郡を追放されていた。「ミズーリを追われた聖徒たちは自分たちの故郷が贖われ、また自分たちも圧制から解放されるよう主に叫び求めた。この祈りは天に届いていた。主は1834年2月24日に預言者に与えた啓示の中で、<sup>あがな</sup>邪悪な者たちがその罪惡の升目を満たすことを許され、主の御名を受けた者たちはしばしの間懲らしめを受けることをお伝えになった。彼らが多くのことについて主の戒めに聞き従わなかったからである。」(ジョージ・Q・キャノン、*Life of Joseph Smith the Prophet*, 172) 主は103章の中で、預言者ジョセフ・スミスにシオンの陣営を組織するよう指示を与えられた。


### 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖徒が多く<sup>かんなん</sup>の艱難を受け、神の戒めに従うことを学んだ後にシオンは贖われる(教義と聖約103：1 - 20参照。教義と聖約100：13、15 - 17も参照)。
- 主は力によってシオンを贖われる。主は預言者を通じて聖徒の集合とシオンの土地の購入を指示される(教義と聖約103：15 - 28参照。教義と聖約101：17 - 22も参照)。


### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、141 - 142。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、266 - 270。

### 教え方の提案

 教義と聖約101 - 105章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』15「シオンの陣営」(21：45)を使用することができる(教え方の提案について

は『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)。

 **教義と聖約103:1-28。聖徒が多くの艱難を受け、神の戒めに従うことを学んだ後にシオンは贖われる。主は力によってシオンを贖われる。主は預言者を通じて聖徒の集合とシオンの土地の購入を指示される。(35-40分)**

注意：教義と聖約105章の「教え方の提案」でもシオンの陣営を扱う。

「ボランティアを求む」と書いたポスターを作って、生徒が教室に入って来るときに目につく場所にはっておく。1833年当時のミズーリ州ジャクソン郡について、以下の「新聞記事の見出し」を黒板に書いておく。

- ミズーリの暴徒、数百人のモルモンを家から追い出す
- モルモン、公衆の面前で苦しめられ、迫害される
- 印刷所が破壊される　モルモンの開拓者たち、財産を失う
- 窮乏するモルモンの難民　病人多数
- モルモン、政府に支援を求めるが与えられず

『時満ちる時代の教会歴史』132-137ページから、幾つか物語を選んでコピーを取り、何人かの生徒に前もって渡しておく。割り当てられた生徒は物語を自分の言葉で話して、どの見出しの記事に当たるか説明する。

次のように質問する。「主はなぜ、聖徒たちが迫害を受け、家を追われるままにしておかれたと思いますか。」生徒の意見に基づいて話し合いを展開する。教義と聖約103:3-4を読む。主がシオンを贖うことを控えられた二つの理由を見つける。『教義と聖約生徒用資料-宗教コース324-325』(266-267ページ)から、教義と聖約103:1-4の注解を読む。

教義と聖約103:4-14; 105:1-5を生徒が読む。主がミズーリの聖徒たちに何を期待しておられたか、主がシオンを確立するために聖徒たちは何を実行しなければならなかったかを示す部分に、生徒がしるしをつける。調べた事柄について話し合う。教義と聖約103:15を読む。シオンが主の力によって贖われることを証する。

教室に入ってきたときボランティア募集のポスターに気づいた生徒はどれくらいいるか聞く。教義と聖約103章の前書きを読む。ミズーリの聖徒たちへの援助を求めてカートランドへやって来たのはだれだったか調べる。103章はジョセフ・スミスにミズーリの聖徒たちを助ける方法を教えるものだった。預言者ジョセフはこの啓示を受けた後、30-40節の手順に従ってシオンへ行軍する志願者を募った。これらの志願者はシオンの陣営として知られている。

生徒に次のように言う。「1834年のカートランドに住んでいると仮定してください。ある日曜日に集会に出席したところ、教会の指導者から説明がありました。ミズーリの聖徒たちが苦しんでおり、その土地を取り戻すために主はある計画を用意されているとのことでした。この中でシオンの陣営に加わりたい人は何人いますか。」

一人の生徒が19, 22, 27-28, 30-33, 36節を読む。以下の質問をする。

- これらの聖句はシオンの陣営に参加するかどうか考えているあなたにどんな影響を与えるでしょうか。
- どんな動機で人々は陣営に加わったのでしょうか。
- 主は何人の人々がシオンの陣営に加わることを望まれたでしょうか(30節参照)。
- 志願者を何人募るかについて主は幾つかの案を出されました。それはなぜでしょうか(31節参照)。

シオンの陣営に加わった人々が受けた苦しみについて説明する(『時満ちる時代の教会歴史』, 143-144参照)。次のように質問する。「このような苦難に遭うことを前もって知っていたら、シオンの陣営に加わるのを止めていたでしょうか。」以下の質問について話し合う。

- 今日、どんな迫害や困難によってシオンの建設が遅らされているでしょうか。
- イスラエルを集めてシオンを贖うことについて、あなたはこれまでどんな方法で助けるよう求められてきたでしょうか。
- 9節に記されている主の勧告に従って生活するにはどうすればいいでしょうか。
- 27-28節は今日のわたしたちにどう当てはまるでしょうか。
- シオンの陣営に加わった人々の模範から、わたしたちはどんなことを学べるでしょうか。



## 教義と聖約104章

### はじめに

聖徒は乏しい者を世話するよう常に命じられている。主が初期の聖徒たちに組織するよう命じられた共同制度の目的の一つは、彼らがこの責任を果たせるように助けることだった。ブルース・R・マッコンキー長老は七十人定員会会員を務めていたときに次のように説明した。

「当時、試みられた完全な奉献の律法の実践において、聖徒たちはその財産のすべてを主の代理人に、『破ることのできない聖約と証書をもって』、奉献、譲渡することが求められていた(教義と聖約42:30; 58:35)。……貧欲〔や〕、……彼らが置かれた世俗の状況のため、聖徒たちはこの律法の実践に大した成功を収めなかった。そして、そのうち、主は彼らからそのような方法で世俗の諸事を運営する特権を取り去られた。

しかしながら、奉献の律法の一部であった原則の多くは今でも残され、教会に対して拘束力を持っている。」(『モルモンの教義』ビーハイブ出版, 472)

これらの原則の多くは教義と聖約104章で教えられている。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主と交わした聖約を守る人は祝福されるが、守らない人はのろわれる(教義と聖約104:1-10, 23, 31-42, 46参照。教義と聖約82:3も参照)。
- 教会の福祉活動は、奉献の律法の原則にのっとって貧しい人

の世話をする（教義と聖約104：11 - 18参照。2コリント9：6 - 7；モーサヤ4：16，26も参照）

- 神が創造された地球には、すべての子らを養うために必要なものが十分備わっている。すべてのものは神のものである。わたしたちは主の方法で自分の必要を満たし、貧しい人に与えなければならない（教義と聖約104：14 - 18参照）。
- 主はわたしたちに、負債を返済し、負債による束縛を避けるよう勧告しておられる（教義と聖約104：78 - 83参照。ローマ13：8；教義と聖約19：35；64：27も参照）。

## 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』，270 - 275。

## 教え方の提案

**教義と聖約104：1 - 46。教会の福祉活動は、奉献の律法の原則にのっとりて貧しい人の世話をする。**（45 - 50分）

教義と聖約104章の前書きを読む。次のように質問する。「共同制度とは何でしょうか。」一部の人は奉献の律法と共同制度とを混同していることを説明する。奉献の律法の下で、個人は天の御父の王国を建設するためにその時間、才能、金銭を奉献する（つまり与える）。奉献の律法は自発的な行為に基づく制度である。聖徒たちはこの律法に完全に従って生活するとき、この世のものについて平等になる。（平等とは「まったく同じ」という意味ではないことを指摘する。聖徒はそれぞれの正当な必要に応じて受け継ぎを得る。教義と聖約51：3；70：14参照。）共同制度は教会の初期の時代に確立された組織であって、奉献の律法を実践することを目的とした。マリオン・G・ロムニー長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「皆さんも御承知のように、共同制度の底流をなしているのは奉献と管理の職であり、その後には剰余を監督の倉にささげることである。什分の一の律法は、共同制度が一時停止された4年後に制定された。そのとき、主は民に『剰余の財産をすべて……監督の手にゆだねる』よう求められた（教義と聖約119：1）。そしてそれから後は、『毎年〔自ら〕の得る全利益の十分の一を納める』ようにと命じられた（教義と聖約119：4）。現在の什分の一の律法は、管理の職に関しては共同制度の原則を少なくともある程度実施している。つまり、自己とその家族の必要を満たすための財産を私有し管理する権利を人々に託しているのである。さらに、〔J・ルーベン・〕クラーク副管長は次のように述べている。

『……共同制度の下では剰余の財産が蓄えられていた。その代わりに、今日わたしたちには断食献金、福祉献金、什分の一があり、それらはみな貧しい人々を助け、教会の活動および事業を行うために使用される。』

共同制度の下で剰余としてささげていたであろう金銭を断食献金として納めるのを妨げるものがあるとしたら、それは何だろう。わたしたち自身の弱さ以外の何者でもない。

さらに、当時の聖徒たちには共同制度の名の下に監督の倉があり、そこに物資が蓄積されて、そこから貧しい者の

必要と入り用を満たしていた。現在のわたしたちには、教会の福祉計画の名の下に監督の倉があり、同じ目的のために使われている。〔Conference Report, 1942年10月, 57 - 58〕（Conference Report, 1966年4月, 100）

以下の質問をする。

- わたしたちは什分の一と献金を納めることによって、どんなふう<sup>に</sup>に奉献の律法に従う準備をしているのでしょうか。
- あなたは断食献金としてどれほどの金額を納めることができるのでしょうか。
- 今日、監督の倉にはどの献金からお金が入るのでしょうか。（断食献金や、その他の福祉献金などが答えに含まれる。）

教会が十分に確立されている地域には日用品や家庭用品を蓄えておく物資の倉があり、監督が利用できるようになっていることを説明する。教会にはさらに、雇用事務所、リサイクルショップ、缶詰工場、カウンセリングと養子縁組サービスがあり、監督は援助が必要な人々を助けるためにこれらを利用することができる。広い意味において、倉という語にはほかの人々を助けるために教会員が納めるすべての献金を指す。以下の言葉を分かち合う。

「主の倉の形態や機能はそれぞれの状況に応じて単純であったり複雑であったりします。単に会員が提供する奉仕、預金、食料貯蔵室に蓄えた食糧、建物に保管した日用品などをリストアップするだけでも主の倉と言えるでしょう。要は、忠実な教会員が助けを必要としている人に手を差し伸べ、地上に神の王国を導くために自分の時間、才能、技能、物資、金銭、そして愛を監督にささげるときに、それがすなわち主の倉となるのです。

したがって、主の倉は各ワードに存在し……ます。」（「主の道にかないて助けをなす 福祉に関する指導者用ガイド」，11）

教義と聖約104：1 - 18を生徒が1節ずつ順に読む。貧しい人の世話をすることに関する原則を探すように言う。話し合いを進めるために以下のような質問を活用する。

- 1，11節。貧しい人の世話をすることがなぜ、自分たち自身を組織するために役立つのでしょうか。
- 11 - 13節。管理の職とは何でしょうか。（主のものを管理することについて主から与えられた責任。）主は今日のわたしたちにどんな責任を与えておられるのでしょうか。（仕事、家族、教会の召しなどの答えが考えられる。）それらの責任を通して貧しい人の世話をしなければなりません。どうすればそれができるのでしょうか。
- 14 - 15節。これらの聖句はわたしたちの財産についてどんなことを教えているのでしょうか。
- 17 - 18節。すべての人が適切な養いを受けられるよう、主は何を備えておられるのでしょうか。

生徒はどんな職業に就きたいか考える（例えば、医師、農場経営者、主婦、教師、建築技師など）。何人かの生徒が自分が選んだ職業を発表する。生徒に次のように言う。「学業を終えて、望んだ職業に進んでいるとします。これから話す状況に陥った人々

を助けるために、あなたはどんなもの（道具、時間、才能、金銭など）を提供できるでしょうか。」

- 失業したため、家族を養うためのお金がない。
- 若い母親が事故で亡くなった。父親は精神的に参っている。しかも、幼い4人の子供たちをどう育てたらいいかわからない。
- 家族に1台しかない車が故障した。修理するお金がない。
- 近所に引っ越してきた家族がある。その家には修理しなければならぬ箇所がたくさんあるが、修理費がない。

付録（000ページ）から、「ワードの福祉活動 『マイン・ブルーダー』」を読む。ここには、教義と聖約104章に記されている原則をどのように応用できるかが示されている。

25, 31, 33, 35, 38, 42, 46節をざっと読む。そして、すべての聖句に含まれている語句は何か探す。以下の質問をする。

- 忠実な人々にはどんな祝福が約束されているでしょうか。
- 主から与えられた責任を忠実に果たすには、どうすればいいでしょうか。
- これらの聖句に記されている祝福に今日のわたしたちがあずかるには、どうすればいいでしょうか。

主から与えられている祝福について考えるよう生徒に勧める。ほかの人々に仕えるためにそれらの祝福を使うよう勧める。締めくくりとして「主の恵み、人にも分かたん」（『賛美歌』、138番）を歌う。または歌詞を読む。

**教義と聖約104：78 - 83。主はわたしたちに、負債を返済し、負債による束縛を避けるよう勧告しておられる。（15 - 20分）**

二人の生徒が教室の前へ出て来る。一人の生徒がもう一人の生徒から大金を借りていると仮定する。お金を借りている役の生徒に質問する。

- 借金をしたいと思いますか。それはなぜですか。
  - お金を貸してくれた相手に対して、どう感じますか。
- お金を貸した役の生徒に質問する。
- お金を貸したいと思いますか。それはなぜですか。
  - お金を貸した相手のことをどう思いますか。
  - 貸したお金が返ってこなかったら、どう感じますか。

全員に質問する。

- 利子が付くと、借金はどうなるでしょうか。
- 利子が付いて借金がふくれると、借りた人はどうなりますか。

以下の事実を紹介する。

- 1,000万円を年9パーセントの金利で30年借りると、利子は1,890万円以上になります。返済額の合計は2,890万円以上です。
- 200万円を年10パーセントの金利で6年借りると、利子は65万円以上になります。
- 年利19.6パーセントのクレジットカードを使って18万円の買い物をして、クレジットカードの約定に従って毎月最低限の金額で返済すると、全額を返済するのに何十年もかかり、利子は数十万円となります。

教義と聖約19：35；64：27；104：78を読む。負債に関して主がどんな勧告を与えておられるか調べる。次のように質問する。「これは大切な勧告です。なぜでしょうか」。ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「1938年4月、総大会の神権部会で、J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長はこの説教壇からこう語りました。『一度借金をすれば、利子は昼夜を問わずあなたに付きまとうのです。あなたはそれを阻むことも、逃れることも、また忘れることもできません。利子は懇願にも、威嚇にも、命令にも応じません。そして、やり方に口を挟んだり、反したり、要求に応じなかったりしようものなら、たちまちあなたを押しつぶしてしまおうのです。』（Conference Report, 1938年4月, 103）……」

ヒーバー・J・グラント大管長はこの説教壇から、繰り返しこう語りました。

『人の心と家族に平安と満足を与えるものを一つ挙げるとすれば、それはわたしたちが収入の範囲内で生活することです。わたしたちを虐げ、落胆させ、希望を失わせるものを一つ挙げるとすれば、それは返済できない借金を負い、果たせない義務を負うことです。』（Gospel Standards, G・ホーマー・ダラム編〔1941年〕, 111）……」

兄弟の皆さんに強く申し上げたいのは、家計の状態をよく調べて支出を抑えることであり、購買欲を抑えて、借り入れをできるだけ避けるということです。負債はできるだけ早く返済して束縛から逃れてください。』（『若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに』『リアホナ』1999年1月, 62）

教義と聖約104：78 - 83を読む。共同制度の下にあった会員たちが負債から逃れる方法について主から与えられた指示を見つけて。以下の質問をする。

- 勤勉、謙遜、祈りは、負債から抜け出すためにどんな助けとなるでしょうか。
- 時々貸し主の心が和らげられなければならない場合があります。なぜでしょうか。
- 負債を返済するために、わたしたちはだれにすがらなければならないでしょうか。
- これらの原則は負債を避けるためにどう役立つでしょうか。

負債から抜け出すことにより得られる祝福について証する。教会は金銭の扱いについて優れた模範を示していることを指摘する。第一に、教会は借金をしない。第二に、教会は受け取った金銭の一部を蓄えている。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように語った。

「教会の基金運営に当たって、わたしたちは確立された二つの基本的な原則に従っています。一つは教会がその収入の範囲内で運営されること、つまり収入以上の支出がないようにすることです。二つ目は、収入の一定の割合の額をいわゆる『緊急時』のために取っておくことです。

教会は、将来の緊急時のために資金や食料を蓄えておくよう、長年、会員たちに教えてきました。教会全体としても同じ原則に従おうと努めているにすぎません。』（『教会の現状』『聖徒の道』1991年7月号, 58）



## 教義と聖約105章

### はじめに

「シオンの陣営が正式に組織されたのは1834年5月6日で、オハイオ州ニューボーテージでのことであった。この陣営には最終的に207人の男性と11人の女性、11人の子供が加わった。預言者ジョセフはそれらの人々を10人と50人のグループに分け、それぞれに隊長を選ばせた。……陣営は45日間、ミズーリ州クレイ郡までの1,000マイル（約1,600キロ）もの道のりを一致して進んだ。過酷な状況の下、先を急ぎながらの行軍であった。……

陣営で強調されたのは、霊性と戒めを守ることであった。……そして預言者ジョセフはしばしば王国の教義を教えた。こう語っている。『神はわたしたちとともにおられ、主の天使はわたしたちを導いてくれています。わたしたちのこの小さな隊の信仰は決して揺るぎません。天使はわたしたちとともにいます。わたしたちはそれをこの目で見て知っています。』（*History of the Church*, 第2巻, 73）……

陣営は6月18日にミズーリ州クレイ郡に到着したが、ミズーリ州知事ダニエル・ダンクリンの約束は守られなかった。ダンクリンはシオンの陣営を援助して、追放された教会員を元に戻すと言っていたのである。こうしてシオンの陣営は軍事上の目的を遂げることができなかったのだが、このことが隊員にとって最後の試しとなった。失意と怒りのために辺りをはばかりに反抗する者も出てきた。その結果、預言者ジョセフは主が大変な災難を送られることを警告した。そして間もなく、コレラが陣営に広まった。そしてジョセフ・スミスを含む陣営の3分の1が倒れ、14人が命を失っている。（『わたしたちの受け継ぎ 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』, 27 - 28参照）（後に預言者ジョセフ・スミスはブリガムとジョセフ・ヤングに対してこのように語った。『兄弟たち、わたしは陣営の中でコレラによって命を落とした人たちを目撃しました。主は御存じです。もしわたしが彼らの得るような輝かしい住まいを得るとしたら、それ以上のことは何も望みません。』（*History of the Church*, 第2巻, 181n））

7月初旬、陣営の隊員は預言者ジョセフにより榮譽の解任を受けた。この行軍により明らかになったのは、だれが主の側に立つ者であり、だれが指導者の地位に就くにふさわしいかである。預言者は後にこの行軍の成果について次のように説明している。『神は皆さんに戦いを行ってほしくなかったのです。また神は、地上の国々でその福音の門戸を開く十二使徒や、十二使徒の指示によって定められた道をたどる七十人によって王国を組織するに当たり、自らの命をささげ、アブラハムのように偉大な犠牲を払う人々を必要とされたのです。』（ジョセフ・ヤング・シニア, *History of the Organization of the Seventies* (1878年), 14）（『わたしたちの受け継ぎ』, 27参照）

### 学び取るべき重要な福音の原則


- 主は奉獻の律法の完全な実施を中断された。聖徒が日の栄えの律法に従って生活しなければ、シオンは確立されない（教義と聖約105：1 - 13, 18 - 19参照。教義と聖約12：6 - 9も参照）。

- 苦難の中にあっても忠実な人たちは知識と経験と信仰の祝福を受ける（教義と聖約105：6, 10, 18 - 19参照。2ニーファイ2：1 - 2も参照）。
- 主は忠実な人を強め、彼らが主の力によって敵に打ち勝つよう助けてくださる（教義と聖約105：14 - 15, 27 - 30参照。ヨシュア10：12 - 14；イザヤ49：25も参照）。
- 自分の信仰や善い行いを自慢してはならない。へりくだって主に従うならば、人々から好意を持たれ、平和を見いだすであろう（教義と聖約105：23 - 27, 38 - 40参照。アルマ38：10 - 12も参照）。
- シオンが贖われ、新エルサレムが建てられるまで、教会において奉獻の律法が完全に実施されることはない（教義と聖約105：34参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 141 - 151。
- 『教義と聖約信徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 275 - 279。

### 教え方の提案

 教義と聖約101 - 105章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』15「シオンの陣営」(21：45)を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

**教義と聖約105章。主は忠実な人を強め、彼らが主の力によって敵に打ち勝つよう助けてくださる。苦難の中にあっても忠実な人たちは祝福を受ける。**（30 - 35分）

1コリント1：25 - 27を読む。以下の質問をする。

- 神はなぜ、世の人々から弱く単純な者と見なされる人々を選んで、御自分の目的を果たされるのでしょうか。
- ダビデとゴリアテの物語はこの原則をどのように裏付けているのでしょうか（サムエル上17：41 - 47参照）。
- 士師7：1 - 7を読んでください。ギデオンの軍隊の物語から何が学べるのでしょうか。
- 教義と聖約103：30 - 34を読んでください。シオンの陣営を集めることと、ギデオンの軍隊を集めることの間にある違いは何でしょうか。

105章の「はじめに」を読む。シオンの陣営を組織するに当たって主が抱いておられた目的を生徒が挙げる（『教義と聖約信徒用資料 - 宗教コース324 - 325』276ページの105章の歴史的背景から、デルバート・L・ステイプラー長老の話も参照）。

クラスを3つのグループに分ける。各グループに以下の課題から一つを割り当てる。課題が終わったら、それぞれのグループの代表者が、分かった事柄を発表する。

1. 教義と聖約105：1 - 6を読んでください。そして、主がシオンをこの時点で贖わなかったのはなぜか、その理由を挙げてください。教義と聖約12：6 - 9；14：6 - 7を読んでください。主は今日の聖徒たちに何を期待しておられると思いますか。日の栄えの律法に従う人々にはどんな祝福がもたらされるのでしょうか。
2. 教義と聖約105：7 - 13, 16 - 19を読んでください。そして、

主が教会員に期待しておられたことを挙げてください。シオンの陣営はこれらの期待にこたえたときにどんな祝福を受けたでしょうか。教会はどんな祝福を受けたでしょうか。この中で、主が現在のわたしたちにも期待しておられるのはどれだと思いますか。

3. 教義と聖約105: 14, 26 - 27, 31 - 41を読んでください。そして、主が最終的にシオンを贖われることを示している節を挙げてください。その時が来るまでに、わたしたちはどんなことをするよう期待されているのでしょうか。どうすればこれらの聖句に記された勧告に従えるようになるのでしょうか。

## 教義と聖約106章

### はじめに

主は106章の中で、ウォレン・カウドリに「その声を上げて人々に警告」(2節)するよう命じられた。また、彼が「人の悪賢い行いから身を引いた」(6節)ことを称賛された。この啓示の中で主は聖徒に向かって次のように警告を与えられた。

「主の来臨が近づいており、それは夜の盗人のように不意に世を襲う。

それゆえ、あなたがたは光の子となるために、腰に帯を締めなさい。」(4 - 5節)

大管長会で副管長を務めたN・エルドン・タナー副管長は、現代の聖徒に向かって同じような勧告を与えた。

「さて、わたしたち神権者は、自ら率先して世の人々の前に模範を示して、自分の罪を悔い改め、人々に救いの手を差し伸べ、神の戒めに従わなければならない。わたしたちは世の人々が救い主の再臨に備えるのを手助けする必要がある。ノアの時代の人々のように、あるいは思慮の浅いおとめたちにならないようにしようではないか。彼らは、洪水がいつ来るのか、花婿がいつ来るのか全く知らなかったため、何の備えもしていなかった。

わたしたちは今備えをしなければならぬ。マタイ伝を読んでみよう。『だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。……だから、あなたがたも用意をしていなさい。』(マタイ24: 42, 44)、「正しい声に聞き従う」『聖徒の道』1978年2月号, 68)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 福音を分かち合う人は、主の再臨によく備えられた者となる(教義と聖約106: 1 - 5参照。1テサロニケ5: 1 - 14; 教義と聖約88: 81 - 85も参照)。
- 主が約束しておられる祝福は、主の戒めに対するわたしたちの忠実さにかかっている(教義と聖約106: 6 - 8参照。教義と聖約130: 20 - 21も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 279 - 280。

## 教え方の提案

教義と聖約106章。主が約束しておられる祝福は、わたしたちの忠実さにかかっている。(10 - 15分)

何人かの生徒が、自分の学校の中で以下のような人になる可能性が最も高いと思う生徒の名前を挙げる。

- 国の指導者になる
- 有名な芸術家またはスポーツの選手になる
- 全世界を旅行する
- 独力で裕福になる

以下の質問について話し合う。

- このようなことは、必ず起こると保証できるわけではありません。なぜでしょうか。
- 人生で成し遂げる事柄に最も大きな影響を与えるのは、何だと思いますか。
- 人生で成し遂げる事柄について、主はどんな役割を果たしておられるのでしょうか。

黒板に見出しとして「戒め」と「祝福」と書く。106章を生徒が調べる。そして、それぞれの見出しに該当する情報を見つける。以下の質問をする。

- 福音を宣べ伝えることは、なぜ「気高かつ聖なる召し」なのでしょう(3節)。
- 「腰に帯を締めなさい」(5節)とはどういう意味でしょうか。(準備する、働く用意をする)
- 主の業のために、あなたはどんなふうに備えをすることができますか。
- 6節の「わたしの<sup>しやく</sup>身に身をかがめ」という語句に注目してください。この語句は、8節の祝福とどんな関係があるのでしょうか。
- 8節のもしという語には、どんな意味があるのでしょうか。この原則は、どんなふうにわたしたちに当てはまるのでしょうか。

『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(280ページ)から、教義と聖約106: 8の注解を読む。主は一人一人のために多くの祝福を用意しておられるが、それを受けるには忠実でなければならない。そのことを証する。

## 教義と聖約107章

### はじめに

十二使徒定員会会員を務めたジョン・A・ウイツォー長老は、107章について次のように語った。「これは人類に与えられた中で最も驚くべき啓示が収められた文書の一つです。これはまったくユニークなものです。似たようなものはほかにありません。……この啓示は、神権定員会の組織や、ある定員会とほかの定員会の関係について、分かりやすく説明しています。また、教会の裁判のあり方について、大まかに示しています。さらに、この啓示には、神権の初期の歴史を見事に描いた箇所もあります。人類の偉大な制度の基礎となるものについて、これほど少ない紙面で、

わずかな言葉を使って説明している文書はほかにはないと思います。

……これほど簡潔で分かりやすく、見事にまとめられている文書をほかに見つけることは、現在のところできません。これ以上の完璧さを求めることはできないと思います。」(Conference Report, 1935年4月, 80)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 神権とは神に代わって行動する権能である。神権には二つの区分、すなわちメルキゼデク神権とアロン神権がある(教義と聖約107:1-6, 14参照。教義と聖約84:14-18, 25-26も参照)。
- メルキゼデク神権は統治する権利(管理する権能)と、教会のすべての霊的な祝福の鍵を持つ(教義と聖約107:7-12, 18-19参照)。
- アロン神権は天使の働きの鍵を持ち、福音の外形上の儀式を執行する力を持つ(教義と聖約107:13-17, 20参照。教義と聖約13章も参照)。
- 主は教会を導くために3つの管理定員会を組織された。すなわち、大管長会、十二使徒定員会、七十人定員会である。彼らは教会員の信仰と祈りによって支えられている。その決定は、一致と義に基づいたものでなければならない(教義と聖約107:21-35, 38参照)。
- 主は各種の神権定員会を管理する役員を定めておられる。主はこれらの指導者に、その義務を学び、忠実であるよう命じておられる(教義と聖約107:21-39, 58-100参照)。
- 十二使徒定員会は教会を導くために必要なすべての鍵を持っている。また、それらの鍵により、大管長が亡くなったときに大管長会を再組織することができる(教義と聖約107:22-24参照)。
- 主はあらゆる神権時代に僕たちを召された。そして、地上における主の業を指示するために、彼らに神権の権能を与えてこられた(教義と聖約107:40-57参照。教義と聖約84:6-18も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 154 - 155。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 280 - 107。

## 教え方の提案

教義と聖約107:1-20。神権とは神に代わって行動する権能である。メルキゼデク神権は統治する権利(管理する権能)と、教会のすべての霊的な祝福の鍵を持つ。アロン神権は天使の働きの鍵を持ち、福音の外形上の儀式を執行する力を持つ。(20-25分)

付録(288ページ)から、「神権のワークシート」(教義と聖約107章)をコピーして生徒に配る。教義と聖約107:1-20を調べて、質問の答えを見つける。記入し終えたら、全員でワークシートの答え合わせをする。そして、答えについて話し合う。(質問6の「外形上の儀式」とは、バプテスマを施すことや、聖餐の祝福やバスなどのことである。)

一人の若い男性が神権について証する。また、その生徒に神権

を持つことによってどのように強められ、祝福されてきたかについて話すよう勧める。一人の若い女性に神権についての証と、自分にとってなぜ神権が大切かについて話すよう勧める。

教義と聖約107:21-38。主は教会を導くために3つの管理定員会を組織された。すなわち、大管長会、十二使徒定員会、七十人定員会である。彼らは教会員の信仰と祈りによって支えられている。その決定は、一致と義に基づいたものでなければならない。(20-25分)

注意: 数回の開会行事を使って、大管長会と十二使徒定員会の一人一人について、その生涯を紹介するシリーズを計画してもよい。彼らの写真を見せたり、名前を復習したりしてもよい。また、それぞれが大会で引用した聖文を紹介したり、彼らの証を読み、彼らの名前を暗記したりしてもよい。

有名な人の話か歌の録音を聞かせる。だれの声かを生徒が当てる。次に、大管長会または十二使徒定員会の会員の声を聞く。だれの声か生徒が当ててみる。(もし録音テープが入手できなければ、何人かの有名人と中央幹部の写真を見せて、当てさせてもよい。)音楽やスポーツ、映画のスターと比べて、教会の指導者をどれほどよく知っているか考えるように勧める。

大管長会、十二使徒定員会、七十人第一定員会の最新の写真を見せる(『リアホナ』の5月号と11月号に印刷されている)。以下の質問について話し合う。

- 中央幹部の一人に会うとしたら、どんな気持ちがすると思いますか。なぜそう感じますか。
- 教会を導くようにこれらの人々を選んだのは、だれでしょうか。
- 彼らに従うことはなぜ大切だと思いますか。

教義と聖約107:21-26を読む。以下の質問をする。

- 大管長会について述べているのは何節ですか。(22節)
- 十二使徒定員会について述べているのは何節ですか。(23-24節)
- 七十人第一定員会について述べているのは何節ですか。(25-26節)
- これらの定員会の会員が「同等の権能」を持つとは、どんな意味でしょうか。(24, 26節。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 282ページの教義と聖約107:22-26の注解参照)
- 24節によれば、主は教会を指導する権能がなくならないように、どんなふうに組織を作っておられるのでしょうか。

この質問に答えるために、十二使徒定員会のデビッド・B・ヘイト長老が語った以下の言葉を紹介する。

「1835年、これについての啓示が与えられ、規律正しい権威の継承について、明らかになりました。その啓示によれば、十二使徒定員会という組織体は大管長会と同じ権能を持つと述べられています(教義と聖約107:24参照)。これは、教会の大管長が亡くなった場合、大管長会は解散し、十二使徒定員会が自動的に教会の管理組織になるという意味です。この制度は教会の初代の大管長ジョセフ・スミスが亡くなったときに確立しました。

教会の新しい大管長会を組織する方法 主から啓

示を通して示され、会員たちによって支持された方法は、今日においても守られています。大管長会は、『教会員の信頼と信仰と祈りによって支持されるのです（教義と聖約107：22）』。「主に選ばれし予言者」「聖徒の道」1986年7月号、8参照）

黒板に見出しとして次のように書く。「大管長会の義務」、「十二使徒定員会の義務」、「七十人定員会の義務」、「わたしたちの義務」。教義と聖約90：12、14 - 16；107：21 - 35、78、91 - 92を生徒が読む。主がこれらの定員会に期待しておられることを探す。また、これらの定員会を支持するわたしたちに対する主の期待も見つける。生徒が見つけた事柄を該当する見出しの下に書き出す。話し合いを進めるために以下の質問を活用する。

#### 大管長会の義務

- 大管長会にはどんな義務があるでしょうか。
- 大管長会が義務を果たしている具体的な例を挙げてください。

#### 十二使徒定員会の義務


- 特別な証人とはどんな意味だと思いますか（23節参照。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』283ページの、教義と聖約107：23の注解も参照）。
- 十二使徒定員会の会員は、だれに対して証を述べるよう命じられていますか。
- 今まで十二使徒の証を聞いたときに得た印象について、話してください。

#### 七十人定員会の義務

- 七十人はどこで証を述べるよう命じられていますか。
- 現在七十人定員会は幾つあるでしょうか。（注意：1997年現在では、5つある）

#### わたしたちの義務

- 教会の幹部をさらによく支持するために、あなたには何ができるでしょうか（22節参照）。
- 教会の指導者を支持することはなぜ大切だと思いますか。

 **教義と聖約107：21 - 39、58 - 100。主は各種の神権定員会を管理する役員を定めておられる。主はこれらの指導者に、その義務を学び、忠実であるよう命じておられる。**（40 - 50分）

一人の生徒に風船を与える。生徒は風船をふくらませる（風船の口は結ばない）。それから、壁の目印に命中するようにして風船の口から手を離す。このことが指導者なしに神権定員会や若い女性のクラスが運営されることと、どこが似ているか生徒に聞く。

ストローに糸か釣り糸を通す。糸の片端を壁の目印につける。垂れ下がらないようにして、もう一方の端を反対の壁につける。風船をふくらませる。風船をテープでストローにはりつけ、手を離す。これが指導者のいる定員会やクラスと、どのように似ているか生徒に聞く。次のように質問する。「よく準備のできた、靈感あふれる指導者がいると、そのクラスの生徒は、目標を達成するために、どんな助けが得られるでしょうか。」

表から、各生徒に一つずつ職を割り当てる。教義と聖約107章から、対応する節を生徒が調べる。そして、その職の義務を見つける。

職	節
大管長	21 - 22, 65 - 67, 91 - 92
大管長会の会員	21 - 22, 27 - 32, 79 - 84
使徒	23 - 24, 27 - 33, 35, 39, 58
七十人	25 - 32, 34, 93 - 97
監督	61, 68 - 78, 87 - 88
長老定員会の会長	60, 89 - 90
教師定員会の会長	62 - 63, 86
執事定員会の会長	62 - 63, 85

割り当てられた職の責任について生徒が報告する。定員会の会長会で働いたことのある生徒がいれば、その職の義務について話すように勧めてもよい。

99 - 100節を読む。神権指導者は義務を学び、ふさわしく生活することが大切である。そのことについて証する。

**教義と聖約107：40 - 57。主はあらゆる神権時代に僕たちを召された。そして、地上における主の業を指示するために、彼らに神権の権能を与えてこられた。**（15 - 20分）

以下の質問について話し合う。

- 家族会議に参加したことのある人は、どれくらいいますか。
- 家族会議では、どんなことをしましたか。
- だれが司会をしましたか。
- 家族会議は何のために開かれるのでしょうか。
- 家族会議以外では、どんなときに両親から指示や指導を受けますか。
- 神権指導者からは、いつ指導や助言を受けますか。

教義と聖約107：53 - 56を生徒が読む。だれの家族の会議について述べられているかを調べる。以下の質問をする。

- 出席するように招かれたのはだれでしたか。
- この集会はどこで開かれたのでしょうか。
- アダムはこの世を去る前に、どんな目的で家族を集めたのでしょうか。
- アダムはそこでどんな預言をしたのでしょうか。

生徒は40 - 52節に目を通す。以下の質問をする。

- アダムは生きている間に、義にかなう男性の子孫に対して、ほかに何をしましたか。
- 彼らは神権を受ける正統な権能を持った人から神権を受けました。そのことを知るのにはなぜ大切なのでしょうか。
- 信仰箇条第5条は40 - 52節とどんな関連があるのでしょうか。神権を受けている若い男性の一人に質問する。
- あなたはだれから聖任されましたか。
- あなたは神から権能を受けた人から神権を受けました。そのことについてどう感じましたか。
- あなたはその権能によって何を行うことができますか。



## 教義と聖約108章

### はじめに

忠実な教会員であったライマン・シャーマンは、1835年のクリスマス翌日に預言者ジョセフ・スミスのもとを訪れた。ライマンは預言者に言った。「わたしは自分の思いと望みをあなたに知っていただこうと努力してきました。そして、啓示によって、わたしの務めが明らかにされるだろうという約束を受けました。」(History of the Church, 第2巻, 345) 主は108章の中で、導きに従ったライマンに、「あなたの罪は赦されている」と告げられた(1節)。そして主は言われた。「あなたの霊の立場について心を安らかにし〔なさい。〕……あなたはわたしの長老たちの最初の者とともに覚えられ〔るであろう。〕……わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福し、とこしえにあなたを救う。」(2, 4, 8節)

ジョセフ・B・ワースリン長老はこのように教えた。

「天の窓は、忠実で義になかった人々に大きく開かれます。不従順はこの窓を速やかに閉ざしてしまいます。ふさわしくない人々は、啓示された真理のネットワークに十分アクセスできません。……

天の窓を開くには、まずわたしたちの気持ち(おきて)を主の御心に一致させなければなりません。勤勉さと神の掟(かぎ)にあくまでも従順であることが天の窓を開く鍵(かぎ)です。わたしたちは、従順により主の御心(みこころ)と御旨(みむね)に敏感になります。」(「光と真理の窓」『聖徒の道』1996年1月号, 82 - 83参照)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は御霊(みたま)の声に進んで従う人(ゆる)を赦される(教義と聖約108: 1 - 2参照。モーサヤ26: 21 - 23も参照)。
- 教会員は主と聖約を交わしてそれを守るときに、主から「きわめて大いなる祝福」を受ける(教義と聖約108: 3 - 6参照。モーサヤ5: 5 - 7; 教義と聖約54: 6も参照)。
- 聖徒は祈りと生き方と善い行いによって互いに強め合うべきである(教義と聖約108: 7 - 8参照。ルカ22: 32; 2コリント1: 3 - 4; ガラテヤ6: 1; 教義と聖約81: 5も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 287 - 288。

### 教え方の提案

教義と聖約108章。教会員は主と聖約を交わしてそれを守るときに、主から「きわめて大いなる祝福」を受ける。(15 - 20分)

イエス・キリストの絵を見せる。生徒は主と個人的に話している場面を想像する。救い主から以下のどの言葉をかけてもらいたいか聞く。

- 「あなたの罪は赦されている。」(教義と聖約108: 1)
- 「あなたの霊の立場について心を安らかに〔しなさい。〕」(2節)

- 「あなたはきわめて大いなる祝福をもって祝福されるであろう。」(3節)
- 「わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福し、とこしえにあなたを救う。」(8節)

なぜその言葉をかけてもらいたいかを生徒が説明する。主からこのような祝福をいただくために、自分に何ができるとするかを生徒が考え発表する。

主は忠実な教会員であったライマン・シャーマンにこれらの約束をすべて与えられたと説明する。教義と聖約108章を生徒が読む。これらの祝福を受けるために助けとなる主の指示にしるしをつける。以下の質問を使って話し合いを展開する。

- 人々はどんなふうに主の声に逆らっているでしょうか。(主の僕たちの勸告を無視することによって。)
- 2ニーファイ1: 23と教義と聖約108: 3を比較してください。人はどのように「立つ」ことができるでしょうか。
- 「誓い」とは何でしょうか(3節)。それはどんな点で聖約と似ているでしょうか。
- 「さらに注意深く守りなさい」とは、どういう意味でしょうか。
- 「忍耐強く待〔つ〕」ほどの価値がある祝福には、どんなものがあるでしょうか(4節)。(答えとしては、神殿の儀式、啓示、聖めなどが考えられる。)
- あなたはどんな方法で「あなたの兄弟たちを強め」ることができますか(7節)。

108章の「はじめに」から、最初の段落を読む。ライマン・シャーマンは個人の啓示に従った。そのことが、どのようにしてこれらの祝福につながったかについて話し合う。主に従順であることによって同じような祝福を受けられることを生徒たちに証(あかし)する。108章の「はじめに」から、ジョセフ・B・ワースリン長老の言葉を分かち合う。



## 教義と聖約109章

### はじめに

1832年12月27日、主はカートランドの聖徒たちにこう命じられた。「一つの家、すなわち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、栄光の家、秩序の家、神の家を建てなさい。」(教義と聖約88: 119) 神殿の建設は1833年6月に始められた。聖徒たちは3年近くにならって時間と財産を極限まで犠牲にして、1836年3月に神殿を完成させた。3月27日、預言者は教義と聖約109章の祈りを読んで神殿を奉獻した(預言者はこの祈りを以前に啓示によって受けていた)。この祈りは、ほかの神殿の奉獻の祈りのひながたとなっている。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は大管長会で副管長を務めていたときに、神殿を建てるために聖徒たちが進んで犠牲を払う理由を説明した。

「末日聖徒イエス・キリスト教会によって建てられた神殿は、すべて教会員(あかし)の証を表すものです。その証とは、わたしたちの永遠

の父なる神が生きておられ、あらゆる世代にわたる神の息子、娘たちを祝福するための計画を立てられたこと、ユダヤのベツレヘムで生まれ、ゴルゴタの丘で十字架にかかられた、神の愛子、キリストであるイエスが、世の救い主、贖い主であられること、主の贖いの犠牲により、福音を受け入れ実践する人々に永遠の命をもたらす計画の実現が可能となったということです。大小、新旧を問わずすべての神殿は、この世があるのと同じように死後の生活が真実確かに存在するというわたしたちの証を表しています。人の霊が永遠のものでないならば、神殿の必要性はありません。これらの神聖な宮の中で執り行われる儀式の効力は永遠に及ぶものです。……

……地上でつながれることを天でもつなぐこの権能は、これらの神殿の中で行使されます。わたしたちは皆、肉体の死を受けません。しかし贖い主の犠牲によって実現された永遠の計画を通して、この世の人生におけるどんなすばらしい事柄よりも無限に大きな栄光に向かって歩むことができるのです。

こういうわけで、初期の時代の聖徒たちは、あれほどの強い信仰を持って、わたしたちの永遠の父なる神とその愛子、主イエス・キリストにささげるのにふさわしい家を建てるために、一生懸命力を尽くしたのです。また、〔教会の初期の時代〕の神殿も、……それ以後に建てられた神殿もみな、そのような目的のために建てられたのです。』（「平和な神の宮居」『聖徒の道』1993年7月号、76参照）


## 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖徒たちはカートランドに神殿を建てるようにとの主の命令を成し遂げた。ほかのすべての神殿と同様に、カートランド神殿は神権の権能によって奉獻された（教義と聖約109：1-4参照。教義と聖約88：119も参照）。
- イエス・キリストが「その民に御自身を現す」ための場所を得られるように、聖徒たちは犠牲を払って神殿を建てる（教義と聖約109：5。教義と聖約97：15-17；124：26-27も参照）。
- 神殿は聖徒たちが主の臨在と力を感じ、知恵を求め、聖霊の全きを受け、神の律法に従って組織される場所である（教義と聖約109：6-16参照。教義と聖約124：36-41も参照）。
- 神殿において義にかなって礼拝する人たちは、主の目に喜ばしい者とされ、敵から守られ、また終わりの時に神が全地に注がれる災いから救い出される（教義と聖約109：20-26、45-46参照。教義と聖約97：15-25も参照）。
- 神のすべての子らに福音を宣べ伝え、再臨に備えさせるために、神の僕たちは神殿において神の御名と力と守りを受ける（教義と聖約109：15、22-23、35-41参照。教義と聖約38：38；43：15-16も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、161 - 168。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、289 - 292。

## 教え方の提案

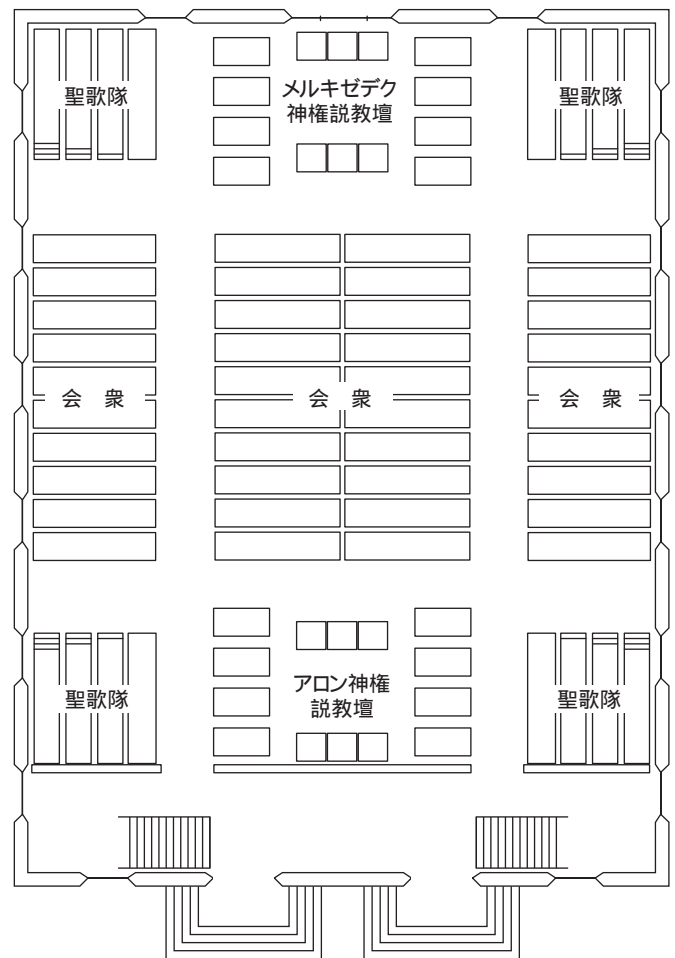
 教義と聖約109章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』16「力を授けられて」

（12：20）を使用することができる（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）。

**教義と聖約109：1-5。聖徒たちはカートランドに神殿を建てるようにとの主の命令を成し遂げた。ほかのすべての神殿と同様に、カートランド神殿は神権の権能によって奉獻された。（25-30分）**

以下の間取り図に基づいて教室を前もって準備しておく。これはカートランド神殿の間取り図を基にして書かれたものである。（あるいは黒板に間取り図を書き写す。）

カートランド神殿の間取り図



末日の神殿の写真の何枚か見せる。神殿のオープンハウスが奉獻式に出席したことがある生徒がいるかどうか聞く。もしあれば、その生徒に経験や感じたことを分かち合うよう勧める。以下の質問をする。

- 神殿を建てるための費用は、どうやって集めるのでしょうか。（什分の一とその他の献金。）
- 聖徒たちは神殿を建てるためにどんな犠牲を払っているでしょうか。

カートランド神殿の絵を見せる（『福音の視覚資料セット』、500参照）。カートランド神殿を建てるために初期の聖徒たちが払った犠牲の例を紹介する（『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、161 - 163参照）。

教義と聖約109：1-5を生徒が読む。カートランド神殿が建て

られた理由にしるしをつける。以下の質問について話し合う。

- 初期の聖徒は、なぜカートランド神殿を建てたのでしょうか。
- この神殿を建てるために、どんな犠牲が払われたのでしょうか。
- 聖徒たちはどんな犠牲にも勝る価値のある、ある祝福を望んでいました。それはどんな祝福だったでしょうか。(「人の子がその民に御自身を現す場所を得られるように」すること。〔5節〕)

教室の中がなぜこのように配置されていると思うか聞く(あるいは黒板の図を示す)。カートランド神殿の内部と同じように教室を配置したことを教える。生徒に次のように言う。「今、カートランド神殿の奉献式に出席していると想像してください。」

- この神権時代で初めての神殿の奉献式に出席するために、あなたは式の始まるどれくらい前に会場に到着したいと思います。
- だれにいちばん会いたいですか。
- ジョセフ・スミスが奉献式を執り行うために説教壇に立ちました。あなたはどんな気持ちを感じますか。説明してください。

『時満ちる時代の教会歴史』(164 - 165ページ)から、奉献式の詳細を説明する。教義と聖約109:35 - 37を生徒が読む。そして、使徒2:1 - 6と比較する。以下の質問をする。

- 預言者は何を求めて祈りましたか。
- この祈りがこたえられるのを目の当たりにするとしたら、それはあなたにとって何を意味しますか。

その夜の集会で起きたことを一人の生徒が読む。預言者ジョセフ・スミスはこのように記した。

「突如として起こった強い風の音が聞こえ、その音が神殿を満たしました。すべての人が、目に見えない力に動かされたかのように、立ち上がりました。多くの人が異言(外国語)で預言し、すばらしい示現を見る人もいました。大勢の天使たちがいるのを見たわたしは、そのことを皆に宣言しました。しばらくすると、神殿内の不思議な音を聞き、火の柱のように注いでいるまぶしい光を見た近所の人々が、走ってやって来ました。彼らも神殿内で起きている出来事を見て驚きました。」(History of the Church, 第2巻, 428)

109章の「はじめに」から、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の言葉を分かち合う。「主のみたまは火のごと燃え」(『賛美歌』, 3番)を歌うか、歌詞を読んで締めくくる。

**教義と聖約109:5 - 9。イエス・キリストが「その民に御自身を現す」ための場所を得られるように、聖徒たちは犠牲を払って神殿を建てる。(10 - 15分)**

一軒の家かアパートの写真を見せる。または黒板にその絵を描く。家やアパートの中で行われる典型的な活動を挙げる(食事、家事、家庭の夕べ、テレビを見るなど)。神殿の写真を見せる。神殿の中で行われることを挙げる(死者のためのバプテスマ、両親との結び固め、永遠の結婚など)。以下の質問をする。

- 主の宮とあなたの家との違いは何でしょうか。
- 家庭の雰囲気や神殿の雰囲気に近づけるために、あなたは何かができるでしょうか。

教義と聖約109:5 - 9を読む。以下の質問について話し合う。

- 5節によれば、わたしたちが神殿を建てる理由の一つは何でしょうか。
- 「神の家を建て」るためにわたしたちには何ができるでしょうか(8節。7 - 9節参照)。
- これらの事柄の中で、あなたの家庭でもできるのはどれでしょうか。
- 8節の原則を実行することは、家庭の雰囲気を神殿の雰囲気に近づけるために、どう助けになるでしょうか。

ジョセフ・B・ワースリン長老の以下の言葉を分かち合う。

「世の苦しきから癒される場所は家庭です。家庭を世の悪を避ける正義のとりでとするには、絶えざる努力と勤勉が必要で……

救いの計画の中では、どの家族も神の子供たちを日の栄えに導くための、主の手に使われる貴重な器です。不滅の人を正しく育てることは最高の仕事であり、それを行う場所は家庭です。この永遠の仕事を遂行するために、福音中心の家庭を築かなければなりません。平安と調和があれば、絶えず聖霊がとどまります。悪魔の大風も入り口で締め出すことができます。……

主が示された神殿建設の標準は、家庭に霊性を築くためにも適用できます。『あなたがた自らを組織しなさい。すべての必要なものを用意しなさい。そして、一つの家、すなわち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、栄光の家、秩序の家、神の家を建てなさい。』(教義と聖約88:119)この主の勧告を心に留め、主の求めに従っているでしょうか。この計画に従って家庭を築くなら成功します。これ以外の計画は失敗します。」「(「堅固な家庭、家族」『聖徒の道』1993年7月号, 71 - 72参照)

**教義と聖約109:10 - 28, 38 - 46。神殿は聖徒たちが主の臨在と力を感じ、知恵を求め、聖霊の全きを受け、神の律法に従って組織される場所である。神殿において義にかなって礼拝する人たちは、主の目に喜ばしい者とされ、敵から守られ、また終わりの時に神が全地に注がれる災いから救い出される。(30 - 35分)**

有名な企業のロゴか、有名なスポーツチームのマスコットを見せる。以下の質問をする。

- このシンボルはだれを、または何を表しているでしょうか。
- このシンボルは、何を伝えているでしょうか。
- この企業(またはチーム)は、なぜこの形をシンボル(またはマスコット)に選んだのでしょうか。
- あなたが自身を表すとしたら、どんなシンボルを使いますか。

ハワード・W・ハンター大管長の以下の言葉を黒板に書く。「末日聖徒の皆さんが主の神殿を教会員であることの崇高な象徴(シンボル)とするようにお勧めします。」「(「尊く、大いなる約束」『聖徒の道』1995年1月号, 9) どうすればそれを実行できるか生徒に聞く。

預言者ジョセフ・スミスはカートランド神殿の奉献の祈りの中で、聖徒たちが神殿の礼拝について特別な祝福を受けるようお願い

求めたと説明する。教義と聖約109：10 - 28, 38 - 46を生徒が読む。そして、その祝福に関連するすべての語句にしるしをつける（『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』290ページには、教義と聖約109：10 - 60の注解に幾つかの例が挙げられている）。以下の質問をする。

- これらの祝福は一人一人の教会員に、どんな影響を与えるでしょうか。
- これらの祝福のうちどの祝福が、神殿での礼拝から日常生活に得られる主の力を示しているのでしょうか。
- あなたが最も必要としている祝福、あるいはいちばん欲しい祝福はどれでしょうか。
- ハンター大管長は神殿を教会員であることの崇高な象徴（シンボル）とするように勧めました。ハンター大管長の勧めをさらによく理解するために、これらの祝福はどう役立つでしょうか。

生徒はもう一度10 - 28, 38 - 46節に目を通す。今度は、これらの祝福を得るためにしなくてはならない事柄を丸で囲む（または蛍光ペンでしるしをつける）。以下について話し合う。生徒は自分の考えを分かち合う。

- これらの祝福は、わたしたちが行うべきことと、どんな関係があるでしょうか。
- これらの祝福を得るために努力する価値はあるでしょうか。どうしてですか。

毎日福音に従って生活して、これらの祝福を得よう生徒を励ます。「神殿に行きたいな」（『子供の歌集』、99）の歌詞を読む。または歌う。

**教義と聖約109：15, 22 - 23, 35 - 46, 50 - 80。神のすべての子らに福音を宣べ伝え、再臨に備えさせるために、神の僕たちは神殿において神の御名と力と守りを受ける。（35 - 40分）**

以下の質問について話し合う。

- すべての若い男性は伝道に出るべきであると預言者が語ったのはなぜだと思いますか。
- すべての人が神殿へ行くことはなぜ大切なのでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長が語った以下の言葉を分かち合う。「またすべての宣教師が、ふさわしい状態で神殿に参入し、神殿参入を、伝道の召しを受けることよりもはるかに大いなる輝かしい体験とできるよう、彼らに備えをさせましょう。」（「神殿に心を向ける民」『聖徒の道』1995年5月号、6参照）次のように質問する。「ハンター大管長はなぜこの指示を与えたと思いますか。」

教義と聖約38：32 - 33；105：11 - 12；110：9を生徒が読む。以下の質問をする。

- 主は福音を教える僕たちに、教え始める前に何かを受けることを望まれました。それは何だったのでしょうか。
- 主はもしも僕たちが主の家でエンダウメントを授けられてから教え始めるなら、どれくらいの人々がその教えの影響を受けると言われたのでしょうか。
- 教義と聖約109：15, 22 - 23を読んでください。神殿では、宣教師が務めを果たす助けとなるどんな祝福が受けられるでしょうか。

- これらの聖文に書いてあることは、神殿を教会員であることの崇高な象徴（シンボル）とするようにハンター大管長が強く望んだことと、どうつながっているのでしょうか。

生徒は教義と聖約109：43 - 60に目を通す。預言者ジョセフ・スミスがどんな人々のために祈ったかをリストアップする。また預言者がそれぞれの人について述べたことを発表する。以下の質問をする。

- 福音はここに挙げたそれぞれの人に、どう祝福をもたらすことができるでしょうか。
- これらの人々に影響を与えるために、宣教師はどんな力が必要でしょうか。
- 72 - 76節を読んでください。これらの節によれば、わたしたちは世の人を何に対して備えさせようとしているのでしょうか。
- 神殿は主の来臨に対して、宣教師と改宗者の両方をどう備えることができるでしょうか。

ハンター大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「福音を宣べ伝え、聖徒を完全にし、死者を贖うために<sup>あがな</sup>払うあらゆる努力は、聖なる神殿と関連しています。なぜなら、神殿の諸儀式は非常に重要なものであり、儀式がなければ神のみもとに戻ることはできないからです。皆さん一人一人がふさわしい状態で神殿に参入するよう、あるいは、聖なる宮に参入して自身の儀式と聖約を受ける日に向けて努力するようお勧めします。

神殿の意義と美しさ、そこで得られる平安を、皆さんが日々の暮らしの中でもっと身近に感じられますように。それは、福千年、すなわち、あの約束された時を迎えることができるようにするためです。その時が来れば、「彼らはそのつぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかって、つるぎをあげず、彼らはもはや戦いのことを学ば〔ず〕……主の光に歩むようになるのです。（イザヤ2：4 - 5）」（「神の御子に従う」『聖徒の道』1995年1月号、97 - 98参照）

## 教義と聖約110章

### はじめに

M・ラッセル・バラード長老はこのように述べた。

「数年前、〔家族とわたしは〕カートランド神殿の中に座って、預言者ジョセフとオリバー・カウドリが、真理の啓示を受けたときにどのような気持ちがあったらと想像してみました。二人は、『輝く神の御座……には御父と御子が座しておられ〔る〕』（教義と聖約137：3）のを見ました。また、『主が……教壇の手すりの上に立っておられる』のを見ました。そして、主がこう言われるのを聞いたのです。『あなたがたの罪は赦されており、あな



たがたはわたしの前に清い。それゆえ、頭を上げて喜びなさい。」  
〔教義と聖約110：2，5〕

兄弟姉妹、ジョセフとオリバーがどのように感じたか想像できますか。モーセ、エライアス、エリヤが、鍵と、神権時代と、結び固めの力を託すためにやって来たのです。約2,000年前に変貌の山で起きたことと大差ないことが起きたのです。」「(「驚くべき主の啓示」『聖徒の道』1998年7月号，36 - 37参照)

ロバート・D・ヘイルズ長老はこのように付け加えた。

「この末日に永遠の家族という約束が回復されたのは、1829年、メルキゼデク神権の力が地上に回復されたときでした。7年後、カートランド神殿で、結び固めの儀式を執行する鍵が回復されたの……です。

これらの鍵と神権の権能の回復によって、ふさわしいすべての人に永遠の家族という祝福を得る機会が訪れました。……

〔しかし〕永遠のきずなは、神殿で結び固めの聖約を交わした結果として、自然に生じるものではありません。この生涯での行いの結果が、わたしたちの永遠の行く末を決めるのです。天の御父が備えてくださった結び固めの祝福を受けるには、戒めを守り、家族と一緒に暮らしたいと願えるような方法で行動しなければなりません。この地上で得ている現在の家族関係は確かに大切です。しかしそれは、この地上で何世代も続き、またとこしえにわたって継続する家族への影響を考えると、なおさら大切です。」「(「永遠の家族」『聖徒の道』1997年1月号，72 - 73参照)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の民が戒めを守り、清い心を持ち、主の聖なる家を汚さなければ、主は神殿において御自身を現される(教義と聖約110：1 - 8参照。教義と聖約97：15 - 17も参照)。
- ジョセフ・スミスはカートランド神殿において、「高い所から力」を授けられ、イスラエルの集合の鍵と家族の結び固めの鍵を受けた(教義と聖約110：9 - 16参照。教義と聖約38：32，38；43：16；95：8；105：11 - 12も参照)。
- カートランド神殿において神権の鍵が回復されたため、無数の主の子供たちが生者も死者も神殿の儀式を受けられるようになった(教義と聖約110：11 - 16参照。教義と聖約2章；112：32；128：20 - 21も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』，161 - 168。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』，293 - 296。

## 教え方の提案

教義と聖約110：1 - 8。主の民が戒めを守り、清い心を持ち、主の聖なる家を汚さなければ、主は神殿において御自身を現される。(15 - 20分)

教会が建てるすべての神殿の壁には、何と書いてあるか知っているか聞く。(「主の宮居 - 聖きを主にささぐ」)

- 主の宮居という言葉は、神殿について何を示しているでしょうか。
- 神殿は主の家です。あなたはいつ主が神殿を訪れたか知

っていますか。

- 聖きを主にささぐとはどんな意味だと思えますか。
- 神殿で礼拝する準備をするうえで、この言葉をどう自分に当てはめますか。

教義と聖約110章の前書きを生徒が読む。ジョセフ・スミスがこの示現を受ける前に行った事柄を挙げる。以下の質問をする。

- 預言者の行動は聖きを主にささぐという語句と、どう関連するでしょうか。
- 主から祝福を受けるための準備について、預言者の模範から何が学べるでしょうか。

以下の質問について話し合う。同時に教義と聖約110：1 - 8を読む。

- ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにだれが現れたでしょうか。
- ジョセフとオリバーはなぜ主を見ることができたのでしょうか(教義と聖約76：12；モーセ1：2，11参照)。
- 5節によれば、救い主はジョセフとオリバーになぜ「喜びなさい」と言われたのでしょうか。これはわたしたちにどう当てはまりますか。
- 主の神殿で礼拝するときに、8節の原則に従うことは、聖きを主にささぐうえで、どんな助けとなるでしょうか。

ニール・A・マックスウェル長老が語った以下の言葉を読む。

「きょうわたしは、もうすでに教会員となっている人々のうち、主の弟子としての献身が十分でない人々、つまりわたしたちが愛し、主の王国の建設のため大いに必要としている人々に向かって呼びかけたいと思います。……

……うわべは普通に教会の活動に参加しているようでも、彼らのためらいや煩いはすぐ明らかになります。彼らは聖なる神殿にも参入しているかもしれませんが、聖なる神殿は、彼らの心の中に入っていない。」(「心に決めなさい」『聖徒の道』1993年1月号，72参照)

- 「彼らは聖なる神殿にも参入しているかもしれませんが、聖なる神殿は、彼らの心の中に入っていない」とは、どんな意味だと思えますか。
- なぜ、神殿に入っているのに力と祝福を受けない人がいるのでしょうか。
- 「聖なる神殿が心の中に入る」ようにするにはどうすればよいでしょうか。



教義と聖約110：11 - 16。カートランド神殿において神権の鍵が回復されたため、無数の主の子供たちが生者も死者も神殿の儀式を受けられるようになった。(45 - 50分)

一時的に家族のもとを離れたときのことを話すよう生徒に勧める。そのときどう感じたかについて生徒が話す。以下の質問をする。

- なぜ、もう一度、家族と一緒にになりたいと思いましたか。
- あなたが家族のもとへ帰れるように、あなたの家族は何をしてくれましたか。

預言者ジョセフ・スミスは亡くなってから数年後に、夢の中でブリガム・ヤング大管長に現れて、次のように語ったと教える。

「主の御霊<sup>みたま</sup>を持ち続けるよう、民に必ず教えてください。そうすれば、自分がこの世に来る前に天の御父と一緒にいたということが分かるでしょう。天の御父は人類の家族を組織されました。しかし、その秩序は現在まったく乱されて、大きな混乱に陥っているのです。」( *Manuscript History of Brigham Young, 1846 - 1847*, エルデン・J・ワトソン編 [1971年], 530)

以下の質問について話し合う。

- この言葉によれば、どの家族が引き裂かれているのでしょうか。
- このように家族が引き裂かれているため、神の家族はどんな影響を受けているのでしょうか。
- 神の家族を再び一つにするために、あなたはどんな努力をしたいと思いますか。
- ジョセフ・スミスはブリガム・ヤングに、天の御父の家族を組織するために聖徒に必要なのは何であると教えたのでしょうか。(主の御霊。)

1836年4月3日、カートランド神殿において、天の使いたちが神権の鍵<sup>かぎ</sup>をジョセフ・スミスに授け、神の家族を組織する業を助ける役割を与えたと説明する。教義と聖約110:11-16を生徒が読む。これらの使いがだれであるかを調べる。また、彼らが何の鍵を持って来たかを調べる。

黒板に見出しとして、「集合」、「アブラハムの福音」、「結び固めの力」と書く。神の家族を組織するためには、これら一つ一つに対する鍵<sup>かぎ</sup>が必要であると説明する。必要に応じて以下の提案を活用しながら、一つ一つについて順に話し合う。話し合いの中で出て来る大切な事柄を該当する見出しの下に書き出す。

## 集合

教義と聖約110:11を生徒が読む。モーセは神権の何の鍵<sup>かぎ</sup>を回復したか生徒に聞く。主は時折、イスラエルの部族を散乱させたり、移したりしたので、彼らは聖地から全世界に散らばったと説明する。十部族はおもにイスラエルの北王国に住んでいた。彼らは紀元前721年にアッシリア人に捕えられ、連れ去られた。ユダの南王国に住んでいた残りの部族は、リーハイの時代にバビロンへ捕虜として連れて行かれた。彼らはまた、イエス・キリストの復活後にローマ人によって再び散らされた。十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「イスラエルはなぜ散らされたのでしょうか。……わたしたちの先祖であるイスラエルが散らされたのは、福音を拒み、神権を汚し、教会を捨て、王国から離れたからです。……イスラエルが散らされたのは彼らが背教したためです。主は悪と背きの故に彼らをお怒りになり、地のあらゆる国の異教の民の間に散らされたのです。」( *A New Witness for the Articles of Faith*, 515)

主は終わりの時にイスラエルの家を集めることを約束しておられると説明する(2ニーファイ10:7参照)。なぜモーセが集合の鍵<sup>かぎ</sup>

を持っていたのが生徒に聞く(出エジプト3:4-10参照)。一人の生徒がジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を読む。

「モーセは集合の鍵<sup>かぎ</sup>を持っていました。モーセはイスラエルをエジプトから脱出させて、カナン<sup>かんにん</sup>の地へ導きました。モーセはこの神権時代に来るように、また、近代の集合の鍵を回復するように任命されていました。」( *Church History and Modern Revelation*, 第2巻, 48)

次のように質問する。「わたしたちは今日どんなふう<sup>こんにち</sup>にイスラエルの家を集めているのでしょうか。」一人の生徒がスペンサー・W・キンボール大管長の以下の言葉を読む。

「さて、イスラエルの集合とは、彼らが真の教会に加わって、真の神について知るようになるということです。……したがって、回復された福音を受け入れて、現在自分の国の言葉で、自分の国の聖徒たちとともに主に礼拝しようと努めている人は、だれでも、イスラエルの集合の律法に従っており、この終わりの時に聖徒に約束されたすべての祝福を受け継ぐ者なのです。」( *The Teachings of Spencer W. Kimball*, 439)

以下の質問をする。

- わたしたちにとって集合の鍵<sup>かぎ</sup>はなぜ大切だと思いますか。
- 天の御父の家族が集合するのを助けるためにどんなことができるでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を分かち合う。

「ユダヤ人、すなわち、神の民が、あらゆる時代に集められたのはなぜでしょう。……」

そのおもな目的は、主のために一つの家を建てることです。そうすれば、民は主から、主の家の儀式を明らかにしていただき、主の王国の栄光を示していただき、救いに至る方法を教えていただくことができたのです。」( *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 307 - 308)

預言者ジョセフ・スミスは集合の鍵<sup>かぎ</sup>を授けられた。そのおかげで、教会の宣教師たちは福音を宣べ伝えて、あらゆる地に住むイスラエルを集める権能<sup>あかし</sup>を持っていると証している。そして、この集合の業が行われているおかげで、神殿を建設して、天の御父の子供たちに救いの儀式を執行することができる<sup>あかし</sup>と証する。

## アブラハムの福音

教義と聖約110:12を生徒が読む。そして、集合の鍵<sup>かぎ</sup>の次にジョセフとオリバーに授けられたものを見つける。一人の生徒がブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「では、アブラハムの福音とは何だったのでしょうか。…それは神聖な約束のことでした。この世にあっても、この世の外でも、アブラハムの子孫は続くという約束です。」

『彼らは星のように数限りなく続く。すなわち、たとえ海辺の砂を数えたとしても、彼らを数え尽くすことはできないであろう。』〔教義と聖約132：30；創世17章；アブラハム2：1-12。〕

ですから、アブラハムの福音は、日の栄えの結婚に関する福音でした。……その結果として、すべての将来の世代に生きる義にかなった人々は、永遠に子孫が続くという祝福を保証されたのです。それは、過去においてアブラハムが受けた祝福とまったく同じ祝福なのです。〔教義と聖約132章〕(Mormon Doctrine, 219 - 220)

以下の質問をする。

- アブラハムの福音は、末日聖徒にどんな祝福を与えているでしょうか。(日の栄えの結婚と永遠の家族。)
- これらの祝福は、あなたにとってなぜ大切ですか。

以下の質問について話し合う。同時にアブラハム2：9-11を読む。

- アブラハムとその子孫には、どんな祝福が約束されたでしょうか。
- アブラハムの子孫には、どんな責任が与えられたでしょうか。(すべての国民に福音を携えて行く。9節参照)
- 福音を受け入れるすべての人々には、何が起きるでしょうか。(アブラハムの子孫になる、すなわち、アブラハムの家族の一員となる。10節参照)
- アブラハムの子孫が福音を教えるとき、それを受け入れる地のすべての氏族は、どんな祝福を受けるでしょうか。(11節参照)
- 永遠の命を受けるには、どんな儀式を受けなければならないでしょうか(答えにはバプテスマと神殿の儀式が含まれるべきである)。

福音を受け入れ、従うことによって、神の家族が組織され、一つになることを証する。さらに、福音に従わない人たちは、混乱した状態にとどまることを証する。

### 結び固めの力

モロナイはジョセフ・スミスを訪れたとき、マラキの預言を引用して、救い主の再臨に先立ってエリヤが神権を現すと教えた。そのことを生徒が思い起こせるようにする(マラキ4：5-6；教義と聖約2：1；ジョセフ・スミス-歴史1：38-39参照)。この預言は1836年4月3日、カートランド神殿において成就した。生徒とともに教義と聖約110：13-16を読む。エリヤは何を行うことになっていったか、また、それはなぜかを生徒に聞く。以下の質問をする。

- 今日、子孫と先祖は、互いに対して、どんなふうに関心を向けているでしょうか。
- これらの神権の鍵は、わたしたちが何に備えるためにあるのでしょうか。(イエス・キリストの再臨。)
- マラキ4：1を読んでください。この聖句によれば、どんなのろいが地を撃つのでしょうか。
- 「根も枝も残さない」とは、どういう意味だと思いますか。(家族から切り離される。)

- エリヤが回復した神権の鍵から、あなたと家族は、どんな祝福を得ているでしょうか。

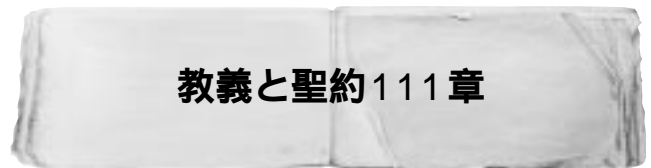
『教義と聖約生徒用資料-宗教コース324-325』(296ページ)から、教義と聖約110：16の最後の注解を読む。読んでいる間、以下の点に注意する。

- 神権の結び固めの力は、地と天においてすべてのものを結び固める。
- ジョセフ・スミスは生者と死者の救いに関するすべての儀式を執行する権能を受けた。
- 結び固めの鍵は福音のすべての儀式を有効にする。
- 忠実な会員は、これらの鍵によって、すでに世を去った先祖のために結び固めとその他の救いの儀式を執行することができる。
- 従順な者たちは、この力によって、主が再臨されるときに地を襲うのろいから救われる。

エリヤはこの世と永遠にわたって神権の儀式を結び固める権能を回復したと証する。この権能によって、わたしたちは両親と、両親はそのまた両親と、という具合に代々さかのぼって結び固められる。つまり、結び固めの権能は神の家族を組織して、一つにする力を持っていると説明する。モーサヤ5：15を読む。次のように質問する。「確固として揺らぐことなく、いつも多くの善い行いをしていると、何が起るのでしょうか。」

一人の生徒が、十二使徒定員会会員を務めていたときにハワード・W・ハンター長老が語った以下の言葉を読む。

「これが時満ちる神権時代の大きい業であり、これによって先祖の心は子らに、子らの心は先祖に向けられるのです。神の家族の結合と贖いは、地の基が置かれる前からの神の計画でした。」(「予言者エライジャ」『聖徒の道』1972年6月号、247参照)



## 教義と聖約111章

### はじめに

あらゆる人は誤りを犯す。単純で、すぐに克服できる間違いもあれば、さらに重大な問題へと発展する間違いもある。教義と聖約111章で明らかにされていることによると、正しい意図で行動しているときに誤りを犯してしまった場合、主はそれらを克服できるよう助けてくださり、さらにその誤りを成功へつなげてくださることが分かる。後に七十人定員会の一員となったブルース・C・ヘーフエンは次のように述べた。

「贖罪によって、わたしたちの欠けているところは満たされ、曲がったところはまっすぐになり、弱いところは強くなるのです。」

救い主の勝利は、わたしたちの罪を償ってくださるだけでなく、わたしたちの力不足も補ってくださいます。故意による過ちだけでなく、知らずに犯した罪や、誤った判断、そして自分ではどうしようもない不完全さをも償ってくださいます。わたしたちの究極の望みは、罪の赦しを得ることだけではありません。わたしたちが求めることは、聖くなること、キリストの持つておられるような優れた特質を授けられること、キリストと一つになること、

そして、キリストのようになることです。神の憐れみこそが、わたしたちが自分にできるすべてを行った後で、最後にその望みをかなえてくれるのです。」(The Broken Heart [1989年], 20)

(さらに資料を必要とする場合は、生徒用学習ガイドの111章に記されている情報を参照する。)

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は御自分の子供たちの救いを大切に思っておられる(教義と聖約111:1-4, 7-10参照。ゼカリヤ9:16-17; マラキ3:17; 教義と聖約18:10も参照)。
- わたしたちの方法は、必ずしも主の方法と一致しない(教義と聖約111:1-2, 5-6, 11参照。イザヤ55:8-9も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 169 - 170。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 298 - 299。

## 教え方の提案

教義と聖約111:1-4, 7-10。主は御自分の子供たちの救いを大切に思っておられる。(15-20分)

レッスンの数日前に、一人の生徒に、マサチューセッツ州セーレムの昔の住民と創建者たちについての報告を2分で行うよう頼んでおく。その生徒は、資料として、教義と聖約111章の前書きと7-9節を調べ、また、『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(298ページ)から、教義と聖約111:9の注解を参照して、報告の準備をする。この報告はこの「教え方の提案」の終わり近くで行う。

水の入った瓶と大きな金額を記入した紙を見せる。以下の質問をする。

- この水とこの紙に記されているお金を比べてください。どちらが欲しいですか。なぜそう思いますか。
- どんとき、水はお金よりも価値があるでしょうか。
- 永遠を視野に入れて考えてください。どういうふうに水が使われるとお金に替えられない価値を持つでしょう。(バプテスマや聖餐の儀式で水を使う。)

教義と聖約111章の前書きを読む(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』296ページから、教義と聖約111章の歴史的背景も参照)。生徒用学習ガイドから、愚かな行為の意味を生徒が調べる(教義と聖約111章の「聖文を理解する」参照)。教義と聖約111:1を読む。預言者ジョセフ・スミスがマサチューセッツ州へ行ったことについて、主がどう考えておられたかを調べる。セーレムへの旅のどこが愚かな行為だったか質問する(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』296 - 297ページの教義と聖約111:1-6の注解から、最初の3段落までを参照)。

2-4節を読む。主がセーレムにどんな宝を用意しておられたかについて話し合う。『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(297ページ)の教義と聖約111:1-6の注解の最後の3段落にある情報を選んで読む。以下の質問をする。

- このことから、主が御自分の子供たちの永遠の幸福を案じておられることについて、何がわかりますか。

- 主はあなたを「宝」と考えておられます。それは、あなたにとってどんな意味がありますか。

7-10節を生徒が読む。次のように質問する。「セーレムには伝道の大きな可能性がありました。しかし、主は『この町の……昔の住民と創建者たち』について語り、ほかの宝もあることを教えられました。それはどんな宝のことでしょうか。」(9節)簡単に話し合った後で、割り当てを与えておいた生徒がこれらの節の意味について報告する。預言者が純粋な動機から犯した過ちを主が祝福に変えてくださったことについて要約するよう生徒に勧める。主は生徒たちの誤りも祝福に変えてくださる。どんなケースが考えられるか、生徒に聞く。

## 教義と聖約112章

## はじめに

トーマス・B・マーシュ(この神権時代において十二使徒定員会の初代会長を務めた人物)の生涯から、わたしたちは重大な教訓を得ることができる。112章の中で主がマーシュ会長に与えた勧告を読めば、主がトーマスの長所と短所を御存じであったことが分かる。主は彼に「自分を高くしてはならない」と警告された。また「わたしの僕ジョセフに背いてはならない」とも警告された(15節)。さらに「あなたは謙遜でありなさい。そうすれば、主なるあなたの神は手を引いてあなたを導き、あなたの祈りに答えを与えるであろう」とも言われた(10節)。マーシュ会長がもしこの勧告に聞き従っていたならば、彼はもっと幸せな人生を送っていたことだろう。わたしたちも主と主の教会の指導者に謙遜に従うならば、もっと大きな幸せを得られる。(さらに資料を必要とする場合は、生徒用学習ガイドの112章に記されている情報を参照する。)


## 学び取るべき重要な福音の原則

- 十二使徒は神権の鍵を持ち、あらゆる国民にキリストを証するためには召されている。彼らはへりくだり、清い心を持ち、預言者を支持し、救い主に従うよう命じられている(教義と聖約112:1, 4-5, 10, 14-15, 21-22, 28-34参照。教義と聖約18:26-28; 107:23, 35も参照)。
- 謙遜であるならば、主はわたしたちを救い、導き、祈りにこたえてくださる(教義と聖約112:3, 10参照)。
- 主が地球を清められる時が来ると、主はまず御自分の教会から、特に、単に主を知っているふりをしているだけの人たちから清めを始められる(教義と聖約112:23-26参照。マタイ7:21-23; ローマ9:6; ヒラマン4:11; 教義と聖約41:1-5も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 172 - 176。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 298 - 301。

## 教え方の提案

 教義と聖約112章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』17「心をかたくなにしなければ」(11:45)を使用することができる(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)。

**教義と聖約112:3, 10. 謙遜であるならば、主はわたしたちを教し、導き、祈りにこたえてくださる。(10-15分)**

自分が知っている謙遜な人について、その人を表現するにふさわしい言葉を挙げるよう生徒に勧める。適切であれば、その人の謙遜さについて生徒が具体的に話す。教義と聖約112:3, 10を読む。以下の質問について話し合う。

- ほんとうに謙遜な人は、天の御父に対してどんな気持ちを持っているでしょうか。
  - 謙遜であることは、祈りの答えを受けると、どう関係しているでしょうか。
  - 主はどんな方法で謙遜な人を導かれるでしょうか。
  - さらに謙遜になるには、どうすればいいでしょうか。
- スペンサー・W・キンボール大管長の以下の言葉を分かち合う。

「人はどうしたら謙遜になれるのでしょうか。謙遜になるためには、自分が依存していることをいつも思い起こさなければならぬ、とわたしは考えています。だれに依存しているのでしょうか。わたしたちの主に依存しているのです。いつもそのことを思い起こすにはどうすればよいでしょうか。心から、絶えず、礼拝の気持ちを持って、感謝の祈りをささげることによって、思い起こすのです。……

謙遜さとは、素直さのことです。素直さとは、自分だけがすべての徳と能力を備えているのではないと悟る力のことです。」(The Teachings of Spencer W. Kimball, 233)


ジーン・R・クック長老が語った以下の言葉を読む。生徒は、謙遜であることが祈りにどう影響するかに注意しながら聞く。

「謙遜になると、自分が主に依存していることに気づきます。依存しているという気持ちがあると、様々な事柄について主に助けと導きを求めるようになります。そして、主の助けと導きを受けるために心と思いを開くようになるのです。……

主に依存していることを自覚すると、謙遜さが増してきます。そして、主との真に交わる能力が高められるのです。ほんとうに謙遜な人は、自分にできることは全力を尽くして行きます。なぜならそのような人は、祈りの答えというものは、お互いに努力した結果与えられるということを知っているからです。つまり、祈りがこたえられるには、人と神がともに努力する必要があります。」(Receiving Answers to Our Prayers, 20, 23-24)

以下の質問について話し合う。

- 自分が主に依存していることに気づけば、主に助けを求めることが容易になります。なぜでしょうか。
- 主に依存していることに気づけば、さらに謙遜になり、よく祈れるようになります。なぜでしょうか。

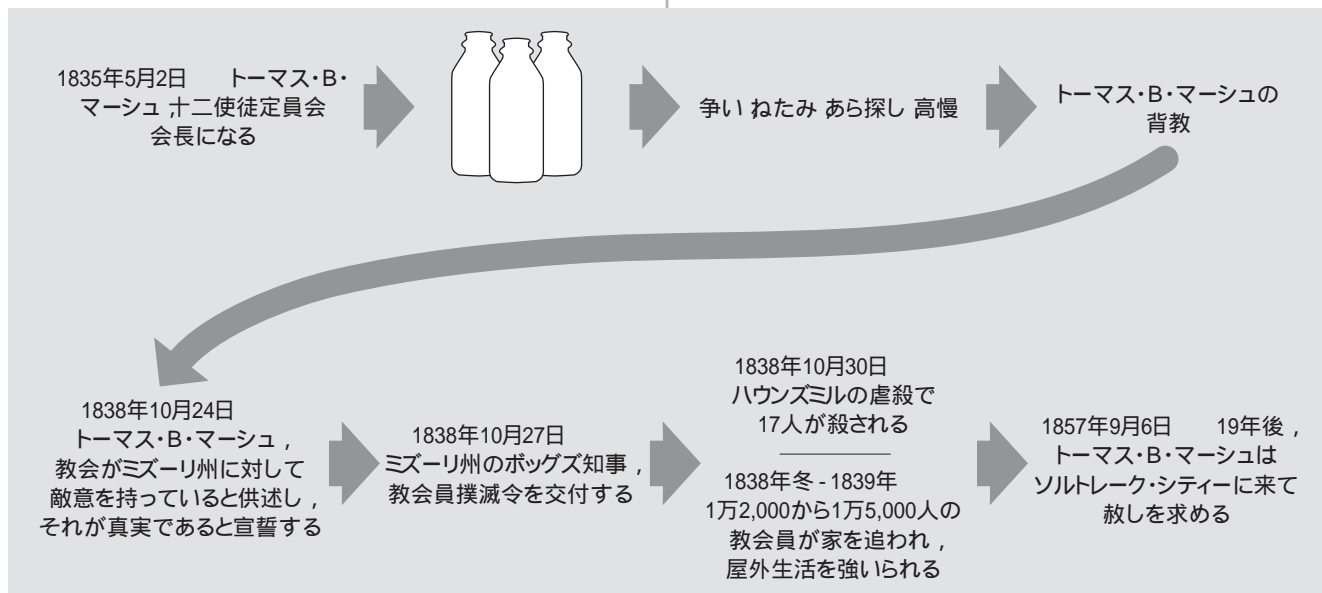
 **教義と聖約112章。トーマス・B・マーシュの背教という出来事から、教会の指導者に謙遜に従って主の御霊を** 持ち続けることの大切さが分かる。(25-30分)

レッスンが始まる前に下の図を黒板に書き写しておく。

お互いをよく知っている二人の生徒が前に出て来る。片方の生徒に以下のような質問をする。

- あなたはこの人のことをどれくらいよく知っていますか。
- どうして、この人のことをよく知るようになったのですか。

もう一人の生徒に次のように質問する。「この人よりもあなたのことをよく知っている人がほかにいますか。」天の御父がその生徒をどれほどよく御存じかについて話し合うよう生徒に勧める。次のように質問する。「天の御父はなぜわたしたち一人一人をよく御存じなのでしょうか。」(御父はすべてのことを御存じである。2ニーファイ9:20参照。)



天の御父は、わたしたちのことをわたしたち自身よりもよく御存じであると証する。天の御父は、わたしたちの長所と短所を御存じであり、何に対して深い喜びを感じるかを御存じである。だからこそ、御父はわたしたちに勧告を与えることがおできになるのである。教義と聖約31：9，12 - 13；112：2，10，15を読む。これらの節から、トーマス・B・マーシュに与えられた勧告を黒板に書き出す。以下の質問について話し合う。

- トーマス・B・マーシュはどんな弱点を抱えていたでしょうか。
- 短気と高慢に悩む人のために、主はどんな勧告を与えておられるでしょうか。

112章の啓示が与えられてから約1年後にマーシュ会長が教会を離れたのは、クリームについての意見が衝突したことが原因だったと生徒に教える。一人の生徒が生徒用学習ガイドから、この衝突についてのジョージ・A・スミスの説明を読む（「聖文を理解する」教義と聖約31：9 - 13参照）。黒板に書き出した出来事の図表を読む。生徒用学習ガイドに戻って、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の言葉を読む。マーシュ兄弟の話の最初の部分から、「『いつ、どんなふうに御霊を失ったのか』という疑問です」までを読む。黒板の一覧表を指して、次のように質問する。「トーマス・B・マーシュはいつ御霊を失ったと思いますか。それはなぜでしょうか。」しばらく話し合った後に、生徒用学習ガイドから、マーシュ兄弟の話の残りを読む。

何人かの生徒に、トーマス・B・マーシュの経験から学んだ事柄を一文でまとめて話すよう勧める。預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を分かち合う。

「皆さんに王国の奥義の鍵を一つ与えましょう。その鍵は一つの永遠の原則です。その原則は神とともに、永遠にわたって存在してきました。つまりこうです。人が立ってほかの人を非難するならば、つまり、教会のあら探しをして、自分は正しいが教会の人々は道を踏み外していると言うならば、その人は背教へと続く広い道を進んでいるのだということです。このことを確かに知っておいてください。もしもその人が悔い改めないならば、神が生きておられるように確かに、彼は背教者となるでしょう。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 156 - 157）

神殿の推薦状の面接の中で、指導者を支持しているかどうかという質問を受けることを説明する。「はい」と答えなければ推薦状を受けることができない。わたしたちは預言者と教会の指導者を支持することによって、生活の中に聖霊を保てること、また、指導者に対して批判的であると御霊を失うことについて証する。

## 教義と聖約113章

### はじめに

使徒ペテロはこのように教えた。「聖書の預言はすべて、自分勝手に解釈すべきでない……。」（2ペテロ1：20）啓示が常に与え

られていることの大きな祝福の一つは、聖文を理解するための助けが与えられているということである。ある聖句についての最も優れた解釈が、ほかの聖句から与えられることがしばしばある。教義と聖約113章にはイザヤ書に関する質問と預言者ジョセフ・スミスが靈感によって受けた答えが載っている。

預言者の役割の一つは、聖文を解釈することである。J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長はこのように説明した。

「管理大祭司である大管長だけが教会に対する預言者、聖見者、啓示者として支持されており、教会全体のために啓示を受ける権利を有するのは大管長だけです。新たな啓示であろうと、過去の啓示の変更であろうと、特定の聖文に対する教会全体を拘束する公式な見解の表明であろうと、すべて同じです。」（“When Are Church Leaders’ Words Entitled to Claim of Scripture?” *Church News*, 1954年7月31日, 10）

### 学び取るべき重要な福音の原則

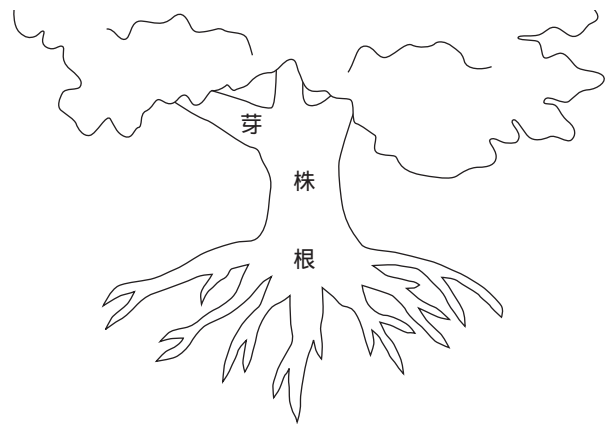
- 主の預言者は、聖文を解釈するための啓示を受けることができる（教義と聖約113章参照）。
- 主は王国の鍵を回復して、神権をわたしたちに与えられた。その神権は、散乱したイスラエルを贖い、シオンを確立する力を持つ（教義と聖約113：5 - 10参照。教義と聖約86：8 - 10も参照）。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 302 - 303。

### 教え方の提案

教義と聖約113章。主の預言者は、聖文を解釈するための啓示を受けることができる。（15 - 20分）



一人の生徒が1本の木を黒板に描く（根、幹、枝を描いていることを確認する）。図のように名称を書き入れる。イザヤ11：1 - 5，10を生徒が読む。芽、株、根が、それぞれ何を表しているかを考える。数分間話し合ってから、教義と聖約113：1 - 6に目を通す。これらの木の象徴の意味を見つける。以下の質問をする。

- エッサイの株（幹）とはだれのことでしょうか（教義と聖約113：1 - 2参照）。
- イザヤ11：1 - 5では、イエス・キリストの性質がどんな言葉で表されているでしょうか。

- 芽（枝）とはだれのことでしょうか（教義と聖約113：3 - 4参照）
- 4節のどの言葉が、ジョセフ・スミスのことを表していると考えられますか。
- 根とはだれのことでしょうか（教義と聖約113：5 - 6参照）。（注：この質問の答えがすぐに見つからなくても、そのまましておく。）
- 6節によれば、この人は何を「正当に所有する」のでしょうか。
- 神権と王国の鍵は、どんな目的のために働くのでしょうか。

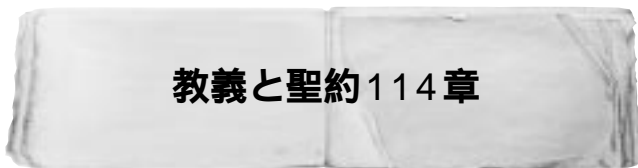
エッセイの根とはだれのことを理解できるようにするために、ブルース・R・マッコンキー長老による以下の説明を分かち合う。

「〔イザヤ11：10の中で〕述べられている……預言者はジョセフ・スミスであると言ったら誤りでしょうか。ジョセフ・スミスは神権を与えられ、王国の鍵を受け、この神権時代に主の民を集める旗を掲げました。さらに、ジョセフは『キリストの手の中の一人の僕であって、幾分はエフライムの子孫、すなわちヨセフの家の子孫であるだけでなく、幾分はエッセイの子孫でもあり、大きな力を授けられる者』（教義と聖約113：4 - 6）ではなかったでしょうか。無限の御方のささやきに耳を傾ける者たちはこれらのこのの意味を知るでしょう。」（*The Millennial Messiah*, 339 - 340）

モロナイは1823年9月21日の夜から22日にかけて、預言者ジョセフ・スミスにイザヤ書11章を引用して、「それはまさに成就しようとしている」（ジョセフ・スミス - 歴史1：40）と述べた。そのことを指摘する。

イザヤ52：1；教義と聖約113：7 - 8を半数の生徒が声を出さずに読む。イザヤ52：2；教義と聖約113：9 - 10を残る半数の生徒が声を出さずに読む。学んだことについて発表するよう、各グループの生徒に勧める。預言者の説明によって、イザヤの言葉がどれほど明確になったかについて、例を挙げる。次のように質問する。「このことを知っているといないとでは、今日の預言者の言葉に対するあなたの注意の向け方はどう変わりますか。」

主はわたしたちを祝福するために、聖文の理解を助けてくれる預言者を与えておられると証する。113章の「はじめに」から、J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長の言葉を読む。



## はじめに

教義と聖約114：1の中で、主はデビッド・W・パッテン長老に、1839年の春にほかの11人の者とともに伝道に行くために備えをするよう指示を与えられた。パッテン長老はこの使命を果たすことができなかった。1838年10月にモルモンに敵対する暴徒との衝突で殺されたからである。パッテン長老はこの世を去るまで教会に忠実であったが、このとき伝道に召された者の中には忠実でない

者もいた。主は2節で、忠実でない者はほかの者に代えられると言われた。（さらに資料を必要とする場合は『生徒用資料』の114章に記されている情報を参照する。）

教会には、天の御父に仕える方法がたくさんある。たとえ小さな奉仕の行いであっても、それには価値がある。主はこのように教えておられる。「それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大いなる業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大いなることが生じるのである。」（教義と聖約64：33）トーマス・S・モンソン副管長はこのように述べた。

「謙遜な祈り、たゆまぬ準備、そして信仰篤い奉仕を通して、わたしたちは自分に与えられた神聖な召しを果たすことができます。……」

……わたしたちが主の使いとして働き、主の目的を達成するために主がわたしたちを助け手として用いておられると悟るときほど、すばらしい気持ちを感じることはありません。」（「奉仕の召し」『聖徒の道』1992年1月号、54）

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 召されたときに主によく仕えることができるよう、わたしたちは今備えなければならない（教義と聖約114：1参照）
- 奉仕の業に召された者が忠実でなければ、主はほかの者を代わりに立てられる（教義と聖約114章参照。教義と聖約118章も参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、186、199。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、303 - 304。

## 教え方の提案

教義と聖約114章；118章。奉仕の業に召された者が忠実でなければ、主はほかの者を代わりに立てられる。（10 - 15分）

「み旨のまま行かん」（『賛美歌』、172番）を歌う。または歌詞を読む。以下の質問をする。

- この賛美歌を歌うとき、教会のどんな業が思い浮かびますか。
- この賛美歌の言葉は、伝道活動以外にも当てはめることができます。それはどんな言葉ですか。

教義と聖約112：19 - 21；118：3を読む。忠実に仕える者たちに主が約束しておられる祝福を黒板に書き出す。以下の質問をする。

- 専任宣教師の働きに当てはまる祝福はどれでしょうか。
- 教会のほかの召しにも当てはまる祝福はどれでしょうか。

教会で忠実に奉仕することによって、ほかの人々の生活にどんな影響が及ぶか生徒に聞く（モルモン書ヤコブ1：19参照）。教義と聖約114章；118：1、6を生徒が読む。人が信仰と証を失うとどんなことが起きるか話し合う。（これらの節の中で難解な言葉があれば『生徒用資料』を参照する。）これらの事柄と、黒板に書き出した主の約束とを比較する。

教会の召しを果たすことによって生活に祝福をもたらした人に、感謝の手紙を書くよう勧める。

## 教義と聖約115章

### はじめに

今日、ある人々はわたしたちの教会を「モルモン教会」と呼んでいる。ラッセル・M・ネルソン長老は次のように教えた。

「正式な名称としてほかに何かはないか考える前に、思慮深い人はこのような名称を授けてくださった天の御父の御心を敬虔な気持ちで考えるでしょう。……

主は次のような厳粛な警告をしておられます。『すべての人は、わたしの名をどのように口にするか気をつけなさい。』さらにまた、『上から来るものは神聖であり、それについては注意して、……語るようにしなければならないことを覚えておきなさい』とおっしゃいました（教義と聖約63：61，64）。ですから、主の聖なる御名が尊いものであるように、主がその教会にお与えになった名称も尊いものです。」「わが教会は、……末日聖徒イエス・キリスト教会と称えらるべし。』『聖徒の道』1990年7月号，16，19）

末日聖徒イエス・キリスト教会という名称は115章の中で啓示された。（さらに資料を必要とする場合は『生徒用資料』の115章に記されている情報を参照する。）


### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主の教会は現在の神権時代において末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならないことを主は宣言された（教義と聖約115：3-4参照。3ニーファイ27：8も参照）。
- シオンのステークは終わりの時に民を罪悪から守るための防御となり、避け所となる。わたしたちが主の神殿を建て、神殿において礼拝を行い、主の預言者に従うときに、主はわたしたちを守ってくださる（教義と聖約115：5-19参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』，186 - 187。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』，304 - 306。

### 教え方の提案

 教義と聖約115：1-4。主の教会は現在の神権時代において末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならないことを主は宣言された。（15 - 20分）

黒板に次のように書く。「キリストの教会」、「モルモン教会」、「イエス・キリストの教会」、「神の教会」、「末日聖徒の教会」。これらの名称に共通している事柄を生徒に聞く。（これらの名称はみな、初期の時代にわたしたちの教会を指して使われた。）教義と聖約115章の前書き（節の概要を含む）と1-4節を生徒が読む。主が御自身の教会に与えられた名称に生徒がしるしをつける（末日聖徒イエス・キリスト教会）。3ニーファイ27：8を生徒が読む。以下の質問をする。

- 主の教会に主の御名がつけられていることはなぜ大切でしょ

うか。

- 教会の名称が啓示されたのは、教会が組織されてから何年後でしょうか（教義と聖約20：1参照）。
- 教会がイエス・キリストの真の教会であるためには、ほかに何が必要でしょうか。（イエス・キリストの福音の上に築かれていなければならない〔3ニーファイ27：8参照〕、使徒と預言者がいなければならない〔エペソ2：19-20参照〕、など）

教義と聖約115：3-4と教義と聖約1：30を生徒が相互参照する。以下の質問について話し合う。

- 主は教義と聖約1：30で、御自身の教会について語っておられます。何とおっしゃっているでしょうか。
- 救い主の教会はなぜ「生ける教会」なのでしょう。
- わたしたちは主の教会の会員として、主に喜ばれるために今日何ができるでしょうか。

115章の「はじめに」から、ラッセル・M・ネルソン長老の言葉を読む。主の教会の忠実な会員として生活することはどんな点で主の名を尊ぶことになるのか話し合う。

**教義と聖約115：5-19。シオンのステークは終わりの時に民を罪悪から守るための防御となり、避け所となる。わたしたちが主の神殿を建て、神殿において礼拝を行い、主の預言者に従うときに、主はわたしたちを守ってくださる。（20 - 25分）**

きれいなコップをトレーの上に載せて半分まで水を入れる。コップの中にコルクを入れる。一人の生徒がコップをトレーから持ち上げる。その際コルクをコップの側面に触れさせてはならない（コルクはコップの側面に吸い寄せられて行く）。コップをトレーに戻す。水を静かに注ぎ、コップの縁に来たところで止める（今度はコルクが中心部に吸い寄せられて行く）。なぜコルクは中心部に浮いているのか生徒に聞く。水位に注目できるようにする。コップの側面の高さや水の高さを比べる（水の中心部はコップの側面より高い位置にある）。

教義と聖約115：5-6を生徒が読む。この聖句に出てくる言葉を水、コルク、コップの側面にたとえる。必要に応じて以下の質問を使う。

- コルクがあなたを表し、コップの側面がわたしたちを取り巻いている誘惑と罪を表しているとしめます。水位を上げることは何を表しているでしょうか。（聖徒たちが福音に従って生活し、支部やワード、地方部、ステークに集まるならば強められる。）
- あなたが誘惑に陥らないよう、ほかの教会員はどのようにあなたを強めてくれますか。
- これら聖句によると、聖徒は誘惑を克服した後何をしなければならないでしょうか。
- 立って光を放つには何ができるでしょうか（マタイ5：14-16参照）。
- 旗、防御、避け所とはどんな意味でしょうか（これらの用語については『生徒用資料』を参照）。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会はどのように旗、防御、避け所となることができるでしょうか。
- 同じ標準を持つ人々と一緒にいる方が福音に従いやすいのはなぜでしょうか。



主は聖徒たちになぜファーウェストに集合するよう命じられたのでしょうか。教義と聖約115：7 - 11を読む。そして、その理由を調べる（注意：ファーウェストの神殿の歴史については「教え方の提案」教義と聖約124：49 - 55を参照する）。預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を分かち合う。

「神権の原則と律法は、世のあらゆる時代における民の集合に基づいて打ち立てられるというのが、世界が存在する前に開かれた天の評議会で定められた計画でした。……人の救いのために、神権によって、創世の前に天において定められた儀式は、変更されてはならないのです。すべての人は同じ原則に基づいて救われなければならないのです。

神が終わりの時に御自分の民を集められるのは、同じ目的のため、すなわち、儀式とエンダウメント、洗い、油注ぎに対して民に心構えをさせ、主にささげる宮を建てさせるためです。」( *Teachings of the Prophet Joseph Smith* , 308 )

ファーウェストのほかに、聖徒たちが集合することになっていた場所はどこでしょうか。教義と聖約115：17 - 18を生徒が読む。そして、その場所にしるしをつける。教会の初期の時代に聖徒たちは特定の場所に集まるよう求められていたことを説明する。生徒が例を挙げる（オハイオ州、ミズーリ州、イリノイ州、ユタ州）、スペンサー・W・キンボール大管長の以下の話を分かち合う。

「教会の初期の時代、わたしたちは集合の一環として、人々にユタ州へ来るよう説いていました。世界中で唯一神殿のある場所だったからです。現在、……わたしたちはあらゆる人をソルトレーク・シティーへ連れて来る必要はありません。……

そして現在、集合が行われています。韓国の人々にとっては韓国が集合の地であり、オーストラリアの人々にとってはオーストラリアが、ブラジルの人々にとってはブラジルが、イギリスの人々にとってはイギリスが集合の地なのです。」( *Conference Report, Korea Area Conference* , 1975年, 60 - 61 )

神殿において礼拝することによって誘惑に打ち勝ち、主の祝福を受けられることを証する。ゴードン・B・ヒンクレイ大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

「わたしは、世界中の末日聖徒のために神殿が比較的近い所に建つようになることを切に願っています。……神殿の業は、わたしたちになし得る限りの速度で進んでいます。この業が速度を増し、それによってもっと大勢の人々が神聖な主の宮に参入しやすくなるように、わたしはいつも祈っています。」(「伝道と神殿、そして管理の職」『聖徒の道』1996年1月号, 60参照)

## 教義と聖約116章

### はじめに

ベツレヘムや聖なる森、クモラの丘などは、そこで起こった出来事のゆえに神聖な場所である。ミズーリ州デイビーズ郡のアダム・オンダイ・アーマンはもう一つの聖なる場所である。死を前にしたアダムは義になかった子孫をここに集めて、「最後の世代に至るまでその子孫に起こることを預言した。」(教義と聖約107：56。53 - 55節も参照)さらに、アダム・オンダイ・アーマンは終わりの時の大切な集合場所となる。ブルース・R・マッコンキー長老はその集合を「この地球という惑星において、忠実な聖徒たちによる、今までで最も大きな集会となる。それは聖餐会である。あらゆる時代の忠実な者たちにとって、それは裁きの日となる」と説明した。( *The Millennial Messiah* , 579 )

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 父アダムはアダム・オンダイ・アーマンに戻って、イエス・キリストの再臨に先立って開かれる義人の大集会に出席する(教義と聖約116章参照。ダニエル7：13 - 14, 22; 教義と聖約27：5 - 14; 107：53 - 56も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 187 - 189。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 306 - 307。

### 教え方の提案

注意：教義と聖約116章を教えるためのアイデアとして、「教え方の提案」教義と聖約27：5 - 14と107：40 - 57ならびに『生徒用資料』の107章の情報を参照する。

## 教義と聖約117章

### はじめに

金持ちの若い青年が救い主のもとへやって来て、永遠の命を得るために何をしたらよいか尋ねたとき、救い主は「持っているものをみな売り払って、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」と言われた(ルカ18：22)。青年は「この言葉を聞いて、顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。」(マルコ10：22)物質的な富は、ある人々にとってこの世で最大の試練の一つとなっている。117章が与えられたとき、カートランドの監督であるニューエル・K・ホイットニーと監督の代理人であるウィリアム・マークスは財産を持ってい

た。そのため彼らは教会のためにそれらを売却することを躊躇<sup>ちゅうちよ</sup>していた。しかし、この啓示を受けた結果、彼らは主の命令に従った。わたしたちはこの世の財産を蓄えることに心を奪われ、そのために多くの時間を費やしていることがしばしばある。神はすべての力を持っておられる。わたしたちが神の国を第一に求めるといふ神の勧告に従うときに、神は「万事が〔わたしたち〕の益となるようにともに働」かせてくださる（教義と聖約90：24。モルモン書ヤコブ2：18 - 19も参照）。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 聖徒は物質的な財産をむさぼってはならない。主は聖徒とその家族を養ってください（教義と聖約117：1 - 8参照。教義と聖約88：123；104：78 - 80；118：1 - 3も参照）。
- 教会においてどんな地位に就くかということよりも、忠実に奉仕することの方が大切である（教義と聖約117：11参照。マタイ6：24も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 188 - 189。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 307 - 310。

## 教え方の提案

教義と聖約117：1 - 8。聖徒は物質的な財産をむさぼってはならない。主は聖徒とその家族を養ってください。（10 - 15分）

以下のようなリストを黒板に書く。

- 高価な衣服
- バスケットボールチームでのポジション
- 神殿結婚
- クラス会長会
- 強い証<sup>あかし</sup>
- 澄んだ良心
- 学校のダンスパーティーでのデート
- 教会の責任を忠実に果たす

生徒に次のように言う。「黒板に書かれている事柄があなたの生活を表しているとします。あなたは突然、救い主の裁きの座に立たされています。」

- そのとき、あなたにとって最も大切なことはどれでしょうか。
- ほかのことが、それほど大切ではないのはなぜでしょうか。

わたしたちは時々、望んでいることと最も大切なこととを混同してしまう場合があることを生徒に言う。教義と聖約117：1 - 4を生徒が読む。望んでいることと、最も大切なこととを混同させることによる罪に線を引く。「わたしにとって財産とは何であるか」という主の言葉はどんなことを意味しているか生徒に聞く。5節を読む。一人の生徒が『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』（308ページ）の、教義と聖約117：1 - 6の注解の第2段落を読む。以下の質問をする。

- マークス兄弟とホイットニー兄弟は何をむさぼったのでしょうか。
- 教義と聖約19：26を読んでください。この聖句で、主はマー

ティン・ハリスに何と言われたでしょうか。

- この聖句は教義と聖約117：1 - 5とどんな関連があるでしょうか。

教義と聖約117：6 - 8を生徒が読む。各節を1行に要約した文を書く。何人かの生徒がそれを発表する。

教義と聖約118：3を読む。主が伝道に出ることになっている使徒たちの家族に対して約束された事柄を指摘する。教義と聖約117：6によれば、主はどのようにしてこれらの家族を養われるのだろうか。経済的に困っている人々に主が物質的な祝福をお与えになるのを見たことはないだろうか。家族や知人が主に養われた例を知っている生徒がいれば、それを発表する。

## 教義と聖約118章

## はじめに

わたしたち末日聖徒は友だちや家族を伝道に送り出すときに、しばしば「み旨のまま行かん」（『賛美歌』, 172番）を歌う。世界の状態が刻々と変化している現在、彼らは伝道の召しによって危険な目に遭うかもしれない。わたしたちはそのことを普段あまり意識していない。1838年にある危険な出来事が起きている。主は使徒たちに、1839年4月26日にミズーリ州ファーウェストをたつてイギリスへ伝道に行く召しを与えられた。出発の日を迎えるまでに、リルバーン・W・ボッグス知事は撲滅令を発令したため、聖徒たちはミズーリ州を追放された。この伝道の召しにこたえた使徒たちは主に対する従順と信頼について一つの教訓を残している（さらに資料を必要とする場合は『生徒用資料』118章に記されている情報を参照する）。

## 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は忠実でない使徒たちの代わりとしてほかの者を召される（教義と聖約118：1, 6参照。使徒1：20 - 26；教義と聖約114：2も参照）。
- 主は僕<sup>しもべ</sup>たちに、全世界で完全な福音を宣言するよう求めておられる（教義と聖約118：3 - 5参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 189 - 190, 226 - 227。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 310 - 311。

## 教え方の提案

教義と聖約118章。主は僕<sup>しもべ</sup>たちに、全世界で完全な福音を宣言するよう求めておられる。（15 - 20分）

一人の生徒が教義と聖約118章を声に出して読む。生徒がこの啓示の前書きにある日付けと5節にある日付けを比べる。黒板にこの二つの日付けを書き出す。以下の質問について話し合う。

- 使徒たちはどこで福音を宣言するのでしょうか。(『生徒用資料』から、「聖文を理解する」教義と聖約118:4参照)
- 1839年の春、預言者ジョセフ・スミスはどこにいたでしょうか(教義と聖約121章の前書き参照)

一人の生徒が『生徒用資料』から、「聖文を理解する」の教義と聖約118:5の第1段落を読む。以下の質問をする。

- このとき残りの聖徒はどこにいたでしょうか。
- 使徒たちが1839年4月にミズーリへ戻ることは安全だったでしょうか。
- このような状況の中、使徒たちは伝道の前にファーウェストへ集まらなかったとしても仕方がなかったのではないのでしょうか。なぜそう思いますか。なぜそう思いませんか。

十二使徒定員会会員を務めていたときにウィルフォード・ウッドラフ長老が語った以下の言葉を読む。

「[ブリガム・] ヤング大管長が十二使徒に対して『兄弟たち、この件をどうするつもりですか』と尋ねると、使徒たちは『主が語られたので、わたしたちはその言葉に従います』と答えた。わたしたちは主なる神が戒めを与えられたことを知っていた。そしてわたしたちには行ってそれを成し遂げる信仰があった。そして、それを成し遂げる過程でわたしたちが生きるか死ぬかは主にお任せするという気持ちだった。そしてミズーリへ向かって出発した。」(Journal of Discourses, 13:159)

以下の質問をする。

- 主の言葉に対する使徒たちの姿勢から、難しい戒めを守ることにしてどんなことが学べますか。
- 専任宣教師として働くことや教会の召しを果たすことができないと考えている人に、この出来事はどんな教訓を与えるでしょうか。

別の生徒が『生徒用資料』から、「聖文を理解する」の教義と聖約118:5の残りを読む。それから生徒が活動Aを完成させる。



## 教義と聖約119 - 120章

### はじめに

主は119章の中で初めて、今日わたしたちが守っている<sup>ごんにち</sup> 什分の一の律法<sup>じゅうぶん</sup>を与えられた。ジョセフ・F・スミス大管長はこう説明した。

「什分の一の律法が定められたのは、人々がさらに大いなる律法に従うことができなかったためである。もしわたしたちが奉獻の律法に従うことができていたなら、什分の一の律法は必要なかった。なぜならば、什分の一の律法はさらに大いなる律法に含まれるからである。奉獻の律法はすべてを要求するのに対して、什分の一の律法は年間の利益の10分の1しか要求しない。」(“Discourse by President Joseph F. Smith,” Millennial Star, 1894年6月18日, 386)

119章は什分の一を定義している。そして120章は什分の一基金の使い道を決めるのがだれかを説明している。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 大管長会、十二使徒定員会、管理監督会は教会の什分の一基金を管理運営する。什分の一基金は主の王国を築くために使われる。例えば、伝道活動を支援し、礼拝堂や神殿、セミナーとインスティテュートの建物を建築するために使われる(教義と聖約119:1-2; 120章参照。教義と聖約97:10-14も参照)
- 什分の一とは年間の利益の10分の1を主に差し出すことを意味する(教義と聖約119:3-7参照。アルマ13:15も参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 190 - 191。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 312 - 314。

### 教え方の提案

教義と聖約119:1-2; 120章。大管長会、十二使徒定員会、管理監督会は教会の什分の一基金を管理運営する。什分の一基金は主の王国を築くために使われる。(10 - 15分)

礼拝堂か神殿の絵を見せる。以下の質問をする。

- 教会堂、あるいは神殿を建てるにはどれくらいの費用がかかるでしょうか。
- 教会では毎年どれくらいの数の礼拝堂が建てられていると思いますか。
- 教会員はこれらの建物によってどんな祝福を受けているでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の話を紹介する。

「教会が発展するにつれて、わたしたちは人々を受け入れていく必要があります。今年は600の新しい建物を完成させて奉獻します。これは実に大きな事業です。」(“Larry King Live,” Ensign, 1998年11月号, 108)

教義と聖約119:1-3と120章を読む。以下の質問をする。

- 教会はこれらの建物を建てる費用をどこから得るのでしょうか。
- 什分の一基金の使い道はだれが決めるのでしょうか。
- 什分の一基金はほかにどんなことに使われているのでしょうか。ダリン・H・オクス長老が語った以下の話を読む。

「主は啓示によって、什分の一の支出は主の僕である大管長会、十二使徒定員会、および管理監督会が処理すると言われました(教義と聖約120章参照)。これらの基金は、神殿や教会堂の建設と維持、世界中で行われる伝道活動の運営、聖典の翻訳や出版、死者の贖いのための援助手段の提供、宗教教育の資金、および主の定められた僕が選んだ

教会関係のその他の目的のために使用されます。」(「什分の一」『聖徒の道』1994年7月号, 38)

次のように質問する。「神殿は什分の一基金で建築されています。什分の一と神殿での礼拝にはどんな関連があるのでしょうか。」十二使徒定員会会長を務めたジョージ・F・リチャーズ長老の以下の話を分かち合う。

「教会の什分の一の律法は、信仰を試すものとして非常に大切であると考えられています。このため、これを神の律法として受け入れて実行していない教会員は、神権と神殿の祝福を受けるにふさわしくないと見なされます。」(Conference Report, 1945年10月, 26 - 27)

什分の一を納めるのは神殿を建てるためだけでなく、神殿に参入するにふさわしい者となるためであることを説明する。常に完全な什分の一を納めるよう生徒に勧める。

### 教義と聖約119：3 - 7。什分の一とは年間の利益の10分の1を主に差し出すことを意味する。(25 - 30分)

10個のもの(例えば、10個のりんご、鉛筆、いす)を見せる。そのうちの一つを取る。これはどんな福音の原則を表しているか生徒に聞く。教義と聖約119：1, 3 - 7を読む。以下の質問をする。

- あなたはだれに什分の一を納めているのでしょうか。(主の代理人である監督を通して主に納めている。)
- 什分の一を納めないと、最終的に何を失うのでしょうか。
- マラキ3：8 - 10；教義と聖約64：23を読む。これらの聖句によれば、什分の一を納めることによってどんな祝福がもたらされるのでしょうか。

以下の言葉を読む。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていたときに次のように述べた。

「わたしはここで、正直に什分の一を納めたら立派な家や車を買えるとか、ハワイに別荘が持てるなどと申し上げているではありません。主はわたしたちの物欲を満たすのではなく、わたしたちの必要に応じて天の窓を開けてくださるのです。金持ちになるために什分の一を納めているというのでしたら、動機からして間違っています。什分の一の基本的な目的は、主の御業を推し進めるために必要な資金を教会にささげるという点にあります。この戒めに従う人に与えられる祝福は……目に見える物質的な形で与えられるとは限りません。」(「神聖な什分の一の律法」『聖徒の道』1991年5月号, 4)

ダリン・H・オークス長老は次のように述べた。

「什分の一が払えないと言う人がいます。その一方で、主の約束を信じる人は、什分の一を払わずにはやっつけられないと言います。」(「什分の一」『聖徒の道』1994年7月号, 37)

以下の質問をする。

- 4節によれば、主は什分の一としてどれだけ要求しておられるでしょうか。
- もしあなたが什分の一について疑問を持っていたら、だれに相談すべきでしょうか。(監督)
- わたしたちはいつ監督と会って、什分の一の納入状態について報告するでしょうか。(什分の一年末面接)

十二使徒定員会会員を務めていたときにハワード・W・ハンター長老は次のように教えた。

「律法は簡潔に『全利益の十分の一』と述べています。利益とは収益、報酬、増収を意味します。それは、被雇用者が得た賃金、事業を展開して得た利益、栽培し、収穫または製造して得た増収、あるいはその他から得た収入です。」(Conference Report, 1964年4月, 35)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように語った。

「はっきりしているのは、什分の一は財政に関する主の律法であるということです。それは主からの啓示によって与えられました。大いなる、すばらしい約束を伴う律法です。この律法は収入のあるすべての教会員に適用されます。貧しいやもめにも、豊かな富を持つ人にも等しく適用されます。」(“The Widow’s Mite,” *Brigham Young University 1985 - 86 Devotional and Fireside Speeches* [1986年], 9)

ブリガム・ヤング大管長はこう教えました。

「わたしたち自身も自分のものではありません。わたしたちは代価を払って買い取られた主のものです。わたしたちの時間も才能、金、銀、小麦、小麦粉、ぶどう酒、油、牛、その他地上にあるものでわたしたちが所有するものは、みな主のものです。主はこの10分の1を神の王国建設に求められます。」(『歴代大管長の教え ブリガム・ヤング大管長』, 172 - 173)

以下の質問について話し合う。

- わたしたちのお金や財産の10分の1のほかに、主は何を求めておられるのでしょうか。ブリガム・ヤング大管長は何と語ったのでしょうか。(時間と才能)
- あなたの時間や才能について什分の一をどのようにして納めることができるのでしょうか。
- 20年の10分の1は何年ででしょうか。
- 伝道に出ることは青年が時間の什分の一を納めることと考えることができます。なぜでしょうか。
- 時間と才能を主にささげるために、何かほかにできることがあるのでしょうか。(教会の召しを果たし、その他の奉仕活動を行う。)

什分の一について、あなたの証を述べる。可能であれば、什分の一を完全に納めることによってもたらされる祝福について個人的な経験を分かち合う。生徒が同じような経験を分かち合う。

## 教義と聖約121 - 122章

### はじめに

1838年12月1日から1839年4月6日まで、預言者ジョセフ・スミスは数人の同僚たちとともに、リバティーの監獄に不当に拘留されていた。拘留されていた間、ジョセフは聖徒たちにあてて手紙を書いた。その中で預言者は自分と同僚たちのための祈りを記している（教義と聖約121：1-6参照）。人生における最も痛切な疑問は「なぜ善良な人々に災いが降りかかるのか」という疑問である。ジョセフ・スミスの祈りに対して与えられた主の答えは、試練について洞察を与え、試練を堪え忍ぶことによってもたらされる恵みを明らかにしている（教義と聖約121：9-46；122章参照）。

預言者ジョセフの経験はわたしたちが苦難を理解するための助けとなるが、説明のつかない試練もある。十二使徒定員会会員を務めていたときにハロルド・B・リー長老は次のように語った。「宗教が果たす役割は、神が全世界を善に基づいて統治しておられることに関する、すべての疑問に答えを与えることではありません。現在の状況では決して答えを見いだすことができない疑問に対して、信仰によって立ち向かっていく勇気を与えることです。」（Conference Report, 1963年10月, 108）


### 学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちが経験する試練の中には、悪人の行為によってもたらされるものがある。悪人は最終的に神の裁きを受ける（教義と聖約121：1-25参照。アルマ14：10-11も参照）。
- 試練を義にかなって堪え忍ぶ者は、知識と経験、そして神権の祝福を受けて昇栄する（教義と聖約121：7-8, 26-33；122章参照）。
- 神権の力は義にかなった生活からもたらされる。神権者はこの世に執着し、高慢になり、人々を支配しようとするときに神権の力を失う（教義と聖約121：34-46参照）。
- 権威のある地位に置かれた者は、しばしばその力を不義に用いる（教義と聖約121：39-40参照）。
- 救い主はいかなる人も耐えることのできない苦しみを受けられたため、わたしたちの苦しみを理解され、憐れみを持っておられる。わたしたちは主と主の約束に対する信仰を持つことによって、試練に耐えることができる（教義と聖約122章参照。アルマ7：11-13；教義と聖約19：16-19も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 203 - 209。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 315 - 322。

### 教え方の提案

 教義と聖約121章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』18「天の力」(9：15)

を使用することができる。（教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照）

**教義と聖約121：1-25。わたしたちが経験する試練の中には、悪人の行為によってもたらされるものがある。悪人は最終的に神の裁きを受ける。（35-40分）**

ジョセフ・スミスとほかの者たちがファーウェストで逮捕され、リバティーの監獄に拘留されていた間に経験した幾つかの試練を紹介する（『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 203 - 209参照）。次のように質問する。「初期の聖徒たちとともにこれらの試練を受けたとします。あなたはどんな疑問を抱いていたでしょうか。」生徒の答えを黒板に書き出す。以下の事項が考えられる。

- わたしたちはなぜ、この世で苦しみや問題を堪え忍ばなければならないのだろうか。
- この世の試練をよりよく堪え忍ぶにはどうすればよいのだろうか。

預言者ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に拘留されていた4か月間、聖徒たちも住んでいた家を追い出されるという大きな試練に遭っていたことを生徒に話す。靈感を受けた預言者は、力強い手紙を教会員に書き送った。その一部が教義と聖約121 - 123章に含まれている。教義と聖約121：1-6を生徒が読む。以下の質問をする。

- この聖句は何に似ていますか。（祈り）
- この聖句は人生で受ける試練に対処するために、何を教えているでしょうか。
- ジョセフ・スミスが抱いた疑問は、黒板に書かれているような疑問と似ているでしょうか。どんな点で似ているでしょうか。
- ジョセフが投げかけた疑問から判断すると、聖徒たちが受けていた試練は彼らが当然受けるべきものだったのでしょうか。
- 彼らが苦しみを受けた原因は何だったのでしょうか。
- ある人の不義な選択のために他人が苦しむことがあります。その例として、今日どんなことが挙げられるでしょうか。
- 1ペテロ2：19-21を読んでください。この聖句は不当な苦しみについて何を教えているでしょうか。

ジョセフの祈りに対する主の答えが、教義と聖約121：7-46；122章に記されていることを説明する。教義と聖約121：7-24を生徒が読む。義人を迫害する悪人には、何が降りかかると主は言われたでしょうか。主の言われた事柄に生徒が線を引く。以下の質問について話し合う。

- 義人を迫害する人々に対して、あなたはどんな気持ちを抱きますか。
- マタイ5：44；教義と聖約64：9-11を読んでください。これらの聖句で、主は敵をどのように扱うよう命じておられるでしょうか。
- 義人を迫害する悪人にどんなことが起きると主は言っておられますか。
- 主はなぜ裁きと報復を御自身にゆだねるよう求めておられるのでしょうか。


マリオン・D・ハンクス長老が十二使徒補助を務めていたときに語った以下の話を分かち合う。

「何年か前にテンプルスクウェアで、わたしは一人の少年が苦しみ悩む思いを打ち明けるのを聞いたことがあります。……その少年は、自分の父親の命を奪った一人の男に憎しみを抱いたまま生きてきました。悲しみのあまり、良識を失いそうになるほどでした。その心は苦痛に満ちていました。

その安息日の朝、わたしたちが少年の話に耳を傾けていたときのことで、主の御霊が少年の心に触れたのです。……少年は涙ながらに、報復を主に、正義を法律にゆだねるときっぱり言いました。父の命を奪い、悲しみの淵に自分を突き落とした男をもう憎まないと決心したのです。少年は赦すことにしました。心をむしばむ復しゅうの念が、もう二度と心に沸き起こらないよう決意したのです。

しばらくしてほかの町を訪れたときに、この感動的な安息日の朝の出来事を思い出して、集まった人々に話しました。……後に、〔その話を聞いていたAさん〕から一通の手紙が届きました。Aさんはその晩家に帰ると祈り、心の準備をしてから、Bさんのもとを訪れました。Aさんの神聖な家庭を壊したBさんのもとへです。Bさんは同じ町に住んでいました。AさんはBさんに対して敵意と復しゅう心を募らせ、脅迫をしていました。その晩、Aさんがやって来たことを知ってBさんはおびえ、武器を持って玄関に出て来ました。Aさんは訪問した理由を手短かに話して謝罪し、憎しみを抱いたまま生きることに終止符をつけたいと告げました。AさんはBさんを赦し、そしてBさんに赦しを請うと、涙を流しながら家路に就きました。長い間の束縛からやっと解放されたのです。Aさんはかつての敵であったBさんをも涙させ、その心を揺り動かして、悔い改めに向かわせたのでした。」(Conference Report, 1973年10月, 16; またはEnsign, 1974年1月号, 21)

憎しみを持つことは、憎しみを抱いている当人をどのように傷つけるとするか生徒に聞く。ほかの人に対する憎しみを捨てて、主の裁きに任せるよう生徒に勧める。

 **教義と聖約121：26 - 33；122章。試練を義にかかって堪え忍ぶ者は、知識と経験、そして神権の祝福を受けて昇栄する。(20 - 25分)**

大学の卒業式で使う帽子、トロフィー、セミナーの卒業証書、給与明細書、精巧な工芸品を見せる(これらのものが入手できなければ、黒板にこれらの絵を描くか、品名を書いてよい)。以下の質問をする。

- これらの品物に共通しているのは何でしょうか。(これらを手に入れるためには犠牲を払わなければならない。)
- 主の戒めに従うために犠牲を払う人々に、主はどんな祝福を約束しておられるでしょうか。

教義と聖約121：26 - 33；122：7 - 9を読む。主が約束しておられる祝福と、それを受けるためにわたしたちが行わなければならないことを黒板に書き出す。以下のような事柄が考えられる。

主が約束された祝福	わたしたちが行わなければならないこと
知識 教義と聖約121：26, 33参照)	試練を勇敢に堪え忍ぶ (教義と聖約121：29参照)
聖霊(26節参照)	
王位と主権(29節参照)	
力(29節参照)	
不滅の安息(32節参照)	
経験 教義と聖約122：7参照)	
神権(9節参照)	
神は永遠にあなたとともにいる(9節参照)	

以下の質問をする。


- これらの祝福は、卒業帽やトロフィー、その他のものと同様な点で似ているでしょうか。
- 何が主に従うのを難しくするのでしょうか。
- 戒めを一度守ることはどれくらい難しいでしょうか。
- 戒めを毎日守り続けることはどれくらい難しいでしょうか。
- マタイ6：34；モーサヤ4：27を読んでください。これらの聖句は堪え忍ぶことについてどんな助言を与えているでしょうか。

フランクリン・D・リチャーズ長老が十二使徒補助を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

「勤勉であるためには目的を貫くこと、つまり終わりまで堪え忍ぶことを学ばなければなりません。……たとえ挫折や問題に直面したとしても、一日の始めに持っていたような献身的な心と熱意を持ったまま、その日の終わりまで堪え忍ぶことができるでしょうか。1年は365日、1日は24時間あります。わたしたちは日々、堪え忍ばなければなりません。けれども、ベニヤミン王が語ったことを忘れないでください。『人が自分の力以上に速く走ることは要求されてはいない〔。〕』(モーサヤ4：27)……

わたしは自分のあらゆる経験を通して、大きな視野を持ちながら、少しずつ努力していくことが賢い方法であると確信するようになりました。大きな視野を持つことによって、将来成長させしていく事柄を順を追って行うための全体的な計画を立てることができます。これは何かを築くための安全な方法であり、この方法を用いれば、多くの場合、無理をして失敗することを避けることができます。大きな視野を持ちながら、少しずつ努力していくことには、秩序と勤勉の原則が含まれています。この原則に従えば、成長と進歩がもたらされます。」(Conference Report, 1964年10月, 77)

次のように質問する。「終わりまで堪え忍ぶために、リチャーズ長老の言葉をどのように役立てることができますか。」義によって堪え忍ぶことができるようになるには、生活をどのように改めればよいか考えるよう生徒に勧める。

 **教義と聖約121:34-46 (マスター聖句, 教義と聖約121:34-36)。** 神権の力は義にかなった生活からもたらされる。神権者はこの世に執着し、高慢になり、人々を支配しようとするときに神権の力を失う。(30-35分)

生徒に糸を何本か見せる。一人の生徒が1本の糸をちぎる。別の生徒が4本の糸を一度にちぎる。3番目の生徒が8本の糸を一度にちぎる。こうして糸の本数を増やし、生徒がちぎれなくなるまで続ける。生徒にロープを見せる。ロープはなぜ強いが生徒に聞く。(多くの糸をより合わせて作られているため。)黒板に「神権」と書く。次のように質問する。「ロープが神権を表しているとしたら、一つ一つの糸は何を表すでしょうか。」

次のように質問する。「神権に聖任されると、自動的に力を与えられるのでしょうか。」ボイド・K・パッカー長老の以下の話を分かち合う。

「皆さんの権能は聖任によって、そして力は従順とふさわしさによってもたらされます。……

神権の力は、ごく普通の義務を果たすことによって与えられます。集会に出席し、割り当てを受け、聖典を読み、知恵の言葉を守るなどによって与えられるのです。」(「アロン神権」『聖徒の道』1982年4月号, 55-56)

黒板に「神権の力を強める」「神権の力を弱める」と書く。教義と聖約121:34-46を生徒が読む。神権の力を強める事柄と神権の力を弱める事柄を探す。生徒の答えと参照箇所を該当する見出しの下に書き出す。以下のような事柄が考えられる。

神権の力を強める	神権の力を弱める
説得(41節参照)	この世のものに執着する(35節参照)
寛容(忍耐; 41節参照)	人の誉れを求める(35節参照)
温厚(41節参照)	自分の罪を覆い隠そうとする(37節参照)
柔和(41節参照)	高慢(37節参照)
愛(41節参照)	うぬぼれた野望(37節参照)
優しさ(42節参照)	ほかの人を制御し、支配しようとする(37節参照)
純粋な知識(42節参照)	聖徒たちを迫害する(38節参照)
聖霊に感じたとき(43節参照)	神と戦う(38節参照)
誠実(44節参照)	不義な支配をする(39節参照)
慈愛(45節参照)	偽善(42節参照)
徳で思いを飾る(45節参照)	偽り(42節参照)

以下の質問をする。

- 37節によれば、義にかなった生活をしない人の神権はどうなるでしょうか。
- 45-46節によれば、わたしたちが義にかなった生活をするとどうなるでしょうか。

- これらの祝福はあなたの生活にどんな影響を与えるでしょうか。後に使徒に召されたメルビン・J・バラード長老が、北西部諸州伝道部長を務めていたときに語った以下の話を分かち合う。

「神が与えられた最も偉大な賜物<sup>たまもの</sup>、すなわち、神の子がこの地上で受ける最も偉大な賜物は、聖霊を伴侶<sup>はんりよ</sup>とすることであるということをおぼろげにわたくしは学んできました。わたしたちは聖霊に接し、聖霊と交わることによって、真の靈感、真の力は聖霊を伴侶とするとときに得られることを学んできました。」(Conference Report, 1910年4月, 41)

生活の中で神権の力から祝福を受けるため、義にかなった生活<sup>あかし</sup>をすることが大切であることを証する。


**教義と聖約121:39-40。権威のある地位に置かれた者は、しばしばその力を不義に用いる。(10-15分)**

次のように質問する。「サウル王、ダビデ王、ソロモン王はどんな人だったでしょうか。」(彼らはイスラエルが栄華を極めていた時代のイスラエルの王であった。)これらの王はどんな生涯を送ったでしょうか。彼らは生涯忠実であったでしょうか。これらの王たちの生涯を知っている生徒にそのことを話そう勧めます。(最初は義にかなった生活をしていましたが、後にそれぞれ異なる時期に主から離れて行った。)

サウル、ダビデ、ソロモンの後にイスラエルとユダの支配者となった人は39人いた。聖書によれば、主の目にかなうとされたのはこれらのうちのわずか8人だけだった。次のように質問する。「39人の支配者のうち、正しい人がわずか8人しかいなかったのはなぜだと思いますか。」

教義と聖約121:39を読む。この聖句は今学んだ古代イスラエルの支配者たちにどんな点であてはまるだろうか。話し合う。以下の質問をする。

- 義にかなった支配ができなかった者として、ほかにだれが挙げられるでしょうか。
- 聖典や教会歴史の中から、不義な支配を行った者の例を挙げてください。
- 指導者の責任を受けたら、不義な行いを避けるためにどんなことができるでしょうか。

 **教義と聖約122章。救い主はいかなる人も耐えることのできない苦しみを受けられたため、わたしたちの苦しみを理解され、憐れみ<sup>あわ</sup>を持っておられる。わたしたちは主と主の約束に対する信仰を持つことによって、試練に耐えることができる。(30-35分)**

問題にぶつかったとき、だれに助言や慰めを求めるか、何人かの生徒に聞く。答えを黒板に書き出す(両親、監督、友だち、兄や姉などの答えが考えられる)。以下の質問をする。

- なぜこれらの人のもとへ行くのでしょうか。
- 知らない人や子供のもとへ行かないのはなぜでしょうか。
- 黒板に書き出した人たちには、必ず助けてくれるという信頼を抱かせる共通点があります。それは何でしょうか(一つの答えとして彼らには経験があるということが挙げられる)。
- これまで地上で生活したすべての人の中で、最も経験が豊富

で、最も思いやりがあり、最も靈感にあふれた人はだれでしょうか（モーサヤ3：7；3ニーファイ17：4-8；教義と聖約43：24参照）。

- アルマ7：11-13を読んでください。この世の生涯が非常に短かった人が最も豊富な経験をしていると言えるのはなぜでしょうか。
- 12節によれば、イエスはなぜこの大きな苦難を受けられたのでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスがリパティーの監獄で受けた試練を生徒が思い起こせるようにする。教義と聖約122章の前書きを生徒が読む。次のように質問する。「ジョセフは助言と慰めを求めるためにだれのもとへ行ったのでしょうか。」生徒を二つのグループに分ける。一つのグループが1-8節を調べて、ジョセフが受けるであろうと主から言われた試練を挙げる。もう一つのグループが同じ聖句を調べて、主がジョセフに与えられた励ましの言葉を見つける。各グループの代表者が、調べた事柄を発表する。以下の質問について話し合う。

- 主はなぜわたしたちが試練を受けるままにしておかれるのでしょうか。
  - どんな点で、試練はわたしたちのためになるのでしょうか。
  - 人生で試練を経験した人は、救い主がお受けになった贖いの苦しみをよく理解できます。それはなぜでしょうか。
  - わたしたちはどんな試練を受けているときでも、救い主に助けを求めることができます。それはなぜでしょうか。
- オーソン・F・ホイットニー長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「助けと慰めが欲しいときに、わたしたちは子供のもとへは行かないし、快楽と自己の欲望を満たすこと以外何も知らない人のもとへも行かない。思慮深く、思いやりのある人々、自ら苦しみを経験したことがあり、わたしたちが必要とする慰めを与えることのできる人々のもとへ行く。御自分の子供たちに苦しみを経験させる神の目的は、ここにあるのではないだろうか。神は子供たちが御自身のようになることを望んでおられる。神は人が経験したことのなような苦しみを経験された。そのような苦しみを人が味わうことはこれからもないであろう。だからこそ神は憐れみと慰めを豊かに注ぐことができになるのである。……

悲哀と屈辱には常に祝福が伴う。そのような経験がない方が幸運だとは言えない。『神は愛する者を訓練』される。……花が最大の香りを放つのは押しつぶされるときである。同様に、男女が内にある最も優れたものを引き出すには、苦しみを受けなければならない。」「(A Lesson from the Book of Job," *Improvement Era*, 1918年11月号, 7)

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老はこのように記した。

「〔主の〕手と足、そしてわきにある傷は、死すべき世においては清く完全な御方にさえ苦痛が訪れることのあることであり、試練は神がわたしたちを愛しておられないことの証拠ではないというしるしである。傷をお受けになったキ

リストがわたしたちを救いに来られるという事実には、大きな意義と希望があふれている。犠牲の傷跡、愛の損傷、謙遜と救いの傷跡を持つ御方がわたしたちの人生の舵を取ってくださるのである。この世には苦痛があるということを示すその傷跡は、人生で、あるいは友の家で、傷を負った人々に勇気を与えるために残されているのです。」( *Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon* [1997年], 259)

121-122章の「はじめに」(192ページ)から、ハロルド・B・リー大管長の言葉も紹介する。122章に記されている原則はわたしたちが試練をよりよく堪え忍ぶためにどんな助けとなるか、生徒と話し合う。

## 教義と聖約123章

### はじめに

教義と聖約123章が記されたとき、預言者ジョセフ・スミスはまだリパティーの監獄に囚われていた(121-122章の「はじめに」を参照[192ページ])。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 預言者ジョセフ・スミスは、この世の政府と神に正義の要求をするために、教会が受けた悪事を記録するよう指示した(教義と聖約123：1-11参照。教義と聖約101：85-92も参照)。
- 世の多くの人は、人間の悪巧みによって欺かれているが、どこに真理があるかを悟れば、真理を受け入れる(教義と聖約123：12-17参照。教義と聖約76：75も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 203-209。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 322-324。

### 教え方の提案

教義と聖約123：1-11。預言者ジョセフ・スミスは、この世の政府と神に正義の要求をするために、教会が受けた悪事を記録するよう指示した。(35-40分)

教義と聖約123章の前書きと節の概要を生徒が読む。預言者ジョセフ・スミスはこの章の中で、聖徒にどんな指示を与えたかを調べる。生徒を二つのグループに分ける。一つのグループが1-5節を読む。そして、預言者ジョセフ・スミスが聖徒に集めるよう指示した事実を黒板に書き出す。もう一つのグループが6-12節を調べる。そして、これらの事実が集められた理由を黒板に書き出す。以下の事項が考えられる。



集められた事実	理由
聖徒たちに加えられた苦難と虐待（1節参照）	全世界に向けて出版するため（6節参照）
損害を被った財産（2節参照）	政府の指導者に明らかにするため（6節参照）
身体への侵害（2節参照）	神の裁きが下されるときに、全国民が弁解の余地のないようにするため（6節参照）
迫害者の名前（3節参照）	神に対してこの義務を負っているため（7節参照）
中傷的な刊行物（4 - 5節参照）	家族に対してこの義務を負っているため（7節参照）
聖徒に苦しみを与えているすべての不義な扱い（5節参照）	やもめや父のいない子供に対してこの義務を負っているため（9節参照）
	次の世代に対してこの義務を負っているため（11節参照）
	真理を知らせるため（12節参照）

聖徒たちは預言者の勧告に従い、自分たちに加えられた迫害の膨大な記録を集めたことを説明する。3人の生徒が、以下に記されたこれらの迫害の記録を読む。

「クラーク将軍が軍隊を率いてコールドウェル郡にやって来た。わたしはファーウェストから2マイル（約3キロ）ほど離れたガド・エール氏の家の近くに住んでいた。クラーク将軍の隊に所属する大勢の兵士たちがエール氏の家にやって来て2日ほどそこにとどまり、エール氏の所有物をかなり破壊した。彼らは家の床を踏み破り、鶏や豚を殺し、干し草の山に火を放って、……焼失させた。彼らは自分たちの馬に与えるためにエール氏からとうもろこしを奪った。彼らは10エーカー（約4万平方メートル）の敷地を荒らしまくったと思う。……彼らが銃で撃ち殺した豚の中には、そのまま地面に放置されて腐ってしまったものもあった。わたしはまた、何人かの兵士がサイラス・ダニエル氏の家に入って略奪するのを見た。彼らがベッドを1台、それに寝具類、衣類を持ち去ったのを見た。」（メアリー・K・マイルズ、クラーク・V・ジョンソン編、*Mormon Redress Petitions: Documents of the 1833 - 1838 Missouri Conflict* [1992年], 496 - 497）

「わたし、デリア・リードは1836年にミズーリへ移ってきた。到着して間もなく夫は亡くなり、わたしには7人の幼い子供たちが残された。わたしは何とか生きていく道を見つけるために、コールドウェル郡へ移り、1838年の秋までその農場にとどまった。住民とモルモンの間で争いが始まったとき、周囲の人々とともにミズーリ州を離れなければならなくなった。……わたしはほとんどの財産を置いて

いかなければならなかった。……家族は離れ離れになり、わたしは知らない人々に交じってわずかな賃金をもらうために毎日働かなければならなかった。」（デリア・リード、*Mormon Redress Petitions*, 523）

「父はハウズミルにとどまって、テント生活をしていた。そのときにあの大虐殺が起きたことをわたしはここに証言する。暴徒たちが馬に乗ってやって来たとき、わたしはテントの中にいた。何人かが大声で、女性と子供たちはテントを離れろと叫んだ。わたしは父がいるかじ屋へ走って行き、ふいごの下に潜り込んだ。わたしの兄弟と、チャールズ・メリックという名の少年も一緒だった。わたしは腰をえぐられ、わたしの兄弟は脳を吹き飛ばされた。もう一人の少年は3箇所<sup>3</sup>に傷を負い、それが原因で後に命を落とした。わたしは前の月に自分が8歳になったことを母から知らされていた。父が息を引き取る前に、何人かの敵が来て、父の靴を脱がせて持って行くのをわたしは見た。」（アルマ・スミス、*Mormon Redress Petitions*, 537）

次のように質問する。「これらの記事は聖徒が受けた迫害を理解するうえでどのように役立つでしょうか。」これらの情報を収集した結果どうなったと思うか生徒に聞く。預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちは不当な行為の補償と権利の回復をミズーリ州法廷と議会に請願したが、認められなかった。わたしたちの権利と財産に対する補償を合衆国議会と大統領に求めたが、認められなかった。しかし、わが国の最高裁の判決は、わたしたちの主張は正しいが、政府には補償する力がないということである。これがせめてもの慰めとなった。」（*History of the Church*, 6 : 89）

現世は必ずしも公平でないが、最終的に主はすべてを正しく治められることを生徒が理解できるように助ける。聖徒たちはニューヨーク州、オハイオ州、ミズーリ州、そしてイリノイ州を追われて、東部から遠く離れたロッキー山脈に定着した。聖徒たちが追放されて間もなくこれらの州ではどんな悲惨な出来事が起きたかを生徒に聞く。（合衆国南北戦争）

以下の出来事を話す。預言者ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に収監されていたとき、預言者の弁護士であるアレクサンダー・ドニファンに、ジャクソン郡の一区画を負債の返却に充てるために差し出してきた男がいた。その男が帰った後、預言者はドニファン氏に言った。

「ジャクソン郡の土地を負債の支払いとして受けるのはやめた方がよいでしょう。神の怒りがジャクソン郡に及んでいます。神の民は無慈悲にもそこを追放されました。あなたは、そこが大変な戦場となるのを自分の目で見るでしょう。万軍の主が滅びのほうきでそこを掃かれるでしょう。畑、農場、家が破壊し、<sup>はいきよ</sup>廢墟の跡に残るのは煙突だけとな

るでしょう。」(B・H・ロバーツ, *Comprehensive History of the Church*, 1: 538)

アレクサンダー・ドニファンは後に、南北戦争によってジャクソン郡が荒廃したとき、この預言を思い起こしたと語った。

南北戦争中の合衆国大統領であったエブラハム・リンカーンは次のように記している。

「かつては、神の恵みによって結束し、繁栄し、幸福だったわたしたちの愛する国家は、今や内紛と南北戦争によってひどく苦しめられている。この恐るべき事態に神の御手があることをわたしたちは認めなければならない。国家として個人として犯してきた過ちと罪を悲しみのうちに思い起こして、神の前にへりくだり、憐れみを祈り求めるべきである。わたしたちはさらなる罰を受けて当然ではあるが、神がそれを猶予されるよう祈るべきである。」(“Proclamation of a National Fast Day, Aug. 12, 1861,” *The Speeches of Abraham Lincoln* [1908年], 339 - 340)

教義と聖約123:6を読む。以下の質問をする。

- 南北戦争で成就したのはこの聖句のどの部分でしょうか。
- 聖徒が記した迫害の記録とこの戦争にはどんな関係があるでしょうか(教義と聖約87:2-3, 7; 123:6, 15参照)。
- 17節を読んでください。この聖句は迫害を受けていた聖徒たちにどんな希望を与えたでしょうか。

**教義と聖約123:12-17。世の多くの人は、人間の悪巧みによって欺かれているが、どこに真理があるかを悟れば、真理を受け入れる。(15-20分)**

人々が教会について偽りを言うのを聞いたり、モルモンに反対する印刷物を配るのを見たりしたことがあるか生徒に聞く。以下の質問をする。

- そのような印刷物によって、あなたはどんな気持ちになりましたか。
- モルモンに反対する印刷物や教会に対する偽りの言葉は、信仰の異なる人々にどんな影響を与えるでしょうか。

教義と聖約123:12-15を読む。以下の質問の答えを見つける。

- 教会に関する偽りの教えは、当時の人々にどんな影響を与えたでしょうか。
- 教会に関する真実を世界中に広めるために、わたしたちは何をすべきでしょうか。
- 「闇の中の隠されたこと」を明るみに出すことはなぜ大切なのでしょうか(13節)。
- これらの聖句によれば、わたしたちは真理を知らせるためにどれくらい努力すべきでしょうか。

16-17節を読む。以下の質問をする。

- 嵐の中を航海する船は、ある小さなものによって大きく影響されます。それは何でしょうか。
- 舵とは何でしょうか。(船の針路を決めるレバー、またはハンドル。)それは船にどんな影響を与えますか。

- わたしたちにできるすべてのことを行うとき、主は何をしてくださるでしょうか。

以下の話を分かち合う。ハロルド・B・リー大管長はこのように述べた。

「何年前にわたしはユタ州のマンタイにいました。土曜日の夕べの指導者会が終わって集会所を出ると、外はひどい吹雪でした。ステーキ会長の家に向かって車を走らせている途中で、ステーキ会長はふと車を止めると神殿が建っている丘へ引き返しました。照明を受けた神殿が堂々と立っていました。わたしたちはその美しく、神聖な光景に見とれて、しばらく無言で座っていました。ステーキ会長はこう言いました。『リー兄弟、神殿が最も美しいのは深い霧や猛烈な嵐のときだということを御存じでしたか。』

これと同じように、イエス・キリストの福音が最も麗しいのは福音を真剣に必要としているときや、わたしたちが個人的に激しい嵐に見舞われているとき、あるいは混乱と動揺のただなかに置かれているときです。」(Conference Report, 1972年10月, 175; または*Ensign*, 1973年1月号, 133)

マービン・J・アシュトン長老はこのように述べた。

「数か月前、はるかな南大西洋の島々にいる宣教師たちを2,3日間の予定で訪問することになり、そのことを彼らに知らせておいた。すると、宣教師たちはわたしが到着するや否や、待ちかねたように、当地に出回っている反モルモンのパンフレットを持ってきた。宣教師たちは非難と中傷に心を乱し、反論の策を講じようとしていた。

身を乗り出すようにしてすに腰掛けている宣教師たちを前にして、わたしはある牧師が書いた中傷と偽りの文書に目を通した。この牧師がわたしたちの宣教師の訪れと伝道の成功に脅威を感じていたことは明らかであった。わたしはこの悪意に満ちた外的文書を読んで思わず苦笑してしまった。そばでわたしの様子を見ていた宣教師たちは、いささか驚いたようで、こう尋ねてきた。『これからいかがいしましょうか。この偽りの証言に対してどのように反論すればよろしいでしょうか。』

そこでわたしは答えた。『わたしたちは何もする必要はありません。論争をしている暇はないのです。わたしたちにあるのは、ただ御父の仕事をする時間だけです。冷静に確信を持って紳士らしく振る舞って下さい。そうすれば必ず良い成果が得られます。』(「論争している暇はない」『聖徒の道』1978年10月号, 8)

以下の質問をする。

- わたしたちはモルモンに反対する印刷物にどのように対応すべきでしょうか。
- 2ニーファイ32:5; モロナイ10:5を読んでください。これらの聖句は上記の質問に答えるためにどんな助けを与えてくれるでしょうか。
- 反対する人々への対応を決めるに当たって、現在の教会指導者の勧告はどんな影響を与えるでしょうか。

# ノーブーの時代

## 教義と聖約124 - 125章

### はじめに

1838年から1839年の冬に聖徒たちはミズーリを追放された。彼らはイリノイとアイオワに逃れると、ミシシッピ川の両岸に定住地を築いた。川のイリノイ側に美しい町、ノーブーを建設し、アイオワ側にセラヘムラとナッシュビルという町を築いた。(教義と聖約125章参照。)イリノイに定住した聖徒たちは、ミズーリにいたときよりも政治的に強い力を持っていた。彼らは市民軍を結成し、大学を設立し、自分たちの市の諸事を統治した。しかしこれらの活動よりもっと大切な働きがあった。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長を務めていたときに、次のように記した。

「預言者と兄弟たちがミズーリでの拘留と迫害の後にノーブーに到着するとほとんど同時に、主はノーブーに神殿を建てるようにとの指示を与えられました。このときまでに、死者の救いに関する完全な教義がすでに啓示されていました。そして、預言者は死者のために救いの儀式を執行する大切さを心に強く感じていました。また、預言者からの話と手紙を通してその教義を知った聖徒たちも同様の思いを抱いていました。ですから、ジョセフ・スミスがこのテーマについて主に祈っていたことは疑いありません。そして、預言者の懇願に対してこの啓示〔教義と聖約124章〕が与えられたのです。」(Church History and Modern Revelation, 全2巻〔1953年〕, 第2巻, 265 - 266)

### 学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に、各聖句ブロックと、ここで取り上げた原則を祈りの気持ちで研究し、深く考える。

- 主は教会に対して、福音を<sup>の</sup>宣べ伝え、地の統治者たちに宣言する準備をするよう命じられた(教義と聖約124:1-11参照)。
- 主は僕たち一人一人を御存じであり、個人の啓示と指導者の靈感を通して僕たちに勧告と導きをお与えになる(教義と聖約124:12-21, 62-118参照。アルマ5:37-41も参照)。
- 神殿は生者と死者を贖うための神権の儀式を完全に受けることのできる唯一の場所である(教義と聖約124:25-45, 55参照。教義と聖約128:11-15も参照)。
- 主の戒めを熱心に果たそうとしているときに、敵の手によって妨害されたとしたら、主はわたしたちではなく妨害者たちに責任を問われる。主は御自分の戒めを変更することがおできになる。能力が不足していても、誠実に努力するならば、主は祝福をお与えになる(教義と聖約124:45-54参照。教義と聖約56:3-4も参照)。
- わたしたちは主や主の僕たちの知恵よりも自分の知恵を優先させてはならない(教義と聖約124:84-85参照。イザヤ55:8-9; 2ニーファイ9:28-29も参照)。
- 主は奉仕の業のために、また聖徒を完成させるために神権の

各職を設けられた(教義と聖約124:91-93, 123-143参照。エペソ4:11-16も参照)。


- 主は聖徒たちに、将来起こることのために集まって備えをするよう指示しておられる(教義と聖約125章参照。教義と聖約82:14; 115:5-6も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 240 - 242, 251 - 254, 289, 303 - 304。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 324 - 333。

### 教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに、以下の提案の中から適したものを選ぶ。または、自分自身が考えたアイデアを用いる。

 教義と聖約124章。教会の3つの使命は福音を<sup>あがな</sup>宣べ伝えること、聖徒を完全な者<sup>あがな</sup>とすること、死者を贖うことである。(50 - 60分)



三脚に取り付けたカメラを見せる(あるいは黒板にその絵を描く)。以下の質問をする。

- 写真を撮るときに、三脚はどんな役割を果たすでしょうか。
- 三脚の脚が1本なかったとしたら、どんな写真になる可能性がありますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を読むよう一人の生徒に勧める。

「教会の使命は栄光に満ちたものです。福音を宣言することによって、生者を完全にすることによって、死者を<sup>あがな</sup>贖うことによって、すべての人がキリストのみもとに来るように招待するのです。わたしたちがキリストのみもとに行くことができれば、自分、家族、そして御父の子供たち、すなわち、生者、死者を問わず、すべての人を祝福することになるでしょう。」(「キリストの御許に来てキリストによって全くなれ」『聖徒の道』1988年6月号, 90参照)

以下の質問をする。

- 教会の使命と三脚は、どこが似ているでしょうか。
- 教会員が伝道活動を行い、戒めを守っていても、神殿活動を行わなかったとしたら、どうなるでしょうか。

以下の聖句に目を通すよう生徒に勧める。教義と聖約124:1-5, 25-30, 143-145。教会の3つの使命と関係のある語句を探す。教義と聖約124章の中心となるメッセージの一つが、教会の使命であると教える。全員で一つ一つの使命を調べる。

## 福音を宣べ伝える

黒板に国の指導者の名前を書き出す。生徒に次のように言う。「あなたが国の指導者に福音を教えている場面を想像してください。」

- この人に「福音を宣べ伝える」のは、どんな経験になると思いますか。
- それは難しい経験かもしれません。なぜだと思いますか。
- この経験の中で最も怖いと思うのは、どんなことでしょうか。教義と聖約124：1-3を読む。ジョセフ・スミスは何を行うように召されたかを見つける。(王、統治者、あらゆる国民に「厳粛に宣言する。」)3-11節を生徒が調べる。以下の質問をする。
- 5, 8, 10節には、1-3節の宣言に付け加えるべき事柄が書いてあります。それは何でしょうか。
- すべての人が備える必要のある「刑罰の日」とは何でしょうか。(再臨。)
- 福音を宣べ伝えると、なぜ王や異邦人たちは、シオンの建設を助けようという気持ちになるのでしょうか(6, 9, 11節参照)。
- 7節によれば、高い地位にある人を恐れることについて、主は何と言われたでしょうか。

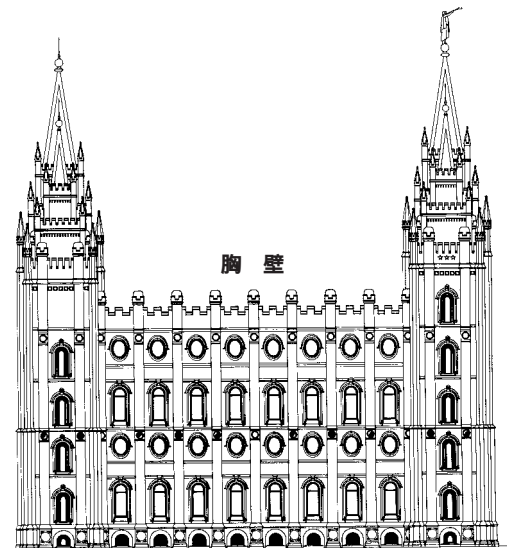
イエス・キリストの福音は、どんな地位よりもはるかに大切であると証する。わたしたちはこの世でどんな立場にあるかにかかわらず、すべての人に福音を大胆に宣べ伝えなければならない。

教義と聖約124：23, 60を読む。以下の質問をする。

- 主はノーブーを訪問する人々のために、聖徒たちに何を整えるよう求められたでしょうか。(ノーブーハウスは主から命じられて旅行者のために聖徒たちが建てたホテルであったことを教える。)
- 今日、シオンのステーキを訪れる人々が歓迎されていると感じるために、わたしたちには何ができるでしょうか。
- 主はシオンを訪れる人々にどんなことを考えてほしいと思っておられたでしょうか。
- 主は主の言葉を単に読むようにではなく、「つくづくと考える」ようにと言われました。それはなぜだと思いますか。

## 死者を贖う

ソルトレーク神殿の写真を見せる(以下の絵を使うか、『福音の視覚資料セット』, 502を使う)。中央の壁の頂が胸壁の形になっていることを指摘する。



次のように質問する。「この胸壁を見て、神殿はどんな場所だと連想できますか。」(神殿は守りが得られる場所である。)教義と聖約124：10-11, 36を読む。神殿には守る力があるという概念に関連する語句を探す。次のように質問する。「主が述べておられる安全や保護とは、どんな種類のものでしょうか。」一人の生徒がジェームズ・E・ファウスト副管長の以下の言葉を読む。

「神殿を必要とする状況は全世界で高まっています。これは神殿が霊的に聖い場所だからです。神殿に参入する人々は自分たちがサタンの攻撃から守られ、自分たちや家族を滅ぼそうと渴望するサタンが阻止されていることに気がつきます。」(「天の窓を開く」『リアホナ』1999年1月号, 64)

次のように質問する。「神殿はあなたと家族をサタンからどのように守ってくれるでしょうか。」生徒は26-44節に目を通す。そして、神殿の大切さを最もよく表していると思う語句を探す。何人かの生徒が選んだ語句を発表する。そして、なぜその語句を選んだか説明する。

生徒に次のように言う。「遠くの都市まで車で旅行しているところを想像してください。途中、ガソリンスタンドがまったくありません。そのため、ガソリンを満タンにしておかなければなりません。」(注意：目的地として、生徒になじみのある都市名を挙げるとよい。)以下の質問をする。

- 何時間が運転してから、タンクにガソリンが半分しか入っていないのに出発してしまったことに気づきました。あなたはどのようにするでしょうか。
- ガソリンを入れに戻るには遅すぎる地点まで行ってから気づいたとしたら、どうしますか。

わたしたちの霊も同じような状態に陥る可能性があることを説明する。28節を読む。神殿を建てる理由について主が語られた言葉を見つける(完全な神権を回復するため)。以下の質問をする。

- 「完全な神権」とは、どんな意味だと思いますか。(ブレス・R・マッコンキー長老が七十人定員委員会を務めていたときに記した定義によれば、これは「神権の祝福が満ちていること」を指す。マッコンキー長老は次のように言った。「そのような祝福は、神の神殿の中でだけ見つけることができず。」〔Mormon Doctrine, 第2版(1966年), 482〕)
- 先のたとえ話の中の満ちているという言葉は、目的地に到着することと、どんな関係があるでしょうか。それは霊的な目的地に到達することと、どう関連づけられるでしょうか。
- わたしたち皆が目指すよう努力すべき霊的な目的地とは、どこでしょうか。
- 神殿では、生者と死者のために、どんな神権の儀式が行われているでしょうか。(死者のためのバプテスマ〔29, 39節参照〕。洗い、油注ぎ、エンダウメント〔39節参照〕。日の栄えの結婚と結び固め〔教義と聖約132：19参照〕。注意：これらの節について話し合うときには神殿の儀式の神聖さに配慮する。)

以下の言葉を一人の生徒が読む。プリガム・ヤング大管長は次のように教えた。

「あなたのエンダウメントとは、主の宮においてこれらすべての儀式を受けることです。これらはあなたがこの世を去った後に、……御父の前に行くために必要な儀式です。」(『歴代大管長の教え - プリガム・ヤング』, 330 - 331)

十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老はこのように述べた。

「わたしたちより先に亡くなった人々のために頻繁に聖なる宮に参入し、重要な儀式を定期的に行えるよう、努力しなければなりません。神殿の業は、先祖が自分ではできないことを、わたしたちが身代わりになって可能にするものです。わたしたちの愛にあふれる働きによって、先祖は永遠の命に向かって進歩を続けることができるのです。神殿での奉仕は、生きていたわたしたちにとっても同じように貴重で有益なものです。主の宮ではこの世的なことから逃れ、永遠の観点から人生を見詰め直すことができます。また、神殿での教えや聖約を深く考えることにより、救いの計画や天の御父の限りない愛をよりはっきりと理解できるようになります。わたしたちと永遠の父なる神と御子イエス・キリストとの関係についても、思いを巡らすことができます。」(『善を求める』『聖徒の道』1992年7月号, 94参照)

#### 聖徒を完全な者とする

自分がノーブー第1ワードの会員であると想像するように生徒に勤める。教義と聖約124:133 - 137, 141 - 142を読む。ここで設けられた教会の組織の名称を調べる。141節の監督会は管理監督会を指している。しかし、主はノーブー時代の初期にワードの監督をも召されたことを説明する。数人の生徒をこれらの節で述べられている職で働くよう割り当てる。一人の生徒をワードの監督に指名する。これらの節に記されていないが、今日のワードにある組織を生徒が挙げる。(扶助協会, 初等協会, 若い女性, 日曜学校。)監督を割り当てられた生徒は、残りの生徒を指名して補助組織を組織する。

ワードや支部を組織するには、かなりの数の人が必要であるということについて考えるよう勤める。以下の質問をする。

- このような組織で奉仕する人たちは、どんな犠牲を払っていると思いますか。
- 主はなぜこれらの組織を作られたと思いますか。

143節を読む。主がこれらの組織を作られた理由を調べる。以下の質問について話し合う。

- これらの組織は、どんなふうにあなたを「助け」るでしょうか。
- これらの組織は、何を「管理」しているでしょうか。
- 教会の組織によって、聖徒たちは最終的にどんな祝福を受けることができるでしょうか。
- エペソ4:11 - 16を読んでください。これらの節で述べられている組織は、124章で述べられている組織と、どこが似ているでしょうか。
- 聖徒を完全な者にする、あるいは、シオンを確立する、という働きの中で、あなたには何ができるでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長が語った以下の言葉を一人の生徒が読む。

「わたしはすべての教会員の方々に、主イエス・キリストの生涯と模範に、特に主が示された愛と希望と思いやりさらに注意を払って生活するようにお勧めします。わたしたちが互いにもっと親切にし、もっと忍耐強く、もっと礼儀を尽くし、救い合えるように祈っています。

罪を犯した人々、心に傷を負った人々にはこう伝えたいと思います。戻って来てください。悔い改めの道は、時には厳しいものがありますが、人を高め、完全な救いへと導いてくれます。

傷つき、もがき、恐れを抱いている人々にお伝えします。わたしたちは皆さんの味方です。わたしたちに皆さんの涙をぬぐわせてください。戻って来てください。わたしたちとともに末日聖徒イエス・キリスト教会の群れに入ってください。『わたしに従ってきなさい』という主の招きを文字どおりに受け入れてください。(マタイ16:24; 19:21; マルコ8:34; 10:21; ルカ9:23; 18:22; ヨハネ21:22; 教義と聖約38:22参照)主は唯一の確かな道であり、世の光なのです。

皆さんも望んでいることと思いますが、わたしたちは末日聖徒の特徴である高い標準をこれからも保っていきます。その標準を確立されたのは主であり、それを無視することはだれにも許されないのです。」「尊く、大いなる約束」『聖徒の道』1995年1月号, 9)

再び、ハンター大管長の以下の言葉を分かち合っ、締めくくるとする。

「福音を宣べ伝え、聖徒を完全な者とし、死者を贖うために払われるあらゆる努力は、聖なる神殿と関連しています。なぜなら、神殿の諸儀式は非常に重要なものであり、儀式がなければ神のみもとに戻ることはできないからです。皆さん一人一人がふさわしい状態で神殿に参入するよう、あるいは、聖なる宮に参入して自身の儀式と聖約を受けられる日に向けて努力するようお勧めします。」「神の御子に従う」『聖徒の道』1995年1月号, 97)

**教義と聖約124:12 - 21, 62 - 118。主はわたしたち一人一人を御存じであり、個人の啓示と指導者の靈感を通してわたしたちに勤告と導きをお与えになる。(20 - 25分)**

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老が語った以下の言葉を黒板に書き写す。「もし預言者の勤告に耳を傾けるなら、わたしたちはさらに強められ、現世での試しに耐えていけるでしょう。」「(『予言者の声に聞き従う』『聖徒の道』1995年7月号, 18)この言葉の中に、目立たないけれども大切な意味を持っている言葉がある。それはどの言葉かを考える。次のように質問する。「もし何々ならばという語には大切な意味があります。なぜだと思えますか。」

教義と聖約124章には、後に背教した人々の名前が出てくると教える。16 - 17, 103 - 110節を生徒が読む。そして、「ならば」で終わる一塊にしるしをつける。以下の質問をする。

- これらの節では、ある3人の人のことが述べられています。その3人とは、だれでしょうか。
- 主はジョン・C・ベネットとシドニー・リグドンに、どんな祝福を約束されたでしょうか。
- 主はこれらの約束にどんな『もし何々ならば』という条件を付けておられるでしょうか。
- このことから、主があなたの生活の中で約束しておられることについて、何がわかりますか。

以下の名前と参照聖句を黒板に書き出す。

- ハイラム・スミス (15, 91 - 96節参照)
- ジョン・C・ベネット (16 - 17節参照)
- ピンソン・ナイト (74 - 76節参照)
- ウィリアム・ロー (82 - 83, 87 - 90節参照)

一人の名前を選ぶ。関連する参照聖句を読む。そして、以下の質問に答えるよう勤める。

- 主がその人を個人的に御存じであることは、どの語句からわかりますか。
- 主はその人にどんな勧告、または指示を与えられたでしょうか。
- その人は従順であることによってどんな祝福を受けたでしょうか。または、その人がもし従順であるならば、どんな祝福を受けると約束されたでしょうか。

これらの4人のうち、ハイラム・スミスとピンソン・ナイトだけがその後も忠実であったことを説明する。以下の質問をする。

- わたしたちはこれらの人々の経験から何を学ぶことができますでしょうか。
- 45 - 46, 48節を読んでください。主の僕に従う人たちは、どんな祝福を受けるでしょうか (45節参照)。
- 48節によれば、従順でない人たちは、どんな状態になるでしょうか。
- 不従順に対して神が裁きを下されるとき、だれが責めを受けるでしょうか。
- 教義と聖約90:5を読んでください。この節によれば、主の僕たちから教えられる事柄は、どう受け止めるべきでしょうか。

N・エルドン・タナー副管長の以下の言葉を一人の生徒が読む。

「先ごろ、教会の全女性を対象としたファイヤサイドが開かれ、その会で中央若い女性会長のエレイン・キャンノン姉妹が次のように述べました。

『預言者の言われることに、議論の余地はありません。』(『聖徒の道』1979年2月号, 157)

何の飾りけもない言葉ですが、わたしたちすべての者にとって霊的に深い意味を持つ言葉であり、わたしは深い感銘を覚えました。わたしはどこに行っても、人々にこのように申し上げます。『預言者に従いなさい』と。」「(『預言者の言われることには議論の余地はない』『聖徒の道』1980年6月号, 1参照)

**教義と聖約124:49-54. 主の戒めを熱心に果たそうとして**いるときに、敵の手によって妨害されたとしたら、主はわたしたちではなく妨害者たちに責任を問われる。主は御自分の戒めを変更することがおできになる。能力が不足していても、誠実に努力するならば、主は祝福をお与えになる。(15 - 20分)

わたしたちは自分で自分の足を引っ張ることがある。どんな場合がそうか、例を挙げて生徒が説明する。教義と聖約124:48を読む。そして、この質問の答えを見つける。次のように質問する。「この聖句には、わたしたちが問題を抱えていても、主がそのままにしておかれる理由が書かれています。このほかには、どんな理由があると思いますか。」(わたしたちを試し、完全な者とするため。)

初期の聖徒たちが、ミズーリ州ジャクソン郡に、シオンの町と神殿を築くよう命じられたことを説明する(教義と聖約97:10参照)。次のように質問する。「聖徒たちはなぜ神殿を完成させることができなかったのでしょうか。」(教義と聖約124:49, 51参照)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときの以下の言葉を読む。

「主がシオンに神殿を建てるように聖徒に命じられたことは事実である。そして当時の聖徒たちは神殿を建てようとした。けれども敵に妨害されたため、主は彼らにその事業の続行を求められなかった。しかし、当時神殿建設の責任を解かれたからといって、シオンの町と主の宮を建設する責任が永遠に取り消されたわけではない。主は達成すべき時期が来たと判断なさったら、民に命じられ、この業は成就されるであろう。」(『救いの教義』ブルース・R・マックンキー編, 全3巻, 第3巻, 71)

50 - 52節を読む。それから、以下の質問をする。

- これらの節によれば、主の業を妨げる人たちに、主は何を行われるでしょうか。
- 53 - 54節を読んでください。敵から苦しめられ、あるいは殺された人たちに、主はどんな「慰め」を与えられるでしょうか。
- 主は御自分の時に物事を行われます。このことを覚えておくことは、なぜ大切なのでしょうか。
- これらの原則は、神が子ら愛しておられることについて何を教えているでしょうか。

**教義と聖約125章. 主は聖徒たちに、将来起こることのために集まって備えをするよう指示しておられる。**(10 - 15分)

生徒に次のように言う。「あなたは大学が専門学校へ入学するために家を離れました。学内で教会員はあなただけであることが分かったとします。」

- あなたはどんな気持ちになるでしょうか。
- だれに会えなくて寂しく思うでしょうか。
- どんなチャレンジを経験するでしょうか。
- このような状況で、あなたが新しく所属することになったワードや支部は、どれほど大切でしょうか。それはなぜですか。
- 主はわたしたちに一人だけにいるよりも、聖徒として集まるよう望んでおられます。なぜだと思いませんか。

124 - 125章の「はじめに」(198ページ)を読む。聖徒たちが集合することによって得た祝福について話し合う。125章を読む。以下の質問をする。

- 2節によれば、主はこのとき、聖徒に何を望んでおられたでしょうか。(預言者を通して指定した地に集まって、主のために数々の町を建設すること。)
- 聖徒の集合によって、何が起こることになっていたでしょうか。(聖徒たちは「将来起こること」に備えられることになっていた〔2節〕。)
- 聖徒たちはノーブーやゼラヘムラに集まることによって、将来起こる予定になっていたことに対して、どんな備えをすることができたでしょうか。
- 主がソルトレーク盆地に定住することについて指示を与えられたとき、この啓示はどのように成就したでしょうか。

十二使徒定員会会員を務めていたときにハロルド・B・リー長老が語った以下の言葉を読む。

「集合の霊は教会が回復された時から教会にありました。イスラエルの血統に属する者たちは、バプテスマを受けると、指定された地に住む聖徒たちと合流したいという、義にかなった望みを持つようになります。……

このように、主は集合を指示する責任を教会の指導者に与えておられることが明らかです。主はそのような指導者たちに、将来、いつ、どこに集合すべきか御心を明らかにされます。神は恐ろしい出来事が起こることについて、わたしたちに約束し、予告しておられます。そのような約束のすべてが成就するずっと以前から、あらゆる地に住む聖徒たちは自らを備えているのです。そして、どこに集合すべきかについて、この教会の大管長会から指示を受けることを楽しみにして待っているのです。」(Conference Report, 1948年4月, 55)

以下の質問をする。

- 今日、わたしたちはどこに集合すべきでしょうか。
- 今日、だれが聖徒たちに集合の場所について指示を出すのでしょうか。
- このパターンに従うことによって、わたしたちは何に対する備えをしているのでしょうか。

## 教義と聖約126章

### はじめに

1836年1月21日、預言者ジョセフ・スミスはカートランド神殿で示現を見た。預言者ジョセフはこの経験についてこのように述べた。「わたしは子羊の十二使徒を見た。彼らは今地上にいて、神の教えを説く最後の務めの鍵を持ち、見知らぬ国で、円陣をやって立っている。彼らは疲れ果て、その衣服は汚れ、足ははれている。彼らはうつむいて、彼らの真ん中に立っておられる主を見

ようとしな。救い主は彼らを見て涙を流された。」(History of the Church, 第2巻, 381) 伝道活動はたとえチャレンジに出会うことがあるとしても、大きな成功を収めることが可能である。

十二使徒に関するこの示現を受けて2年余りが過ぎた1838年7月8日、主は使徒たちにミズーリ州ファーウェストに集まって、「大海を越えて行き、そこでわたしの福音……を広め」るよう指示を与えられた(教義と聖約118:4)。

「1839年の秋に十二使徒はイギリスに向けて出発し、1840年の初めに到着した。わずか12か月という短い期間に、固い信念を持つこの宣教師たちは、主の道具として文字どおり数千人を改宗へ導いた。

1841年7月1日木曜日、ブリガム・ヤング、ヒーバー・C・キンボール、ジョン・テラーはイギリスの伝道から帰還してイリノイ州ノーブーに到着した。その翌週に受けた126章には王国におけるヤング長老の働きに対して称賛の言葉が記されている。」(リンドン・W・クック, The Revelations of the Prophet Joseph Smith [1985年], 283)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 主は主のために勤勉に働く人たちのささげ物を受け入れられる(教義と聖約126章参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 333 - 334。

### 教え方の提案

教義と聖約126:1-3。主は主のために勤勉に働く人たちのささげ物を受け入れられる。(15 - 20分)

宣教師が帰還するときの様子を撮ったビデオを見せる。または、家族の一人が伝道を終えて帰還して来たときの家族の様子について、生徒の話聞く。次のように質問する。「もしあなたが、立派に伝道を終えて帰還する宣教師だとしたら、どんな思いで家族のもとへ帰ると思いますか。」教義と聖約126章を読む。それから、以下の質問をする。

- ブリガム・ヤングのささげ物に対して、主は何と言われたでしょうか。
- ブリガム・ヤングは何を行ったために、主から称賛されたのでしょうか(126章の「はじめに」参照)。
- あなたは主からこのように言われたと思いますか。
- 主はこのときブリガム・ヤングに何を命じられたでしょうか。
- 家族は、主にとってどれほど大切なものなのでしょうか。

ブリガム・ヤングの絵を見せる(『福音の視覚資料セット』, 507参照)。この人がだれか知っているか生徒に聞く。これがブリガム・ヤングの絵であると教える。ブリガム・ヤングが堪え忍んだ「旅における……働きと労苦」を示す物語の中から、生徒の好きな話を分かち合うよう勧める。ここで、イギリスにおける十二使徒、特にブリガム・ヤングの伝道の物語を紹介するとよい(『時満ちる時代の教会歴史』, 225 - 235参照)。以下の質問をする。

- ブリガム・ヤングは主からこれらの言葉を受けるに値する人です。なぜだと思えますか。

- プリガム・ヤングのように献身的に主に仕えるには、どんな準備をしたらいいでしょうか。

生徒が家族の大切さを思い出せるようにする。次のように質問する。「主はなぜすべてのふさわしい若い男性と多くの若い女性に、家を離れて専任宣教師として奉仕するよう求めておられるのでしょうか。」マタイ10：37 - 39；教義と聖約18：10 - 16を生徒が読む。そして、質問の答えを見つける。以下の質問をする。

- 家族を離れて主に仕えることによって、実際にどんなふうに家族が強められるでしょうか。
- 主は家族を大切に考えておられます。主の勧めの中で、何がそのことを表しているでしょうか。(家庭の夕べ、家族の祈り、家族で行う聖文研究などの答えが考えられる。)
- 両親がその責任を果たせるように、あなたにはどんな助けができるでしょうか。
- 良い親になるために、今、どんな準備ができるでしょうか。

主はわたしたちに、教会の様々な召しにおいて奉仕するよう求めておられると証する。けれども、プリガム・ヤングのように、わたしたちは家族の「世話を特によく」しなければならぬ。「家族 - 世界への宣言」から、以下の言葉を読む。

「家族は神によって定められたものです。……神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養い育てるという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。」(「家族 - 世界への宣言」『聖徒の道』1998年10月号、24)

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老はこのように語った。

「皆さんは、人類の歴史の中でこの特別な時代のために取っておかれた、選ばれた世代です。皆さんの家族をますます成長発展させるために、皆さんは与えるものをたくさん持っています。家庭で福音がほんとうに生かされるように、青少年の皆さんのその特別な熱意あふれる精神をもって、家族の中で積極的に行動するようチャレンジします。」(「善い父母から……教えを受けた」『聖徒の道』1994年7月号、41)

## 教義と聖約127 - 128章

### はじめに

1836年4月3日、エリヤがカートランド神殿にジョセフ・スミスとオリバー・カウドリを訪れて、結び固めの鍵<sup>かぎ</sup>を地上に回復した(教義と聖約110：13 - 16参照)。教会員はこの力によって死者の

ための儀式を執行することが可能になった。127 - 128章はジョセフ・スミスがこのテーマについて聖徒たちに書き送った手紙である。ウィルフォード・ウッドラフ大管長はこのように語った。

「〔預言者〕は神の言葉とイエス・キリストの福音のために殉教するまで、この業のことで頭がいっぱいだった。預言者はすべての神権時代と神の業が世代から世代へと結び合わさなければならないとわたしたちに語った。預言者はそれまでに与えられたどのようなテーマよりもこのことに思いを寄せていた。」(The Discourses of Wilford Woodruff, G・ホーマー・ダラム選〔1946年〕、156。教義と聖約128：1、18参照)

わたしたちには亡くなった親族のために行うべき義務がある。この義務を怠るならば、わたしたちの救いは危うくなる(教義と聖約128：15、18参照)。十二使徒定員会会員を務めたジョン・A・ウィッツォー長老は、このように説明した。

「わたしたちは前世において、大会議の日に全能者と契約を交わした。主が計画を提示され、……わたしたちがそれを受け入れたのだ。その計画は全人類のために作られたものである。わたしたちは計画の下にあるすべての人の救いを助けることになったのである。わたしたちはまさにそのとき、その場で、自らの救い手となるだけでなく、……全人類の救い手となることに同意したのである。わたしたちは主と協力して働く者となった。したがってこの時点から、この計画の遂行は単に天の御父や救い主の業だけでなく、わたしたちの業ともなった。」(“The Worth of Souls,” The Utah Genealogical and Historical Magazine, 1934年10月号、189)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 迫害を堪え忍ぶ義人は報いを受ける(教義と聖約127：1 - 4参照。詩篇23篇；アルマ5：3 - 6も参照)
- 神殿の儀式は記録され、二人または三人の証人によって確認を受けなければならない。これらの記録は主にささげられる(教義と聖約127：5 - 9；128：1 - 10、24参照。マタイ16：18 - 19；黙示20：12；教義と聖約6：28も参照)
- 水に沈めるバプテスマは死と埋葬と復活を表している(教義と聖約128：12 - 14参照。ローマ6：4 - 6も参照)
- エリヤが回復した鍵<sup>かぎ</sup>は、生者と死者の救いの儀式を執行し、家族を永遠に結び固めるために必要なものであった。わたしたちは義にかなった先祖と結び固められなければならない(教義と聖約128：15 - 18参照。オバデア1：21；マラキ4：5 - 6；1コリント15：29も参照)
- 主は現代に神権の鍵<sup>かぎ</sup>と力を十分に明らかにされた。わたしたちはこれらの祝福が回復されていることを喜ぶべきである(教義と聖約128：19 - 23参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、251 - 252。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、335 - 340。

### 教え方の提案

教義と聖約127：1 - 4。迫害を堪え忍ぶ義人は報いを受ける。(15 - 20分)

死すべき世と書いたラベルをはった透明で大きな容器と、<sup>かんなん</sup>難難



と書いたラベルをはった水差しに水を入れたものを生徒の見える位置に置く。ジョセフ・スミスがその生涯で受けた艱難を生徒が挙げる(127:1に記されている艱難を含む)。生徒が艱難を挙げる度に水差しから透明な容器に少しずつ水を注ぐ。以下の質問について話し合う。

- 死すべき世において人は艱難に遭います。なぜ主は人が艱難を受けるままにしておられるのでしょうか。
- あなたや同年代の人は、どんな艱難に遭っているのでしょうか。
- チャレンジに遭遇するときに表す信仰と勇気のレベルは、人によって違います。なぜでしょうか。
- 信仰を持って艱難に立ち向かう人とそうでない人は、性格的にどんな違いがあるのでしょうか。

同じ大きさで一つは水に浮き、一つは沈む二つのボールを見せる(中が空洞になった練習用のゴルフボールと、普通のゴルフボールを使うとよい)。二つのボールを水の入った容器に入れる。次のように質問する。「この二つのボールは、試練に遭った人々の反応の仕方をどう表しているのでしょうか。」2節を読む。どちらのボールが預言者ジョセフ・スミスの反応を表しているかを見つける。以下の質問をする。

- 預言者が記したこの手紙の中で、あなたが最も感動したのはどの言葉ですか。
- 預言者は自分が「創世の前から任じられていた」ことを知っていました。そのことは、どんなふうに艱難に対処する助けになったと思いますか(アブラハム3:22-23も参照)。
- 預言者はなぜ「わたしがいつも泳いでいる水は深いのです」と記したのでしょうか。
- 預言者は艱難から解放されたことをだれのおかげだと言っているのでしょうか。
- 困難なときに神に心を向けることは、なぜ大切なのでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を分かち合う。

「がっかりしてはいけない。……わたしはたとえノバスコシアのいちばん深い穴に落ち、そこへロッキー山脈がかぶさったとしても、あきらめず、信仰を行使し、勇気を持ち、その頂上にはい出さずでしょう。」(ジョン・ヘンリー・エバンズ, *Joseph Smith, an American Prophet* [1989年], 9)

3-4節を生徒が読む。以下の質問をする。

- これらの節は、苦難について何を教えているのでしょうか。
- 迫害を堪え忍ぶ人に、主はどんな約束を与えておられるのでしょうか。
- あなたはこれまでどんな迫害に遭ってきましたか。それらは「あなたがたより前の預言者たちと義人たちが」が受けた迫害と比べてどう思いますか。

預言者ジョセフ・スミスの模範にさらによく従うためにできることを生徒が紙に書く。

**教義と聖約**127:5-9; 128:1-10, 24。神殿の儀式は記録され、二人または三人の証人によって確認を受けなければならない。これらの記録は主にささげられる。(25-30分)

ある生徒が先週の日曜日に教会に出席したかどうか、今のその生徒の外見だけを見て分かるかどうか、生徒たちに聞く。十分な証拠なしに判断を下すことがどれほど難しいかについて話し合う。次のように質問する。「ある生徒が先週の日曜日に教会に出席したかどうかを判断するためには、どうすればいいでしょうか。」(両親、教師、または出席した友だちに聞く。あるいは、出席簿を見ることができるとある。)以下の質問について話し合う。

- 十分な証拠があると正しい判断がしやすいのは、なぜでしょうか。
- 証人はなぜ役立つのでしょうか。記録が役立つのは、どうしてでしょうか。

教義と聖約128:6を読む。それから、以下の質問をする。

- わたしたちはいつか、あるものによって裁かれます。そのあるものとは何でしょうか。
- 7節を読んでください。ヨハネはどんな書物について述べているのでしょうか。(地上で記される記録。)命の書とは何でしょうか。(天で記される記録。)
- 8-9節を読んでください。これらの節では、正確な記録をつけることの大切さについて、何が教えられているのでしょうか。

ワードか支部の書記の名前を知っている生徒は、手を挙げる。クラスの何パーセントの生徒が手を挙げたかを調べる。生徒は教義と聖約127:5-9; 128:3-4, 6, 8にざっと目を通す。そして、以下の質問に答える。

- 書記や記録者は、何を記録するのでしょうか。
- 記載された記録は、証人の律法とどう結びついているのでしょうか。
- あなたは、あなた自身の儀式の記録が正確であってほしいと思いますか。なぜ正確であってほしいと思いますか。(わたしたちの裁きの一部は、これらの記録によるから。)
- わたしたちが死者のために行う儀式の記録は、なぜ正確でなければならないのでしょうか。
- 書記と記録者は、わたしたちの救いにとってどんな役割を果たすのでしょうか。
- 書記、記録者、幹部書記として働く人たちの資格について、主は何と言っておられるのでしょうか。

ワードや支部の幹部書記や書記、あるいは、その他記録をつける人々に感謝するよう生徒に勧める。

生徒に未使用の系図表を配る。4代先までの先祖の情報を記憶に基づいて記入する(氏名、生年月日、儀式年月日、など)。しばらくしてから、教義と聖約128:24を読む。以下の質問をする。

- 主は末日聖徒に、どんなささげ物を求めておられるのでしょうか。(亡くなった先祖の記録)
- 家族歴史活動はなぜそれほど大切なのでしょうか。
- あなたの家族の歴史について、いつから作業を始めるべきだと思いますか。
- 正確な記録をつけることは、あなたの先祖にとってどんな祝福となるのでしょうか。
- それはあなたにとってどんな祝福となるのでしょうか。
- それはあなたの子孫にとってどんな祝福となるのでしょうか(教義と聖約128:15, 18参照)。

生徒に次のように言う。「あなたが書いた系図表をそのまま主に提出しなければならないと考えてください。」それは「そのまま受け入れるに値する」でしょうか。先祖の名前を集め、先祖のために神殿の儀式を行うよう勧める。七十人定員委員会を務めていた当時にW・グラント・バンガーター長老が語った以下の言葉を読む。

「忘れてならないことは、神殿の儀式は名前のためではなく人のために行われるということです。わたしたちが『死者』と呼ぶ人々は、霊界で生きており、神殿の中に実在するのです。」(「神殿の目的」『聖徒の道』1982年7月号、125)

### 教義と聖約128：12 - 14。水に沈めるバプテスマは死と埋葬と復活を表している。(10 - 15分)

二人の生徒とロールプレーをする。二人が前に来て、宣教師の役になる。二人に以下の質問をする。

- あなたたちの教会は、なぜバプテスマが必要であると信じていますか。
- あなたたちは、なぜ水に沈めるバプテスマが必要であると信じているのですか。
- あなたたちはほんとうに死者のためにバプテスマを施しているのですか。どんなふうに行うのですか。

ほかの生徒からも意見を聞く。

ヨハネ3：5；1コリント15：29；教義と聖約128：12 - 14を調べ。別の二人の生徒が前に来て宣教師の役をする。二人はこれらの聖句から学んだことに基づいて、以下の質問に答える。

- 水に沈めるバプテスマは、何を表しているのですか。
- バプテスマを受けないとどうなるのですか。
- 死者のためのバプテスマは、聖書の時代に行われていましたか。
- 地上で行われる儀式は、どのように天で受け入れられるのですか。
- どんな人が、死者のためのバプテスマを執行できるのですか。

死者のためのバプテスマを受けたことのある生徒がいれば、何人かが前に出て来る。出てきた生徒たちは以下の質問、または同様の質問に答える。ほかの生徒からも意見を聞く。

- 死者のためのバプテスマに参加できるのは何歳からでしょうか。(12歳。)
- 死者のためのバプテスマに参加するために神殿に参入するときは、どんな服で行くといいでしょうか。
- 死者のためのバプテスマを行うとき、白い服を着るのはなぜだと思いますか。
- 神殿のバプテスマフォントは、どんな造りになっているでしょうか。
- 神殿のバプテスマフォントが地下に造られているのはなぜでしょうか。(フォントは墓を表している。)
- 12頭の牛は何を表しているのでしょうか。(イスラエルの十二部族。)
- 死者のためのバプテスマに参加するためには、どんな準備を

したらいいでしょうか。

死者のためのバプテスマについての証を分かち合うよう生徒に勧める。機会がある度に神殿に行って、死者のための儀式に参加するよう励ます。

### 教義と聖約128：15 - 18。エリヤが回復した鍵は、生者と死者の救いの儀式を執行し、家族を永遠に結び固めるために必要なものであった。わたしたちは義にかなった先祖と結び固められなければならない、完全な者となることができない。(20 - 25分)

127章と128章は、預言者ジョセフ・スミスが身を隠していたときに記した手紙であることを生徒に教える。127 - 128章の「はじめに」から、情報を分かち合う(203ページ)。以下の質問をする。

- 1842年9月、ジョセフ・スミスの頭は、あることでいっぱいでした。それはどんなことだったでしょうか。
- 死者の贖いに関する教義は、預言者にとってとても大切なものでした。なぜだと思いますか。

生徒に次のように言う。「氷の張った池の上を歩いているとします。突然氷が割れて池に落ちてしまいました。自分の力では氷の上にはい上がることができません。見ると、岸辺の木から長い枝が伸びています。少し離れた所を歩き来している人々の話し声が聞こえます。」

- あなたの叫び声がだれにも聞こえなかったら、どうなるでしょうか。
- 叫び声を聞いても、木の枝を差し伸べてくれる人がいなかったら、どうなるでしょうか。

教義と聖約128：18を読む。以下の質問をする。

- この節は氷の張った池に落ちた例と、どこが似ているでしょうか。
- すでに亡くなった人々は、どんなことについてあなたを頼みにしているでしょうか。
- 「彼らなしにはわたしたちが完全な者とされることはない」とあります。なぜだと思いますか。
- 「固いつながり」がある人々、すなわち結び固められている人々の鎖に加わることは、なぜ大切なのでしょうか。

17節を読む。だれが家族を結び固める力を回復したかを調べる。教義と聖約110章を復習し、エリヤがいつ、どのようにしてその力を回復したかを生徒が思い起こせるようにする。

オバデヤ1：21を読む。「救う者はシオンの山に上って」という部分に注目する。「救う者」とはどんな人かを説明する。(救う者とは、だれかが何かをすることができなくて困っているときに、その人の代わりにしてあげる人のこと。)教義と聖約128：15 - 16を読む。以下の質問をする。

- わたしたちは死者にとって、どんなふうにかつて救う者となることができるでしょうか。
- あなたが身代わりとしてバプテスマを受けた人々は、あなたにどんな気持ちを抱くと思いますか。

神殿でほかの人々のために儀式を行うよう、そして、いつか神殿で結び固めを受けるために準備をするよう励ます。

### 教義と聖約128：19 - 23。主は現代に神権の鍵と力を十分に明らかにされた。わたしたちはこれらの祝福が回復されているこ

**とを喜ぶべきである。(10 - 15分)**

歌を歌ったり、踊ったり、歓声を上げたり、祝いたくなるほど幸せだと感じたときのことを思い出すよう生徒に勧める。以下の質問をする。

- なぜそれほど幸せだったのですか。
- そのように感じることは、どれくらい頻繁にあるでしょうか。
- 2ニーファイ2：25を読んでください。この節の中の喜びとは、どんな意味でしょうか。
- この「喜び」は、福音に従って生活することと、どんな関係があるでしょうか。

「み恵み数えあげ」(『賛美歌』, 153) を歌う。感謝することは、喜びを感じる能力とどんな関係があるか話し合う。教義と聖約128：19 - 23には、ジョセフ・スミスが福音によって感じた喜びが表されていると説明する。これらの節は、詩篇や賛美歌に匹敵するものである。これらの節を生徒が読む。そして、預言者ジョセフに大きな喜びを与えた示現、教義、経験を見つける。以下の質問をする。

- ジョセフ・スミスはこれらの経験によって、なぜそれほど大きな喜びを得たのだと思いますか。
- これらの節を読むと、自分が教会員であることについてどんな気持ちになりますか。
- これらの祝福のうちで、最も感謝していることはどれですか。
- ジョセフは様々なことに喜びを表しました。その中で、あなたに最も関連があることはどれでしょうか。

初期の教会員であったサラ・ステューデバント・レビットの以下の話を分かち合う。

「神の愛について書き記すとしたら、.....大海が干上がるでしょう。もっとも、海がインクで、大地が紙で、棒切れは全部ペンで、人が皆筆記者だったらの話ですが。神の偉大さを賛美しようとするとき、神の御名を尊んで大いなるものとしようとするとき、わたしはそれを表現するためのふさわしい言葉を持っていないことに気づきます。けれども、弱くて、もろいこの体を離れるときには、神の偉大さと聖さを賛美できるようになることを望んでいます。」(History of Sarah Studevant Leavitt, ジュアニータ・レビット・パルシファー編〔1969年〕, 29)

福音について感じていることを紙に書くよう生徒に勧める。また、生徒が証と感謝を述べるができるように、クラスの時間をとる。さらに、福音の祝福に対する喜びと感謝を表す賛美歌を何曲か歌ってもよい。

**教義と聖約129章****はじめに**

主は時々天使を遣わして地上の人々を教え導かれる。悪魔も

人々を欺くために使者を送ることができる。預言者ジョセフ・スミスは129章の中で、主の天使と悪魔の使者とを見分ける3つの大いなる鍵を与えている。

ウィルフォード・ウッドラフ大管長はこのように語った。

「何年か前に使徒の一人がこう言いました。『ウッドラフ兄弟、わたしは天使から導かれることを求めて長い間主に祈ってきました。わたしは心から望んでいるのですが、いまだに祈りが答えられません。』イスラエルの神にその賜物を求めて1,000年祈ったとしても、主が彼に天使を遣わす理由を持っておられないかぎり、かなえられないだろうとわたしは言いました。天使を見たいという個人の望みを満足させるだけのために、主が天使を遣わされることはこれまでになかったし、これからもないだろうと言いました。もし主がだれかに天使を遣わされるとしたら、天使の導きによらなければなしえない業を行わせるために遣わされるのです。.....」

さて、わたしが常々言っているように、皆さんに言いたいと思います。神のすべての聖徒が必要としているのは聖霊なのです。人にとって聖霊の賜物を受けることは、天使の導きを受けることよりもはるかに大切なことなのです。」(ブライアン・H・ストイ編, Collected Discourses Delivered by President Wilford Woodruff, His Two Counselors, the Twelve Apostles, and Others, 全5巻〔1987 - 1992年〕, 第5巻, 233)

**学び取るべき重要な福音の原則**

- 天使と霊たちはもちろんのこと、悪霊さえも天の律法に従わなければならない。これらの律法を理解するならば、わたしたちは欺かれずに済む(教義と聖約129章参照。教義と聖約130：4 - 7も参照)。

**補助資料**

- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 341 - 343。

**教え方の提案**

**教義と聖約129章。天使と霊たちはもちろんのこと、悪霊さえも天の律法に従わなければならない。これらの律法を理解するならば、わたしたちは欺かれずに済む。(20 - 25分)**

アルマ30：53を生徒が読む。そして、コリホルに起きたことを説明する。以下の質問について話し合う。

- もし、あなたに天使が現れたとしたら、その天使が主から遣わされた者か、それとも悪魔からの者かを知るには、どうしたらいいでしょうか。
- これを見分けることは、なぜ大切でしょうか。

教義と聖約129：9を読む。様々な天使、または使いの間にある違いを見分けるために、129章に幾つの鍵が与えられているかを見つける。一人の生徒が、129章の「はじめに」から、ウィルフォード・ウッドラフ大管長の言葉を読む。別の生徒が、ジェフリー・R・ホランド長老が語った以下の言葉を読む。

「わたしたちが生徒に教える必要のあること、彼らが長く生きれば生きるほど大切になってくることを一つ皆さんにお教えしたいと思います。それは天使が実在し、天使が

働き、教え導くことが実際にあるということです。当然のことながら、わたしが話しているのは天使モロナイのことだけではありません。もっと身近にいる仕える天使のことも意味しているのです。彼らはわたしたちとともに、わたしたちの周囲にいます。わたしたちを助ける権能を与えられ、まさしくわたしたちを助けてくれるのです。……

もしわたしたちが目を覚まし、天使の語ろうとしている御霊の言葉に耳を傾けようとするならば、恐らく、わたしたちの生徒を含む多くの人々が、文字どおり、あるいは少なくとも比喩的な意味において、周囲にいる天使たちを見ることができたはずで……

わたしはこれまで以上に天使の働きについて語り、信じ、そして証する必要があると信じています。これは幕を通してその先を見るための神の大いなる方法の一つだからです。」(A Standard unto My People [ブリガム・ヤング大学で行われたモルモン書シンポジウムにおいて宗教教育者に対して行われた講演, 1994年8月9日], 11 - 13)

以下の質問をする。

- これらの言葉から、天使について何が学べるでしょうか。
- 聖文の中で語られている、天使の実在についての証を得ることは、なぜ大切だと思いますか。
- あなたは天使を見ることはないかもしれません。たとえそうだととしても、天使がどんなふうに地上で仕えるかをよく理解することは大切です。なぜだと思いますか。

教義と聖約129:1-3を読む。以下の質問をする。

- 天には何種類の存在者がいるでしょうか。
- 「天使」と「完全な者とされた正しい人々の霊」の違いは何でしょうか(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』341ページから、これらの節に関する注解参照。教義と聖約130:4-7も参照)。

教義と聖約129:4-9を読む。天使が神から遣わされた者かどうかを知るうえで役立つ3つの大いなる鍵を見つける。以下について話し合う。

- 5節には、何が教えられているでしょうか。
- 教義と聖約9:8には、感じるということについて何が書いてあるでしょうか。
- 教義と聖約129:7には「正しい人が欺くのは、天の秩序に反する」と記されています。主から託された情報は正しく伝えられなければなりません。なぜだと思いますか。
- モロナイ7:12-16を読んでください。神から伝えられる情報について、これらの節から何が学べるでしょうか。
- 教義と聖約129:8は、悪霊の欺きについて、何を教えているでしょうか。
- このことを知っていれば、霊的なことについて間違った方向に導かれないように、どんな助けが得られるでしょうか。

神がわたしたちを愛しておられることについて証する。神がわたしたちと積極的に交わろうとしておられることについて、次のものがそれぞれどのように示しているかについて生徒に聞く。

- 聖典
- 生ける預言者の言葉
- 祈り
- 聖霊の賜物<sup>たまもの</sup>
- 神殿

神は生徒と交わられる。その方法を理解するために、また、神の勧告に従うために努力するよう生徒を励ます。

## 教義と聖約130章

### はじめに

主は預言者ジョセフ・スミスを通して多くの偉大で大切な真理を明らかにされた。十二使徒定員会会員を務めたパーリー・P・プラット長老は、預言者ジョセフについてこのように記した。「静かで落ちついたまなざしの中にも、人の心の奥底を見通し、永遠を見詰め、天を貫き、世界をすべて理解するような何かがありました。」(Autobiography of Parley P. Pratt [1985年], 32)

後に大管長となったウィルフォード・ウッドラフは、このように記した。

「彼は知識の泉のようであって、彼の口から永遠の知恵が川のように流れ出ました。彼は人々の前に立つとき、神の権能が与えられていることがはっきりと分かりました。」(マサイアス・F・カウリー, Wilford Woodruff, Fourth President of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints: History of His Life and Labors as Recorded in His Daily Journals [1909年], 68)

七十人定員会会員のロバート・E・ウェルズ長老はこのように述べた。

「ジョセフが教えた永遠の真理は、何世紀もの間、哲学者たちの心にあった疑問に答えを与えています。ジョセフ・スミスに明らかにされた教義的な教えを研究し、真理を真剣に求めるならば、イエス・キリストのみもとへ導かれ、救い主、贖い主、御父に対するわたしたちの弁護者としてのイエス・キリストの役割を理解するでしょう。救い主に関するジョセフの教えを研究すれば、迷いや疑いは晴れ、心が変わります。正直な人は哲学的な次の質問に対するジョセフの答えによって、人生の意義を見いだします。わたしはどこから来たのか。なぜここにいるのか。死んだ後どこへ行くのか。ジョセフに与えられた啓示により、現世と前世の間の忘却の幕が、時としてほとんど透けてしまうことがあります。……現世と霊界との間の幕はますます薄くなり、家族のきずなはさらに強く、甘美で意義深いものになります。」(「世界に告げるメッセージ」『聖徒の道』1996年1月号, 71参照)

130章は救いの計画に関する多くの基本的な真理に光を当てている。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 父なる神と御子イエス・キリストは、人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。聖霊は霊の


御方である（教義と聖約130：1-3，22-23参照）。

- この地球は、日の栄えの王国になるとき、そこに住む者たちにとって一つのウリムとトンミムになる（教義と聖約130：8-11参照。教義と聖約88：17-20も参照）。
- イエス・キリストの再臨の正確な時は、神だけしか御存じでない。わたしたちはそのための常に準備すべきである（教義と聖約130：14-17参照。マタイ24：36；教義と聖約49：7も参照）。
- わたしたちが得る知識は、この世だけでなく復活した後にも役立つ（教義と聖約130：18-19参照）。
- わたしたちが神から受けるすべての祝福は、神の律法に従順であることによる（教義と聖約130：20-21参照。教義と聖約82：10；132：5も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、259 - 260。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』、343 - 346。

## 教え方の提案

 **教義と聖約130：1-3，22-23（マスター聖句，教義と聖約130：22-23）。** 父なる神と御子イエス・キリストは、人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。聖霊は霊の御方である。（15-20分）

神会のそれぞれの御方について各々の生徒が簡単な説明を書く。何人かの生徒が自分の書いたことを発表する。それから、教義と聖約130：1-3，22-23を読む。以下の質問をする。

- これらの節では神会についてどんなことが教えられているでしょうか。
- 神の性質について正しい知識を持つことは、なぜ大切でしょうか。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が述べた以下の言葉を紹介する。

「わたしたちが背教と呼ぶこの過程の中で、旧新約聖書に述べられている触知し得る体と人格をお持ちの神は、〔ギリシャ哲学の思索主義などを基にして〕抽象的で不可解な神に代わってしまったのです。……

……末日聖徒はそのような信仰を持つ人々を批判しているのではないということを、ここで申し添えておきたいと思います。わたしたちは、宗教界の指導者と信徒の多くは、神を愛し、またそれぞれに最善を尽くして神を理解し、神に仕えている誠実な方々であると信じています。……

そして、『最初の示現』の時が訪れました。究極の源に知識を求めた無学な少年が、筆紙に尽くしがたい輝きと栄光を持つ二人の御方にまみえたのです。そのうちの御一方が、別の御方を指して、『これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい』（ジョセフ・スミス1：17）と言われました。

……

その後も現代の聖典と啓示が次々と与えられましたが、その中で、この現代の預言者は次のように宣言しました。『御父は人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。御子も同様である。しかし、聖霊は骨肉の体を持たず、霊の御方であられる。』（教義と聖約130：22）

このことを信じているからといって、わたしたちが神を理解するために十分な霊的成長を遂げていると主張しているわけではありません。また、わたしたちの不完全な肉体と、栄光に満ちた不死不滅の御方の体を同一視しているわけでもありません。しかしわたしたちは、神が御自身と神会の別の御二方について啓示された基本的な教義を理解することができます。そしてこの知識は、人生の目的を理解するうえで、また、現世の後に復活して迎えることになる永遠の行く末を理解するうえで不可欠のものです。』（「背教と回復」『聖徒の道』1995年7月号、91-92参照）

『聖句ガイド』から、「神；神会」（70-71ページ）を生徒が調べる。そして、神の真の特質についての参照箇所をさらに見つける。印象に残った参照聖句を紹介するよう勧める。

**教義と聖約130：8-11。** この地球は、日の栄えの王国になるとき、そこに住む者たちにとって一つのウリムとトンミムになる。（15-20分）

以下のクイズを行う。

1. ウリムとトンミムという語には、どんな意味があるでしょうか。（光と完全。）
2. ウリムとトンミムの基本的な使い方を二つ挙げてください。（啓示を受ける。言語を翻訳する。）
3. ウリムとトンミムがどんなものかについて、聖典のどこに記されていますか。（ジョセフ・スミス - 歴史1：35。）

『聖句ガイド』から、「ウリムとトンミム」（46-47ページ）を開く。そして、クイズの正解を見つける。

教義と聖約130：8-11について話し合いながら、黙示2：17を生徒が読む。そして、そこにしるしをつける。

**教義と聖約130：14-17。** イエス・キリストの再臨の正確な時は、神だけしか御存じでない。わたしたちはそのための常に準備すべきである。（10-15分）

生徒は以下の文の中で自分の気持ちを最もよく表しているものに手を挙げる。

- 「再臨の正確な日付けを教えてもらえたらいいのと思う。」
- 「いつ再臨の時が来るのか、知りたくない。」

なぜそれを選んだかを話すよう何人かの生徒に勧める。マタイ24：3；教義と聖約130：14を読む。再臨がいつ訪れるかを救い主に尋ねた人を見つける。次のように質問する。「キリストの弟子たちと預言者ジョセフ・スミスは、どんな答えを受けたでしょうか。」（マタイ24：36-39；教義と聖約130：15-17参照）主はわたしたちを備えさせるために、再臨に先立つ幾つかのしるしを明らかにされたと教える（『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』345 - 346ページから、教義と聖約130：14-17の注解を参照）。

生徒に次のように言う。「人は生まれつき、残りの寿命を表示する計器が片方の肩から出て来るようにできていると想像してください。」

- あなたはこのような計器がある方がいいと思いますか。ある方がいいと思う人は、なぜそう思いますか。ない方がいいと思う人は、なぜそう思いますか。
- あなたはどれくらいの頻度でその計器を見ますか。
- 家族や友だちの計器も見たいと思うでしょうか。
- 計器に示される残りの寿命は、あなたの選択や時間の使い方によってどんな影響を与えるでしょうか。
- この計器はあなたがイエス・キリストへの信仰に基づいて行動しようとする気持ちに、どう影響するでしょうか。
- このような計器は、再臨の時を知ることと、どこが似ているでしょうか。
- 正確な時を知ることによって、あなたの福音に対する従順の度合いは違って来るでしょうか。

マタイ24：42 - 47を読む。以下の質問をする。

- 弟子たちに来臨の時が知られることはないことを御存じだった主は、弟子たちにどんな勧告を与えられたでしょうか。(常に準備しておくように。)
- これはわたしたちにとって、なぜ、良い勧告なのでしょう。
- わたしたちは主の再臨によく備えるためにどんなことができるでしょうか。



**教義と聖約130：18 - 19 (マスター聖句)。わたしたちが得る知識は、この世だけでなく復活した後も役立つ。(15 - 20分)**

生徒全員がよく見えるような場所に、透明の水差しを二つ置く。片方の水差しに水を注いでから、これはある人の生涯を表していると伝える。この人がたどった人生について、またこの人が手に入れたこの世の財産について話す。どんな財産を手に入れたかを挙げる度に、それを表すものを水の中に落とす。(宝石類を表すために指輪、車を表すために車のキー、仕事を表すために硬貨を使ってもよい。)この人は突然死んでしまったと生徒に話す。もう一つの水差しの上にもろ過器を置いて、最初の水差しの中身をろ過器に注ぐ。ろ過器には「この世の」ものが残ったことを示す。以下の質問をする。

- このろ過器と死は、どこが似ているでしょうか。(わたしたちは死ぬときに財産を持って行くことができない。)
- 教義と聖約130：18 - 19を読んでください。これらの節によれば、わたしたちは死ぬときに何を持って行くことができるでしょうか。

別の人についても実物を使ったレッスンを繰り返す。同じこの世的なものを使って、それらを水差しの中へ入れる。けれどもこの人は祈っていたと言う。水の中に食品用の着色料を一滴たらす。この人は毎日聖文を読んでいたと言って、食品用の着色料をもう一滴たらす。この人も亡くなったことを言って、別の水差しの上にもろ過器を置き、中身を注ぐ。最初の人死んだ後に持つて行くことができなかったが、2番目の人が持つて行くことができたものについて話し合う。次のように質問する。「ほかにどんな地上の経験を着色料として加えることができるでしょうか。」(伝道に出る、神殿で結婚する、教会の召しを果たす、バプテスマなどの

儀式を受ける、福音を学ぶなどの答えが考えられる。)

十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老が語った以下の話を分かち合う。

「わたしたちはこの世で得たものの中から何を持って復活するのだろうかと深く考えると、まず英知がともに復活することは明白のように思えます。この英知というのは、単に知能指数だけでなく、真理を受け入れて、それを実行する能力という意味における英知を指します。才能、特質、技術もわたしたちとともによみがえります。さらに、学習する能力、自制する力、働く力も確かにわたしたちとともによみがえるでしょう。」(We Will Prove Them Herewith [1982年], 12)

スペンサー・W・キンボール大管長は次のように教えた。

「あなたがたはそれぞれ、自分の可能性という領域の中で、一つの王国を築く力を持っています。あなた自身が王あるいは神として、その王国を管理するのです。あなたは自分自身を發展させなければならないでしょう。その王国に住む人々を統治する能力と力とふさわしさを培い、伸ばす必要があるのです。あなたがたは楽しい時を過ごし、衝動や情熱や欲望を満たすだけのためにこの地球に来たのではありません。メリーゴーラウンドや飛行機、自動車に乗って、世の人々が『楽しみ』と呼ぶものを味わうだけのために来たわけでもありません。

あなたは非常に重大な目的のためにこの世界に送られました。あなたは学校に送られているのです。……幼児としてスタートし、信じられないほどの知恵、判断力、知識、力を身に付けてきました。だからこそ、『これがいい』とか『あれが欲しい』とか言うだけではあなたもわたしも満足できないのです。だからこそ、わたしたちは子供のときも、青少年のときも、ヤングアダルトのときにも、可能性を最大限に伸ばす努力をしなければならないのです。そして、後の生活では、限界がなくなり、限りなく進歩し続けるようなことを心に留めながら、準備していかなければならないのです。」(“The Matter of Marriage” [ソルトレーク・シティー・インスティテュートにおける講演、1976年10月22日], 2)

教義と聖約130：19を生徒がもう一度読む。「精励と従順によって」という語句を強調する。次のように質問する。「この語句があることによって、この聖句には、どんな意味が加わっているでしょうか。」精励と従順によって、ある分野で成長した自分の経験を分かち合う。さらに多くの知識と英知を得るのに役立つ目標を書き出すよう生徒に勧める。その目標を達成するためにしなければならない事柄を生徒が書き出す。また、そのために、なぜ精励と従順が必要なのかを書く。



**教義と聖約130：20 - 21 (マスター聖句)。わたしたちが神から受けるすべての祝福は、神の律法に従順であることによる。(20 - 25分)**

教義と聖約130：20 - 21を生徒が自分の言葉に直して書く。も

し必要であれば、難解な用語について生徒用学習ガイドを参照する（教義と聖約130章の「聖文を理解する」参照）。書いた事柄を発表するよう何人かの生徒に勧める。

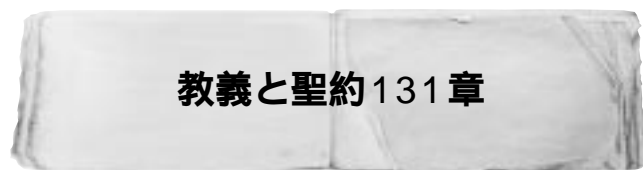
法則とその結果を表す簡単な例を幾つか示す。（例えば、ボールを落として引力の法則を示すことができる。壁に向かってボールを投げて、すべての運動には反作用があることを示すことができる。）以下の質問について話し合う。

- これらの法則の結果は、どれだけ予測可能でしょうか。
- 楽器の練習に関する法則には、どんなものがあるでしょうか。種子を植えて、水を与えることについてはどうでしょうか。定期的に運動することについてはどうでしょうか。
- 祝福と結びついている霊的な法則にはどんなものがあるでしょうか。

最後の質問が難しければ、黒板に「ヨシュア1:8; マラキ3:10; 2ニーファイ1:20; 31:20; 教義と聖約88:124; 89:18-21」と書く。これらの聖句を読む。律法と約束された祝福を見つける。

律法とそれらに付随して約束されている祝福が非常に具体的なものもある。一方で、あまり具体的でないものもある。また約束された祝福が来世で実現されるものもある。そのことを指摘する。

主から与えられた祝福について考える。それらの祝福がどの律法によるものかを考えるよう勧める。「戒めを守る人を」（『賛美歌』, 193番）の歌詞を読む。



## 教義と聖約131章

### はじめに

131章は1843年5月16日から17日にかけての様々な場面で預言者ジョセフ・スミスが教えた原則を編集したものである。「教義と聖約76章に記録されているジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた示現は、人の永遠にわたる行く末には広大な可能性のあることを非常に明快に教えている。この示現から、人類の大多数が最終的に受け継ぐ栄光に三つの階級、すなわち日の栄え、月の栄え、星の栄えがあることが分かる〔1コリント15:40-42; 2コリント12:2も参照〕。131章に含まれる情報から、日の栄えについての理解がさらに深まる。」（リン・G・オッテンとC・マックス・コールドウェル, *Sacred Truths of the Doctrine and Covenants*, 全2巻〔1983年〕, 2:348）

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 日の栄えの王国には、三つの天、すなわち三つの階級がある。その最高の階級を得るためには、永遠の結婚をしなければならない。この栄光を得た人たちが永遠に増し加えることができる（教義と聖約131:1-4参照。教義と聖約132:19-24も参照）。
- 神の求められるすべてのことに忠実であれば、わたしたちは自分が永遠の命を得るといふ知識を得ることができる（教義と聖約131:5-6参照。ヨハネ14:21-23; 2ペテロ1:10; 教


義と聖約93:1, 19も参照）。

- 実体のない物質というものは存在しない。霊はすべて物質である（教義と聖約131:7-8参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 254 - 256, 260。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 341 - 348。

### 教え方の提案

 教義と聖約131:1-4（マスター聖句）。日の栄えの王国には、三つの天、すなわち三つの階級がある。その最高の階級を得るためには、永遠の結婚をしなければならない。この栄光を得た人たちが永遠に増し加えることができる。（35-40分）

栄光の三つの階級の名称を生徒が挙げる（日の栄え、月の栄え、星の栄え）。1コリント15:40-41を読む。黒板に太陽の絵を描く。それから、それがどの王国を表しているか聞く。以下の質問について話し合う。

- 日の栄えの王国はなぜ太陽にたとえられると思いますか。
- 栄光の三つの階級を太陽、月、星にたとえることによって、パウロは日の栄えの王国について何を教えようとしたのでしょうか。（すべての王国には栄光があるが、日の栄えの王国の栄光は、ほかの王国の栄光をはるかにしのぐ。）
- 日の栄えの王国を受け継ぐためには、そのために必要なあらゆる犠牲を払わなければなりません。日の栄えの王国を受け継ぐことは、なぜそれほど価値があるのでしょうか。

教義と聖約131:1-4で教えていることを表す絵を生徒が描く。何人かの生徒が、自分が描いた絵を見せて、なぜその絵を描いたか説明する。以下の質問について話し合う。

- 日の栄えの王国の中の最高の階級にある人々は、ほかの階級の人々が行わなかったことを行いました。それはどんなことでしょうか。（注意：日の栄えの王国のほかの二つの階級を受け継ぐためには何をすべきかについて言及してはならない。）
- 「それは彼の王国の終わりであらう」とはどういう意味でしょうか（4節。マタイ25:34; 教義と聖約76:56; 132:19参照）。
- 「増し加える」とはどんな意味でしょうか（教義と聖約132:30-31参照）。

十二使徒定員会会員を務めていたときにハロルド・B・リー長老は次のように説明した。上記の質問について考えるのに役立つために、この言葉を紹介する。

「何が増し加えられるのでしょうか。子孫が増し加えられるということです。別な表現をするなら、神の聖なる戒めに従うことにより、わたしたちは……この地上で人を創造するという業において、神と働きを共にする力を授けられるのです。そして墓を越えて、この地球がその働きを終えた後も、家族のきずなの中で子孫が永遠に増し加えられていくのです。」（『歴代大管長の教え ハロルド・B・リー』, 16）

次のように質問する。「永遠の王国を得ること、そして永遠に増し加えられることは、努力する価値のある大切な祝福です。なぜでしょうか。」十二使徒定員会会員を務めていたときにスペンサー・W・キンボール長老が語った次の言葉を分かち合う。

「神の律法に従わず、……必要な儀式を受けようとしなない人は、離別して永遠に独りになってしまうのである。彼らには配偶者もなく、子供もないのである。」(『救しの奇跡』, 244)

最近神殿で結び固めを受けた夫婦にクラスを訪問してもらうよう手配しておく。その夫婦に教義と聖約131:1-4について証してもらう。また、神殿結婚に備えるよう生徒を励ましてもらう。ハワード・W・ハンター大管長が語った以下の言葉を読む。

「子供たちが主の宮で結婚するように計画し、教え、説き勧めましょう。どこで結婚し、どのような権能の下で夫と妻として宣言されるかがいかに大切かを、従来にも増して積極的に強調していきましょう。

福音を宣べ伝え、聖徒を完全にし、死者を贖うために<sup>あがな</sup>払うあらゆる努力は、聖なる神殿と関連しています。なぜなら、神殿の諸儀式は非常に重要なものであり、儀式がなければ神のみもとに戻ることはできないからです。皆さん一人一人がふさわしい状態で神殿に参入するよう、あるいは、聖なる宮に参入して自身の儀式と聖約を受ける日に向けて努力するようお勧めします。」(「神の御子に従う」『聖徒の道』1995年1月号, 97参照)

**教義と聖約131:5-6。神の求められるすべてのことに忠実であれば、わたしたちは自分が永遠の命を得るという知識を得ることができる。(10-15分)**

注意：教義と聖約132:49-50の「教え方の提案」(215-216ページ)も参照する。

1枚の保証書を見せる。以下の質問をする。

- 保証書を持っているとどんな利点があるでしょうか。
- 保証書の価値は発行者によって変わります。どんなふうになるのでしょうか。
- 天の御父からの保証にはどれくらい価値があるのでしょうか。それはなぜでしょうか。

モーサヤ26:20を読む。そして、主がアルマに約束されたことを生徒が見つける。モーサヤ17:2; 18:1; 24:8-12; 26:15を読む。そして、アルマについて学ぶ。次のように質問する。「アルマの模範を基に考えれば、わたしたちは永遠の命を得るために何をしなければならぬと思いますか。」

教義と聖約131:5を生徒が読む。そして、永遠の命を保証されることの別の言い方を調べる。6節を読む。それから、大管長会で副管長を務めたマリオン・G・ロムニー副管長の以下の言葉を紹介する。

「『唯一の、まことの神……と、……イエス・キリスト』(ヨハネ17:3)に関する知識は、全世界で最も重要なものです。この知識なくしてだれも救われることはできないとジョセフ・スミスは言いました。この知識に欠けていること、つまり無知の状態について、啓示に記されています。すなわちそのことが次のように記されています。『人が無知で救われることは不可能である。』(教義と聖約131:6)」「だれでも新しく生まれなければ」『聖徒の道』1982年4月号, 22参照)

モルモン書ヤコブ1:6; モーサヤ5:13を読む。神とイエス・キリストを知る知識を得るにはどうしたらよいか、また天の御父とともに住むためにはどんな準備ができるか話し合う。

## 教義と聖約132章

### はじめに

132章はこの世と永遠にわたる結婚(3-33節参照)と多妻結婚(34-66節参照)について教えている。スペンサー・W・キンボール大管長は結婚について次のように語った。

「それはあなたの永遠の生活において行う最も大切な決断である。どの学校へ行くか、どの科目を勉強するか、何を専攻するか、どのような仕事に就くかといった決断とは異なる。これらの決断も大切ではあるが、本質的なものではない。永遠の結婚を申し込むときに下す決断の重大さに比べれば、取るに足らないものである。」(The Teachings of Spencer W. Kimball, エドワード・L・キンボール編[1982年], 301)

ジョセフ・F・スミス大管長は副管長を務めていたときに次のように記した。「多妻結婚の原則が初めてジョセフ・スミスに啓示されたのは1831年のことであった。しかし、当時は公表することも福音の教義として教えることも禁じられていた。そのため、ジョセフ・スミスはごく少数の親しい者たちにこの事実を打ち明けるにとどめた。」(“Plural Marriage,” アンドリュー・ジェンソン編, Historical Record, 全9巻[1882-1890年], 第6巻, 219で引用) 預言者ジョセフはこの原則を内密に教えた。1841年から1842年までに、彼と信頼の置ける数人の教会員がそれに従っていた(『時満ちる時代の教会歴史』, 256参照)。132章は1843年に記録されたが、教会は1852年まで多妻結婚の教義を公にしなかった。

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 神とともに住み、神のようになるためには日の栄えの結婚の律法に従わなければならない(教義と聖約132:3-6, 19-24参照。教義と聖約131:1-4も参照)。
- あらゆる聖約と契約は、正しい権能の下で主が定められた方法に従い、約束の聖なる御霊<sup>みたま</sup>によって結び固められるのでなければ、次の世では効力を持たない(教義と聖約132:7-14, 18参照)。




- 神殿外で執行された結婚は死をもって終わる。結び固めを受けていない男女は、次の世において結婚関係になく、永遠に独りのままでいる（教義と聖約132：15 - 18参照）
- 神殿結婚が神によって承認され、約束の聖なる御霊によって結び固められるとき、結婚関係は永遠に有効となる。結び固めを受けて、神の律法に従い続ける男女は昇栄する（教義と聖約132：19 - 33, 37参照。教義と聖約131：1 - 4も参照）
- 多妻結婚は、主が主の預言者を通じて命じられたものでないかぎり、禁じられている（教義と聖約132：34 - 39, 61 - 66参照。モルモン書ヤコブ2：27 - 30；公式の宣言1も参照）
- 時満ちる神権時代において、主は主の預言者を通じてすべての律法と戒めを与えてこられた。また、今後もそのようにされる（教義と聖約132：40, 45参照。使徒3：21；教義と聖約128：18も参照）
- 義にかなった人たちの中には、昇栄するという約束をこの世にいる間に受ける人もいる（教義と聖約132：49 - 50参照。2ペテロ1：10, 19；モーサヤ26：20；教義と聖約131：5も参照）
- 妻は義にかなって主に従う夫を愛し、支えるべきである（教義と聖約132：52 - 65参照。エペソ5：22 - 25も参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 254 - 256。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 349 - 357。

## 教え方の提案

 **教義と聖約132：3 - 6, 15 - 33, 37。神殿結婚が神によって承認され、約束の聖なる御霊によって結び固められるとき、結婚関係は永遠に有効となる。結び固めを受けて、神の律法に従い続ける男女は昇栄する。(25 - 30分)**

ある夫婦の結婚写真を生徒に見せる。配偶者となるために大切だと思う特質を生徒が挙げる。結婚相手を決めるのはどれくらい大切なことだと思うか生徒に聞く。ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を黒板に書き出す。「伴侶を慎重に選んでください。……永遠の生活において、それは最も大切な決断です。」(ジョン・L・ハート, “*Bueno! Juarez Academy Centennial*,” *Church News*, 1997年6月14日, 8)

結婚がなぜ人生においてそれほど大切な選択なのか話し合う。以下の質問をする。

- 神殿で結婚することはなぜそれほど大切なのでしょう（教義と聖約131：1 - 4参照）
- 今日、世の中には二種類の結婚があります。何と何でしょうか（永遠でない結婚と永遠の結婚）
- 教義と聖約132：3 - 6を読んでください。この節によれば、結婚の新しくかつ永遠の聖約を守らなければならないのはだれでしょうか。

黒板に見出しとして「永遠でない結婚」、「永遠の結婚」と書く。半数の生徒が教義と聖約132：15 - 18を読む。そして、永遠でない結婚について「もし……ならば、……」の文を探す。残りの生徒が19 - 24節を読む。そして、永遠の結婚について「もし……ならば、……」の文を探す。見つけた事柄を黒板の該当する見出しの下に生徒が書く。以下のような事項が挙がるであろう。

	条件	結果
永遠でない結婚	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女がこの世において結婚する（15節参照）</li> <li>● 永遠の結婚をしたが、約束の聖なる御霊によって結び固められていない（18節参照）</li> <li>● 永遠の結婚をしたが、その儀式は権能を持つ者によって執行されていない（18節参照）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 結婚は次の世において効力をもたない（15 - 18節参照）</li> <li>● 独りのままでいる（16 - 17節参照）</li> <li>● 昇栄しない（17 - 18節参照）</li> </ul>
永遠の結婚	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女は新しくかつ永遠の聖約によって結婚する（19節参照）</li> <li>● 結婚が権能を持つ者によって執行されている（19節参照）</li> <li>● 聖約を守っている（19節参照）</li> <li>● 結婚が約束の聖なる御霊によって結び固められている（19節参照）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一の復活に出て来る（19節参照）</li> <li>● 結婚が次の世においても効力を持つ（19節参照）</li> <li>● 昇栄する（19節参照）</li> <li>● 永遠に子孫を持つ（19節参照）</li> <li>● 神々となる（20節参照）</li> <li>● 主を知る（23 - 24節参照）</li> </ul>

注意：この活動を行うとき、男女が互いに永遠の約束を交わすだけでは不十分だということ、また永遠の結婚を執行できると主張するほかの教会で結婚したとしても不十分だということを生徒がよく理解できるようにする。結婚関係が永遠に続くためには、預言者ジョセフ・スミスに与えられて現在の大管長まで継承されている権能によって結婚が執り行われなければならない。現在、この権能は教会の神殿の中にしか存在しない。

スペンサー・W・キンボール大管長の以下の話を分かち合う。

「さて、すべての末日聖徒が昇栄するわけではありません。聖なる神殿に参入したことのある人がすべて昇栄するのではありません。主は『それを見いだす者が少ない』と言っておられます。それは、二つのことが必要だからです。その二つとは、(1) 聖なる神殿において結婚の結び固めを受けること、(2) 結び固めを永久のものとするために義にかなった生活を送ること、です。正しい結婚を通してのみ、……人は細くて狭い道を見いだすことができるのです。」(“*Marriage is Honorable*,” *Speeches of the Year: BYU Devotional and Ten-Stake Fireside Addresses, 1973* [1974年], 265 - 266)

以下の質問をする。

- 結婚を「永久のもの」とするためにキンボール大管長は何が必要であると語ったでしょうか。
- 昇栄しない男女の結婚関係は来世ではどうなるのでしょうか。（彼らは独りのままでいる。）
- このことを知っているとき、神殿で結婚することに対する望みはどのように変わりますか。
- 良い夫または妻になるために、今からどんな準備ができるでしょうか。

- デートするときにはこうしよう、と前もって幾つか決めておくことができます。今そのように決心しておくことは、将来の結婚にどうかかわってくるでしょうか。
- あなたはデートの相手にどんな特質を持ってほしいと思いますか。
- デートについて主はどんな標準を定めておられるでしょうか（パンフレット『若人のために』参照）
- これらの標準に従った場合とそうでない場合とでは、将来結婚する相手が違ってきます。どんな違いが出て来るでしょうか。
- 日々の自分の選択によって、どんなタイプの人に好かれるかが決まります。どんな選択をすると、どんな人に好かれるようになるでしょうか。

幸福な結婚がこの世と来世にどんな祝福をもたらすか生徒に話す。永遠の結婚の大切さについて証を述べる。

**教義と聖約132：7 - 14, 18. あらゆる聖約と契約は、正しい権能の下で主が定められた方法に従い、約束の聖なる御霊によって結び固められるのでなければ、次の世では効力を持たない。**（20 - 25分）

バプテスマ証明書、神権の聖任証明書、または結婚証明書を見せる。次のように質問する。「この儀式を受けるときにどんな約束をするでしょうか。」聖約を守ろうという自分の決意がどれくらい固いものか考える。次のように質問する。「これらの約束を守ることはなぜ大切なのでしょうか。」

エステル8：8を読む。それから、以下の質問をする。

- エステルの時代、王が書いた書にはどれくらいの拘束力があったでしょうか。
- 当時の人々は、王が書いたものであるかどうかをどうやって見分けたのでしょうか（王は指輪を使って印を押していた）。

次の言葉を紹介する。「王の印がある書は決して覆すことができなかつた。いったん公布された勅令は、新しい勅令を公布して取り消したり、撤回したりすることはできなかつた。」（アダム・クラーク、*Clarke's Bible Commentary*, 全6巻〔1827 - 1831年〕, 第2巻, 823）

黒板に「保証する」と書く。以下の質問をする。

- 今日こんにちの社会で、わたしたちは契約を結んだり、責任を持って絶対間違いないとしたりするために、どんなことをするでしょうか。（契約書に署名する、印を押す、握手する、約束する。）
- 福音において印を押すとはどんな意味でしょうか。
- 印を押されるとわたしたちはどんなふうに「拘束される」でしょうか。（約束を守らなければならなくなる、確実に報いが与えられる。教義と聖約82：10参照。）

以下の組み合わせ問題を黒板に書き写すか、配布資料として生徒に配る。教義と聖約132：7 - 14, 18 - 19を生徒が読む。そして、問題を解く。生徒の答えについて話し合う。

1. 契約をこの世と永遠にわたって結び固めるために主が使われる力。
- A. だれもいない

2. 地上において結び固めの鍵かぎを持っている人。 B. 無効となる
3. 約束の聖なる御霊によって結び固められる聖約が有効となる期間。 C. 約束の聖なる御霊
4. 神の承認を受けていない約束と契約は、……。 D. 結婚の新しくかつ永遠の聖約
5. 約束の聖なる御霊によって結び固められる約束または契約は、……。 E. この世と永遠にわたって
6. 約束の聖なる御霊の結び固めの力なしに御父のもとへ行くことができる人は、……。 F. 預言者
7. 約束の聖なる御霊によって結び固められていない場合は、……の時に、約束が無効となる。 G. 死を迎える
8. 神と人の間で交わされる聖約。 H. 神によって承認される聖約

（正解：1 - C, 2 - F, 3 - E, 4 - B, 5 - H, 6 - A, 7 - G, 8 - D）  
黒板に以下の質問を書き写す。

- 約束の聖なる御霊は、どんな条件の下で、あなたが主と交わしたバプテスマの聖約やその他の聖約を結び固めてくださるでしょうか。
- 約束の聖なる御霊とはどなたのことでしょうか。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を読む。この言葉から、質問の答えを見つけることができる。

「約束の聖なる御霊とは、すべての儀式、すなわちバプテスマ、確認の儀式、聖任、結婚等に承認の印を押す聖霊であられる。この約束とは忠実であれば数々の祝福が与えられるというものである。

人が聖約を破るなら、それがバプテスマであろうと、聖任、結婚、あるいはその他の儀式であろうと、御霊は承認の印を取り下げられ、祝福は得られない。

すべての儀式は忠実を条件に報いが与えられるという約束をもって結び固められる。しかし聖約が破られた場合、聖なる御霊は承認の印を取り下げられる。〔教義と聖約76：52 - 53；132：7参照〕」（『救いの教義』第1巻, 45）

**教義と聖約132：34 - 40, 45 - 48, 61 - 66. 多妻結婚は、主が主の預言者を通じて命じられたものでないかぎり、禁じられている。**（40 - 45分）

注意：多妻結婚について話すときに、生徒の好奇心をあおったり、憶測で話したりすることのないようにする。日の栄えの王国に入る者はすべて多妻結婚が前提となると憶測する教師が一部に

いる。わたしたちは多妻結婚が昇栄の条件となるとは知らされていない。

黒板に「アブラハム」、「ヤコブ」、「モーセ」、「ジョセフ・スミス」、「ブリガム・ヤング」と書く。132章に関連してこれらの預言者に共通している事柄は何かを当てる。生徒は「それはですか」という質問を10回までしてもいいこととする。教師はその質問に「はい」または「いいえ」で答える。(全員が多妻結婚を実施した。)教義と聖約132:34-40を読む。それから、以下の質問をする。

- 34節によれば、アブラハムは何をしたでしょうか。(彼は複数の妻と結婚した。)
  - この聖句では、この行為についてどんな理由が挙げられているでしょうか。
  - アブラハムはほかにどんなことを主から命じられたでしょうか(36節参照)。
  - 34節と36節にある命令に従うのは難しいことです。なぜでしょうか(出エジプト20:13;モルモン書ヤコブ2:27参照)。
- 預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を分かち合う。

「ある状況の下では間違っているものでも、別の状況では正しいかもしれない。そして、そのようなことはよくある。

神は『あなたは殺してはならない』と言われた。また別の折に、『あなたはみな滅ぼさなければならぬ』とも言われた。これが天の統治の原則である。すなわち、王国の子らの置かれた状況に合わせて、啓示によって統治するのである。神がお求めになることは、それが何であろうとすべて正しい。わたしたちにはその事柄が起こってからずっと後にならなければ理由が分からないかもしれないが、そうである。』(Teachings of the Prophet Joseph Smith, ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕, 256)

黒板に「時満ちる神権時代」と書く。生徒がこの語句を定義する。難しいようであれば、『聖句ガイド』から、「神権時代」の項(135ページ)を参照する。それから、教義と聖約128:18(節の後半)と132:40を生徒が読む。以下の質問をする。

- 時満ちる神権時代とはいつの時代を指しているでしょうか。
- 「時満ちる」とはどんな意味でしょうか。

ジョン・テラー大管長の以下の言葉を紹介する。

「様々な神権時代の中で、また神権時代を通して、特定の原則、力、特権、神権が明らかにされてきた。しかし、時満ちる神権時代には、これらすべての神権時代を組み合わせたもの、すなわちまったく完全なものが全人類に現されることになる。もしもアダムの……神権時代にかかわる神権が存在するのであれば、それは終わりの時に現されるであろう。もしもエノクとエノクの町にかかわる神権、そしてエノクの民の集合に関する神権……が存在するのであれば、それは終わりの時に現されるであろう。地上のいつの時代、また、どの場所のことであろうとも、どのような形、力、特権、祝福であろうと、メルキゼデク神権が存在していたならば、それらは終わりの時に現されるであろう。

……なぜならば、これは時満ちる神権時代だからである。この神権時代はほかのあらゆる時代、あらゆる原則、あらゆる力、あらゆる顕現、世界のあらゆる時代と地域に存在していたあらゆる神権とその力を含むからである。』(The Gospel Kingdom, G・ホーマー・ドラム選〔1943年〕, 101-102)

次のように質問する。「この言葉は、この神権時代の初期に多妻結婚が実施されていた事実とどんな関係があるでしょうか。」

教義と聖約132:45-48を読む。そして、以下の質問をする。

- この神権時代に多妻結婚を実施するよとの啓示を受けたのはだれだったでしょうか。(ジョセフ・スミス。)
- 多妻結婚の実施をやめるよとの啓示を受けたのはだれだったでしょうか。(ウィルフォード・ウッドラフ。公式の宣言一参照。)
- この二人に共通していたことは何でしょうか。(王国の鍵を持つ預言者だったこと。45-46節参照。)
- これらの鍵を持つ預言者にはどんな力が与えられているでしょうか(46-48節参照)。
- ジョセフ・スミスとウィルフォード・ウッドラフが46節に記されているような力を持っていたことは、この二人のどんな行動から分かるでしょうか。

モルモン書ヤコブ2:30と教義と聖約132:63を生徒が読む。そして、相互参照する。次のように質問する。「主が多妻結婚を回復されたことには、時満ちる神権時代に『万事を元どりにする』という目的がありました(教義と聖約132:40)。このほかにどんな目的があったでしょうか。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を読む。

「わたしは、この教会はいかなる意味でも一夫多妻を実行している人々とは関係がないことを、断言しておきたいと思えます。そのようなことをしている人々は、この教会の会員ではありません。その大部分の人々は教会の教会員であったこともありません。彼らは法律に違反しています。彼らは、自分でも法律に違反していることを知っています。彼らは法律に従って罰を受けるはずですが、もちろん、この教会はその点に関して、いかなる意味でも、法を執行する権限は保持していません。

もしわたしたちの教会員の中に多妻結婚を実行している者が見つかった場合、その人は教会で課すことのできる罰則の中でも最も重い罰である破門の処分を受けることになります。そのようなことを実行している人々は、法律に直接背いているだけでなく、この教会の律法にも違背しています。わたしたちの信仰箇条の一つにより、わたしたちはある拘束の下にあります。そこにはこう述べられています。『わたしたちは、王、大統領、統治者、長官に従うべきこと、法律を守り、尊び、支えるべきことを信じる。』(信仰箇条1:12)人は法律を守りつつ、同時にそれを破るなどということはできないのです。』(「人々がわたしたちについて尋ねること」『リアホナ』1999年1月号, 77-78)

教義と聖約132：32を読む。教会員はもはや多妻結婚を実施するよう求められていないが、アブラハムが示した従順と忠実さの模範に従うべきであることを説明する（ヘブル11：8 - 19参照）。アブラハムが行ったおもな事柄を黒板に書き出す。スペンサー・W・キンボール大管長の「アブラハムの模範」（『聖徒の道』1975年12月号，529 - 532）の一部を読むとよい。または、キンボール大管長の記事の以下の要約を使うとよい。

1. アブラハムはイエス・キリストに従った。
2. アブラハムは神権と神権の祝福を求めた。
3. アブラハムは直ちに従った。
4. アブラハムは家族のために啓示を受けた。
5. アブラハムは義にかなって家族を管理した。
6. アブラハムは模範と訓戒によって家族に福音を教えた。
7. アブラハムは伝道活動を行った。
8. アブラハムは平和を作り出す人だった。
9. アブラハムは神と交わした聖約を守った。
10. アブラハムは人々に対して正直だった。
11. アブラハムは什分の一を完全に納めた。
12. アブラハムは信仰を行使した。

（オッテンとコールドウェル，*Sacred Truths of the Doctrine and Covenants*，第2巻，361より翻案）

以下の質問をする。

- 主はアブラハムが義にかなっていたために何をお許しになったでしょうか（教義と聖約132：37参照）。
- これと同じ報いを受けるために、あなたはどんなことを進んで実行したいと思いますか。

アブラハムの模範に従うにはどうしたらよいか、書き出すよう生徒に勧める。

**教義と聖約132：49 - 50。義にかなった人たちの中には、昇栄するという約束をこの世にいる間に受ける人もいる。（10 - 15分）**

注意：教義と聖約131：5 - 6の「教え方の提案」（211ページ）も参照する。

以下の質問をする。

- 将来どんな職業に就きたいと思いますか。（答えを黒板に書き出す。）
- その職業に就くために何年間勉強しなければならないでしょうか。

黒板に書き出した中から、数年の訓練を受けなければならない職業を選んで、先ほどその仕事をしたいと答えた生徒に質問する。

- この職業に就くためには何年も訓練を受けなければなりません、それについてはどう思いますか。
- この職業に就くことを志したにもかかわらず、訓練を途中でやめてしまう人もいます。なぜだと思いますか。

注意：次の二つの質問は、医者を目指す生徒に向けられたものである。これを参考にして、生徒の選んだ職業に合った質問を考える。

- あなたは医者になるだけでなく、がんの治療法を発見して、歴史上最も有名な医師の一人になると主が言われたとします。この主の言葉は、医者になるというあなたの望みにどんな影響を与えるでしょうか。

- このような言葉を主から受けた場合、何年も苦労したり勉強したりしなくても、がんの治療法を発見することができるでしょうか。

- 主からそのような言葉を受けたら、苦労を堪え忍ぶ助けになるでしょうか。どんなふうに助けになるでしょうか。

自分の最大の望みは何であるか考える。教義と聖約14：7を読む。そして、神は何が最大の賜物であると考えておられるかを調べる。教義と聖約132：49を読む。そして、主が預言者ジョセフ・スミスに何を約束されたかを調べる。以下の質問をする。

- もしあなたがこの約束を受けたらどのように感じるでしょうか。

- この約束があれば、この世のチャレンジや犠牲はなくなるでしょうか。

- 50節を読んでください。ジョセフ・スミスがこの祝福を受けるにふさわしいと主が判断されたのは、主がジョセフ・スミスのどんな行いをご覧になったからですか。

- 預言者ジョセフ・スミスはこの約束を与えられた後に、どんな試練を受けたでしょうか。（聖徒たちが暴徒の手によって苦しめられる様子を目にした。兄のハイラムとともに殺された。）

- もしあなたにこの約束が与えられたとしたら、試練に耐えるためにどんな助けとなるでしょうか。

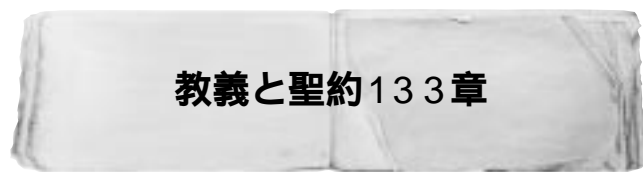
ほかにもこの約束を受けた人がある。モーサヤ26：14 - 15，20を読んで、それがだれなのか考える。（アルマ）2ペテロ1：10，19を読む。主からこの約束を受けるための方法としてペテロが勧めていることを二つ見つける。（自分の召しと選びとを確かなものにする。いっそう確実な預言の言葉を受ける。）次のように質問する。「ペテロは10節の中で、わたしたちに何をしよう勧められているでしょうか。」十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を分かち合う。

「召しと選びとを確かなものとするとは、永遠の命に結び固められることである。それは、日の栄えの世界の最高の天において昇栄するという、絶対的な保証を受けることである。すなわち、神になると約束されるのである。それはつまり、裁きの日を前もって迎えるようなものである。神の前に行く日に先立って、御父の王国のすべての栄光と誉れを受け継ぐことを保証されるのである。つまり、忠実な者たちが神の前に行き、キリストが『父と共にその御座についた』（黙示3：21）ように、自分たちもキリストとともに座に着く日が実際に来る前に、昇栄を保証されるのである。』（*Doctrinal New Testament Commentary*，全3巻〔1966 - 1973年〕，第3巻，330 - 331）

これはだれもが経験することではないということ、また、永遠の命を得るために、死すべき世でこの約束を受けることが必ず必要というわけでもないことを生徒が理解するよう助ける。マッコンキー長老が語った以下の言葉も分かち合う。

「信仰にあって死を迎える人は、『わたしは召しと選びとを確かなものとしたので、来世で永遠の報いを受けるだろう』と言うことができます。教会の忠実な会員に関するかぎり、彼らは永遠の命へと続く道を歩んできたのです。...もし彼らが義務を果たし、なすべきことを行っているならば、たとえこの世界において完全な者となっていなくても、彼らの試しの期間は終わるのです。.....彼らはその後、道を外れることがないでしょう。」(S・デルワース・ヤング長老の葬儀における説教、1981年7月13日、5)

2ペテロ1:10, 19; モーサヤ26:20; 教義と聖約132:49-50を使って、聖句チェーン(聖句のくさり)を作る。その報いにあずかるのがこの世であろうと次の世であろうと、召しと選びを確かなものにしなさいというペテロの勧告に従うよう生徒を励ます。



## 教義と聖約133章

### はじめに

133章は教義と聖約の巻末近くに収められている。しかし、これは教義と聖約1章が授けられてからわずか2日後である1831年11月3日に与えられた。この啓示は当初、教義と聖約の付録とされていた。

現在の神権時代のおもな目的の一つは、人々をイエス・キリストの再臨に備えさせることである。ハロルド・B・リー大管長は、教義と聖約133章は「救い主の再臨に至るまでの出来事が段階的に記されている箇所」であると語った。(「神権者に与える勧告」『聖徒の道』1973年9月号, 417)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストが再臨に当たって地上に戻られるとき、邪悪な人たちは火で焼かれるように滅ぼされるが、義にかなった人たちは理解できないほどの祝福を受ける(教義と聖約133:1-17, 38-45, 62-74参照)。
- 福千年の間、イエス・キリストは全地を統治される。主は旧エルサレムと新エルサレムを中心地とされる(教義と聖約133:18-25参照)。
- イスラエルは貴い宝(聖文)をエフライムの子らに持って来る(教義と聖約133:30-34参照)。
- 救い主の来臨に先立って多くのしるしと不思議が起こる。これらのしるしは預言を成就し、義人を主の来臨に備える(教義と聖約133:19-64参照。教義と聖約45:35-44も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 119。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324-325』, 357-366。

## 教え方の提案

教義と聖約133:1-17, 38-45, 62-74。イエス・キリストが再臨に当たって地上に戻られるとき、邪悪な人たちは火で焼かれるように滅ぼされるが、義にかなった人たちは理解できないほどの祝福を受ける。(25-30)

生徒たちに、教室に入るまでテストがあることを忘れていて、何の準備もしないままテストを受けたという経験がないか聞く。次のように質問する。「そのときのテストの結果はどうでしたか。」そんなときにどんな気持ちでしたか、何人かの生徒に聞く。次に、長い期間一生懸命に準備して受けたテストはどうだったか聞く。次のように質問する。「準備すると違いますが、どのように違うのでしょうか。」学校生活の中で何よりも難しく何よりも大切だと思えるテストを生徒が挙げる。また、ほかのどのテストよりもよく準備しておきたいのはどのテストかを挙げる。

教義と聖約133:1-4を読む。そして、以下の質問をする。

- この聖句は、将来行われるどんな「テスト」について述べているでしょうか。
- 4節によれば、わたしたちはどんな準備をすることができるでしょうか。

5-17節を生徒が読む。イエス・キリストの再臨に備える方法について述べている部分にしるしをつける。どの部分にしるしをつけたか発表する。

黒板に、「教義と聖約133:38-45」と「教義と聖約133:62-74」と書く。この二つの聖句は、再臨の時に世の中にいる二種類の人々について書いていると説明する。クラスを二つのグループに分け、一つのグループが最初の聖句を、もう一つのグループが次の聖句を読みながら、以下の質問の答えを見つける。

- あなたが読んだ聖句はどんな人々について述べているでしょうか。
- あなたが読んだ聖句に出て来る人々は再臨の時に、何を経験するでしょうか。
- 彼らはなぜそのような経験をするのでしょうか。
- その二種類の人々のうち、どちら側の人になりたいと思いますか。
- そのためには何をしなければならいでしょうか。

それぞれのグループが代表者を選び、調べた事柄を発表する。

4, 10, 15, 17, 19, 50節を読む。それから、次のように質問する。「これらの聖句に共通していることは何でしょうか。」

イエス・キリストの再臨に備える最もよい方法は何かと思うか話し合う。十二使徒定員会会員を務めたデルバート・L・ステイブレー長老の以下の話を分かち合う。

「主の再臨に備え、わたしたちにできる最も大切なことは何であるかを十分に理解し.....ましょう。

.....わたしたちは自分の生活と家庭とを整える必要があります。それはつまり、自分を見詰め、悪い行いを認め、必要ならば悔い改めをすることです。神の戒めをすべて守ること、隣人を愛すること、模範的な生活をするということです。.....仕事や家庭ですべての行いに正直であること、イエ

ス・キリストの福音を世のすべての民に宣べ広めることなのです。」(「民を主に備えさせる」『聖徒の道』1976年2月号, 78 - 79参照)

**教義と聖約133：18 - 25。福千年の間、イエス・キリストは全地を統治される。主は旧エルサレムと新エルサレムを中心地とされる。(15 - 20分)**

以下の質問をする。

- あなたの市や町の職員は、どこで仕事をしていますか。
- あなたの県(都, 道, 府)の議員が会議を開く市は、何市ですか。
- わたしたちの国の首都はどこでしょうか。
- 法律は常にそこで制定されてきたでしょうか。
- 法律は将来も必ずそこで制定されるでしょうか。
- 福千年の間、神の律法はどこから出て来るでしょうか。

教義と聖約133：18 - 25, 56を生徒が読む。そして、主が福千年の間どこで統治されるか調べる。

以下の質問を黒板に書き出す。または、配布資料として生徒に配る。参照聖句を生徒が読む。それから質問に答える。


1. 「シオンの山」はどこにあるでしょうか(教義と聖約133：18。脚注18②の相互参照聖句を参照)。
2. この「14万4,000人」にはどんな人々が含まれるのでしょうか(教義と聖約133：18。教義と聖約77：11参照)。
3. 「花婿」とはだれのことでしょうか(教義と聖約133：19。教義と聖約65：3参照)。
4. 「シオン」はどこにあるのでしょうか(教義と聖約133：21。教義と聖約57：2 - 3参照)。
5. 「シオン」は現在のエルサレムからどれくらい離れた所にあるでしょうか(教義と聖約133：21；『聖句ガイド』地図8, 地図1；世界地図参照)。
6. エルサレムとシオンの地は再臨の時にどのように変化するのでしょうか(教義と聖約133：24参照)。
7. 福千年の間、だれが統治するのでしょうか。また、どこで統治するのでしょうか。(教義と聖約133：25参照。イザヤ2：3も参照)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を分かち合う。

「昔からあるエルサレムは、ユダヤ人がすべての罪から清められ、聖別された後で、聖なる町となり、そこに主が住まわれることになる。主はそこから御自分の言葉をすべての民に送られるであろう。同様にこの大陸(アメリカ大陸)にもシオンの町、新エルサレムが築かれ、そこから神の律法が出て行くことになる。この二つのことの間には矛盾はない。なぜならば、いずれの町も世の贖い主の本部となり、そこから必要に応じて布告が出されるからである。」(『救いの教義』第3巻, 63参照)

以下の質問をする。

- イエス・キリスト御自身が地上で統治されると、どんな状態になると思いますか。
- 福千年の間は、主が統治されます。そうすると、国々の法律はどうなると思いますか。
- 福千年の間に家族を育てることに、どんな利点があると思いますか。

 **教義と聖約133：22 - 64。救い主の来臨に先立って多くのしるしと不思議が起こる。これらのしるしは預言を成就し、義人を主の来臨に備える。(30 - 35分)**

季節の違いを表している写真を何枚か持参する。1枚ずつ写真を見せながら、以下の質問をする。

- この写真はどの季節に撮ったものでしょうか。
- この写真のどこを見て季節が分かりましたか。
- 撮影した正確な日付けが分かるようなものが何か写っているでしょうか。

イエス・キリストの再臨のしるしを生徒が幾つか挙げる(生徒の答えを黒板に書き出してもよい)。以下の質問をする。

- これらのしるしは再臨の時期を知るうえで助けになります。どんな点で助けとなるでしょうか(ジョセフ・スミス マタイ1：38 - 39参照)。
- これは写真にあった季節のしるしとどんな点で似ているでしょうか。
- 再臨の正確な時を知っておられる方はどなたでしょうか。(ジョセフ・スミス マタイ1：40参照)

以下の表を配布資料として生徒に配る(右側の欄を空白にしておく)。生徒が教義と聖約133：22 - 56を調べて、再臨の前と再臨の間に起きるしるしと不思議を挙げる。

節	しるしまたは不思議
22	山々は崩れ落ち、もろもろの谷は見えなくなる。
23 - 24	海は退いて、島々は一つの地になる。
26 - 27	北の地にいる者たち(十部族)は集められる。
28	彼らは敵を打ち負かす。
29	砂漠に泉が現れる。
35	ユダの部族の者たちは聖められ、主の前に住む。
36 - 39	福音があらゆる国民に宣べ伝えられる。
41	主の臨在は火のようである。
46 - 51	主の装いは赤い。
49	主の栄光は太陽と月を隠す。星が落ちる。
54 - 55	キリストの復活のときによみがえった者たちは来臨の時にキリストとともに来る。
56	キリストの復活後に死んだ聖徒たちは復活して、キリストに会う。

以下の質問をする。

- これらのしるしについて知っているのと、再臨に対するあなたの気持ちはどう変わりますか。

- 再臨のしるしを知っていると、どんなふうに関わっていいでしょうか。
- これらのしるしについてもっと詳しく知るために、何が出来るでしょうか。
- 再臨のしるしとしてほかに何があるのか知るためには、どうすればよいでしょうか。(聖文と預言者の言葉を研究する。)

ポイド・K・パッカー長老が十二使徒定員会会員を務めていたときに語った以下の話を紹介する。

「幹部たちはいつも世界中を訪問しているので、どのようなことが起きているかをよく知っており、預言者としての洞察力により時のしるしを見分けることができます。……

〔人を欺く者たち〕には近づかないようにしてください。正しく<sup>あかし</sup>按手聖任され、公に支持された指導者にのみ従ってください。そうすれば道に迷うことはありません。」「もしも神の訓戒に従うならば、学問のあることも善いことである。」「聖徒の道」1993年1月号、81参照)

ブルース・R・マッコンキー長老は次のように記した。

「現在わたしたちは人の子が再臨され、平和と義の内に福千年の王国が確立されることを希望と喜びを持って待ち望んでいる。この王国は主が自ら千年の間統治される。この恐ろしいがしかし祝福された日が来るのはいつか。その日その時をわたしたちは知らない。また、将来知られることもない。わたしたちは時のしるしを読み、それによって主が再臨されるおおよその時期を把握して、主がいつ来られてもいいように常に準備をしておかなければならない。」「(The Promised Messiah: The First Coming of Christ [1978年], 457)

## 教義と聖約134章

### はじめに

134章には政府と法律に関して教会が信じていることが宣言されている。134章を1835年版の教義と聖約に含めることは、すべての教会員が承認した。信仰箇条第11条によれば、法律は「自分の良心の命じるとおりに」神を礼拝する特権をあらゆる人に認めなければならない。また12条によれば、人々は政府の指導者に従うべきであり、「法律を守り、尊び、支えるべき」である。N・エルドン・タナー副管長は次のように教えた。

「すべての国民が政治の問題を知っておくことは、きわめて大切です。国の法律を知っておくこともきわめて大切です。そして、可能なかぎり、正直で賢明な人々を選んで政治に当たらせることも、きわめて大切です。……

かつてエーブラハム・リンカーンは次のように述べました。「人のためにならない法律があるならば、できるだけ速やかにそ

れを廃止すべきである。しかし、まだ効力を持つ間は厳密に守るべきである。』

これは、法律の遵守に関する当教会の態度でもあります。わたしたちは次の声明を発した人の言葉に同意します。

『実際に法律を無視し、あるいは法律をあざ笑う人は、自分の座っている板をのこぎりでひく愚か者と同じだ。社会が崩壊するときの最初のしるしは、法律を敬わずに無視する態度である。法を尊重する態度は、あらゆる社会における最も基本的な美德である。なぜなら、法律に反するものは、暴力と無秩序だからである。』(Case and Comment, 1965年3 - 4月号, 20)

……キリストはわたしたちに、法律を守る市民としての偉大な模範を示しておられます。あるとき、キリストを陥れようとしていたパリサイ人たちが、カイザルに税金を納めてよいものかどうか尋ねました。この問いかけに対して、イエスは税として納める貨幣にだれの肖像が刻まれているかと聞き返されました。そして彼らがカイザルの肖像ですと答えると、次のように言われました。

『それでは、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい。』(マタイ22:21)

いかなる国民も、それぞれに責任があり、自分が選んで住んでいる国の法律の範囲内で行動しなければならないということを、常に心に留めておく必要があります。」「(「神の律法」『聖徒の道』1976年2月号, 116 - 117参照)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 政府は国民の平和と安全のために法律を制定する権利を持つが、義にかなった礼拝を妨げる権利はないとわたしたちは信じている(教義と聖約134:1-4, 7, 9, 11-12参照。教義と聖約42:79, 84-86; 101:76-80も参照)。
- 政府は人間のために神によって設けられた。あらゆる人は自分が住んでいる国の法律を守る義務がある(教義と聖約134:1, 5-8参照。教義と聖約58:21; 公式の宣言1も参照)。
- 宗教組織は人の命や財産を奪う権利を持っていない。宗教組織ができるのは人に対してその組織における会員資格を拒否することだけである(教義と聖約134:4, 10参照。教義と聖約20:80; 102:1-2, 18-24も参照)。

### 補助資料

- 『教義と聖約信徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 367 - 371。

### 教え方の提案

**教義と聖約134章。政府は国民の平和と安全のために法律を制定する権利を持つが、義にかなった礼拝を妨げる権利はないとわたしたちは信じている。あらゆる人は自分が住んでいる国の法律を守る義務がある。(30 - 35分)**

新しく開発された地域に政府を設置します。そのための委員会でも働くよう生徒たちが選ばれたと仮定する。生徒は小グループに分かれ、10分間で以下の質問について話し合う。そして、答えをまとめて紙に書く。

- この政府の目的を明らかにしてください。
- この政府の責任を明らかにしてください。

- 市民にはどんな責任を負ってもらいますか。

書き出した事柄を各グループが発表する。全員で教義と聖約134：1-9, 11を読む。134章は今話し合った質問にどのような答えを与えているか調べる。それから、各グループの答えと比較する。

教義と聖約134章の前書きを読む。それから、以下の質問をする。

- 134章が教義と聖約のほかの章と違うのは、どんな点でしょうか。(これは自分たちの信じている事柄を述べたものであって、啓示ではない。)
  - この宣言がわたしたちにとって価値があるのはなぜだと思いますか。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』(367ページ)から、134章の歴史的背景を紹介する。以下の質問について話し合う。
- この宣言が書かれた背景にはどんな出来事があったでしょうか。
  - 外部の人々が、政府に関する教会の見解を理解することはなぜ大切なのでしょう。
  - 信仰箇条第11条、第12条は、政府に関するこれらの教えをどのように支持しているのでしょうか。
  - 政府が教義と聖約134章の教えに従うためには、どんな方法があるのでしょうか。
  - 政府とその指導者を支持していることを表すために、何ができるのでしょうか。

**教義と聖約134：4, 10。宗教組織は人の命や財産を奪う権利を持っていない。宗教組織ができるのは人に対してその組織における会員資格を拒否することだけである。(10 - 15分)**

以下の架空の規則を黒板に書く。または、紙に書いてはる。

- セミナリーに遅刻すると、1回につき500円の罰金を徴収する。
- セミナリーを進級できなければ、学校の課外活動には一切参加できない。
- 毎日聖文を読んで来ないと、1回につき持ち物の一つを教師が没収する(ただし1,000円以内のものに限る)。

これらの規則が実施されるとしたら、どのように思うかについて生徒と話し合う。以下の質問をする。

- これらの規則は公平だと思いますか。なぜ公平だと思いますか。あるいはなぜ公平だと思いませんか。
- セミナリーや教会が、人々に何かを強制することはなぜ間違っているのでしょうか。
- 会員が教会の規則を破ったとき、教会はどんな罰を課すことができるのでしょうか。

教義と聖約134：4, 10を読む。そして、これらの質問に関して教会がとっている立場を調べる。次のように質問する。「宗教組織が人の命や財産を奪う権利を持つよりも、ここに述べられている方法の方が優れています。なぜでしょうか。」

黒板に「盗む」、「うそをつく」、「殺人を犯す」、「姦淫を犯す」、「だます」と書く。以下の質問をする。

- これらの行為に対して、政府はどんな罰を課するのが適切だと思いますか。
- 教会はどんな罰を課するのが適切だと思いますか。

## 教義と聖約135章

### はじめに

135章はジョン・テラー長老が十二使徒定員会会員を務めていたときに書いた。これは預言者ジョセフ・スミスに対する靈感あふれる賛辞である。テラー長老は後に、次のように語った。

「わたしたちが生きているこの神権時代では、かつて地上に存在したいずれの神権時代よりも偉大な出来事が数多く起こっている。なぜなら、地上のいかなる地域であれ、どの民の中であれ、かつて存在したものはすべて、この神権時代に存在するからである。世界の歴史が始まって以来、ジョセフ・スミスほど偉大な人物、重要な人物はいなかったとわたしたちが考える根拠はここにある。イエスを別にして、ジョセフはこの世に生を受けた中で最も偉大な預言者の一人であったとわたしは考えている。」(Journal of Discourses, 18: 326 - 327)

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老はこのように宣言している。

「イエス・キリストの福音に対して証を持つ人なら、ジョセフ・スミス・ジュニアに対して愛と感謝の念を持つはずです。なぜなら彼は、『主の預言者、聖見者であり……、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた』人だからです(教義と聖約135：3)。」(「預言者ジョセフ・スミスの家族」『聖徒の道』1992年1月号、5参照)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 預言者ジョセフ・スミスと兄のハイラムは、モルモン書と教義と聖約の証を自らの血によって結び固めた(教義と聖約135章参照。教義と聖約136：39も参照)。
- ジョセフ・スミスはほかの神権時代をすべてまとめた神権時代の長である(教義と聖約135：3参照。教義と聖約1：17 - 30；136：37 - 38も参照)。
- すべての福音の殉教者の血は悪人に対する証となる。(教義と聖約135：7参照。アルマ14：8 - 11；教義と聖約103：27 - 28；109：49も参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 273 - 285。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 371 - 373。

### 教え方の提案

教義と聖約135章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』19「ジョセフ・スミ



ス 回復の預言者」(21 : 30)を使用することができる。(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)。



**教義と聖約135章。預言者ジョセフ・スミスと兄のハイラムは、モルモン書と教義と聖約の証を自らの血によって結び固めた。(40 - 45分)**

教室をカーセージの監獄の2階のように設定する(『時満ちる時代の教会歴史』279ページの図参照。『聖句ガイド』史跡写真31も参照)。預言者ジョセフ・スミスと兄のハイラムの殉教の場面を生徒が再現する。『時満ちる時代の教会歴史』22章と教義と聖約135 : 1 - 2, 4 - 5からの情報を活用する。(注意 : あまりに生々しい描写とならないようにする。また、この神聖な出来事を興味本位に表現させてはならない。)適切な場面で、全員で「悩める旅人」(『賛美歌』, 15番)を歌う。演技をとるところで止めて、以下のような質問をする。

- このとき、預言者ジョセフはどう感じていたと思いますか。
- ジョセフとともにいた人たちはどう感じていたと思いますか。
- ジョセフとともにいた人たちがとった行動から、どんな印象を受けましたか。
- この困難な時期にジョセフ・スミスの家族は何を考えていたと思いますか。
- この出来事を再現してみて、どう思いましたか。あるいはどう感じましたか。
- 教義と聖約135 : 6 - 7を読んでください。預言者ジョセフ・スミスは亡くなったとき、何歳でしたか。
- この聖句の中で、ほかに印象的な箇所はありますか。

聖典の以下の文章に生徒がしるしをつける。「彼らは栄光のために生き、栄光のために死んだ。そして、栄光が彼らの永遠の報いである。彼らの名は、代々にわたって子孫に伝えられ、聖められた者にとって宝石のように見なされるであろう。」

今年、預言者ジョセフ・スミスについて学んできたことを振り返る。預言者ジョセフが成し遂げた事柄を黒板に書き出す(『時満ちる時代の教会歴史』, 284参照)。

以下の質問をする。

- もし預言者ジョセフ・スミスがいなかったら、あなたの生活はどんなものになっていたでしょうか。
- 預言者ジョセフの持っていた特質の中で、最も尊敬しているものは何ですか。
- どんなことからジョセフ・スミスが神の預言者であると分かりますか。または、なぜそのように感じるのでしょうか。
- ジョセフ・スミスが預言者であるという証<sup>あかし</sup>を得たら、あなたは何をしなければなりませんか。

十二使徒定員会会員を務めたデルパート・L・ステイプレー長老はこのように語った。

「学校教育を受けておらず、無学だった預言者ジョセフには、もし神がともにおられなかったとしたら、彼が明らかにしたことを世に伝えることなどできなかったことでしょう。彼が行ったすべては神の靈感によるものでした。ジ

ョセフが神から召されたことについては生き証人がいました。天よりの使いが何人かの兄弟たちにこの真理を示したからです。わたしは人々の証言を受け入れます。だとすれば、神からの証<sup>あかし</sup>はもっと確実なのです。聖霊の務めは御父と御子を証<sup>あかし</sup>することです。聖霊は真理の御霊<sup>みたま</sup>でもあります。聖霊が人の霊に証されると、その人は物事が真理であるか、真理でないかを心の奥底で感じるができます。預言者ジョセフ・スミスに関しても、そのことが当てはまります。なぜなら、当時の人々も後の人々も、この証<sup>あかし</sup>真理を探し求める人々に聖霊が自ら与えてくださる証を受けてきたからです。

ジョセフ・スミスの功績に話を戻します。それを分析してみてください。彼が成し遂げたことはすべて、預言者としての召しに関することです。遺言があるところには必ず、遺言を書いた人の死があるのです。ジョセフの死こそ、救いの儀式と原則と神の力をすべて持つ神の王国を再び明らかにする遺言でした。遺言は遺言を書いた人が死ななければ効力を持ちません。預言者ジョセフはこの証<sup>あかし</sup>を結び固めるために自らの命を差し出しました。こうして、預言者がささげた命という犠牲は、自身の聖なる召しと務めが真実であり、力を持っていることを全人類に証するものとなったのです。」(Conference Report, 1954年10月, 48 - 49)

教義と聖約136 : 39を読む。それから、以下の質問をする。

- 預言者ジョセフ・スミスと兄のハイラムは、なぜ主の業のために自分たちの命を差し出したのでしょうか。
- 預言者ジョセフ・スミスのおかげで、わたしたちはどんな祝福と機会にあずかっているのでしょうか。

「感謝を神に捧げん」(『賛美歌』, 11番)を歌う。それから、預言者ジョセフ・スミスに対するあなたの証<sup>あかし</sup>を述べる。

**教義と聖約135 : 3。ジョセフ・スミスはほかの神権時代をすべてまとめた神権時代の長である。(40 - 45分)**

レッスンの数日前に、3人か4人の生徒を選んで、預言者ジョセフ・スミスの生涯について発表するよう割り当てる。付録(289ページ)の「末日の預言者たちが語るジョセフ・スミスについての証<sup>あかし</sup>」から選んだ証<sup>あかし</sup>を一つずつ、それぞれの生徒に配る。証<sup>あかし</sup>の中で語られている事柄を示す物語を預言者ジョセフ・スミスの生涯から思い出すよう勧める。

割り当てを与えておいた生徒が付録の証<sup>あかし</sup>を読む。そして、自分が調べてきた物語を発表する。ジョセフ・スミスが持っていた幾つかの特質について話し合う。次のように質問する。「これらの特質の中で最も尊敬するものはどれですか。それはなぜですか。」これらの特質を身に付けるにはどうしたらよいか生徒が発表する。

クラスを幾つかのグループに分ける。以下の聖文をグループに振り分ける。ジョセフ・スミスとジョセフが世に対して果たした功績について教えているこれらの聖句について、グループごとに報告する。

- 教義と聖約1 : 17, 29 ; 5 : 4, 21 - 22
- 教義と聖約24 : 5 - 9 ; 25章の前書き, 25 : 5 - 9節
- 教義と聖約26 : 1 ; 28 : 2 ; 43 : 1 - 4

- 教義と聖約76章の前書き, 76 : 11 - 12, 23 - 24 ; 82 : 11 - 12 ; 93 : 45 - 48
- 教義と聖約100章の前書き, 76 : 1 ; 121章の前書き, 121 : 1 - 11
- 教義と聖約122章 ; 124 : 1 - 2, 58
- 教義と聖約127 : 1 - 2 ; 132 : 30 - 32, 48 - 50, 53 ; 135 : 3

「たたえよ、主の召したまいし」(『賛美歌』, 16番)を歌う。それから、預言者ジョセフ・スミスに対するあなたの証を述べる。生徒の中から希望する者が預言者ジョセフ・スミスに対する証を述べる。

## 教義と聖約136章

### はじめに

136章は「西部へ移動する教会」の中で教える(224ページ参照)。

## 教義と聖約137章

### はじめに

137章は日の栄えの王国とこの栄えを受け継ぐ者たちについて大切な真理を明らかにしている。十二使徒定員会会員を務めていたときにジョージ・アルバート・スミス長老は、次のように語った。

「わたしにとってイエス・キリストの福音のすばらしさの一つは、わたしたちを一人残らず対等の立場に置くことである。日の栄えの王国の最高の位を得るのに、ステーク会長である必要はないし、十二使徒定員会会員になる必要もない。まったく目立たない教会員であっても、神の戒めを守るならば、日の栄えでほかの人と同じように昇栄にあずかることができるのである。イエス・キリストの福音の麗しさは、主の命令に従うかぎり、皆が平等に扱われるということである。教会の律法を守れば、昇栄を受ける機会が平等に与えられるのである。」(Conference Report, 1933年10月, 25)

### 学び取るべき重要な福音の原則

- 日の栄えの王国は美しく、栄光にあふれる場所である。天の御父は忠実な息子、娘たちとともにそこに住まわれる(教義と聖約137 : 1 - 5参照。1コリント15 : 40 - 41 ; 教義と聖約76 : 50 - 70, 92 - 96も参照)。
- 福音を知らずに死ぬ者で、もし聞く機会を与えられていたなら福音を受け入れていたであろう者は、日の栄えの王国を受け継ぐ。責任を負う年齢に達する前に死ぬ子供たちは、日の栄えの王国に救われる(教義と聖約137 : 5 - 10 ; モロナイ8 : 22 ; 教義と聖約29 : 46 - 47も参照)。

- 主はわたしたちの行いと心の望みに応じて裁かれる(教義と聖約137 : 9参照。サムエル上16 : 7 ; アルマ41 : 3 - 5も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 41, 163 - 165。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 376 - 379。

### 教え方の提案

教義と聖約137 : 1 - 5。日の栄えの王国は美しく、栄光にあふれる場所である。天の御父は忠実な息子、娘たちとともにそこに住まわれる。(15 - 20分)

生徒に次のように言う。「日の栄えの王国を飾り、美しくするためなら、世界のどこからであろうと、何であろうと持って来ることができると思います。」

- あなたは何を選びますか。なぜそれを選びますか。
- 日の栄えの王国はどんな所だと思えますか。
- 日の栄えの王国に関する示現を受ける機会にあずかれば、あなたは喜ぶことでしょうか。なぜだと思えますか。

生徒が教義と聖約137 : 1 - 5を読む。以下の質問をする。

- 日の栄えの王国についてのこの描写の中で、何が印象的ですか。
- この説明を読んでどんな気持ちになりましたか。
- ジョセフ・スミスはそこにだれかがいるのを見ました。だれだったでしょうか。
- 神と、神の預言者と、義にかなった家族が日の栄えの王国に住めます。このことが分かるとほっとするのはなぜでしょうか。

教義と聖約76 : 70, 96 ; 77 : 1 ; 130 : 8 ; 131 : 1を生徒が読む。これらの聖句に書かれていることから、日の栄えの王国には、ほかにどんな面があるか調べる。調べた事柄について話し合う。十二使徒定員会会員としてデビッド・O・マッケイ長老は、1921年にサモアのアピアに行った。途中の船の中でマッケイ長老が経験した以下の出来事を紹介する。

「わたしは……眠りに落ちた。そして、非常に崇高なものを示現の中に見た。遠くに白く美しい町が見えた。それは遠く離れていたが、おいしそうな実をつけた樹木と華麗に色づいた葉を茂らせた林、そして辺り一面に咲いている花を見ることができたように思う。晴れ渡った空は、この景色の微妙な色合いを反射しているかのようだった。次にわたしは大勢の人々が列をなして町に向かってのを見た。皆ゆったりとした白の衣を着て、白い飾りを頭につけていた。瞬時にわたしは彼らの先頭に立っている人に注意を向けた。見ることができたのはその容貌と体の輪郭だけだったが、すぐに救い主であることが分かった。主の表情と輝きは神々しいものだった。主の周りには平安があり、それは崇高で、神聖なものだった。

その町は主のものであったと思う。それは永遠の町だった。主に従う人々は、そこで平和と永遠の幸福に包まれて

暮らすのだった。


だが、彼らはいったいだれなのだろうか。

救い主はわたしの心を読み取ったかのように、彼らの上空に現れた半円形のを指して、答えられた。その半円には次のように記されていた。

彼らは世に打ち勝った者たち、

彼らはまことに新しく生まれた者たちである。

目を覚ますと、アピア港に太陽が昇り始めていた。(Cherished Experiences from the Writings of President David O. McKay, クレア・ミドルミス編, 改訂 [1976年], 59 - 60)

 **教義と聖約 137 : 5 - 10 (マスター聖句, 教義と聖約 137 : 7 - 10)。**福音を知らずに死ぬ者で、もし聞く機会を与えられていたなら福音を受け入れていたであろう者は、日の栄えの王国を受け継ぐ。責任を負う年齢に達する前に死ぬ子供たちは、日の栄えの王国に救われる。(15 - 20分)

以下の事例を何人かの生徒が読む。これらの事例を一つずつクラス全員で話し合う。そして、その人が日の栄えの王国で受け継ぎを受けると思うかどうか結論を出す。

- わたしはバプテスマを受けて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になり、生涯を通じて忠実でした。わたしは死んだとき、主の証<sup>あかし</sup>を持っており、有効な神殿推薦状を持ち、戒めを守るために全力を尽くしていました(教義と聖約76 : 51 - 53 参照)。
- わたしは末日聖徒の教会がない所で成長しました。「モルモン」について聞いたことはありませんでしたが、神を信じていました。わたしは善い人になろうと努力し、聖書を読み、可能なかぎり多くの教会に出席して真理を探し求めました。わたしは結婚する機会を得ないまま、この世を去りました(教義と聖約137 : 7参照)。
- わたしは愛にあふれる家族に生まれましたが、生まれつき大きな障害を持っていました。わたしは数週間生きていただけでした(教義と聖約137 : 10参照)。
- わたしは宣教師から福音<sup>みたま</sup>を教わりました。御霊<sup>あかし</sup>は彼らの教えることが正しいことを証しました。けれども、わたしは自分の生活を変えたくありませんでした。ですから、死ぬまで悔い改めることも、バプテスマを受けることもありませんでした。わたしの家族は教会に入りました。家族はわたしが死んだら神殿の儀式を施してくれるといつも言っていました(教義と聖約76 : 72 - 75 ; 137 : 5 - 9参照)。

教義と聖約137 : 5 - 10を読む。そして、日の栄えの王国を受け継ぐのはどんな人かを見つける(教義と聖約76 : 50 - 70も参照)。これらの聖句を調べながら、以下の質問をする。

- ジョセフは自分の家族が日の栄えの王国にいるのを見て、どう感じたと思いますか。
- ジョセフが不思議に思ったのはどんなことでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 「真心からそれを受け入れたであろう」とはどんな意味だと思いますか(教義と聖約137 : 8)。
- 「責任を負う年齢に達する前に死ぬ」者たちとはどんな人た

ちのことでしょうか(10節)。

- この章の教えは、どんな点で多くの人々に希望を与えるでしょうか。
- 人々と福音を分かち合うときに、これらの教えをどんなふう

に活用しますか。  
アルビン・スミスは1798年2月11日に生まれて、1823年11月19日に亡くなったことを生徒に話す。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように記している。

「[アルビン]はジョセフに、託された大いなる務めを忠実に果たすよう助言を与えると、弟のために祈りながら息を引き取った。アルビンは『まれに見るほど善良で、親切で、気だての優しい青年』だと言われていた。」(Essentials in Church History, 第27版 [1974年], 35)

福音を耳にする機会を与えられずにこの世を去った人々はどれくらいいるかを生徒が考える。また、8歳になる前に死んでいった子供たちは歴史を通じてどれくらいいるかについても考える。以下の質問をする。

- 137章の教えは、どんな点で神がすべての子らを愛しておられることを示しているでしょうか。
- 福音を聞く機会を与えられずにこの世を去った人々は、霊界で福音を受け入れる機会を与えられます。このことを知っておくのはなぜ大切だと思いますか。
- 8歳になる前に死んでいった子供たちは日の栄えの王国に救われます。このことを知っておくのはなぜ大切だと思いますか。

2ニーファイ26 : 33を読む。それから、神がすべての子らを愛しておられることについてあなたの証<sup>あかし</sup>を述べる。

**教義と聖約 137 : 9。主はわたしたちの行いと心の望みに応じて裁かれる。(15 - 20分)**

以下の質問の答えを生徒が紙に書く。何人かの生徒が書いたことを発表する。

- 望みとはどんな意味でしょうか。
- あなたの人生最大の望みは何ですか。
- 何かについてあなたの望みがどれくらい強いかを表すにはどうしたらいいでしょうか。

十二使徒定員会会員を務めたマービン・J・アシュトン長老の以下の言葉を分かち合う。「人は自分が仕えるものを愛するようになります。また、自分が愛するものに時間をささげ、時間をささげるものを、愛するのです。」(「人は自分が愛するものに仕える」『聖徒の道』1981年9月号, 39) 以下の質問をする。

- この言葉はどんな意味だと思いますか。
- この言葉はわたしたちの望みとどのように関連づけられるでしょうか。
- わたしたちが愛するもの、仕えるもの、時間をささげるもの間にはどんな関係があるでしょうか。
- もしだれかがあなたの生涯を映画に記録したとすると、あなたの望みは何だったという結論を出すでしょうか。それはどんな理由からでしょうか。

教義と聖約137:9を読む。そして、わたしたちの望みについて教えている事柄を見つける。次のように質問する。「神はなぜわたしたちの行いと心の望みに応じて裁かれると思いますか。」ニール・A・マックスウェル長老の以下の言葉を分かち合う。

「好むと好まざるとにかかわらず、わたしたちに現実<sup>じゆんじつ</sup>に求められるのは、自分の望みに対して責任を自覚することです。……

義にかなう望みは、厳しいものでなければなりません。ブリガム・ヤング大管長はこう言いました。『日の栄えの王国に席を得たいと望む男女は、毎日がそれを得るための闘いであることを覚<sup>さと</sup>るであろう。』( *Journal of Discourses*, 第11巻, 14) したがって真のクリスチャンの兵士は、週末だけの戦士であってはならないのです。「わたしたちの『心の望みに応じて』、『聖徒の道』1997年1月号, 22 - 23)

義にかなった望みを持つことの大切さについて証<sup>あかし</sup>を述べる。以下の言葉を分かち合う。マックスウェル長老は次のように記している。

「わたしたちの望みが正しいかどうかを正直に試すことのできる方法<sup>ほうほう</sup>が一つある。ほとんど使われていない方法ではあるが。それは敬虔<sup>けいけん</sup>な思いを込めて個人の祈りをささげる中で、正直に、そして具体的に自分の望みを神の前に差し出すことである。なぜこれがわたしたちの望みを正直に試す方法なのかと言えば、神に願<sup>ねが</sup>い求めることに気が引けるような望みがあれば、それは正しい望みではないことがすぐに分かるからである。達成できるよう神の助けを求めるのにふさわしくない望みも同様に価値があるとは言えない。そのような望みは、それ以上わたしたちの心と思いの中で育てるべきではないことは明らかである。」( *That Ye May Believe* [1992年], 112)

マービン・J・アシュトン長老はこのように語った。

「ためにならないものへの執着心を取り除くにはどうしたらよいでしょうか。わたしたちは自分の生活を吟味しなければなりません。何に仕え、何に犠牲を払っているかを吟味し、ためにならないものへ時間と労力を浪費するのをやめようではありませんか。もしそうすることができるなら、執着心は影を潜め、やがて消えていくでしょう。愛を永遠という規準に照らしたところへ向けなければなりません。隣人や家族に励ましを与え、気持ちを分かち合いさえするなら、彼らもわたしたちの愛に応えてくれるでしょう。真実の愛は、命そのものと同じように永遠のものです。教会の召しや責任の中には、時には大して意味も重要性もないと思えるものがあるかも知れません。しかし、一つ一つの責任を積極的に果たしていくなら、主を愛する気持ちが次第に強くなっていきます。わたしたちは神に仕え、神を知るにつれて、神を愛するようになります。

新しく改宗した人々が福音を愛することができるように手助けするにはどうしたらよいでしょうか。奉仕をし、犠牲を払う機会を与えることです。福音であれ、神であれ、あるいは、金であれ、わたしたちは自分が愛し、時間をささげている真理を絶えず重要と考えるものです。わたしたちはよくだれかが、『イエスの教えや聖文を愛しています』と言うのを聞きます。真理を学び、応用実践する人は、だれよりもよくそれを理解し、人生の指針として、真理を生かすように促されます。什分の一を収める機会に最も感謝しているのはだれでしょう。犠牲を払いながらも、什分の一の律法に従って喜びや祝福を実際に味わっている人々です。福音とその教えに対する感謝の念や愛情は、いついかなる場合も福音に対する奉仕と決意に比例するのです。「(人<sup>ひと</sup>は自分が愛するものに仕える)、『聖徒の道』1981年9月号, 38)

善い望みを持てるようになるにはどうしたらよいか、よく考えて、紙に書き出すよう生徒に勧める。

## 教義と聖約138章

### はじめに

138章は「発展の時代」の中で教える。(242ページ参照)

## 公式の宣言一

### はじめに

公式の宣言一は「西部へ移動する教会」の中で教える。(237ページ参照)

## 公式の宣言二

### はじめに

公式の宣言二は「世界へ広がる教会」の中で教える。(256ページ参照)

# 西部へ移動する教会

注意：教義と聖約および教会歴史コースの最後の部分では1845年から現在までの教会歴史とブリガム・ヤングからゴードン・B・ヒンクレーまでの預言者たちに焦点が絞られている。「学び取るべき福音の重要な原則」と「教え方の提案」では『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』中の読み物と標準聖典が引用されている。生徒用学習ガイドの読み物には『わたしたちの受け継ぎ 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』からの抜粋と各預言者の話が含まれる。生徒用学習ガイドには研究対象となる各預言者の生涯と彼らが教会を管理した時期の年表も含まれている。



## 大管長会の継承

### はじめに

十二使徒定員会会員を務めるデビッド・B・ヘイト長老はこのように教えた。

「教会の大管長が逝去すると、次の位にある組織、すなわち十二使徒定員会が管理する権能を有します。そして同定員会の会長は、新しい大管長が正式に聖任されあんにし按手任命されるまで、大管長代理を務めるのです。」（「聖会」『聖徒の道』1995年1月号、17）

この継承の原則は今日では当然のこととして理解されているが、教会の初期の時代、預言者ジョセフ・スミスが死亡したときには、聖徒は厳しい試練を受けた。シドニー・リグドンをはじめとする数名の者たちは教会を導く権利が自分たちにあると主張した。大管長が亡くなったのは初めての経験であったため、多くの聖徒たちはだれに従ったらよいか分からなかった。しかし、ブリガム・ヤングは、預言者ジョセフが亡くなる前に、教会を導くかぎ鍵を十二使徒定員会に与えたことを思い出すように言った。十二使徒定員会会長であるブリガム・ヤングとほかの十二使徒は3年以上にわたって教会を導いた。1847年12月5日、十二使徒定員会はブリガム・ヤングを大管長として、ヒーバー・C・キンボールとウィラード・リチャーズを副管長とする大管長会を再組織した。この決議は1847年12月27日にアイオワで開かれた総大会において支持された。このとき以来、大管長が亡くなると、十二使徒定員会会長が常に次の代の大管長に召されてきた。

### 学び取るべき福音の重要な原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に、本項で割り当てられた聖文と歴史に関する読み物を祈りの気持ちで研究し、また採り上げられた原則について深く考える。

- 大管長が亡くなると、大管長会は解散し十二使徒定員会が先任使徒の指示の下で管理定員会となる。十二使徒定員会は教会を導き、大管長会を再組織するために必要なすべての鍵を持っている（「大管長会の継承」『生徒用学習ガイド』、162 - 163、段落1 - 7参照。教義と聖約107：22 - 24；112：30 - 32も参照）。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』、286 - 307。

### 教え方の提案

注意：割り当てられた聖文と歴史に関する読み物について教える準備をするときに、以下の提案の中から適したものを選ぶ。または、自分自身が考えたアイデアを用いる。

「大管長会の継承」『生徒用学習ガイド』、162 - 163、段落1 - 7。大管長が亡くなると、大管長会は解散し十二使徒定員会が先任使徒の指示の下で管理定員会となる。十二使徒定員会は教会を導き、大管長会を再組織するために必要なすべての鍵を持っている。（40 - 45分）

主の預言者が死亡したことを知らされたときのことについて、教師が記憶している事柄を分かち合う。大管長が亡くなったという発表を聞いたときのことについて、記憶があるかどうか生徒に聞く。以下の質問をする。

- あなたはどんな気持ちになりましたか。
- 大管長が亡くなると、教会の安定や教会の将来に対して不安になりますか。なぜ、不安にならないのでしょうか。

以下の指導者の言葉と参照聖句を使って、主がどのようにして新しい大管長を選ばれるか生徒が理解できるようにする。

1. 使徒は大管長になるために必要なすべての「かぎ鍵」（力と権能）を使徒に聖任されるときに受ける（教義と聖約112：30 - 32参照）。

ハロルド・B・リー大管長は大管長会で副管長を務めていたときに、次のように語った。

「将来大管長になる人は、実際には十二使徒定員会の一人に召され、聖任と任命を受けたときに、その召しが始まる。……」

こうして大管長の手で聖任されたすべての使徒は聖任されたほかの使徒たちとともに神の王国のかぎ鍵を握り、教会のあらゆる職、……全教会を管理するのに必要な神権の権能を受けするのである。（「わたしたちの時代」『聖徒の道』1970年10月号、258参照）

2. 大管長が亡くなると、大管長会は解散する。かつて十二使徒定員会会員であった副管長は十二使徒定員会の会員に戻る。

預言者ジョセフ・スミスはこのように教えた。

「十二使徒は大管長会以外の何者にも従属しません。……もしもわたし〔すなわち、この教会の大管長〕がいなくなったら、十二使徒を管理する大管長会もなくなるのです。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕、105 - 106）

大管長会で副管長を務めたN・エルドン・タナー副管長はハロルド・B・リー大管長が死去した後の出来事について次のように

述べた。

「リー大管長の葬儀の後、……キンボール会長はソルトレーク神殿の会議室に使徒の全員を招集した。ロムニー副管長とわたしは、それぞれ前任順位に従って席に着いた。したがって、出席者は14人である。」(『教会の管理』『聖徒の道』1980年3月号, 59)

3. 大管長会と同じ権能を持つ十二使徒定員会は(教義と聖約107:22-24参照), 大管長会が新しく組織されるまで教会を導く。
4. 前任使徒(最も長く使徒を務めている人)は次の大管長となる。彼は十二使徒定員会によって支持と聖任を受ける。新しく召された大管長は、総大会において教会員の支持を受ける(教義と聖約102:9参照)。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会長を務めていたときに、次のように説明した。

「大管長の後継者が選ばれる過程には何の謎めいたこともない。主はずっと以前にこの件を処理する方法を定められた。すなわち前任使徒が自動的に教会の管理役員になるのである。そして彼は大管長会が存在しないときに管理組織となる十二使徒評議員会によって支持される。大管長は選挙されるのではないが、評議会と教会員の指示を受けなければならない。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコニキー編, 第3巻, 139参照)

教義と聖約の序文から、最初の十二使徒定員会会員の名前を生徒が見つかる。トーマス・B・マーシュは1839年3月17日に破門され、デビッド・W・パッテンは1838年10月25日に暴徒によって殺害された(教義と聖約124:130参照)ことを教える。教義と聖約124:127を読む。そして、ブリガム・ヤングがどのようにして第二代目の大管長に選ばれたかを生徒が話す。生徒用学習ガイドから、ブリガム・ヤングが大管長に選ばれた過程を読む(『大管長会の継承』, 162-163ページ, 段落1-7参照)。以下の質問をする。

- その日の集会に出席していた人々はどんな経験をしたでしょうか。
- この顕現は当時の聖徒たちにとってどんな助けとなったでしょうか。
- 列王下2:1, 8-15を読んでください。この出来事はブリガム・ヤングに起きたこととどんな点で似ているでしょうか。
- 教会員は預言者が新しく召される度に、彼が「神から召された」ことを知る必要があります。なぜでしょうか。
- 現在の教会員は、新任の大管長が神から召されたことについてどんな証あかしを与えられるでしょうか。

以下の話を分かち合う。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていたときにこのように語った。

「わたしはこれまで何度も、新しい指導者が召される過程を目にしてまいりました。その簡潔さは見事と言うよりほかありません。それを見ると、主が様々な事柄をどのように進めていかれるかがよく分かります。十二使徒定員会の会員は、神の定めにとり、預言者によって召されます。この世的な仕事としてこれを選ぶのではありません。十二使徒の召しはイエスの時代と同じようにして与えられます。主はかつてこう言われました。『あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。そして、あなたがたを立てた。』(ヨハネ15:16)それから多くの年月がたちました。十二使徒たちは、自分の責任についてよく教えられ、訓練されています。彼らは世界中を旅して、自分の召しを果たしています。長い備えの時を通して、彼らは世界中の聖徒たちを理解するようになり、聖徒たちも彼らを理解するようになります。主は彼らの思いと心を試しておられます。また自然の成り行きとして、十二使徒定員会の中に空席が出てことがあります。そうすると新たに別の人がこの職に召されますが、この過程で一人の男性が前任使徒になります。この前任使徒とほかの使徒たちには、聖任のときに、神権のすべての鍵が与えられます。ただし、その鍵の行使には条件があります。これらの鍵を行使できるのは、大管長だけに限定されているのです。大管長が死去すると、前任使徒がこの権能を行使するようになり、十二使徒会により指名を受け、この前任使徒が預言者、大管長に聖任されるのです。

そこには、選挙運動や宣伝合戦はありません。ただ神の計画が静かに、簡潔な方法で進められるのです。そして靈感にあふれ、試練をくぐり抜けてきた人が指導者として召されます。」(『幸福への招き』『聖徒の道』1986年7月号, 49参照)

デビッド・B・ヘイト長老はこのように語った。

「教会の新しい大管長会を組織するために主から啓示を通して示され、会員たちによって支持されたこの方法は、今日においても守られています。大管長会は、『教会員の信頼と信仰と祈りによって支持』されるのです。(教義と聖約107:22参照)

しばらく前のことですが、当時十二使徒の一人であったスペンサー・W・キンボール大管長は、……語っています。『新しい大管長が、論争や批判、人間の投票などを伴った委員会や会合などで選ばれるのではなく、神から召され、人々から支持を受けて召されることに安堵を覚えます。……

神聖なその手続きは、誤りや論争、野望、思惑を許しません。主は、主御自身の教会の指導者を御自身で選ばれるのです。』(『主に選ばれし預言者』『聖徒の道』1986年7月号, 8参照)

## 西部への旅

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスは亡くなる2年前にこう預言した。「聖徒は引き続き苦難に遭い、ロッキー山脈に追いやられるであろう。」しかし、多くの聖徒が「生き長らえてたどり着き、入植を行い、町を建設するであろう。そして、聖徒がロッキー山脈の中で力強い民になるのを見るであろう。」( *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 255 ) 1846年の初頭にノーブーに住んでいた聖徒は1万2,000人以上に上っていた。しかし、1852年までにそのほとんどが、2,100キロ西のロッキー山脈にあるソルトレーク盆地に到着していた。最初の開拓者部隊はブリガム・ヤングの指揮の下で1847年7月に盆地に到着した。それから22年の間に、約6万2,000人の開拓者が、牛に引かせた荷車や手車に所持品を載せて続々とやって来た。彼らは川を渡り、広大な未開の平原を横断し、山地を踏破してきた。平均すると、彼らは一日にたった25キロしか前進できなかった。

ネブラスカ州オマハに建てられた記念碑には子供を埋葬する開拓者夫婦の苦悩が描写されている。そこには次のような碑文が刻まれている。

「忠実な開拓者たちの苦闘、犠牲、悲しみ、そして彼らが掲げた理想は決して忘れ去られることはない。この記念碑は、末日聖徒イエス・キリスト教会が感謝の思いを込めて献納するものである。」(『時満ちる時代の教会歴史』, 309)

### 学び取るべき福音の重要な原則

- わたしたちは生ける預言者から導きを受ける。預言者の導きに従うときに、わたしたちは主から導かれ、強められ、祝福を受ける(「西部への旅〔1845 - 1847年〕」『生徒用学習ガイド』, 163 - 168, 段落1 - 3, 13, 23 - 29参照。教義と聖約136章の前書きも参照)。
- 初期の聖徒たちは全世界の教会員のために信仰と勇気と決断力という伝統を残した(「西部への旅〔1845 - 1847年〕」『生徒用学習ガイド』, 163 - 168, 段落1 - 32参照)。
- わたしたちは苦難を受けているときに、神の力の現れを受けることができる。そこからわたしたちは力を得て、堪え忍ぶことができるようになる(「西部への旅〔1845 - 1847年〕」『生徒用学習ガイド』, 163 - 168, 段落4 - 16, 20 - 22, 26 - 29参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』, 309 - 329。

### 教え方の提案

「西部への旅〔1845 - 1847年〕」『生徒用学習ガイド』, 163 - 168, 段落1 - 32。初期の聖徒たちは全世界の教会員のために信仰と勇気と決断力という伝統を残した。(80 - 90分)

生徒に次のように話す。「新しい居住地を求めて西部に移動しなさいとブリガム・ヤング大管長が指示したとき、ノーブーに住んでいたとします。」

- あなたはこの指示にどのようにこたえると思いますか。
- 西部に向けて旅立つに当たって何を持って行く必要があるでしょうか。家族にはどんなものが必要でしょうか。
- 教会の指導者はこの移動に対してどんな責任があると思いますか。
- これほど大勢の人々が移動するにはどれくらいの時間がかかると思いますか。

自分たちが初期の聖徒であると考えながら、『生徒用学習ガイド』の「西部への旅〔1845 - 1847年〕」から、段落1 - 2 (164ページ)を全員で読む。ノーブーを出発する準備をしながら聖徒たちが何を考え、何を感じていたかについて話し合う。

クラスを2, 3人ずつのグループに分ける。各グループの生徒に次のように言う。「皆さんはイリノイ州ノーブーからアイオワ州ウィンタークォーターズへの大移動に加わります。ウィンタークォーターズからは開拓者『部隊』(教義と聖約136:2)とともにソルトレーク盆地に向かって旅をします。」ノーブーからソルトレーク盆地までの旅は約18か月かかる。この旅が成功するか、失敗するかは、物質的、霊的にどれくらいよく準備するかにかかっている。

出発するには、旅の間の食料や日用品を荷車に積み込まなければならぬと教える。各グループに付録から、「旅の必需品一覧表」(291ページ)をコピーして配る。旅に持って行きたいと思う品物に生徒がしるしをつける。各隊は月に25キロの食料を消費する。各隊に与えられたお金は2万円、荷車には900キロの荷物を載せることができる。

旅の必需品一覧表の最初の部分に記入して「荷物を荷車に積み込んだら」、以下の要領で『生徒用学習ガイド』から、「西部への旅」を読む。各「期間」が過ぎたら、止まって、旅の必需品一覧表の「隊の日誌」を生徒が記入する。旅の途中で食料がなくなってしまう隊もあるかもしれないが、その場合、ほかの隊から借りたり、交換したり、買ったりすることができることを説明する。だれからも協力が得られなければ、その隊の人々は食料がないために死んで、西部へ向かう道の傍らに築かれた墓に埋葬される。

注意：「西部への旅」の読み方に変化を持たせる。教師が読んでもよいし、生徒が輪読してもよい。また、黙読することもできる。各期間の終わりに、食料がどれだけ残っているかを生徒が報告するとよい。

1 - 2か月目：1846年2月 - 3月

「西部への旅」の段落3 - 5を読む。以下の質問をする。

- 雪が降り寒い中、氷の張ったミシシッピ川を歩いて渡らなければならないとしたら、あなたはどのように思いますか。
- どんなことが心配ですか。

生徒の隊の中の何人かが病気になったため、進む速度が落ちてきたと言う。最初の2か月に消費した食料として、生徒は75キロを差し引く。当初は50キロの予定だったが、思いのほか多く消費してしまった。

3 - 4か月目：1846年4月 - 5月

段落6 - 7を読む。「恐れず来たれ、聖徒」(『賛美歌』, 17番)を

歌う。または、歌詞を読む。以下の質問をする。

- 任務を果たすとき、最初がいちばんきつことが多いのはなぜでしょうか。
- あなたが難しい課題を成し遂げるために助けになってきた教えや考え方にはどんなものがありますか。

この2か月間に消費した食料として50キロ差し引く。もしテントを持って来ていなければ、異常に雨が多かったことが理由で食料が腐ったため、さらに50キロを差し引く。

5 - 6か月目：1846年6月 - 7月

段落8 - 9を読む。この2か月間に消費した食料として50キロ差し引く。隊が釣り糸と釣り針を持って来ているか、ほかの隊から借りられるとしたら、50キロ加える。隊の中で病人が出たため、特別な看護が必要になった。医薬品か乾燥フルーツを持って来ていなければ、50キロ差し引く。

7 - 8か月目：1846年8月 - 9月

段落13 - 19を読む。以下の質問をする。

- 家族を置いて戦地に向かわなければならぬことについて、聖徒たちはどう考えたでしょうか。
- あなたはどのように説得されたら、戦争に行くでしょうか。
- なぜ多くの聖徒たちがモルモン大隊に参加したのでしょうか。
- 兵役を終えた後、なぜ多くの聖徒はカリフォルニアに残らなかったのでしょうか。
- わたしたちは今日、このような忠実さをどうやって示すことができるでしょうか。

この2か月間に消費した食料として50キロ差し引く。モルモン大隊に参加した隊員の食料としてさらに50キロ差し引く。食料を靴と交換したがっている人がいると言う。予備の靴を持って来ており、交換を希望する人々には食料を50キロ加える。

注意：段落20 - 22は船でカリフォルニアへ向かって、そこから陸路ユタまで来た聖徒たちについての説明である。これらの段落を簡単にまとめる。

9 - 11か月目：1846年10月 - 12月

段落10 - 12を読む。ウィンタークォーターズで生活する若い男性と若い女性の一日を想像して各隊の生徒が簡単にその説明を書く。各グループが書いた事柄を生徒が発表する。

3か月分の食料として75キロを差し引く。寝具類と毛布を持って来ていなければさらに50キロを差し引く。隊の中で寒さのために病気になって、食料が余分に必要になった。さらに25キロを差し引く。隊の中で赤ん坊が生まれたため、さらに25キロの食料を差し引く。

12 - 14か月目：1847年1月 - 3月

段落23 - 24を読む。以下の質問をする。

- 旅行に行ったとき、あなたや家族はどんな準備をしましたか。
- 楽しく、争いもなく長い旅をするには、どうしたらいいでしょうか。

3か月分の食料として75キロを差し引く。ぬかるみから脱出できないでいるほかの荷車隊に出会って、手伝ってくれたら食料を与えると言われている。ロープを持って来ていれば、食料を25キロ加える。

15 - 17か月目：1847年4月 - 6月

段落25 - 29を読む。生徒は長い旅をした経験について考える。以下の質問をする。

- いちばんつらかったことは何ですか。
- いちばん良かったことは何ですか。
- 旅の中でいちばんつらかったことがいちばん良かったことにもなり得るのはなぜでしょうか。

3か月分の食料として75キロを差し引く。荷車の車輪が壊れた。車輪の修理用工具を持って来ているか、食料や日用品を荷車に載せて運んでくれる隊を見つければ、そのまま旅を続ける。一台の荷車には900キロしか積めないことを確認する。隊は水がまったくない大平原を目の前にしている。水の容器を持って来ていれば、そのまま旅を続ける。持って来ていなければ、そこで死を迎える。

18か月目：1847年7月

段落30 - 32を読む。激しい嵐に襲われたため、残っている食料の半分を失ってしまった。翌朝、隊長が叫んだ。「あそこだ。グレートソルトレーク盆地だ。約束の谷に着いたぞ。」食料がまだ残っていて、農機具を持って来ていれば、生き残れると言う。もし農機具を持って来ていなければ、喜んで貸してくれる人を探さなければならぬ。

以下のような質問を使って、この経験から学んだことについて話し合う。

- 聖徒たちの苦難の主な原因は何だったでしょうか。
- 食料がなくなったときにあなたはどうしましたか。
- 備えの原則は、昇栄に向かうわたしたちの霊的な意味での旅にどう応用できるでしょうか。
- 今日、教会の指導者は物質的な備えと霊的な備えについて何と述べているでしょうか。



『西部への旅〔1845 - 1847年〕』『生徒用学習ガイド』、163 - 168、段落4 - 16、20 - 22、26 - 29。わたしたちは苦難を受けているときに、神の力の現れを受けることができる。そこからわたしたちは力を得て、堪え忍ぶことができるようになる。(25 - 30分)

『生徒用学習ガイド』の「西部への旅〔1845 - 1847年〕」から、段落4 - 16、20 - 22、26 - 29 (164 - 167ページ)を生徒が読む。初期の開拓者たちが経験した試練の中で最も困難だったと思われるものを5つ、生徒が見つかる。何人かの生徒が答えを発表してから、全員で話し合う。以下の質問をする。

- 今日の教会員が直面しているチャレンジの中には、開拓者が経験することのなかったものがあります。それは何ですか。
- これらのチャレンジが開拓者時代のチャレンジと異なるのはどんな点でしょうか。
- 似ているのはどんな点でしょうか。

教義と聖約136：1 - 30に目を通して、開拓者が試練を堪え忍ぶ助けになったと思われる主の勧告を探るように生徒に言う。以下の質問をする。

- この勧告はあなたの人生の旅にどう応用できるでしょうか。
- これらの戒めの中で、開拓者だけに当てはまると思われるものはどれでしょうか。また、今日のわたしたちにも当てはまるものはどれでしょうか。(生徒に答えの説明を求める。)



以下の言葉を読む。十二使徒定員会会員であるダリン・H・オークス長老はこのように述べた。

「あらゆる国々であらゆる価値ある仕事や活動に携わる教会員は、様々な困難に取り組み、障害を克服し、どの時代の開拓者にも劣らず雄々しく主イエス・キリストの僕に従っています。彼らは什分の一と献金を納め、宣教師として伝道に出たり、教会の様々な務めを果たしたり、またそうした人を助けています。子供のために自分のやりたいことを先に延ばす若く気高い母親のように、こうした人々は、永遠につける務めを全うするために目の前の楽しみを犠牲にします。彼らは召しを受け入れ、人々への奉仕のために喜んで自分の時間をささげ、時には命をもささげるのです。」(「現代の開拓者」『聖徒の道』1990年1月号、62参照)

十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老はこのように述べた。

「わたしは皆さんに……このことを約束したいと思います。皆さんは、逆境を克服して荒野を旅した開拓者たちを当然のことながら賞賛します。しかし、もし皆さんが忠実であるならば、絶望という荒野を立派に歩き通し、文化という荒れ野を切り抜け、信仰を守り通した皆さんに対して、今度はこの開拓者たちが賞賛の声を上げる日が来ることでしょう。」(Faith in Every Footstep Instructor's Guide [教会教育システム手引き、1996年]、14)

## 教義と聖約136章

### はじめに

預言者の死後、「聖徒たちはノーブーの家を追われた。過酷な状況の下、貧しく、ほとんど何もない状態だった。敵の略奪に遭ったからである。……しかし主はこの窮地に追い込まれた聖徒たちを見捨てられなかった。主はこの啓示をブリガム・ヤング大管長に与えて旅の間彼らを導いてくださり、主の戒めを守るようにとの勧告を与えられた。」(ハイラム・M・スミスとジェーン・M・ショダール、The Doctrine and Covenants Commentary、改訂版〔1972年〕、857)ブリガム・ヤングが136章を受けたのは、ジョセフが亡くなってから約2年半後、聖徒たちがウィンタークォーターズで野営していたときだった。

### 学び取るべき福音の重要な原則

- 聖徒一人一人が資格ある、義にかなった指導者の導きを受けられるように、主は人々をグループに組織される(教義と聖約136:1-16参照。教義と聖約107:22-39、58-66も参照)。
- 主の業の発展を止めることができるものは何もない(教義と聖約136:17-22、30-31、40-42参照。教義と聖約121:33


も参照)。


- 主の御霊は、へりくだって主に知恵を求める者を照らす(教義と聖約136:32-33参照)。
- 主を拒み、主の預言者の証を拒む個人と国民は大きな悲しみを受ける(教義と聖約136:34-36参照。教義と聖約87章も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341-343』、329-333。
- 『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324-325』、373-376。

### 教え方の提案

 教義と聖約136章を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション』20「すべてのことにおいて試みを受け」(3:30)を使用することができる。(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)

 教義と聖約136:17-22、30-31、40-42。主の業の発展を止めることができるものは何もない。(15-20分)

一人の生徒が教室の前に出て来る。ボールを教室の壁に向かって転がし、生徒がそのボールを止める。そのボールを止めるのがどれくらい難しかったか聞く。もしそのボールがトラック1台分の大きさで重量のあるものだったら、どれくらい難しいか聞く。

預言者ジョセフ・スミスの時代に教会の敵は主の業を止めるためにどんなことをしたか聞く。教義と聖約136:17-18を読む。それから、以下の質問について話し合う。

- 預言者の死後、教会が崩壊すると考えた人々もいました。どんな理由からだったと思いますか。
- 主の業が転がり進むのを止めようとした人々はなぜ失敗したのでしょうか(教義と聖約65:2;121:33参照)。

教義と聖約136:19-21を読む。主の業を進展させるためにできる事柄を生徒が挙げる。挙がった事柄の中から一つ選ぶ。その勧告に従うためにはどうしたらいいかを生徒が紙に書く。「シオンの若者、真理を守り」(『賛美歌』、163番)を歌う。または、歌詞を読む。このメッセージはここで研究してきた聖句とどんな関係があるか話し合う。

教義と聖約136:32-33。主の御霊は、へりくだって主に知恵を求める者を照らす。(10-15分)

学校か地域社会の中で、知恵があると思う人を思い浮かべるように言う。以下の質問をする。

- 知恵があるとはどんな意味でしょうか。
- その人には知恵があると思うのはなぜですか。
- 知恵のある人になるためにどんなことをする必要がありましたか。

教義と聖約136:32-33を読む。それから、以下の質問をする。

- 主はこれらの節の中で、知恵について何と説明しておられるでしょうか。

- 知恵についての主の説明は、クラスで話し合ったこととどんな点で異なっているでしょうか。
- これらの節によれば、知恵を得るにはどうすればいいでしょうか。
- それは、知恵を得るためにしなければならないと多くの人が考えていることと、どう違うでしょうか。

一人一人の生徒に以下の聖句を割り当てる。イザヤ55：8-9；1コリント1：25；ヤコブの手紙1：5；2ニーファイ9：28-29；2ニーファイ28：30；アルマ37：35-37；教義と聖約11：6-7。生徒は割り当てられた聖句を読む。そして、知恵についてそこから新たに学んだ事柄を発表する。

**教義と聖約136：34-36。主を拒み、主の預言者の証を拒む個人と国民は大きな悲しみを受ける。(25-30分)**

以下の表を黒板に書き写す。「参照箇所」以外の欄は空白にしておく。

参照箇所	預言者を拒んだ人	預言者	預言者を拒んだ年	その結果起きた事柄	その結果が起きた年
1ニーファイ2：11-13、21-23；2ニーファイ5：20-24	レーマンとレムエル	リーハイ	紀元前約600年		紀元前588-569年
ジェロム1：10-12；オムナイ1：5-7	ニーファイ人	「主の預言者たち」	紀元前399-361年		紀元前279年
モーサヤ17：11-13；アルマ25：3-12	ノア王の祭司たち	アピナダイ	紀元前約148年		紀元前90-77年
アルマ9：12-15、31-32；16：1-3	アモナイ八の民	アルマ	紀元前約82年		紀元前81年
教義と聖約130：12-13；136：34-36	合衆国の人々	ジョセフ・スミス	紀元1820-1844年		紀元1861年

各参照箇所を全員で読み、話し合う。それから、表の空白の部分を生徒が埋める。生徒が以下の事項に気づくよう助ける。

- 人々はどのようにして主の預言者の証を拒んだか。
- 彼らが預言者の証を拒んだ年。
- 預言者の証を拒んだ後、人々に何が起きたか。
- その結果を被るまでに何年かかったか。

十二使徒定員会会員であるロバート・D・ヘイルズ長老の以下の話を分かち合う。

「わたしたちの住むこの混乱した世の中では、至る所に悲しみと破壊的行為が見受けられます。その多くは神の真の預言者の言葉に耳を傾けなかったためにもたらされています。これまでの様々な神権時代に生を受けたすべての人々が預言者モーセの言葉に耳を傾け、十戒に従っていたとしたら、生活はどれほど違っていたことでしょうか。

人々を安心させる、生ける神の預言者の確固とした声は、いつの世にも何ものにも増して必要とされてきました。預言者は神の御心を語り、霊的に安全で、平安と幸福に続く道を示すからです。」「(「預言者の声に聞き従う」『聖徒の道』1995年7月号、15参照)



**はじめに**

ウィンタークォーターズからソルトトレイク盆地まで、1,600キロの困難な旅を終えた聖徒たちを待っていたのは、さらに過酷な労働と犠牲だった。開拓者たちが到着する以前にこの盆地を訪れた猟師や探検家は、栽培に適する時季がわずかしかなかったため、ここでは作物が育たないと考えた。地面があまりに硬かったため、最初の頃、開拓者たちが振り下ろしたすきは折れてしまった。開拓者はまさしく飢餓の脅威にさらされたのだった。

霊的なチャレンジも同様に深刻だった。聖徒たちは最愛のノーブーで神殿を失い、また大平原で愛する人々をも失っていた。彼らはチャレンジを受け入れて、ブリガム・ヤング大管長の靈感あふれる指導の下、物質的にも霊的にも自分たちの新しい定住地をさふらんのように花咲かせたのだった(イザヤ35：1参照)。

**学び取るべき福音の重要な原則**

- イエス・キリストの福音は世の人々にとって一つの旗である。それはあらゆる国のイスラエルの子らを集め、守る(「ブリガム・ヤング大管長」『生徒用学習ガイド』、170、段落1-2参照。イザヤ5：26；18：3；2ニーファイ29：2；教義と聖約115：4-6も参照)。
- 聖徒たちは靈感あふれる教会指導者の勧告に従うことによって、神の王国を築き、主の祝福を受ける(「ブリガム・ヤング大管長」『生徒用学習ガイド』、170-175、段落3-4、9-22、30-39参照。ヨハネ7：17；教義と聖約1：14、28も参照)。
- 初期の聖徒たちは神の王国を建設し、自分たちの必要を満たすために、勤勉に、また協力して働かなければならなかった。今日、わたしたちも神の王国を築くために熱心に働き、協力しなければならない(「ブリガム・ヤング大管長」『生徒用学習ガイド』、171-172、174-175、段落5-11、30-37参照。教義と聖約64：33-34も参照)。
- 地上に神の王国を築くために、伝道活動は欠かせない。わたしたちはいつ召しを受けても喜んで奉仕すべきである。また、いつ召されてもいよいよにふさわしさを保ち続けなければならない(「ブリガム・ヤング大管長」『生徒用学習ガイド』、173、段落23-29参照。教義と聖約4章も参照)。

**補助資料**

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341-343』、352-379。

## 教え方の提案

『ブリガム・ヤング大管長』『生徒用学習ガイド』, 170, 段落 1 - 2。イエス・キリストの福音は世の人々にとって一つの旗である。それはあらゆる国のイスラエルの子らを集め、守る。(50 - 60分)

教師の住んでいる都市の旗か国旗を生徒に見せる。または、旗の絵を見せる。今日、どんな目的のために旗が使われるか、また旗に描かれている象徴はどんな意味を持つか話し合う。

黒板に次の参照聖句を書き出す。「イザヤ5:26; 11:10, 12; 18:3; 49:22; 2ニーファイ29:2; 教義と聖約45:9; 105:39。」これらの参照聖句に共通していることは何か生徒に聞く(すべて「旗」について述べている)。古代イスラエルの「旗」には皆がよく理解している象徴が描かれていたことを生徒に教える。旗はさおの先につけて、人々を呼び集めるために用いられた。これらの節の説明から、旗について分かったことを生徒が要約する。

『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長」から、段落 1 - 2 (170ページ)を読む。以下の質問をする。

- 聖徒たちはソルトレーク盆地に到着したとき、どんなチャレンジに直面したでしょうか。
- 新しい故郷が持っている可能性を聖徒たちの心に描かせるために、ブリガム・ヤングはどんなふうに彼らを奮い立たせたでしょうか。
- ブリガム・ヤングは山の中腹にあった円い丘を何と命名したでしょうか。
- この地名にはどんな意味があるでしょうか。

開拓者時代の聖徒たちはソルトレーク盆地から全世界に福音が伝えられる様子を心に描いたということを生徒に教える。

クラスを幾つかのグループに分ける。そして、各グループに布または紙、短い棒、絵の具、色鉛筆、その他の材料を配る。聖徒たちがソルトレーク盆地に故郷を築くために始めたことを表す旗を作るように言う。旗に描く絵のアイデアを探すために「ブリガム・ヤング大管長」の段落3 - 22に生徒が目を通す。各グループは自分たちが作った旗を掲げ、その意味を説明する。教義と聖約115:4 - 6を読む。それから、教会がどのように「もろもろの国民のための旗」となっているかについて話し合う。

十二使徒定員会会員を務めたジョン・A・ウィッツォー長老が語った以下の話を紹介する。

「教会自体はこの〔もろもろの国民のための〕旗となることはできません。教会は個人によって構成されています。ですから、教会をもろもろの国民のための旗とする責任は個人にあります。わたしは自分の生活の中で旗とならなければなりません。生活の中でより大きな喜びを探し求めている人々が従うにふさわしい旗となるように行動しなければなりません。」(Conference Report, 1940年4月, 35)

以下の質問をする。

- 末日聖徒でない友だちは、教会員であるあなたに、どんな期待を寄せているでしょうか。
- 友だちや隣人にとってよりよい「旗」となるために、どんな

ことができるでしょうか。

『ブリガム・ヤング大管長』『生徒用学習ガイド』, 170 - 175, 段落3 - 4, 9 - 22, 30 - 39。聖徒たちは豊感あふれる教会指導者の勧告に従うことによって、神の王国を築き、主の祝福を受ける。(25 - 30分)

付録の296ページから、ジグソーパズルをコピーして、線に沿って切り離す。クラスを2, 3人ずつのチームに分ける。各チームにパズルを1セットずつ配る。一つの単語が作られるように生徒がパズルを組み合わせる。数分後に、各チームから一人だけに付録の完成図を見せる。その生徒は、自分のチームに戻ってパズルを完成させるのを助ける。以下の質問について話し合う。

- チームの一人が完成図を見た後、パズルを完成させるのはどれくらい容易になったでしょうか。
- その後もパズルを完成させるためには何らかの努力が必要だったでしょうか。なぜ努力が必要でしたか。
- 完成図を見た生徒は預言者にたとえられます。どこが似ているでしょうか。(預言者はこれから起きることや行わなければならないことについて、主が知らせようとしておられる事柄をわたしたちに告げる。)
- 生ける預言者の導きがあるということは、生きていくうえでどんな祝福となり、助けとなりますか。

ソルトレーク盆地に到着した聖徒たちは都市と神の王国を築くために、なすべきことがたくさんあったことを説明する。預言者に導かれていたため、聖徒たちは主が何を望まれているのか、そしてそれを成し遂げるためにどうすればよいかを知っていた。

『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長」から、それぞれの生徒に以下の3組の段落のどれか一つを割り当てる。3, 9 - 11; 12 - 22; 30 - 39 (170 - 175ページ)。ブリガム・ヤング大管長が民に命じた事柄を生徒が見つかる。生徒が見つけた事柄を黒板に書き出す。書き出す事柄には以下のものを含むようにする。

- 神殿の建設に着手する(段落3)
- 資源があるかどうかを調査する(段落9 - 10)
- 土地の投機を避ける(段落10)
- シオンに来るほかの人々のために財産を提供する(段落11)
- ソルトレーク盆地に集合する(段落12 - 22)
- 合衆国西部にほかの入植地を築く(段落30 - 35)
- アメリカン・インディアンに食物を与え、福音を教える(段落36 - 37)

生徒はそれぞれ読んだ箇所から、聖徒たちが何を行ったか、またヤング大管長の指示に対してどんな気持ちを抱いたかを発表する。

以下の質問について話し合う。

- 民はブリガム・ヤングの教えに従ったためにどんな祝福を受けたでしょうか。
- 預言者が今の時代に与えている指示にはどんなものがあるでしょうか。
- あなたは預言者の指示に従うことによってどんな祝福を受けられましたか。

ロバート・D・ヘイルズ長老が語った以下の話を紹介する。

こんにち

「今日の預言者たちの言葉に耳を傾けるならば、貧しく助けを必要としている人々へ、愛にあふれた奉仕が行われることでしょう。もろもろの深刻な健康上の問題も、知恵の言葉や純潔の律法に従うことにより避けられるでしょう。什分の一を収めるなら祝福を受け、必要なものが十分に与えられるでしょう。預言者たちの勧告に従うなら、不必要な苦痛を味わうことなく、破滅の道を歩まずに済むでしょう。何のチャレンジにも遭遇しないと知っているわけではありません。何の試練も受けないと知っているのでもありません。チャレンジや試練は確かにあります。なぜならそれも人生の目的の一部だからです。しかしもし預言者の勧告に耳を傾けるなら、わたしたちはさらに強められ、現世での試しに耐えていけるでしょう。加えて、希望と喜びが得られるでしょう。過去も現在も、預言者たちの勧告は、わたしたち自身を強め、それによってほかの人々を高め、強められるようにしてくれるのです。」(「予言者の声に聞き従う」『聖徒の道』1995年7月号、18参照)

生ける預言者に従うことによってもたらされる祝福について証する。<sup>あかし</sup>

「ブリガム・ヤング大管長」『生徒用学習ガイド』、171 - 172、174 - 175、段落5 - 11、30 - 37。初期の聖徒たちは神の王国を建設し、自分たちの必要を満たすために、勤勉に、また協力して働かなければならなかった。今日、わたしたちも神の王国を築くために熱心に働き、協力しなければならぬ。(35 - 40分)

世界地図を見て、地球上で最も遠く、最も住みにくいと思われる地域を1か所、生徒が選ぶ。クラスを幾つかのグループに分けて、その場所で1,000人の人々が生きていくための計画を立てるように言う。その計画には以下の質問の答えが含まれていなければならない。

- 1,000人の人々が最も必要としているのは何でしょうか。それが必要なのはなぜですか。
- すべきことを重要な順に3つ挙げてください。それを挙げた理由は何ですか。
- 人々がその土地を離れないようにするためにはどうしたらいいでしょうか。
- 住民の物質的および霊的必要性を満たす社会を築くことはどれくらい難しいでしょうか。1から10の段階で難易度を表してください。

この課題に取り組んでいるときに何を考え、何を感じたかを生徒が発表する。『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長」から、段落5 - 10、30 - 37(171 - 175ページ)をよく読む。それから、ソルトレーク盆地に神の王国を築くために聖徒たちが1847年から1877年までに行ったことを年代順に生徒が黒板に書き出す。聖徒たちが献身し、熱心に働き、協力したことを示す部分を探すように言う。

段落11(172ページ)を生徒が読む。それから、以下の質問をする。

- ヤング大管長はなぜ永代移住基金を設立したのでしょうか。
- それはどんな成果をあげたのでしょうか。

- だれがこの基金に献金したのでしょうか。だれがそのお金を受け取ったのでしょうか。
- 永代移住基金を成功させるために聖徒たちは福音のどの原則に従わなければならなかったのでしょうか。

2001年4月の総大会でゴードン・B・ヒンクレー大管長は永代教育基金の創設を発表したことを生徒に教える。この基金は永代移住基金の形式に倣って、全世界の多くの国々の若人が教育を受けられるよう支援するために使われる。学生は大学や専門学校に通うための学費を支払うために基金からお金を借りる。彼らは教育を終えて、働き始めたら融資を返済するよう求められる。以下の質問をする。

- 現在教育を受けることと、ブリガム・ヤング大管長の時代にシオンへ入植することには似ている点があります。どんな点で似ているのでしょうか。(一つの答えとして、学生たちが貧困から脱出し、祖国でのシオン建設を助けられるようになることが挙げられる。)
- 融資を返済するよう求めることによって、融資を受けた学生自身はどんな祝福を受けるのでしょうか。ほかの学生たちにはどんな祝福がもたらされるのでしょうか。

自分の住んでいる国で教会が直面している問題について考えるように生徒に言う。(地元の神権指導者や扶助協会指導者にどんなことが問題になっているかを尋ねて、生徒に紹介するとよい。)以下の質問について話し合う。

- これらの問題が解決しにくいのはなぜでしょうか。
- 教会の各組織と会員はどのように力を合わせれば、これらの問題を解決できるのでしょうか。

十二使徒定員会会員を務めていたときにハロルド・B・リー長老が語った以下の言葉を紹介する。「もしわたしたちが一致して愛を示し、フェロウシップをし、協力するならば、この教会は全世界を改心させることができるでしょう。」(Conference Report, 1950年4月、97 - 98)

「ブリガム・ヤング大管長」『生徒用学習ガイド』、173 - 174、段落23 - 29。地上に神の王国を築くために、伝道活動は欠かせない。わたしたちはいつ召しを受けても喜んで奉仕すべきである。また、いつ召されてもいいようにふさわしさを保ち続けなければならない。(15 - 20分)

クラスの何人かの生徒が専任宣教師として召されたと発表する。召された生徒の名前と任地を読み上げる。「召し」を受けた者たちは2日以内に伝道に出発しなければならないと言う。以下の質問をする。

- 召しが来てから、このようにすぐに伝道に出るのは難しいものです。なぜだと思いますか。
- 宣教師として働くためには何が必要でしょうか(教義と聖約4章参照)。

生徒は伝道の召しを受ける準備ができるかどうかを考える。教義と聖約18:13 - 16を読む。それから、次のように質問する。「これらの節によれば、伝道活動によってどんな祝福が得られるのでしょうか。」

『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長」から、段落23(173ページ)を調べる。そして、ブリガム・ヤング大管長がどのようにして専任宣教師を召したかを生徒が見つめる。総大会

の壇上から伝道の召しを受けるのは、どんな経験だったか想像するように言う。段落24 - 29を読む。それから、これらの宣教師が召された地を生徒が書き出す。わたしたちはどこでも主が召される地へ喜んで行くべきであるが、いつか伝道に召されるときに、どこへ行きたいか、なぜそこへ行きたいと思うかを聞く。

## ブリガム・ヤング大管長の遺産

### はじめに

「ジョセフ・スミスの名が『良くも悪くも……覚えられる』(ジョセフ・スミス 歴史1:33)だろうと語られたのと恐らく同じ意味で、ブリガム・ヤングの名も良くも悪くも覚えられることだろう。ブリガム・ヤングは最後にこのように言ったのではないだろうか。『わたしの使命が世の人々からよく理解されなかったことは残念ですが、やがて理解される時が来るでしょう。わたしの働きとその結果の判断はそれらが明らかになる未来にゆだねることにします。』[プレストン・ニプレー, *The Presidents of the Church* (1941年), 82 - 83]

その後、世の人々はブリガムが入植事業において見せた卓越した能力を認めてきたが、多くの人々はブリガムが預言者であったことを理解できずにいる。ワシントンD.C.のロトウダでブリガム・ヤング像の除幕式が行われたとき、アルバート・E・ボーエン長老はこのように述べた。『彼はその偉大さ、英知、忠誠、信仰、勇気においてこの上なく優れた資質を持っていました。彼が信じていた宗教の教えに反対することはできても、彼の誠実さと桁外れの指導力に疑問をはさむ余地はありません。それは歴史が証明しているからです。』[*Acceptance of the Statue of Brigham Young Presented by the State of Utah* (1950年), 15] (ホイット・W・プリュースター・ジュニア, *Doctrine and Covenants Encyclopedia* [1988年], 653)

### 学び取るべき福音の重要な原則


- ブリガム・ヤング大管長は神の預言者であった。ヤング大管長がその生涯と管理において示した模範はわたしたちが問題を解決する際に役立つことができる(「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』, 177, 段落1 - 6参照)。
- 聖徒たちが謙遜であり、忠実であるならば、聖霊は「何を行い、どこへ行くべきかを教えて」くださる。御霊は平安、喜び、義をもたらし、神の王国を築く聖徒を助ける(「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』, 177, 段落8参照。2ニーファイ32:5も参照)。
- 神の王国は、教会員にどんな弱点があろうと、敵からどんな迫害を受けようと、全地に広がるであろう(「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』, 177 - 178, 段落9, 13, 16参照。教義と聖約65:2も参照)。
- 教会員は聖文の精神や意味を自分で知ることができる。また、指導者が主の靈感を受けていることを自分で知ることができる(「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』, 178, 段落11 - 12参照。1ニーファイ10:19; 教義と聖約1:

37 - 38も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』, 381 - 421。

## 教え方の提案


 「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』, 177, 段落1 - 6。ブリガム・ヤング大管長は神の預言者であった。ヤング大管長がその生涯と管理において示した模範はわたしたちが問題を解決する際に役立つことができる。(20 - 25分)

生徒にブリガム・ヤング大管長の絵を見せる。そして、ヤング大管長について知っていることを聞く。教義と聖約の書が真実であるという十二使徒の証(教義と聖約の序文); 教義と聖約124:127 - 128; 126章(前書きを含む); 136章の前書き; 138:53に生徒が目を通す。これらの資料から、ブリガム・ヤングについて学んだことを生徒が発表する。

『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長」から、「ブリガム・ヤングの生涯」と「ブリガム・ヤング大管長が教会を管理した時期」(170ページ)に目を通すように言う。「ブリガム・ヤング大管長の遺産」から、段落1 - 6(177ページ)を読む。以下の中から、幾つかの質問をする。

- ブリガム・ヤングが使徒に召されてから教会の大管長になるまでに、どのくらいの期間があったでしょうか。
- ヤング大管長は何年間教会を管理したでしょうか。
- 大管長とユタ準州の知事を兼任していた間、ブリガム・ヤングはどんなチャレンジに遭ったと思いますか。
- 教会の召しやその他の責任のために家族から一時的に離れている間も、家族を強めるためにどんなことができるでしょうか。(ヤング大管長は毎日時間を割いて子供たちを教え一緒に祈った。ヤング大管長の子供たちにとって、ヤング大管長は優しく愛にあふれた父親として心に残っていた。これらのことを生徒に教える。)
- このような教会の召しは家族にとってどんなふうに祝福となり得るでしょうか。
- ブリガム・ヤングが管理した時代に設けられた教会のプログラムにはどんなものがあるでしょうか。

ブリガム・ヤング大管長について最も印象に残ったことを生徒に聞く。ヤング大管長をたたえる言葉を一つの文で生徒が書く。何人かの生徒が書いた文を紹介する。「ブリガム・ヤング大管長の遺産」から、段落5を読む。それから、この神の預言者が神から召され、偉大な働きを行ったことについて教師が証を述べる。

 「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』, 177 - 178, 段落7 - 16。ブリガム・ヤング大管長の教えは現在の問題や疑問を解決する際に役立つ。(20 - 25分)

『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長の遺産」から、段落7 - 16(177 - 178ページ)に生徒が目を通す。それぞれの段落から、印象に残った言葉を生徒が一つ選ぶ。そして、詳しく調べる。その言葉を自分の言葉に直して生徒が紙に書く。次に、この言葉が解決に役立つ現代の問題や疑問について書く。

教師が新聞か雑誌を何部かクラスに持参する。生徒はそれらに目を通して、先ほど書いた疑問や問題の具体例となる記事を探す。探し終えたら、何人かが、自分が選んだブリガム・ヤング大管長の言葉と要約したものを読み上げる。そのうえで、その言葉が解決に役立つと思う現代の問題について発表する。

「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』、177、段落8。聖徒たちが謙遜であり、忠実であるならば、聖霊は「何を行い、どこへ行くべきかを教えて」ください。御霊は平安、喜び、義をもたらし、神の王国を築く聖徒を助ける。(15 - 20分)

預言者ジョセフ・スミスが自分の前に現れたと仮定するように言う。以下の質問をする。

- 自分の前に現実に預言者ジョセフ・スミスが現れたら、どのように感じますか。
- もし預言者ジョセフがメッセージを持って来たとしたら、あなたはそれをどんな気持ちで受け取るでしょうか。

あるとき預言者ジョセフがブリガム・ヤング大管長の夢に現れ、聖徒へのメッセージを与えたことを生徒に教える。『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長の遺産」から、段落8(177ページ)を読む。以下の質問について話し合う。

- 預言者ジョセフ・スミスはブリガム・ヤング大管長にどんなメッセージを与えたでしょうか。
- このメッセージは今日のわたしたちにとってどれくらい大切でしょうか。
- 預言者ジョセフ・スミスは聖なる御霊の影響について何と語ったでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスが夢の中でブリガム・ヤング大管長に告げたように、主の御霊を感じた経験について何人かの生徒が話す。

「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』、177 - 178、段落9、13、16。神の王国は、教会員にどんな弱点があるかと、敵からどんな迫害を受けようと、全地に広がるであろう。(15 - 20分)

船の絵を見せる。または、黒板に描く。生徒に次のように言う。「このような船に乗って大海原を航海していると仮定してください。」

- あなたは船から海に飛び込もうと思うでしょうか。なぜそうしようと思いませんか。あるいはなぜそうしないでおこうと思いませんか。
- 海に飛び込んだらどんな危険が待ち受けているでしょうか。

『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長の遺産」から、段落13(178ページ)を生徒が読む。以下の質問をする。

- ヤング大管長は何を船にたとえたでしょうか。(シオン、つまり教会。)
- ヤング大管長によれば、ある人々はなぜ「シオン号」から海に飛び込むのでしょうか。
- 海は何を表しているでしょうか。また、嵐、船から海に飛び込むことは何を表しているでしょうか。

一人の生徒が段落9を読む。以下の質問をする。

- 人々が教会を離れるもう一つの理由は何でしょうか。

- どんな意味で、富は迫害よりも難しい試練となるのでしょうか。
- ヒラマン12:1-5を読んでください。これらの節は富についてどんなことを教えているでしょうか。

たとえ会員たちに弱点があろうと、教会が栄えある未来を迎えることについて生徒に証する(ダニエル2:44-45;教義と聖約65:2参照)。『生徒用学習ガイド』の段落16から、ブリガム・ヤング大管長の証を読む。教会の将来の姿を文に書くように言う。

「ブリガム・ヤング大管長の遺産」『生徒用学習ガイド』、178、段落11-12。教会員は聖文の精神や意味を自分で知ることができる。また、指導者が主の靈感を受けていることを自分で知ることができる。(15 - 20分)

聖典に記されている預言者の中から、会いたいと思う預言者を生徒が一人選ぶ。何人かの生徒が、どの預言者を選んだか、なぜその預言者を選んだのかを発表する。教師が会いたい預言者と、その預言者に会いたい理由を生徒に話す。『生徒用学習ガイド』の「ブリガム・ヤング大管長の遺産」から、段落11(178ページ)を読む。そして、以下の質問をする。

- ブリガム・ヤング大管長はどんな方法で聖典を読むことを勧めているでしょうか。
- この方法で聖典を読むと、古代の預言者とその教えについて詳しく分かるようになるのはなぜでしょうか。
- 現在の預言者についてよく知ることも大切です。なぜでしょうか。

段落12を生徒が読む。以下の質問をする。

- 現代の預言者が神に導かれていることをわたしたち一人一人が知らなければなりません。それはなぜでしょうか。
- わたしたちはどうすればその知識を自分で得ることができるでしょうか(1ニーフアイ10:17-19;教義と聖約18:34-36参照)。

古代の預言者も現代の預言者も神の預言者なのだという知識を得ることができると証する。また、預言者の教えに従うことの大切さを証する。



## ジョン・テラー大管長

### はじめに

「ジョン・テラーは、教会が最も大きな試練の一つを経験した時代に教会を導いた人である。かつてなかったほどに、ジャーナリストや牧師、議員、大統領らが結束して一夫多妻制……を根絶しようとした。また教会に敵対する者は、これを材料に教会自体を滅ぼそうとした。ジョン・テラーの合衆国および英国、ヨーロッパでの宣教師としての経験、ノーブーとニューヨーク市での教会新聞編集者としての経験、20年以上にわたるユタ州議会議員の経験、預言者ジョセフ・スミスとハイラム・スミスの殉教の目撃、これらすべての経験が〔1877年8月29日にブリガム・ヤングが亡くなってからジョン・テラーが1887年7月25日に亡くなる

まで) 教会を導く際の彼の技量と確信を高めたのである。……このような発展と試練の時代にあつて、ジョン・テラーはかつてジョセフ・スミスやブリガム・ヤングと共有した神の王国のビジョンを心に刻んでいた。」(『神の王国を出て行かされたまえ』、52参照)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- 教会員は召しを尊んで大いなるものとし、福音を人々に分かち合う責任がある(『生徒用学習ガイド』「ジョン・テラー大管長」、179 - 182、段落2 - 9、20、26参照。教義と聖約4章も参照)。
- 神の戒めが人々から受け入れられなくても、わたしたちは神を畏れ、律法に従わなければならない(『生徒用学習ガイド』「ジョン・テラー大管長」、181 - 182、段落13 - 18参照。イザヤ51:7 - 8; 使徒4:16 - 21; 教義と聖約3:7 - 8も参照)。
- 神を信頼し、神に自分をささげるならば、神はわたしたちを永遠の命に至る道に導いてくださる(『生徒用学習ガイド』「ジョン・テラー大管長」、182、段落19、21 - 22、25参照。箴言3:5 - 6も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』、422 - 434。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ジョン・テラー大管長」、179 - 182、段落2 - 9、20、26。教会員は召しを尊んで大いなるものとし、福音を人々に分かち合う責任がある。(15 - 20分)

ロバート・D・ヘイルズ長老が管理監督を務めていたときに語った以下の話を分かち合う。

「わたしは若いときに、アメリカ合衆国空軍のジェット戦闘機の操縦士として働きました。飛行大隊の各中隊には、士気を高揚させるための標語がありました。わたしたちの中隊の標語は、『名誉の帰還』というもので、その言葉は機体の側面に記されていました。わたしたちはこの標語を見る度に、全力を尽くし、余すところなく完全に任務を果たして基地に帰るといふ決意をいつも新たにしました。

『名誉の帰還』という標語は、永遠の進歩という計画に従って進むわたしたち一人一人にも当てはまります。かつて天の御父とともに住み、そしてこの地上に來たわたしたちは、天の家に名誉ある帰還をするという決意をしなくてはなりません。」(「アロン神権 - 名誉の帰還」『聖徒の道』1990年7月号、44 - 45)

天の御父のもとへ名誉の帰還をするためには何を行わなければならないかという生徒に聞く。生徒からの意見になれば、召しを尊んで大いなるものとしなければならないことを指摘する。『生徒用学習ガイド』の「ジョン・テラー大管長」から、段落20(182ページ)を読むように言う。以下の質問をする。

- テラー大管長はここでどんな義務について述べているでしょうか。

- わたしたちが「名誉の帰還」をする努力の中で、なぜ伝道することが大切なのでしょう。
- わたしたちは今、どんな方法で伝道活動に参加できるでしょうか。

モルモン書ヤコブ1:18 - 19; 教義と聖約18:10 - 16を一人の生徒が朗読する。召しを尊んで大いなるものとし、福音を人々に分かち合うというわたしたちの責任について、これらの節がどんなことを言っているか話し合う。だれか一人を選んで、この1週間その人をどのように助けたいか考えるように言う。

「ジョン・テラー大管長」から、段落2 - 9を読む。そして、印象に残る伝道活動の一つを見つけるように言う。選んだ伝道活動とそれを選んだ理由を何人かの生徒が発表する。以下の言葉を紹介する。七十人会長会の一員を務めたジョー・J・クリステンセン長老はこのように述べた。

「現代の預言者たちは、身体的、精神的に問題のない青少年はすべて、名誉ある伝道に出る備えをするよう教えてきました。『スケジュールに問題がなければ、気が向いたら、あるいは学業や進路、恋愛の妨げにならなければ、伝道に出なさい』とは、主は言われませんでした。福音を宣べ伝えるのは戒めであって、単なる提案ではありません。祝福であり、特権であって、犠牲ではありません。忘れないでください。たとえ伝道に出ないように大きな誘惑を受けている人々が皆さんの中にいたとしても、主とその預言者は皆さんを信頼しています。」(「救い主はあなたを頼りにしています」『聖徒の道』1997年1月号、47)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように教えた。

「わたしたちはある程度若い女性〔が伝道に出ることを〕必要としています。姉妹たちは素晴らしい働きをします……。

……伝道活動は本質的に神権活動です。若い男性が主たる重荷を負わなければならないのはそのためです。伝道活動は彼らの義務であり、責任だからです。

わたしたちは若い女性の皆さんに、伝道を人生の不可欠なプログラムであると考えようには求めています。…姉妹の皆さん、皆さんは伝道に出る出ないにかかわらず、高く評価され、立派に義務を果たしていると見なされ、皆さんの努力は主と教会にとって受け入れられるものとなるでしょう。」(「神殿、改宗者の定着、伝道活動について」『聖徒の道』1998年1月号、61参照)

若い男性に対して、専任宣教師となるために準備をするよう、またすべての生徒に日々の生活の中で伝道する機会を見つけるよう奨励する。天の御父の王国に「名誉の帰還」をするには預言者の勧告に従わなければならないことを証する。

『生徒用学習ガイド』「ジョン・テラー大管長」、181 - 182、段落13 - 18。神の戒めが人々から受け入れられなくても、わたしたちは神を畏れ、律法に従わなければならない。(25 - 30分)

七十人のゲリー・J・コールマン長老が語った以下の話を紹介する。

「この世ではだれもが多くの困難にぶつかります。わたしたちを世の教えに染めようとする人々の、様々な叫び声があちこちから聞こえてきます。しかし、わたしたちの進むべき道はこの世のものとは異なっています。いろいろな障害が待ち受けており、そのために足をくじいたり、つまずいたりするかもしれません。それでも歩みを進めなければなりません。主の力を受けながら歩み続け、この人生の終わりにはそれぞれが自分のしてきたことについて報告をしなければなりません。」(『福音の回復の要であるイエス・キリスト』『聖徒の道』1993年1月号, 51参照)

以下の質問について話し合う。

- コールマン長老の言葉を裏付ける証拠としてどんな事柄を挙げることができるでしょうか。
- わたしたちの信条や標準には世の人々から受け入れられていないものがあります。なぜだと思いますか。

ジョン・テラー大管長の絵を見せる(『福音の視覚資料セット』, 508参照)。『生徒用学習ガイド』の「ジョン・テラー大管長」から、「ジョン・テラーの生涯」と「ジョン・テラー大管長が教会を管理した時期」(179ページ)に書かれていることにざっと目を通す。次のように質問する。「テラー大管長が管理した時代に、聖徒たちは世の人々から受け入れられないことを行っていました。それはどんなことだったでしょうか。」答えを見つけるために「ジョン・テラー大管長」から、段落13を読む。それから段落14 - 18を読む。そして、この時期に聖徒たちが堪え忍んだ迫害について話し合う。次のように質問する。「信じていることを実践しているためにそのような扱いを受けたとしたら、あなたはどのように感じるでしょうか。」話し合いを展開するためにイザヤ51:7-8;使徒4:19;教義と聖約3:7-8を参照する。

次のように質問する。「教会員はジョン・テラー大管長の時代よりも、現在の方が人々から受け入れられているのでしょうか。それはなぜでしょうか。」宗教上の理由で批判されたり、疎んじられたり、迫害されたりした経験があるかどうか生徒に聞く。そのような経験と、どのようにしてそれを乗り越えたかを2,3人の生徒が話す。以下の言葉について話し合う。ロバート・D・ヘイルズ長老はこのように述べた。

「預言者は、神の律法に違背した場合の結果について頻繁に警告しなければなりません。世にあって、人受けすることを説いたりはいしません。エズラ・タフト・ベンソン大管長は『人気は真理を測る物差しではない』と教えています。("Fourteen Fundamentals in Following the Prophet," 1980 Devotional Speeches of the Year [1981年], 29)」(『もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい』『聖徒の道』1996年7月号, 44)

ジョー・J・クリステンセン長老はこのように述べた。

「子供にとっても親にとっても、正しくあろうとするのは、時として孤独なことです。子供たちは、一人で夜を

過ごすなければならぬかもしれません。パーティーに出られなかったり、映画に行けなかったりもするでしょう。それはあまり楽しいことではないかもしれませんが。」(『汚れた世にあって子供を育てる』『聖徒の道』1994年1月号, 13参照)

たとえ迫害を受けても義を守り通したテラー大管長の模範を紹介する(『時満ちる時代の教会歴史』, 422 - 434参照)。テラー大管長の模範に従うよう生徒を励ます。

『生徒用学習ガイド』「ジョン・テラー大管長」, 182, 段落19, 21 - 22, 25。神を信頼し、神に自分をささげるならば、神はわたしたちを永遠の命に至る道に導いてくださる。(10 - 15分)

生徒が最近主から受けた祝福を5つ書き出すように言う。何人かの生徒がそれを発表する。以下の質問について話し合う。

- あなたはなぜ、これらの祝福が主から与えられたと信じていますか。
- 教義と聖約130:20 - 21を読んでください。これらの節から、わたしたちの受ける祝福についてどんなことが分かるでしょうか。

『生徒用学習ガイド』の「ジョン・テラー大管長」から、段落22(182ページ)を読む。以下の質問をする。

- テラー大管長はこの中で、わたしたちの受ける祝福について何と語っていますか。
- これが真実であることの証拠を自分の生活の中から挙げることができますか。

自分にとって理想的な一日とはどんな一日か生徒が考える。3ニーファイ5:22を読む。それから、理想的な一日を実現するために何ができるか話し合う。主の祝福は必ずしも目に見える形で来るわけではないこと、また必ずすぐ来るとはかぎらないことを説明する。しかし、主の戒めを守ることによって、ほかの方法では得られない祝福が必ず得られる。『生徒用学習ガイド』の「ジョン・テラー大管長」から、段落19, 21, 25を読む。これらの教えから、わたしたちの生活の中で得られる主の祝福についてどんなことが学べるか話し合う。

## ウィルフォード・ウッドラフ大管長

### はじめに

『信仰の人ウィルフォード。』ウィルフォード・ウッドラフは教会の初期の時代にこう呼ばれていた。これは彼にふさわしい呼び名だった。ウィルフォード・ウッドラフほど献身的で信仰篤い末日聖徒はいなかった。『神を礼拝し、神の目的を成し遂げるために誠実でたゆまぬ献身を示したウィルフォードは古代と現代を問わず、いかなる預言者にも引けを取らない』と『ウィルフォード・ウッドラフの生涯』(Life of Wilford Woodruff)の著者であるマサイアス・F・カウリーは記している。ウッドラフは、地上



に神の王国を築くという崇高な務めに携わる一人として若いころから奉仕した、真に善良で偉大な人物だった。多くの同僚たちの生涯が『義にかなって短くされた』のに対して、ウィルフォード・ウッドラフは91年間の生涯と働きを許され、最終的には、彼自身が長年にわたって熱心に働いて確立した組織を管理する機会を与えられた。」(プレストン・ニブレー, *The Presidents of the Church*, 改定版〔1974年〕, 101)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- ウィルフォード・ウッドラフ大管長は神の預言者であった。わたしたちはウッドラフ大管長の教えに従うことによってイエス・キリストのもとへ導かれる(『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 184 - 187, 段落1 - 25参照。教義と聖約43 : 3 ; 138 : 53 - 54も参照)。
- 教会員は亡くなった先祖のために家族歴史と神殿活動を行う責任がある(『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 184 - 187, 段落1 - 7, 11 - 18, 22参照。オバデア1 : 21 ; 教義と聖約128 : 15 ; 138 : 47 - 48も参照)。
- わたしたちは御霊の<sup>みたま</sup>促しに頼ることができる。御霊は平安と安全と幸福の道にわたしたちを導く(『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 186 - 187, 段落19 - 21, 25参照)。
- わたしたちは主イエス・キリストを信頼しなければならない(『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 187, 段落23 - 24参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』, 435 - 449。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 184 - 187, 段落1 - 25。ウィルフォード・ウッドラフ大管長は神の預言者であった。わたしたちはウッドラフ大管長の教えに従うことによってイエス・キリストのもとへ導かれる。(10 - 15分)

『生徒用学習ガイド』の「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」(184 - 187ページ)から質問を作る。クラスを幾つかのチームに分ける。与えられた質問に対して、『生徒用学習ガイド』からチームで答えを探す。楽しい活動とするために、正解には得点を与えたり、質問を種類別に分類したり、全員が参加できるようなルールを作ったりするとよい。以下のような質問が考えられる。

- ウィルフォード・ウッドラフが大管長に召されたのは何年だったでしょうか。
- ウィルフォード・ウッドラフが伝道した地を4つ挙げてください。
- 教義と聖約の中でウッドラフ大管長が書いたのはどの章でしょうか。
- ウッドラフ大管長の功績の中で、忘れてはならない事柄を3つ挙げてください。
- 大管長会と十二使徒定員会が「宣言」を支持したのはいつでしたか。

- 主は1894年にウッドラフ大管長に与えた啓示の中で系図活動について何と言われたでしょうか。
- ウッドラフ大管長は二つの神殿を奉獻しました。それは、どこどこですか。
- ウッドラフ大管長が初代の神殿長を務めたのはどこの神殿ですか。
- ウッドラフ大管長は自分の90歳の誕生日に、日曜学校の子供たちに何と言ったでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 184 - 187, 段落1 - 7, 11 - 18, 22。教会員は亡くなった先祖のために家族歴史と神殿活動を行う責任がある。(30 - 35分)

クラスを少人数のチームに分ける。各チームに紙を1枚渡す。次の質問の答えを5分以内にできるだけ多く書く。「家族歴史と神殿活動が全世界で活発になるために、どんな助けができますか。」

書き出した答えがいちばん多かったチームや、いちばんユニークな答えを書いたチームに賞を与えるとよい(過剰に競い合う雰囲気にならないように注意する)。以下のような答えが考えられる。

- 自分のために神殿のエンダウメントを受ける。
- 自分の家族と結び固めを受ける。
- 家族歴史の探求を行う。
- 家族の人名を神殿の儀式のために提出する。
- 記録抄出活動に参加する。
- 墓地を訪れて、墓石からの情報を記録する。
- <sup>しんせき</sup>親戚の集いを開く。
- 親族の集いに出席する。
- 家族の歴史にゆかりのある地を訪れる。
- 個人の日記をつける。
- 個人の歴史を書く。

『生徒用学習ガイド』の「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」の「ウィルフォード・ウッドラフの生涯」, 「ウィルフォード・ウッドラフ大管長が教会を管理した時期」から、段落1 - 7, 11 - 17 (184 - 186ページ)を調べる。ウッドラフ大管長がその生涯で、家族歴史と神殿活動を活発にするために行ったことを少なくとも8つ見つける。

段落18, 22を一人の生徒が読む。この言葉は神殿活動を全世界で活発にするという教えを裏付けるものである。どのように裏付けているか話し合う。次のように質問する。「皆さんがこれまで生きてきた間に、家族歴史と神殿活動は全世界でどのくらい進みましたか。」書き出した活動を実行して家族歴史と神殿活動に参加するよう生徒に勧める。

『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 186 - 187, 段落19 - 21, 25。わたしたちは御霊の<sup>みたま</sup>促しに頼ることができる。御霊は平安と安全と幸福の道にわたしたちを導く。(10 - 15分)

以下の質問をする。

- 聖霊の<sup>みたま</sup>促しを受けると、どんな感じがしますか。(この質問の答えを見つけるために、アルマ32 : 28 ; 教義と聖約6 : 22 - 23 ; 11 : 12 - 14などの聖句を参照するとよい。)
- 若いときから御霊の<sup>みたま</sup>促しに従うことはなぜ大切なのでしょうか。

- あなたはこれまで、どんなときに聖霊の指示や導きを感じましたか。

以上の質問について2, 3分話し合う。『生徒用学習ガイド』の「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」から、段落19 - 21, 25 (186 - 187ページ)を読む。ウッドラフ大管長の教えと証を読むと、今まで話し合ってきた原則が正しいことが分かる。どうして正しいと分かるのか話し合う。

注意：もし生徒が聖霊の導きを感じたことがないと言ったら、主の戒めを守っていれば必ずこの導きを受けられると約束する。主はわたしたちの信仰を試すために御霊を遣わすのを差し控えられることがあることを説明する(エテル12:6参照)。信仰を得るには、生活の中ですでに得ている気持ちを認識して、その気持ちが聖霊の導きであると信じる必要がある場合があると指摘する(この「教え方の提案」の最初の質問の参照聖句を参照)。

『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」, 187, 段落23 - 24。わたしたちは主イエス・キリストを信頼しなければならない。(10 - 15分)

十字架につけられた救い主の絵を見せる(『福音の視覚資料セット』, 230参照)。イエス・キリストの受けられた苦しみを思い起こすときにどう感じるか話し合う。『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」から、段落24 (187ページ)を読む。以下の質問をする。

- 救い主の受けられた苦しみにについて考えるとなぜ悲しみを覚えるのでしょうか。
- 人はキリストの苦難について深く考えるときになぜ幸せを感じるのでしょうか。
- イエス・キリストの苦難と贖罪は、あなたにどんな祝福を与えているのでしょうか。

エノス1:1 - 9; アルマ36:17 - 20を読む。そして、イエス・キリストの贖罪について深く考え、贖罪を受け入れたとき、エノスとアルマが感じたことについて話し合う。毎日の生活の中でイエス・キリストに頼るよう生徒に勧める。「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」の段落23を読む。以下の質問をする。

- ウッドラフ大管長は主を信頼する者たちにどんな約束を与えましたか。
- アルマ37:44 - 47を読んでください。この聖句では主を信頼することについてどんなことが教えられていますか。
- 「どうすれば救い主のことを毎日考えられるようになれるか」と聞かれたら、どんな助言をしますか。



## 公式の宣言一

### はじめに

19世紀の最後の数十年間に教会は強い反対にあった。「教会を攻撃した議会の指導者たちの本当の目的は、モルモンにはユタの政治、教育、経済の実権を握らせない、というものであった。しかし、大衆の支持を得るために多妻結婚に矛先を向けた。

1890年の後半に至って、ウィルフォード・ウッドラフ大管長が『宣言』(教義と聖約の中にある公式の宣言一)によって、多妻結婚の終結を発表すると、彼らの反対運動は突然消えてしまった。ウッドラフ大管長は長い間この問題を深く考えた結果、聖徒たちにこう語った。『天の神が命じられたのです。……そこで、わたしは主の前に行き、主が命じられたことを書き記したのです。』[Deseret Weekly, 1891年11月14日付] (ドン・L・サール, "A 'Magnificent and Enduring Monument,'" *Ensign*, 1993年3月号, 24)


### 学び取るべき福音の重要な原則

- わたしたちは自国の法律に従うべきである。自国の法律が神の律法と矛盾する場合は、生ける預言者の勧告に従うべきである(公式の宣言一; 「ジョン・テラー大管長」『生徒用学習ガイド』, 181, 段落13 - 14; 「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」『生徒用学習ガイド』, 185, 段落8 - 10参照。マタイ22:15 - 22; 教義と聖約1:14, 38; 58:21 - 22; 90:3 - 5; 信仰箇条1:12も参照)。
- 主は大管長が会員を間違った方向に導くことを決して許されない(「宣言」に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋, 段落1 - 2参照。教義と聖約64:38 - 39も参照)。
- 神の戒めを守ることを敵が妨げるとき、主はわたしたちの努力を認めて、生ける預言者を通してその戒めを解かれることがある(「宣言」に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋, 段落3 - 9参照。モーサヤ5:5; 教義と聖約56:3 - 4; 124:49も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』, 439 - 441。
- 『教義と聖約生徒用引き 宗教コース324 - 325』, 384 - 387。

### 教え方の提案

 公式の宣言一。わたしたちは自国の法律に従うべきである。自国の法律が神の律法と矛盾する場合は、生ける預言者の勧告に従うべきである。(25 - 30分)

戒めを幾つか生徒が挙げる(什分の一、安息日を聖なる日とする, その他)。それを教師は黒板に書き出す。その中から一つの戒めを選ぶ。そして、次のように言う。「わたしたちの国で、この戒めに従ってはならないという法律が制定されたとします。この戒めを守っていることが見つかり、逮捕されて、監獄に入れられてしまいます。」

- これはあなたの生活にどんな影響を及ぼしますか。
- 同じように苦しい選択を迫られたことがありますか。
- 戒めに従うべきかどうか、決断が難しいことがあるのはなぜでしょうか。
- 教義と聖約58:21 - 22; 信仰箇条1:12を読んでください。これらの聖句には、この問題についてどんな勧告がありますか。
- 教会はこのような状況に直面したことがあります。いつ直面したのでしょうか。

『生徒用学習ガイド』の「ジョン・テラー大管長」から、段落13 - 14 (181ページ)を生徒が調べる。多妻結婚が法律で禁止


されたときに聖徒が直面した問題を見つける。

テラー大管長が亡くなった後、ウィルフォード・ウッドラフ大管長が次の大管長になったと生徒に教える。公式の宣言一の最初の6段落と『生徒用学習ガイド』「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」の段落8 - 10 (185ページ)を読む。多妻結婚の実施がどうなったかについて生徒が要約する。次のように質問する。「ウィルフォード・ウッドラフ大管長が受けた啓示は、以前の預言者たちが教会員に与えた指示とどんな点で違っていましたか。」

ウッドラフ大管長の言葉を聞いたにもかかわらず一夫多妻を続けようとした教会員もいたことを説明する。次のように質問する。「生ける預言者の言葉は過去の預言者の言葉よりも大切です。なぜでしょうか。」テラー大管長が語った以下の言葉を紹介する。

「わたしたちが求めているのは、生ける木 生ける泉  
生ける知恵です。それらは、天にある生ける神権から  
出てくるものであり、地上の生ける神権を通じてもたらさ  
れるものなのです。……また、アダムが初めて神から言葉  
を受けたとき以来、……あるいはジョセフ・スミスに天が  
開かれたとき以来、常に新しい啓示が必要とされてきまし  
たし、教会や個人の置かれたその時々<sup>の</sup>状態に合わせて与  
えられてきました。アダムへ与えられた啓示はノアに箱舟  
を作るように命じるものではありませんでした。ノアの啓  
示はロトにソドムを去ることを命じてはいません。またそ  
のいずれもイスラエルの子孫にエジプトからの脱出を命じ  
ませんでした。これらの預言者はすべて自分たちのために  
啓示を受けたのです。それはイザヤもエレミヤもエゼキエ  
ル、イエス、ペテロ、パウロ、ヨハネ、ジョセフも同じで  
した。わたしたちも同じはずです。さもなくば、わたした  
ちは挫折し、崩壊することでしょう。」(The Gospel  
Kingdom, G・ホーマー・ダラム選 [1943年], 34)

テラー大管長は何を言おうとしたのか生徒に聞く。生ける預言者に従うことの大切さについて教師が証する。

 「宣言」に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋、段落1 - 2。主は大管長が会員を間違った方向に導くことを決して許されない。(20 - 25分)

レッスンが始まる前に、教室の後ろから前へ通る道を作っておく。紙で飛び石を作って、道の途中にテープでとめておく。生徒に道と飛び石を見せる。この道で安全なのは飛び石の上だけだということを説明する。一人の生徒に目隠しをして、全員に聞く。

- 目隠しをしてこの道を歩くのは難しいことです。なぜですか。
- この道を人生にたとえると、目隠しは何を表していますか。(忘却の幕)
- 道を知っている人が案内してくれれば助かります。道案内はどんな助けになるでしょうか。
- 預言者は道案内にたとえられます。どこが似ているのでしょうか。
- 現代の預言者は頼りになる道案内です。このことを知るのなぜ大切なのでしょう。

道案内になる生徒を一人選ぶ。道案内は、目隠しをした生徒が道を歩くときに、言葉で指示を与える。以下の質問をする。

- 道案内にはどんな義務があるでしょうか。
- 正確な指示を与えることはなぜ大切でしょうか。
- 預言者はわたしたちに対する責任についてどのように感じていると思いますか。

公式の宣言一の最後から、ロレンゾ・スノー大管長の言葉を生徒が読む。以下の質問について話し合う。

- 1890年の教会の道案内はだれでしたか。
- その道案内はどんな鍵<sup>かぎ</sup>を持っていたでしょうか。
- この鍵を使う権利を持っていた人はほかにいましたか。(だれもいない。神権のすべての鍵<sup>かぎ</sup>を使う権利を持つ人は、いつの時代にも地上に一人だけである。)

「宣言」に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋(公式の宣言一の後にある)の最初の2段落を読む。以下の質問について話し合う。

- もし大管長が邪悪な人だったら教会はどうなるでしょうか(エレミヤ23:32参照)。
- そのようなことは起こるはずがありません。なぜでしょうか。
- 主は預言者をどのようにしてその地位から取り除かれるでしょうか。
- 預言者が教会を導く方法は一つしかありません。それはどんな方法でしょうか。(神の靈感による。)

三つの説教の抜粋から、残りの段落に目を通す。主はウッドラフ大管長にどんなことを明らかにされたか、もしウッドラフ大管長が主の靈感に従っていなかったら、どんなことになっていたかを話し合う。「感謝を神に捧げん」(『賛美歌』, 11番)を歌う。歌詞を読んでもよい。生ける預言者の言葉に従ったおかげで難を免れた経験を生徒が発表する。

「宣言」に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋、段落3 - 9。神の戒めを守ることが敵が妨げるとき、主はわたしたちの努力を認めて、生ける預言者を通してその戒めを解かれることがある。(20 - 25分)

主が戒めを取り消された例を挙げるように生徒に言う。(福音は最初、異邦人には伝えられず、後に伝えられた [マタイ10:5-6; マルコ16:15参照]。モーセの時代には神権はレビの子孫に与えられた。現在、神権はふさわしいすべての男性に与えられる [公式の宣言二参照]。) 黒板に以下の聖句を書いて、その意味について話し合う。「主なるわたしは、わたしがよいと思うままに命じ、また取り消す。」(教義と聖約56:4)

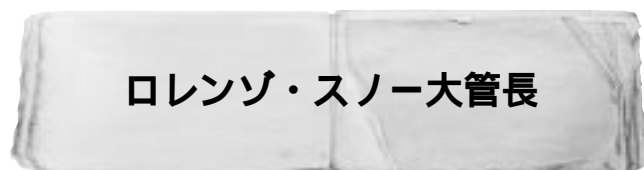
教義と聖約124:49-50を読む。そして、教義と聖約56:3-4と比較する。「宣言」に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋(公式の宣言一の後にある)を開いて第3段落を調べる。この抜粋と教義と聖約56章と124章にはどんな共通点があるか、生徒に聞く。末日聖徒に問いかけるように主がウッドラフ大管長に命じられた質問を、生徒が自分の言葉で書く。以下の質問について話し合う。

- 主がウッドラフ大管長に命じた質問に対する聖徒たちの答えは、どんなものだったでしょうか。
- ウッドラフ大管長がこの啓示を受けていなかったら、どんなことが起こっていたでしょうか。

最後の段落の中で主が「命じられた」あるいは「定められた」3つの事柄を挙げる。



回復された福音の種は1830年代に蒔かれ、その後の70年間でニューヨーク、オハイオ、ミズーリ、イリノイの各州で根を伸ばし、最後にロッキー山脈地方に根を下ろした。ある意味で、教会は19世紀末を迎えるまで花を咲かせることはなかったとも言える。ロレンゾ・スノー大管長、ジョセフ・F・スミス大管長、ヒーバー・J・グラント大管長、ジョージ・アルバート・スミス大管長、デビッド・O・マッケイ大管長の靈感あふれる指導の下で、教会は1970年までに280万人の会員と500のステークを持つまでに成長した。その成長は、花が開くように、ゆっくりと<sup>あらし</sup>はいたが着実だった。この時期に、教会は迫害と誤解という嵐に耐えた。この嵐は、一般大衆の公正な判断と物質的・霊的繁栄という日の光によって次第に薄れていった。



## ロレンゾ・スノー大管長

### はじめに

「ロレンゾ・スノーの生涯を特徴づけるものは、その霊性である。スノー大管長はまた、神と人の本質について教え、<sup>しゅうぶん</sup> 什分の一の重要性を説き、世界に対する教会の使命を強調した。ロレンゾ・スノーは大管長になったとき、十二使徒定員会に次のように語ったが、まさにそのとおりであった。『わたしはこの時代をロレンゾ・スノーが治めた時代だとは言われたくない。ロレンゾ・スノーを通して神が治めた時代だと言われたい。』（オーソン・F・ホイットニー、"Lives of Our Leaders - The Apostles - Lorenzo Snow," *Juvenile Instructor*, 1900年1月号, 3で引用）」(『神の王国を出で行かせたまえ』, 75参照)

### 学び取るべき福音の重要な原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に、本項で割り当てられた聖文と歴史に関する読み物を祈りの気持ちで研究し、また以下の原則について深く考える。

- 什分の一は教会全体と什分の一を納める人に祝福をもたらす

(『生徒用学習ガイド』「ロレンゾ・スノー大管長」, 190 - 191, 段落1 - 3, 11参照。マラキ3 : 10 ; 教義と聖約64 : 23 ; 119 : 4も参照)

- 天の御父はわたしたちの霊の父である。わたしたちは御父のようになる可能性を持っている(『生徒用学習ガイド』「ロレンゾ・スノー大管長」, 190 - 191, 段落6 - 10参照)
- ロレンゾ・スノー大管長は神の預言者であり、イエス・キリストをその目で見た証人だった(『生徒用学習ガイド』「ロレンゾ・スノー大管長」, 191, 段落12 - 17参照)

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』, 451 - 464。

### 教え方の提案

注意：割り当てられた聖文と歴史に関する読み物について教える準備をするときに、以下の提案の中から適切なものを選ぶ。教師が考えたアイデアを用いてもよい。

『生徒用学習ガイド』「ロレンゾ・スノー大管長」, 190 - 191, 段落1 - 3, 11。什分の一は教会全体と什分の一を納める人に祝福をもたらす。(45 - 50分)

以下の質問をする。

- 物質面では教会は何を必要としていますか。(答えとして以下の事柄が考えられる。神殿、礼拝堂、その他の建物。貧しい者を助けるための基金と物資。聖典、手引き、その他の印刷物。)
- これらの必要なものを手に入れるために、主は教会にお金をくださるでしょうか。
- 主は御自分で必要な資金を与えることをされずに、わたしたちに什分の一を納めさせておられます。なぜだと思いますか。

什分の一を納めるとどんな祝福があるか聞く。マラキ3 : 10を読んで話し合う。ゴードン・B・ヒンクレイ大管長が副管長を務めていたときに語った以下の話を分かち合う。

「主はわたしたちの物欲を満たすのではなく、わたしたちの必要に応じて天の窓を開けてくださるのです。金持ちになるために什分の一を納めているというのであれば、動機からして間違っています。什分の一の基本的な目的は、主の御業を推し進めるために必要な資金を教会にささげるという点にあります。」(「什分の一の律法に従う」『聖徒の道』1982年7月号, 74)

『生徒用学習ガイド』「ロレンゾ・スノー大管長」の段落1 - 3, 11 (190 - 191ページ) を生徒が調べる。以下の質問をする。

- 多くの教会員がこの時期に什分の一を納めなくなったのはなぜでしょうか。
- 当時の教会は、負債を抱えていたためにどんな問題に直面していましたか。
- 主はスノー大管長に解決方法を啓示されました。このことが

ら、主がわたしたちを心にかけておられることが分かります。主はわたしたちに何を望んでおられるのでしょうか。

- 什分の一の納入が増えたおかげで、その後教会は使命を果たせるようになりました。なぜだと思いますか。

ブリガム・ヤング大管長が語った以下の言葉を紹介する。「わたしたちは自分から納めたいと望んでいない人に什分の一を納めるように求めません。しかし自分は什分の一を納めていると公言するからには、正直に納めなければなりません。」(Discourses of Brigham Young, ジョン・A・ウイツォー選〔1941年〕, 177)

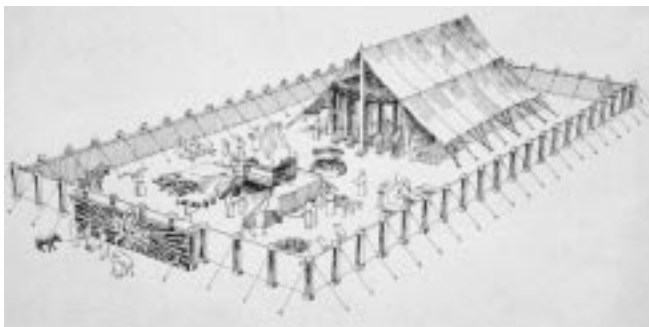
次のように質問する。「もし什分の一としていくら納めたらいいか分からなければ、どうしたらいいでしょうか。」以下の大管長会の声明を読む。

「最もよく知れ渡っている簡潔な宣言は、主御自身の言葉、すなわち教会員は『毎年彼らの得る全利益 これは収入と理解されます 什分の一』を納めるべきであるということです。これ以外の声明は正しいとはされません。」(大管長会からの手紙, 1970年3月19日付)

什分の一についてほかに質問があれば、監督に質問すればよい、と生徒に言う。

ロレンゾ・スノー大管長が語った以下の言葉を読む。「什分の一は、かつて人に示された律法の中で、最も大切なものの一つである。」(レロイ・C・スノー, “The Lord’s Way out of Bondage,” Improvement Era, 1938年7月号, 442) 什分の一の律法について、教師が証する。

『生徒用学習ガイド』『ロレンゾ・スノー大管長』, 000, 段落 12 - 17。ロレンゾ・スノー大管長は神の預言者であり、イエス・キリストをその目で見た証人だった。(30 - 35分)



生徒にこれらの絵や写真を見せる(拡大版は付録, 297 - 298ページに挿入されている)。これらは以下のものを表している。

- イスラエルの子らが建てた幕屋(出エジプト33:11参照)
- 聖なる森(ジョセフ・スミス 歴史1:17参照)
- カートランド神殿の教壇(教義と聖約110:2-4参照)
- オハイオ州ハイラムのジョン・ジョンソンの家(教義と聖約76:22-23参照)

これらの場所に共通する事柄を想像できるかどうか生徒に聞く。上の括弧内の聖句を生徒が読む。そして、それぞれの場所で起きたことを調べる。



左の絵を見せる(298ページ)。救い主はこの聖なる場所にも現れたことを説明する。『生徒用学習ガイド』『ロレンゾ・スノー大管長』の段落13-17(191ページ)を読む。以下の質問をする。

- この人たちが皆イエスを見たことを知って、どう感じましたか。
- この人たちには救い主を見る特権が与えられました。なぜだと思いますか。
- このような示現を受けるために、スノー大管長は準備をしていました。どんな準備をしていたかを示す記述が、生徒用学習ガイドにあります。見つけられますか。

スノー大管長の生涯(生徒用学習ガイド参照)から幾つかの出来事を話し、スノー大管長が示した義の模範について証する。教義と聖約88:67-68; 93:1を読む。主がすべての忠実な聖徒に約束しておられることは何か生徒に聞く。

2000年1月1日、大管長会と十二使徒定員会はイエス・キリストに対する証を宣言したことを説明する。『生徒用学習ガイド』の「生けるキリスト 使徒たちの証」(232-233ページ)を開く。(注意:教義と聖約および教会歴史コースの最後の週に「生けるキリスト」を扱う; 232-233ページ参照。)一人の生徒が「生けるキリスト」の段落13を声に出して読む。次の質問をする。「現代の使徒たちの証がわたしたちにとって価値があるのはなぜですか。」宣言の全文を黙読する時間を取る。以下の質問について話し合う。

- キリストに対する使徒たちの証の中で、いちばん感銘を受けたことは何ですか。

- 使徒たちの証を人生の指針とすることもできます。その場合、どんな指針となりますか。
- この証をほかの人々に伝えるには、どうしたらいいでしょうか。「生けるキリスト 使徒たちの証」をコピーして生徒に配布するとよい（本書の付録293ページに、ページ番号が印刷されていないものが挿入されている）。配布する場合は、家の中でよく目につく場所に張っておくよう勧める。



## はじめに

「4代にわたる大管長の副管長を務めたジョセフ・F・スミスは、1901年10月10日に死去したロレンゾ・スノーの後継者として聖任された。63回目の誕生日を迎える1か月前のことであった。ジョセフ・F・スミスは殉教者ハイラム・スミスの息子であり、ジョセフ・スミスのおいでである。彼の名前は叔父にちなんで命名されたものである。未亡人であった母親のメアリー・フィールディング・スミスは偉大な信仰を持った女性であった。模範と説得により息子に福音を教えた。」（『時満ちる時代の教会歴史』、467）

「ジョセフ・F・スミス大管長は、十二使徒定員会会員として、また4人の大管長の副管長として、さらに大管長として17年間、合計52年間にわたり教会の中央幹部を務めた。スミス大管長は雄弁にまた優しくそして確信をもって、回復されたイエス・キリストの福音を教え、『天の御父の意図しておられる目的に添って生活するよう』〔*Deseret News: Semi-Weekly*, 1893年2月6日付, 2〕人々を励ました。スミス大管長の教導の業は、イエス・キリストについて力強い証が特徴となっている。『わたしはわたし自身の心に御霊の証を受けました。わたしは神と天使と人々の前で……贖い主が生きておられることを知っている」と証します。』〔*Gospel Doctrine*, 第5版（1939年）, 447〕」（『歴代大管長の教え ジョセフ・F・スミス』、v）

## 学び取るべき福音の重要な原則

- 主は主の預言者となる人々を用意しておられる（『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」、192 - 193、段落1 - 8参照。アブラハム3：22 - 23も参照）。
- わたしたちは天の御父の子供であり、御父から愛されている。わたしたちはイエス・キリストの贖罪を通して、いつの日か御父の御前に戻ることができる（『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」、193 - 196、段落9 - 21、37参照。ローマ8：16 - 17；二コリファイ31：20 - 21も参照）。
- 両親は主に従い、罪を避け、福音の証を得るよう子供たちに教える責任がある（『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」、195、段落23 - 30参照。教義と聖約68：25 - 28も参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』、465 - 494。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」、192 - 193、段落1 - 8。主は主の預言者となる人々を用意しておられる。（15 - 20分）

以下の状況を想像させる。一つの状況を読むごとに間を置いて、この男性が何を感じ、行ったと思うか質問する。

- この男性が5歳のときに父親が殺されます。
- この男性が7歳のときに家族の世話をする責任のほとんどが自分の肩にかかってきます。
- 13歳のときに母親が亡くなります。
- 15歳で伝道に召され、新しい言語を学ばなければなりません。
- 21歳のときに2度目の伝道の召しを受けます。
- 27歳のときに使徒に聖任されます。

生徒に聞く。「以上の経験をした預言者はだれでしょうか。」（ジョセフ・F・スミス大管長）『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」の段落1 - 3（192 - 193ページ）を読む。ジョセフ・F・スミスがこれらの試練にどう立ち向かったかを見つける。以下の質問をする。

- このように困難なときにあっても、スミス大管長は常に強い証を持っていました。どんな出来事からそれが分かりますか。
- スミス大管長の模範から、何を学び取ることができますか。

段落4 - 8を読む。それから、次のように質問する。「スミス大管長は少年期から青年期にかけてこのような経験をしたおかげで後に立派に預言者の召しを果たすことができるようになりました。なぜでしょうか。」

ほかの預言者たちと同じく、ジョセフ・F・スミス大管長が預言者として予任されていたことを証する。また、神聖な召しのために少年期から青年期にかけての経験を通して訓練されたことを証する。以下の言葉を読む。ジョセフ・F・スミス大管長の息子、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように記した。

「わたしたちは前世にいたとき、いろいろな特性を伸ばし、自己の価値や能力を示したり、逆に弱さが現れたりしました。そしてわたしたちの進歩の様子は観察されていました。そこに教会の組織があったと信じるのは適切なことです。天の人々は、完全に組織された社会に住み、すべての人は自分の立場を知っていました。神権が人々に与えられ、管理する指導者が選ばれていたことは、疑問の余地がありません。前世にかかわるために従うように求められ、神の愛が満ちていました。当然のことながら、このような環境の中で、天の御父である神が最もふさわしい人を選び、各々の才能を評価されました。神はわたしたちに何ができておられただけでなく、わたしたちが試練に会い、責任を与えられたときに、どうするだろうかということも知っておられました。そして、わたしたちがこの世に住む時が来ると、すべてが整えられ、主の僕が選ばれて、それぞれの使命に聖任されたのです。」（*The Way to Perfection* [1979], 50 - 51。エレミヤ1：5；アブラハム3：22 - 23も参照）

エズラ・タフト・ベンソン大管長は十二使徒定員会会長を務め

ていたときに次のように語った。「歴代の大管長は、世界と教会が彼を必要とする時と状況のために特別に選ばれていました。」(The Teachings of Ezra Taft Benson [1988年], 142)

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」, 193 - 196, 段落9 - 21, 37。わたしたちは天の御父の子供であり、御父から愛されている。わたしたちはイエス・キリストの贖罪を通して、いつの日か御父の御前に戻ることができる。(15 - 20分)

以下の神に対する称号を一つずつ読み上げて、それが天の御父とイエス・キリストのどちらを指しているのが質問する。

- 救い主
- 御子
- 創造主
- 贖い主
- 御父

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」の段落9 - 15 (193 - 194ページ)を読む。天の御父とイエス・キリストは、御二方とも御父と呼ぶことができるが、それはなぜなのか話し合う。以下の質問をする。

- 福音に従う者の御父と呼ぶことのできるのはどなたでしょうか。(イエス・キリスト)それはなぜでしょうか。(贖罪のため)
- イエス・キリストを霊の御父として受け入れる者たちにはどんな祝福が与えられるでしょうか。
- わたしたちの霊の体をお造りになった御父はどなたでしょうか。(天の御父)

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「わたしたちは大いなる永遠の頭である御父を礼拝します。この御方の言葉によって人が造られたからです。それに加えて御子を礼拝することも理にかなっています。わたしたちは心から御子を敬い、畏れ、たたえています。それは、御子が贖いの犠牲を払ってくださったからであり、御子を通して不死不滅と永遠の命が得られるからです。御子は御父に代わって畏敬と誉れと敬意を受けるものではありません。御子はわたしたちが全霊をもってほめたたえ、栄光を帰するに値する御方なのです。」(The Promised Messiah: The First Coming of Christ [1978年], 506)

段落16 - 21を読む。それから、以下の質問をする。

- スミス大管長のこの言葉を読めば、科学は福音と相いれないのではないかと考えている人も、考えを変えるかもしれません。どのように変えるでしょうか。(注意：進化について議論を展開してはならない。スミス大管長が語った原則の範囲内で話し合う。)
- スミス大管長の言葉は、神を信じない人、神はわたしたち人間を愛していないと考える人の心を変えることができるかもしれません。どのように変えることができますか。
- どうすれば天の御父が確かにわたしたちの父だと知ることができるでしょうか。

天の御父と御子イエス・キリストが実在しておられることを証

する。段落37のスミス大管長の証を読む。「神の子です」(『賛美歌』, 189番)を生徒が歌う。

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」, 195, 段落23 - 35。両親は主に従い、罪を避け、福音の証を得るよう子供たちに教える責任がある。(10 - 15分)

家庭の夕べの中でどんなところが好きか生徒に聞く。以下の質問について話し合う。

- 家庭の夕べの中でいちばん楽しいことは何ですか。
- いちばん記憶に残っているのはどんな家庭の夕べですか。
- 家庭の夕べのおかげであなたの生活はどんなふうに変わったと思いますか。
- もしあなたの家族が現在、家庭の夕べを開いていないとしたら、あなたにはどんなことができるでしょうか。
- あなたは将来結婚して子供ができたなら、家庭の夕べでどんなことをしたいと思いますか。

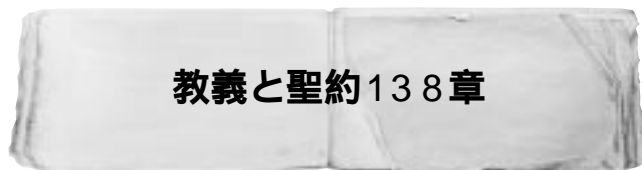
『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・F・スミス大管長」の段落23 - 26 (195ページ)を読む。以下の質問をする。

- スミス大管長は家庭の夕べを開いている人々にどんな約束を与えましたか。
- この約束の中で、あなたの家庭で実現したものはありますか。それはどの約束ですか。
- いちばん実現してほしいのは、どの約束ですか。
- 家庭の夕べは、わたしたち青少年が信仰を育てるうえでどんな役割を果たしていますか。
- 箴言22:6; アルマ37:35; 教義と聖約68:25 - 28を読んでください。これらの聖句では親の責任についてどんなふうに言っていますか。

段落27 - 35を生徒が読む。そして、この二つの話のうち、家庭の夕べのレッスンでどちらを使いたいか決める。以下の質問をする。

- その話はあなたの家族にとってどんな助けになるでしょうか。
- スミス大管長の模範の中で、どこに感銘を受けましたか。
- 生涯清くあり、信仰を守り通すことは大切なことです。なぜだと思いますか。

教師は自分の家族を愛していることを生徒に話す。家庭の夕べに毎週積極的に参加するよう生徒に勧める。



## 教義と聖約138章

### はじめに

138章はジョセフ・F・スミス大管長が1918年に受けた示現について記録したものである。この記録は霊界と死者の贖いについて多くのことを教えており、家族歴史と神殿の業の大切さを理解する助けになる。スミス大管長は次のように教えた。

「預言者ジョセフ・スミスは死者のための業を通常の命令以上の責任としてわたしたちに課しました。ジョセフは福音の知識なくして死んだ親類や先祖に心を向けるべきだと教えました。ですが

ら、死者のための業を怠ってはなりません。啓示されたこれらの神聖で力ある福音の儀式を行わなければなりません。福音を学ぶことのできない時代に生まれ、福音の知識のないまま亡くなった人々の幸福と救いと贖いにこれらの儀式が不可欠だからです。死者は今、これらの儀式を行うことのできる時代に生きているわたしたちつまり彼らの子孫が、獄からの解放に必要な業を行うのを待っています。死者のために払うわたしたちの努力によって、死者を縛っている鎖は断ち切れ、彼らを取り巻いている闇が一扫されます。そして、死者のうえに光が輝きます。霊界にいる死者は、地上にいる子孫が自分たちの儀式を執行したことを聞くことでしょう。そして、彼らは義務を果たした子孫とともに喜びの声を上げることでしょう。」(Conference Report, 1916年10月, 6)


## 学び取るべき福音の重要な原則

- 聖文を読み、深く考えることによって啓示を受ける心の準備をすることができる(教義と聖約138:1-10参照。1ニーファイ11:1; 教義と聖約76:15-19; ジョセフ・スミス 歴史1:12も参照)。
- 救い主はこの世で福音を聞く機会のなかった人々のために救いの道を備えられた。救い主は肉体が墓に横たえられていた3日間で、暗闇にいる者たちに福音を教えるために、義人の霊を組織された(教義と聖約138:1-10, 28-59参照。教義と聖約76:50-53, 71-75, 81-85も参照)。
- イエス・キリストは生者と死者の贖い主である(教義と聖約138章参照。ヨブ19:25; ヒラマン14:16-17も参照)。
- この世で義にかなった生活をした人たちは霊界では悪人から隔てられる。彼らは喜びを受け、栄光ある復活の望みを持つ(教義と聖約138:11-22参照)。
- 進歩して完全な喜びを受けるには復活体が必要である。死者は肉体がないことを一種の束縛と考えている(教義と聖約138:14-18, 49-50参照。教義と聖約45:17; 93:33-34も参照)。
- この世で忠実に主に仕える長老たちと多くの姉妹は、この世を去ると霊界で宣教師になる(教義と聖約138:39, 57参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 492 - 493。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 379 - 384。

## 教え方の提案

 教義と聖約138章。救い主はこの世で福音を聞く機会のなかった人々のために救いの道を備えられた。救い主は肉体が墓に横たえられていた3日間で、暗闇にいる者たちに福音を教えるために、義人の霊を組織された。(45-50分)

黒板に「儀式」と書く。儀式とは何か生徒に聞く(神聖な儀礼や祭式)。知っている儀式の名前を生徒が挙げる。教師はそれを黒板に書き出す。次のように質問する。「この中で救いに必要な儀式はどれですか。親戚の中で福音を聞く機会がないまま亡くなった人や、救いに必要な儀式を受けずに亡くなった人がいれば、生徒がその人の名前を挙げる。この人たちは神の王国に救われるのかどうか、生徒が意見を言う。以下の正誤問題を行う。

1. 義人も悪人もすべて死者の霊は幸福な状態で生活している。(誤。アルマ40:11-14; 教義と聖約138:15参照)
2. キリストは霊界において死者のための業を始められた。(正。教義と聖約138:29-30参照)
3. キリストの復活以前に、復活した人はいない。(正。1コリント15:22-23; モーサヤ15:20-21; 教義と聖約138:15-17参照)
4. イエスは死と復活の間に、霊界にいるあらゆる人々を訪れた。(誤。教義と聖約138:20, 29-30, 37参照)
5. 福音を聞くことなく死んだ人であっても、霊界で福音を受け入れると直ちに救われる。(誤。教義と聖約138:33-34, 54, 58-59参照)
6. この世で福音の教えを受けなかった人たちは霊界で自分の罪を悔い改める機会を与えられる。(正。教義と聖約138:32-33, 57-58参照)
7. この世で福音の儀式を受けなかった人々のために、神殿の儀式が行われる。(正。教義と聖約138:33, 54, 58参照)

答え合わせをする。その際、質問の後に記されている聖句を読む。生徒の答えについて話し合う。(注意: 聖典や近代の預言者の言葉から逸脱した話し合いを行ってはならない。主から明らかにされていないテーマについて憶測してはならない。)

**教義と聖約138章。イエス・キリストは生者と死者の贖い主である。(25-30分)**



生徒にビーハイブハウスの写真を見せる(拡大版は付録, 299ページに挿入されている)。この家はブリガム・ヤングが建てたもので、ロレンゾ・スノーとジョセフ・F・スミスも大管長時代にここに住んだことを説明する。スミス大管長はその生涯の最後の6か月間、ほとんどの時間をこのビーハイブハウスで過ごし、個人的な研究をした。スミス大管長が教義と聖約138章に記録されている示現を受けたのは、このビーハイブハウスにおいてであった。教義と聖約138:1-11, 60を生徒が読む。以下の質問をする。

- スミス大管長はこの啓示を受けるためにどんな準備をしたでしょうか。(思いをはせ、深く考え、聖文を読んでいた。)
- 1ニーファイ11:1; 教義と聖約76:15-19を読んでください。この二つの聖句に書かれていることと、スミス大管長が行ったことを比較してみましょう。どんな共通点がありますか。



- 主から指示を受けることについて、このことから何がわかりますか。
- スミス大管長は60節でこの示現を何と呼んでいますか。
- 贖いとはどんな意味だと思いますか。(「買い戻す行為または束縛から解放する行為」)

クラスを3つのグループに分ける。以下の3種類の人々の中から一つをそれぞれのグループに割り当てる。グループごとに参照聖句を読む。そして、キリストがその人々をどのように贖われるのかを見つける。参照聖句の中の、贖い、贖い主、贖われという語にすべてしるしをつける。

- 義人(教義と聖約138:11-19, 22-24, 49-52参照)
- 地上において真理を拒んだ悪人(教義と聖約138:20-22, 29-37, 58-59参照)
- 福音を知らずに死んだ人々(教義と聖約138:30-37, 58-59参照。教義と聖約137:7-9も参照)

何人かの生徒が、見つけた事柄を発表する。2ニーファイ2:6-9; ヒラマン14:16-17を読む。そして、主が贖いの力を持っておられることを教師が証する。

**教義と聖約138:14-18, 49-50。進歩して完全な喜びを受けるには復活体が必要である。死者は肉体がないことを一種の束縛と考えている。(15-20分)**

一人の生徒が以下の言葉を読む。大管長と十二使徒定員会は次のように記した。

「前世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。」(「家族 世界への宣言」『聖徒の道』1998年10月号, 24)

十二使徒定員会会員であるラッセル・M・ネルソン長老はこのように述べた。

「人生は誕生によって始まるのでも、死によって終わるのでもありません。誕生に先立ち、わたしたちは霊の子として天の御父とともに住んでいました。そこでわたしたちは、地球に行き、肉体を得る日を待ち焦がれていました。選択の自由を行使し、選択の結果に責任を持つという危険な運命を承知していました。」(「死の扉」『聖徒の道』1992年7月号, 77参照)

以下の質問について話し合う。

- 人生の目的の一つが天の御父とともに永遠に住むことだとしたら、わたしたちはなぜ、前世を離れて地上に来たいと強く願ったのでしょうか。
- 死すべき体を得ることはなぜ祝福なのでしょうか。

教義と聖約45:17; 138:14-18, 49-50を生徒が読む。それから、死が一つの束縛であると考えられる理由を挙げる。1コリ

ント15:22-23; 2ニーファイ9:8-10; 教義と聖約88:15; 93:33-34を研究して、復活について何が教えられているか調べる。

**教義と聖約138:18-57。この世で忠実に主に仕える長老たちと多くの姉妹は、この世を去ると霊界で宣教師になる。(20-25分)**

忠実な末日聖徒だった人の葬儀に出席したことがあるかどうか生徒に聞く。以下の質問について話し合う。

- あなたは亡くなった方の家族にどんな言葉をかけることができるでしょうか。
- 死はなぜ大きな悲しみを与えるのでしょうか。
- どんな意味で、死は一つの祝福であると考えられるのでしょうか。
- 伝道中に亡くなった宣教師はどうなるとおもいますか。
- 霊界での伝道活動はどのように行われているとおもいますか。

クラスを二つのグループに分ける。一つのグループは、霊界で教えられる事柄(教義と聖約138:19, 33-35, 51-52参照)と現世の教会で教えられる事柄(マタイ28:18-20; 3ニーファイ27:13-21参照)を比較する。

もう一つのグループは、霊界で福音が宣べ伝えられる方法(教義と聖約138:18-21, 30-32, 37, 57参照)と現世で福音が宣べ伝えられる方法(ルカ9:1-2; アルマ12:28-34; 教義と聖約42:5-8; 61:33-36参照)を比較する。

各グループは調べた事柄を発表する。



ヒーバー・J・グラント大管長

## はじめに

「ヒーバー・J・グラント大管長は、最後までやり通すことこそ成功の秘訣であることを小さいうちから学び、まさにこの信念に基づいて生涯を全うした模範とすべき人物である。……彼は持ち前の根気強さで若くして事業に成功した。さらにその根気強さのおかげで、26才で十二使徒定員会会員に召されたときには、その責任を果たす備えができていた。……1918年、第一次世界大戦が終結したわずか12日後に大管長に召され、世界恐慌、第二次世界大戦と苦難の時代に教会を導き、1945年にヨーロッパでの戦争が終結した6日後に世を去った。この動乱の最中、グラント大管長は伝道プログラムの強化に努めた。また、3つの神殿を奉獻し、1930年には教会設立100年祭を催した。さらに、什分の一の律法や知恵の言葉、勤勉と儉約などの原則を力強く聖徒たちに説いた。」(『神の王国を出で行かせたまえ』, 95参照)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- 神の預言者は啓示によって召される(『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 198-199, 段落1-4参照。信仰箇条1:5も参照)。

- 教会の福祉プログラムは会員が自立するよう助ける。このプログラムは与える者と受ける者双方に祝福をもたらす（『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 199, 段落5-7参照）。
- ギャンブルはどのようなものであれ罪悪である（『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 200, 段落12参照）。
- 国家は戦争を避けるべきである。教会員は司令官の命令に従って敵の命を奪うことがあっても、それは殺人の罪とはならない。たとえ戦争中であっても、ほかの人々を憎んではならない（『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 200, 段落13-22参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 宗教341-343』, 495-533。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 198-199, 段落1-4。神の預言者は啓示によって召される。（10-15分）

以下の質問について話し合う。

- 預言者を選ぶのはだれですか。（主）
- 預言者の生涯のどの時期に、主はその人をいずれは預言者に召すとお決めになるとお思いますか。（エレミヤ1:5；教義と聖約38:2参照）
- 主は預言者をどんな方法で訓練されるとお思いますか。

『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」の段落1（198ページ）を生徒が読む。そして、グラント大管長が預言者として仕えるためにどのように訓練されたか調べる。段落2-4を読む。その中から、グラント大管長が若いころに受けた、主に仕えるための訓練を幾つか見つける。

一人の生徒が信仰箇条第5条を暗唱する。グラント大管長は生徒に召されてから数か月間、自分は召しにふさわしくないと感じて悩んでいたことを説明する。ナバホインディアン保留地に行く途中、一人で瞑想しているときに、ついに召しに関する示現を受けた。グラント大管長のこの経験を紹介する。

「わたしは天の評議会を見たようでした。話し声が聞こえたように思います。話し合いの内容に大いに興味をそそられ、耳をそばだてました。大管長会と十二使徒評議会は、十二使徒定員会の欠員を満たす二人をだれにするか決めかねていました。2年前に一人が欠け、1年前にさらにもう一人が欠けて欠員が二人になっていたのですが、それが埋まらないまま、大会は先延ばしになっていたのです。その評議会には救い主も出席しておられました。わたしの父〔大管長会の一員を務めたジュデダイア・M・グラント副管長〕と預言者ジョセフ・スミスもいました。彼らはこの問題について話し合いました。二人の欠員をそのまま放っておいたことは誤りであるが、その欠員を埋めるにはどう考えてもさらに6か月を要するだろうという意見が出ました。そして、だれをその任に就かせたらよいかについて意見が交わされました。結論は、欠員をそのままにしていたとい

う誤りを正すために、啓示を下すというものでした。預言者ジョセフ・スミスと父の提議で、わたしが召されることになりました。わたしはそこに腰を下ろし、喜びの涙を流しました。わたしを推薦する理由は、わたしがそのような高い地位にふさわしい事柄を行ったからというのではなく、ただ清く正しい生活を送ってきたからだということでした。……わたしが召されたのは預言者と父の働きかけによるものであって、わたし自身の行いやすばらしい働きによるものではなかったのです。また、預言者と父の務めは、わたしを推薦することであり、これ以後、わたしの人生を成功に導くか失敗に終わらせるかは、わたしの責任なのだということが分かりました。」（Conference Report, 1941年4月, 5）

教会を導く預言者は預言によって神から召されることを証する。<sup>あかし</sup>

『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 199, 段落5-7。教会の福祉プログラムは会員が自立するよう助ける。このプログラムは与える者と受ける者双方に祝福をもたらす。（15-20分）

一人の生徒が教室の前に出て来る。この生徒の足が骨折していると仮定する。生徒の足に包帯を巻くか添え木を当てる。以下の質問について話し合う。

- 医者は骨折した人になぜギプスや添え木を当てるのでしょうか。
- ギプスをしている間、患者の足の筋肉はどうなるのでしょうか。
- ギプスを取り外した後、その足は骨折していない足と比べるとどうなっているのでしょうか。（細く、弱くなっている。）
- その足を元どおりに強くするには何をしなければなりませんか。

「足を骨折した」生徒に松葉杖<sup>まつばづえ</sup>か杖を与える。全員に以下の質問をする。

- 足を骨折した人は、松葉杖<sup>まつばづえ</sup>や杖を何に使いますか。
- 医師は足を骨折した人に「どこかへ行くときには、必ずだれかに抱いて行ってもらいなさい」とは勧めません。なぜでしょうか。

ギプスを外した後、歩くのが痛い場合があることを指摘する。次のように質問する。「ギプスを外した後には歩こうとしなかったら、どうなるでしょうか。」

『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」の段落5（199ページ）を読む。そして、1930年代の世界情勢を把握する。以下の質問をする。

- 大恐慌のとき、人々はどれくらい苦労したでしょうか。
- 今日<sup>こんにち</sup>の経済難の原因は何でしょうか。
- 家族の力だけで経済難を克服するのが難しいのはなぜでしょうか。
- 困っている人々を助けるために、主はグラント大管長にどんなことを啓示されましたか。
- 大管長会は福祉プログラムにどんな目標を設定しましたか。
- 福祉プログラムは足を骨折した人が松葉杖<sup>まつばづえ</sup>を使ったり運動したりすることにたとえられます。どんなところが似ているでしょうか。

- 受けたものを返すために働くことが大切なのはなぜでしょうか。

段落6-7を生徒が読む。地元で聖徒たちが利用できる福祉サービスにはどんなものがあるか教師が紹介する。(地元で利用できる福祉サービスを確認するために、前もって神権指導者に尋ねておくといよい。)これらのサービスは援助を必要とする人々にどんな恵みをもたらすか話し合う。

『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 200, 段落12。ギャンブルはどのようなものであれ罪悪である。(10-15分)

次のように質問する。「教会はギャンブルについてどのように教えていますか。」「『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」の段落12(200ページ)を生徒が読む。以下の質問をする。

- 教会はなぜ「ギャンブルに絶対反対」していると思いますか。
- 「何もしないで何かを得る」姿勢は福音の教えに反します。なぜでしょうか(創世3:19; 教義と聖約130:20-21参照)。
- ギャンブルに対する教会の姿勢を支持していることを表すために、あなたにできることは何ですか。

以下の聖句を読む。そして、このテーマについて分かったことを生徒が発表する。マタイ6:33; 1テモテ6:9-10; 2ニーファイ9:28, 30; モルモン書ヤコブ2:17-19; 教義と聖約117:4。

『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」, 200, 段落13-22。国家は戦争を避けるべきである。教会員は司令官の命令に従って敵の命を奪うことがあっても、それは殺人の罪とはならない。たとえ戦争中であっても、ほかの人々を憎んではない。(10-15分)

後に大管長となったスペンサー・W・キンボールが語った以下の出来事を読む。

「〔第一次〕世界大戦中のあるクリスマスのことだった。前線をはさんだ非占領地帯には雪が積もっていた。ある『銃声のない地域』に駐留していた中隊が、敵国の兵士たちとざんごう越しにメリー・クリスマスのあいさつを交わし始めた。ぎこちなくペンキで描いたプラカードを使ってである。数分後に、ドイツ語を話す兵士と英語を話す兵士たちは銃を持たずにざんごうをよじ登って這い出し、中立地帯まで行くと、まるで戦争など忘れたかのように握手を交わし、記念品を交換し始めた。交戦中にもかかわらずこの兵士たちには恨みもなければ、卑劣な行為も憎しみもなかった。このクリスマスの日に彼らは敵ではなく、友だった。一瞬ではあったが、聖なる忘却が彼らを流血の戦いに駆り立てた〔指導者のことを〕記憶から消し去ったのだった。』(The Teachings of Spencer W. Kimball〔1982年〕, 419)

以下の質問をする。

- この出来事から、世界中の人々が持つ人間性について分かることは何ですか。
- 第一次世界大戦中のこのざんごうでは、クリスマスが終わった翌日から、どんなことが起きたと思いますか。

- 親戚しんせきの中で、戦争に行ったことのある人はいますか。その人は戦時中の体験についてどんな話をしていましたか。

- 戦争に対する教会の見解について、何か質問がありますか。

教会員が戦争に関して難しい質問をされたときにうまく対処できるように、大管長会は1942年に声明を発表したことを説明する。『生徒用学習ガイド』「ヒーバー・J・グラント大管長」の段落13-22(200ページ)を読む。以下の質問をする。

- この声明はどんな疑問に答えているでしょうか。
- この声明から、どんな慰めが得られますか。

この声明について話し合い、アルマ48:7-15; 教義と聖約98:33-38と比較する。



ジョージ・アルバート・スミス大管長

## はじめに

十二使徒定員会会員を務めたマシュー・カウリー長老はこのように述べた。

「ジョージ・アルバート・スミス大管長は一つの信念を持っていました。彼を知るわたしたちにとって、その信念を書いたものを見る必要はありません。なぜなら、大管長の人生そのものがその信念を映し出していたからです。……

〔スミス大管長はこう書き記しています。〕『わたしは友なき人の友となり、貧しい人のために働くことに喜びを見いだそう。』

『わたしは病人や悩む人を見舞い、彼らの心に癒されるという信仰を呼び起こそう。』

『わたしは分別ある人に真理を教え、すべての人に祝福をもたらそう。』

『わたしは誤った生き方をしている人を探し求め、義と幸福の人生へ連れ帰ろう。』

『わたしは人に自分の理想を強要せず、愛をもって正しい行動へ導こう。わたしは民衆とともに生き、彼らが問題を解決して幸福な人生を送れるように助けよう。』

『わたしは高い地位を利用した宣伝を避け、思慮浅い友人の褒め言葉を意に介すまい。』

『わたしは知りつつ人の気持ちを傷つけることはしない。たとえ自分に悪い仕打ちをした人でも。そのような人にはかえって善いことをし、友だちになろうと努めよう。』

『わたしは利己心とねたみの心に打ち勝ち、天の御父のすべての子供たちの成功を喜ぼう。』

『わたしは命ある者の敵になるまい。』

『人類の救い主がわたしたちを進歩させ、この世でも来る世でも幸福になるための唯一の計画を世に与えたもうたことを知るとき、わたしはこの真理を広めることを、単なる義務ではなく恵まれた特権と感じる。』(Conference Report, 1951年4月, 167-168)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- わたしたちは福音の原則に従うことによって家族に誉れをもたらすことができる（『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」、202、段落1 - 4参照）。
- 援助を必要としている人々に物資と時間をささげる者は大いなる祝福を受ける（『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」、202 - 203、段落5 - 17参照。モーサヤ4：22 - 24も参照）。
- 神の戒めは愛にあふれる御父からの教えである。わたしたちは御父に従うときに、いっそう御父に近づき、幸福になり、誘惑を退けることができるようになる（『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」、203 - 204、段落18 - 23参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、535 - 549。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」、202、段落1 - 4。わたしたちは福音の原則に従うことによって家族に誉れをもたらすことができる。（20 - 25分）

自分の姓名を生徒が言う。以下の質問について話し合う。

- 両親はどんなふうにしてあなたの名前をつけたのですか。
- だれかの名前を取って名付けられたのであれば、それはだれの名前ですか。
- 名字はあなたにとってどれくらい大切ですか。それはなぜですか。
- 自分の名字に誉れをもたらすためにどんなことができますか。

『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」の段落1 - 4（202ページ）を読む。以下の情報を探す。スミス大管長はだれの名にちなんで名付けられたか。自分の名についてどのように感じていたか。家族の名に誉れをもたらすためにどんなことを行ったか。次のように質問する。「スミス大管長の模範から、どんなことを学べるでしょうか。」段落18 - 25を読む。以下の質問をする。

- この中で、あなたが家族の名に最も大きな誉れをもたらすのに役立つ教えはどれだと思えますか。
- わたしたちはほかにどんな「家族の名」を持っているでしょうか（モーサヤ5：8；教義と聖約18：21 - 25参照）。
- 地上での名を尊ぶことによって、主とわたしたちの永遠の家族の名に誉れをもたらすことができます。なぜでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」、202 - 203、段落5 - 17。援助を必要としている人々に物資と時間をささげる者は大いなる祝福を受ける。（20 - 25分）

自分が行った奉仕または受けた奉仕について生徒が話す。以下の質問をする。

- その奉仕の行いは、奉仕を受けた人にどんな祝福をもたらしましたか。
- 主はわたしたちに、日常的に奉仕することを求めておられま

す。なぜだと思いますか。

- モーサヤ2：17を読んでください。この聖句によれば、隣人に奉仕する人は、隣人にだけでなくある御方に対しても奉仕をしていることとなります。それはどなたでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」の段落5 - 17（202 - 203ページ）を生徒が黙読する。1945年から1951年に教会が実施した支援の中で、世界の人々に感動を与えた支援は何だったか、また教会はどんな理由でそのような支援を行ったかを生徒が発表する。以下の質問をする。

- 教会は現在、世界でどんな奉仕活動をしていると思えますか。
- 人々に祝福をもたらすための奉仕活動で、あなたの家族、定員会または若い女性のクラスが参加できるものには何がありますか。
- 友だちやクラスの仲間を元気づけ、力づける小さな奉仕の中で、毎日できることは何でしょうか。

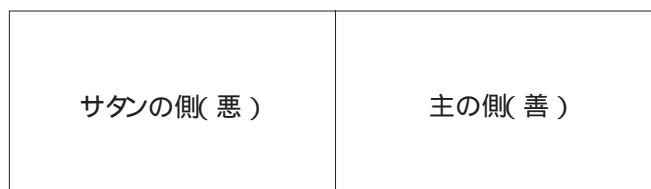
これからの1週間にできる奉仕を考える。奉仕をするよう生徒を励ます。さらに奉仕をした経験を日記につけるよう勧める。ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を読む。

「わたしたちが携わっているのは犠牲の働きであることを忘れないでください。その働きを推し進めるにはわたしたち自身をささげる必要があります。また富を差し出すことも求められません。御父は御子を差し出され、御子は御自分の命を差し出されました。与え、与え、与え続けなければ真の礼拝を行うことはできません。わたしはそう信じています。」（Messages of Inspiration from President Hinckley, Church News, 1998年9月5日付, 2）

「主の恵み、人にも分かたん」（『賛美歌』、138番）を歌い、奉仕について教師が証する。

『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」、203 - 204、段落18 - 23。神の戒めは愛にあふれる御父からの教えである。わたしたちは御父に従うときに、いっそう御父に近づき、幸福になり、誘惑を退けることができるようになる。（15 - 20分）

黒板に以下の二つの図を描く。



次のように質問する。「神の戒めの本質を表しているのはどちらの図ですか。それはなぜですか。」『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」の段落20 - 22（203 - 204ページ）

ジ)を生徒が読む。そして、この概念についてスミス大管長が教えたことを見つける。わたしたちは善でも悪でもない判断を数多く下していることを説明する(家に何色のペンキを塗るか、朝食で何を食べるか、など)。しかし、主の戒めとなると、主の領域とサタンの領域の間に1本の境界線しかない。2ニーファイ28:21-23;モロナイ7:16-17を読む。そして、どこに境界線があるかについて話し合う。

十二使徒定員会会員であるジョセフ・B・ワースリン長老の以下の話を読む。

「簡潔に言えばこうです。わたしたちを神に近づけないものは、いかなるものであれ、わたしたちを神から遠ざけているのです。その中間はありません。靈性を落とすことなく犯せる小さな罪といった、中途半端あかしなものは存在しません。だからこそわたしたちは、自分の証けんそんのかがり火が罪によって消されることのないように、悔い改め、毎日謙遜な祈りを通してキリストのもとへ行かなければならないのです。」(「証という靈のかがり火」『聖徒の道』1993年1月号,42)

『生徒用学習ガイド』「ジョージ・アルバート・スミス大管長」の段落18-19,23を生徒が読む。スミス大管長のこれらの教えから、戒めについてほかにどんなことを学べるか話し合う。以下の質問をする。

- 神はわたしたちを愛しておられるからこそ戒めを与られました。なぜでしょうか。
- 神の戒めに従うことによってどんな祝福を受けてきましたか。
- ほかに人にも神の戒めを守るよう勧めますか。なぜ勧めますか。
- モーサヤ2:41を読んでください。この聖句とスミス大管長の教えで共通する点はどこですか。
- 戒めを守れば幸福になれるのにもかかわらず、非常に多くの人々が主に従わないという選択をしています。なぜだと思えますか。

「ジョージ・アルバート・スミス大管長」の『はじめに』(246ページ)から、スミス大管長の信条を生徒に読み聞かせる。神の戒めを守ることに関する自分の信条を生徒が書く。

# 世界に広がる教会

## デビッド・O・マッケイ大管長

### はじめに

ある伝記作家は1966年に次のように記している。

「この神権時代においてデビッド・O・マッケイ大管長ほど末日聖徒イエス・キリスト教会の成長と発展に大きな影響を与えた人はほとんどいない。

1951年に大管長に召されてから、マッケイ大管長は地上における神の王国の目覚ましい成長を先頭に立って推し進めてきた。マッケイ大管長の指示の下で伝道活動が活発になったため、会員数は2倍以上に増えている。ワード、ステーク、支部、伝道部の数も急速な増加を見た。また、数千の新しい礼拝堂と5つの新しい神殿が建設された。ホームティーチングと家庭の夕べという二つのすばらしいプログラムが設けられ、教会のユニットがあるすべての地域で神権コーディネーションプログラムが教えられた。

マッケイ大管長は94歳を迎えてもなお、教会員の成長と進歩にかかわっている。教会と世界がこれから背負うことになる責任とチャレンジを見越し、そのときのために会員たちを備えようと心を砕いている。……大管長はなぜ勧告するのだろう。何に関心を寄せ、強く望んでいるのだろう。教会が発展し続けることである。そのためには、教会の全会員が着実に証を育ててゆく必要があると大管長は考えている。」(ジネット・マッケイ・モレル, *Highlights in the Life of President David O. McKay* [1966年], ix)

### 学び取るべき福音の重要な原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に、本項で割り当てられた聖文と歴史に関する読み物を祈りの気持ちで研究し、また以下の原則について深く考える。

- 主は御自分が召された者を通して教会を導かれる。その者たちは主から訓練を受ける(『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 206, 段落1-2参照)。
- 教会のプログラム、方針、教材は互いに補い合い、うまく機能するように調整してある。それは福音を効果的に教え、実施するためである(『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 207, 段落10-11参照)。
- わたしたちの最も大切な責任は家庭にある。家庭の中に真の平安、幸福、愛を見いだすことができる(『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 207-208, 段落12-13, 15-16, 19-23参照)。
- 福音の目的の一つは悪人を善人に、善人をさらに良い人にするることである(『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 208, 段落25参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 550 - 565。

### 教え方の提案

注意：割り当てられた聖文と歴史に関する読み物について教える準備をするときに、以下の提案の中から適したものを選ぶか、自分自身が考えたアイデアを用いる。

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 206, 段落1-2。主は御自分が召された者を通して教会を導かれる。その者たちは主から訓練を受ける。(10-15分)

以下の質問をする。

- これまでの人生で、将来親になるための訓練になったと思うことは何ですか。また、どんな経験が親になるための準備になると思えますか。
- 日々の生活で経験することが、教会の召しを果たすための準備となることもあります。例として、どんな事柄が挙げられますか。

主は主の教会を導くように召される者たちを備えておられることについて証を述べる。『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」の段落1-2(206ページ)を読む。そして、マッケイ大管長は預言者となるために主からどんな訓練を受けたか調べる。以下の質問をする。

- あなたが大管長に召されることはないかもしれませんが。それでも主はあなたの生き方に関心を持っておられると思いますか。それはなぜですか。
- 教会でどんな召しを受けるかということと、受けた召しをどう果たすかということとは、どちらが大切だと思いますか。それはなぜですか。

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」の最初の部分(205ページ)を読む。以下の質問をする。

- マッケイ大管長は戸口の上の石に刻まれた格言から何を学びましたか。
- 「あなたが何者であっても、本分を尽くしなさい」という格言はすべての教会員にとって指針となります。なぜでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 207, 段落10-11。教会のプログラム、方針、教材は互いに補い合い、うまく機能するように調整してある。それは福音を効果的に教え、実施するためである。(45-50分)

生徒を幾つかのグループに分ける(生徒の人数が多い場合でも、最大8グループまで)。各グループに違う材料を与える。各グループの生徒たちは塔を作る。(紙を与えるグループ、紙クリップを与えるグループ、ストローを与えるグループ、テープを与えるグループなど。)この活動の間、ほかのグループの生徒たちと話し合ってはならない。作る時間は5分間。その後作品を見せ合う。できるだけ高い塔を作るとしたら、手もとの材料をどのように組み合わせればよいか話し合う。以下の質問をする。

- これ以上高い塔を作る方法はありますか。それはどんな方法ですか。
- ほかのグループの人たちと話し合っていたら、もっと高い塔

ができていたはずですか。なぜでしょうか。

- 全グループが共同で計画したら、どんな塔が出来上がるでしょうか。
- 家族やチーム、その他の組織にとって、調整することが大切なのはなぜでしょうか。
- 教会では各組織間の調整を行うことによって教会の使命が達成しやすくなります。なぜでしょうか。

各グループが以下に挙げた教会の各部門の一つを担うこととする。割り当てられた部門の目的を書いた資料を渡す。その目的を達成する最良の方法を各グループの生徒が話し合う。

部 門	目 的
教科課程	全世界の教会員が使う福音教授用引きを作成する。
家族歴史	教会員が先祖を探求して、先祖のために神殿の儀式を執行できるよう助ける。
財 務	教会の全部門の財政を管理する。
情報システム	教会の全部門のコンピューター、ネットワーク、電話システムを維持管理する。
伝 道	世界中のあらゆる人にイエス・キリストの福音を宣べ伝える。
総合施設	礼拝堂、神殿、学校、その他の教会の建物を建設し、維持管理する。
神 権	神権、初等協会、扶助協会、日曜学校、若い男性、若い女性の各プログラムに指示を与える。
神 殿	生者と死者のために神殿の儀式が正しく執行されているかどうか確認する。

以下の質問について話し合う。

- あなたの部門はほかの部門を成功させるために何ができますか。
- 全部門が協力すれば、各部門の計画もうまく達成できることでしょうか。なぜでしょうか。
- 各部門が協力し合わなければ、教会はどうなるでしょうか。

神権コーディネーションの目的と教会の各部門が協力することの利点を生徒が理解できるよう助ける。話し合いを進めるために以下の読み物と聖文を活用する。『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」の段落10 - 11 (207ページ) ; ヨハネ17 : 21 - 23 ; 教義と聖約38 : 27 ; 84 : 109 - 110。

モーセ1 : 39を読む。それから、コーディネーションの目的は天の御父の子らを祝福し、助けることだということを説明する。ゴードン・B・ヒンクレイ大管長が副管長時代に語った以下の話を紹介する。

「結局のところ、わたしたちは『教会』ではなく、個人を念頭に置いて働きます。全世界に住む個人、つまりアルゼンチンで困っている少年、教育を受けたくても受けることのできないフィリピンの少女、成功を目指して苦闘している父親、責任に押しつぶされそうになっている母親のた

めに働くのです。これら一人一人が神の息子、娘であって、主が彼らについて『人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である』と言われたからです。すべての男性、すべての女性、すべての子供、神のすべての子らについて、主がこの言葉を言われたのです。これが目的です。コンピューターでもなく、建物でもなく、組織でもなく、わたしたちの心にあるのは人々、つまり神の息子と娘たちです。」( All-Church Coordinating Council meeting, 1991年1月31日, 29)

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 207 - 208, 段落12 - 13, 15 - 16, 19 - 23。わたしたちの最も大切な責任は家庭にある。家の中に真の平安、幸福、愛を見出すことができる。( 20 - 25分)

だれかの家を訪れたときのことを生徒が思い出す。以下の質問をする。

- そこが居心地よかったのはなぜですか。
- あなたを落ち着かない気持ちにさせるものが何かありましたか。
- キリストが「とどまり、休む」ことをお望みになるような家庭には、何があると思いますか。

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」の段落12 - 13, 15 - 16, 19 - 23 (207 - 208ページ) を生徒が読む。それから、印象に残った経験談や教えを見つける。愛にあふれた夫であり父親であったマッケイ大管長の模範から、何を学び取ることができるか話し合う。以下の質問について話し合う。

- 子供たちの母親である妻を愛していることを子供たちに示すために、父親には何ができるでしょうか。
- 子供たちの父親である夫を愛していることを子供たちに示すために、母親には何ができるでしょうか。
- 愛にあふれる両親のいる家庭では、子供たちが福音を受け入れて救いを得ることができます。なぜでしょうか。
- どんな環境に置かれているかにかかわらず、家庭を愛に満ちたところにするために、子供たちにできることがあります。それは何でしょうか。

家庭を愛と一致のあるところにするために、どんなことができるか考える。これからの1週間、考えたことを実行するよう生徒を励ます。

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」, 208, 段落25。福音の目的の一つは悪人を善人に、善人をさらに良い人にするのである。( 10 - 15分)

十二使徒定員会会員であるジェフリー・R・ホランド長老の以下の言葉を紹介する。

「わたしたちは皆神の性質を身に付けることを目指して努力しながら進むべきではありませんが、教会は完全な人々が集う修道院ではないということを理解していただきたいと思います。教会は少なくとも、ある意味においては、病

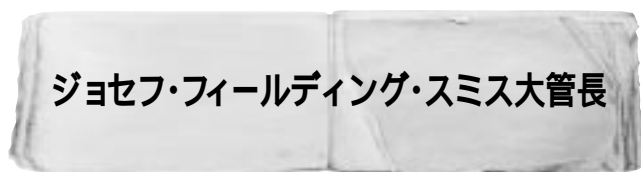
気を抱えながらも、それを治す意欲を持ち、登り続けるための霊的な栄養や支えとなる水を求める人々のための病院、あるいは応急手当をする場所とすることができます。」(「主は、飢えている者を良いもので飽かせなさいませ」『聖徒の道』1998年1月号、74参照)

以下の質問をする。

- ホランド長老は何を言おうとしているのだと思いますか。
- 教会はどんな点で病院のようなところなのでしょうか。
- この言葉は教会の中で悩み苦しんでいる人にとってどんな助けとなるのでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「デビッド・O・マッケイ大管長」の段落25(208ページ)を生徒が読む。そして、それを暗記する。次のように質問する。「マッケイ大管長とホランド長老の話は、どんなところが似ているでしょうか。」

神権指導者に頼んで、最近バプテスマを受けた会員たちにクラスに来て話をしよう依頼してもらおう。新会員たちは福音が人生をどう変えたか生徒に話す。この新会員たちに質問するよう生徒に勤める。



## はじめに

ポイド・K・パッカー長老は十二使徒定員会会員を務めていたときに次のような経験を語った。

「昨年4月の総大会を数週間後に控えたある金曜日の午後、わたしは週末に訪れる大会の割り当てについて考えながら事務所を出て5階から降りて来るエレベーターを待っていました。

エレベーターのドアが静かに開くと、そこにジョセフ・フィールディング・スミス大管長が立っておられました。わたしは一瞬驚きました。というのは、スミス大管長の事務所は下の階にあったからです。

そしてそこに立っておられる大管長を見てわたしはある強い証あかしを感じました。神の預言者が立っておられたのです。光のような、すなわち純粋な英知のような御霊の快い声が、この方は神の預言者であるとはっきりわたしに語ったのです。」(「みたまは証す」『聖徒の道』1972年1月号、9参照)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- イエス・キリストの福音には、この世の病を癒し、福音に従う者たちに日の栄えの王国を受け継ぐ備えをさせる力がある(『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210, 段落2-3, 6参照。出エジプト15:26; ヒラマン3:29-30; アルマ7:10-16も参照)。
- 福音に従うことを引き延ばしている者は永遠の命を得る機会を失う恐れがある(『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィー

ルディング・スミス大管長」, 210, 段落8参照。アルマ34:32-35; ヒラマン13:38も参照)。

- 神の王国において昇栄するには、福音に従い、神殿の儀式を受けなければならない(『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210, 段落9参照。教義と聖約131:1-3; 132:19-20も参照)。
- 「モルモン書を真剣に注意深く読んでいない教会員が、神の前でふさわしいと認められることはない。」(『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 211, 段落12参照。教義と聖約84:54-58も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 565 - 577。

## 教え方の提案

注意: 以下の教え方の提案は、必要であれば、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長、ハロルド・B・リー大管長、スペンサー・W・キンボール大管長の教えを1日で研究できる構成となっている。

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210-211, 段落8-12; 「ハロルド・B・リー大管長」, 213-214, 段落7-16; 「スペンサー・W・キンボール大管長」, 217, 段落15-25。生ける預言者の教えに忠実に従うならば、この世では悪から守られ、導きを受けることができる。また、来たるべき世の生活に備えることができる。(20-25分)

生徒に次のように言う。「大きな建物の中にいるときに、突然火災が発生したと仮定してください。」

- 避難するために何を探しますか。
- 非常口の案内は、どんな点で預言者に似ていますか。

教義と聖約21:4-6, 9を読む。預言者に従う者たちに与えられる祝福を挙げる。答えを黒板に書き出す。

クラスを3つのグループに分ける。各グループに生徒用学習ガイドから、以下の読み物を割り当てる。

- 「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210-211, 段落8-12
- 「ハロルド・B・リー大管長」, 213-214, 段落7-16
- 「スペンサー・W・キンボール大管長」, 217, 段落15-25

生徒はそれぞれ、いちばん強い印象を受けた話を選ぶ。その教えを生徒が絵で表す。あるいは、その教えに従うと悪から守られる理由を短い文にまとめる。どの教えを選んだか何人かの生徒が発表する。それを教えた預言者の名前と、その教えを選んだ理由あかしも発表する。教師は生ける預言者に従うことの大切さを証する。

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210, 段落2-3, 6。イエス・キリストの福音には、この世の病を癒し、福音に従う者たちに日の栄えの王国を受け継ぐ備えをさせる力がある。(20-25分)

世界史上、多大な被害を与えてきた病気を生徒が幾つか挙げる。生徒の答えを黒板に書き出す(現存する病気も含む)。治療法のあ**あかし**る病気はどれか話し合い、丸で困む。次に、非常に大きな害悪



をもたらす「霊的な病」を挙げる。それは黒板の別の列に書き出す。そこに挙げた霊の病気に治療法があるかどうか聞く。次のように質問する。「霊の病気の治療法は何でしょうか。」

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」の段落6(210ページ)を読む。そして、霊的な病の治療法を見つける。次のように質問する。「霊的な病の中で、治すことができるのはどんなものですか。」黒板に書いた霊的な病のすべてを丸で囲む。「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」の『はじめに』と段落2-3を読む。以下の質問をする。

- 十二使徒評議会の会員たちは、スミス大管長をどんな人だと言っていますか。
- スミス大管長が少年時代に行っていたことで、「まったく義になかった人」となるのに役立ったのはどんなことですか。
- スミス大管長は熱心に福音を研究したおかげで霊的な病を避けることができました。なぜだと思いますか。
- スミス大管長の模範から、わたしたちはどんな影響を受けることができますか。

アルマ7:11-16; モロナイ10:32-33<sup>あかし</sup>を読む。この世にある霊的な病を克服しなければならないことを証する。段落11-12を読む。以下の質問をする。

- モルモン書を研究することは、救われるためにどれくらい大切でしょうか。
- モルモン書は霊的な病を「癒す」うえでどんな助けとなるでしょうか。
- スミス大管長のこの教えを読んで、モルモン書をどんなふう<sup>い</sup>に研究しようと思いましたが。

モルモン書のマスター聖句表の中から、霊の病気を克服するための勧告が書いてある聖句を生徒が探す(279ページ参照)。何人かの生徒が、見つけた聖句を発表する。

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210, 段落8。福音に従うことを引き延ばしている者は永遠の命を得る機会を失う恐れがある。(10-15分)

黒板に次のように書く。「1か月後に提出しなければならない宿題があるとしたら、あなたは普通、いつからその宿題に取りかかりますか。」以下の質問をする。

- たいていの生徒がすぐに宿題に取りかからないのはなぜでしょうか。
- 「先延ばしにする」とはどんな意味でしょうか。
- ある人たちはなぜ霊的な準備をぐずぐずと引き延ばすのでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」の段落8(210ページ)を生徒が読む。以下の質問をする。

- 引き延ばすことはわたしたちから何を「盗む」でしょうか。
- 急いで福音に従わなくてもいいという誘惑にかられる人がいるのはなぜでしょうか。
- 救い主が語られた十人のおとめのたとえは、引き延ばすことについてどんなことを教えていますか(マタイ25:1-13; 教義と聖約45:56-57参照)。
- ジョセフ・スミス マタイ1:48を読んでください。この聖句によれば、福音に従って生活することを引き延ばしてはなら

ないのはなぜですか。

アルマ34:32-35; ヒラマン13:38を調べて、悔い改めを引き延ばすと個人の永遠の行く末にどんな影響が及ぶか話し合う。

『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」, 210, 段落9。神の王国において昇栄するには、福音に従い、神殿の儀式を受けなければならない。(15-20分)

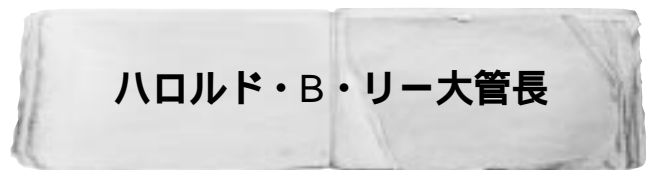
教室の前に並べたいすに生徒が座る。一人の生徒が父親、もう一人の生徒が母親、残りの生徒が子供の役をする。次のように質問する。「末日聖徒の家族は永遠の目標を持っているはずですが。それはどんな目標でしょうか。」(永遠と一緒に暮らすこと。)十二使徒定員会会員を務めていたときのエズラ・タフト・ベンソン長老について記した以下の言葉を一人の生徒が読む。

「[ベンソン長老は、福音の王国において]最も深刻な問題の一つは神殿結婚の比率が低いことであると[感じていました。]彼はこの問題を日記に書き留め、さらにジョセフ・フィールディング・スミス大管長への手紙の中で、この問題について詳しく書き記しました。

ベンソン長老にとって神殿結婚はこの上なく大切なものでした。彼と[妻の]フローラが親として立てた目標の一つは、子供たち全員が神殿で結婚し、永遠の世において『空席がないように』することでした。」(シェリー・L・デュー, *Ezra Taft Benson: A Biography* [1987年], 363)

「家族」の中の一人か二人の生徒を自分の席に帰す。家族の役をしている生徒に質問する。「永遠の家庭に『空席』があったら、どんなふう<sup>い</sup>に感じるでしょうか。」生徒と一緒に『生徒用学習ガイド』「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」の段落9(210ページ)を読む。以下の質問をする。

- 昇栄するためには、何をしなければなりませんか。
- 教義と聖約131:1-4を読んでください。この聖句の中で、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の教えと一致しているのはどこですか。
- 家族の中に空席がないようにするにはどうすればいいでしょうか。
- あなたは今、神殿結婚を目指してどんなことをしていますか。「家族は永遠に」(『賛美歌』, 187番)を歌う。歌詞を読んでもいい。



## はじめに

十二使徒定員会会員を務めていたときにゴードン・B・ヒンクレー長老はこのように語った。

「長年の献身の間に、[末日の預言者たち]は、鍛えられ、えり分けられ、試されて、全能者の目的にかなうように作り上げられたのです。プリガム・ヤング、ウィルフォード・ウッドラフ、ジ

ヨセフ・F・スミスらの生涯について読めば、だれがそれを疑うことができるでしょうか。主は彼らの心を和らげ、人格を練って、後に負わせたもう大いなる神聖な責任に彼らを備えられたのです。それは、愛する指導者、教会の現在の<sup>みたま</sup>大管長、ハロルド・B・リー大管長についても同じです。ここで大管長について少し言わせていただきたいと思います。大管長を当惑させるつもりはありません。リー大管長の半生の幾分かを知る人ならば、先ほど申し上げたような影響がリー大管長にも及んでいるのを否定できないでしょう。リー大管長は、今でいえば貧困とされる境遇から身を起こした人です。彼は肉体労働の意味を、じかに経験して知っています。リー大管長は宣教師となり、訪ねた大半の家で拒まれました。また、苦学をし、大病を患って生死の境をさまよいました。また、悲しみの暗く深い谷間を歩いたこともあります。生涯を振り返ってみれば、すべてがあのとおり、他人の苦勞と苦惱と悲嘆をさらに理解できるように練られてきたのです。しかし、不幸や悲嘆にめげず、接するすべての人をより高い次元に引き上げるたくましい気力を常に持ち続けてられました。」「感謝を神にささげん」『聖徒の道』1974年4月号、184 - 185参照)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- 戒めを守ると、霊的・物質的な安全が個人と国家にもたらされる。(『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」、212 - 213、段落1、8参照。レビ26：3 - 13；モーサヤ2：41；教義と聖約5：21 - 22も参照)
- わたしたちが御霊のささやきにこたえるときに、主は導き、守ってください(『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」、212 - 213、段落2、7 - 8参照。2ニーファイ5：5；教義と聖約45：57も参照)
- 罪は重荷である。主はわたしたちに「罪の恐ろしさ」について警告するために預言者を遣わしておられる(『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」、213、段落9 - 10参照。1コリント15：55 - 56；アルマ34：32 - 35；教義と聖約19：15 - 17も参照)
- 聖文と生ける預言者の教えを研究するとわたしたちの証は強まり、真理を学んで教え、主の導きを受けることができるようになる(『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」、213、段落11 - 15参照。2テモテ3：15 - 17；モーサヤ1：6 - 7；教義と聖約21：1、4 - 6も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、565 - 577。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」、212 - 213、段落1、8。戒めを守ると、霊的・物質的な安全が個人と国家にもたらされる。(15 - 20分)

両親のうちどちらかまたは両方が、多くの時間を要する教会の召しを果たしたことがあるかどうか生徒に聞く。次のように質問する。「両親がその召しを果たせるよう、どんな協力ができましたか。」

生徒に次のように言う。「皆さんが親だったとしましょう。忙しい召しを受けました。子供たちを集めて家族会議を開き、召し

について話します。いちばん上の子があなたに質問します。『ぼくたちが何をすれば、お父さん(お母さん)はいちばん助かるの。』この質問の答えとしてどんなものが考えられるか、生徒と話し合う。

ハロルド・B・リー大管長は大管長に召されたときに同じような経験をしたことを説明する。『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」の段落1(212ページ)を読む。そして、リー大管長がこの質問にどのように答えたかを調べる。以下の質問をする。

- 大管長の子供たちが「信仰を誠実に守って」といっていると、大管長に協力していることになりました。なぜでしょうか。
- 皆さんが福音に従って生活すると、皆さんの両親が召しを果たすのに協力していることになりました。なぜでしょうか。
- わたしたちが福音に従って生活すると、世の中にどんな影響を与えることになるでしょうか。

世の中が悪くなるにつれて、悪の影響を受けずにいることがますます難しくなってくると生徒に話す。段落8を生徒が読む。そして、悪から遠ざかるためにできることをリー大管長の教えから挙げる。生徒の答えを黒板に書き出す。悪から自分を守ることにして現在の預言者が語った言葉を生徒が挙げる。教師は生ける預言者の教えに従うことの大切さを証する。

『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」、212 - 213、段落2 - 8。わたしたちが御霊のささやきにこたえるときに、主は導き、守ってください。(15 - 20分)

警告ラベルがはられている品物を見せる。以下の質問をする。

- この警告に注意を向けることが大切なのは、なぜですか。
- 今日、主はどんな方法でわたしたちに警告を与えておられるでしょうか。

主が危険を警告された例を生徒が挙げる。(聖典や自分の生活、生徒が知っている人の生活から、例を挙げるとよい。聖典からの例としては、2ニーファイ1：1 - 4；5：1 - 6；モーサヤ23：1 - 5；エテル9：1 - 3；モーセ8：22 - 24などがある。)『生徒用学習ガイド』「ハロルド・B・リー大管長」の段落7(213ページ)を生徒が読む。以下の質問をする。

- 主はリー大管長にどんな方法で危険が迫っていることを警告されましたか。
- リー大管長はこの経験から、何を学びましたか。
- この経験はリー大管長のその後の人生にどんな影響を与えましたか。
- 御霊の促しから得られる恵みには、ほかにどんなものがあるでしょうか(2ニーファイ32：3；モロナイ10：5参照)。

「ハロルド・B・リー大管長」の段落2 - 6を読む。以下の質問について話し合う。

- リー大管長が霊的な人であったことをあなたならどんなふう
- リー大管長は何に対して「すぐにこたえて」いたのでしょうか。
- リー大管長は中央幹部としてほかにどんな貢献をしたのでしょうか。
- リー大管長は生涯を通じて御霊の導きに従いました。そのことは、リー大管長の人となりにどう影響したのでしょうか。

- 御霊のささやきにどんなふうにかたえるかによって、将来どんな人になるかが決まります。なぜでしょうか。

「ハロルド・B・リー大管長」の段落8を読む。聖霊に耳を傾けることによってもたらされる祝福を求めるよう生徒に勧める。

『生徒用学習ガイド』『ハロルド・B・リー大管長』, 213, 段落9 - 10。罪は重荷である。主はわたしたちに「罪の恐ろしさ」について警告するために、預言者を遣わしておられる。(15 - 20分)

一人の生徒が教室の前に出て来る。空のバックパック(リュックサック)を背負わせる。次のように質問する。「これだけの重さのものを背負って人生を歩んで行くとしたら、どう感じるでしょうか。」バックパックの中に(本、缶詰、石など)を次々に入れる。一つ入れる度に同じ質問をする。生徒が重すぎて背負えないと言うまで続ける。全員に以下の質問をする。

- この重い荷物は何を表しているでしょうか。
- 人が背負う最も重い荷物は何だと思えますか。

『生徒用学習ガイド』『ハロルド・B・リー大管長』の段落9 - 10(213ページ)を生徒と一緒に読む。リー大管長は何が最も重い荷物であると言ったかを調べる。以下の質問をする。

- リー大管長はわたしたちが背負う荷物の中で最も重い荷物は罪であると教えています。なぜだと思えますか。
- 罪を犯すと、わたしたちはどんな重荷を背負うことになりませんか。(御霊を失う、罪悪感、恥ずかしい思い、自信を失う)
- リー大管長が「悔い改めの方法」だけでなく、「罪の恐ろしさ」を教える必要があると考えたのは、なぜだと思えますか。
- すでに背負い込んでしまった重荷を降ろすにはどうしたらいいでしょうか。

1コリント15:55 - 56; アルマ34:32 - 35; 教義と聖約19:15 - 17を生徒が読む。「罪の恐ろしさ」について架空の友だちに手紙を書く。

『生徒用学習ガイド』『ハロルド・B・リー大管長』, 213, 段落11 - 15。聖文と生ける預言者の教えを研究するとわたしたちの証は強まり、真理を学んで教え、主の導きを受けることができるようになる。(10 - 15分)

聖書、合本、数冊の『リアホナ』(大会特集号を少なくとも一冊は入れておく)、末日聖徒が執筆した数冊の書物を見せる。どれが聖文が生徒に聞く。

黒板に見出しとして「聖文とは何か」、「聖文の研究がもたらす祝福」と書く。『生徒用学習ガイド』『ハロルド・B・リー大管長』の段落11 - 15(213ページ)を生徒が読む。聖文とは何か、聖文を研究するとどんな祝福があるのか、リー大管長の言葉の中から見つける。見つけた事柄を黒板の該当する箇所に書き出す。

聖文とは何か	聖文の研究がもたらす祝福
四大標準聖典(聖書、モルモン書、教義と聖約、高価な真珠)	証を強め、真理を見極めて教えるための助けになる。
生ける預言者の教え(教義と聖約21:4 - 6参照)	現代に生きるわたしたちの指針となる。

聖文と生ける預言者の教えをさらによく理解し従うためには、どうしたらよいか話し合う。



## スペンサー・W・キンボール大管長

### はじめに

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老はこのように述べた。

「わたしは信じています。スペンサー・W・キンボールは、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として予任されていました。主の民に対する預言者、聖見者、啓示を受ける者として予任されていました。これからの時代にあって地上の神の代弁者となるために予任されていました。

キンボール大管長が預言と啓示の御霊により、この務めに召され、選ばれ、聖任されたことを知っています。キンボール大管長が現在先頭に立って主の民を導くことは、わたしたちが証し、仕える御方の御心です。主の御霊が十二使徒の一人一人にそう証言しました。そして、御霊がそう証言していたとき、わたしはその場にいました。

それは、主が御自分でこう言われたと同じことなのです。『わたしの僕ハロルド・B・リー大管長は、わたしの命じたすべてのことに変忠実であった。あなたがたの中で彼が果たすべき務めはすでに完了した。わたしは彼を永遠のぶどう園にあるさらに大いなる働きに召した。そして今、主なるわたしはわたしの僕スペンサー・W・キンボール大管長を召し、彼にわたしの民を導かせ、わたしが自ら地上を統治しに訪れる大いなる日のために民を備える働きを続けさせよう。そして、わたしの僕ジョセフ・スミスについて言った言葉は、そのままスペンサー・W・キンボールにも当てはまる。『……彼がわたしの前を完全に聖く歩み、わたしの言葉と戒めを受けるとき、あなたがたの教会員は、彼があなたがたに与えるそれらのすべてを心に留めなければならない。』(教義と聖約21:4)』(「預言者と主の民の予任」『聖徒の道』1974年11月号, 510 - 511参照)

### 学び取るべき福音の重要な原則

- 主は預言者に靈感を与えて、その時代の聖徒たちの模範となり、メッセージを与えることができるようにされる(『生徒用学習ガイド』『スペンサー・W・キンボール大管長』, 215 - 217, 段落1 - 25参照。教義と聖約5:10も参照)
- スペンサー・W・キンボール大管長は、さらに固い決意を持って福音に従い、世の人々に福音を宣べ伝えるよう、聖徒たちに強く勧めた(『生徒用学習ガイド』『スペンサー・W・キンボール大管長』, 215, 217, 段落1 - 2, 15, 21 - 24参照。ヒラマン5:17 - 19; 教義と聖約90:4 - 5も参照)
- 人種や肌の色にかかわらず、すべてのふさわしい男性会員が神権を受けられる時が来たことを主はスペンサー・W・キンボール大管長に啓示された(『生徒用学習ガイド』『スペンサー・W・キンボール大管長』, 215, 段落3 - 6参照。公式の宣言2も参照)
- 聖徒が払う犠牲は、主が忠実な者に与えられる祝福に比べれば取るに足りない(『生徒用学習ガイド』『スペンサー・W・キンボール大管長』, 215 - 216, 217, 段落7 - 9, 18参照。2コ

リント4：14 - 17；オムナイ1：26も参照）

- スペンサー・W・キンボール大管長が管理する時代に、教会は英語版の聖典の改訂版を発行した。その後、ほかの言語の改定版も出版した。わたしたちは聖文を十分に研究することによって霊的な力を増し加え、神に近づくことができる（『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」, 216, 217, 段落10 - 11, 16参照。ヨハネ5：39；ヒラマン3：29 - 30も参照）
- 隣人を愛する聖徒は主の御手に使われる者となって、人々に仕え、祝福をもたらす（『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」, 216, 217, 段落12 - 14, 19 - 20参照。マタイ25：31 - 40；モーサヤ18：8 - 9も参照）

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 579 - 600。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」, 215 - 217, 段落1 - 25。主は預言者に靈感を与えて、その時代の聖徒たちの模範となり、メッセージを与えることができるようにされる。（25 - 30分）

種類の違う靴を何足が見せる（生徒の履いている靴を何足か使ってもよい）。以下の質問をする。

- 自分の人生を靴にたとえたとしたら、どの靴がふさわしいと思いますか。
- どの靴のような人生を送りたいと思いますか。

古く、くたびれた靴をかざして、次のように聞く。「この靴のような人生を送りたいと思う人はいますか。いたら、その理由を教えてください。こんな人生は送りたいと思う人も、その理由を教えてください。」

スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の言葉を黒板に書き写す。「わたしの人生は靴のようなものです。人に仕えながらすり減って、一生を送るのです。」（ゴードン・B・ヒンクレー, “He Is at Peace,” *Ensign*, 1985年12月号, 41）以下の質問をする。

- キンボール大管長はなぜ、自分の人生を古い靴にたとえたのだと思いますか。
- わたしたちはどうすればキンボール大管長のようになれるでしょうか。

主の預言者が皆そうであるように、キンボール大管長も聖徒がそのときに必要とするメッセージを靈感によって与えたということを示す。キンボール大管長はメッセージを与えるだけでなく、それを実践するという模範を示した。以下の組み合わせ問題を行う。

出来事	教 え
_____ 1. 段落1 - 2	A. 段落15, 18
_____ 2. 段落7	B. 段落16 - 17
_____ 3. 段落10 - 11	C. 段落20
_____ 4. 段落12 - 13	D. 段落19

『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」(215 - 217ページ)の中から、上記の指定した段落を生徒が読む。そして、キンボール大管長の生涯から、出来事と教えを組み合わせる。生徒はそれぞれ、自分の答えを発表する。（正解：1 - A；2 - C；3 - B；4 - D）以下の質問をする。

- 教えたことを自ら実践することはなぜ大切なのでしょう。（生徒の答えについて話し合う。）
- キンボール大管長は教会に対してどんな模範を示しましたか。
- 当時の聖徒たちはなぜ、キンボール大管長の教えに従おうとしたと思いますか。

「スペンサー・W・キンボール大管長」の段落22 - 25を読む。生ける預言者の教えに従わなければならない理由を二つ、生徒が紙に書く。

『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」, 215, 217, 段落1 - 2, 15, 21 - 24。スペンサー・W・キンボール大管長は、さらに固い決意を持って福音に従い、世の人々に福音を宣べ伝えるよう、聖徒たちに強く勧めた。（15 - 20分）

スペンサー・W・キンボール大管長が自分の少年時代について語った以下の話を一人の生徒が読む。

「一人で戸外にいるときや、牛の乳を搾ったり干し草を積んだりしているときに、考えにふける時間がありました。わたしは心の中でよく思い巡らし、こう決心しました。『わたし、スペンサー・キンボールは決してどのような酒も口にしない。わたし、スペンサー・キンボールは決してたばこに手を出さない。コーヒーも、紅茶も決して飲まない。それはわたしが理由を説明できるからではなく、主が取ってはいけないと言われたからだ。』……

……わたしはまだ小さいときに、『それらのものに決して触れない』と決心しました。そう心に決めていたので、従うのは容易でした。負けたことはありません。たくさんの誘惑がやって来ましたが、その度に『どうしようか』などと考えたりはしませんでした。いつも『しないと決めたのだから、しない』と自分に言いかけました。」（Conference Report, Denmark, Finland, Norway, and Sweden Area Conference 1974年, 86）

以下の質問について話し合う。

- 事前の決意はキンボール大管長にとってどんな助けになりましたか。
- 事前に決心していれば、誘惑を退けることが容易になるのは、なぜでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」の段落1 - 2（215ページ）を生徒が読む。そして、キンボール大管長が用いたスローガンを探し、それらを黒板に書く。以下の質問をする。

- キンボール大管長が預言者に召されてから用いたモットーには、少年時代の決意がどのように反映されていると思いますか。
- キンボール大管長は「歩幅を広げなさい」と語ることによって、教会員に何をしよう求めたのだと思いますか。

- これらのモットーを掲げると、あなたの生き方はどう変わりますか。
- キンボール大管長のモットーを思い出すと、福音に従おうという決意が固くなります。なぜでしょうか。

「スプenser・W・キンボール大管長」の段落15, 21 - 24を生徒が読む。そして、いちばん感銘を受けた教えを選ぶ。生徒は「歩幅を広げる」ために何ができるかについて短い文章を書く。

『生徒用学習ガイド』「スプenser・W・キンボール大管長」, 215 - 217, 段落7 - 9, 18。聖徒が払う犠牲は、主が忠実な者に与えられる祝福に比べれば取るに足りない。(10 - 15分)

札束の山を黒板に描く。生徒に神殿の写真を見せてから、以下の質問をする。

- どんな巨額のお金よりも価値のあるものを神殿は与えてくれます。それは何ですか。
- 神殿の儀式を受けるために大金を使う人たちもいます。なぜでしょうか。

黒板に以下の表を書き写す(2番目と3番目の欄は空白にしておく)。『生徒用学習ガイド』「スプenser・W・キンボール大管長」(216 - 217ページ)から、指定された段落を生徒が読む。各段落に記されている犠牲と、その犠牲の結果受けた祝福を見つける。答えを見つけたら、黒板の表に記入する。

段落	犠 牲	祝 福
8	ある教会員は亡くなるときに多くの財産を神殿のために寄付した。	その男性は亡くなってから、神殿で両親と結び固められた。その神殿は彼が生前建設費用を献金していた神殿だった。
9	ある家族は7年間切り詰めた生活をして、神殿へ行くためのお金をためた。	家族は神殿で結び固められた。彼らはささげた犠牲を取るに足りないものと感じた。
18	わたしたちは肉体的な苦痛や精神的な苦しみ、悲しみ、苦難を抱えながら生きていかなければならないことがある。	人は苦難から忍耐と自制を学び、苦難によって聖められる。

2コリント4: 14 - 17を読む。そして、神が与えてくださる祝福は、わたしたちがこの世でささげるいかなる犠牲をもはるかにしのぐことを証する。



## はじめに

十二使徒定員会会員を務めるデビッド・B・ヘイト長老はこのように語った。

「神権に関する啓示をスプenser・W・キンボール大管長が受けたときにわたしは神殿にいました。当時、わたしは十二使徒定員会の末席に名を連ねていました。わたしは、御霊が強く注がれた

その部屋にいたのです。注がれた御霊の力がほんとうに強かったので、啓示を受けた後、わたしたちはだれ一人として言葉を出すことができず、ただ静かに退席して、それぞれの事務室に帰ったのです。天から注がれた非常に霊的な体験のため、わたしたちはだれ一人として言葉を発することができませんでした。

記者会見が終わって数時間後、わたしはミシガン州デトロイトに行き、あるステーキ大会を訪問する割り当てを受けました。シカゴ空港の新聞売場で、シカゴ・トリビューン(Chicago Tribune)紙が目にとまりました。『モルモン、黒人に神権を付与』という大見出しがありました。そして小見出しには、『キンボール大管長、啓示を受けたと主張』とありました。わたしはその新聞を買い求めました。そして、小見出しの「主張」という言葉をじっくり見詰めました。その言葉だけが赤く着色されていて、飛び出してくるかのようでした。接続便に乗る通路を歩きながら思いました。わたしは今、シカゴにいて混雑した空港を歩いている。しかし、わたしはこの啓示の証人なのだ。わたしはその場にいた。啓示が与えられるのを目の当たりにしたのだ。確かに天の力を感じた。わたしは啓示を受けたそのグループの一員なのだ。

『……啓示を受けたと主張』と書いたあの新聞の編集者は、啓示が真実であることをまったく知りませんでした。印刷係も、印刷機にインクを注いだ人も、新聞を配達した人もまったく知りませんでした。彼らはそれが真実、神からの啓示であったことをまったく知らないのです。彼らは、わたしがその場にいて目撃したことをまったく知らないのです。」「この御業は真実です」『聖徒の道』1996年7月号, 28 - 29参照)


## 学び取るべき福音の重要な原則

- 主はスプenser・W・キンボール大管長に「預言されて久しい約束の日が訪れたことを、……すなわち、教会の忠実なふさわしい男性が皆、聖なる神権を……受けることができ」ることを啓示された。(公式の宣言二参照。使徒10: 9 - 15; 34 - 35; 2ニーファイ26: 33も参照)

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 584 - 585。
- 『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』, 387 - 388。

## 教え方の提案

 公式の宣言二。主はスプenser・W・キンボール大管長に「預言されて久しい約束の日が訪れたことを、……すなわち、教会の忠実なふさわしい男性が皆、聖なる神権を……受けることができ」ることを啓示された。(30 - 35分)

生徒に次のように言う。「自分が宣教師で、ある求道者に生ける預言者と現代の啓示について教えていると仮定してください。求道者がこのように質問します。『もしあなたの教会が預言者によって導かれているとしたら、預言者はどんな啓示を受けているのですか。』あなたはこの質問にどう答えますか。」「(生徒の答えについて話し合い、それらを黒板に書き出す。)

最近受けた現代の啓示の一例が教義と聖約の最後にある、と生徒に言う。主は長年預言者たちに、アフリカの黒人の子孫は神権も神殿の儀式も受けられないと教えてこられた。その理由は完全に明らかにされてはいないが、これらの天の御父の子供たちがこ

の祝福にあずかる日がいつか来ると幹部の兄弟たちは述べていた。(大管長会からの手紙, 1969年12月15日付; Church News, 1970年1月10日付, 12参照)『生徒用学習ガイド』「スペンサー・W・キンボール大管長」の段落3-6(215ページ)を読みながら、以下の質問について話し合う。

- スペンサー・W・キンボール大管長は1978年6月にどんな啓示を受けましたか。
- キンボール大管長はこの啓示を受けるまでにどんな努力を重ねてきたのでしょうか。
- この啓示が神から与えられたことは、どんなことから分かりますか。
- この啓示はどのようにして教会全体に発表されましたか。

公式の宣言二を「拝啓」から全員で読む。読みながら、以下の質問について話し合う。

- 中央幹部は教会に加わってくる人々がどうなることを望んでいたのでしょうか。
- いつかすべてのふさわしい男性が神権を受けるという約束は、だれが受けていたのでしょうか。
- この啓示はどこで与えられましたか。
- 神権のほかに現在、人種や肌の色にかかわらず、すべての教会員に与えられるようになった祝福は何でしょうか。
- この啓示が総大会で提示されたとき、教会員はどんな反応を示したのでしょうか。

以下の記事を一人の生徒が読む。

「〔ゴードン・B・ヒンクレー大管長は1998年にアフリカを歴訪した際、ジンバブエの大会でこのように語った。〕

『20年前の1978年に、すべてのふさわしい男性に神権と教会のその他すべての<sup>たまもの</sup>賜物が授けられることについて啓示が与えられました。わたしはここで、それは靈感にあふれた、神からの啓示であったことを<sup>あかし</sup>証したいと思います。わたしはその場にいました。わたしは主の宮で行われたそのことの生き証人です。……わたしたちは非常に感謝しています。』

ヒンクレー大管長は使徒行伝第10章の記録から、使徒ペテロとコルネリオの改宗について話した。ペテロは『神は人をかたよりみないかたで、神を敬い義を行う者はどの国民でも受け入れて下さる』ことが分かってきたと述べている。(使徒10: 34 - 35)

『愛する兄弟姉妹、それは皆さんのことです。』ヒンクレー大管長は続けた。『わたしはこの旅行を通じて、皆さんやほかの多くの人々と会って、あらゆる人は神にとって平等な存在であることを再確認しました。わたしたちはまことに平等です。繰り返して言います。わたしたちは皆、偉大な、驚くべき家族であり、生けるキリストの家族であって、ともにキリストを礼拝しているのです。』(スティーブ・フィデル, “Zimbabwe Pioneers Take Front Row Seats at Historic Occasion,” Church News, 1998年2月28日付, 4)

以下の話を別の生徒が読む。

「この〔神権についての啓示〕の後、何千人ものアフリカ系の人々が教会に加入してきている。あるアフリカの改宗者の経験は、主の手が彼らをいかに祝福しておられるかを示すものである。大学を卒業して教師をしていたこの男性はある日夢を見た。塔のある大きな建物があって、白い衣装に身を包んだ人々がその中に入って行く。後に彼は旅先で末日聖徒イエス・キリスト教会の建物を目にし、この教会がああ何と何か関係があるのではと考えた。そこで日曜日の集会に参加した。集会の後で伝道部長夫人がパンフレットを見せてくれたので開くと、そこにはソルトレーク神殿の写真があった。それはまさにあの夢の中に出てきた建物であった。後に彼はこう語っている。『知らず知らずのうちに涙がこぼれていました。……その気持ちは説明できません。重荷がすべて降ろされました。……懐かしい場所に戻ったような気持ちでした。わたしは故郷に戻って来たのです。』」(『わたしたちの受け継ぎ 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』, 112 - 113)

この啓示が教会の発展にどんな影響を与えたか話し合う。上記、公式の宣言二の「はじめに」から、デビッド・B・ヘイト長老の<sup>あかし</sup>証を読む。(256参照)以下の質問をする。

- 「主張」と「啓示」にはどんな違いがあるのでしょうか。
- ヘイト長老はこの啓示が神から与えられたことをどのようにして知りましたか。
- 主の預言者を通して明らかにされたことは何であれ神から与えられたものだということは、どうすれば分かるのでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を一人の生徒が読む。

「神が導き手です。わたしたちは主の導きを求め、啓示の静かな細い声に耳を傾けます。そして、主に導かれて進むでしょう。

主の教会が誤って導かれることはないでしょう。その恐れは決してありません。もし教会の指導者にそのような傾向が少しでもあれば、主はその人を除かれるでしょう。わたしたちは皆、主のおかげで命や声や力を得ています。」(『世界に宣言する証』『聖徒の道』1997年7月号, 97)

生徒はもう一度、自分が宣教師であると仮定して、生ける預言者がいるとどうして分かるのか求道者に聞かれたところを想像する。この質問にどう答えるか生徒が紙に書く。

預言者と絶えざる啓示が<sup>ごんいち</sup>今日の教会の中で大切な役割を果たしていることを<sup>あかし</sup>証する。

## エズラ・タフト・ベンソン大管長

### はじめに

十二使徒定員会会員を務めたマーク・E・ピーターセン長老はこのように記した。

「『教会にとって何が最もよいだろうか。』

何か大切な問題がエズラ・タフト・ベンソン大管長の前に持ち出されると、ベンソン大管長は生涯を通じて必ずこのように問いかけてから決めた。

ベンソン大管長は少年時代から主の業にとって最もよいこと、地上における神の王国にとって最もよいことを追求してきた。

常にこの目的に合わせて、ベンソン大管長は個人的な事柄も処理してきたのである。ベンソン大管長はこれを生涯の究極の目的とした。」(“President Ezra Taft Benson,” *Ensign*, 1986年1月号, 2-3)

### 学び取るべき福音の重要な原則

- わたしたちはモルモン書を研究しなければ、主の罰を免れることができない。モルモン書を熱心に研究することによって霊的に大きな力が与えられる(『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」, 220-222, 段落1-2, 12-16参照。2ニーファイ25:21-22; 教義と聖約84:54-57も参照)。
- 高慢は至る所に見られる罪である。わたしたちは高慢を克服して、謙遜になるべきである(『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」, 220, 222, 段落3, 22-34参照。モルモン8:34-37; 教義と聖約23:1も参照)。
- 聖徒たちの信仰と祈りは、国々の門戸を伝道活動に開く助けとなる。福音は全地に満ちるまで転がり進む(『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」, 220-221, 段落4-9参照。ダニエル2:31-45; 教義と聖約65:2も参照)。
- 母親と父親の役割は神聖であり、神によって定められたものである(『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」, 222, 段落19-21参照。アルマ56:47-48; 57:20-21, 26; 教義と聖約29:46-48; 68:25-28も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341-343』, 46章(訳注: 2003年度版を参照してください)。

### 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」, 220-222, 段落1-2, 12-16。わたしたちはモルモン書を研究しなければ、主の罰を免れることができない。モルモン書を熱心に研究することによって霊的に大きな力が与えられる。(20-25分)

付録から「最後の裁き」の絵を見せる。(295ページ)次のように質問する。「自分がこの絵の作者だったら、どんな題をつけますか。」生徒にこの絵のほんとうの題名を言う。

黒板に以下の質問を書く。

- 最後の裁きを受ける人は何人いますか。
- わたしたちを裁くのはだれですか。
- わたしたちはどんなふうに裁かれるのでしょうか。

生徒は以下の聖句を調べて、答えを見つける。ヨハネ5:22; ローマ14:10; 黙示20:12; アルマ5:15; モルモン3:20。

モルモン書をかざして、最後の裁きにおいてモルモン書はどんな役割を果たすと思うか生徒に聞く。2ニーファイ25:22を生徒が読む。そして、質問の答えを見つける。モルモン書を軽視するとこの世で何か影響があるかどうか生徒に聞く。教義と聖約84:54-58を生徒が読む。そして、質問の答えを見つける。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を紹介する。

「永遠の結果は、この書物に対するわたしたちの態度にかかっていると言えるでしょうか。かかっています。祝福ものろいもそれにかかっているのです。

末日聖徒はすべて、生涯この書物を学び続けるべきです。さもなければ、自らの魂を危険にさらし、一生を通じて霊と知性に調和を与えてくれるものをなおざりにすることになります。確かに、モルモン書を読んでキリストの岩を基にして立ち、鉄の棒をしっかり握っている改宗者と、そうでない改宗者との間には大きな相違があります。」「(「モルモン書は神のみ言葉」『聖徒の道』1975年8月号, 368参照)

『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」の段落1-2(220ページ)を生徒が読む。以下の質問について話し合う。

- エズラ・タフト・ベンソンは何年に大管長になりましたか。
- ベンソン大管長はどんな理由からモルモン書を再び強調したのですか。(主からそうするよう靈感を受けた。)
- なぜこの時期にモルモン書を再び強調する必要があったと思いますか。

段落12-16を生徒が読む。それから、最も印象に残る文章の一つか二つ選ぶ。これらの文章についての感想を生徒が発表する。教師がモルモン書に対する証を述べる。そして、モルモン書を生涯研究するよう生徒に勧める。

『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」, 220, 222, 段落3, 22-34。高慢は至る所に見られる罪である。わたしたちは高慢を克服して、謙遜になるべきである。(20-25分)

黒板に以下の文章を書く。「高慢」を空白にしておく。「高慢は至る所にある罪である。」「(エズラ・タフト・ベンソン, 「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号, 7) 空白にどんな語を入れたいか生徒に聞く。『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」の段落3(220ページ)を生徒が読む。そして、

ベンソン大管長が何について聖徒に警告したかを見つける。ベンソン大管長が語った以下の言葉を一人の生徒が読む。

「高慢は、はなはだしく誤って解釈されている罪であり、多くの人が無意識のうちにこの罪を犯しています（モーサヤ3：11，3ニーファイ6：18参照）。聖典の中には、義にかなった高ぶりというようなことを教えている箇所は一つもありません。高慢は常に罪と見なされています。ですから、世の中でこの言葉がどのように使われているかは問題ではありません。わたしたちが理解しなければならないのは、神がこの言葉をどのように使われているかです。そうすれば聖典の言葉を理解して、その恩恵にあずかることができるのです（2ニーファイ4：15；モーサヤ1：3-7；アルマ5：61参照）。

ほとんどの人は、高慢という『自己中心』、『うぬぼれ』、『自慢』、『尊大』、『傲慢』などの言葉を思い浮かべます。確かにこれらはみな、高慢の罪の中に数えることができますが、核心となるものが抜けています。

高慢の中心をなすのは『敵対心』、すなわち神と同胞に対する敵対心です。敵対心は『憎悪、敵意、反感』などを意味します。サタンは、この力によってわたしたちを支配しようとしみます。」「（「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号，4）

「エズラ・タフト・ベンソン大管長」の段落22 - 34を生徒が読む。そして、高慢を克服する方法を少なくとも8つを見つける。生徒が見つけた方法を黒板に書き出す。以下の質問について話し合う。

- これら8つの方法にはどんな共通点があるでしょうか。
- これら8つの中でわたしたちにとって難しいと思われるのはどの方法でしょうか。それはなぜでしょうか。
- 今の若い人たちが高慢に見えたとしたら、それはどんなときでしょうか。

生徒はこの8つの方法から一つを選ぶ。段階を追って謙遜さ<sup>けんそん</sup>をはぐくむ計画を立て、それを紙に書く。「われ主を愛して」（『賛美歌』，134番）の歌詞を読む。それから、この賛美歌が謙遜について教えていることを話し合う。謙遜に主に従うよう生徒に勧める。

『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」，220 - 221，段落4 - 9。聖徒たちの信仰と祈りは、国々の門戸を伝道活動に開く助けとなる。福音は全地に満ちるまで転がり進む。（10 - 15分）

世界地図を見せる。現在伝道活動が許可されている場所を生徒が挙げる。以下の質問について話し合う。

- 教会の発展に関連して、どんな変化をこれまで目にしてきましたか。
- ダニエル2：34 - 35，44を読んでください。これらの聖句によると、教会は今後、どれくらい発展するでしょうか。
- 教会の全世界的な発展に貢献するため、皆さんにできることは何ですか。

『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」の段落5 - 9（220 - 221ページ）を読む。それから、ベンソン大管長の

もとで教会がどのように発展したか黒板に書き出す。以下の質問をする。

- この発展は奇跡的だと考えてもいいでしょうか。それはなぜですか。
- この奇跡の陰で、聖徒たちの信仰と祈りはどんな役割を果たしたでしょうか。
- この歴史上重大な時期に自分が教会の一員であることについて、どう感じますか。
- 伝道活動のために祈り、信仰を行使することはなぜ大切なのでしょうか。

ベンソン大管長が十二使徒定員会会長を務めていたときに語った以下の言葉を紹介する。

「確かにこの150年の教会歴史を振り返ってみると、まさに教会の発展は不思議な驚くべき業です。わたしたちは主の慈悲深い恵みに心から感謝しています。教会がこれほどの発展と成功を収め得たのは、全知全能の神の導きがあったからにほかなりません。

それでは、教会の将来はどうなるのでしょうか。

今後も教会は成長と発展を遂げ、教会員の霊性は高まっていくでしょう。宣教師は回復のメッセージを携えて全地を覆うようになるでしょう。そして福音が十分根を下ろした地域には神殿が建設され、神殿は生者、死者を問わず家族が愛と永遠の家族のきずなによって結ばれる真理の象徴となるに違いありません。しかし同時に、この業を妨げる力が絶えず存在することも忘れてはなりません。」「（「不思議な驚くべき業」『聖徒の道』1980年9月号，50）

『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」，222，段落19 - 21。母親と父親の役割は神聖であり、神によって定められたものである。（10 - 15分）

世界で最も大切な仕事を5つ生徒が選ぶ。そして、それを黒板に書き出す。次のように質問する。「この仕事はなぜそんなに大切なのでしょうか。」「『生徒用学習ガイド』「エズラ・タフト・ベンソン大管長」の段落19 - 21（222ページ）を生徒が読む。それから、ベンソン大管長が語った最も大切な仕事の一つを見つける。以下の質問について話し合う。

- 母親の仕事はなぜそれほど気高く神聖なのでしょうか。
- 今日<sup>こんにち</sup>の母親の務めは何でしょうか。
- 母親に対して敬意を表すために、あなたには何ができますか。
- 若い女性は義にかなった母親になるために、どんな準備ができますか。

父親も同じように大切であることを生徒に言う。ベンソン大管長が語った以下の話を紹介する。

「父親の責任は永遠に続く召しであり、決して解任されることはありません。教会の中で受ける召しは確かに大切なものですが、それはあくまでも一時的なものであり、時が来ればやがて解任されます。しかし父親の召しは永遠であり、その重要性は時間を超越したもののなのです。現世と



来世の両方にわたる召しなのです。」(「イスラエルの父親たちへ」『聖徒の道』1988年1月号, 52参照)

- 両親が子供たちに福音を教えることは、なぜそれほど大切なのでしょうか。
- 父親に敬意を表すために、あなたには何ができますか。
- 若い男性は義にかなった父親になるためにどんな準備ができますか。

母親が子供たちとの時間を有意義に過ごすための方法としてベンソン大管長が語った以下の項目を紹介する。

1. 「子供が人生の大切な時期にあるときには、時間を取っていつもそばにいること。」
2. 「時間を取って、子供の真の友達になること。」
3. 「時間を取って、子供に本を読んであげること。」
4. 「時間を取って、子供と一緒に祈ること。」
5. 「時間を取って、思い出に残る家庭の夕べを開くこと。」
6. 「時間を取って、食事はできるだけ一緒にすること。」
7. 「時間を取って、毎日家族で聖典を読むこと。」
8. 「時間を取って、家族と一緒に何かをすること。」
9. 「時間を取って、子供に教えること。」
10. 「時間を取って、子供を心から愛すること。」( *To Mothers in Zion* [1987年2月22日, 両親とのファイアサイドにおける講話] からの抜粋, 8 - 12)

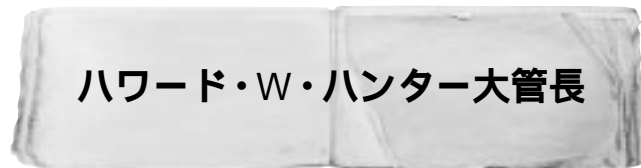
父親が家族に対して霊的な指導性を発揮する方法としてベンソン大管長が語った以下の項目も紹介する。

1. 子供に父親の祝福を与えてください。またバプテスマと確認の儀式を施してください。さらに神権への聖任も自ら行うようにしてください。……
2. 家族の祈り、毎日の聖典の勉強、週に一度の家庭の夕べを、父親として自ら指導してください。……
3. できるかぎり、家族一緒に教会の集会に集うようにしてください。……
4. 子供の一人一人と個人的に接触する場を作ってください。……
5. 家族一緒に休暇を過ごしたり、旅行に出かけたりする楽しい伝統を築くようにしてください。……
6. 定期的に子供たちと一対一で話し合うようにしてください。……
7. 子供たちに働くことを教えてください。……
8. 家庭の中で良い音楽や芸術、文学を鑑賞するように奨励してください。……
9. 時間が許す範囲内で、定期的に夫婦で神殿に参入するようにしてください。……
10. 教会の責任を果たす楽しみと喜びを子供たちに理

解させてください。……

皆さんが永遠の伴侶<sup>はんりよ</sup>とともに、家族の物質的な必要を常に満たし、家族を霊的に導くという神聖な責任を果たすことができるように願っています。」(「イスラエルの父親たちへ」『聖徒の道』1988年1月号, 55)

両親に感謝と愛を表す手紙を生徒が書く。できるだけ早くその手紙を両親に渡すよう勧める。



## ハワード・W・ハンター大管長

### はじめに

十二使徒定員会会員を務めていたときにジェームズ・E・ファウスト長老は次のように語った。

「ハンター大管長は、これまでわたしたちが知っている人の中で、最も愛情にあふれたキリストのような方の一人です。彼の霊性は計り知れないほど高いものです。長年主の特別な証人として主イエス・キリストの導きの下で仕えてきたハンター大管長の霊性は、驚くべき方法で高められてきました。それは彼の全身にみまざる力の源となっています。彼は神聖な事柄を静かに、また謙遜<sup>けんそん</sup>に受け止め、そうした事柄を慎重に語ります。また、すばらしい心の平安と落ち着き、そして、神の子供たちの中で際立って気高い心の持ち主です。彼が度々経験してきた大きな苦難は、この時代、この日、地上にあって神の清い器となり預言者となるための『精錬の火』だったのです。」(「ハワード・W・ハンター大管長 空を飛ぶ鷲のように」『聖徒の道』1994年9月号, 2参照)

### 学び取るべき福音の重要な原則

- わたしたちは愛と思いやりに満ちた主の模範に従うべきである(『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」, 224 - 226, 段落1 - 2, 7 - 8, 11 - 14, 21参照。3ニーファイ27: 27も参照)。
- 教会員は生活の中心に神殿を据えるべきである(『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」, 224, 段落3参照)。
- 義にかなって堪え忍ぶ者たちに、主は平安を与えられる(『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」, 224 - 226, 段落7, 9 - 10, 21 - 22参照。詩篇29: 11; イザヤ48: 22; 教義と聖約122: 5 - 9も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 47章(訳注: 2003年度版を参照してください)。

### 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」, 224 - 226, 段落1 - 2, 7 - 8, 11 - 14, 21。わたしたちは愛と

**思いやりに満ちた主の模範に従うべきである。(15 - 20分)**

生徒が、四福音書(マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ)の中から、キリストの愛と思いやりの模範を一つ探す。3分以内で探す。何人かの生徒が、見つけた例と、それが心に残った理由を発表する。

『生徒用学習ガイド』から「ハワード・W・ハンター大管長の生涯」、「ハワード・W・ハンター大管長が教会を管理した時期」および「ハワード・W・ハンター大管長」の段落1-2, 7-8, 11-14, 21(224-226ページ)を生徒が読む。そして、ハンター大管長について詳しく調べる。ハンター大管長はキリストのような愛と思いやりの模範として話題に上る人であったことを説明する。上記の「はじめに」から、ジェームズ・E・ファウスト長老の言葉を読む。以下の質問をする。

- ハンター大管長が愛と思いやりの人であったことは、どんな模範から分かりますか。
- ハンター大管長は段落2で、どんなことについて祈っていると言っていますか。
- 大管長は祈りの中で、わたしたちについてどんなことを願ったのでしょうか。
- マタイ22:36-40を読んでください。この聖句は人に愛と親切を示すことについてどんなふうに教えていますか。

今日、親切、思いやり、愛、礼儀正しさの模範を探そう生徒に勤める。見つけた模範について、次回のレッスンで発表してもらうことにすると教師が言う。

**『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」, 224, 段落3。教会員は生活の中心に神殿を据えるべきである。(15 - 20分)**

計測に使う機器を幾つか見せる(温度計、ものさし、計量カップ、はかり、時計など)。以下の質問をする。

- ここにあるものに共通していることは何ですか。
- 計測の目的は何ですか。

可能であれば、神殿推薦状を生徒に見せる。以下の質問について話し合う。

- 神殿推薦状はここにある計測機器の仲間に入れることができるでしょうか。
- 神殿推薦状はどんな点でわたしたちの生活を測る計測機器と言えるでしょうか。
- 神殿推薦状を受けるためにはなぜ、一定の標準を守っていないといけないのでしょうか。
- 教義と聖約97:15-16; 124:46を読んでください。これらの聖句は神殿に入るためのふさわしさについてどんなことを言っていますか。

生徒に以下の言葉を配布資料として配り、全員で読む。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長を務めていたときに次のように語った。

「神殿推薦状の発行をありふれた事のように行うことは決して許されないことです。

この小さな書類は、見かけこそ単純ですが、それを携え

る人が厳格に定められた様々な条件を満たし、主の宮へ入るのにふさわしくあり、この地上で最も神聖な儀式にあずかる資格を持っていることを証明します。それらの儀式は、この世ばかりでなく、永遠の事柄にかかわっています。……

神殿推薦状は、これに匹敵するものはほかにないほどすばらしいものです。それは名前が記され、署名された1枚の紙にすぎませんが、実際には、それを所持している人が『正直、真実、貞潔、慈善、徳高』い人物であり、すべての人に善を行うことを信じ、また『どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば』(信仰箇条1:13)、それを求めるものであることを示す証明書なのです。

何よりも大切な資格として、推薦状保持者は、次のことを知っていなくてはなりません。すなわち、永遠の父なる神が生きておられ、イエス・キリストが生ける神の御子であり、わたしたちが携わっている業が神聖な業であるということを知っていなくてはならないのです。」「(「神殿を聖く保つ」『聖徒の道』1990年7月号, 57, 59参照)

『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」から、段落3(224ページ)を読む。以下の質問をする。

- ハンター大管長は会員一人一人に何を望んでいましたか。
- ふさわしい状態で神殿に参入して礼拝するために、どんな準備ができるでしょうか。(知恵の言葉を守る、道徳的に清い状態を維持する、什分の一を納める、異性の会員との間の正しい関係を維持するなどの答えが考えられる。)

**『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」, 224 - 226, 段落7, 9 - 10, 21 - 22。義にかなって堪え忍ぶ者たちに、主は平安を与えられる。(15 - 20分)**

数人の生徒に以下の聖句を一つずつ割り当てる。割り当てられた聖句を生徒が声に出して読む。詩篇29:11; イザヤ48:22; ヨハネ14:27; 1コリント14:33; 2テサロニケ3:16; 教義と聖約59:23。以下の質問について話し合う。

- 平安を最初に作り出したのはどなたでしょうか。
- なぜ、平安はすばらしい賜物なのでしょう。
- あなたが平安を感じるの、どんなときですか。
- 霊的に平安であるとは、どんな意味でしょうか。
- 混乱した環境の中で生活していながら平安を得るためには、どんなことができるでしょうか。

二人の人が同じ試練に遭った場面を想像する(例えば、事故で体がまひしてしまった、失業した、子供を亡くした、不当な告訴を受けたなど)。この二人はそれぞれ違った反応を示すかもしれない。どんな反応が考えられるか話し合う。以下の質問をする。

- 一人の人は平安を感じるかもしれませんが、もう一人の人は怒りや憎しみ、悲しみを募らせるかもしれません。なぜでしょうか。
- アルマ62:41を読んでください。この聖句は「義にかなって堪え忍ぶ者たちに、主は平安を与えられる」という原則について何と言っていますか。

- どんな環境にあっても心に平安のある生き方ができるようにするためには、何をしなければならいでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「ハワード・W・ハンター大管長」の最初の部分と段落7, 9 - 10 (224ページ)を生徒が読む。その中から、ハンター大管長が経験した逆境を見つける。この資料をもう一度読む。そして、逆境の中で主の助けを求めてハンター大管長が行ったことは何かを見つける。生徒が見つけた事柄を発表する。以下の質問について話し合う。

- ハンター大管長の持つ、すばらしい特質は何ですか。
- ハンター大管長の模範から、何が学べるでしょうか。

ハンター大管長が持っていた特質の一つを選び、その特質を自分の生活の中でどのように伸ばしていくことができるか生徒が発表する。「ハワード・W・ハンター大管長」から、段落21 - 22を読む。いつまでも続く平安を与えてくださる御方は、イエス・キリストをおいてほかにはおられないことを証する。どんなときにも救い主に頼るよう生徒を励ます。



## はじめに

ジェフリー・R・ホランド長老はゴードン・B・ヒンクレー大管長についてこのように語った。

「もしかすると教会の大管長会の責任に、これほどよく準備を整えてきた人は、過去にいなかったかもしれません。60年間にわたる教会の管理上の責任を通じて、ヒンクレー大管長はじかに預言者たちに接し、教えを受け、ヒーバー・J・グラント大管長からハワード・W・ハンター大管長に至るまでの8人の近代の預言者一人一人に仕えてきました。彼の同僚の一人が言うように、『福音を説き、聖徒たちを祝福し、高め、死者の贖いを促進する』というただ一つの目的のために、世界中をこれほど遠くまで、これほどたくさんの場所へ旅行した人は、教会歴史を通じていませんでした。』」(「ゴードン・B・ヒンクレー大管長 信念と勇気の人」『聖徒の道』1995年6月号付録, 22参照)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- わたしたちは主から受けた召しを尊んで大いなるものとするべきである(『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 227 - 228, 段落1 - 4参照。モルモン書ヤコブ1: 18 - 19; 教義と聖約4: 2; 84: 33も参照)。
- 悪は世界中でますます勢いを増してきているが、ヒンクレー大管長は教会の将来を楽観視できるようなビジョンを持っている(『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 228, 229, 段落5, 12参照。1ニーファイ22: 16 - 22も参照)。
- 教会は増大する会員の必要を満たすため、さらに多くの神殿を建設する(『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 228, 段落6 - 8参照。教義と聖約65: 2も参照)。

- わたしたちの生き方は、キリストに対する信仰を表す。生ける預言者の勧告に従うときに、わたしたちの信仰は強くなる(『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 229 - 230, 段落12 - 37参照。ローマ12: 1 - 2; 教義と聖約20: 26も参照)。
- すべての教会員には友だち、責任、神の言葉による養いが必要である(『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 229, 段落22 - 24参照。モロナイ6: 3 - 9も参照)。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』, 48章 (訳注: 2003年度版を参照してください)。

## 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 227 - 228, 段落1 - 4。わたしたちは主から受けた召しを尊んで大いなるものとするべきである。(10 - 15分)

「尊んで大いなるものとする」という語の以下の定義を黒板に書く。

1. 何かを大きくすること。
2. 何かをより大きく、あるいはより近く見せること。
3. 何かを賞賛すること、あるいは重要視すること。

以下の質問について話し合う。

- 黒板に書いた「尊んで大いなるものとする」の定義から考えると、教会の召しを尊んで大いなるものとするとはどんな意味でしょうか。
- 召しや責任を尊んで大いなるものとすることは、なぜ大切なのでしょうか。

召しを尊んで大いなるものとする模範を示している人を心に思い浮かべる。心に思い浮かべた人が、どのように召しを尊んで大いなるものとしているか、数人の生徒が発表する。

『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」から、「ゴードン・B・ヒンクレー大管長の生涯」と「ゴードン・B・ヒンクレー大管長が教会を管理した時期」(227ページ)を生徒が読む。そして、ゴードン・B・ヒンクレー大管長について調べる。ヒンクレー大管長がその生涯で果たしてきた召しと責任を幾つか挙げる。「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」の最初の部分と段落1 - 4を読む。以下の質問をする。

- ヒンクレー大管長が召しを尊んで大いなるものとしていることは、どんな出来事から分かりますか。
- ヒンクレー大管長の模範から、何を学べるでしょうか。

『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 228, 229, 段落5, 12。悪は世界中でますます勢いを増してきているが、ヒンクレー大管長は教会の将来を楽観視できるようなビジョンを持っている。(15 - 20分)

水が半分入っているコップを二つ見せる。黒板に次のように書く。「この二つのコップには、水が半分しか入っていないのでしょうか、それとも半分も入っているのでしょうか。」以下の質問について話し合う。

- 半分しか入っていない、半分も入っている、という二つの見方は、どちらが悲観的でどちらが楽観的でしょうか。
- 楽観的とはどんな意味でしょうか。
- 楽観的な人と一緒にいると楽しいのは、なぜでしょうか。

一つのコップに「半分しか入っていない」、もう一つのコップに「半分も入っている」と書いた紙をはる。世界の状況を考える。黒板に「半分しか入っていない」と書き、その下に人々を悲しませ、希望を失わせる世界の状況を書き出す。次に「半分も入っている」と書いて、その下に人々に幸福と希望を与える世界の状況を書き出す。次のように質問する。「世界の状況について考えるとき、あなたがよく考えるのは、どちらですか。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は偉大な楽観主義者であり、ビジョンを持った人であることを生徒に話す。『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」の段落5, 12 (228, 229ページ) を生徒が読む。そして、ヒンクレー大管長が楽観主義についてどう教えているか調べる。以下の質問をする。

- ヒンクレー大管長はどんな理由から楽観的なのでしょうか。
- わたしたちが知っている教会の行く末の中で、希望を与えてくれることがあります。例えば、それはどんなことでしょうか。(教義と聖約65:2参照)
- 終わりの日と主の再臨が待ち遠しく思えるのは、なぜですか。(1ニーファイ22:16-22参照)

『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 228, 段落6-8。教会は増大する会員の必要を満たすため、さらに多くの神殿を建設する。(15-20分)

世界地図を見せる。神殿のある場所を生徒が挙げる。以下の質問について話し合う。

- 現在儀式が執行されている神殿は、世界中におよそ幾つあるでしょうか。(2000年10月現在で100。最新の数字は『リアホナ』大会特集号の統計報告を参照する。)
- あなたが生きている間に、神殿の数は増えると思いますか。
- 教会は全世界に神殿を建てるために、なぜそれほど力を入れていると思いますか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が神殿の建設を強調したことを生徒に話す。『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」の段落6-8 (228ページ) を読む。幾つかの神殿の絵を見せる。そして、この聖なる建物の中で与えられる祝福について感じていることを教師が話す。主の宮で行われる儀式をすべて受けられるような生活をするよう生徒を励ます。以下の言葉の一部またはすべてを紹介する。大祝福師を務めたエルドレッド・G・スミス長老はこのように語った。

「地のあらゆる所に、多くの国々に神殿が建てられる時が必ず来ます。人の救いと昇栄と永遠の命にとって、これは最も必要なことです。したがって、わたしたちは熱心に家族の記録を集め、また、この業に携わるためにふさわしく生活しなければなりません。」(Conference Report, 1972年10月, 52)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように語った。

「わたしは、世界中の末日聖徒のために神殿が比較的近い所に置かれるようになることを切に願っています。しかし、その速度にも限度があります。それぞれの神殿が、よい場所に建てられ、近隣の方々ともよい関係を永続的に維持できるようにと努力しています。……神殿の業は、わたしたちになし得る限りの速度で進んでいます。この業が速度を増し、それによってもっと大勢の人々が神聖な主の宮に参入しやすくなることを、わたしはいつも祈っています。

ブリガム・ヤング大管長はあるとき、もし若い人たちが神殿結婚の祝福についてほんとうに理解するなら、必要とあらばイギリスまで歩いて行くだろうと言いました (Journal of Discourses, 第11巻, 118 参照)。皆さんが、それほど遠くまで行かなくても、神殿に参入できるようにすることを願っています。」(「伝道と神殿、そして管理の職」『聖徒の道』1996年1月号, 60参照)

『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」, 229-230, 段落12-37。わたしたちの生き方は、キリストに対する信仰を表す。生ける預言者の勧告に従うときに、わたしたちの信仰は強くなる。(20-25分)

黒板に以下の例のような絵を幾つか描く(教室にいる生徒に関連のあるものを描くとよい)。



生徒に次のように言う。「この絵の中で、自分の生活をいけばよく表しているものは、どれですか。その理由も教えてください。」各生徒が自分の生活を表す絵をもう一枚描く。数人の生徒が描いた絵を見せる。どういう意味でそれを描いたのか説明する。

『生徒用学習ガイド』「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」から、段落13-16 (229ページ) を読む。以下の質問について話し合う。

- ヒンクレー大管長は象徴について何と語っていますか。
- 自分の生活を描いた絵の中で、イエス・キリストに対する証

については、どんなふうに表現していると言えますか。

- あなたを見て、人がイエス・キリストを信じるようになるためには、どんな生き方をすればいいでしょうか。
- ローマ12：1-2を読んでください。この聖句はこれまで話し合ってきた事柄について何と言っていますか。

生ける預言者の教えに従うならば、わたしたちの生き方そのものが信仰を表すようになることを説明する。「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」の段落12、17-25を生徒が読む。それから、ヒンクレー大管長が強調した教えを幾つか挙げる。以下の質問をする。

- この教えは現代の世の人々と教会員にどんなふうに当てはまるでしょうか。
- この教えに従うことは、なぜ大切だと思いますか。

もっとよく守れるようになりたい教えを各自一つずつ選び、どうしたらそれを守れるようになるか、簡単に紙に書く。

『生徒用学習ガイド』『ゴードン・B・ヒンクレー大管長』、229、段落22-24。すべての教会員には友だち、責任、神の言葉による養いが必要である。(10-15分)

生徒に次のように言う。「皆さんが教会の特別な委員会に召されたとします。皆さんの仕事は、改宗者が改宗後も活発に集えるようになるための計画を立てることです。」

クラスを小人数のグループに分ける。各グループの生徒はモロナイ6章；教義と聖約20：68を調べる。そして、改宗者が改宗後も活発に集えるようになるために教会員にできることを列挙する。作業が終わったら、各グループの生徒は自分たちの考えを発表する。

『生徒用学習ガイド』『ゴードン・B・ヒンクレー大管長』の段落22-24(229ページ)を生徒が読む。以下の質問をする。

- ヒンクレー大管長は各教会員に何が必要だと言っていますか。
- この3つの事柄はモロナイ6章で見つけた事柄とどんな共通点があるでしょうか。
- この3つは新しい改宗者にとってどんな助けになりますか。
- この3つはすべての教会員にとってどんな助けになりますか。
- 改宗者が教会に入ってから直面する問題には、どんなものがあるでしょうか。
- ほかにどんな方法でワードや支部の会員たちに手を差し伸べることができるでしょうか。

新会員が教会に来たら、積極的に友だちになるよう生徒たちに勧める。ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を紹介する。

「世界中で伝道活動が活発に行われるようになると、改宗者一人一人が自分のワードや支部に慣れ親しむ必要性も増大します。今年の改宗者数は、平均規模の新しいステークを100以上組織できる数です。しかし残念ながら、わたしたちは新会員の一部の方々をないがしろにしています。世界中で組織を挙げて、教会に加わったすべての改宗者を定着させることに大いなる努力を注いでいただきたいと思います。

これは真剣に取り組むべき問題です。どれだけ伝道しても、その努力の結晶をとどめておくことができなければ意

味がありません。伝道と新会員の定着は切り離すことのできない問題です。」(「神殿、改宗者の定着、伝道活動について」『聖徒の道』1998年1月号、58)



## 家族 世界への宣言

### はじめに

七十人定員会会員を務めたエラン・A・コール長老は次のように語った。

「ハロルド・B・リー大管長は言いました。『兄弟たちが行く最も偉大な主の業は、あなた自身の家庭という囲いの中にある。』(Conference Report, 1973年4月, 130)

わたしたちは、デビット・O・マッケイ大管長が33年前にこの説教壇から語った警告を忘れてはなりません。『いかなる成功も家庭における失敗を償うことはできない。愛の下に一致した家族は、いかに貧しくとも、ほかのいかなる富にも増して、神と将来の人類にとって大きな価値を持つ。そのような家庭で、神は奇跡を行うことができ、また実際に行われるであろう。』(J・E・マカロク, Home: The Savior of Civilization (1924年)の引用; Conference Report, 1964年4月, 5で引用)

わたしたちが預言者、聖見者、啓示者として支持する大管長会と十二使徒定員会は、2年前に、結婚や両親、家族に関する教会の信条を全世界に厳粛に宣言しました。皆さん一人一人がこの靈感あふれる宣言を読んで研究し、実践するようにお勧めします。それが家庭生活や子供の養育の標準となり、指針となりますように。

わたしたちの家庭は、問題の多い世の中から避難し保護を受ける場所になりますし、またそうあるべきです。主と交わした聖約を神聖に保つために日々努力することにより、家庭をそのような場所にできますように。」(「家庭 避難と保護の場所」『聖徒の道』1998年1月号, 34参照)


### 学び取るべき福音の重要な原則


- 男女の間の結婚は子らの幸福のために天の御父が定められた計画の中心を成す(「家族 世界への宣言」参照。創世2：20-24も参照)。
- 家族に関する宣言に示された、靈感あふれる原則に従って生活するときに、家族は強められる(「家族 世界への宣言」参照。信仰箇条1：13も参照)。

### 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、48章、小見出し2、「15人の大管長」(訳注：2003年度版を参照してください)

## 教え方の提案

 「家族 世界への宣言」を教える際に『「教義と聖約および教会歴史」ビデオプレゼンテーション」21「家族の大切さ、第1部」(11:00)と、22「家族の大切さ、第2部」(9:00)を使用することができる(教え方の提案については『「教義と聖約および教会歴史」メディアガイド』を参照)。

 「家族 世界への宣言」。男女の間の結婚は子らの幸福のために天の御父が定められた計画の中心を成す。(15 - 20分)


若い男性と若い女性を分ける。男女のグループを向かい合わせに座らせて、両方のグループに以下の質問をする。

- あなたが結婚する相手に、第一に求める特質は何でしょうか。
- その特質はあなたにとってなぜ大切ですか。
- 今デートしたり、一緒に時を過ごしたりする相手を決めるときにも、この特質を持つ人を選びたいと思いますか。

『生徒用学習ガイド』から、「家族 世界への宣言」(231 - 232)を生徒が読む。神が夫と妻に与えられた責任を見つける。それから両方のグループに以下の質問をする。

- 神から与えられた責任を果たすために、夫または妻はどんな特質を身に付ける必要があるでしょうか。
- その特質には、結婚相手に求める大切な特質として皆さんが挙げた特質と、どんな共通点があるでしょうか。
- その特質を伸ばすことは、皆さんにとって大切なことです。もちろん、将来の夫や妻となる人にも同じことが言えます。なぜでしょうか。

結婚する時が来たら、愛にあふれ、責任感のあるふさわしい夫や妻になれるように、今から備えを始めるよう生徒を励ます。

 「家族 世界への宣言」。家族に関する宣言に示された、霊感あふれる原則に従って生活するときに、家族は強められる。(15 - 20分)

『生徒用学習ガイド』から、「家族 世界への宣言」(231 - 232)を生徒が読む。以下の質問をする。

- 「家族 世界への宣言」の中で、家族が幸せになり、成功するために最も大切な教義と原則は何だと思えますか。
- これらの原則に従うと、なぜ幸福になれるのでしょうか。
- これらの原則に従うために、家族はどんな努力と犠牲を払わなければならないのでしょうか。

「家族 世界への宣言」の中から、感銘を受けた原則または教義を一つ生徒が選び、それに関連した聖句を見つける。以下の表は一つの解答例である。

段落1	1コリント11:11; 教義と聖約49:15
段落2	創世1:26 - 27; モーセ6:8 - 9
段落4	創世1:28; モーセ2:28
段落6	モーサヤ4:14; 教義と聖約68:25; 信仰簡条1:12

選んだ原則と聖句を数人の生徒が発表する。選んだ原則や教義に家族の人たちが従えるように、自分にできることを生徒が紙に

書く。

「家族は永遠に」(『賛美歌』, 187番)と「家庭の愛」(『賛美歌』, 181番)の歌詞を読む。家族が福音の原則に従うときにもたらされる喜びについて、教師が証を述べる。



## はじめに

イエスの時代、11人の使徒がイスカリオテのユダに代わる人を選ぶために集まったとき、ペテロは、新しい使徒は「わたしたちに加わって〔キリストの〕復活の証人」とならなければならないと言った(使徒1:22)。後の記録にはこのようにある。使徒たちは「主イエスの復活について、非常に力強くあかしをした。」(使徒4:33) 現代の預言者、聖見者、啓示者は「全世界におけるキリストの名の特別な証人」でもある(教義と聖約107:23)。彼らは2000年1月1日、「生けるキリスト 使徒たちの証」によって、自分たちの証を公に宣言した。大管長会を構成するゴードン・B・ヒンクレー大管長、トーマス・S・モンソン副管長、ジェームズ・E・ファウスト副管長はこの宣言について神権指導者に説明する手紙の中で、次のように記している。

「預言者ジョセフ・スミスは次のように宣言しています。『わたしたちの宗教の基本原則は、イエス・キリストが死んで、葬られ、3日目によみがえって、天に昇られたという、イエス・キリストに関する使徒と預言者たちの証です。わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は、それに付随するにすぎません。』この精神に従って、わたしたちは先人たちの証にわたしたちの証を付け加えます。

天の御父の子供たちが信仰を築けるよう助ける際に、ここに記された証を利用されますようお願いいたします。」(大管長会の手紙、1999年12月10日付)


## 学び取るべき福音の重要な原則

- イエスは生けるキリストである。預言者と使徒たちは、キリストの比類ない生涯と贖いの犠牲について証している(「生けるキリスト 使徒たちの証」参照。使徒1:1 - 8, 21 - 22; 4:33; モーサヤ3:5 - 13; 教義と聖約107:23も参照)。

## 補助資料

- ラッセル・M・ネルソン、「わたしたちの主、キリストなるイエス」『リアホナ』2000年4月号、4 - 19。

## 教え方の提案

 「生けるキリスト 使徒たちの証」を教える際にビデオ『キリストの特別な証人』(65:00; カタログ番号53584300)を使用することができる。

「生けるキリスト 使徒たちの証」。イエスは生けるキリストである。預言者と使徒たちは、キリストの比類ない生涯と贖いの犠牲について証している。(35 - 40分)

教室のあちこちに、イエス・キリストの絵を置いておく(『福

音の視覚資料セット』参照)。どの絵が好きか、それはなぜかを生徒が発表する。イエス・キリストに対する証<sup>あかし</sup>を教師が述べる。生徒に次のように聞く。「イエス・キリストに対する証を持つことは、なぜ大切なのですか。」1コリント15:3-8;エテル12:38-39;教義と聖約76:22-23を読む。以下の質問について話し合う。

- これらの証に共通していることは何でしょうか。(この人たちはそれぞれ、復活したキリストを見た。)
- 救い主が生きておられることを証できる預言者がいることは、なぜ大切なのですか。
- 救い主が生きておられることを知ることは大切です。なぜでしょうか。

今日の預言者と使徒たちは、過去の人々の証<sup>あかし</sup>に、自分たちの証を付け加えていることを説明する。クラスを同じ人数ずつで3つのグループに分ける。各グループの生徒たちは『生徒用学習ガイド』「生けるキリスト 使徒たちの証」(233ページ)を調べる。一つのグループは、救い主が地上での務めを始められる前に行われた事柄に対する使徒たちの証を見つける。もう一つのグループは、救い主が地上での務めを果たしておられたときに行われた事柄に対する使徒たちの証を見つける。もう一つのグループは、救い主が地上での務めを終えられた後に行われた事柄と今後行われる事柄に対する使徒たちの証を見つける。各グループの生徒たちは学んだことを発表し、それを黒板に書き出す。以下の表を活用するとよい。

生けるキリスト		
地上での務めを 始められる前	地上での務めを果た しておられたとき	地上での務めを 終えられた後
<ul style="list-style-type: none"> <li>● イエス・キリストは旧約のエホバであった(段落2参照)</li> <li>● イエス・キリストは御父の指示の下に地球を創造された(段落2,10参照)</li> <li>● イエス・キリストは御父の長子であった(段落4参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イエス・キリストは罪のない生活を送られた(段落2参照)</li> <li>● イエス・キリストはバプテスマを受けられた(段落2参照)</li> <li>● イエス・キリストは平和の福音を教え、すべての人々に御自分の模範に従うよう勧められた(段落2参照)</li> <li>● イエス・キリストは病人を癒し、死人をよみがえらせ、人生の目的を教えられた(段落2参照)</li> <li>● イエス・キリストは聖餐<sup>せいさん</sup>を定め、人類の罪を贖<sup>あがな</sup>い、捕らえられ、死刑を宣告され、十字架につけられた(段落3参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イエス・キリストは墓からよみがえって、死の縄目を断ち切られた(段落5参照)</li> <li>● イエス・キリストはほかの羊の間でも教えられた(段落5参照)</li> <li>● イエス・キリストは御父とともにジョセフ・スミスに御姿を現された(段落5参照)</li> <li>● イエス・キリストは御自分の神権と教会を回復された(段落11参照)</li> <li>● イエス・キリストは栄光のうちに地上に戻って、王の王として治められる(段落12参照)</li> <li>● イエス・キリストはわたしたち一人一人をその行いと心の望みに応じて裁かれる(段落12参照)</li> </ul>

以下の質問をする。

- 使徒たちはなぜこの証に「生けるキリスト」という標題をつけたと思いますか。
- 救い主は、これまで地上に生を受けた人々、さらに、これから地上に生を受けるであろう人々すべてに、どんな影響を与えておられましたか。
- 救い主が行われたこと、今後行われることはあなたの生き方にどんな影響を与えるのでしょうか。
- 「この世においては幸福に〔生活し〕、後の世においては永遠の命」を得るにはどうすればいいのでしょうか。
- 「御子という比類ない贈り物」を授けてくださった神に感謝の気持ちを表すためには、どんなことができるのでしょうか。

イエス・キリストと、福音が神のすべての子らに与える希望について、教師が証<sup>あかし</sup>を述べる。「主は生けりと知る」(『賛美歌』、75番)を歌う。または、歌詞を読む。時間の余裕があれば、生けるキリストについて生徒が証を述べる。



信仰箇条

## はじめに

「預言者〔ジョセフ・スミス〕は時折、末日聖徒の教えと実際の生活について教会外の人々に説明するように求められたことがあった。……1842年の春に、『シカゴデモクラット』(Chicago Democrat)紙の編集者ジョン・ウェントワースがジョセフ・スミスに『末日聖徒の起こりと発展、迫害、信仰』(‘Church History,’ Times and Seasons, 1842年3月1日, 706)について要約してほしいと依頼した。……ジョセフ・スミスはこの求めに応じ、最初の示現やモルモン書が世に出されたことなどを含めて、回復の業の初期の出来事を数多く記録した何ページもの文書をウェントワースに送った。その文書の中には、末日聖徒が信じている教えを13箇条に要約したものが含まれていた。この13箇条は信仰箇条として知られるようになった。……」

1851年に信仰箇条は、イギリス伝道部で発行された高価な真珠の初版本に収載された。高価な真珠は1878年に改訂され、1880年に標準聖典となり、信仰箇条は教会の公式の教義となった。』(『時満ちる時代の教会歴史』、256-257参照)

十二使徒定員会のL・トム・ベリー長老は次のように説明した。

「教会員一人一人が信仰箇条を暗唱し、その一つ一つに込められた原則を理解したら、どれほど大きな祝福がもたらされることでしょう。人々に福音を宣べ伝える備えができるのです。……」

信仰箇条は……、イエス・キリストの福音の本質的な教義を、余すところなく、しかも簡潔に述べたものです。信仰箇条はわたしたちの宗教の原則を簡潔な言葉で率直に表した声明であり、預言者ジョセフ・スミスが確かに神の靈感を受けていたことを示す強力な証拠なのです。』(『信仰箇条』『聖徒の道』1998年7月号、25, 27参照)

## 学び取るべき福音の重要な原則

- 信仰箇条は預言者ジョセフ・スミスが書いた霊感あふれる宣言である。信仰箇条には「わたしたちの宗教の原則に関する簡潔な声明」と「イエス・キリストの福音の本質的な教義」が含まれている（L・トム・ペリー「信仰箇条」『聖徒の道』1998年7月号、27。信仰箇条参照）。

## 補助資料

- 『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』、256 - 257。
- 『高価な真珠生徒用資料 - 宗教327』、70 - 86。

## 教え方の提案



**信仰箇条。** 信仰箇条は預言者ジョセフ・スミスが書いた霊感あふれる宣言である。信仰箇条には「わたしたちの宗教の原則に関する簡潔な声明」と「イエス・キリストの福音の本質的な教義」が含まれている。（30 - 35分）

注意：信仰箇条の各節に関する預言者の見解は『生徒用学習ガイド』「信仰箇条」の「聖文を理解する」（235 - 237ページ）に記載されている。

スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の話を一人の生徒が読む。

「数年前のことです。初等協会に出席している一人の男の子が、カリフォルニアへ行く列車に乗っていました。……やはりカリフォルニアへ向かう一人の紳士が、この小さな男の子が、服装がきちんとしており、行儀もよい〔ことに気づきました〕。この紳士は、その少年にとっても興味を覚えました。……

〔紳士は少年に尋ねました。〕『君はどこから来たの。どこに住んでるの。』

『ユタ州のソルトレーク・シティーです』と、少年は答えました。

『おお、それじゃ、君はモルモンだね。』

『はい、そうです。』少年は誇らしげに答えました。

『それはおもしろい。わたしは、モルモンのことや、モルモンの信仰のことについて分からないことがあるんだよ。……』

『では、ぼくたちが信じていることを御説明します。』

そこで少年は、信仰箇条を暗唱した。この実業家は、これを聞いてとても驚いた。キンボール大管長は次のように話しを続けた。

「この少年は、信仰箇条を全部暗唱し終わって、ほっとした様子でした。紳士の方は、はた目にも分かるほどかなり興奮していました。教会のプログラムの概略を話してくれたこの少年の能力に感銘しただけでなく、教会の教義そのものが見事なまでに完璧であることに敬服したのです。

紳士は言いました。『ロサンゼルスに2日ほどいて用事を

済ませたら、ニューヨークへ帰るつもりでいたんだよ。でも、会社へ電話して、1、2日遅らせることにしよう。そして帰りにソルトレーク・シティーに立ち寄って、教会の訪問者センターで、君の話してくれたことについてもっと詳しく聞いてみることにするよ。』（「神権者の特権」『聖徒の道』1976年2月号、110 - 111参照）

次のように質問する。「この話の中で、いちばん感銘を受けたのはどんなことでしょうか。」信仰箇条を1条から13条まで教師が読む。そして、生徒が復唱する。以下の質問をする。

- 信仰箇条を知っていると、福音を分かち合ったり、教会に関する質問に答えたり、聖餐会の話の準備をしたりするのに役立ちます。どんなふうに役立つでしょうか。
- 信仰箇条の由来について、どんなことを知っていますか。  
『生徒用学習ガイド』の「信仰箇条」（234ページ）を生徒たちに紹介する。以下の質問について話し合う。
- 預言者はなぜ信仰箇条を書いたのでしょうか。
- 信仰箇条はいつ、聖文になりましたか。
- L・トム・ペリー長老は信仰箇条をどんなものだと言っているでしょうか。
- 信仰箇条を学ぶことが大切なのは、なぜでしょうか。

信仰箇条を生徒たちに割り振る（1条ずつでもよいし、一人に複数割り当ててもよい）。生徒は自分の割り当てを読む。そして、そこで教えられている原則を見つける。黒板を13の欄に区切って、番号をつける。教義を見つけた生徒は、該当する欄に記入する。以下の質問をする。

- 教会員でない友だちに教えるのに役立つ教義が信仰箇条には含まれています。それはどんな教義でしょうか。
- 信仰箇条の原則の中には、わたしたちの生き方や信条を説明しているものもあります。例えばどんな原則がそうでしょうか。
- 信仰箇条について学ぶと、イエス・キリストの福音に対する証あかしが強くなります。なぜでしょうか。
- 信仰箇条を生活に密着したものにするには、どうすればいいでしょうか。

信仰箇条を学び、暗記するよう生徒に勧める。L・トム・ペリー長老が語った以下の言葉を紹介する。

「わたしは聖典から信仰箇条をコピーして洗面所の壁にはり、毎朝の歯磨きとひげそりのときに見ることにしました。すると数日で全部確実に覚えることができました。この経験を通して強く確信したことがあります。それは、信仰箇条が預言者ジョセフ・スミスに啓示として与えられたということです。そして、この信仰箇条一つ一つの内容をよく勉強すれば、福音のあらゆる原則を説明し擁護することができ、回復された真理を探究する人々に詳しく解説する機会が得られるという結論に達しました。」（「信仰箇条」『聖徒の道』1998年7月号、25参照）



## 教会歴史に残す わたしたちの足跡

### はじめに

末日聖徒イエス・キリスト教会そのものが、生ける預言者に従うことの大切さを世に示している。1847年当時の開拓者はブリガム・ヤング大管長の指示の下で、次世代の教会員が従うべき伝統を確立した。ソルトレーク盆地に入植した開拓者の信仰と忠誠は今日、世界の至る所に住む教会員に受け継がれている。人々は福音を受け入れ、教会に加わり、世界の各地で開拓者となっている。ある末日聖徒の作家は次のように語った。

「わたしたち教会員は、教会に入ったばかりの新会員に至るまで、入植者の精神を共有している。この精神は、モーセが導いたイスラエルの子らや、リーハイが約束の地に率いて行ったイスラエルの残りの者たちが持っていた入植者の精神とまったく変わるところがない。わたしたちが受け継いでいるこの入植者の精神とは、勇気と決意であり、『召し』に進んでこたえることであり、貧しい者に思いやりをもって物を分かち合う精神、喜んで協力する精神、神に献身する信仰である。」(グレン・M・レナード, "Westward the Saints: The Nineteenth-Century Mormon Migration," *Ensign*, 1980年1月号, 13)

### 学び取るべき福音の重要な原則

- 世界中で人々が教会に加わり、それぞれの民の中にシオンを築くために犠牲を払うとき、開拓者の信仰と忠誠が再び現れる。わたしたち一人一人が、神の王国を築くために大切な役割を担っている(『生徒用学習ガイド』「教会歴史に残すわたしたちの足跡」, 238, 段落1-6参照。教義と聖約6:6; 65:5-6も参照)。

### 補助資料

- ゴードン・B・ヒンクレー「国々の民を招く旗」『聖徒の道』1990年1月号, 53-56。

### 教え方の提案

『生徒用学習ガイド』「教会歴史に占めるわたしたちの立場」, 238, 段落1-6。世界中で人々が教会に加わり、それぞれの民の中にシオンを築くために犠牲を払うとき、開拓者の信仰と忠誠が再び現れる。わたしたち一人一人が、神の王国を築くために大切な役割を担っている。(40-45分)

開拓者の絵を見せる(『福音の視覚資料セット』, 410-415, 421参照)。開拓者のソルトレーク盆地到着150周年記念の祭典で、教会は「信仰こめて一歩ずつ」というテーマを選んだことを生徒に話す。以下の質問をする。

- 開拓者がいちばん苦労したのは、どんなことだったと思いますか。
- もし開拓者と話すことができるとしたら、どんなことを質問しますか。

- 皆さんと開拓者とは、どちらの方が苦労していると思いますか。それはなぜですか。

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老が語った以下の言葉を読む。

「皆さんは、開拓者が荒野を旅する間に会った逆境を克服したことについて、開拓者を賞賛することでしょう。もし皆さんが忠実であるならば、絶望という荒野を立派に歩き通し、文化という荒れ野を切り抜け、信仰を守り通した皆さんに対して開拓者たちが賞賛の声を上げる日が来ることでしょう。……そして当然のことながら、皆さんは開拓者たちがその時代に成し遂げたことに対してほめたたえることでしょう。けれども、いつの日か、あなたの先祖を含めた〔開拓者たちは〕無事に故郷に戻って来た皆さんを賞賛することでしょう。」(教会教育システム, ヤングアダルトのファイヤサイドから文書化, 1995年6月4日)

『生徒用学習ガイド』「教会歴史に残すわたしたちの足跡」の段落1-6(238ページ)を全員で読む。以下の質問について話し合う。

- わたしたちの経験しているチャレンジと開拓者が経験したチャレンジは、どんな点が違うでしょうか。
- 似ているのはどんな点でしょうか。
- どうすれば開拓者のように勇敢に試練に立ち向かえるようになれるでしょうか。
- わたしたちはどうすれば現代の「開拓者」になれるでしょうか。

自分の国や地域の末日聖徒の信仰と犠牲に感謝の気持ちを生徒が持てるよう助けることが大切である。以下の活動から適切なものを選んで実施するとよい。

- 教会に加わり、福音に従って生活するために犠牲を払った自分の家族の話を生徒がする。
- 自分が住む地域や国で、最初に教会に加わった人々の話を生徒がする。
- 地元の末日聖徒の「開拓者」をクラスに招いて、地元の教会の歴史について話してもらう。
- 地元の教会歴史にゆかりのある地を訪れたことのある生徒がそのときのことを報告する。
- 生徒の住む地域に福音がどんなふうにして伝えられたかについて、レッスンをを行う。(『リアホナ』, 『時満ちる時代の教会歴史』, 『わたしたちの受け継ぎ 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』などから資料を見つけることができるであろう。)

次のように質問する。「将来の末日聖徒の目から見て、皆さんはどんな点で開拓者ということになるでしょうか。」

生徒に白い紙を配る。生徒は自分の足型を取る。今年学んだ開拓者や初期の教会員の中から、一人を選ぶ。そして、その名前を足型の上に記入する。その人の一步一步にどんな信仰が込められていたと思うか、生徒が感じたことを名前の近くに書く。次に、自分の家族または地元の開拓者の名前を足型の下に記入して、その人がどのように信仰を表したかを書く。足型の中に自分の名前

を記入して、信仰を込めて一歩ずつ歩んで行くためにできる事柄を書く。記入した事柄を何人かの生徒が発表する。それから、出来上がった足型を教室の壁に張る。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が副管長を務めていたときに語った以下の言葉を紹介する。

「わたしたちはそれぞれ、耕すべき小さな畑を与えられています。それを耕すとき、広い視野、すなわち神が定めたこの御業の目的の全体像を見失うことのないようにしなければなりません。それは、永遠の父なる神によって与えられたもので、その偉大な織物を完成するために果たすべき役割が一人一人に託されているのです。わたしたちのなす貢献は微々たるものかもしれませんが。しかしそれは価値のないものではありません。……

改めて言うまでもなく、わたしたちが携わっているこの業は、普通のものではありません。それはキリストの御業です。永遠の父なる神の王国の御業です。それはこの地上にシオンを築くことであり、昔の預言を成就し、この神権時代に明らかにされた理想を実現することです。……

わたしの声を聞いておられる教会の皆さん。皆さんにチャレンジします。与えられた責任を果たすときに、この時満ちる神権時代の目的の大きいなるすばらしい全体像を決して見失うことのないようにしてください。あなたの手にある細い糸を使って、この壮大な旗を美しく織りあげてください。その織物の図案は天の御父から与えられたものです。出来上がったら、旗を高く掲げてください。そして、この旗にしみをつけないように、勤勉に誠実に忠実に励み、徳高い生活を送ってください。」(「国々の民を招く旗」『聖徒の道』1990年1月号、54、56参照)

「恐れず来たれ、聖徒」(『賛美歌』、17番)を歌う。または、歌詞を読む。

# 聖文の教え方

何を教えるかを決めたら、どのように教えるかを定めるために主の助けを願い求める。聖文を教える方法のアイデアを見つけるために、本章と『福音を教える 教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』(34829 300)を活用する。

## 読む

- まず、あなた自身が生徒に読んでから、続いて生徒たちに順番に声を出して読ませる。(注意：この手引きでは「教義と聖約89：1を読んで、質問する」というような指示がしばしば登場するが、あなたと生徒たちの間で読む割り当てを分けるとよい。)読んでいる間、ほかの生徒には自分の聖典を黙読させる。朗読が得意でない生徒に割り当てる場合は、その生徒を当惑させることのないように注意する。
- 聖文を読むときには、語句の意味や福音の原則、その他の事柄について説明が必要と感じた箇所ですら中断し、説明を加える。
- 聖句ブロックに簡単に読める部分が含まれている場合、その部分は黙読させてもよい。
- 聖句ブロックでだれが、だれに対して話しているかを明確にする。

## まとめる

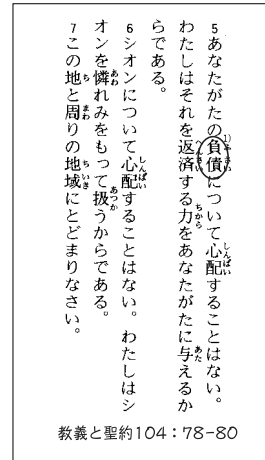
- クラスでは読まない節や章について、あなたが何を話すかを準備する。これは飛ばした節の前後の関連を生徒に理解させるのに役立つ。
- 読まない章について紹介するには章の前書きを活用する。
- 読まない節で採り上げられている物語や原則を表している絵を活用する。例えば、ジョセフ・スミス - 歴史1：5 - 13について話す場合は、聖書から知恵を求めているジョセフ・スミスの絵(『福音の視覚資料セット』402)を見せる。

## 応用する

- 「キリストの言葉をよく味わう」ならば、「キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて告げる」(2ニーファイ32：3)ので、疑問や問題の答えを見いだせることを生徒に教える。
- 聖文から助けを見いだした経験を紹介することを奨励する。あなた自身の経験も話す。
- 聖文を自分に当てはめて考えるよう生徒を助ける(1ニーファイ19：23参照)。「聖句の中のこの人はわたしたちとどのような点で似ているでしょうか」「この物語はわたしたちが経験していることとどのように似ているでしょうか」などの質問をする。
- 聖文中の人々がどのようにして問題の解決方法を見いだしたかを質問する。
- 聖文中で投げかけられている質問に答えることを奨励する。例えば、教義と聖約88：33で尋ねられている質問に答えさせる。
- 聖文中の人名や代名詞を生徒の名前に置き換えて読む。例えば、教義と聖約11：12で「あなた」に置き換えて生徒の名を入れる。(注意：特定の個人に向けられたもので、一般的には当てはまらない節に注意する。罪に関連する節や生徒を当惑させるような節を使ってはならない。)

## 相互参照

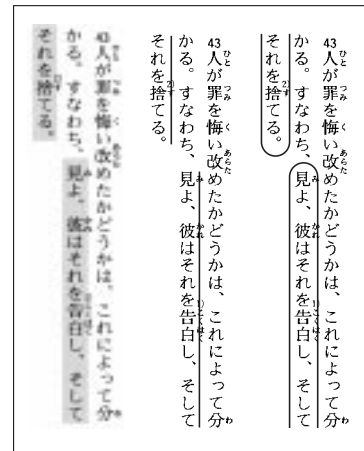
- 相互参照とは調べている節を説明したり、意味を増し加えたりしている聖句を参照することである。例えば、教義と聖約111：5を教えているときに、そのページの余白に「教義と聖約104：78 - 80」と書き込ませることで、教義と聖約111：5と教義と聖約104：78 - 80とを相互参照することができる。



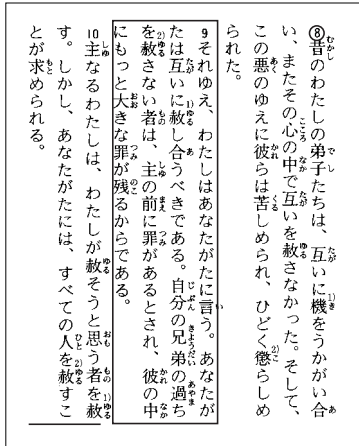
- 脚注やその他の聖文研究資料から相互参照を見つけて、利用する方法を教える。
- 今調べている節が、相互参照聖句によってどのように説明されているか、あるいはどのような意味が増し加えられているかを生徒に発表させる。
- 聖句のチェーン(聖句のくさり)を生徒に作らせる。リストの最初の聖句のページの余白に2番目の参照箇所、2番目の聖句のページの余白に3番目の参照箇所という順で最後の聖句まで相互参照箇所を書き込み、最後の聖句のページの余白には最初の聖句の箇所を書き込む。

## しるしをつける

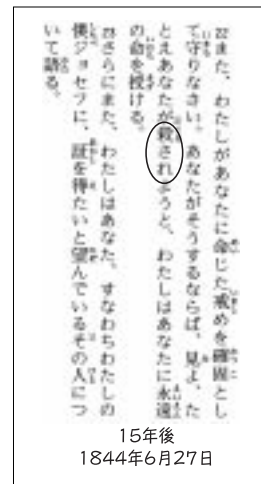
- 聖典中の大切な事項にしるしをつけて、探しやすくし、覚えやすくすることを教える。
- 語句を丸で囲む方法、傍線を引く方法、薄く塗りつぶす方法などを教える。



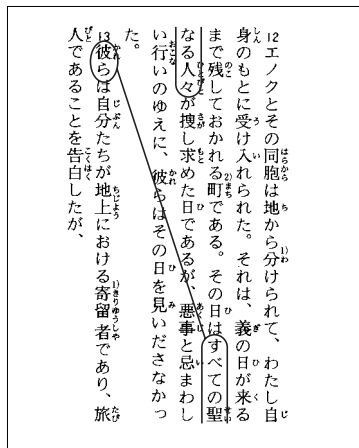
- 節の番号を丸で囲んだり、節を四角で囲んだり、余白に線を引く方法を教える。



- 余白部分にメモを記入する。



- 丸で囲んだ語句とほかの語句を線で結び。



- 聖句の語句の右肩にある脚注番号と脚注の番号を丸で囲む。参照箇所と脚注を線で結んでもよい。



## 使徒と預言者の言葉を活用する

- レッソンを準備するとき、中央幹部、特に預言者、聖見者、啓示者として支持されている人々の言葉と教えを研究する。彼らが総大会で語ったことを定期的に研究する。生徒が聖文を理解し、応用するのを助けるためにこれらの教えを活用する。
- 中央幹部の言葉と教えを生徒に読んで聞かせる。「この言葉はわたしたちが勉強している節を理解するためにどのように助けとなるでしょうか」「この聖句が伝えているメッセージを生活の中で応用する方法を理解するために、これらの言葉はどのように役立つでしょうか」などと質問する。
- あなたが生徒に読み聞かせたものや生徒が自分で見つけたものなど、中央幹部の言葉からの短い引用を聖典の余白に記入させる。

## 話し合う

- 生徒が聖文について何を学び、どのように感じているかを話すよう奨励する。主は次のように言われた。「全員が同時に語ることなく、一時に一人を語らせて、すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにしなさい。それは、すべての者が語って、すべての者が互いに教化し合うように、またすべての人が等しい特権を持てるようにするためである。」(教義と聖約88:122)
- 以下の「質問する」「比較する」「列挙する」その他の方法を読んで、話し合いを始めるためのアイデアを見つける。
- クラスをグループに分けて、各グループで調べ、話し合うことのできる事柄を聖典から与える。
- 通常話し合いで発言しない生徒に、どのように感じているか、どのように思うかなどの質問をして、話し合いに参加させる。
- 常に話し合いが前向きで、生徒を高めるものとなるよう努力する。教師と生徒が聖霊を求めるときに、「説く者と受ける者が互いに理解し合い、両者ともに教化されて、ともに喜ぶのである。」(教義と聖約50:22)

## 質問する

- 生徒が答えを探すために聖典を開くような質問をする。聖文から答えを見つけさせる。例えば、教義と聖約129：1 - 3を教える前に、天使には2種類あるが、その違いを聖文から見つけるように言う。
- 生徒にとって関心があり、答えを知りたいと思うような質問をする。例えば、教義と聖約130：18 - 19を教える前に、わたしたちは死ぬときに何を持って行くことができるか質問する。
- 聖文や福音の原則について考え、応用するように促す質問をする。答えが易しすぎたり、難しすぎたりする質問は生徒の興味を失わせることになる。「はい」「いいえ」で答えられる質問は通常話し合いを発展させることができない。
- いつ、だれが、どこで、何を、なぜ、どのように、で始まる質問をする。
- 生徒がなぜそのように答えたかを質問する。
- ほかの生徒の答えについて意見を言わせる。

## 比較する

- 聖文で説明されている幾つかの事柄がどのように類似しているか、あるいは異なっているかを確認するために比較させる。例えば、情欲を抱くことの影響（教義と聖約63：16参照）と慈愛と徳で思いを満たすことの影響（教義と聖約121：45 - 46参照）を比較する。
- リストを比較させる（「列挙する」を参照）。例えば、生徒に滅びの子となる条件（教義と聖約76：32 - 38, 44 - 48参照）と日の栄えの王国を受け継ぐための条件（55 - 70節参照）を列挙させ、次に二つのリストを比較させる。
- 「のよう」などの語を探させる。一つの事柄が別の事柄と類似していることを示すために、聖典ではしばしばこの語が用いられる。例えば、教義と聖約29：2で、救い主は御自分の民を「めんどりが羽の下にひなを集めるように集めよう」とおっしゃっている。

## 列挙する

- 研究している出来事や概念のリストを作成すると役立つ場合がある。生徒に見せるためにあなたがリストを作ってもよいし、生徒にリストを紙に書き出させたり、心の中でリストを思い浮かべさせたりすることもできる。あなたがリストを作成する場合は、リストからあなたが何を学んだかについて話し合うべきである。
- 生徒に聖文の物語に出てくる出来事を見つけさせ、書き出させる。それから書いた事柄について話し合う。例えば、生徒に栄光の三つの階級に関する示現の前に起きた事柄（教義と聖約76：11, 15 - 19参照）と霊界に関する示現の前に起きた事柄（教義と聖約138：1 - 11）を調べさせることができる。それから、生活の中で啓示を受けるためにできる事柄について話し合うことができる。
- 聖文に登場する人の行動の理由を挙げて、話し合いを展開させる。例えば、ジョセフ・スミスが聖なる森へ行き祈った理由（ジョセフ・スミス - 歴史1：5 - 14）を調べて、話し合うことができる。

- 福音の原則の様々な側面をとらえて話し合う。例えば、教義と聖約19：15 - 20から生徒に贖いと救い主の愛について学んだ事柄を列挙させて、話し合う。
- リストに挙げることでできる聖文中の事項にしるしか番号をつける。例えば、教義と聖約43：25で、主が人々に悔い改めて御自分のもとに来るように呼びかけられる様々な方法にしるしや番号をつけることができる。

## 暗記する

- 聖句を何回か声に出して言わせる。
- 聖句を何回か紙に書かせる。
- 聖句を黒板に書いて、生徒に何回か読ませる。少しずつ語に覆いをかぶせるか、消していきながら、聖句を最初から繰り返し言って、すべてが言えるようになるまで続ける。

## 賛美歌を使う

- 聖句ブロックの教えに関連のある賛美歌を歌ってクラスを始めるか、終える。
- 生徒の中から個人またはグループに賛美歌を歌わせるか演奏させる。
- レッスン中に聖句ブロックの教えに関連のある賛美歌を歌うか、歌詞を読む。例えば、教義と聖約4：2 - 3を教える際に「われらは天の王に」（『賛美歌』157番）を歌うか、歌詞を読むことができる。

## 実物を見せる

- 聖文で述べられていて、生徒が見たことのないと思われる実物を見せる。例えば、生徒に教義と聖約4：4を理解させるために鎌の絵を描いたり、実物を見せたりすることができる。
- 生徒が過去に見たことがあっても、聖句ブロックへの関心と理解を高めるものを見せる。例えば、教義と聖約88：125について話し合うときに、コートを見せて、この聖句の「外套」はコートやマントのようなものであると教えることができる。
- 聖文に述べられているものを絵に描かせる（「絵を描く」参照）。例えば、教義と聖約27：15 - 18を読んでから、この聖句に出てくる「武具」を描かせる。

## 絵を描く

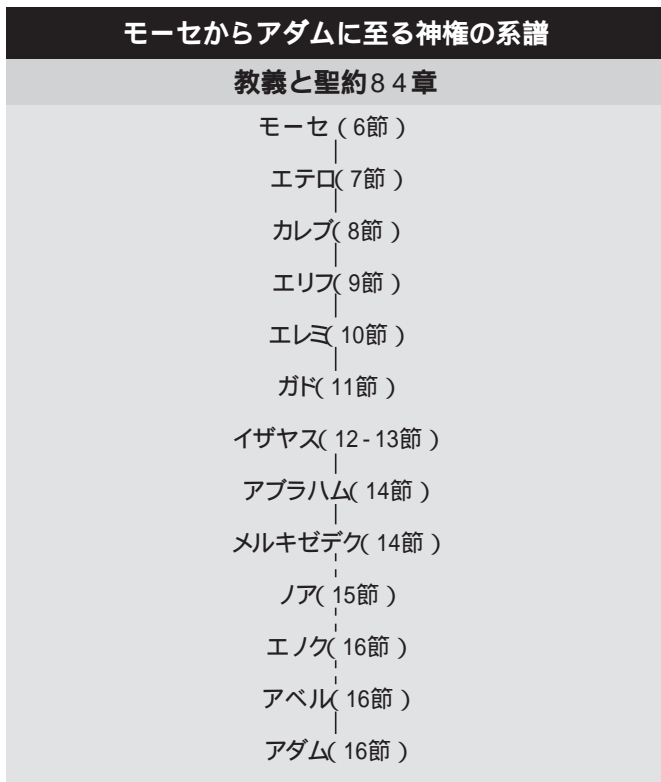
- 生徒が聖句ブロックを理解する助けとなるように絵を描かせる。
- 聖文に登場する人々、物、出来事がどのようなものかを想像して生徒に絵を描かせる。絵を描くことによって生徒は読んだり話し合ったりしたことを記憶しやすくなる。絵を描くように求めるときに、生徒を当惑させることのないように注意する。
- 聖文に登場する人々が住んでいた場所、移って行った場所、出来事が起こった場所を示す地図を生徒に描かせる。例えば、教義と聖約98章を学ぶ前に、オハイオからミズーリまでの距離を示す地図を描かせることができる。預言者ジョセフ・スミスがミズーリの聖徒から非常に遠く離れていたにもかかわらず

らず、主が彼に民の状況を示して下さったことを生徒が理解できるように助ける。

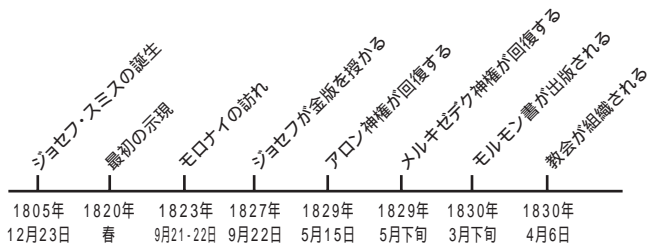
- 物語で起きたことを説明したり、だれかの教えを明確にしたりするための図表を生徒に作成させる。例えば、神権のそれぞれの職がより小さな職にかかわる責任を含んでいることを示す図を作る。最初に図の中に参照聖句だけを書いておき、生徒に職の名前を記入させる。



- 生徒に人や出来事の順番を示す図を作らせる。例えば、モーセからアダムに至る神権の系譜を示す図を作る。



- 1本の線を引き、起きた順に沿って年と出来事を記入して、生徒に年表を作成させる。例えば、教会の設立に至るまでの出来事示す年表を作る。



## 演じる

- 聖文の物語を生徒に演じさせる。聖文にあるとおりの言葉や行動を用いて演じる。
- 聖文中の人々がどのように感じたと思うかを生徒に述べさせる。ほかの生徒が演じる物語を見て、感じたことや学んだことを話し合う。

## 探す

生徒に聖句を読ませるときに、読んでいる間に見つける事柄をあらかじめ知らせておく。読み始める前に、注意すべき原則や詳細を心に留めることによって、生徒はいつそう注意を払い、読んだ事柄を長く記憶にとどめることができる。以下のような事柄を見つけるように言うことができる。

- 人々の生活に見られる福音の原則
- 聖句の中で投げかけられている質問
- 慈愛の特質などのように、聖文に列挙されている事柄 (1コリント13章参照)
- 「シオン」などのような語句や概念の定義 (教義と聖約97:21参照)
- 生徒が理解しにくいと思われる難しい語句
- 比喩、予型、象徴
- 預言の解説 (例えば、モルモン書の聖句に見られる「このようにして……分かるのである」)
- 「もし……ならば、そのとき……」の関係 (イザヤ58:13-14参照)
- 神に喜ばれる特質または神に忌み嫌われる特質
- パターン (例えば、<sup>せいざん</sup>聖餐の祈りにおける聖約の形式; 教義と聖約20:77, 79参照)

注意: 本書で、「探す」「見つける」「調べる」の語句が出てきたら、ここで説明されている「探す」方法を活用する。

# マスター聖句の習得

## はじめに

マスター聖句の習得とはマスター聖句を探し出し、その意味を理解し、生活の中で応用することを意味している。マスター聖句は全部で100ある（セミナーの各聖典コースに25のマスター聖句がある）。教師であるあなたは、生徒がマスター聖句を「習得」し復習するよう助ける責任がある。

教師として成功するかどうかは、教師自身の取り組み方に大きく左右される。例えば、教師が聖句をよく学んでおり、生徒がそれに倣うよう期待されていると感じれば、生徒が進んで学ぶ可能性が高くなる。生徒がキリストの言葉をよく味わい、探し求め、そして生活に応用できるよう助けるために十分な時間を取る必要がある。

マスター聖句の習得は順を追って進める毎日の聖文学習を補うものであって、それに取って代わるものではない。マスター聖句の習得に時間を割きすぎて、通常の教科課程をおろそかにすることのないように注意する。家庭学習セミナーの教師は、毎週のクラスが週に一度の聖句探しに終始することのないように、特に注意する必要がある。以下の事項を検討する。

- 定例のレッスン中にマスター聖句が出てきたら、それがマスター聖句であることを知らせる。
- 週1日または毎日少しの時間をマスター聖句の習得のために使う。
- 少なくとも1学期に1度は、クラスでマスター聖句の暗記をする。
- 予定の時間よりもレッスンが早く終わったときは、残りの時間をマスター聖句のために使う。
- マスター聖句に関連つけた開会行事を生徒が計画する。
- マスター聖句に関する掲示板を設ける。

ハワード・W・ハンター大管長は十二使徒定員会会長時代に次のように述べている。「わたしたちは、聖句の場所を見つけて示せるほどには聖文をよく理解していないために、自分が必要な助けを見いだすことができないと恥じ入ったり、恐れや気後れを抱いたりしたまま、クラスを出て行く生徒が一人もいないようにと望んでいます。」( *Eternal Investments* [宗教教育者への説教, 1989年2月10日], 2)

## 生徒がマスター聖句を探せるよう助けるためのアイデア

- マスター聖句の場所を探すために聖書、モルモン書、高価な真珠の目次を開く。
- マスター聖句の場所、<sup>かぎ</sup>鍵となる語句を覚える。
- ヒントを与えて、マスター聖句を探す。語句を挙げたり、実物や絵を見せたりするとよい。
- 以前の年度に学んだ聖句を復習することによって、卒業時には100のマスター聖句すべてを習得できているようにする。

## 生徒がマスター聖句を理解するためのアイデア

- 生徒とともに聖句を読む。そして、難解な語句を理解できるよう助ける（生徒用学習ガイドの「聖文を理解する」参照）。
- 本書の教え方の提案と生徒用学習ガイドの活動を使って、聖句を説明する。
- マスター聖句で教えられている原則を説明するためにほかの聖句を見つける方法を教える（「聖文研究のための補助資料」11 - 12ページ参照）。相互参照箇所を各自の聖典の余白に記入するとよい。
- 聖典にしるしをつける方法を教える（「聖文の教え方」の「しるしをつける」270 - 271ページ参照）。
- 聖句について質問する。例えば、だれがだれに語っている聖句か、どういうことを言っているのか、語りかけられた人はどのように感じただろうか、などの質問がある。
- マスター聖句の歴史的背景（人々、場所、時期）について話し合う。
- マスター聖句の前後関係を理解するために前後の章、節を参照する。
- ほかの人々に福音を教えるためにその聖句をどのように使ったらよいか、生徒が意見を出す。
- 生徒が自分の言葉で聖句を書き直す。聖句に関する質問を書き出す。聖句に関連した絵を描く。
- マスター聖句を暗記し、何も見ないで聖句を書いたり、言ったりするよう奨励する。

## マスター聖句を生徒が応用するためのアイデア

- 生徒がマスター聖句の意味を考え、それを書く。その聖句が生徒の疑問や問題を解決するのにどんなふう役に役立つか話し合う。（生徒用ガイドの「読んだ後で」5 - 6ページ参照）
- 因果関係を探る。
- マスター聖句を使った短い話を生徒がクラスで話す。教会で話をする割り当てを受けたときに、マスター聖句を使うよう勧める。
- ほかの人々に福音を教えるために、マスター聖句をどのように使ったらよいか聞く。
- 教会や総大会でマスター聖句がどんなふうに使われていたか生徒が発表する。
- マスター聖句を家庭の夕べで家族に教えるように生徒に勧める。
- 聖句に関するポスターを生徒が作る。それを家庭や教室に張っておく。

- クラスを二つのグループに分ける。マスター聖句を使って答えられる問題や質問を各グループの生徒が書く。次に書いた紙をグループ同士で交換する。そして、相手のグループの問題や質問に答えられるようなマスター聖句を探す。

## まとめ

A・セオドア・タトル長老は七十人定員会会員を務めていたときに、このように述べた。

「聖典の勉強ほど霊的な成長の糧となるものはあまりありません。救い主は、『聖文を持っている者は聖文を調べて、……確かめなさい』と言われました(3ニーファイ10:14)。聖典をよく調べる人は、すばらしい霊的な真理を語り、キリストを偉大な模範として信頼することができるようになる、と主は約束しておられます。主と聖約を交わし、儀式を受け、奉仕したいという望みが強められるのです。」(「聖約、儀式、奉仕」『聖徒の道』1984年7月号、42参照)



# マスター聖句の教え方

## 視聴覚資料

マスター聖句を習得するために、絵、音声の録音、録画ビデオを使うことができる。聖句に関連のある絵を見せたり、録音（録画）を再生したりしてから、生徒が聖句を見つける。その後クラス全体で話し合う。あるいは生徒に新聞を渡して、5分間で聖句に関連のある見出し、記事、写真をできるだけたくさん見つけさせる。同じ活動をニュースや音楽、その他の音声録音またはビデオ録画を使って行うことができる。

注意：性的な含みのある下品な視聴覚資料や、その他セミナーのクラスに適切でない資料を使ってはならない。また、著作権を侵害することのないように注意する。（“ビデオカセット”，CES Policy Manual: Outside U.S. and Canada [2001年]，16参照）

## 掲示板

掲示板やポスターを使って、習得すべき聖句を日替わりで強調することができる。年度の初めにマスター聖句用の掲示板を作って、週ごとに強調するマスター聖句を掲示する。あるいは「どの聖句が分かるかな？」と題した掲示板を作って、その週に強調する聖句のヒントを毎日掲示する方法もある。そして、生徒はヒントを参考にしてこの聖句だと思ふものを書いて提出する。

## 聖句のチェーン（くさり）作り

マスター聖句に関連のある聖句を4つか5つ選ぶ。そして、生徒が聖句のチェーン（くさり）を作る。最初と2番目の聖句、2番目と3番目の聖句というように、次々と相互参照していき、最後の聖句と最初の聖句を結びつける。毎日または毎週のレッスンに出てくる聖句を使ったり、脚注や聖句ガイドから聖句を探したりしてもよい。チェーンの最初に来るマスター聖句を示すしるしとして、聖句ガイドの中のその聖句を丸で囲んでおくともよい。

## 問題

聖句の価値を分かってもらう一つの方法は、生徒たちの生活に聖句を当てはめてみるように勧めることである。クラスで生徒が質問したり、生徒が悩みを打ち明けてきたりしたら、聖文の中から答えを見つけられるよう助ける。可能であれば、マスター聖句を使う。特定の聖句を当てはめることができる問題や状況に普段から気を配っておき、クラスで例として活用する。クラスの質問箱を用意する。質問箱の中の質問を生徒に割り振る。そして、聖文の中から生徒が答えを見つける。黒板にマスター聖句の場所を幾つか書いておく。その中から生徒の質問の答えとなる聖句を選ぶ。そして、なぜその聖句を選んだのか生徒が説明する。

## 話

マスター聖句に基づいた話をするよう生徒に割り当てる。話の準備はクラスで行ってもよいし、家庭で行ってもよい。マスター聖句のほかに、聖句ガイドや個人の経験に基づいて話を準備するとよい。話は導入部、マスター聖句、物語または例、そこで教えられている原則についての証で構成されるようにする。

## 『聖文の中に答えがある』

黒板の隅に「聖文の中に答えがある」と書いておく。この文の下に、毎日新しい質問と、その答えが出ているマスター聖句の場所を書く。例えば「伝道のためにどんな準備ができるでしょうか」（アルマ37：35参照）と書いてもよい。生徒がこの方法に慣れてきたら、生徒が質問と答えを考えるとよい。

## 今週の聖句

一つの聖句を採り上げて、一週間様々な方法で引用する。

- 毎日クラスでその聖句を読む。
- 一人の生徒が開会行事で読む。
- 掲示板に張る。
- 毎日ノートに書く。
- 毎日少しずつ暗記する。

## ロールプレー

ロールプレーとは、原則を応用した物語や場面を生徒が演じることである。マスター聖句が当てはまる場面を生徒がロールプレーで演じる。クラスを幾つかのグループに分けてマスター聖句を割り当て、ロールプレーの計画に5分間与える。各グループがロールプレーを行う。そして、どのマスター聖句を演じているかをほかのグループが当てる。

## ワークシート

ワークシートをクラスで完成させたり、個人学習の一部として実施したりすることは、聖句を習得するうえで効果的である。これには質問、言葉探し、空所を埋める活動、自習活動などが含まれる。本項で採り上げられている教え方の多くは、ワークシートを使って実施できる。

## 名前を置き換える

マスター聖句に登場する人物の名前を生徒自身の名前に置き換える。こうすると、生徒は聖文を身近に感じるようになる。（注意：特定の個人に向けられていて、一般には当てはまらない聖句に注意する。罪に関連した節や生徒が当惑するような聖句を使ってはならない。）

## 節と語を理解する

意味を変えないように注意しながらマスター聖句を生徒が要約する。あるいは、省いたら意味が変わってしまう語句を探してもよい。聖句を25字以内でまとめるとしたら、なくてはならない語はどれか話し合う。

## 章の前書き

生徒が正しい文脈を知ったうえでマスター聖句を理解できるように、章の前書きについて質問する。

## キーワードを見つける

マスター聖句の中で最も大切だと思う語を丸で囲む。または、その語に傍線を引く。必要であれば、このキーワードを幾つ見つけなければならないか前もって言う。

## 個人への応用

マスター聖句を自分の生活に当てはめるにはどうしたらいいか生徒に聞く。生徒が聖句の教えについて感じていることを引き出すような質問を選ぶ。聖句の中でどこが印象的かを聞くだけでなく、その聖句が具体的にどんな原則について述べているのかも聞く。聖句が教えている原則にもっとよく従えるようになるためには何が出来るかを生徒が紙に書く。

## 質問を書く

マスター聖句を読む。そして、分からない概念についての質問を生徒が書く。

## クロスワードパズル

マスター聖句の中のキーワードまたは概念を使って、クロスワードパズルが言葉探しを作る。参照聖句や概要をヒントとして活用するとよい。2年目、3年目、4年目の生徒がいる場合は、以前の年度のマスター聖句も入れるとよい。

## 正誤問題

一つの文を提示する。その内容は正しいかもしれないが、間違っているかもしれない。マスター聖句に基づいて、その文章の正誤を生徒が証明する。例えば、「聖霊は骨肉の体を持っておられます。」(誤。教義と聖約130:22-23参照)

## 教師を困らせる

生徒が教師を困らせるようなことを言うことにする。生徒一人一人にマスター聖句を書いたカードを配る。カードには、その聖句の言葉、歴史のおよび教義的背景、伝道や個人への応用も書いておく。生徒がカードを読み上げる。それから、教師がその聖句の場所を当てる。教師が正解すれば教師の得点、間違えればクラスの得点となる。年間の得点合計を記録しておく。よい。

## 聖句探し

マスター聖句を一つ提示して、生徒がどのくらい早くその聖句を自分の聖典の中から見つけられるかを見る。その際、聖句の場所を提示してもよいし、キーワード、聖句の説明を提示してもよい。聖典の構成を学ぶこともできる。その場合には、教師が言った書を生徒が自分の聖典から見つけるという方法を使う。注意：競争はすべての生徒にとって最良の学習方法であるとは限らない。競争することによって、福音を教える精神から外れないよう注意する必要がある。

## 聖句のジェスチャーゲーム

生徒をグループに分ける。そして、各グループに別々のマスター聖句を与える。各グループの生徒は割り当てられた聖句に関連

する状況を考える。ある程度の時間を使って用意してから、その状況を各グループの生徒が演じる。その際、声を出してはならない。ほかのグループの生徒は演じられた状況に当てはまる聖句を当てる。

## 暗唱

全員で聖句を何度か声に出して読む。聖典を見ないとも言えると感じたら聖典を閉じる。暗記したら一人ずつ聖句を暗唱する。

## テスト

マスター聖句を暗記するためにテストを行う。テストの点数は、成績評価の対象に組み込んでよい。また、点数に応じて別の形で表彰してもよい。以下を実施することができる。

- 何も見ないで聖句を紙に書く。
- 教師またはほかの生徒の前で聖句を暗唱する。
- 空所を設けた聖句のコピーを配り、空所を埋める。
- 聖句の語順を並べ替えておいて、それを正しい順に並べ替える。
- ヒントとして各語(または句)の出だしの文字を教えて、聖句を完成する。
- 口頭によるテストを行う。一人の生徒が最初の語(または句)を言う、次にほかの生徒を指名して次の語を言う、といったやり方でこのテストを続けていく。

## 規則に規則を加える

マスター聖句を語句に分ける。最初の語句を暗唱できるまで繰り返し言う。その次の語句を付け加えて、二つの語句を暗唱できるまで繰り返し言う。さらにその次の語句を加えて、同様に行う。すでに学んだ語句を暗唱するときは速度を上げ、新しい語句を暗唱するときは速度を下げる。

## 語を消す

マスター聖句を黒板に書き出す。何度か繰り返し読んで読む。それから、二つか三つの語を消して、全文を言う。すべての語を消して、生徒が全文を言えるようになるまでこの方法を続ける。

「**アダム**が**墮落**したのは**人**が**存在**するためであり、  
人が存在するのは**喜び**を得るためである。」  
(2ニーファイ2:25)

「**アダム**が のは 人が ためであり、  
人が のは 得るためである。」  
(2ニーファイ2:25)

## 最初の文字

マスター聖句を黒板に書き出す。何度か繰り返し読んで読む。それから、各語の最初の文字だけを残してすべてを消し、残った文字を手がかりにして聖句を言う。生徒が暗記したら、すべての文字

を消して、最後に一度全文を暗唱する。

「アダムが墮落したのは人が存在するためであり、  
人が存在するのは喜びを得るためである。」  
(2ニーファイ2:25)

---

「ア       だ       ひ       そ       ,  
ひ       そ       よ       え       。」  
(2ニーファイ2:25)

# マスター聖句一覧表

モルモン書	旧約聖書	新約聖書	教義と聖約
1ニーファイ3 : 7	モーセ1 : 39	マタイ5 : 14 - 16	ジョセフ・スミス 歴史1 : 15 - 20
1ニーファイ19 : 23	モーセ7 : 18	マタイ6 : 24	教義と聖約1 : 37 - 38
2ニーファイ2 : 25	アブラハム3 : 22 - 23	マタイ16 : 15 - 19	教義と聖約8 : 2 - 3
2ニーファイ2 : 27	創世1 : 26 - 27	マタイ25 : 40	教義と聖約10 : 5
2ニーファイ9 : 28 - 29	創世39 : 9	ルカ24 : 36 - 39	教義と聖約14 : 7
2ニーファイ28 : 7 - 9	出エジプト20 : 3 - 17	ヨハネ3 : 5	教義と聖約18 : 10 , 15 - 16
2ニーファイ32 : 3	出エジプト33 : 11	ヨハネ7 : 17	教義と聖約19 : 16 - 19
2ニーファイ32 : 8 - 9	レビ19 : 18	ヨハネ10 : 16	教義と聖約25 : 12
ヤコブ2 : 18 - 19	申命7 : 3 - 4	ヨハネ14 : 15	教義と聖約58 : 26 - 27
モーサヤ2 : 17	ヨシュア1 : 8	ヨハネ17 : 3	教義と聖約58 : 42 - 43
モーサヤ3 : 19	ヨシュア24 : 15	使徒7 : 55 - 56	教義と聖約59 : 9 - 10
モーサヤ4 : 30	サムエル上16 : 7	ローマ1 : 16	教義と聖約64 : 9 - 11
アルマ32 : 21	ヨブ19 : 25 - 26	1コリント10 : 13	教義と聖約64 : 23
アルマ34 : 32 - 34	詩篇24 : 3 - 4	1コリント15 : 20 - 22	教義と聖約76 : 22 - 24
アルマ37 : 6 - 7	箴言3 : 5 - 6	1コリント15 : 29	教義と聖約82 : 3
アルマ37 : 35	イザヤ1 : 18	1コリント15 : 40 - 42	教義と聖約82 : 10
アルマ41 : 10	イザヤ29 : 13 - 24	エペソ4 : 11 - 14	教義と聖約84 : 33 - 39
ヒラマン5 : 12	イザヤ53 : 3 - 5	2テサロニケ2 : 1 - 3	教義と聖約88 : 123 - 124
3ニーファイ11 : 29	イザヤ55 : 8 - 9	2テモテ3 : 1 - 5	教義と聖約89 : 18 - 21
3ニーファイ27 : 27	エレミヤ16 : 16	2テモテ3 : 16 - 17	教義と聖約121 : 34 - 36
エテル12 : 6	エゼキエル37 : 15 - 17	ヘブル5 : 4	教義と聖約130 : 18 - 19
エテル12 : 27	ダニエル2 : 44 - 45	ヤコブの手紙1 : 5 - 6	教義と聖約130 : 20 - 21
モロナイ7 : 16 - 17	アモス3 : 7	ヤコブの手紙2 : 17 - 18	教義と聖約130 : 22 - 23
モロナイ7 : 45	マラキ3 : 8 - 10	黙示14 : 6 - 7	教義と聖約131 : 1 - 4
モロナイ10 : 4 - 5	マラキ4 : 5 - 6	黙示20 : 12 - 13	教義と聖約137 : 7 - 10

# 偉大な幸福の計画

## はじめに

十二使徒定員会会員のボイド・K・パッカー長老は1993年に、教会教育システムの教師たちに向けて、各年度の初めには、コースで学ぶ内容の概要に加えて救いの計画の全体像を教えるべきであると話している。

『幸福の計画』(それは、計画ということについて話す際に、わたしのとおきのおきの大好きなテーマなのですが)の全体像を簡潔にまとめたものが最初に示され、また度々確認できるなら、それは生徒たちにとって非常に価値あるものとなるでしょう。

皆さんに一つの課題を差し上げたいと思います。……皆さんへの課題は、幸福の計画、すなわち救いの計画の概要あるいは全体像をまとめたものを準備することです。一つの基本構造としてそれを計画してください。生徒たちはその上に、皆さんから学ぶ真理を系統立てていくことができます。

皆さんは最初にそれを、簡単な仕事だと考えるかもしれませんが。しかし、わたしは断言します。それは、それほど簡単なものではありません。簡潔に分かりやすくするのは、かなり難しいことなのです。最初は、あまりに多くのものを盛り込もうという誘惑を感じることでしょう。この計画の全容を見れば、福音の真理のすべてが含まれているのです。……

これは、教師としての皆さんの仕事の中で、最も難しいものとなるかもしれません。そして最も報いある仕事になるのは確かなことです。

皆さんが作る幸福の計画の概要は、聖典の真理の全容が簡単に把握できるものでなければなりません。そうすれば、生徒たちが、その計画について自分で確認することができます。……

その手始めとして、幸福の計画の骨組みを示したいと思います。しかし、皆さんは自分で肉付けをする必要があります。

偉大な幸福の計画、すなわち<sup>あがな</sup>贖いの計画、救いの計画の基本的な構成要素は以下のとおりです。

前世

霊の創造

選択の自由

天での戦い

物質的な創造

墮落と死すべき状態

イエス・キリストの福音の原則と儀式(第一の原則: 主イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ……)

<sup>しよくざい</sup>贖罪

墓を超えた生活

霊界

裁き

復活」

(The Great Plan of Happiness [教義と聖約/教会歴史に関するシンポジウムにおける宗教教育者への講話, プリガム・ヤング大学, 1993年8月10日], 2-3; または, Charge to Religious Educators, 第3版 [1994年], 113-114)

以下の情報は、教師が偉大な幸福の計画への理解を深め、自分自身で概要を作るのを援助するためのものである。教師は救いの計画について、パッカー長老が薦めている簡単な概要以上のものを教えたいという誘惑を受けるかもしれない。しかし、救いの計画の詳細については、教義と聖約を研究するコースの中で論じていくということを念頭に置いて、その誘惑に負けないようにする必要がある。今年度のコースを教えていく中で、自分が作った救いの計画の概要を、何度も活用するとよい。

## 救いの計画は3幕物の演劇にたとえられる

1995年のファイヤサイドにおけるヤングアダルトへの講話の中で、十二使徒定員会会長代理のボイド・K・パッカー長老は次のように述べている。

「誕生から死に至る現世の生涯の歩みは、永遠の律法に従ったものであり、啓示の中で偉大な幸福の計画と述べられている一つの計画に添って進むものです。わたしが皆さんの心に植え付けたい一つの概念、一つの真理は、こうです。この計画には3つの部分があります。皆さんはその中の、2番目すなわち真ん中の部分にいます。皆さんは其中で、誘惑、試練によって試されるでしょう。ことによると、悲劇によって試される場合もあります。そのことを理解してください。そうすれば人生の意味をさらによくわきまえ、疑い、失望、落胆などの病に立ち向かうことができるようになります。

3つに区分される<sup>あがな</sup>贖いの計画は、3幕物の壮大な演劇にたとえることができます。第1幕のタイトルは『前世』です。聖典はそれを第一の位と呼んでいます(ユダ1:6; アブラハム3:26, 28参照)。第2幕は、誕生から復活の時までを扱う『第二の位』です。そして第3幕は『死後の生活』あるいは『永遠の命』と呼ばれています。

現世におけるわたしたちは、第2幕のカーテンが開くのと同時に、舞台上上がった役者のような存在です。第1幕のことは忘れていきます。この作品は、数多くの筋が絡み合って、登場人物のどれとどれがどういう関係にあり、何と何がどう絡み合い、だれがヒーローで、だれが悪役であるか、ということを決断するのが決して簡単ではありません。また、わたしたち自身が単なる観客ではないために、なおいっそう複雑になっています。」(The Play and the Plan [ヤングアダルトのためのCESファイヤサイド, 1995年5月7日], 1-2)

## 前世

この世に生を受ける前のわたしたちは、天の御父と一緒に住んでいた(ヨブ38:4-7; エレミヤ1:5; アブラハム3:21-23参照)。天の御父は栄光化された、完全無欠の、日の栄えの状態にある御方である(教義と聖約130:22参照)。預言者ジョセフ・スミスは次のように教えている。「神御自身は、かつては今のわたしたちのようであり、今は昇栄された人となり、かなたの天の王座に座っておられる。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, ジョセフ・フィールディング・スミス編 [1976年], 345)

天の御父はわたしたちの霊の体の父親である(民数16:22; 使徒17:29; ヘブル12:9; モーセ3:5参照)。御父はすべての神聖

な特質と喜びに満ちた御方であり、御自分のすべての子供たちが、御自身に似た者となることを望んでおられる（マタイ5：48；2ニーファイ9：18；モーセ1：39参照）。

### 霊の創造

アブラハムは、天の御父のすべての子供たちが、「英知」すなわち世界が存在する前に組織された霊として存在していた様子を見た（アブラハム3：18 - 23参照）。パッカー長老はこう教えている。「男も女も、人の霊は永遠です（教義と聖約93：29 - 31参照；ジョセフ・スミス、*Teachings of the Prophet Joseph Smith* ..... , 158, 208も参照）。わたしたちは皆、神の息子、娘であり、前世においては神の霊の子供として生きていました（民数16：22；ヘブル12：9；教義と聖約76：24参照）。各人の霊は、男も女も、現世の人間としての存在に似た存在でした（教義と聖約77：2；132：63；モーセ6：9 - 10；アブラハム4：27参照）。すべての人は、天の両親の形に創造されているのです。」（*The Play and the Plan*, 3）

『家族 世界への宣言』の中で、大管長会は次のように述べている。「すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。」（『聖徒の道』1996年6月号、10；教義と聖約29：31 - 32；モーセ3：5；『旧約聖書：創世 - サムエル下』〔宗教コース301生徒用資料、1981年〕17 - 18参照）

### 選択の自由

1. 人は皆、神聖な律法の支配下にあります。その律法に従順であれば、祝福を授けられます。しかし、不従順であれば、苦しみと罰を受けることになります。
2. 人は皆、善悪を自由に選択できるという神聖な賜物<sup>たまもの</sup>を持っています。人は何を、どこで、どのように礼拝するかを、自分で判断することができます。しかし、日の栄えの律法を学び、それに従わなければ、昇栄することはできません。
3. 人は善悪の知識を得、第三者からの感化を受けて初めて、自分自身で行動するという選択ができるのです。」（“Basic Doctrine,” *Charge to Religious Educators*, 第3版〔1994年〕, 85）

神に似た者となるためには、選択の自由を適切に用いることが不可欠である（2ニーファイ2：14 - 16参照）。しかし、選択する自由を与えれば、それに伴って幾つかの結果が生じてくる。選択の自由は、わたしたちの成長にとって必要不可欠なものではあるが、当然のことながら、わたしたちはいつも正しい選択をすることは限らない。使徒パウロが書いているように、「すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなって」いる（ローマ3：23）。このような結果になるのは、前世の会議において御父が御自身の子供たちに示された計画の中でも想定されたことであり、それに対する備えもなされた。

### 天上での会議と戦い

わたしたちは前世において御父から霊の体を頂いたことにより、さらに御父に似た者となったが、それでもなお、多くの必須の特質に欠けていた。御父は栄光化された肉体を持つ昇栄された完全な御方だが、わたしたちはそうではなかった。御父は天上で会議を開き、御自身の子供たちをそこに召集し、わたしたちが神

に似た者となるように助けるための計画を示された（モーセ4：1 - 4；アブラハム3：22 - 27参照）。

パッカー長老は次のように話している。

「この神々の会議において、天の御父の計画が支持されました（アルマ34：9参照。*Teachings [of the Prophet Joseph Smith]*, 349 - 350も参照）。この計画には、神の子供たちが肉体を受け、戒めに従うかどうかを試される場所として、地球が創造されることも含まれていました（モーセ6：3 - 10, 22, 59；アブラハム3：24 - 25；4：26 - 27参照）。すべての霊たちは、前世において学び、従順であることを示す機会を与えられていました。そして、一人一人に選択の自由が与えられていたのです（アルマ13：3 - 5参照）。

天上において大きな会議が召集されました（*Teachings*, 349 - 350, 357参照）。神の計画では、御父の御心が果たされるために、救い主として贖い主として、一人の人が遣わされる必要がありました。永遠の御父の長子であったエホバが、自ら申し出られ、選ばれました（モーセ4：1 - 2；アブラハム3：19, 22 - 27参照）。

多くの霊はこの選を支持しました。しかし、これに背く者があり、天で戦いが起こりました。御父の計画に対して反抗したサタンと彼に従う者たちは、追放され、肉体を受ける権利を拒められました（黙示12：7 - 13；教義と聖約29：36；76：28；モーセ4：3参照）。

第一の位を守った人々（皆さんもその中に入ります）は肉体を与えられ、第二の位として備えられた地球に住むことを許されました（アブラハム3：26参照）。そして一人一人が、いつ、どの地に生まれるかを定められたのです（申命32：8；使徒17：26参照）。預言者となるように予任された人々もいました（アルマ13：7 - 9；アブラハム3：23参照。*Teachings*, 365も参照）。（*The Play and the Plan*, 3. 『聖句ガイド』179ページの「天での戦い」も参照）

## 物質的なものの創造

地球とその上にある万物の物質的な創造は、わたしたちが神に似た者となるようにするために、欠かすことのできないもう一つのステップである（モーセ1：33 - 39；アブラハム3：24 - 26参照）。神が地球を創造されたとき、それは「非常に良かった」（モーセ2：31）。そして、美しく豊かな場所だった（創世1 - 2章；モーセ2章；3：7 - 25；アブラハム4 - 5章参照。教義と聖約59：16 - 20；『旧約聖書：創世 - サムエル下』11 - 23も参照）。

パッカー長老は次のように教えている。「こうして地球が創造されました（アブラハム5：4参照）。アダムとエバは、このパラダイスの状態の中に置かれた最初の男と女でした（モーセ1：34；3：7；4：26；6：3 - 10, 22, 59参照）。二人は永遠の結婚のきずなで結ばれ、戒めを授けられました（モーセ3：23 - 25参照）。彼らはまったく汚れのない状態で、罪を知りませんでした（2ニーファイ2：23参照）。（*The Play and the Plan*, 3）

## 墮落と死すべき状態

アダムとエバの墮落は、偉大な幸福の計画の次のステップである。墮落は霊の死と肉体の死を含めて、死すべき状態をもたらした（2ニーファイ2：19 - 25；アルマ42：1 - 10参照）。死すべき状態の、地上における生活は、神に似た者となるうえで必要不可欠のものであった。それはわたしたちに、肉体を得させ、また、神

の勧告に従うかサタンの誘惑に従うかの選択の自由を持たせることにより、成長と学習を続ける機会を与えている（アルマ42：1 - 12；教義と聖約29：36 - 43；モーセ5：9 - 12参照）。わたしたちは自らの選択を通して、自分自身が忠実な者であることを「立証する」のである（アブラハム3：25参照。『旧約聖書：創世 - サムエル下』26 - 30も参照）。

パッカー長老は、人間の永遠の存在を3幕の劇にたとえた話（280ページ参照）の中で、わたしたちの死すべき状態について、次のような勧告を与えている。

「この永遠の計画の中で、わたしたちの前世すなわち第1幕の記憶は、幕で覆われています。第2幕の開始とともに現世に来たわたしたちには、第1幕の記憶がないのですから、今行われていることがなかなか理解できないとしても、少しも不思議ではありません。

記憶がないことによって、わたしたちはまったく白紙の状態からスタートすることができます。それは、試しとして、理想的な状況です。わたしたち一人一人は選択の自由を保障され好きなように選ぶことが許されているのです。多くのことを、信仰だけで選択していかなければなりません。それでも、わたしたちには、自分たちの前世における生活と、不死不滅の両親の子供であることを知らせる、静かにささやく声があります。

皆さんは生まれたときには汚れのない存在でした。なぜなら『人の霊は皆、初めに罪がなかった』からです（教義と聖約93：38）。また、皆さんには生まれながらにして善悪の観念があります。その理由について、モルモン書の聖文は、『人は善悪をわきまえることを十分に教えられている』（2ニーファイ2：5）と述べています。……

もし皆さんが第2幕において、平安無事と無上の喜びだけを見いだそうとするなら、必ずさせつを味わうことでしょう。また、今起きていることの意味も、世の中が今のような状態であることを許されている理由も、ほとんど理解できないでしょう。

このことを覚えておいてください。『それから、皆、いつまでも幸せに暮らしました』という言葉が、第2幕に書かれることは決してありません。この言葉は、すべての謎が解き明かされ、すべてのことが望ましい状態になる第3幕に来るものです。……

この壮大なドラマの全容を把握するようになるまでは、人々の中にある様々な不公平な状況を理解することは、あまりできないでしょう。ほんとうに何も無いような状況で生まれている人がいる一方で、非常に多くのものに恵まれた状況で生まれてくる人もいます。貧困や心身の障害、苦しみや悲しみの中に生まれてくる人たちがいます。あまりにも早い死を経験する人もいます。あどけない子供が命を落とすことさえあります。情け容赦のない自然の猛威や、人間同士の残忍な行いもあります。最近わたしたちは、そのようなことをよく目にしています。

神はこれらを勝手気ままに行っておられると考えてはなりません。神御自身の目的において許しておられるのです。そのすべての計画と目的を知るときに、あなたはこれらも天の御父の愛を明らかに示すものであることが分かるでしょう。

この偉大な劇、長い時の流れを描くドラマの脚本と言えるものがあります。……

皆さんすでに御存じだと思いますが、その脚本とは聖典、神の啓示です。これを読んでください。研究してください。……

聖典は真理を伝えるものです。皆さんは聖典を通して、3幕の

すべてについて十分に学び、人生の中で忍耐と導きを得ることが出来ます。聖典は次のことを明らかにしています。『あなたがたも初めに父とともにおり、御霊すなわち真理の御霊であった。

真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である。』（教義と聖約93：23 - 24）

それが、第1幕、第2幕、第3幕です。』（*The Play and the Plan*, 2）

## 教会の使命と、福音の原則と儀式

アダムとエバの墮落は失敗でもなければ、思いがけない出来事でもない。もし二人が死すべき状態になることを選択しなかったら、彼ら自身だけでなく、天の御父のほかの子供たちも、成長して神に似た者となることができなかった（2ニーファイ2：22 - 25参照）。墮落はこの計画に欠かせない要素だったが、幾つか望ましくない結果ももたらした。そしてわたしたちはその影響から救い出される必要がある（『旧約聖書：創世 - サムエル下』の創世3：19に関する注解、29参照）。

イエス・キリストの福音は全人類に、彼らが自らの意志に応じて、神の前に救われ、神に似た者となるための道を示している（2ニーファイ31：10 - 21；モーサヤ3：19；アルマ7：14 - 16；3ニーファイ27：13 - 22；モーセ5：9；信仰箇条1：4参照。『旧約聖書：創世 - サムエル下』の創世4：1に関する注解、39 - 40も参照）。この計画に従うことを拒み、キリストの贖罪を受け入れないなら、わたしたちは罪を贖われて完全になることはできない（モーサヤ2：36 - 39；4：1 - 12；アルマ11：40 - 41；教義と聖約29：43 - 44参照）。

どの神権時代においても、地上の神の子供たちに福音を教えるために、預言者が遣わされてきた。世の人々に福音を宣言し、聖徒たちを完全な者とし、死者を贖うことによって、すべての人々をキリストのもとへ導くために、この終わりの時にイエス・キリストの教会が設立された（アモス3：7；エペソ4：11 - 15；教義と聖約1：4 - 23；110：11 - 16；138章；信仰箇条1：5 - 6参照）。

### 贖罪

アダムの墮落があったために、わたしたちは皆死（肉体の死）を受け、神の前から絶たれて、自分自身の力では神のもとへ戻れなくなり（霊の死）、苦しみ、罪、悲しみの世界に住んでいる。しかし、キリストの贖罪によってすべての人が復活し、不死不滅の肉体を受け、肉体の死を克服できるようになった。また、贖罪により、全人類が墮落から贖われて、裁きに備えて復活した状態で、神の前に戻れるようになった。これによって、最初の霊の死が克服された（2ニーファイ9：15、21 - 22；ヒラマン14：16 - 18；『聖句ガイド』8ページの「贖い；贖う」、113 - 114ページの「死（第二の）」、「死（肉体の）」、「死（霊の）」参照）。わたしたちは贖罪を通して、悔い改めを条件に、自分自身の罪を清められ、墮落した状態からさらに神に近い状態へと変わっていくことができる（2ニーファイ2：5 - 10；9：4 - 14、19 - 27；アルマ7：11 - 13；12：32 - 34；34：8 - 16；42：11 - 28；教義と聖約19：16 - 19；信仰箇条1：3参照。『聖句ガイド』179ページの「天上での会議」と「天での戦い」も参照）。

通常人間には、復活をもたらしたり、全人類の罪を贖うなどということはできるものではない。それができるのは、死に打ち勝つ力を持ち、罪のない生き方がもたらす力を持っている人だけ

だった。それには、神の犠牲が必要であった（ヨハネ10：17 - 18；アルマ34：9 - 14；教義と聖約45：4参照）。

## 墓を超える命

### 霊界

肉体の死とは、肉体と霊が分離することである。天の御父の子供たちが死ぬと、例外なく、その霊は霊界へ行って復活の時を待つ。霊界では、福音を受け入れて戒めに従った人々と、そうしなかった人々は分けられている。パッカー長老は次のように説明している。「そこは、義人にとっては幸福な場所であり、パラダイスです。しかし、邪悪な人々にとっては、惨めな場所です（2ニーファイ9：10 - 16；アルマ40：7 - 14参照）。どちらの状態の人々も学び続け、また、自分の行いに対しては責任を求められます（教義と聖約138：10 - 22参照）」（*The Play and the Plan*, 3）霊界に関するさらに詳細な情報については、教義と聖約138章を参照する。

### 裁き

御父がその計画を示し、地球の創造を提案されたのには、御自身の子供たちを「試し」、彼らが戒めを守るかどうかを見る、という目的があった（アブラハム3：25参照）。わたしたちは預言者ジョセフ・スミスを通して、人は行いだけでなく、心の中で思うことによって裁かれる、ということを示されている（アルマ41：3 - 6；教義と聖約137：9参照）。

裁きと復活には密接な関係があり、最終的な裁きのある部分は、わたしたちが復活するとき起こる。滅びの子らを除いて、すべての人は完全な体を持って復活する。ただし、その栄光は人によって様々である。すべての人が、自分が受け継ぐ王国、すなわち、日の栄え、月の栄え、星の栄えの王国のいずれかにふさわしい体で復活するのである。滅びの子らも復活はするが、どの段階の栄光も授けられない。彼らは外の暗闇に追放される（1コリント15：35, 39 - 42；教義と聖約88：28 - 32参照）。

パッカー長老は次のように話している。

「すべてのことが平等に取り扱われた後に、裁きが下されます（モーサヤ3：18参照；*Teachings*, 218 - 219も参照）。一人一人が、それぞれの順番に従って復活します（1コリント15：21 - 23参照）。しかし、どのような栄光を受けるかは、御父の計画に定められた律法と儀式に対する従順の度合いによって決まります（1コリント15：40 - 42参照）。

悔い改めを通して清くなった人々は、永遠の命を授けられ神の前へ戻ることができます。彼らは『神の相続人であって、……キリストと共同の相続人』として昇栄するのです（ローマ8：17。教義と聖約76：94 - 95；84：35；132：19 - 20；*Teachings*, 374も参照）。

この計画を知らずに現世の生涯を送る人々のための用意もなされています。『律法がないところには罰がない。また罰のないところには罪の宣告もない。……それは贖罪のゆえである。彼らはイスラエルの聖者の力によって救われているからである。』（2ニーファイ9：25）

この神聖な死者の贖いの業がなければ、御父の計画は不完全なものであり、まったく不公平なものとなってしまいます。神殿の儀式を受けるには、それにふさわしい備えをしなければなりません。エンダウメントや永遠の結婚の結び固めなど儀式はすべて、備えをするにふさわしい価値のあるものです。神殿の儀式を受けるふさわしさを失うようなことは一切しないでください。さもないと、この永遠のドラマの第3幕では、今あなたが受けているよりも、自由がなくなることでしょう。」（*The Play and the Plan*, 3 - 4）

### 復活

義人であるかないかを問わず、この地上に生を受けた人はだれでも、不死不滅の肉体を持って、いつか復活することになる。これはキリストの贖罪によってもたらされる賜物である（1コリント15：19 - 22；2ニーファイ9：6 - 15, 19 - 22参照）。すべての人が同時に復活するのではない。「各自はそれぞれの順序に従わねばならない。」（1コリント15：23。モーサヤ15：20 - 26；アルマ40：1 - 2；教義と聖約76：15 - 17も参照）。



# アロン神権予備テスト

- 1829年5月に預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、なぜ森へ入って祈ったのですか。
  - 二人はモルモン書を翻訳する間、どこに住むべきかを知りたいと思った。
  - モルモン書を翻訳している間にバプテスマについて知った二人は、バプテスマについてもっと知りたいと思った。
  - 二人はモロナイ4 - 5章を読んで、<sup>せいばん</sup>聖餐についてもっと知りたいと思った。
- 以下の出来事を起きた順に番号をつけてください。
  - オリバー・カウドリは預言者ジョセフ・スミスを実アロン神権に聖任した。
  - ジョセフ・スミスはオリバー・カウドリにバプテスマを施した。
  - バプテスマのヨハネが現れて、アロン神権を受けた。
  - ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリが祈った。
  - オリバー・カウドリはジョセフ・スミスにバプテスマを施した。
  - ジョセフ・スミスはオリバー・カウドリを実アロン神権に聖任した。
  - ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは互いにバプテスマを施すよう命じられた。
- アロン神権の回復の記録は、教義と聖約のどこにあるでしょうか。
  - 教義と聖約84 : 26 - 27
  - 教義と聖約107 : 13 - 14
  - 教義と聖約13章
- アロン神権が回復されたのはいつですか。
  - 1830年4月6日
  - 1829年5月15日
  - 1829年6月
- バプテスマのヨハネは、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにアロン神権を授けてから、どんな祝福を約束したでしょうか。
  - 二人は後にメルキゼデク神権を授けられる。
  - 二人は死者のためのバプテスマを授けることができるようになる。
  - 二人は後にバプテスマを授ける力を与えられる。
- ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、バプテスマを受けた直後に何をしましたでしょうか。
  - 二人は互いに聖霊を受けた。
  - 二人は戻って、モルモン書の翻訳を再開した。
  - 二人は間もなく起きる多くのことを預言した。
- ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはバプテスマを受け、アロン神権を受けた後、ほかにどんな祝福を与えられたでしょうか。
  - 二人は長寿を約束された。
  - 二人は聖文をよく理解できるようになった。
  - 二人ともモルモン書を翻訳することができるようになった。
- ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはなぜ、自分たちにバプテスマを施す権能があることを人々に話さなかったのでしょうか。
  - 主はだれにも話してはならないと二人に告げられた。
  - 教会がまだ組織されていなかった。
  - 迫害があまりにもひどかった。
- この神聖な折に、バプテスマのヨハネ以外にも預言者ジョセフとオリバー・カウドリに語りかけた方がいらっしゃいました。それはどなたでしょうか。(ジョセフ・スミス 歴史1 : 75に続く補足説明の段落5, 7参照)
  - イエス・キリスト
  - ペテロ, ヤコブ, ヨハネ
  - モロナイ

# アロン神権と聖餐

十二使徒定員会，ダリン・H・オクス長老。『聖徒の道』1999年4月号，41 - 43からの抜粋。

## 悔い改めの福音の鍵

「常に聖霊の導きを受けるということは、わたしたちが現世で持てる財産の中で、最も貴いものです。聖霊の賜物は、バプテスマの後にメルキゼデク神権の権能を持つ人によって授けられます。その賜物の祝福をほんとうに受けるためには、罪のない生活をしなければなりません。罪を犯すと、人は汚れた状態になり、主の御霊が遠ざかっていきます。……

若い男性にしても、その指導者たちにしても、バプテスマを受けた後、まったく罪のない生活をしてきたという人はだれもいません。だれであっても、バプテスマの後、さらに自分を清める備えをしなければ、霊的な事柄に関して死んでしまうのです。そして、聖霊の導きを受けることができず、最後の裁きの時には、『とこしえに捨てられる』のです（1ニーファイ10：21）。主がバプテスマを受けた教会員のために、罪の汚れから定期的に自分を清めるための方法を備えてくださったことに、心から感謝しています。聖餐はその方法の中で、欠かすことのできない部分なのです。」

## 罪の赦しのため水に沈めるバプテスマの鍵

「わたしたちは罪を悔い改め、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって主のみもとに来るように、また聖約に従って聖餐にあずかるように命じられています。わたしたちがそのようにしてバプテスマの聖約を更新するなら、主はバプテスマの清めの効果を再新してください。そのようにして、わたしたちは清められ、常に主の御霊の導きを受けることができます。……

この事柄におけるアロン神権の重要性は、幾ら強調しても足りないほどです。罪の赦しに関するこの重要なステップのすべては、バプテスマという救いの儀式とそれを更新する聖餐の儀式を通して行われます。この二つの儀式は、悔い改めの福音、またバプテスマと罪の赦しの鍵を行使する監督会の指示の下に、アロン神権者によって執り行われます。」

## 天使の働きの鍵

「密接なつながりがあるこれらのアロン神権の儀式は、天使の働きにとっても重要なものです。

『「天使」という言葉は、聖典の中で、神のメッセージを携えた天の存在に対して用いられてい〔ます〕。』（ジョージ・Q・キャノン、*Gospel Truth*、Jerreld L. Newquist選〔1987年〕、54）聖文には、天使が親しく現れたことを示す数多くの事例が載せられています。……

しかし天使の働きには、目には見えないものもあるのです。天使のメッセージは声、あるいは心に浮かぶ考えや感じという形でも伝えられる場合があります。……

……多くの場合、天使の働きかけは、視覚よりも感情や聴覚として伝えられます。

アロン神権はなぜ天使の働きの鍵を持っているのでしょうか。その答えは、主の御霊に対する答えと同じです。

一般的に、霊的な導きと交わりという祝福は、清い人しか受けることができません。前にも説明したように、わたしたちはバプテスマと聖餐というアロン神権の儀式を通して、自分自身の罪から清められ、戒めに従うなら常に主の御霊の導きを受けられるという約束を授けられるのです。わたしは、その約束は聖霊だけでなく天使の働きのことも述べていると信じています。なぜなら『天使は聖霊の力で語る。したがって、天使はキリストの言葉を語る』からです（2ニーファイ32：3）。ですから、アロン神権者は、ふさわしい状態で聖餐を受けるすべての教会員に対して、主の御霊と天使の働きの導きを受けるための扉を開くのです。……

アロン神権には『悔い改めとバプテスマと罪の赦しの福音』の鍵があります（教義と聖約84：27）。聖餐を受けるとき、わたしたちは救い主の贖いの清めの力を新たに受けることができます。『いつも御子の御霊を受けられる』という約束はわたしたちの靈性にとって非常に大切なものです（教義と聖約20：77）。アロン神権の儀式はこのすべてにとって、なくてはならないものなのです。」

# 異邦人の時

十二使徒定員会会長を務めていた当時のエズラ・タフト・ベンソン大管長。「主の大いなる日のために備えなさい」『ニューエラ』(New Era) 1982年5月号, 47 - 49からの抜粋。

「主はわたしたちが生きているこの時代を『異邦人の時』と定められました。……『異邦人の時』とは福音が世に回復されて(1830年)から、異邦人が福音を拒んだ後に再びユダヤ人の中で宣べ伝えられるときまでの期間を指します。主はこのように説明しておられます。

『また、異邦人の時が来ると、<sup>くらやみ</sup>暗闇に座する者たちの間に光がさすであろう。それはわたしの完全な福音である。

しかし、彼らはそれを受け入れない。彼らはその光に気づかず、また人の訓戒のゆえに、わたしから心をそらすからである。

そして、その時代に異邦人の時は満ちる。』(教義と聖約45: 28 - 30。強調付加)

次のしるしから、異邦人の時が近づいてきたときに、そのことが分かることでしょう。

『その日、戦争と戦争のうわさが聞かれ、全地が混乱し、人々は気落ちするであろう。また、人々は、世の終わりまでキリストは来臨を延ばされると言うであろう。

人々の愛が冷え、不法がはびこるであろう。』(教義と聖約45: 26 - 27)

『さらにまた、この王国の福音は、すべての民への<sup>あかし</sup>証として、全世界に宣べ伝えられるであろう。それから、終わり、すなわち悪人の滅亡が来るのである。』(ジョセフ・スミス マタイ1: 31)

わたしたちは現在、これらのしるしが成就しているのを目にしているのではないのでしょうか。宣教師の入国が許されているすべての国の民に福音は宣べ伝えられています。教会は繁栄し、発展しています。あのサタン、全人類の大いなる敵であるあのサタンは、怒りを和らげず、残された時間がわずかであることに焦りを感じながら、わたしたちの愛するあらゆる人々を滅ぼそうとしています。……わたしたちは絶え間なく戦争と戦争のうわさを聞き、またそれを報じる活字を目にしています。無神論、不可知論、不道德、不正直が社会に満ちています。扶養義務の放棄、虐待、離婚、不義は、至る所で見られるようになり、家庭の崩壊を招いています。わたしたちは紛れもなく、救い主が言われた『人々の愛が冷え、不法がはびこる』時代に生きているのです。

世の人々が<sup>しもべ あかし</sup>神の僕の証を拒んでいると、さらに大きな災いに見舞われます。なぜなら、主御自身が次のように宣言されたからです。

『あなたがたの<sup>あかし</sup>証の後に、地の中でうなりを起す地震の証が来る。そして、人々は立っていることができず、地上に倒れる。

また、雷の声と、稲妻の<sup>あかし</sup>声と、暴風雨の<sup>あかし</sup>声と、その境を越えて打ち上げる海の波の<sup>あかし</sup>証も来る。

また、すべての物事が混乱する。そして、必ず人々は気落ちする。恐れがすべての人に及ぶからである。』(教義と聖約88: 89 - 91)

『また、その時代に生きていて、あふれる懲らしめを見るまで世を去らない人々がいる。荒廃をもたらず病気が地を覆うからである。

しかし、わたしの弟子たちは聖なる場所に立ち、動かされない。しかし、悪人の中では、人々が声を上げ、神をのろって死ぬであろう。

また、方々に地震もあり、また多くの荒廃もある。それでも、人々はわたしに対して心をかたくなにし、互いに剣を取り、殺し合う。』(教義と聖約45: 31 - 33)

世界はかつてなかったほどに対立するでしょう。それでもなお人々は天からの啓示に心をかたくなにします。そして、主の大いなる日が近づいていることを示すために、さらに大きなしるしが現れることでしょう。

『彼らは数々のしるしと不思議を見るであろう。これらは、上は天に、下は地に示されるからである。

彼らは血と、火と、立ち込める煙を見るであろう。

また、主の日が来る前に、太陽は暗くなり、月は血に変わり、星は天から落ちるであろう。』(教義と聖約45: 40 - 42)

このようなことをお話しするのは気持ちのよいものではないと、つくづく思います。わたしはこれを好きで話しているのでもなければ、人類に災いが下る日を心待ちにしているわけでもありません。しかしこれはわたしが言っているのではなく、主が語られたことなのです。主の僕として、これらのことを知っていながら、警告の声を上げずにいられるのでしょうか。来るべき日のために備えよと、聞く耳のある者たちすべてに警告すべきではないでしょうか。このような災いを目の前にしていながら、なお沈黙していることは罪です。

しかし、気がめいることばかりではありません。わたしたちの将来には、明るい側面もあります。あらゆる栄光をまもって主が来られるのです。主の来臨は輝かしくもあり、恐ろしくもあります。それは、そのとき地上にいる人々の霊の状態にかかっています。」

第一副管長，トーマス・S・モンソン。『聖徒の道』1986年7月号，63 - 64からの抜粋。

「1951年のある寒い冬の夜に，ドアをノックする音がしました。そこにはユタ州のオグデンから来たドイツ人の兄弟が立っていました。彼は自己紹介をしてこう言いました。『あなたがモンソン監督ですか。』わたしが『はい』と答えると，その人は泣き出して言いました。『わたしの兄弟が妻子を連れてドイツからやって来ます。あなたのワードの地域に住むことになると思います。わたしと一緒に来て，彼らのために借りたアパートを見ていただけませんか。』

アパートに向かう途中で，彼は今度やって来る兄弟とはもう何年も会っていないことをわたしに告げました。しかしその兄弟は第二次世界大戦の最中も教会に忠実で，ロシア戦線に駆り出されるまで支部長を務めていたということでした。

アパートを見ました。寒々として暗い部屋でした。ペンキははげ，壁紙は汚れ，食器棚は空っぽでした。居間の天井には40ワットの裸電球が下がっていて，リノリウム製の床の真ん中にあった大きな穴を照らし出しています。わたしは心が痛みました。『多くの苦難を耐えてきた家族を迎えるには何と寂しい場所だろう。』

そんなわたしの思いを打ち消すように，彼が言いました。『これで十分とは言えませんが，それでもドイツにいたときよりはましです。』それから鍵をわたしに渡すと，家族は3週間後，クリスマスの2日前にソルトレーク・シティーに着くと言いました。

その晩，わたしはよく眠れませんでした。翌朝の日曜日，ワード福祉活動委員会で副監督の一人がこう言いました。『監督，顔色がすぐれないようですが，何か心配事でもあるのですか。』

わたしはその会に出席していた人に昨夜のことを告げ，寂しいアパートのことを詳しく説明しました。しばらくの間，だれも何も言いませんでした。しばらくしてから，大祭司グループリーダーのアドリー兄弟が口を開きました。『監督，そのアパートは薄暗く，台所用品も取り換える必要があるのですね。』わたしはうなずきました。大祭司グループリーダーは続けて言いました。『わたしは電気の請負をしています。ですから，ワードの大祭司たちにそのアパートの配線工事を任せていただけないでしょうか。それから業者に頼んで，新しいコンロと冷蔵庫を入れさせましょう。監督，許可していただけますか。』

わたしは喜んで，『もちろんです』と答えました。

続いて七十人定員会会長のバームフォース兄弟がこう言いました。『監督，御存じのようにわたしはカーベットの仕事をしています。業者に頼んでカーベットを入れてもらうように交渉してみましょう。また七十人の兄弟たちと協力してカーベットを敷き，古くなったリノリウムの床を直しておきますよ。』

長老定員会会長のボーデン兄弟が次に話し始めました。彼は塗装の請負をしています。『塗装の方はわたしがしましょう。長老たちに手伝ってもらってペンキを塗り替え，新しい壁紙を張ってもいいでしょうか。』

次は扶助協会会長のミラー姉妹です。『扶助協会の会員として食器棚を空のままにしておくわけにはいきませんわ。必要な食器類を集めてきてよろしいでしょうか。』

それからの3週間は忘れることのできない毎日でした。ワード全体が一つのプロジェクトに参加しているようでした。そうしているうちに日も過ぎ，一家がドイツからやって来る日になりました。再び戸口にオグデンに住む兄弟が立ち，震える声で自分の兄弟とその奥さん，そして子供たちをわたしに紹介しました。『それではアパートに行ってみましょうか。』アパートへの階段を昇りながら，彼は『これで十分とは言えませんが，それでもドイツにいるときよりはましです』と繰り返していました。彼はそのアパートがどう変わり，この活動に参加した大勢の人々が中で彼らの到着を待っていることなど知るよしもありませんでした。

ドアを開けたとき，そこには文字どおり新生活の舞台が幕を上げたのです。彼らを出迎えたのは塗られたペンキの臭いと真新しい壁紙でした。40ワットの電球も使い古されたリノリウムの床もそこにはありません。わたしたちは厚く，美しいカーベットを踏みしめました。台所には新品のコンロと冷蔵庫がありました。食器棚は開いたままですが，どの棚にも食料品がいっぱい詰まっていた。扶助協会の姉妹たちが準備したのです。

わたしたちは居間に入り，クリスマスの歌を歌い始めました。『聖し，この夜 星は光り……』（『賛美歌』，118）わたしたちは英語で歌い，彼らはドイツ語で歌いました。最後にそれらがみな自分たちのものだと分かった父親は，わたしの手を取って感謝の言葉を述べました。そして声を詰まらせ，顔をわたしの肩に埋めて，『マイン・ブルーダー，マイン・ブルーダー，マイン・ブルーダー（わたしの兄弟）』と繰り返しました。

アパートの階段を降り，外に出ると，雪が降っていました。皆何も言いませんでした。すると一人の少女がこう言いました。『監督，わたしはこんなによい気持ちを感じたのは初めてです。どうしてかしら。』

わたしは救い主の言葉を借りて答えました。『わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは，すなわち，わたしにしたのである。』（マタイ25：40）そのときわたしの心に，賛美歌『ああ，ベツレヘムよ』の歌詞が浮かんできました。

主のたまものこそ 奇しけれや  
静かに恵みの 露は降る  
罪のこの世に かかる恵み  
天より来べしと 誰かは知る  
（『賛美歌』，122番）

神の奇しき賜物は，静かにこの世に降ってきました。そして生活の中に恵みもたらされ，必要が満たされ，心が癒され，人の身と霊が救われたのです。貴い約束が成就しました。」

# 神権のワークシート(教義と聖約107章)

1. 預言者ジョセフ・スミスは「すべての神権はメルキゼデク神権である。しかし、それには異なった部分、もしくは階級がある。」と語りました (*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕, 180)。この言葉を語ったとき、預言者ジョセフ・スミスは何を言いたかったのだと思いますか (教義と聖約107:1, 5-7, 14参照)。

---

---

---

---

---

---

---

---

2. 神権の元々の名称は何でしたか。なぜ、後になってメルキゼデク神権と呼ばれるようになったのでしょうか(2-4節参照)。

---

---

---

---

---

---

---

---

3. メルキゼデク神権にはどんな権利と力があるでしょうか(8-12, 18-19, 39-40節参照)。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

4. メルキゼデク神権には霊的な事柄をつかさどる力と権能があります(8, 10, 12, 18節参照)。これはどんな意味だと思いますか。神権者がこの務めを果たすために行っていることを目にしたことがありますか。それはどんなことですか。

---

---

---

---

---

---

---

---

5. アロン神権者が持つ力と権能とは、どんなものでしょうか(20節参照)。

---

---

---

---

---

---

---

---

6. アロン神権には「外形上の儀式を執行する力」があります(14節参照。10, 13節も参照)。アロン神権者が参加できる「外形上の儀式」を一つ以上挙げてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

# 末日の預言者たちが語るジョセフ・スミスについての証

## ブリガム・ヤング

「わたしは心から言うことができます。ジョセフ・スミスこそ人々が真実の預言者に求めていたすべての特質を常に備えていた人でした。彼にも弱点はありましたが、それでも彼以上の人はいませんでした。」(ブリガム・ヤングからデビッド・B・スミスへの書簡, 1853年6月1日, スーザン・イーストン・ブラックとチャールズ・D・テート・ジュニア編, *Joseph Smith: The Prophet, the Man* [1993年], 266)

「わたしは声を大にして言う。イエス・キリストを除いてジョセフほど立派な人物は存在しなかったし、これからも存在することはないであろう。」(*Discourses of Brigham Young*, ジョン・A・ウィッツォー選 [1941年], 459)

「預言者ジョセフ・スミスを長年知っていることを考えると、一日中でもハレルヤと叫びたい気持ちになります。ジョセフ・スミスは主が立てて聖任された預言者であり、地上における神の王国を築いて維持する鍵と力をお与えになった預言者です。」(*Discourses of Brigham Young*, 458)

## ジョン・テラー

「主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。二十年という短期間のうちに、彼は、彼自身が神の賜物と力によって翻訳して、両大陸で出版する仲立ちとなった『モルモン書』を出し、その書に載っている完全な永遠の福音を地の四方に送り出し、人の子らのために『教義と聖約』という本書を構成する数々の啓示と戒め、およびそのほか多くの知恵ある文書と指示を出し、何千人もの末日聖徒を集め、一つの偉大な都市を建設し、覆されることのあり得ない誉れと名声を残した。彼は神とその民の目に偉大な者として生き、偉大な者として死んだ。そして、昔の、主の油注がれた者のほとんどがそうであったように、彼は、自らの血をもって自分の使命と業を証明したのである。」(教義と聖約135:3)

## ウィルフォード・ウッドラフ

「さて、わたしは生涯を通じてジョセフ・スミスと一緒にかなりの旅をしました。1834年の春からジョセフが亡くなるまで、何かにつけて一緒でした。預言者と交わりのあった兄弟たちと同様に、わたしは、ジョセフが神の預言者であって、地上に立てられた最も偉大な預言者の一人であったことを知っています。昨日述べたように、預言者ジョセフは教会を組織するために必要なすべての事柄について啓示を受けました。……神が人に与えられた最も偉大な神権時代における偉大な業の基礎を預言者ジョセフは据えたのです。〔このすべてが〕ジョセフ・スミス兄弟のことを証しています。」(*Millennial Star*, 1891年6月29日, 403)

## ロレンゾ・スノー

「ジョセフ・スミスとは長年にわたって兄弟のような親交がありました。預言者ジョセフ・スミスはこの世に生を受けている間、常に誠実であり、人類の利益のため、神から命じられたことのためなら、どんなことでもする人でした。預言者ジョセフ・スミス

ほど高潔で、人類のために献身的に働いた人はいません。このことをわたしは、ジョセフとの個人的な交わりから申し上げることができます。」(Conference Report, 1898年4月, 64)

「現在生きている人の中で、わたしほど預言者ジョセフ・スミスをよく知っている人はまずいないでしょう。わたしはよく預言者と過ごしたものです。家族を訪れ、机に腰掛け、ともに様々な事態をくり抜け、個人的に助言を受けてきました。わたしはジョセフ・スミスが神の預言者であったことを知っています。ジョセフは尊敬に値する人物であり、善悪をわきまえた人でした。周囲の人は皆、ジョセフを尊敬していました。主はわたしに非常に明らかに、疑問の余地のないほど、ジョセフ・スミスが神の預言者であり、聖なる神権を持っていたことを示してくださいました。」(Conference Report, 1900年10月, 61)

## ジョセフ・F・スミス

「わたしは皆さんと世の人々に証します。ジョセフ・スミスは、神の力によって立てられ、偉大なこの末日の業の基を敷きました。また、この時満ちる神権時代に完全な福音を世の人々に示し、神の神権を回復しました。この神権によって人々は、天の御父と御子と聖霊の御名によって業を行うことができるのです。この業は神に受け入れられ、また神権の権能によって行われるのです。わたしは以上のことを証します。わたしは今申し上げたことが真実であることを知っています。」(Conference Report, 1910年10月, 4-5)

## ヒーバー・J・グラント

「聖なる御霊の証を受けながら、ここに立って厳粛に証できることをうれしく思います。神の天使……は少年ジョセフ・スミスに現れました。この少年に与えられていた約束は、そのとおりに果たされました。ジョセフ・スミスは確かに神の預言者に召されました。ジョセフ・スミスは真理のために殉教しました。ジョセフは、過去のあらゆる時代の殉教者たちと同じく、自ら確立した業が神の業であることを自分の血によって証明したのです。神は生きておられ、イエスは世の救い主であられ、ジョセフ・スミスは神の預言者でした。神がこの知識をわたしに与えてくださったことを証します。」(ジェームズ・R・クラーク編, *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 全6巻 [1965 - 1975年], 第5巻, 156 - 157)

## ジョージ・アルバート・スミス

「わたしは、ジョセフ・スミスが主の預言者であったことを知っています。自分の証を人の子らに結び固めるために命をささげたジョセフ・スミスは、今、贖い主の前に昇って、主の業の発展を喜んでいますが、主の業の発展は、ジョセフ・スミスというささやかな器を通してイエス・キリストの福音が地上に回復されて以来、続いています。それは、わたしが今ここに立っているように確かなことです。これが御父の業であるという燃えるような証がわたしの胸の内にあることを感謝しています。」(Conference Report, 1919年6月, 42)

## デビッド・O・マッケイ

「わたしはジョセフ・スミスが神の預言者であったことを証します。これは、イエスが生きておられること、イエスがわたしたちの贖い主であられること、この教会が主の教会であることを知っているということを意味します。わたしたちは単なる主の代理人でしかありません。しかし、一度この証を受け入れると、父なる神、つまりわたしたちの霊の御父がいらっしゃることを受け入れるのは容易になります。」(Conference Report, 1966年9 - 10月, 87 - 88)

## ジョセフ・フィールディング・スミス

「質素な農家の少年であったジョセフ・スミスは、恐らくほかのどの預言者も受けたことのない教育と訓練を受けたものと思われる。永遠の御父の御座の前から遣わされた神聖な教師によって教えられたからである。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコッキ一編, 全3巻, 第1巻, 192)

「わたしは預言者ジョセフ・スミスの使命が神から託された使命であることについて、いささかの疑いも持っていません。主が彼を起こし、啓示と戒めを与え、天を彼の眼前に開き、この栄光に輝く神権時代の頂点に立つよう召されたことについて、わたしは一点の疑いも抱いていません。彼が若いときに出て行って祈り、父なる神と御子イエス・キリストの前に文字どおり立ち、御二方を見たことをわたしはもろ手を上げて喜んでいました。わたしの心には少しの疑いもなく、このことがほんとうのことであることを確信しています。わたしはまた預言者が後にモロナイの訪れを受けたこと、バプテスマのヨハネによってアロン神権を、ペテロ、ヤコブ、ヨハネの手によってメルキゼデク神権を受けたこと、さらには神の命令によって1830年4月6日に末日聖徒イエス・キリスト教会を組織したことを知っています。」(Conference Report, 1951年4月, 58)

## ハロルド・B・リー

「わたしは救い主が確かに神聖な使命を帯びておられたことを、またこれまでのすべての神権時代と同様、今日も主の教会にかかわる事柄の上に、主の導きの手があることを厳粛に証します。

目で実際に見る以上に確かに次の主の宣言が真実であることを知っています。『神の王国の鍵は〔預言者ジョセフ・スミスから今日の預言者に至るまで〕地上の人にゆだねられており、……そこから福音は地の果てまで転がり進むであろう。』(教義と聖約 65 : 2)

わたしは全身全霊に満ちあふれる確信をもって以上の証を述べます。」(「神の王国を出で行かせたまえ」『聖徒の道』1973年5月号, 202参照)

## スペンサー・W・キンボール

「これらすべての世界の神と、神の御子であり贖い主であるわたしたちの救い主は、自ら〔預言者ジョセフ・スミス〕を訪れられ

ました。ジョセフ・スミスは生ける神を見ました。ジョセフは生けるキリストを見ました。人が造られて以来、そのような示現を受けた人はいませんでした。……ジョセフは今や選ばれた者試され、信頼された者、誠実な者の一人に数えられています。アブラハムが見た、主の下で指導者となるにふさわしい、『高潔で偉大な者たち』、『良し』とされた選ばれた人々の中にジョセフはいました。(アブラハム3 : 22 - 23) (The Teachings of Spencer W. Kimball, エドワード・L・キンボール編 [1982年], 430)

## エズラ・タフト・ベンソン

「神がモルモン書を通して、イエスがキリストであり、ジョセフ・スミスが神の預言者であることを示す明白な証拠を与えてくださったことを証いたします(教義と聖約20 : 8 - 33参照)。イエス・キリストについてのもう一つの証であるモルモン書は、古代アメリカの住民の神聖な記録です。それは神の賜物と力とにより、ジョセフ・スミスによって翻訳されました(教義と聖約135 : 3参照)。モルモン書を読み、深く考え、それが真実なものかどうか、キリストを信じながら、キリストの名によって父なる神に誠心誠意問うならば、聖霊の力によって、それが真実であることが分かるようになります。(モロナイ10 : 3 - 5参照) (『証』『聖徒の道』1989年2月, 91参照)

## ハワード・W・ハンター

「ジョセフ・スミスは偉大な人物であっただけでなく、主の霊感を受けた僕、神の預言者でした。彼の偉大さは、御父と御子にまみえたという真実の証と、啓示を受けたという現実から逃げなかったという点にあります。神の啓示の中には、真実の生ける教会を再び確立せよとの指示が含まれていました。つまり、救い主が地上におられた当時そのままの教会を現代に回復せよという指示です。……

この少年預言者は、……教会歴史の中で、数多くの点で欠かすことのできない奇跡です。彼こそ、神の御手と世の救い主の導きの下に、弱者たちが力ある強い者たちを打ち破るために出て来ることの生きた証です。」(「1830年4月6日という日」『聖徒の道』1991年7月, 65参照)

## ゴードン・B・ヒンクレー

「わたしは預言者ジョセフ・スミスを心から尊敬し、愛しています。わたしはジョセフと彼の苦難に思いをはせています。ジョセフはこの大義のために苦難を堪え忍び、この業が真実であることを証するために命をささげました。彼は少年時代から死を迎える日まで、追いたてられ、虐待され、迫害され、追われました。しかし、雄々しく出て行って、至る所で人々を改宗し、その後の歳月に堪える教会と教義を確立しました。わたしは彼をただただ愛し、敬い、尊敬し、崇拝し、たたえます。」(ハイディ・S・スウィントン, American Prophet: The Story of Joseph Smith [1999年], 147)

# 旅の必需品一覧表

品目	1個あたりの 値段	1個あたりの 重量	個数合計	費用合計	重量合計
食料					
小麦粉	500円	25キ口			
砂糖	300円	5キ口			
米	200円	10キ口			
豆類	200円	15キ口			
ドライフルーツ	300円	2.5キ口			
塩	50円	2.5キ口			
生活用品					
農耕器具	2,000円	25キ口			
家具	2,500円	30キ口			
釣り糸と釣り針	100円				
炊事用具	2,000円	7.5キ口			
テント	1,000円	7.5キ口			
薬	100円	1.5キ口			
寝具類と毛布	500円	5キ口			
予備の靴	500円	1.5キ口			
ロープ	500円	2.5キ口			
車輪の修理道具	1,000円	5キ口			
水の容器	500円	2.5キ口			
本	1,000円	7.5キ口			
食料と生活用品の合計 (資金は2万円 総重量は900キ口以内とする。)					

## 隊の日誌

旅で消費した食料品を差し引く

**残りの食料**

1 - 2か月目	3 - 4か月目	5 - 6か月目	7 - 8か月目	9 - 11か月目	12 - 14か月目	15 - 17か月目	18か月目

あなたはソルトレーク盆地に到着しましたか? はい いいえ



# 世界への宣言

末日聖徒イエス・キリスト教会  
大管長会ならびに十二使徒評議会

**わ**たしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。

**す**べての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。

**前**世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。

**神**がアダムとエバに授けられた最初の戒めは、彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。またわたしたちは宣言します。生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。

**わ**たしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。

**夫**婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負って

います。「子供たちは神から賜<sup>たま</sup>わった嗣業<sup>しぎょう</sup>であり」(詩篇127:3)とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。

**家**族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養い育てるという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要なときに、親族が援助しなければなりません。

**わ**たしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。

**わ**たしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を推し進めてくださるよう呼びかけるものであります。

# 生けるキリスト

## 使徒たちの証

### 末日聖徒イエス・キリスト教会

2000年前のイエス・キリストの降誕を祝うに当たり、わたしたちはイエス・キリストのたくいまれな生涯が現実のものであり、この御方の偉大な<sup>あがな</sup>贖いの犠牲が無<sup>あかし</sup>限の力を有することを証します。これまでに地上に生を受けた人々およびこれから生を受けるすべての人々に対して、この御方以上に深遠な影響を及ぼしてきた人物は存在しません。

イエス・キリストは旧約の大いなるエホバであり、新約のメシアでした。御父の指示の下に、イエス・キリストは地球を創造されました。「すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった」のです(ヨハネ1:3)。イエス・キリストは罪がなかったにもかかわらず、すべての義を成就するためにバプテスマをお受けになりました。イエス・キリストは「よい働きをしながら……巡回」されました(使徒10:38)、そのためにさげすまれました。イエス・キリストの福音は平和と善意のメッセージでした。イエス・キリストはすべての人々に、御自身が示す模範に従うよう熱心に勧められました。イエス・キリストは病人を癒し、目の不自由な人々の目を見えるようにし、死人をよみがえらせながら、パレスチナの道を歩まれました。また、永遠の真理と、前世が実際に存在すること、この世での人生の目的、および神の息子や娘が持つ来世における可能性についてお教えになりました。

イエス・キリストは、御自分の偉大な贖いの犠牲を思い起こすためのものとして、<sup>せいばん</sup>聖餐をお定めになりました。イエス・キリストは捕らえられ、偽りの訴えによってとがめられ、暴徒の意に応じて有罪とされ、カルバリの十字架上で死刑を宣告されました。そして、全人類の罪を贖うために命をささげられました。イエス・キリスト御自身が、地上に生を受けるすべての人々のための偉大な身代わりの贈り物となられたのです。

わたしたちは、全人類の歴史の中心であるイエス・キリストの生涯が、ベツレヘムで始まったのでなければカルバリで終わったのでもないことを厳かに証します。イエス・キリストは御父の長子、肉における独り子、世の救い主でした。

イエス・キリストは「眠っている者の初穂として」墓からよみがえられました(1コリント15:20)。そして復活された主として、地上での生涯において愛した人々のもとをお訪ねになりました。また、古代アメリカの「他の羊」の間でもお教えになりました(ヨハネ10:16)。現代においては、御父とともに少年ジョセフ・スミスに御姿を現されました。こうして、長い間約束されてきた<sup>みすがた</sup>時の満ちる神権時代が到来したのです(エペソ1:10)。

生けるキリストについて、預言者ジョセフはこのように記しています。「その目は燃える炎のようであり、その頭髮は清らかな雪のように白く、その顔は太陽の輝きに勝って光り輝いていた。また、その声、すなわちエホバの声は大水の奔流のとどろきのようで、このように言われた。

『わたしは最初であり、最後である。わたしは生きている者であり、殺された者である。わたしは父に対するあなたがたの弁護者である。』(教義と聖約110:3-4)

イエス・キリストについて、預言者ジョセフはまた次のように宣言しています。「そして今、小羊についてなされてきた多くの証の後、わたしたちが最後に小羊についてなす証はこれである。すなわち、『小羊は生きておられる。』

わたしたちはまことに神の右に小羊を見たからである。また、わたしたちは証する声を聞いた。すなわち、『彼は御父の独り子であり、

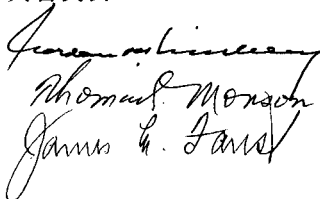
彼によって、彼を通じて、彼から、もろもろの世界が現在創造され、また過去に創造された。そして、それらに住む者は神のもとに生まれた息子や娘となる』と。」(教義と聖約76:22-24)

わたしたちは、イエス・キリストの神権とイエス・キリストの教会が地上に回復されたこと、そしてその教会は「使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられ……キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である」ことを厳肅に宣言します(エペソ2:20)。

わたしたちは、イエス・キリストがいつの日か地上に戻って来られることを証します。「こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る」のです(イザヤ40:5)。イエス・キリストは王の王として治め、主の主として統治されます。イエス・キリストの前にすべてのひざがかがみ、すべての舌がイエス・キリストを賛美することでしょう。わたしたち一人一人は将来、自分の行いと心の望みについて裁きを受けるためにイエス・キリストの前に立つことになります。

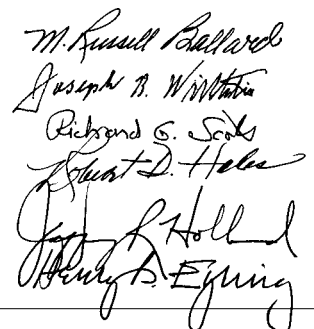
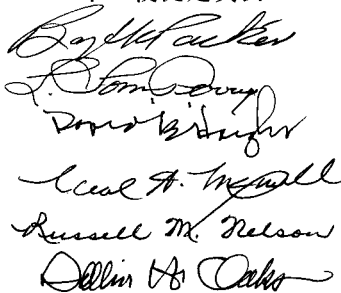
わたしたちは正式に聖任を受けたイエス・キリストの使徒として証します。イエスは生けるキリスト、不死不滅の状態にある神の御子です。イエス・キリストは今日、大いなる王、インマヌエルとして御父の右に立っておられます。イエス・キリストは世の光、命、そして希望です。イエス・キリストの道は、この世においては幸福に、後の世においては永遠の命に至る道です。わたしたちは御子という比類ない贈り物を授けてくださった神に感謝しています。

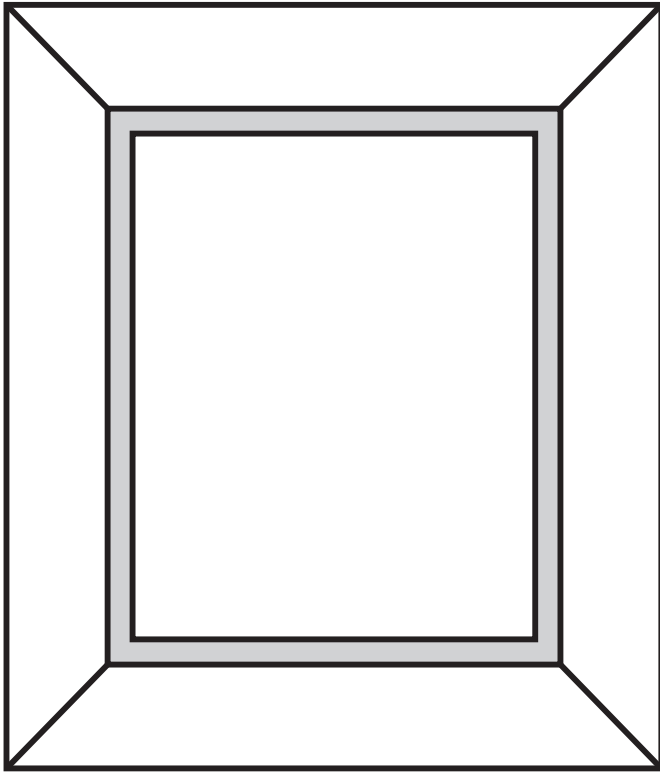
大管長会



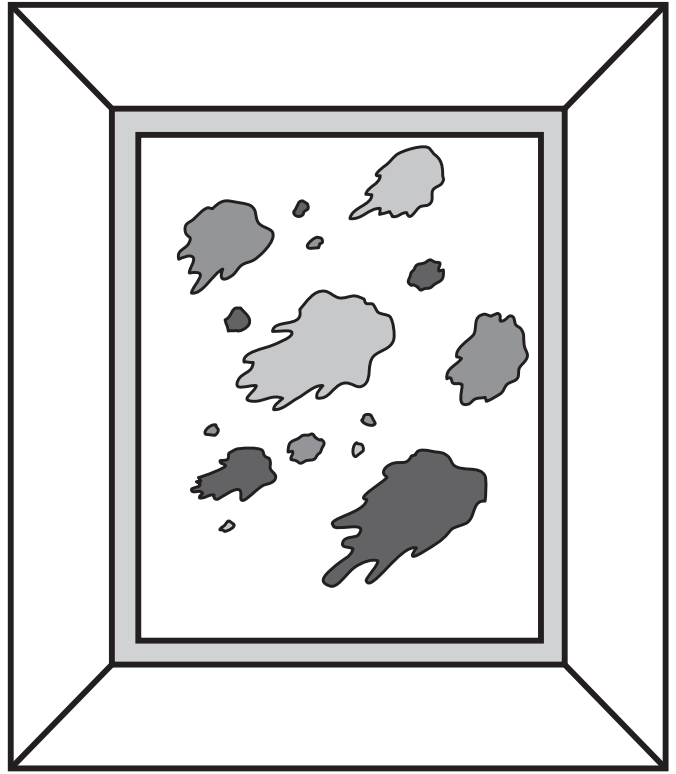
2000年1月1日

十二使徒定員会

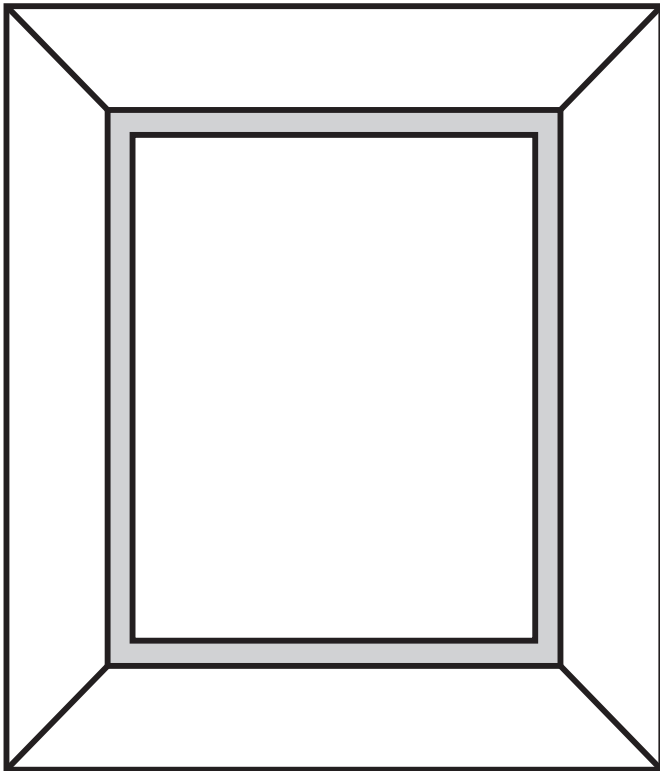




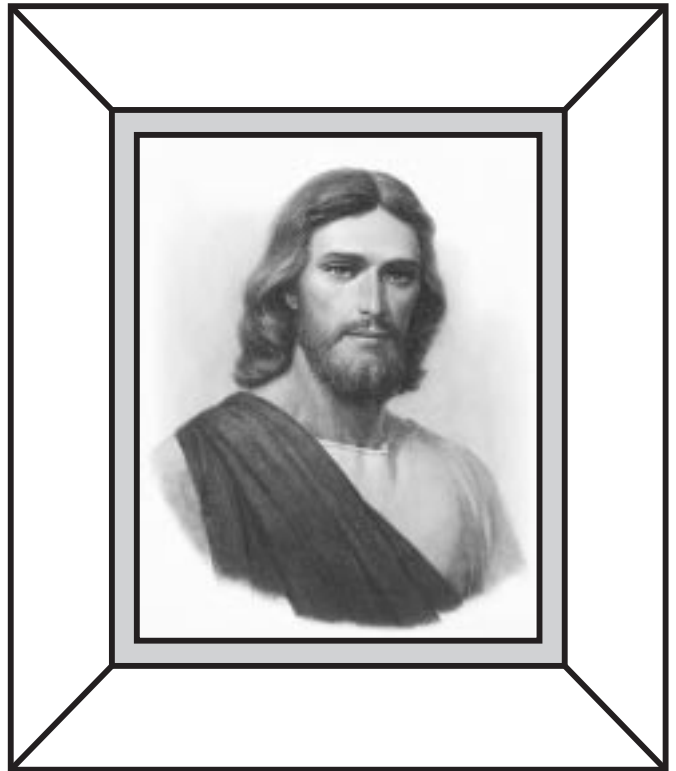
**1.**



**2.**

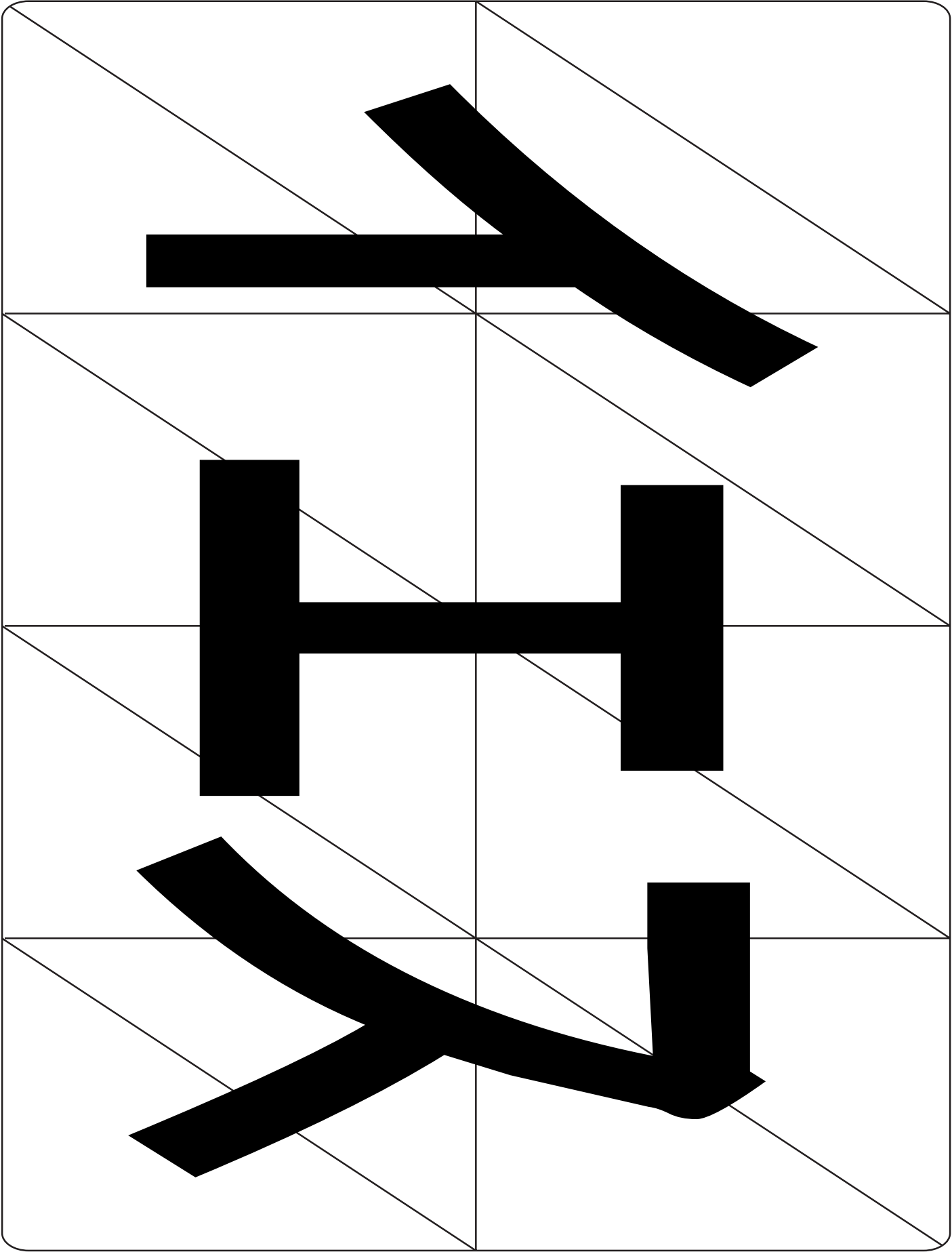


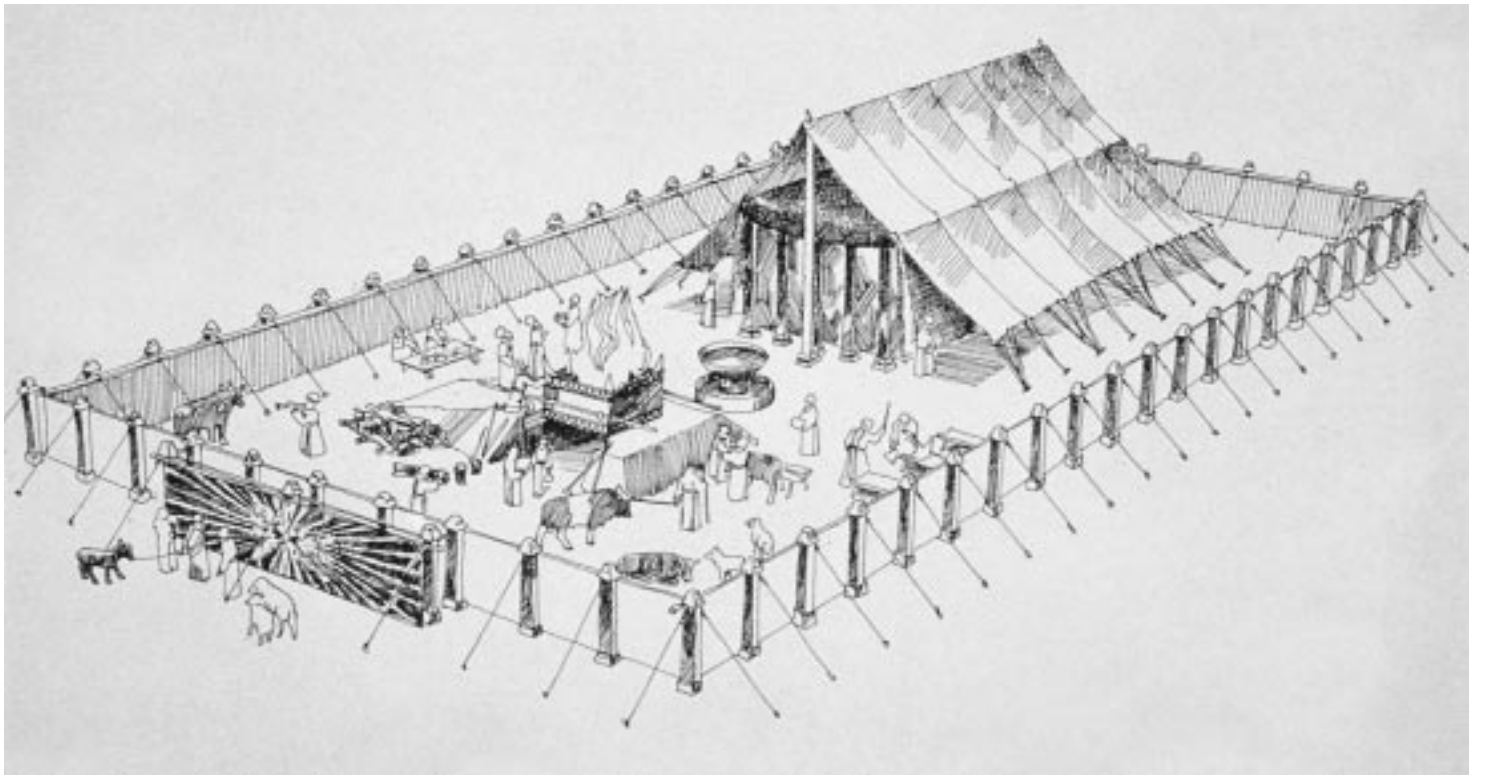
**3.**



**4.**











ウェイン・D・ピートリーの厚意により掲載

標高8,850メートルのエベレスト山は世界最高峰である。ヒマラヤ山脈地帯に位置するエベレスト山はネパールとチベットの国境地帯にある。登山家は希薄な酸素，過酷な環境，雪崩，転落による死の危険を覚悟しなければならない。1953年から1998年までに登頂した人数は1,057人である。同期間に登頂を試みて死亡した人は147人である。(mnteverest.net <http://www.mnteverest.net>〔2000年5月3日にアクセス〕を参照)